

IBM System Storage
SAN ボリューム・コントローラー



サービス・ガイド

バージョン 4.2.0

IBM System Storage
SAN ボリューム・コントローラー



サービス・ガイド

バージョン 4.2.0

注:

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、『特記事項』および『安全と環境に関する注記』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラーのリリース 4.2.0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。本書は、GC88-4129-00 の改訂版です。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： GC26-7901-01
IBM System Storage SAN Volume Controller
Service Guide
Version 4.2.0

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2007.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2003, 2007. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2007

目次

図	vii
表	xi
本書について	xiii
本書の対象読者	xiii
変更の要約	xiii
「SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド」(GC88-4129-01) の変更の要約	xiii
強調表示	xv
SAN ボリューム・コントローラーのライブラリーおよび関連資料	xv
関連 Web サイト	xix
IBM 資料の注文方法	xix
安全と環境に関する注記	xx
本書における注記	xx
安全上の注意	xx
一般的な安全性について	xxvii
SAN ボリューム・コントローラーの危険な状態の検査	xxix
SAN ボリューム・コントローラー、UPS、および冗長 AC 電源スイッチのアースのチェック	xxx
危険な状態についての UPS の検査	xxxiii
無停電電源装置の要件	xxxiv
緊急パワーオフ・シャットダウン	xxxiv
SAN ボリューム・コントローラー上の安全ラベルの確認	xxxiv
環境上の注意表示およびステートメント	xlvi
静電気に弱い装置の取り扱い	l
第 1 章 SAN ボリューム・コントローラーの概要	1
SAN ファブリックの概要	2
マスター・コンソールでの SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーション	4
エラー・ログの分析	6
クラスター保守手順の実行	7
ノード状況の表示	8
ファイバー・チャンネル・ポート番号とワールドワイド・ポート名	8
クラスターからのノードの削除	10
クラスターへのノードの追加	11
VDisk 状況の表示	11
MDisk 状況の表示	12
重要製品データの表示	12
ログ・ファイルとダンプ・ファイルの表示と保管	13
エラーを修正済みとしてマーキング	14
ファイバー・チャンネル・ファブリック接続の表示	14
マスター・コンソールからの CLI へのアクセス	19
CLI を使用したノードの状況の検査	22

CLI を使用したノード・ポートの状況の検査	22
CLI を使用したクラスターからのノードの削除	23
CLI を使用したクラスターへのノードの追加	24
CLI を使用した MDisk のリスト作成	25
CLI を使用した MDisk の組み込み	27
新規 MDisk のファイバー・チャンネル・ネットワークの再スキャン	27
CLI を使用した MDisk グループの状況の検査	28
CLI を使用したディスク・コントローラー状況の検査	28
障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別	29
SAN ボリューム・コントローラー のコントロールとインディケーター	30
キャッシュ LED	32
フロント・パネル表示	32
ナビゲーション・ボタン	33
選択ボタン	33
ノード識別ラベル	33
製品のシリアル番号	33
エラー LED	34
電源ボタン	34
検査 LED	34
オペレーター・パネル表示装置	35
解放ラッチ	36
システム・エラー LED	37
情報エラー LED	38
ロケーション LED	38
ハード・ディスク・アクティビティ LED	38
電源制御ボタン	38
電源 LED	39
SAN ボリューム・コントローラーの背面パネル・インディケーター	39
ファイバー・チャンネル LED	41
イーサネット・リンク LED	42
イーサネット活動 LED	42
イーサネット接続 LED	43
電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED	43
AC LED と DC LED	43
システム・ボード電源 LED	44
システム・ボード障害 LED	45
モニター LED	45
下部イーサネット接続 LED	45
上部イーサネット接続 LED	45
SAN ボリューム・コントローラーのハードウェア	45
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェア	45
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のコネクタ	47

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のハードウェア	48
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 コネクタ	50
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のハードウェア	52
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 コネクタ	54
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のハードウェア	55
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のコネクタ	57
SAN ボリューム・コントローラー環境の準備	58
SAN ボリューム・コントローラーの電源制御の使用指示された保守手順の使用	62
電源オン自己診断テスト	67
SAN ボリューム・コントローラーでのクラスタのシャットダウン	68
ファイバー・チャンネル・ネットワーク速度	69
ファイバー・チャンネル・ポート速度の決定	69
クラスタ内にないノードのファイバー・チャンネル・ポート速度の変更	70
クラスタ内のノードのファイバー・チャンネル・ポート速度の変更	70
クラスタ識別	70
保守モードの概要	71
第 2 章 冗長 AC 電源スイッチ	73
冗長 AC 電源の環境準備	73
第 3 章 UPS	75
2145 UPS-1U の SAN ボリューム・コントローラーへの接続	75
2145 UPS-1U のコントロールとインディケータ	76
電源オン・インディケータ	77
オン/オフ・ボタン	77
テストおよびアラーム・リセット・ボタン	77
過負荷インディケータ	77
オン・バッテリー・インディケータ	78
サービス・インディケータ	78
ロード・セグメント 1 インディケータ	78
ロード・セグメント 2 インディケータ	78
2145 UPS-1U のハードウェア	79
2145 UPS のコントロールとインディケータ	81
モード・インディケータ	82
オン・ボタン	82
オフ・ボタン	82
負荷レベル・インディケータ	83
サイト配線障害インディケータ	83
バッテリー・サービス・インディケータ	83
バッテリー・モード・インディケータ	83
汎用アラーム・インディケータ	83
2145 UPS のハードウェア	84
UPS 環境の準備	85

第 4 章 SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールと保守 . 87

SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェア・パッケージの入手	88
SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールとアップグレード	89
SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別	90
ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー	91
ソフトウェアのバージョンの置き換え	92

第 5 章 重要製品データの紹介 . 95

重要製品データの表示	95
ノード VPD のフィールドの理解	96
クラスタ VPD のフィールドの理解	99

第 6 章 SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルの使用 . 101

ブート進行インディケータ	101
ブート失敗	101
充電	102
ハードウェア・ブート	102
ノード・レスキュー要求	102
電源障害	103
電源オフ	103
リカバリー	104
再始動	104
シャットダウン	104
エラー・コード	105
SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション	105
クラスタ・オプション	106
ノード・オプション	107
イーサネット・オプション	112
ファイバー・チャンネル・ポート 1 から 4 のオプション	112
言語の選択? オプション	113
「クラスタのリカバリー」のナビゲーション	114
「クラスタの作成」メニュー・ナビゲーション	116
クラスタの削除	117
パスワード	117
作成が失敗	117

第 7 章 SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置、およびマスター・コンソールに関する問題の診断 . 119

エラー・ログの理解	120
エラー・ログの管理	120
エラー・ログの表示	120
エラー・ログ内のフィールドの説明	123
エラー・レポート作成	126
通知の送信	127
エラー・コードの理解	130
エラー・コード・テーブルの使用	131

SAN ボリューム・コントローラーの FRU 名の定義	131
冗長 AC 電源スイッチの FRU 名の定義	136
UPS の FRU 名の定義	136
クラスター・エラー・コードの定義	137
ハードウェア・ブート障害の判別	240
ブート・コードの理解	240
ノード・レスキューの実行	266
ノード・レスキュー・コードの理解	268
ノード・エラー・コードの理解	274
クラスター作成エラー・コードの理解	288
クラスター・リカバリー・コードの理解	289
SAN の問題判別	289
マスター・コンソールのトラブルシューティング	290
Microsoft Windows イベント・ログの消去	290
SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの予期しないシャットダウンのトラブルシューティング	291
Microsoft Windows のブート問題のトラブルシューティング	291
第 8 章 保守分析手順	295
保守分析手順の使用	295
MAP 5000: 開始	296
MAP 5050: 電源 2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4	304
MAP 5100: 電源 2145-4F2	310
MAP 5150: 2145 UPS-1U	314
MAP 5200: 2145 UPS	318
MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査	323
MAP 5300: 2145 UPS の修復検査	324
MAP 5320: 冗長 AC 電源	326
MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証	327
MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ	329
SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用してノードの電源をオフにする方法	331
SAN ボリューム・コントローラー CLI を使用してノードの電源をオフにする方法	334
SAN ボリューム・コントローラーの電源ボタンの使用	335
MAP 5400: フロント・パネル	337
MAP 5500: イーサネット	341
MAP 5600: ファイバー・チャネル	345
MAP 5700: 修復検査	351
MAP 5800: ライト・パス	354
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のライト・パス	354
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 用のライト・パス	359
MAP 5900: ハードウェア・ブート	363
第 9 章 部品の取り外しと交換	371
並行保守の使用可能化	371
部品の取り外しおよび交換を行うための準備	371

SAN ボリューム・コントローラー の部品の取り外しと交換	372
ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し	372
SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法	377
SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り外し	381
SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り付け	383
上部カバーの取り外し	390
上部カバーの再取り付け	394
サービス・コントローラーの取り外し	397
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルの取り外しおよび再取り付け	403
サービス・コントローラーの再取り付け	405
SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換	412
SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換	413
メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し	416
メモリー・モジュールの交換	419
ディスク・ドライブの取り外し	420
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法	426
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し	427
ディスク・ドライブの再取り付け	428
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法	432
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換	433
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換	434
CMOS バッテリーの取り外し	435
CMOS バッテリーの再取り付け	439
電源機構の取り外し	444
電源機構の再取り付け	448
電源バックプレートの取り外し	453
電源バックプレートの交換	455
フレーム・アセンブリの取り替え	457
アダプター・アセンブリの取り外し	459
アダプター・アセンブリの再取り付け	465
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリの取り外し	469
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリの再取り付け	469
オペレーター・パネル表示装置アセンブリの取り外し	469

オペレーター・パネル表示装置アセンブリの再 取り付け	477	アセンブリ 2: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4	566
ファンの取り外し	482	アセンブリ 3: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2	569
ファンの再取り付け	486	アセンブリ 4: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	572
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ま たは SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バック プレーンの取り外し	490	アセンブリ 5: 冗長 AC 電源スイッチ	575
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ま たは SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バック プレーンの交換	491	アセンブリ 6 2145 UPS-1U	576
マイクロプロセッサの取り外し	492	2145 UPS-1U の国別または地域別の電源ケーブ ル	577
マイクロプロセッサの再取り付け	496	アセンブリ 7 2145 UPS	579
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ま たは SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の取り外し	501	2145 UPS の国別または地域別の電源ケーブル 580	
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ま たは SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の交換	502	付録 B. Websphere および CIM ログ ング	583
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 か らのフロント・パネルの取り外し	502	Websphere Application Server ログイン	583
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の フロント・パネルの交換	504	Common Information Model プロバイダー・ログイン グ	584
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 シ ステム・ボードの取り外し	505	付録 C. サービス・コントローラー ATA ケーブルの取り付け	587
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 シ ステム・ボードの交換	507	アクセシビリティ	589
冗長 AC 電源スイッチの取り外し	511	特記事項	591
冗長 AC 電源スイッチ の交換	512	商標	592
2145 UPS-1U の部品の取り外しと交換	515	電波障害自主規制特記事項	593
2145 UPS-1U の取り外し	515	Federal Communications Commission (FCC) statement	593
2145 UPS-1U の交換	519	Industry Canada compliance statement	594
2145 UPS-1U のサポート・レールの取り外し	524	Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	594
2145 UPS-1U用のサポート・レールの取り付け	526	New Zealand compliance statement	594
2145 UPS-1U からの電源ケーブルの取り外し	528	European Union (EU) statement	594
2145 UPS-1U バッテリーの取り外し	530	Radio protection for Germany	595
2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け	533	情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	595
2145 UPS の部品の取り外しと交換	537	People's Republic of China Class A Electronic Emission Statement	595
2145 UPS の取り外し	537	International Electrotechnical Commission (IEC) statement	596
2145 UPS の交換	539	United Kingdom telecommunications requirements	596
2145 UPS からの電源ケーブルの取り外し	545	Korea Class A Electronic Emission Statement	596
2145 UPS 電子部品の取り外し	546	Taiwan Class A compliance statement	596
2145 UPS 電子部品の交換	548	European Contact Information	596
2145 UPS バッテリーの取り外し	549	Taiwan Contact Information	597
2145 UPS バッテリーの交換	554	用語集	599
2145 UPS のサポート・レールの取り外し	558	索引	623
2145 UPSのサポート・レールの取り付け	559		
付録 A. 部品カタログ	563		
アセンブリ 1: SAN ボリューム・コントローラー			
2145-8G4	563		



1. ファブリック内の SAN ボリューム・コントローラーの例	3
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の物理ポート番号	9
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の物理ポート番号	9
4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の物理ポート番号	9
5. 「ファブリックの表示」パネル	15
6. node1 にログインしているコントローラーの表示例	18
7. すべてのアクティブ・デバイスの表示	18
8. node2 のポート 2 にログインしているすべてのアクティブ・デバイスの表示例	19
9. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装	35
10. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置	36
11. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の解放ラッチ	37
12. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ファイバー・チャンネル LED	41
13. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ファイバー・チャンネル LED	42
14. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 AC LED と DC LED	44
15. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の AC と DC LED	44
16. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェアの分解図	46
17. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	48
18. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4	51
19. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 では使用されないポート	51
20. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の前面パネル上で使用されないポート	52
21. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のハードウェアの分解図	56
22. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のコネクターの位置	57
23. 2145 UPS-1U では使用されないポート	80
24. メニュー・オプションのシーケンス	105
25. クラスターの作成? メニュー・シーケンス	109
26. 言語の選択? メニュー・シーケンス	113
27. 「クラスターのリカバリー」のナビゲーション	114
28. クラスターの作成のナビゲーション・メニュー・シーケンス	116
29. コマンド行インターフェースを使用したときのエラー・ログ・エントリーの例	121
30. エラー・ログ要約の例	122
31. ブート進行の表示	240
32. ブート障害表示	240
33. ノード・レスキュー要求の表示	267
34. 表示されるノード・レスキュー・コードの例	268
35. 表示されるノード・エラー・コードの例	274
36. サービス・コントローラーのチェック・ライ ト	299
37. オペレーター・パネル表示装置のエラー LED	299
38. ハードウェア・ブートの表示	300
39. The SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置	305
40. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置	305
41. 電源 LED	306
42. ac および dc LED インディケータ	307
43. 2145-1U 無停電電源装置のフロント・パネ ル・アセンブリ	314
44. 2145 無停電電源装置のフロント・パネル・ア センブリ	319
45. ノードの表示	332
46. 仮想ディスクのフィルター操作	332
47. 仮想ディスクの状況	333
48. ノードのシャットダウン	333
49. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置	335
50. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置	336
51. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のコントロールとインディケータ	336
52. パワーオフの表示	337
53. サービス・コントローラーのチェック・ライ ト	338
54. フロント・パネル表示でボタンを押す順序	339
55. イーサネット接続 LED	343
56. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置	355
57. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ライト・パス診断パネル	355
58. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボード	356
59. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 オペレーター・パネル表示装置	359
60. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ライト・パス診断パネル	359

61. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のシステム・ボード	360	89. サービス・コントローラーの取り外し	402
62. ハードウェア・ブートの表示	364	90. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 用のサービス・コントローラー・ケーブル	403
63. ノード・レスキュー要求の表示	364	91. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のシステム・ボードにサービス・コントロー ラー・カード・ケーブルを取り付ける方法	405
64. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントロ ーラー 2145-8F2、および SAN ボリューム・ コントローラー 2145-4F2 上のキーボード・ポ ートとモニター・ポート	366	92. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラー	407
65. ラックからの SAN ボリューム・コントロー ラー 2145-8G4 の取り外し	376	93. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のサービス・コントローラー	408
66. 前面のねじを抜いて、SAN ボリューム・コン トローラー 2145-4F2 を取り外します	377	94. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボ リューム・コントローラー 2145-8F4	409
67. ラック・スライドと SAN ボリューム・コン トローラー 2145-8G4 とを位置合わせする方 法	379	95. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーの交換	410
68. 前部ねじでの SAN ボリューム・コントロー ラー 2145-4F2 の取り付け	380	96. 正しく取り付けられたサービス・コントロ ーラー・カード・ケーブル	411
69. 背面取り付け用フランジからスライド・レ ールを取り外す方法	381	97. 正しく取り付けられていないサービス・コン トローラー・カード・ケーブル	411
70. ラッチ受け座をレール前面から取り外す方法	382	98. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置	414
71. ラック前面からスライド・レールを取り外す 方法	382	99. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のオペレーター・パネル表示装置	414
72. SAN ボリューム・コントローラー用左方サポ ート・レール	383	100. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルと背面パネルの図	414
73. 右側レールを延ばします	385	101. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボード	417
74. ラッチ・ロック・キャリアを引っ込める	387	102. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のシステム・ボード	418
75. 前部ラッチ・ロック・キャリア・アセンブリ ーを開く	387	103. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード	418
76. 後部のラッチ・ロック・キャリア・アセンブ リーを開く	388	104. メモリー・モジュールの取り外し	419
77. レールのフロントエンドの取り付け	389	105. メモリー・モジュールの再取り付け	420
78. ラッチ・ロック・キャリア・アセンブリーを 閉じる	390	106. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からの SATA ディスク・ドライブの取り外し	422
79. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8G4	391	107. SATA ディスク・ドライブの取り外し	423
80. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボ リューム・コントローラー 2145-8F4	392	108. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの取り外し	424
81. 上部カバーの取り外し	394	109. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブへのレールの取り付け	424
82. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8G4	395	110. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ジャンパー	425
83. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F2	396	111. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法	426
84. 上部カバーの取り付け	397	112. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し	427
85. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラー・リリース・ボタ ン	399	113. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブへのレールの取り付け	431
86. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からのサービス・コントローラーの取り外し	400	114. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの交換	431
87. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F2	401	115. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換	434
88. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 サービス・コントローラー	401		

116. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの取り外し	435	143. アダプターを取り外す前の SAN ボリューム ・コントローラー 2145-4F2	465
117. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の CMOS バッテリー・ホルダーの位 置	437	144. ファイバー・チャンネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背 面図	466
118. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4CMOS バッテリー・ホルダー	437	145. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のライザー・カード・アSEMBリーの再取 り付け	466
119. バッテリーの位置	438	146. PCI スロット 1 カード・リテナー	467
120. CMOS バッテリー・ホルダー	438	147. アダプターをインストールした SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-4F2	468
121. システム・ボードの CMOS バッテリーの取り 外し	439	148. ダミーの CD/DVD ドライブを解放し、スライ ドさせて外に出す方法	470
122. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の CMOS バッテリー・ホルダーの位 置	441	149. CD 変換コネクタ・カードの取り外し	471
123. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4CMOS バッテリー・ホルダー	441	150. ファン 3 の取り外し	472
124. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 上の CMOS バッテリーの位置	442	151. エア・バッフルの取り外し	473
125. CMOS バッテリー・ソケット	443	152. ビデオ、USB、および CD/DVD ケーブルのプ ラグを抜く方法	474
126. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード CMOS バッテリーの交換	444	153. ライト・パス・アSEMBリーの解放	475
127. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源機構	446	154. ライト・パス・アSEMBリーの取り外し	475
128. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 電源機構	446	155. オペレーター・パネル表示装置	476
129. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源機構の取り外し	448	156. オペレーター・パネル表示装置が見える SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2	476
130. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源機構	449	157. ライト・パス・アSEMBリーの取り付け	477
131. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 AC LED と DC LED	450	158. ビデオ、USB、および CD/DVD ケーブルの配 線方法	478
132. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2電 源装置のハンドル	451	159. エア・バッフルの再取り付け	479
133. AC および DC 電源 LED	452	160. ダミー CD/DVD ドライブの再取り付け	480
134. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源装置の交換	452	161. ファン 3 の再取り付け	481
135. 電源バックプレーンの交換	457	162. オペレーター・パネル表示装置の再取り付け	482
136. ファイバー・チャンネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背 面図	460	163. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F2	485
137. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からのライザー・カード・アSEMBリーの取 り外し	461	164. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ファン	485
138. ファイバー・チャンネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の背面 図	462	165. マイクロプロセッサ・ファンの取り外し	486
139. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面図	462	166. マイクロプロセッサ・ファンの交換	490
140. PCI スロット 1 カード・リテナー	462	167. マイクロプロセッサと VRM ソケットの位 置	495
141. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ライザー・カードおよびロー・プロファイ ル・アダプター	463	168. 開放位置にあるマイクロプロセッサ・ロッ ク・レバー	499
142. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のスロット 2 アダプター	464	169. マイクロプロセッサおよびヒートシンクの 位置	500
		170. VRM ソケットの位置	501
		171. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルの取り外し	503
		172. フロント・パネルの交換	504
		173. システム・ボードの取り外し	506
		174. システム・ボードの交換	509
		175. システム・ボードへのサービス・コントロ ー・ケーブルの取り付け	510
		176. 取り付け用プレートの取り付け	513
		177. 電源ケーブル・クリップ	514
		178. 2145 UPS-1U のフロント・パネル・アSEMB リー	516
		179. 2145-1U 無停電電源装置 (背面図).	516
		180. 2145 UPS-1U のフロント・パネルの取り外し	517

181.	2145 UPS-1U 内部バッテリー・コネクタ	517	206.	2145 無停電電源装置の取り外し	539
182.	保護テープ付きの 2145 UPS-1U 内部バッテリー・コネクタ	518	207.	2 人で 2145 UPS を箱から取り出す	540
183.	2145-1U 無停電電源装置の取り付けねじの取り外し	518	208.	2145 UPS を箱の端までスライドする	541
184.	2145 UPS-1U 取り付け金具	520	209.	バッテリー保持ブラケットの取り外し	541
185.	2145 UPS-1U のラックへの再取り付け	520	210.	2145 UPS 電子部品アセンブリーの取り外し	542
186.	2145 UPS-1U のフロント・パネルの取り外し	521	211.	2145 UPS のラックへの再取り付け	543
187.	保護テープ付きの内部バッテリー	521	212.	2145 UPS 電源ケーブルの取り付け	544
188.	内部バッテリー・コネクタを適所に収めた 2145 UPS-1U	522	213.	2145 UPS の電源スイッチおよびインディケータ	544
189.	2145 UPS-1U に接続された 2145 UPS-1U のケーブル保持ブラケット	523	214.	2145 UPS の前面および背面図	545
190.	2145 UPS-1U (背面図)	523	215.	2145 UPS シグナル・ケーブルの切り離し	546
191.	2145 UPS-1U の電源スイッチおよびインディケータ	524	216.	2145 UPS のフロント・パネルの取り外し	547
192.	2145 UPS-1U からの前部ねじの取り外し	525	217.	2145 UPS からの電子装置の取り外し	547
193.	2145 UPS-1U の前部レール取り外し	525	218.	2145 UPS の電子装置の交換	548
194.	2145 UPS-1U の後部レール取り外し	526	219.	2145 UPS のフロント・パネルの交換	549
195.	2145 UPS-1U 用サポート・レールのラックへの取り付け	527	220.	2145 UPS シグナル・ケーブルの接続	549
196.	2145 UPS-1U でのレールの縦の長さの調整	527	221.	2145 UPS のフロント・パネルの取り外し	550
197.	2145 UPS-1U への背面レールの固定	528	222.	バッテリーの保持ブラケットの取り外し	551
198.	2145 UPS-1U への前面レールの固定	528	223.	2145 UPS バッテリーの取り外し	551
199.	2145 UPS-1U のフロント・パネルと背面パネル	529	224.	バッテリー・プレートの交換	556
200.	2145 UPS-1U のフロント・パネルの取り外し	530	225.	2145 UPS バッテリー保持ブラケットの再取り付け	557
201.	2145 UPS-1U の内部バッテリー・コネクタの切り離し	531	226.	2145 UPS のフロント・パネルの再取り付け	557
202.	2145 UPS-1U バッテリーの取り外し	531	227.	2145 UPS のサポート・レールのラックからの取り外し	558
203.	2145 UPS-1U バッテリーの交換	534	228.	2145 UPS 用サポート・レールのラックへの取り付け	560
204.	2145 無停電電源装置のフロント・パネル・アセンブリー	538	229.	SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 のハードウェアの分解図	564
205.	2145 無停電電源装置 (背面図)	538	230.	SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2での ATA ケーブルの誤った配置	587
			231.	SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2での ATA ケーブルの正しい配置	587

表

1. ファイバー・チャンネル表示の定義	15	18. エラー・ログのフラグの説明	124
2. キャッシュ LED の設定	32	19. エラー・ログ状況フラグの組み合わせについ て報告される状況	125
3. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4 と SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 ファイバー・チャンネル LED の設定	42	20. エラー・ログ・フラグのタイプの説明	125
4. システム・ボードのフィールド	96	21. アクションを指示したパネル LED の診断	357
5. プロセッサのフィールド	97	22. アクションを指示したパネル LED の診断	361
6. 各プロセッサに取り付けられたキャッシュご とに繰り返されるフィールド	97	23. アセンブリー 1: SAN ポリウム・コントロ ーラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリー	565
7. ファンのフィールド	97	24. フレーム・アセンブリーに組み込まれていな い品目	565
8. 取り付けられたメモリー・モジュールごとに繰 り返されるフィールド	97	25. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 サービス手順で参照されない FRU	566
9. 取り付けられたファイバー・チャンネル・アダプ ター・カードごとに繰り返されるフィールド	98	26. アセンブリー 2: SAN ポリウム・コントロ ーラー 2145-8F4 フレーム・アセンブリー	567
10. 取り付けられた SCSI および IDE デバイスご とに繰り返されるフィールド	98	27. フレーム・アセンブリーに組み込まれていな い品目	568
11. ノード・ソフトウェアに固有のフィールド	98	28. アセンブリー 3 SAN ポリウム・コントロ ーラー 2145-8F2 フレーム・アセンブリー	570
12. フロント・パネルで使用されるフィールド	98	29. フレーム・アセンブリーに組み込まれていな い品目	571
13. ノードに給電する UPS アセンブリーで使用さ れるフィールド	99	30. アセンブリー 4: SAN ポリウム・コントロ ーラー 2145-4F2	573
14. クラスターで使用されるフィールド	99	31. アセンブリー 5: 冗長 AC 電源スイッチ	576
15. ログ・エントリー・アイコンの説明	122	32. アセンブリー 6 2145 UPS-1U	576
16. エラー・ログのデータ・フィールドの説明	123	33. アセンブリー 7 2145 UPS	580
17. エラー・ログのオブジェクト・タイプおよび オブジェクト ID の説明	124		

本書について

本書では、IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラーを保守する方法について説明します。

以下の章では、SAN ボリューム・コントローラーおよび無停電電源装置 (UPS) を紹介し、SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアをインストールし保守する方法について説明します。重要製品データ (VPD) トピックでは、SAN ボリューム・コントローラーに含まれている各ハードウェアおよびマイクロコード・エレメントを一意的に定義する VPD について説明します。

また、フロント・パネルを使用して、1 つの SAN ボリューム・コントローラー・ノードまたはクラスターのノードの構成方法と状況チェック方法を知ることができます。この他に、SAN ボリューム・コントローラー、UPS、およびマスター・コンソールを使用した問題診断方法も知ることができます。

保守分析手順 (MAP) は、SAN ボリューム・コントローラーで発生した障害を分析する場合に役立ちます。MAP を使用すると、障害が起きた SAN ボリューム・コントローラーの FRU (現場交換可能) ユニットの特定することができます。すべての問題判別および修復手順は、「MAP 5000: 開始」から始めます。

また、SAN ボリューム・コントローラーおよび UPS の部品を取り外し、取り替えるステップバイステップ手順についても説明します。それらの部品は部品カタログに示されています。

本書の対象読者

本書の対象読者は、SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、無停電電源装置、およびマスター・コンソールの保守を担当する IBM 技術員です。

変更の要約

この変更の要約では、当リリースに追加された新規機能を示しています。

本書には、用語、メンテナンス、および編集上の変更が含まれています。本文または図表に対して技術的な変更または追加が行われている場合には、その個所の左側に縦線を引いて示してあります。

「SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド」 (GC88-4129-01) の変更の要約

以下の情報には、旧版 (SD88-6301-04) 以降に本書に対して行われた変更内容を記載してあります。

新規情報

このセクションには、本書に追加された新しい情報の一覧を記載してあります。

- SAN ボリューム・コントローラー・ハードウェアの更新。新規モデルは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 です。本書には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ハードウェアと保守手順について各種トピックの中で記載してあります。
- 稼働停止時間を減少させることができる、オプションの冗長 AC 電源スイッチ。
- SNMP トラップ、コール・ホーム E メール、およびインベントリー情報 E メールの受信者を指定する機能。
- ブート・コード 132 と 145。
- クラスター・エラー・コード
1011、1013、1030、1055、1089、1101、1106、1203、2500、3000、3001、および 3010。

変更情報

このセクションでは、本書で行われた更新を示しています。

- 新しい SAN ボリューム・コントローラー・モデル (SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4) があります。本書では、モデル番号別に SAN ボリューム・コントローラーを継続的に記載します。

注: 本文で「SAN ボリューム・コントローラー」と呼んでいる場合は、一般の SAN ボリューム・コントローラーを示し、すべての SAN ボリューム・コントローラーのモデルを指すことがあります。「SAN ボリューム・コントローラー」を「SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2」、「SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2」、「SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4」、または「SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4」と呼んでいる場合は、特定の SAN ボリューム・コントローラーを意味していません。

- 「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー インストール・ガイド*」はこれで「*IBM System Storage SAN Volume Controller: Hardware Installation Guide*」というタイトルになりました。
- 「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー 構成ガイド*」はこれで「*IBM System Storage SAN Volume Controller: Software Installation and Configuration Guide*」というタイトルになりました。
- 「*IBM System Storage マスター・コンソール for SAN ボリューム・コントローラー: Installation and User's Guide*」および「*IBM System Storage マスター・コンソール for SAN ボリューム・コントローラー Information Center*」は、最早、更新と配布は行われません。その代わりに、それらの情報単位からのすべての適切な情報が他の SAN ボリューム・コントローラーのマニュアルに組み込まれました。
- 2145 UPS-1U と 2145 UPS のシャットダウン操作の記述。
- ブート・コード 100、120、135、137、145、160、174、175、および 181。
- ノード・レスキュー・コード 310、320、330、340、および 345
- ノード・エラー・コード
510、511、513、514、515、520、540、564、570、576、578、および 580
- クラスターの作成コード 700

- クラスタ・エラー・コード
1010、1012、1014、1015、1016、1017、1018、1019、1020、
1025、1040、1044、1050、1054、1056、1057、1060、1065、
1070、1071、1076、1077、1080、1081、1090、1091、1092、
1093、1100、1105、1110、1145、1146、1400、1720、および 1920。

強調表示

本書では、強調を示すために異なる書体が使用されます。

次の書体は、強調を示すために使用されます。

太字体	太字体のテキストは、メニュー項目およびコマンド名を表します。
イタリック	イタリックのテキストは語を強調するために使用されます。コマンド構文では、イタリックは、ユーザーが実際の値を指定する変数に使用されます (例えば、デフォルト・ディレクトリー、クラスタ名など)。
モノスペース	モノスペースのテキストは、ユーザーが入力するデータまたはコマンド、コマンド出力のサンプル、プログラム・コードまたはシステムからの出力メッセージの例、あるいはコマンド・フラグ、パラメーター、引数、および名前/値ペアの名前を示します。

SAN ボリューム・コントローラーのライブラリーおよび関連資料

この製品に関連する他の資料のリストが、参照用に提供されています。

このセクションの表では、以下の資料をリストして説明しています。

- IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー用のライブラリーを構成している資料
- SAN ボリューム・コントローラーに関連するその他の IBM 資料

SAN ボリューム・コントローラーのライブラリー

以下の表では、SAN ボリューム・コントローラーのライブラリーを構成する資料をリストして、説明しています。特に注記がない限り、これらの資料は、以下の Web サイトで Adobe PDF ファイルとしてご利用いただけます。

<http://www.ibm.com/storage/support/2145>

タイトル	説明	オーダー番号
IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー CIM エージェント開発者のリファレンス	この資料は、Common Information Model (CIM) 環境におけるオブジェクトとクラスを説明しています。	SC88-4125

タイトル	説明	オーダー番号
<i>IBM System Storage SAN</i> ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェース・ユーザーズ・ガイド	この資料は、SAN ボリューム・コントローラーのコマンド行インターフェース (CLI) から使用できるコマンドを説明しています。	SC88-4126
<i>IBM System Storage SAN Volume Controller: Software Installation and Configuration Guide</i>	この資料は、SAN ボリューム・コントローラーの構成についてのガイドラインを提供しています。	SC23-6628
<i>IBM System Storage SAN</i> ボリューム・コントローラー ホスト・アタッチメント・ユーザーズ・ガイド	この資料は、SAN ボリューム・コントローラーを、ご使用のホスト・システムに接続するためのガイドラインを示しています。	SC88-4127
<i>IBM System Storage SAN Volume Controller: Hardware Installation Guide</i>	この資料には、SAN ボリューム・コントローラーのインストール時にIBM サービス担当員が使用する手順が記載されています。	GC27-2132
<i>IBM System Storage SAN</i> ボリューム・コントローラー 計画ガイド	この資料は、SAN ボリューム・コントローラーについて説明し、ご注文いただける機能をリストしています。また、SAN ボリューム・コントローラーのインストールと構成を計画する際のガイドラインを示しています。	GA88-4025
<i>IBM System Storage SAN</i> ボリューム・コントローラー サービス・ガイド	この資料には、SAN ボリューム・コントローラーの保守時にIBM サービス担当員が使用する手順が記載されています。	GC88-4129
<i>IBM Safety Information</i>	この資料には、取り扱い上の注意と危険に関する注釈が翻訳されて記載されています。SAN ボリューム・コントローラーの資料に記載された各注意と危険に関する注釈には番号が付いており、この番号を使用して、「 <i>IBM Safety Information</i> 」資料にある、お客様の言語での関連する注釈を探することができます。	N/A

その他の IBM 資料

以下の表では、SAN ポリューム・コントローラーに関連する追加情報が記載されているその他の IBM 資料をリストして、説明しています。

タイトル	説明	オーダー番号
<i>IBM System Storage</i> マルチパス・サブシステム・デバイス・ドライバー ユーザーズ・ガイド	このガイドでは、IBM System Storage マルチパス・サブシステム・デバイス・ドライバー・バージョン 1.6 (TotalStorage 製品用) を説明し、それを SAN ポリューム・コントローラーで使用方法を説明しています。この資料は、「マルチパス・サブシステム・デバイス・ドライバーのユーザーズ・ガイド」と略称されます。	SD88-6465
<i>IBM TotalStorage DS4300</i> ファイバー・チャンネル・ストレージ・サーバー インストールとユーザーのガイド	この資料には、IBM TotalStorage DS4300 ファイバー・チャンネル・ストレージ・サブシステムのインストールと構成方法が記載されています。	GD88-6578
<i>IBM eServer xSeries 306m (Types 8849 and 8491) Installation Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 306m のインストール方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-61615
<i>IBM xSeries 306m (Types 8849 and 8491) User's Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 306m の使用方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-61901
<i>IBM xSeries 306m (Types 8849 and 8491) Problem Determination and Service Guide</i>	この資料は、IBM eServer xSeries 306m に関するトラブルシューティングと問題解決に役立てることが出来ます。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-62594

タイトル	説明	オーダー番号
<i>IBM eServer xSeries 306 (Type 8836) Installation Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 306 のインストール方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-55080
<i>IBM eServer xSeries 306 (Type 8836) User's Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 306 の使用方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-55079
<i>IBM eServer xSeries 306 (Types 1878, 8489 and 8836) Hardware Maintenance Manual and Troubleshooting Guide</i>	この資料は、問題のトラブルシューティングと IBM eServer xSeries 306 の保守に役立てることができます。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-54820
<i>IBM eServer xSeries 305 (Type 8673) Installation Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 305 のインストール方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-44200
<i>IBM eServer xSeries 305 (Type 8673) User's Guide</i>	この資料には IBM eServer xSeries 305 の使用方法が記載されています。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-44199
<i>IBM eServer xSeries 305 (Type 8673) Hardware Maintenance Manual and Troubleshooting Guide</i>	この資料は、問題のトラブルシューティングと IBM eServer xSeries 305 の保守に役立てることができます。これはハードウェア・マスター・コンソールの一部のバージョンに対してお客様にお届けするハードウェアです。	MIGR-44094
<i>IBM TotalStorage 3534 Model F08 SAN Fibre Channel Switch User's Guide</i>	この資料には、IBM TotalStorage SAN スイッチ 3534 モデル F08 の概要が記載されています。	GD88-6235

タイトル	説明	オーダー番号
<i>IBM TotalStorage SAN Switch 2109 Model F16 User's Guide</i>	この資料には、IBM TotalStorage SAN スイッチ 2109 モデル F16 の概要が記載されています。	GC26-7439
<i>IBM TotalStorage SAN Switch 2109 Model F32 User's Guide</i>	この資料には、IBM TotalStorage SAN スイッチ 2109 モデル F32 の概要が記載されています。この資料にも、このスイッチのフィーチャーが記載されており、各フィーチャー情報の詳細はどこを探せばよいか分かります。	GC26-7517

一部の関連資料が、以下の SAN ボリューム・コントローラー・サポート Web サイトから入手可能です。

<http://www.ibm.com/storage/support/2145>

関連 Web サイト

以下の Web サイトは、SAN ボリューム・コントローラーまたは関連製品/テクノロジーに関する情報を提供します。

情報のタイプ	Web サイト
SAN ボリューム・コントローラー・サポート	http://www.ibm.com/storage/support/2145
IBM ストレージ製品に対する技術サポート	http://www.ibm.com/storage/support/

IBM 資料の注文方法

Publications Center は、IBM 製品の資料とマーケティング資料の世界ワイドの中央リポジトリです。

IBM Publications Center

IBM Publications Center では、お客様が必要としている資料の検索をヘルプする、カスタマイズされた検索機能を提供しています。資料によっては、無料で表示したり、あるいはダウンロードできるものもあります。資料は注文することもできます。Publications Center では、各国通貨で価格を表示しています。IBM Publications Center には、以下の Web サイトからアクセスできます。

<http://www.ibm.com/shop/publications/order/>

安全と環境に関する注記

SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、または無停電電源装置 (UPS) を使用する場合、「安全」がすべての人の関心事でなければなりません。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、サーバーあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

本書における注記

特別な注記を示すために使用している書体の規則を正しく理解してください。

SAN ボリューム・コントローラーの資料および「*IBM Safety Information*」資料に記載されている注記は、それらの内容に関する特定のガイドラインに従っています。

以下の注記は、特別な意味を伝えるためにこのライブラリー全体で使用されています。

注: この注記は、重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを示します。

重要: この注記は、プログラム、装置、またはデータに損傷をもたらす可能性を示します。「注意」の注記は、損傷が発生する可能性がある説明または状況の直前に記載してあります。

注意:

この注記は、人身に危険をもたらす可能性がある状況を示します。この注意表示は、潜在的に危険な手順ステップまたは状態の説明の前に表示されます。

危険

この注記は、致命的な危険をもたらす可能性がある、すなわち極めて危険な状況を示します。危険表示は、致命的または極度に有害となる恐れがある手順ステップまたは状態の説明の前に表示されます。

本書に記載された「重要」と「危険」の注記は、複数の言語で書かれた「*IBM Safety Information*」資料にも記載されています。各注記には参照用の番号が付けられており、「*IBM Safety Information*」資料にある番号と対応しています。

安全上の注意

安全上の注意を読んでから、この製品のインストールを行ってください。

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information** (安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

重要:

すべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、「*IBM Safety Information*」資料にある英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「*IBM Safety Information*」資料を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、SAN ボリューム・コントローラーあるいはオプション装置に追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全上の注意

安全 1:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の規則を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2:



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

以下のことは行わないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超えて熱する。
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3:



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には、以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

svc00334

安全 4:



svc00355

注意:

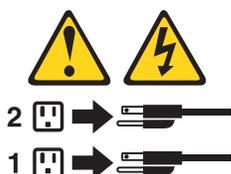
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全 5:



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6:



注意:

ラック・マウント装置の上部には何も置かないでください。ただし、ラック・マウント装置の使用目的が棚である場合はその限りではありません。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 :12



注意:

このラベルが貼られた近辺には表面が高温になる部品が存在します。



安全 26



注意:

ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



重要: この製品のコードまたはこの製品と共に販売されている付属品に関連したコードを取り扱っていると、鉛の危険にさらされることとなります。この物質は、カリフォルニア州において、癌、先天性欠損症、またはその他の生殖上の障害をもたらすことが知られています。取り扱った後は手を洗ってください。

ADVERTENCIA: El contacto con el cable de este producto o con cables de accesorios que se venden junto con este producto, pueden exponerle al plomo, un elemento químico que en el estado de California de los Estados Unidos está considerado como un causante de cancer y

de defectos congénitos, además de otros riesgos reproductivos.
Lávese las manos después de usar el producto.

安全 28



注意:

バッテリーは、リチウム・イオン・バッテリーです。爆発の可能性を回避するために、バッテリーを燃やさないでください。IBM 承認済み部品とのみ交換してください。バッテリーは、指示に従ってリサイクルまたは廃棄してください。アメリカ合衆国では、IBM はこのバッテリーの回収処理を行っています。これについては、**1-800-426-4333** に電話してください。電話する場合は、バッテリー装置の IBM 部品番号が分かるようにしておいてください。

一般的な安全性について

SAN ボリューム・コントローラー、または無停電電源装置を保守するときは、以下の一般安全指針に従います。

以下の一般規則を使用して、ユーザーおよび他者の安全を確実にします。

- 保守の最中および保守の後、マシンのある領域の整理整頓をしてください。
- 重いオブジェクトを持ち上げる時には、以下を行います。
 1. 滑らず安全に立つことができることを確認します。
 2. 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 3. ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。持ち上げる時に、急な移動あるいはねじったりは絶対にしないでください。
 4. 立ち上がることによって、または足の筋肉で押し上げることによって持ち上げます。この動作は、背中中の筋肉の負担を除去します。16 kg (35 lb) を超えるオブジェクト、またはユーザーが重過ぎると考えるオブジェクトを持ち上げないでください。
- お客様に危険をもたらすような、あるいは装置に危害を加えるような処置はしないでください。
- マシンを始動させる前に、別のサービス担当者とお客様の関係者が危険な場所にはいないことを確認してください。
- マシンの保守を行う間、取り外したカバーを安全な場所で、すべての関係者から離れた場所に置きます。
- ツール・ケースを歩行領域から遠ざけて、他の人がつまづかないようにします。
- 緩い服を着用しないでください。マシンの動いている部分に引っかかる可能性があります。そでは、必ずひじの上に留めておくか、捲り上げてください。髪が長い場合は、縛ってください。
- ネクタイまたはスカーフの端を服のなかに入れるか、非伝導クリップで端から約 8 cm (3 インチ) 留めます。
- 宝石、チェーン、金属フレームの眼鏡、または金属のファスナーが付いている服は着用しないでください。

要確認: 金属のオブジェクトは電気の伝導体に適しています。

- 以下を行う時には安全眼鏡を着用してください。ハンマーで打つ、ドリルはんだ付け、ワイヤーの切断、パネの取り付け、溶剤の使用、または目に危険があるような状態での作業。
- 保守の後には、すべての安全シールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーを再取り付けします。古くなっていたり障害のある安全装置は交換してください。
- マシンの保守が済んだら、すべてのカバーを正しく取り付けます。

電気安全

電気機器を扱うときにこれらの規則を遵守してください。

注意:

電源、電話、通信ケーブルからの電流は危険なものとなりえます。身体障害、または装置損傷を避けるために、取り付けおよび構成手順に指示されていないかぎり、接続された電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してから、マシンのカバーを開けてください。(26)

重要: 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。お客様の多くは、装置のそばに、静電気の放電を減らす小さな導電ファイバーを含むゴム製のフロア・マットをお持ちになっておられるでしょう。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。

- 部屋の緊急電源オフ (EPO) スイッチを見つけて、スイッチまたは電気コンセントを切り離してください。電気事故が発生した場合は、スイッチを操作するか、または電源コードのプラグを素早く抜きます。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 以下のアクティビティの前にすべての電源を切り離します。
 - 機械的検査の実行
 - 電源装置のそばでの作業
 - 主な装置の取り外しまたは取り付け
- マシンで作業を開始する前に、電源コードのプラグを抜きます。プラグを抜けない場合は、お客様に依頼して、マシンに電源を供給している電源ボックスの電源を切り、電源ボックスをオフ位置にロックします。
- 露出した電気回路を持つマシンで作業する場合は、以下の予防措置を遵守してください。
 - 電源オフ制御に慣れている別の人がそばにいることを確認してください。

要確認: 別の人は、必要な場合に、電源のスイッチを切るためにその場にいる必要があります。

- 電源オンした電気機器を扱うときは、1つの手のみを使用します。もう一方の手はポケットに入れておくか、後ろにしておきます。

要確認: 感電事故を起こす完全な回路があるはずですが、上記の規則を遵守することにより、電流が体を通過するのを防ぐことができます。

- テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用します。
- 適切なゴム製のマットの上に立ち (必要であれば、ローカルに取得)、金属フロア・ストリップおよびマシン・フレームといった接地からユーザーを絶縁します。

超高電圧を取り扱うときは、特別な安全予防措置を遵守してください。これらの指示は保守情報の安全セクションに記載されています。高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。

- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。
- 使い古されたり、壊れているツールおよびテスターを使用しないでください。
- 電源は回路から切り離されていると、決して想定しないでください。まず最初に、電源が切られていることを、確認してください。
- 作業域で起こりうる危険を常に注意してください。これらの危険の例は、湿ったフロア、接地されていない延長ケーブル、電源の過電流および安全接地の欠落などです。
- 電流の通じている回路にプラスチック・デンタル・ミラーの反射面で触らないでください。面は導電性があるので、触ると身体障害およびマシン損傷を引き起こす可能性があります。
- 以下の部品を、マシンの通常の操作場所から取り外す時、電源オンにしたまま保守しないでください。(この実践は装置の接地を確実にします。)
 - 電源機構 (パワー・サプライ) 装置
 - ポンプ
 - 送風器およびファン
 - モーター・ジェネレーター
 - および類似の装置
- 電気事故が起こった場合:
 - 用心して、ユーザー自身が被害にあわないようにしましょう。
 - 電源をオフに切り替えます。
 - 別の人を医療補助を呼びに行かせます。

SAN ボリューム・コントローラーの危険な状態の検査

安全検査でカバーされていない潜在的な安全上の危険がある状況で作業する時は、注意してください。危険な状態がある場合は、その危険の重大性を判別し、問題点を訂正せずに続行してよいかどうか判断してください。

安全の検査を開始する前に、電源がオフになっており、電源コードが取り外されていることを確認してください。

各マシンには、ユーザーと IBM サービス技術員を傷害から保護するために必要な安全順守事項があります。このガイドはそれらのアイテムのみを対象としています。

重要: また、この検査ガイドで網羅されていない IBM 以外のフィーチャーまたはオプションの接続による潜在的な安全性の危険についても、慎重に判断する必要があります。

危険な状態がある場合は、まずその危険の重大性を判別し、問題点を訂正せずに続行してよいかどうか判断してください。例えば、以下の条件と、それらに潜在的な安全上の危険について考慮してください。

電気的な危険 (特に 1 次電源)

フレームの 1 次電圧は、重大あるいは致命的な感電を引き起こすおそれがあります。

爆発の危険

CRT 面の損傷やコンデンサーの膨張によって重傷を負うことがあります。

機械的な危険

部品 (例えば、ナットおよびねじ) が緩んだり、あるいは欠落した場合は、重大な危害を起こすおそれがあります。

各 SAN ポリウム・コントローラーのノードの危険状態を検査するために、以下のステップを実行します。必要な場合は、適切な安全関連資料を参照してください。

1. SAN ポリウム・コントローラーをオフにし、電源コードを取り外します。
2. フレームの損傷 (緩み、破損、またはとがった端) があるかを検査します。
3. 以下のステップを実行して、電源ケーブルを検査します。
 - a. 3 ワイヤのアース・コネクタが良好な状態である。メーターを使用して、外部接地ピンとフレーム接地間の第 3 線接地導通が 0.1 ohm 以下であることを検査します。
 - b. 電源コードが、パーツ・リストに指定されている適切なタイプである。
 - c. 絶縁の磨耗や損傷がないことを確認する。
4. マシンの内部および外部に、明らかな標準外変更がないか確認します。この種の変更の安全に関する正当な判断を使用してください。
5. SAN ポリウム・コントローラーの内部に、明らかに危険な状態がないこと、例えば、金属くず、汚染物質、水などの流体、オーバーヒート、火、煙などの兆候がないことを確認します。
6. ケーブルの磨耗、損傷、または縮みを検査します。
7. 製品情報ラベルで指定された電圧が、電源コンセントの指定電圧と一致しているか確認します。必要な場合は、電圧を調べます。
8. 電源機構 (パワー・サプライ) アセンブリーを検査して、電源機構装置のカバーの締め具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、あるいは乱れていないか確認します。
9. SAN ポリウム・コントローラーを SAN に接続する前に、接地を検査します。

関連タスク

xxx ページの『SAN ポリウム・コントローラー、UPS、および冗長 AC 電源スイッチのアースのチェック』

SAN ポリウム・コントローラー、無停電電源装置 (UPS)、およびオプションの冗長 AC 電源機構のアースをチェックする方法を、必ず理解してください。

外部マシン・チェック

SAN ボリューム・コントローラー を取り付ける前に、外部マシン・チェックを必ず行ってください。

外部マシン・チェックを行うには、次のステップを実行してください。

1. 外部カバーがすべて存在し、損傷していないことを確認します。
2. ラッチおよびちょうつがい、すべて正しい作動状態にあることを確認します。
3. SAN ボリューム・コントローラーがラック・キャビネットに取り付けられていない場合は、脚の緩みまたは損傷がないかを確認します。
4. 電源コードに損傷がないかを確認します。
5. 外部シグナル・ケーブルに損傷がないかを確認します。
6. カバーのとがった端、損傷、あるいはデバイスの内部部品を露出させる変更の有無を確認します。
7. 問題が見つかったら訂正します。

内部マシン・チェック

SAN ボリューム・コントローラー を取り付ける前に、内部マシン・チェックを必ず行ってください。

内部マシン・チェックを行うには、次のステップを実行してください。

1. マシンに加えられた可能性がある IBM 以外の変更の有無を確認します。変更がある場合は、IBM 営業所から「非 IBM 変更追加調査用紙」(書式番号 R009) を入手してください。フォームに記入して、営業所に送り返してください。
2. マシン内部の状態を確認して、金属その他の汚染物質、または水、その他の流動体、火または煙害の兆候の有無を調べます。
3. コンポーネントの緩みなどの、明らかな機械的問題の有無を確認します。
4. むき出しのケーブルおよびコネクタを確認して、磨耗、亀裂、または縮みの有無を調べます。

SAN ボリューム・コントローラー、UPS、および冗長 AC 電源スイッチのアースのチェック

SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置 (UPS)、およびオプションの冗長 AC 電源機構のアースをチェックする方法を、必ず理解してください。

すべての SAN ボリューム・コントローラー・モデルは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) とオプションの冗長 AC 電源スイッチを使用可能です。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 もまた、2145 UPS を使用可能です。

以下のステップを行って、SAN ボリューム・コントローラーのアースをテストします。お客様が使用とする SAN ボリューム・コントローラー構成用のステップに従います。ステップを開始する前に、SAN ボリューム・コントローラーのモデル・タイプ、UPS タイプ、および冗長 AC 電源を使用予定かどうか分かっていることを確認します。SAN ボリューム・コントローラーに接続されたシグナル・ケーブルの位置に注意してください。

アースの継続性のテストを要求された場合は、このテストを行うためのローカル・プロシージャを使用します。抵抗の測定値が 0.1 オーム以下であれば、このテスト結果は正常です。

重要: アース・テスト中に SAN ボリューム・コントローラー に外部シグナル・ケーブルが接続されている場合、電気回路に損傷が起こることがあります。

1. SAN ボリューム・コントローラー・ノードが電源オフ状態であることを確認してください。「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド*」に記載された MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを参照してください。
2. UPS が 2145 UPS の場合、UPS から電源供給されている他の SAN ボリューム・コントローラー・ノードが電源オフされます。
3. 電源ボタンを使用して UPS を電源オフします。
4. SAN ボリューム・コントローラー・ノードからすべてのシグナル・ケーブルを切り離します。このケーブルには以下を含みます。
 - ファイバー・チャネル・ケーブル
 - イーサネット・ケーブル
 - UPS に接続されたシリアル・ケーブル
5. UPS からすべてのシグナル・ケーブルを切り離します。この UPS が 2145 UPS の場合、複数のシグナル・ケーブルがある可能性があります。
6. この UPS が 2145 UPS の場合、SAN ボリューム・コントローラー・ノードに接続された電源ケーブルをすべて切り離します。ただし、テスト対象のケーブルは切り離さないでください。
7. 冗長 AC 電源を使用していない場合は、設置場所の電力配分装置から UPS 電源ケーブルを切り離します。
8. 冗長 AC 電源を使用している場合は、冗長 AC 電源スイッチから給電対象となるすべての SAN ボリューム・コントローラーを電源オフし、このシステムへの電源ケーブルを冗長 AC 電源スイッチから取り外します。
9. 冗長 AC 電源を使用している場合、設置場所の電力配分装置から**両方**の入力電源リードを外します。
10. 冗長 AC 電源を使用していない場合は、SAN ボリューム・コントローラー・フレーム上の導電領域と UPS 入力電源ケーブルのプラグ上のアース・ピンとの間のアース連続性をテストします。
11. 冗長 AC 電源を使用している場合は、SAN ボリューム・コントローラー・フレーム上の導電領域と冗長 AC 電源スイッチの主電源ケーブルのプラグ上にあるアース・ピンとの間のアース連続性をテストします。このテストが正常に完了した場合は、SAN ボリューム・コントローラー・フレーム上の導電領域と冗長 AC 電源スイッチのバックアップ電源ケーブルのプラグ上にあるアース・ピンとの間のアース連続性をテストします。両方のテストが正常に完了する必要があります。
12. アース連続性のテスト完了後は、以下の手順のいずれかを行います。どちらを行うかはテスト結果により異なります。
 - テストが正常完了している場合、切り離してあったすべてのケーブルを再接続し、電源オフされていたすべての UPS および各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードを電源オンします。

- テストが正常に完了しなかった場合、すべてのケーブルが確実に接続されていることを確認します。このテストが依然として失敗に終わる場合は、個々のシステム・コンポーネントをテストします。個々のコンポーネントをテストする前に、各コンポーネントからすべてのケーブルを切り離します。どのコンポーネント・テストも失敗に終わる場合、そのコンポーネントを交換します。各コンポーネントのテストが完了し、障害のあるコンポーネントの交換が完了した後で、ステップ 1 (xxxii ページ) に戻って完全なシステムのテストを繰り返します。各コンポーネントは以下の順序でテストします。
 - a. SAN ポリウム・コントローラー・ノードは、このフレームから入力電源コンセントのアース・ピンまで。
 - b. UPS は、入力電源コンセントのアース・ピンから出力電源コンセントのアース伝導体まで。
 - c. 冗長 AC 電源スイッチ (使用されている場合) は、メイン入力電源コンセントのアース・ピンから出力電源コンセントのアース伝導体まで、およびバックアップ入力電源コンセントのアース・ピンから出力電源コンセントのアース伝導体まで。
 - d. SAN ポリウム・コントローラー・ノードから UPS 電源ケーブル・アセンブリー (電源ケーブルの 2 つのアース伝導体の間)。
 - e. UPS 入力電源ケーブル (電源ケーブルの 2 つのアース伝導体の間)。
 - f. 冗長 AC 電源スイッチのメイン入力電源ケーブル (使用されている場合) で、ケーブルの 2 つのアース伝導体の間。
 - g. 冗長 AC 電源スイッチのバックアップ入力電源ケーブル (使用されている場合) で、このケーブルの 2 つのアース伝導体の間。

危険な状態についての UPS の検査

無停電電源装置 (UPS) の危険な状態を検査するための時間を設けてください。

以下の条件と、それらに潜在的な安全上の危険について考慮してください。

電気的な危険 (特に 1 次電源)

フレームの 1 次電圧は、重大あるいは致命的な感電を引き起こすおそれがあります。

爆発の危険

膨張したコンデンサーは、重大な危害を起こすおそれがあります。

機械的な危険

部品 (例えば、ナットおよびねじ) が緩んだり、あるいは欠落した場合は、重大な危害を起こすおそれがあります。

安全検査でカバーされていない潜在的な安全上の危険がある場所で作業する時は、注意してください。危険な状態がある場合は、その危険の重大性を判別し、問題点を訂正せずに続行してよいかどうか判断してください。

次の検査チェックリストをガイドにして、UPS の危険な状態を検査します。必要な場合は、適切な安全関連資料を参照してください。

1. 配送中に損傷を受けた装置がある場合は、梱包とパッキング材料をとっておきます。
2. 出荷による損傷に関する請求を提起するには、以下のステップを実行します。

- a. 機器を受け取ってから 15 日以内に、運送会社に請求を提起する。
- b. 15 日以内に保守サポート担当者に損傷に関する請求のコピーを送付する。

無停電電源装置の要件

無停電電源装置 (UPS) の要件に準じていることを確認します。

次に、2145 UPS の要件について説明します。

- UPS は、それぞれ別々の分岐回路に接続してください。
- UPS に電源を供給する分岐回路ごとに、UL にリストされた 15 A 回路ブレーカーを取り付ける必要があります。
- UPS に供給される電圧は、200-240 V 単相にする必要があります。
- 供給される周波数は 50 または 60 Hz でなければなりません。

次に、2145 UPS-1U の要件について説明します。

- 2145 UPS-1U に供給される電圧は、200-240 V 単相にする必要があります。
- 供給される周波数は 50 または 60 Hz でなければなりません。

2145 UPS-1U は集積回路ブレーカーを備えており、外部保護を必要としないことに注意してください。

注: UPS を別の UPS からカスケード接続する場合、ソース UPS は 1 相につき少なくとも 3 倍の電気容量を持ち、合計高調波ひずみは 5 % 未満でなければなりません。さらに、UPS は、3 Hz/秒以下のスルー・レートの入力電圧キャプチャー機能を備えていなければなりません。

緊急パワーオフ・シャットダウン

SAN ボリューム・コントローラーおよび各無停電電源装置 (UPS) は、緊急パワーオフ (EPO) シャットダウンをサポートします。

室内 EPO シャットダウンが起きた場合、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) は入力電源が切れたことを検出します。この電源が切れたことは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 にレポートされます。これにより、UPS のシャットダウン処理を 5 分以内に完了させます。

重要: 2145 UPS パワーオフ・シャットダウンは、通常、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が制御します。EPO イベントが発生した場合で、ただし、2145 UPS がパワーオン済みのために SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノード (2145 UPS に接続) のパワーオンが完了していた場合、UPS からの出力電力を除去する必要があります。これを行うには、2145 UPS のフロント・パネル上のオフ・ボタンを最低 4 秒間押したままの状態にします。

SAN ボリューム・コントローラー上の安全ラベルの確認

SAN ボリューム・コントローラーの取り付け、使用、または保守を行う前に、安全ラベルの内容を理解している必要があります。

1. 次のような SAN ボリューム・コントローラー用のラベルを見つけてください。
 - SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の認証機関/定格ラベル

- San Jose, CA USA で認証

 <p>Assembled in the US of US and non-US components Product certified in San Jose, CA USA</p> <p>Marca Registrada ©Registered Trademark of International Business Machines Corporation</p> <p>型号Type : 2145-8G4 额定电压 : 200-240 V~ 额定电流 : 3.5 A 额定频率 : 50/60 Hz</p> <p>Copyright Code and Parts Contained Herein. ©Copyright IBM Corp. 2007 All Rights Reserved.</p>	<p>Product certified in San Jose, CA USA SAN控制器 網路儲存容量控制器 美国制造</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p> <p>廢電池請回收</p> <p>Label PN 31P0841</p> <p>UL LISTED I.T.E. Equip. 167G CE R33026 MIC PG ME01 AR S</p>
--	---	---

svc00280

- Vac, ハンガリーで認証

 <p>Product certified in Vac, Hungary Made in Hungary SAN控制器 網路儲存容量控制器 匈牙利制造</p> <p>型号Type : 2145-8G4 额定电压 : 200-240 V~ 额定电流 : 3.5 A 额定频率 : 50/60 Hz</p> <p>Copyright Code and Parts Contained Herein. ©Copyright IBM Corp. 2007 All Rights Reserved.</p>	<p>Product certified in Vac, Hungary Made in Hungary SAN控制器 網路儲存容量控制器 匈牙利制造</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p> <p>廢電池請回收</p> <p>Label PN 31P0838</p> <p>UL LISTED I.T.E. Equip. 167G CE R33026 MIC PG ME01 AR S</p>
--	--	---

svc00279

• SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の認証機関/定格ラベル

 <p>©Registered Trademark of International Business Machines Corporation</p> <p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>PN 31P0805</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p> <p>廢電池請回收</p> <p>Label PN 31P0805</p> <p>UL LISTED I.T.E. Equip. 167G CE R33026 MIC PG ME01 AR S</p>
--	---	---

svc00207

• SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の認証機関/定格ラベル

 <p>©Registered Trademark of International Business Machines Corporation</p> <p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>PN 64P8160</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p>	<p>Apparaten skall anslutas till jordat uttag Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan</p> <p>This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A</p> <p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>EU Only</p> <p>廢電池請回收</p> <p>Label PN 64P8160</p> <p>UL LISTED I.T.E. Equip. 167G CE R33026 MIC PG ME01 AR S</p>
--	---	---

• SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の認証機関/定格ラベル

<p>MACHINE TYPE 2145</p> <p>MODEL: ■ 4F2</p> <p>RATING: ■ 100-240V . ~ 50/60Hz 3.5-1.75A</p> <p>P/N 64P7837 xx</p>	<p>IBM® SAN JOSE CA, USA</p> <p>© Registered Trademark of International Business Machines Corporation IBM Canada Ltd. Registered User</p> <p>本契約で提供される機械は、新部品のみ、または、新部品と再製部品の組み合わせにより製造されています。</p> <p>Marca Registrada CANADA ICES/NMB-003 Class/Classe (A)</p> <p>This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>MIC E-0019-00-3904(A) PC M01 LR3407MC IEC 60950 C US CE NOM-018</p>	<p>R33026</p> <p>警告使用者: 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p> <p>この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A</p>
--	---	---

• ユーザー・アクセス禁止ラベル



• クラス 1 レーザー・ラベル



Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

svc00334

2. 先へ進む前に、これらのラベルの内容を確認してください。

冗長 AC 電源スイッチ上のラベルの確認

冗長 AC 電源スイッチの取り付け、使用、または保守を行う前に、安全ラベルの内容を理解している必要があります。

冗長 AC 電源スイッチ上の次のようなラベルを見つけてください。

• 認証機関ラベル

<p>Manufactured for</p>  <p>© Registered Trademark of international Business Machines Corporation Marca Registrada</p> <p>This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.</p> <p>警告使用者: 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p>	<p>BY DELTA ELECTRONICS, INC. 3,Tung Yuan Road, Chungli Industrial Zone Taoyuan Shien, Taiwan, R.O.C.</p>	<p>IBM P/N: 95P5083 IBM Option P/N (Cordless Version): 37L6863 Model: Dual Line Cord PDU IBM FRU P/Ns – Unit Only: 95P5083 Hardware Kit Only: 09N9671 MFG DATE:XXXX Manufacturer S/N:YMD001 MADE IN CHINA</p>
---	---	--


 NRTL/C

 11S95P5083ZN10H0YMD001

svc00316

• 二重電源コード警告ラベル




2





Apparaten skall anslutas till jordat uttag när den ansluts till ett nätverk.

WARNING

This unit can have more than one power supply cord. To de-energize the internal circuitry, you must disconnect all power supply cords.

P/N 37L0025

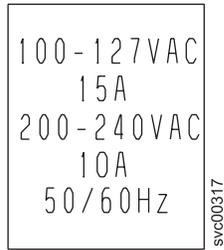
svc00312

• ユーザー・アクセス禁止ラベル

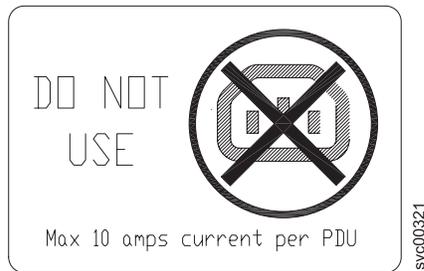



svc00313

• 入力定格ラベル



- 出力ポート警告ラベル



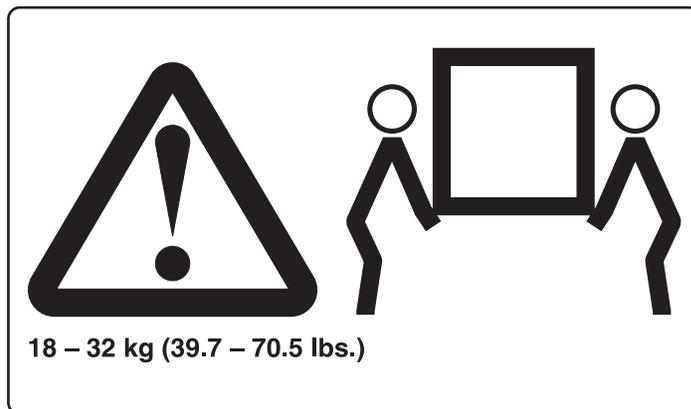
UPS の外側のラベルの確認

無停電電源装置 (UPS) の取り付け、使用、または保守を行う前に、安全ラベルの内容を理解している必要があります。

2145 UPS-1U のラベルの確認

先へ進む前に、以下の 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のラベルをそれぞれ見つけて、内容を理解しておく必要があります。

- 2 人での持ち上げラベル



- 安全ラベル

ENTHÄLT GESCHLOSSENE BLEIBATTERIE. MUß DRÜCKUNGSGEMÄß ENTSORGT WERDEN.
CONTAINS SEALED LEAD BATTERY. MUST BE DISPOSED OF PROPERLY.

NOTICE: THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS: (1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRABLE OPERATION. COMPLIES WITH ICES-003. SEE MANUAL FOR DETAILS. CONFORME AUX NORMES ICES-003. VOIR LE MANUEL D'INSTRUCTIONS.

CAUTION: RISK OF ELECTRIC SHOCK. HAZARDOUS LIVE PARTS INSIDE THIS UPS ARE ENERGIZED FROM THE BATTERY SUPPLY EVEN WHEN THE INPUT AC POWER IS DISCONNECTED. RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT REMOVE COVER. NO USER SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL. FOR USE IN A CONTROLLED ENVIRONMENT.

ATTENTION: EN CAS D'UTILISATION EN ATMOSPHÈRE CONTRÔLÉE, CONSULTER LA NOTICE TECHNIQUE. RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE. NE PAS ÔTER LES PANNEAUX DE PROTECTION. CET APPAREIL DOIT ÊTRE RÉPARÉ PAR UN SPÉCIALISTE AGRÉÉ.

ÜBERLASTSCHUTZ DRÜCKEN ZUM RÜCKSETZEN
OVERLOAD PROTECTOR PUSH TO RESET

Network Protection Netzwerk Schutz
IN/Eingang OUT/Ausgang

COMM PORT 1 2

SIN LABEL
INTENDED FOR COMPUTER TYPE LOADS.
LOAD 1 LOAD 2
OUTPUT

U.S. Patent NO: #6,094,363 612-17114-00

For proper selection of the power-supply cord see the user's manual.

- 電源出力警告ラベル

ATTENTION

CONNECT ONLY IBM SAN VOLUME CONTROLLERS TO THESE OUTLETS. SEE SAN VOLUME CONTROLLER INSTALLATION GUIDE.

[4.2]

138425766-002 SER-REV

- 認証機関ラベル

EC: G41049
IBM Model: 2145UPS-1U
P31P0875
Input~: 220/230/240V, 50/60Hz,
4.1/4/3.7A, 1 φ
Output~: 220/230/240V, 50/60Hz
3.4/3.3/3.1A, 1 φ
750VA/520W
2007-04-02
Made in China- U1407

c UL us
LISTED
77K4 E99849
U.P.S.

CE

N869

TÜV Rheinland GS

- 中華人民共和国の EIP マーク - 5 年



- 台湾代理店ラベル

不斷電式電源供應器

型號: **2145UPS -1U**

輸入: **220/230/240Vac, 50/60Hz**
4.1/4/3.7A, 1φ

輸出: **220/230/240Vac, 50/60Hz**
3.4/3.3/3.1A, 1φ
750VA/520W

 **R31183**

警告使用者:
這是甲類的資訊產品, 在居住的環境中使用時,
可能會造成射頻干擾, 在這種情況下, 使用者
被要求採取某些適當的對策。

svc00326

- IT 互換性ラベル



- UPS または UPS バッテリーをごみとして廃棄しないでください。

注: UPS には、リサイクルが必要な密閉された鉛酸バッテリーが含まれている場合があります。



2145 UPS のラベルの確認

以下の 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のラベルをそれぞれ見つけて、内容を理解しておく必要があります。

- 認証機関ラベル

EC: H80784
 IBM Model: 2145UPS
 P64P8103
 SNYM1000YMDXXX [4.4]

Input ~ :
 200-240V, 50/60Hz
 16A MAX

Input  : 120V, 30A

Output ~ :
 200-240V, 50/60Hz
 15A MAX
 3000VA/2700W

Made in Mexico - TWWYY [4.11]


 LISTED
 UPS
 33C0
 E82662


 NOM NYCE

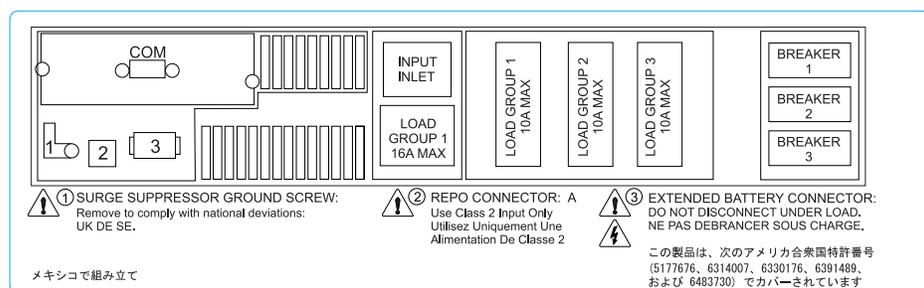





svc00149

• 背面パネル構成ラベル

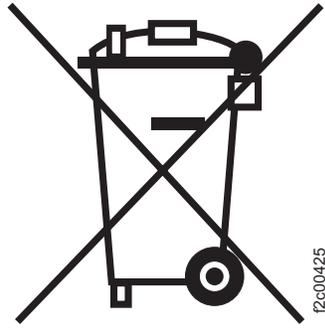
注: このラベルは、SAN ボリューム・コントローラーの電源機構のカバーに貼ってあります。



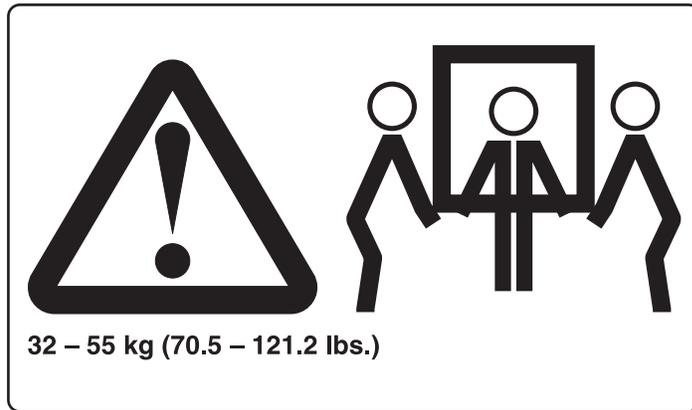
• UPS または UPS バッテリーをごみとして廃棄しないでください。

注:

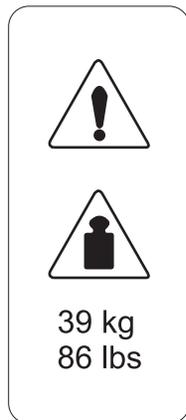
- UPS には、リサイクルが必要な密閉された鉛酸バッテリーが含まれている場合があります。
- 既に取り付け済みの 2145 UPS 装置をお持ちの場合、ラベル付け要件の変更のため、このラベルが UPS の外側に貼り付けられていないことがあります。



- 3 人での持ち上げラベル



- 重量ラベル



- IT 互換性ラベル



- 電源定格およびユーザー・アクセス禁止ラベル



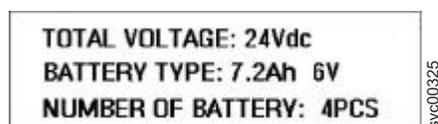
UPS のバッテリー上のラベルの確認

無停電電源装置 (UPS) のバッテリーの取り付け、使用、または保守を行う前に、安全ラベルの内容を理解している必要があります。

2145 UPS-1U のバッテリー・ラベルの確認

次のような 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のバッテリー用ラベルを見つけてください。

- バッテリー定格ラベル



- バッテリー安全ラベル

CAUTION:

- .The lead acid battery may cause chemical hazard.
- .The battery presents a risk of electric shock and energy hazard.
- .For disposal instructions for the battery, see user's manual.

ACHTUNG:

- .die Blei-Akkumulatoren können bei unsachgemäßer Handhabung chemische Gefahren hervorrufen.
- .die Batterie birgt eine Gefahr eines elektrischen Schlages und sehr hoher Kurzschlußströme.
- .Entsorgungsanleitungen für die Batterien, siehe Bedienungsanleitung.

09471

svc00329

- 感電

CAUTION: Risk of electric shock. Battery supply circuit is grounded. Refer to user's manual before working on batteries.

09488

svc00330

- 中華人民共和国の EIP マーク - 5 年



- UPS または UPS バッテリーをごみとして廃棄しないでください。

注: UPS には、リサイクルが必要な密閉された鉛酸バッテリーが含まれている場合があります。



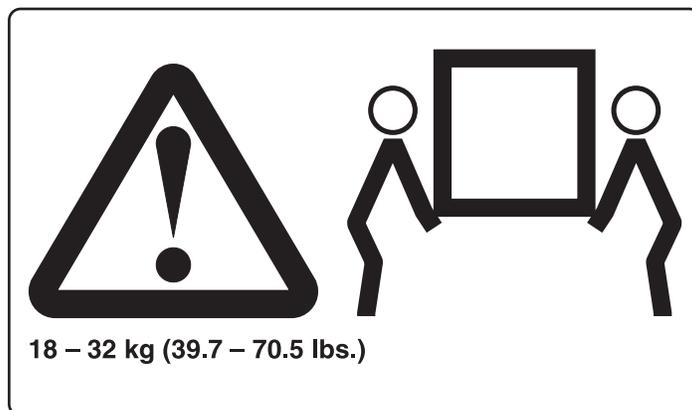
- リサイクル・ラベル



2145 UPS のバッテリー・ラベルの確認

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリー・ラベルを見つけて、理解できることを確認してください。

- 2 人での持ち上げラベル



- UPS または UPS バッテリーをごみとして廃棄しないでください。

注: UPS には、リサイクルが必要な密閉された鉛酸バッテリーが含まれている場合があります。



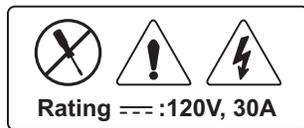
- リサイクル・ラベル



- 重量ラベル



• 電源定格およびユーザー・アクセス禁止ラベル



• バッテリー表面プレート・ラベル

注: 表面プレートを見るには、フロント・パネルを取り外す必要があります。

<p>CAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> For use in controlled environment Manutentione control Qualificat—er personal ONLY <p>Pas p!:</p> <ul style="list-style-type: none"> T! brug i et kontrolert miljø Manutentione kontrol KUN uddannede serviceteknikere <p>PRECAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> Para utilizar em um ambiente controlado Mais de um circuito ativo SOLO personal de servicio calificado <p>Verhoor:</p> <ul style="list-style-type: none"> Alykyl l!ke laatuksa valvotussa ymp!r!st!ss!. Identifikaatti ymp!r!st!ss! ja energian k!n!n p!i. VAIN valtuutetut huoltohenkil!st!t! <p>ATTENTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> !t utiliser dans un environnement sous surveillance Maintenance sous surveillance obligatoire Personnel de maintenance qualifi! UNQUMENT <p>POZOR:</p> <ul style="list-style-type: none"> Nur in einer kontrollierten Umgebung Manutenz unter Spannung obligatorisch Ausbildung nur durch Fachpersonal 	<p>تحذير:</p> <ul style="list-style-type: none"> للإستخدام في بيئة التحكم أكثر من دائرة واحدة فقط من الفنيين المؤهلين <p>قيد:</p> <ul style="list-style-type: none"> فقط في بيئة محكمة تحت إشراف فقط الفنيين المؤهلين <p>PRECAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> Para utilizar em um ambiente controlado Mais de um circuito ativo SOLO personal de servicio calificado <p>Verhoor:</p> <ul style="list-style-type: none"> Alykyl l!ke laatuksa valvotussa ymp!r!st!ss!. Identifikaatti ymp!r!st!ss! ja energian k!n!n p!i. VAIN valtuutetut huoltohenkil!st!t! <p>ATTENTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> !t utiliser dans un environnement sous surveillance Maintenance sous surveillance obligatoire Personnel de maintenance qualifi! UNQUMENT <p>POZOR:</p> <ul style="list-style-type: none"> Nur in einer kontrollierten Umgebung Manutenz unter Spannung obligatorisch Ausbildung nur durch Fachpersonal 	<p>CAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> For use in controlled environment Manutentione control Qualificat—er personal ONLY <p>Pas p!:</p> <ul style="list-style-type: none"> T! brug i et kontrolert miljø Manutentione kontrol KUN uddannede serviceteknikere <p>PRECAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> Para utilizar em um ambiente controlado Mais de um circuito ativo SOLO personal de servicio calificado <p>Verhoor:</p> <ul style="list-style-type: none"> Alykyl l!ke laatuksa valvotussa ymp!r!st!ss!. Identifikaatti ymp!r!st!ss! ja energian k!n!n p!i. VAIN valtuutetut huoltohenkil!st!t! <p>ATTENTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> !t utiliser dans un environnement sous surveillance Maintenance sous surveillance obligatoire Personnel de maintenance qualifi! UNQUMENT <p>POZOR:</p> <ul style="list-style-type: none"> Nur in einer kontrollierten Umgebung Manutenz unter Spannung obligatorisch Ausbildung nur durch Fachpersonal 	<p>CAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> For use in controlled environment Manutentione control Qualificat—er personal ONLY <p>Pas p!:</p> <ul style="list-style-type: none"> T! brug i et kontrolert miljø Manutentione kontrol KUN uddannede serviceteknikere <p>PRECAUTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> Para utilizar em um ambiente controlado Mais de um circuito ativo SOLO personal de servicio calificado <p>Verhoor:</p> <ul style="list-style-type: none"> Alykyl l!ke laatuksa valvotussa ymp!r!st!ss!. Identifikaatti ymp!r!st!ss! ja energian k!n!n p!i. VAIN valtuutetut huoltohenkil!st!t! <p>ATTENTION:</p> <ul style="list-style-type: none"> !t utiliser dans un environnement sous surveillance Maintenance sous surveillance obligatoire Personnel de maintenance qualifi! UNQUMENT <p>POZOR:</p> <ul style="list-style-type: none"> Nur in einer kontrollierten Umgebung Manutenz unter Spannung obligatorisch Ausbildung nur durch Fachpersonal
--	--	--	--

環境上の注意表示およびステートメント

環境上の注意事項および記述をよく理解しておいてください。

以下のトピックでは、この製品に適用できる環境上の注記およびステートメントについて説明します。

製品のリサイクル

リサイクル可能な製品の材料について認識しておいてください。

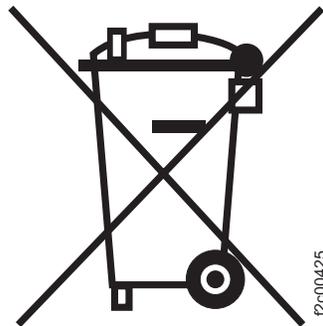
この装置は、お客様の地域または国で適用される規制に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。IBM では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。IBM は、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、いくつかの国

においてさまざまな回収プログラムとサービスを提供しています。IBM 製品に関するリサイクルのオファリングについては、次の IBM インターネット・サイトを参照してください。

<http://www.ibm.com/ibm/environment/products/prp.shtml>

Esta unidad debe reciclarse o desecharse de acuerdo con lo establecido en la normativa nacional o local aplicable. IBM recomienda a los propietarios de equipos de tecnología de la información (TI) que reciclen responsablemente sus equipos cuando éstos ya no les sean útiles. IBM dispone de una serie de programas y servicios de devolución de productos en varios países, a fin de ayudar a los propietarios de equipos a reciclar sus productos de TI. Se puede encontrar información sobre las ofertas de reciclado de productos de IBM en el sitio web de IBM.

<http://www.ibm.com/ibm/environment/products/prp.shtml>



注:

WEEE マークは EU 諸国とノルウェーにのみ適用されます。

この機器には、EU 諸国に対する廃電気電子機器指令 2002/96/EC (WEEE) のラベルが貼られています。この指令は、EU 諸国に適用する使用済み機器の回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルは、使用済みになった時に指令に従って適正な処理をする必要があることを知らせるために種々の製品に貼られています。

欧州 WEEE 指令に沿って、寿命がきた電気/電子機器 (EEE) は分別回収され再利用、リサイクル、あるいは再生されます。WEEE 指令の付則 (Annex) IV 規則によりマークされた電気/電子機器 (EEE) の使用者は、使用済みの電気・電子機器を地方自治体の無分別ゴミとして廃棄することは許されず、機器に含まれる有害物質が環境や人体へ与える悪影響を最小に抑えるためにお客様が利用可能な廃電気・電子機器の返却、リサイクル、あるいは再生のための回収方法を利用しなければなりません。電気/電子機器に含まれている可能性のある有害物質が、環境や人間の健康に与える影響を最小化することにお客様が参加することは重要です。適切な回収方法や処理方法の詳細については IBM 担当員にお問い合わせください。

注意: このマークは EU 諸国およびノルウェーにおいてのみ適用されます。

この機器には、EU 諸国に対する廃電気電子機器指令 2002/96/EC(WEEE) のラベルが貼られています。この指令は、EU 諸国に適用する使用済み機器の回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルは、使用済みになった時に指令に従って適正な処理をする必要があることを知らせるために種々の製品に貼られています。

Remarque : Cette marque s'applique uniquement aux pays de l'Union Européenne et à la Norvège.

L'étiquette du système respecte la Directive européenne 2002/96/EC en matière de Déchets des Equipements Electriques et Electroniques (DEEE), qui détermine les dispositions de retour et de recyclage applicables aux systèmes utilisés à travers l'Union européenne. Conformément à la directive, ladite étiquette précise que le produit sur lequel elle est apposée ne doit pas être jeté mais être récupéré en fin de vie.

製品の廃棄

SAN ポリウム・コントローラーの特定の部品の適切な廃棄方法を理解しておいてください。

この装置には、バッテリーが入っている場合があります。これらのバッテリーは取り外して廃棄するか、地方自治体の規定に従ってリサイクルしてください。

バッテリーの廃棄

バッテリーの廃棄に際して取るべき予防措置をしっかりと理解してください。

この製品には、密封された鉛酸、ニッケル・カドミウム、ニッケル水素、リチウム、およびリチウム・イオン・バッテリーが含まれている場合があります。特定のバッテリー情報については、お手元のユーザー・マニュアルまたはサービス・マニュアルを参照してください。バッテリーは、正しくリサイクルするか廃棄する必要があります。リサイクル施設がお客様の地域にない場合があります。米国以外の国におけるバッテリーの廃棄については、お客様の地域の廃棄物処理施設に問い合わせてください。あるいは、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/ibm/environment/products/batteryrecycle.shtml>

米国では、IBM は、IBM 装置からの使用済みの IBM の密封された鉛酸バッテリー・パック、ニッケル・カドミウム・バッテリー・パック、ニッケル水素バッテリー・パック、その他のバッテリー・パックの再利用、リサイクル、または適切な廃棄のための回収プロセスを確立してあります。これらのバッテリーの正しい廃棄については、IBM 1-800-426-4333 にお問い合わせください。お問い合わせの前に、バッテリー上に記載されている IBM 部品番号をご用意ください。

注意:

リチウム・バッテリーは、発火、爆発、大きなやけどなどの原因になることがあります。再充電、分解、100°C (212°F) を超える加熱、セルへの直接のはんだ付け、焼却を行ってはなりません。また、セル内部を水でぬらしてはなりません。子供の手の届くところに置かないでください。交換する場合は、ご使用のシステム用に指定されている部品番号のものだけを使ってください。別のバッテリーを使うと火事や爆発を起こすおそれがあります。バッテリー・コネクタは分極されています。極性を逆にしないでください。バッテリーは地方自治体の規定に従って処分してください。(51)

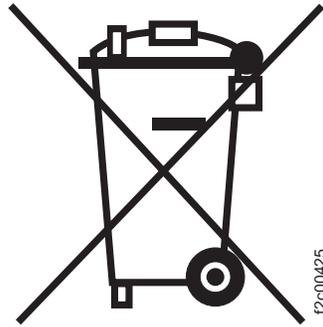
Taiwan の場合:



バッテリーをリサイクルしてください

廢電池請回收

EU の場合:



注: WEEE マークは EU 諸国にのみ適用されます。

バッテリーとバッテリー用パッケージには、EU 諸国に対するバッテリーとアキュムレーター、および使用済みのバッテリーとアキュムレーターに関する電子機器指令 2002/96/EC のラベルが貼られています。この指令は、EU 諸国に適用する使用済みのバッテリーとアキュムレーターの回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルは種々のバッテリーに貼られており、使用済み時点でこのバッテリーは廃棄せずに、この指令に従って適正な処理が必要であることを知らせます。

Les batteries ou emballages pour batteries sont étiquetés conformément aux directives européennes 2006/66/EC, norme relative aux batteries et accumulateurs en usage et aux batteries et accumulateurs usés. Les directives déterminent la marche à suivre en vigueur dans l'Union Européenne pour le retour et le recyclage des batteries et accumulateurs usés. Cette étiquette est appliquée sur diverses batteries pour indiquer que la batterie ne doit pas être mise au rebut mais plutôt récupérée en fin de cycle de vie selon cette norme.

バッテリーあるいはバッテリー用のパッケージには、EU 諸国に対する廃電気電子機器指令 2006/66/EC のラベルが貼られています。この指令は、バッテリーと蓄電池、および廃棄バッテリーと蓄電池に関するものです。この指令は、使用済みバッテリーと蓄電池の回収とリサイクルの骨子を定めているもので、EU 諸国にわたって適用されます。このラベルは、使用済みになったときに指令に従って適正な処理をする必要があることを知らせるために種々のバッテリーに貼られています。

欧州指令 2006/66/EC に沿って、バッテリーとアキュムレーターにはラベルが貼られており、そこには寿命がきた時点で分別回収およびリサイクルされる必要がある旨が記載されています。バッテリーに貼られたラベルには、そのバッテリーに関係

する金属 (Pb は鉛、Hg は水銀、Cd はカドミウム) に含まれる化学記号も記載されています。バッテリーとアキュムレーターの使用者は、バッテリーとアキュムレーターを無分別ゴミとして廃棄することは許されず、バッテリーとアキュムレーターの返却、リサイクル、あるいは再生のためにお客様が利用可能な回収方法を利用しなければなりません。バッテリーとアキュムレーターに含まれている可能性のある有害物質が、環境や人間の健康に与える影響を最小化することにお客様が参加することは重要です。適切な回収方法や処理方法の詳細については IBM 担当員にお問い合わせください。

カリフォルニア州の場合:

過塩素酸塩物質 - 特別な取り扱いが適用される可能性があります。
<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate> を参照してください。

前述の注意は、「California Code of Regulations Title 22, Division 4.5, Chapter 33. Best Management Practices for Perchlorate Materials」に従って提供されます。この製品、部品、またはその両方には、過塩素酸物質を含むリチウム・マンガン二酸化バッテリーが含まれている可能性があります。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

重要: 静電気は、電子デバイスやご使用のシステムを損傷するおそれがあります。損傷を防ぐには、静電気に弱い装置を、取り付け準備が整うまで、帯電防止袋に入れておいてください。

静電気の放電の可能性を減らすには、以下の予防措置を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- デバイスは、端またはフレームをつかんで慎重に扱う。
- はんだ接合部分、ピンまたは露出したプリント回路に触らない。
- デバイスを、他人が触れて、損傷しかねないところに放置しない。
- デバイスがまだ帯電防止袋の中にあるうちに、システム装置の塗装されていない金属部分に少なくとも 2 秒触れさせる。(このアクションによって、パッケージと人の体から静電気が除かれます。)
- デバイスは、パッケージから取り外して、下に置かないで、直接、SAN ボリューム・コントローラーに取り付ける。デバイスを下に置く必要があるときは、その帯電防止袋の上に置きます。(デバイスがアダプターの場合は、コンポーネントを横にします。) デバイスを SAN ボリューム・コントローラーのカバーまたは金属のテーブルの上に置かないでください。
- 寒い天候のときは、ヒーターで室内の湿度が下がり、静電気が増えるので、デバイスの取り扱いにはさらに慎重を要する。

第 1 章 SAN ボリューム・コントローラーの概要

SAN ボリューム・コントローラーによって、対称バーチャリゼーションを使用する包括的なモジュラー装置に、ハードウェアとソフトウェアを結合します。

対称バーチャリゼーションは、接続されたストレージ・サブシステムから管理対象ディスク (MDisk) のプールを作成することによって、実現されます。これらのストレージ・サブシステムは、接続されたホスト・システムで使用するために、一群の仮想ディスク (VDisk) にマッピングされます。システム管理者は、SAN 上にあるストレージの共通プールを表示してアクセスできます。これによって、管理者はストレージ・リソースをより効率的に使用できるようになり、拡張機能用の共通ベースが提供されます。

SAN はホスト・システムとストレージ・デバイスを結ぶ高速のファイバー・チャンネル・ネットワークです。これにより、ホスト・システムを、ネットワーク全体のストレージ・デバイスに接続できます。接続はルーター、ゲートウェイ、ハブ、およびスイッチのような装置を経由して構成されます。これらの装置を含むネットワークの領域を、ネットワークのファブリック と呼びます。

SAN ボリューム・コントローラーは、SAN の論理ボリューム・マネージャー (LVM) に類似しています。SAN ボリューム・コントローラーは、制御する SAN ストレージに対して以下の機能を実行します。

- 単一のストレージ・プールを作成する
- 論理ユニットのバーチャリゼーションを提供する
- 論理ボリュームを管理する
- 以下の SAN の拡張機能を提供する
 - 大容量スケーラブル・キャッシュ
 - コピー・サービス
 - FlashCopy® (時刻指定コピー)
 - メトロ・ミラー (同期コピー)
 - グローバル・ミラー (非同期コピー)
 - データ・マイグレーション
 - スペース管理
 - 望ましいパフォーマンス特性に基づくマッピング
 - サービス品質の測定

各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードはラック・マウント方式の装置であり、標準の Electrical Industries Association (EIA) 19 インチ・ラックにインストールできます。ノードは常に対でインストールされ、ノードの 1 つから 4 つまでの対で 1 つのクラスターが構成されます。ノードの各ペアは、入出力グループと呼ばれます。入出力グループのノードによって管理される入出力操作は、すべて両方のノードにキャッシュされます。各仮想ボリュームは、それぞれ 1 つの入出力グループに定義されます。入出力グループは、ストレージ・サブシステムにより SAN

に提示されるストレージを MDisk として取り込んで、そのストレージを、ホストのアプリケーションで使用される VDisk と呼ばれる論理ディスクに変換します。それぞれのノードは 1 つの入出力グループの中にだけ存在し、その入出力グループ内の VDisk へアクセスできるようになっている必要があります。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードには、4 つのモデルがあります。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2
- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2
- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

関連資料

45 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェア』
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェアについてよく理解しておく役立ちます。

48 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のハードウェア』
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のハードウェアについてよく理解しておく役立ちます。

52 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のハードウェア』
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のハードウェアについて知っておく必要があります。

55 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のハードウェア』
SAN ボリューム・コントローラーのハードウェアは、下の表と図に示されています。

SAN ファブリックの概要

SAN ファブリックとは、ルーター、ゲートウェイ、ハブ、およびスイッチを含むネットワークの領域のことです。単一クラスターの SAN は、別個のタイプの 2 つのゾーン、すなわちホスト・ゾーンとディスク・ゾーンで構成されています。

ホスト・ゾーンでは、ホスト・システムは、SAN ボリューム・コントローラー・ノードを識別して、アドレス指定することができます。ユーザーは複数のホスト・ゾーンを持つことができます。通常、1 つのホスト・ゾーン・タイプを作成します。ディスク・ゾーンでは、SAN ボリューム・コントローラー・ノードがディスク・ドライブを識別します。ホスト・システムは、ディスク・ドライブを直接操作することはできません。すべてのデータ転送は、SAN ボリューム・コントローラー・ノードを介して行われます。3 ページの図 1 は、SAN ファブリックに接続しているいくつかのホスト・システムを示しています。

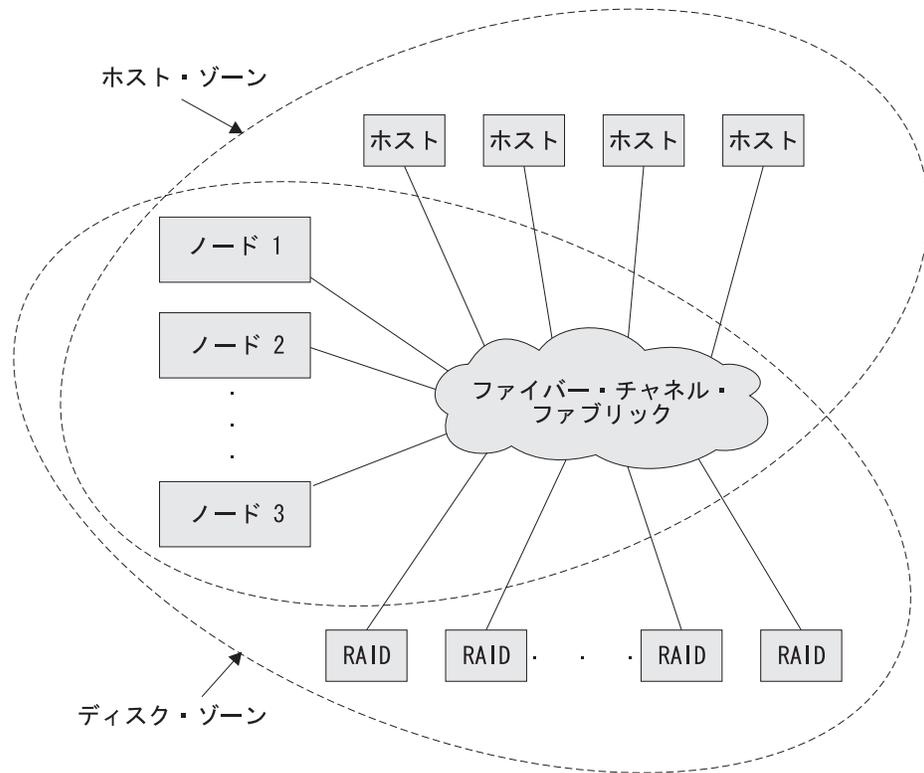


図1. ファブリック内の SAN ボリューム・コントローラーの例

SAN ボリューム・コントローラー・ノードのクラスターは同じファブリックに接続し、ホスト・システムに仮想ディスク (VDisk) を提示します。これらの VDisk は、管理対象ディスク (MDisk) グループ内のスペースのユニットから作成します。MDisk グループは、ストレージ・サブシステム (RAID コントローラー) により提示される MDisk の集合です。MDisk グループはストレージ・プールを提供します。各グループの作成方法を指定し、同じ MDisk グループで、異なる製造メーカーのコントローラーの MDisk を組み合わせることができます。

注: SAN ファブリック内に複数のホスト・タイプが存在する場合がありますが、オペレーティング・システムによっては、同じホスト・ゾーン内で別のオペレーティング・システムが作動することを許容できないものがあります。例えば、AIX® オペレーティング・システムで実行されるホストと、Windows® オペレーティング・システムで実行されるホストを含む SAN は構成可能です。

ハードウェアのサービスまたは保守が必要なときは、クラスターにある各入出力グループの中の 1 つの SAN ボリューム・コントローラー・ノードを取り外すことができます。SAN ボリューム・コントローラー・ノードを取り外した後で、SAN ボリューム・コントローラー・ノード内の現場交換可能ユニット (FRU) を交換することができます。すべてのディスク・ドライブの通信および SAN ボリューム・コントローラー・ノード間の通信は、SAN を介して行われます。すべての SAN ボリューム・コントローラー・ノードの構成コマンドおよびサービス・コマンドは、イーサネット・ネットワークを介してクラスターに送信されます。

各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードには、それぞれの重要製品データ (VPD) が入っています。各クラスターには、そのクラスターのすべての SAN ボリ

ューム・コントローラー・ノードに共通な VPD が入っており、イーサネット・ネットワークに接続されているシステムであればどのシステムでも、この VPD にアクセスできます。

クラスター構成情報はクラスター内のすべての SAN ボリューム・コントローラー・ノードに保管され、FRU の並行置換が可能となります。新しい FRU が取り付けられていて、SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターに戻される場合、その SAN ボリューム・コントローラー・ノードに必要な構成情報は、クラスター内のその他の SAN ボリューム・コントローラー・ノードから読み取られます。

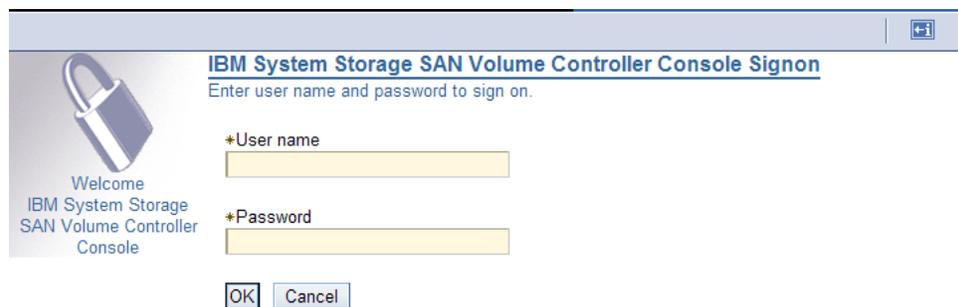
マスター・コンソールでの SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーション

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールは、マスター・コンソール・ソフトウェアのコンポーネントです。要件を満たしていれば、他のサーバーにもインストールできます。

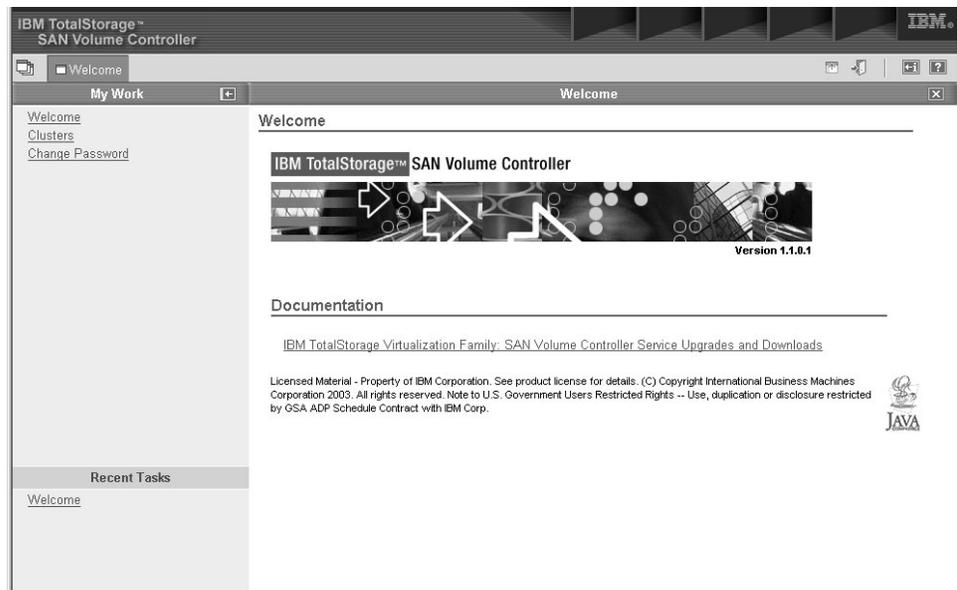
SAN ボリューム・コントローラー・コンソールへのアクセスは、マスター・コンソール・システムから直接、またはご使用の Web ブラウザーを マスター・コンソール・システム上の SAN ボリューム・コントローラー・コンソールに位置指定することでリモート側で可能になります。ご使用の Web ブラウザーを、マスター・コンソール・システムが使用する同じイーサネットに接続する必要があります。このアプリケーションを使用して、サービスおよび構成の両方のツールにアクセスできます。

以下の手順を実行して、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーションにアクセスします。

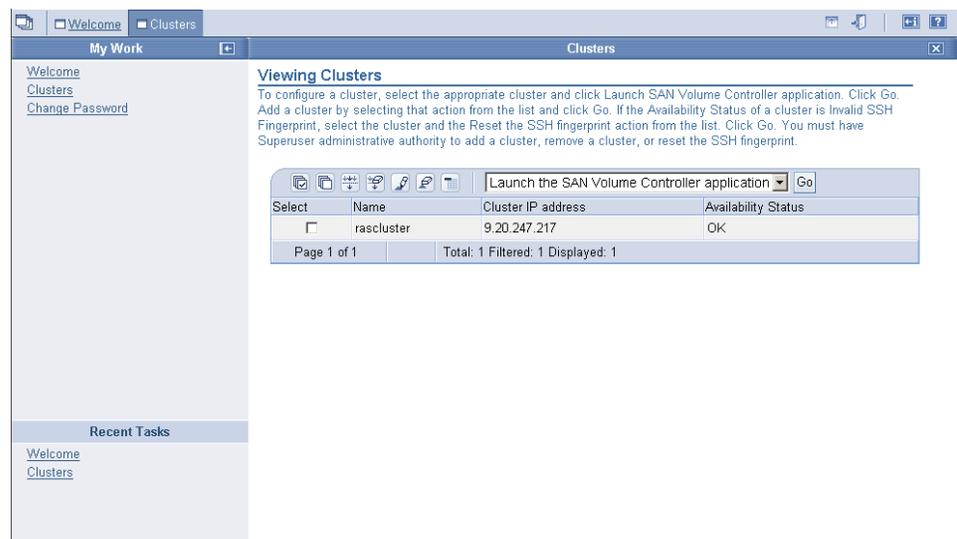
1. お客様から提供されたユーザー名とパスワードを使用して、マスター・コンソールにログオンします。SAN ボリューム・コントローラー・コンソールのアイコンをダブルクリックして、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの「サインオン」パネルを表示します。



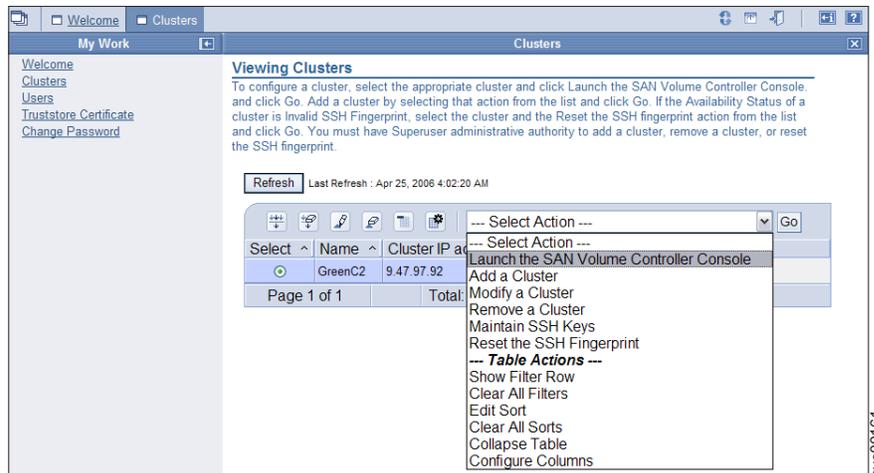
2. お客様から提供された SAN ボリューム・コントローラー・コンソールのユーザー名とパスワードを入力します。次の「ようこそ」パネルが表示されます。



3. ポートフォリオで「クラスター」をクリックして、構成およびサービス・ツールにアクセスします。「クラスターの表示」パネルが表示されます。



4. サービス対象の SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを選択し、タスク・リストから「SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの起動」を選択します。



5. 「実行」をクリックします。新規ウィンドウ内にクラスターの「ようこそ」パネルが開きます。

「指定されたクラスターは、現在使用不可です (The specified cluster is currently unavailable)」というエラー・メッセージが表示され、選択されたクラスターの可用性状況が「接点なし (No Contact)」であれば、「MAP 5000: 開始」に進みます。このステップに戻った場合は、IBM サポートに連絡を取り、SAN ボリューム・コントローラーの問題を解決してください。

このメニューから、以下の手順を実行できます。

- ノードの状況の表示
- クラスターからのノードの削除
- クラスターへのノードの追加
- 仮想ディスク (VDisk) の状況の表示
- 管理対象ディスク (MDisk) の状況の表示
- 重要製品データの表示
- ダンプ・データのリストおよび保管
- 保守の開始
- エラー・ログの表示

エラー・ログの分析

エラー・ログは、「エラー・ログの分析」パネルから分析できます。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

注: 構成ノードにコピーされたログ・ファイルは、SAN ボリューム・コントローラーによって自動的に削除されることはありません。

エラー・ログを分析するには、次のステップを実行します。

1. ポートフォリオで、「サービスおよび保守」 → 「エラー・ログの分析」をクリックします。「エラー・ログの分析」パネルが表示されます。

「エラー・ログの分析」パネルを使用して、クラスターのエラー・ログを分析できます。ログ全体を表示すること、あるいはログをフィルターに掛けて、エラーのみ、イベントのみ、または未修正エラーのみを表示することができます。さらに、テーブルを、エラー優先順位または時間のいずれかでソートすることを要求できます。エラー優先順位の場合、最も重大なエラーは最も小さい番号が付けられたエラーです。したがって、それらはテーブルの最初に表示されます。

古いエントリーまたは最新のエントリーのどちらをテーブルの最初に表示することもできます。また、テーブルの各ページに表示するエラー・ログ・エントリーの数を選択することもできます。デフォルトは 10 に設定されており、各ページに表示可能なエラー・ログの最大数は 99 です。

2. オプションを選択した後に、「**処理**」をクリックして、フィルタリングされたエラー・ログをテーブルに表示します。「エラー・ログの分析」の続きのパネルが表示されます。

現在のページ番号とテーブル内のページの総数に応じて、順方向および逆方向スクロール・ボタンが表示されます。テーブルに 2 ページを超えるエントリーが含まれる場合は、テーブルのフッターに「**行先指定 (Go to)**」入力域が表示されます。この入力域を使用すると、特定のページ番号にスキップすることができます。

テーブル・レコードのシーケンス番号をクリックすると、そのエラー・ログ・エントリーに関する詳細情報が表示されます。レコードが (イベントではなく) エラーの場合は、レコードの修正済み状況または未修正状況を変更できます。つまり、未修正エラーに修正済みのマークを付けること、または修正済みエラーに未修正のマークを付けることができます。

3. クラスター・エラー・ログ全体を消去するには、「**ログの消去**」をクリックします。

注: 「**ログの消去**」をクリックしても、既存のエラーは修正されません。

クラスター保守手順の実行

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用して、クラスター保守手順を実行できます。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

クラスター保守手順を実行するには、次のステップを実行します。

1. ポートフォリオで、「**サービスおよび保守**」 → 「**保守手順の実行**」をクリックします。「**保守手順**」パネルが表示されます。
2. 「**分析の開始**」をクリックして、クラスターのエラー・ログを分析します。「**保守**」パネルが表示されます。

エラー・ログ・エントリーのエラー・コードをクリックすると、クラスターの状態を評価し、エラーが分離したイベントであったか、あるいはコンポーネント障害であったかを判別するのに役立つ一連の処置のガイドが示されます。コンポーネントに障害が起きている場合は、そのコンポーネントの交換が必要な場合があります。必要に応じ、障害が起きたコンポーネントのイメージが表示されます。

修復が正常に実行されると、エラー・ログ内のエラー・レコードの状態が、未修正エラーから修正済みエラーに変更されます。

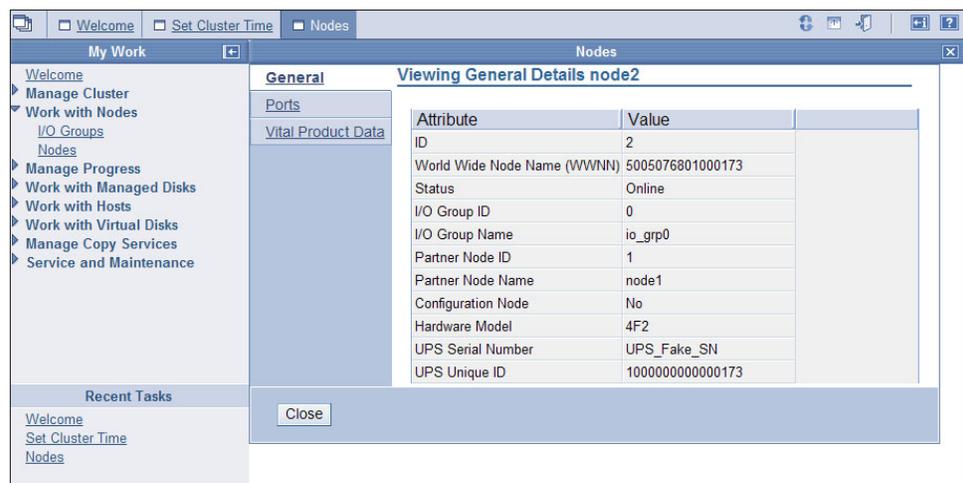
ノード状況の表示

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

ノードのプロパティを表示するには、次のステップを実行します。

1. ポートフォリオで、「ノードの作業」 → 「ノード」をクリックします。「ノードの表示」パネルが表示されます。
2. 詳細情報を表示したいノードの名前をクリックします。「一般詳細の表示」パネルが表示されます。



3. ワールドワイド・ポート名 (WWPN) 詳細を表示するには、「ポート」をクリックします。「ポート詳細の表示」パネルが表示されます。
4. ノードのハードウェア詳細を表示するには、「重要製品データ」をクリックします。「重要製品データの表示」パネルが表示されます。
5. パネルを閉じるには、「クローズ」をクリックします。

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

ファイバー・チャンネル・ポート番号とワールドワイド・ポート名

ファイバー・チャンネル・ポートは、その物理ポート番号とワールドワイド・ポート名 (WWPN) によって識別されます。

物理ポート番号は、サービス・タスクを実行する際にファイバー・チャンネル・カードおよびケーブル接続を識別します。WWPN はファイバー・チャンネル・スイッチ構成などのタスクで使用され、SAN 上のデバイスを一意的に識別します。

物理ポート番号は、SAN ボリューム・コントローラー の背面パネルを見たときに左から右に数えて 1 から 4 です。WWPN は、カードが取り付けられている SAN ボリューム・コントローラーのワールドワイド・ノード名 (WWNN) から派生しています。

図 2 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背面図を示しています。

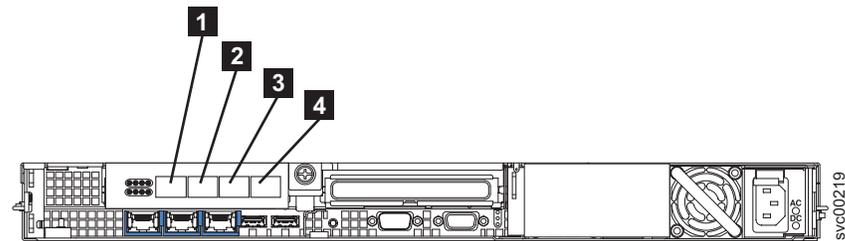


図 2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の物理ポート番号

図 3 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面図を示しています。

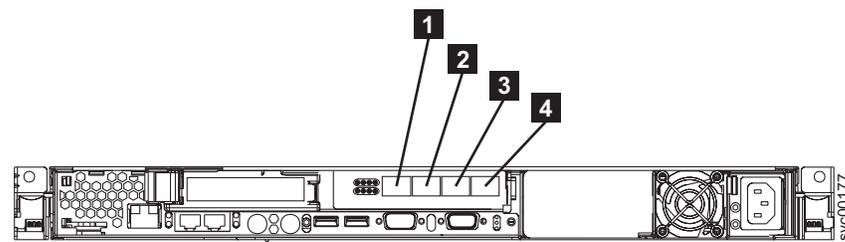


図 3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の物理ポート番号

図 4 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の背面図を示しています。

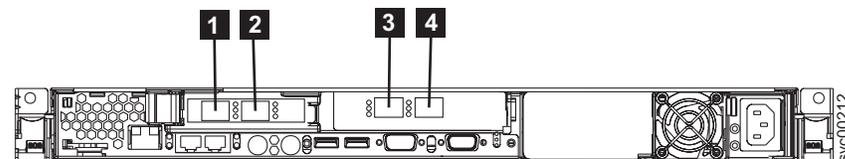


図 4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の物理ポート番号

WWNN の形式は、50050768010XXXXX です。XXXXX は、最初に装置から派生し、SAN ボリューム・コントローラーに固有です。フロント・パネルを使用して XXXXX 値を変更し、サービス・コントローラーの並行置換を容易にし、いくつかの並行アップグレード操作を使用可能にすることができます。

WWPN の形式は 5005076801QXXXXX です。ここで、XXXXX は、上記の説明のとおりであり、Q は、次のようにポート番号に関連しています。

ポート	Q の値
1	4
2	3

ポート	Q の値
3	1
4	2

関連資料

41 ページの『ファイバー・チャネル LED』

ファイバー・チャネル LED は、ファイバー・チャネル・ポートの状況を示しません。

クラスターからのノードの削除

必要であれば、クラスターからノードを削除できます。

ノードが障害を起こしたために新しいノードに交換する場合や、あるいは、修復を行った結果ノードがクラスターによって認識されなくなった場合は、ノードをクラスターから削除することができます。例えば、ノード上のディスク・ドライブまたはソフトウェアを取り替えた場合、そのノードはクラスターにより認識されなくなります。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

クラスターからのノードの削除は、次の手順で行います。

1. ポートフォリオで、「ノードの作業」 → 「ノード」をクリックします。「ノードの表示」パネルが表示されます。

Viewing Nodes
Click on a node to view its details, or select a node and an action from the list and click Go. Add a node to the cluster by selecting that action from the list and clicking Go.

Refresh Last Refresh : Apr 25, 2006 7:28:34 AM

--- Select Action --- Go

Select	ID	Name	Status	World Wide Node Name (WWNN)	I/O Group Name	Config Node
<input type="radio"/>	1	node1	Online	500507680100018C	io_grp0	Yes
<input type="radio"/>	2	node2	Online	5005076801000173	io_grp0	No

Page 1 of 1 Total: 2 Filtered: 2 Displayed: 2 Selected: 0

2. オフライン・ノードの名前および入出力グループ名を記録します。この情報はノードをクラスターに戻すときに使用します。

重要: このクラスターまたは同じ SAN 上の他のクラスターで複数のノードがオフラインになっている場合は、ノードをクラスターに戻して追加するときに特別の予防措置を講じる必要があります。

3. オフラインのノードを選択し、タスク・リストから「ノードの削除」を選択します。
4. 「実行」をクリックする。「クラスターからのノードの削除」パネルが表示されます。
5. 「はい」をクリックしてノードを削除します。

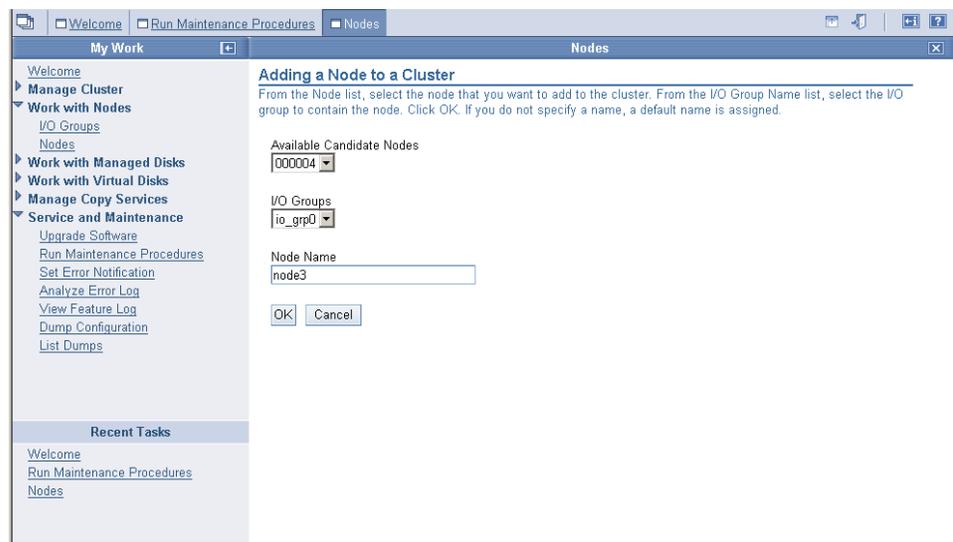
クラスターへのノードの追加

クラスターによってノードが除去またはリジェクトされた場合は、ノードをクラスターに追加しなければならない場合があります。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

ノードをクラスターに追加するには、次の手順で行います。

1. ポートフォリオで、「ノードの作業」 → 「ノード」をクリックします。「ノードの表示」パネルが表示されます。
2. タスク・リストから「ノードの追加」を選択し、「実行」をクリックします。「ノードをクラスターに追加」パネルが表示されます。



3. 「使用可能な候補ノード」リストから、クラスターに追加するノードを選択します。
4. 前のノードが削除されたときにメモした入出力グループを選択します。

重要: 複数の候補ノードが存在する場合は、入出力グループに追加するノードは、その入出力グループから削除されたものと同じノードでなければなりません。正しいノードの追加に失敗するとデータ破壊が発生する可能性があります。入出力グループに属する候補ノードが不明確な場合は、先へ進む前に、このクラスターにアクセスするすべてのホスト・システムをシャットダウンしてください。すべてのノードをクラスターに戻してから、各システムをリブートします。

詳細については、「*IBM System Storage SAN Volume Controller: Software Installation and Configuration Guide*」を参照してください。

VDisk 状況の表示

修復検査手順の一環で、仮想ディスク (VDisk) の状況を表示する必要があります。

SAN ボリューム・コントローラーのすべての修復処置が完了すると、すべての VDisk がオンラインとして表示されます。オフライン、劣化、除外で残っている VDisk は、エラーを含んでいるか、SAN 環境に問題があるため認識されていない可

能性があります。SAN ボリューム・コントローラーでの修復処置の後に、VDisk に問題がある場合は、ディスク・ドライブまたは SAN の問題を解決してから、SAN ボリューム・コントローラーの修復処置を実行して、他の障害がないことを確認してください。

*IBM System Storage SAN Volume Controller: Software Installation and Configuration Guide*を参照してオフラインの VDisk を修復します。

VDisk の状況を表示する場合は、次のステップを実行します。

1. 「**仮想ディスクの作業**」 → 「**仮想ディスク**」をクリックします。「仮想ディスクのフィルター操作」パネルが表示されます。
2. 使用するフィルター操作基準を指定して「**OK**」をクリック、または「**フィルター操作のバイパス**」をクリックしてこのタイプのオブジェクトを表示します。「仮想ディスクの表示」パネルが表示されます。
3. すべての VDisk がオンラインであることを確認します。

MDisk 状況の表示

修復検査手順の一環で、管理対象ディスク (MDisk) の状況を表示する必要があります。

SAN ボリューム・コントローラーのすべての修復処置が完了すると、すべての MDisk がオンラインとして表示されます。オフライン、劣化、除外で残っている MDisk は、エラーを含んでいるか、SAN 環境に問題があるため認識されていない可能性があります。SAN ボリューム・コントローラーでの修復処置の後に、MDisk に問題がある場合は、ディスク・ドライブまたは SAN の問題を解決してから、SAN ボリューム・コントローラーの修復処置を実行して、他の障害がないことを確認してください。

MDisk の状況を表示するには、次のステップを実行します。

1. ポートフォリオで、「**管理対象ディスクの作業**」 → 「**管理対象ディスク**」をクリックします。「管理対象ディスクのフィルター操作」パネルが表示されます。
2. 使用するフィルター操作基準を指定して「**OK**」をクリック、または「**フィルター操作のバイパス**」をクリックしてこのタイプのオブジェクトを表示します。「管理対象ディスクの表示」パネルが表示されます。
3. すべての MDisk がオンラインであることを確認します。

重要製品データの表示

ノードの重要製品データは、「重要製品データの表示」パネルから表示することができます。

ノードの重要製品データを表示するには、次のステップを実行します。

1. ポートフォリオで、「**ノードの作業**」をクリックします。
2. ポートフォリオで、「**ノード**」をクリックします。ノード・パネルが表示されます。
3. 詳細を表示したいノードをクリックします。
4. データを表示するには、「**重要製品データ**」をクリックします。

5. 「重要製品データの表示」パネルに戻るには、「クローズ」をクリックします。

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

ログ・ファイルとダンプ・ファイルの表示と保管

ノードのログ・ファイルとダンプ・ファイルを保管することができます。

クラスター内のどのノードのダンプ・データも保管できます。この手順を使用してダンプ・データを表示するときは、構成ノード上のダンプ・ファイルのみが表示されます。ダンプ・メニューにあるオプションを使用すると、他のノードからのデータを表示することができます。他のノードからのデータを表示あるいは保管する場合は、そのデータが最初に構成ノードにコピーされます。

ソフトウェア・ダンプ・ファイルには、SAN ボリューム・コントローラー・メモリーのダンプが含まれます。IBM サービス担当員が、問題をデバッグするためにこれらのダンプを要求する場合があります。ソフトウェア・ダンプは大容量ファイルです (約 300 MB)。セキュアなコピー方式を使用して、これらのファイルをホストにコピーすることを検討してください。

「ダンプのリスト」オプションは、以下のファイル・タイプをサポートします。

- エラー・ログ
- 構成ログ
- I/O 統計ログ
- I/O トレース・ログ
- 機能ログ
- ソフトウェア・ダンプ

ログ・ファイルとダンプ・ファイルを表示するには、以下のステップを実行します。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを既に起動済みであることを前提としています。

1. ポートフォリオで、「サービスおよび保守」 → 「ダンプのリスト」をクリックします。「ダンプのリスト」パネルが表示されます。

「ダンプのリスト」(他のノード) の継続パネルに、クラスター上で選択可能な特定のタイプのログ・ファイルとダンプの数が表示されます。クラスター内に複数のノードが存在する場合は、「他のノードの検査」ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、クラスターの一部を構成するすべてのノードのログ・ファイルとダンプが表示されます。クラスター内のすべてのノードのダンプとログは、構成ノードで削除すること、あるいは構成ノードにコピーすることができます。

ファイル・タイプの 1 つをクリックすると、そのタイプのすべてのファイルがテーブル内にリストされます。

注: エラー・ログとソフトウェア・ダンプの場合、ファイル名には、その一部としてノード名および日時が含まれます。

2. ファイル名を右クリックし、Web ブラウザーから「リンクに名前を付けて保存」(Netscape) または「対象をファイルに保存」(Internet Explorer) オプションを使用して、ファイルをローカル・ワークステーションにコピーします。

エラーを修正済みとしてマーキング

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。エラーに修正済みのマーク付けするには、次の手順で行います。

1. クラスターを選択し、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを起動します。
2. ポートフォリオで、「サービスおよび保守」 → 「エラー・ログの分析」をクリックします。
3. オプションのリストから、分析オプションを選択します。
 - すべてのエラーとイベントを表示
 - すべてのエラーを表示
 - すべてのイベントを表示
 - すべての未修正エラーを表示
 - コードに一致するすべてのエラーまたはイベントを表示
4. 表示オプションを選択します。
 - エラーの優先順位でソート
 - 日付の新しい順でソート
 - 日付の古い順でソート
 - 表示するエントリーの数 (ページごと)
5. 「処理」をクリックします。
6. 修正したばかりのエラーのシーケンス番号をクリックして、さらに詳細なエラー・ログを表示します。
7. 「エラーを修正済み (FIXED) としてマーク」をクリックします。

このエラーのエラー・ログ・エントリーには、修正済みのマークが付けられ、今後のエラー・ログ分析の一部としては使用されません。

ファイバー・チャネル・ファブリック接続の表示

SAN ボリューム・コントローラー・ハードウェア、ファイバー・チャネル・ケーブル、ファイバー・チャネル・スイッチ、ホスト・システム内のファイバー・チャネル・ハードウェア、またはディスク・コントローラーの障害が、チャネル接続問題の原因になる可能性があります。

注: ファイバー・チャンネル・ファブリック という用語は、ファイバー・チャンネル・ネットワーク上のポート間のすべての相互接続を表します。

他の SAN ボリューム・コントローラーの手順で、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 接続問題の原因となるハードウェア・エラーを分離することができます。SAN 上の他の場所に問題が存在するのではないかと疑われたために、このトピックに送られてきました。ファイバー・チャンネル・ファブリックの問題解決は、現行資料の範囲外です。以下の手順では、SAN の SAN ボリューム・コントローラー表示の理解に役立つ、ファイバー・チャンネル・ファブリック表示ツールの使用方法を説明します。SAN の障害分離のためにサポート担当者またはお客様と一緒に作業する際に、これが重要な情報になります。

ファブリック表示ツールを開始するには、以下のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー・コンソールにログオンする。
2. 「クラスター」をクリックします。「クラスターの表示」パネルが表示されません。
3. ファブリック情報を表示させたいクラスターを選択し、タスク・リストから「SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの起動」を選択します。
4. 「実行」をクリックする。
5. 「ホストの作業」 → 「ファブリック」をクリックします。「ファブリックの表示」パネルが表示されます。図 5 を参照してください。

Select	Name	State	Type	Node ID	Node	Cluster	Local WWPN	Local Port	Local NPort ID	Remote WWPN
<input type="radio"/>	cimhwid12806598	inactive	host	1	node1	-	500507680120018C	4	0A1900	5005076801400173
<input type="radio"/>	cimhwid12806598	inactive	host	1	node1	-	500507680130018C	2	091900	5005076801400173
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	5005076801400117	1	091300	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	2	node2	-	5005076801300183	2	0A1400	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	2	node2	-	5005076801400183	1	091400	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	2	node2	-	5005076801100183	3	0B1400	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	2	node2	-	5005076801200183	4	0C1400	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	2	node2	-	5005076801100183	3	0B1400	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	5005076801200117	4	0C1300	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	5005076801300117	2	0A1300	200400A0B80F35D1

図 5. 「ファブリックの表示」パネル

表示された各フィールドの内容を、表 1 に記載します。

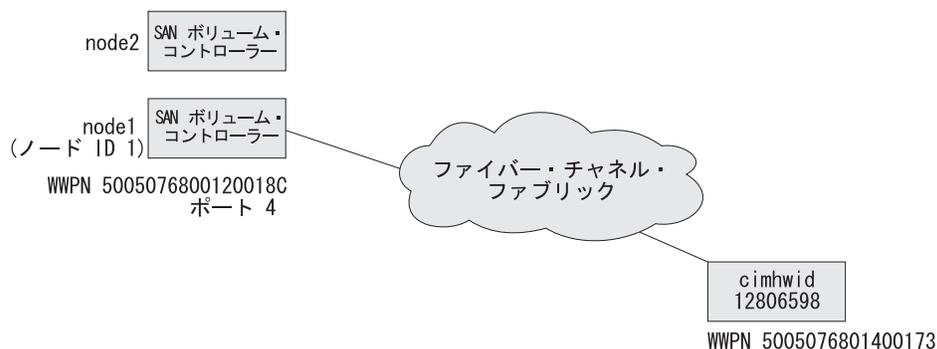
表 1. ファイバー・チャンネル表示の定義

フィールド	説明
名前	これは、worldwide port name (WWPN) が「リモート WWPN」フィールドにリストされているデバイスの名前です。
状態	「名前」フィールドにリストされたデバイスがアクティブであるか、非アクティブであるかを示します。

表 1. ファイバー・チャンネル表示の定義 (続き)

フィールド	説明
タイプ	「名前」フィールドにリストされたデバイスのタイプ。予想されるタイプは、「コントローラー」(ストレージ・コントローラー)、「ノード」(SAN ボリューム・コントローラー)、または「ホスト」(この SAN ボリューム・コントローラーを使用しているシステム)です。デバイスのタイプが判別できない場合は、「不明 (unknown)」が表示されます。
ノード ID	「ノード」フィールドにリストされたノードの ID。
ノード	これは、ノード名 (SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルに表示されている) です。
クラスター	「タイプ」フィールドに「ノード」がリストされると、そのノードが属するクラスターの名前が「クラスター」フィールドに表示されます。
ローカル WWPN	「リモート WWPN」フィールドにリストされた WWPN を使用する、「名前」フィールドにリストされたデバイスに関連した SAN ボリューム・コントローラー・ポートの WWPN。
ローカル・ポート	これは、「ノード」フィールドにリストされた「ノード」の背面にある物理ポート番号です。
ローカル NPort ID	「ローカル・ポート」フィールドにリストされたローカル・ポートの NPort 番号。
Remote WWPN	「名前」フィールドにリストされたデバイスの WWPN です。
Remote NPort ID	「名前」フィールドにリストされたデバイスの NPort 番号。

15 ページの図 5 の最初の行は、次の接続を示します。



svc00185

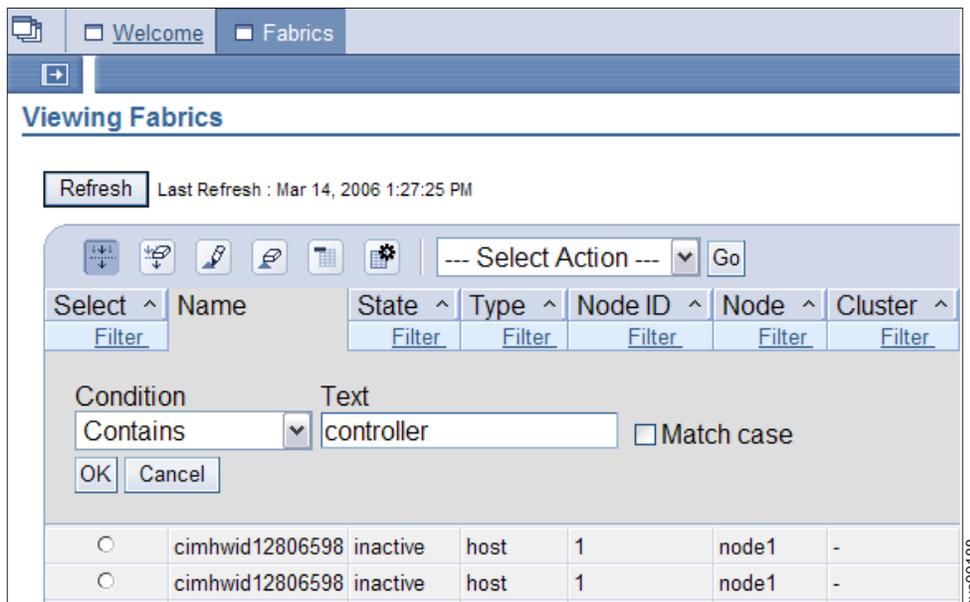
ファブリック・ビューアーは、必要な情報のみを表示し、出力を最も使いやすい形式でフォーマット設定できる包括的なツールを提供します。

注：以下の例は、ファブリック接続の異なる表示方法を示しています。すべてのシナリオを示しているわけではありません。以下の例は、必要な情報を検索できる 2 つの方法を示すことのみを意図しています。

ノードにログインしているすべてのコントローラーを表示する

「node1」と呼ばれるノードにログインしているすべてのコントローラーを表示するには、以下のステップを実行します。

1. 「アクションの選択」メニューで「フィルター行の表示 (Show Filter Row)」を選択し、「実行」をクリックします。
2. 「名前」フィルターをクリックし、テキスト・ボックスに「コントローラー」を入力します。



3. 「OK」をクリックします。
4. 「ノード」フィルターをクリックし、テキスト・ボックスに「node1」を入力します。
5. 「OK」をクリックします。

node1 にログインしているすべてのコントローラーがディスプレイに表示されます。18 ページの図 6 を参照してください。

Select	Name	State	Type	Node ID	Node	Cluster	Local WWPN	Local Port	Local NPort ID	Remote WWPN
Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter	Filter
<input type="radio"/>	controller0	active	controller	1	node1	-	500507680110018C	3	0A1A00	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	500507680140018C	1	091A00	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	500507680110018C	3	0A1A00	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	500507680120018C	4	0A1900	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	500507680140018C	1	091A00	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller0	inactive	controller	1	node1	-	500507680130018C	2	091900	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller1	inactive	controller	1	node1	-	5005076801201D42	4	0C1100	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller1	inactive	controller	1	node1	-	5005076801301D42	2	0A1100	200400A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller1	inactive	controller	1	node1	-	5005076801401D42	1	091100	200500A0B80F35D1
<input type="radio"/>	controller1	inactive	controller	1	node1	-	5005076801101D42	3	0B1100	200500A0B80F35D1

図 6. node1 にログインしているコントローラーの表示例

- オリジナルの表示を復元するには、「アクションの選択」メニューで「フィルターをすべてクリア (Clear All Filters)」を選択し、「実行」をクリックします。

すべてのアクティブ・デバイスの表示

「node2」のポート 2 にログインしているアクティブ・デバイスをすべて表示するには、以下のステップを実行します。

- 「アクションの選択」メニューで「フィルター行の表示 (Show Filter Rows)」を選択し、「実行」をクリックします。
- 「状態」フィルターをクリックし、テキスト・ボックスに「アクティブ」を入力します。
- 「条件」メニューで「一致」を選択し、「OK」をクリックします。図 7 を参照してください。

Select	Name	State	Type	Node ID	Node	Cluster
Filter	Filter		Filter	Filter	Filter	Filter
Condition		Text				
Matches		active		<input type="checkbox"/> Match case		
OK		Cancel				

図 7. すべてのアクティブ・デバイスの表示

- 「ノード」フィルターをクリックし、テキスト・ボックスに「node2」を入力して、「OK」をクリックします。
- 「ローカル・ポート」フィルターをクリックし、テキスト・ボックスに「2」を入力して、「OK」をクリックします。

node2 のポート 2 にログインしているすべてのデバイスがディスプレイに表示されます。図 8 を参照してください。

The screenshot shows a web interface titled 'Viewing Fabrics' with a table of device connections. The table has columns for Name, State, Type, Node ID, Node, Cluster, Local WWPN, Local Port, Local NPort ID, and Remote WWPN. The 'Node' column is filtered to 'node2' and the 'Local Port' column is filtered to '2'. There are five rows of data, all with 'active' state.

Select	Name	State	Type	Node ID	Node	Cluster	Local WWPN	Local Port	Local NPort ID	Remote WWPN
<input type="radio"/>	node1	active	node	2	node2	GreenC2	5005076801300173	2	0C1A00	500507680120018C
<input type="radio"/>	node1	active	node	2	node2	GreenC2	5005076801300173	2	0C1A00	500507680130018C
<input type="radio"/>	node1	active	node	2	node2	GreenC4	5005076801300173	2	0C1A00	5005076801400117
<input type="radio"/>	node1	active	node	2	node2	GreenC4	5005076801300173	2	0C1A00	5005076801100117
<input type="radio"/>	node1	active	node	2	node2	GreenC4	5005076801300173	2	0C1A00	5005076801300117

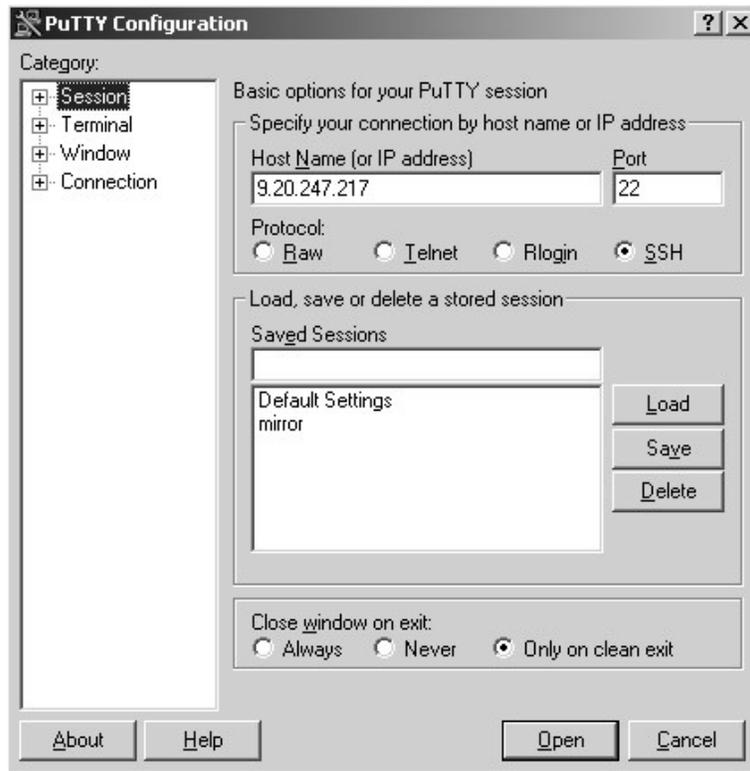
図 8. node2 のポート 2 にログインしているすべてのアクティブ・デバイスの表示例

マスター・コンソールからの CLI へのアクセス

コマンド行命令を入力して実行する必要がある場合、SAN ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェースは、マスター・コンソールでアクセスできます。

以下のステップを実行して CLI パネルへアクセスします。

1. PuTTY を開始するには、「スタート」 → 「プログラム」 → 「PuTTY」 → 「PuTTY」の順にクリックするか、ディレクトリーへ進み putty.exe ファイルをダブルクリックします。マスター・コンソールがコマンド行アクセス用 PuTTY を使用するよう構成されていれば、セッション設定が保管されます。アクセスする必要があるクラスターが、「保管」セッションの下にリストされている場合は、以下のステップを実行します。
 - a. クラスターのメニュー項目を選択します。
 - b. 「ロード」をクリックします。
 - c. 「開く」をクリックします。
 - d. ステップ 2 (20 ページ) に進みます。クラスターが、「保管」セッションの下にリストされていない場合は、お客様に依頼して、コマンド行アクセスの PuTTY をセットアップし、この手順を再開始してください。



2. 以下の PuTTY アラート・パネルが開いたら、「はい」をクリックします。



サービス用のコマンド行ウィンドウが表示されます。

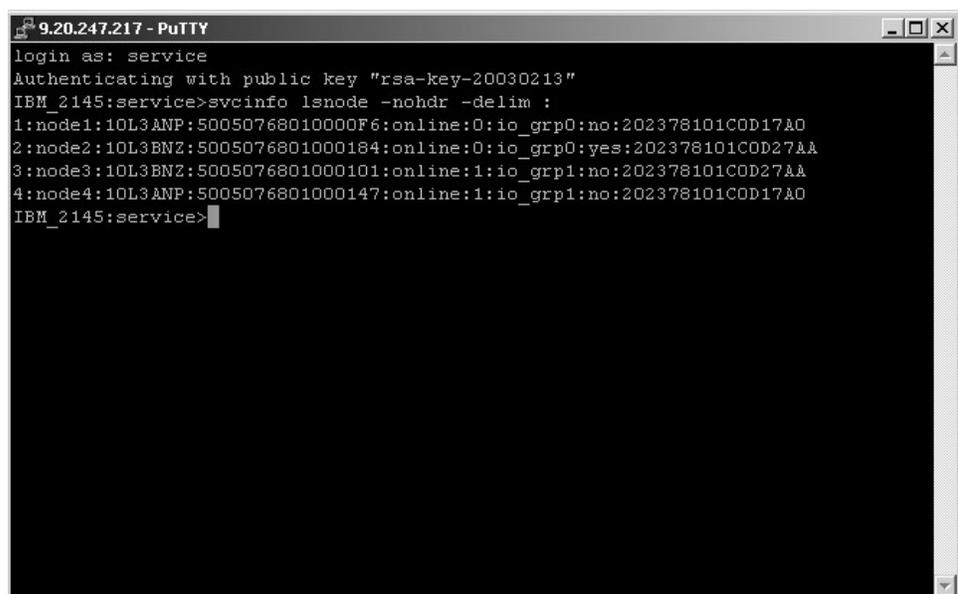


```
9.20.247.217 - PuTTY
login as: service
Authenticating with public key "rsa-key-20030213"
IBM_2145:service>
```

3. ユーザー名の「service」を「ログイン: (login as:)」プロンプトで入力します。サービスのプロンプトが表示されたら、CLI を使用してコマンドを発行できます。
4. サービス・プロンプトに従ってコマンドを発行し、SAN ボリューム・コントローラーに関する情報を表示します。例えば、次のコマンドを発行して、SAN ボリューム・コントローラー・クラスターが使用するノードの現在の状況を表示します。

```
svcinfolsnode -nohdr -delim :
```

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターが使用するノードの現在の状況が表示されます。



```
9.20.247.217 - PuTTY
login as: service
Authenticating with public key "rsa-key-20030213"
IBM_2145:service>svcinfolsnode -nohdr -delim :
1:node1:10L3ANP:50050768010000F6:online:0:io_grp0:no:202378101COD17A0
2:node2:10L3BNZ:5005076801000184:online:0:io_grp0:yes:202378101COD27AA
3:node3:10L3BNZ:5005076801000101:online:1:io_grp1:no:202378101COD27AA
4:node4:10L3ANP:5005076801000147:online:1:io_grp1:no:202378101COD17A0
IBM_2145:service>
```

5. 次のコマンドを発行します。

```
svcinfolcluster clustername
```

この場合、*clustername* は、リストしようとしている詳細を持つクラスター名です。

マスター・コンソールの CLI を使用するようセットアップしました。

CLI を使用したノードの状況の検査

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

CLI で次のコマンドを発行して、ノードの状況を検査します。

```
svcinfolnode -delim :
```

以下の出力は、`svcinfolnode -delim :` コマンドを発行したときに表示される内容を示します。

```
1:node1:10L3ANP:5005076801000013:online:0:io_grp0:yes:202378101C0D17A0  
2:node2:10L3BNZ:5005076801000184:online:0:io_grp0:no:202378101C0D27AA
```

各ノードの特性は、ノード当たり 1 行でリストされます。この例では、オンラインのノード状況が示されています。状況には、「オフライン」、「追加中」、または「削除中」が表示されることもあります。

使用できるコマンドについて詳しくは、「*IBM System Storage SAN Volume Controller: Software Installation and Configuration Guide*」を参照してください。

CLI を使用したノード・ポートの状況の検査

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

CLI で次のコマンドを発行して、ノード・ポートの状況を検査します。

```
svcinfolnode -delim : nodename
```

ここで、*nodename* は、ポートを検査したいノードの名前です。

`svcinfolnode -delim : nodename` コマンド発行時に表示される内容は、以下の出力のとおりです。

```

id:1
name:node1
UPS_serial_number:10L3ANP
WWNN:5005676801000013
status:online
IO_group_id:0
IO_group_name:io_grp0
partner_node_id:2
partner_node_name:node2
config_node:yes
UPS_unique_id:202378101C0D17A0
port_id:5005676801100013
port_status:active
port_id:5005676801200013
port_status:active
port_id:5005676801300013
port_status:active
port_id:5005676801400013
port_status:active

```

直前の例は、行 2 の名前付きノードに関する情報を示しています。例の最後の 8 行に、ポートのポート ID および状況が表示されています。この例では、最後の 8 行が、アクティブのポート状況を示しています。状況には、「取り付けされていない (not installed)」、「障害のある (failed)」、「非アクティブ (inactive)」が表示されることもあります。

コマンド行インターフェースの使用について詳しくは、「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェース・ユーザズ・ガイド*」を参照してください。

CLI を使用したクラスターからのノードの削除

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してクラスターからノードを削除できます。

1. CLI で次のコマンドを発行して、ノードをリストします。

```
svcinfolnode
```

以下の出力は、svcinfolnode コマンドを発行したときの表示例です。

id	name	UPS_serial_number	WWNN	status	IO_group_id	IO_group_name	config_node	UPS_unique_id
1	node1	10L3ANP	50050768010000F6	online	0	io_grp0	yes	202378101C0D17A0
2	node2	10L3BNZ	5005076801000184	online	0	io_grp0	no	202378101C0D27AA
3	node3	10L3BNZ	0000000000000000	offline	1	io_grp1	no	202378101C0D27AA
4	node4	10L3ANP	5005076801000147	online	1	io_grp1	no	202378101C0D17A0
5	node5	10L3CNP	50050776020000F8	online	2	io_grp2	no	202278101C0D17AB
6	node6	10L3CNZ	5005076801000197	online	2	io_grp2	no	202378202C0D27AA
7	node7	10L3DNZ	0000000000000000	online	3	io_grp3	no	202379011C0D27AA
8	node8	10L3DNP	5005076801000258	online	3	io_grp3	no	202378101C0D16A0

オフライン・ノードの名前および入出力グループ名をメモします。この例の場合、node3 はオフラインで、io_grp1 に割り当てられています。この情報は、ノードをクラスターに戻すときに必要です。

重要: このクラスターまたは同じストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 上の他のクラスターで複数のノードがオフラインになっている場合は、ここでメモをしておきます。これはノードをクラスターに戻すときに特別の予防措置が必要になるためです。

2. オフライン・ノードをクラスターから取り外すには、次の CLI コマンドを発行します。

```
svcservicetask rmnode node
```

ここで、*node* は、ステップ 1 (23 ページ) に記されているオフライン・ノードの名前です。

関連タスク

『CLI を使用したクラスターへのノードの追加』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して、クラスターによって取り外されたはリジェクトされたノードをクラスター内に追加できます。

CLI を使用したクラスターへのノードの追加

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して、クラスターによって取り外されたはリジェクトされたノードをクラスター内に追加できます。

重要: クラスターにノードを追加する前に、追加するノードがクラスター内の他のすべてのノードと同じゾーンに区別されるように、スイッチ・ゾーニングが構成されていることを確認します。ノードを交換しようとしており、スイッチが、スイッチ・ポートではなく、Worldwide Port Name (WWPN) でゾーンに分けられている場合は、スイッチ構成を更新する必要があります。

ノードをクラスターに追加するには、次の手順で行います。

1. CLI で次のコマンドを発行して、ノード候補をリストします。

```
svcinfol snodecandidate
```

以下の出力は、svcinfol snodecandidate コマンドを発行したときの表示例です。

id	panel_name	UPS_serial_number	UPS_unique_id
5005076801000101	000279	10L3BNZ	202378101C0D27AA

2. CLI で次のコマンドを発行して、ノードを追加します。

```
svcservicetask addnode -panelname panel_name -name new_name_arg -iogrp iogroup_name
```

ここで、*panel_name* は、ステップ 1 で記した名前です (この例では、パネル名は 000279)。これは、クラスターに戻すノードのフロント・パネルで印刷される番号です。 *new_name_arg* は、前のノードがクラスターから削除されたときに記されるノードの名前です。 *iogroup_name* は、前のノードがクラスターから削除されたときに記された入出力グループです。

以下の例で、発行するコマンドを示します。

```
svcservicetask addnode -panelname 000279 -name node3 -iogrp io_grp1
```

以下の出力は、表示内容の例です。

```
Node, id [5005076801000101], successfully added
```

重要: 複数の候補ノードが存在する場合は、入出力グループに追加するノードはその入出力グループから削除されたものと同じノードでなければなりません。そうでないと、データ破壊が発生する可能性があります。入出力グループに属する候補ノードが不明確な場合は、先へ進む前に、このクラスターにアクセスするすべてのホスト・システムをシャットダウンしてください。すべてのノードをクラスターに戻してから、各システムをリブートします。

3. CLI で次のコマンドを発行して、ノードが正常に追加されたことを検査します。

```
svcinfolnode
```

以下の出力は、svcinfolnode コマンドを発行したときの表示例です。

id	name	UPS_serial_number	WWNN	status	IO_group_id	IO_group_name	config_node	UPS_unique_id
1	node1	10L3ANP	50050768010000F6	online	0	io_grp0	yes	202378101C0D17A0
2	node2	10L3BNZ	5005076801000184	online	0	io_grp0	no	202378101C0D27AA
5	node3	10L3BNZ	5005076801000101	online	1	io_grp1	no	202378101C0D27AA
4	node4	10L3ANP	5005076801000147	online	1	io_grp1	no	202378101C0D17A0
5	node5	10L3CNP	50050776020000F8	online	2	io_grp2	no	202278101C0D17AB
6	node6	10L3CNZ	5005076801000197	online	2	io_grp2	no	202378202C0D27AA
7	node7	10L3DNZ	5005076801000458	online	3	io_grp3	no	202379011C0D27AA
8	node8	10L3DNP	5005076801000258	online	3	io_grp3	no	202378101C0D16A0

現在ノードはすべてオンラインです。

関連タスク

23 ページの『CLI を使用したクラスターからのノードの削除』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してクラスターからノードを削除できます。

CLI を使用した MDisk のリスト作成

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

CLI で次のコマンドを発行して、MDisks をリストします。

```
svcinfolmdisk -delim :
```

以下の出力は、svcinfolmdisk -delim : コマンドを発行したときの表示例です。

```

id: name:      status: mode:      mdisk_grp_id:  mdisk_grp_name  capacity:ctrl_LUN_#:  controller_name:UID
0:  mdisk0:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller0         *
1:  mdisk1:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller1         +
2:  mdisk2:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller2         ++
3:  mdisk3:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller3         $
4:  mdisk4:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller4         #
5:  mdisk5:    online: unmanaged:::  68.4GB:        0000000000000000:  controller5         **

*600a0b80000f4c92000000b3ef6c3d0000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)
+0080e52122fa8000000000000000000000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)
**600a0b80000c5ae400000093eca105c0000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)
$0080a0b80000f643200000043ef6b4ff0000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)
#600a0b80000f4c92000000b3ef6c3d0000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)
**600a0b80000f6c92000000d3er1a7d0000000000000000000000000000 (This number represents the controller_name:UID)

```

直前の例は、MDisk のリストを示しています。MDisk の状況を判別するには、列 3 を参照してください。例ではすべての MDisk の状況が、オンラインであることを示しています。以下のリストは、MDisk に対して考えられる状況を示しています。

- オンライン
- オフライン
- 除外
- 劣化

ディスクのモードを判別するには、直前の例の列 4 のモードを参照してください。この例は、モードが非管理であることを示しています。以下のリストは、MDisk に対して考えられるモードを示しています。

- 管理対象
- 非管理
- イメージ

1 つの Mdisk について、さらに詳細な情報をリストすることもできます。svcinfo lsmdisk -delim : 3 コマンドを発行して ID 3 の MDisk の詳細情報を表示します。以下の出力は、表示内容の例です。

```

id:3
name:mdisk3
status:online
mode:managed
mdisk_grp_id:0
mdisk_grp_name:mdiskgrp0
capacity:68.4GB
quorum_index:
block_size:512
controller_name:controller3
ctrl_type:4
ctrl_WWNN:20000004CF1FD7A0
controller_id:3
path_count:1
max_path_count:1
ctrl_LUN_#:0000000000000000
UID:600a0b80000f6432000000d3er1a7d000000000000000000000000

```

CLI を使用した MDisk グループの状況の検査

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) グループの状況を検査できます。

CLI で次のコマンドを発行して、MDisk グループの状況を表示します。

```
svcinfo lsmdiskgrp -nohdr -delim :
```

以下の出力は、表示内容の例です。

```
0:Group0:online:4:4:2.1GB:16:1.9GB
```

各 MDisk グループの特性は、1 グループに当たり 1 行でリストされます。MDisk グループの状況は、3 番目の項目によって表示されます。直前の例では、Group0 の状況はオンラインです。MDisk グループの状況として考えられるのは、オフライン、オンライン、または劣化です。

CLI を使用したディスク・コントローラー状況の検査

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してディスク・コントローラーの状況を検査できます。

svcinfo lscontroller -delim : コマンドを発行して出力例を表示します。

```
id:controller_name:ctrl_s/n:vendor_id:product_id_low:product_id_high
7:controller7:3EK0J5Y8:SEAGATE :ST373405:FC
8:controller8:3EK0J6CR:SEAGATE :ST373405:FC
9:controller9:3EK0J4YN:SEAGATE :ST373405:FC
10:controller10:3EK0GKGH:SEAGATE :ST373405:FC
11:controller11:3EK0J85C:SEAGATE :ST373405:FC
12:controller12:3EK0JBR2:SEAGATE :ST373405:FC
13:controller13:3EKYNJF8:SEAGATE :ST373405:FC
14:controller14:3EK0HVTM:SEAGATE :ST373405:FC
```

特定のディスク・コントローラーの状況も検査できます。特定のディスク・コントローラーの状況を検査するには、次のコマンドを発行します。

```
svcinfo lscontroller -delim = controller_id
```

ここで、*controller_id* は、状況を検査したいコントローラーの ID です。

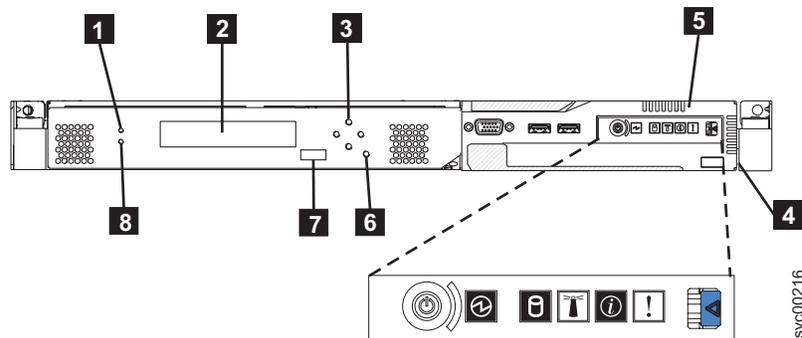
以下の出力は、`svcinfo lscontroller -delim : name` コマンドを発行したときの表示例です。

```
id:0
controller_name:controller0
WWNN:200200A0B80F5E2C
mdisk_link_count:30
max_mdisk_Link_count:30
degraded:no
vendor_id:IBM
product_id_low:1722-600
product_id_high:
product_revision:0520
ctrl_s/n:
WWPN:200200A0B80F5E2D
path_count:30
max_path_count:30
WWPN:200300A0B80F5E2D
path_count:30
max_path_count:30
```

SAN ボリューム・コントローラー のコントロールとインディケーター

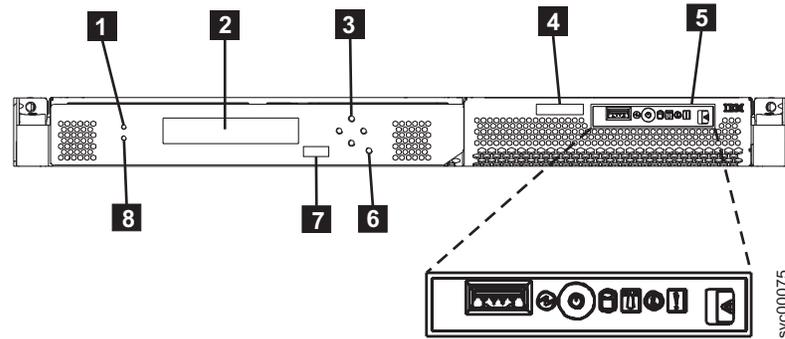
コントロールとインディケーターは、すべて SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルにあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のコントロールおよびインディケーター



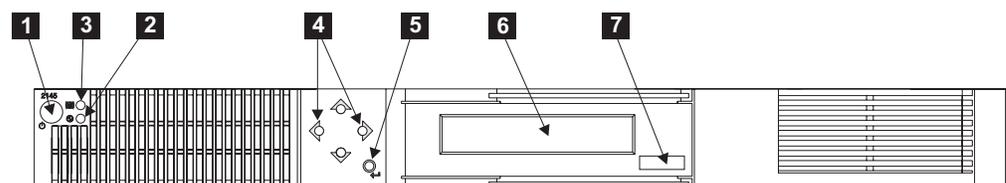
- 1** キャッシュ LED
- 2** フロント・パネル表示
- 3** ナビゲーション・ボタン
- 4** シリアル番号ラベル
- 5** オペレーター・パネル表示装置 (オペレーター・パネル表示装置のトピックを参照)
- 6** 選択ボタン
- 7** ノード識別ラベル
- 8** エラー LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のコントロールとインディケータ



- 1 キャッシュ LED
- 2 フロント・パネル表示
- 3 ナビゲーション・ボタン
- 4 シリアル番号ラベル
- 5 オペレーター・パネル表示装置 (オペレーター・パネル表示装置のトピックを参照)
- 6 選択ボタン
- 7 ノード識別ラベル
- 8 エラー LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のコントロールとインディケータ



- 1 電源ボタン
- 2 電源 LED
- 3 検査 LED
- 4 ナビゲーション・ボタン
- 5 選択ボタン
- 6 フロント・パネル表示
- 7 ノード識別ラベル

関連資料

35 ページの『オペレーター・パネル表示装置』

オペレーター・パネル表示装置には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のインディケータとボタンがあります。

39 ページの『電源 LED』

緑色の電源 LED は、SAN ボリューム・コントローラーの電源状況を示します。

キャッシュ LED

システム・アクティビティは、緑色のキャッシュ LED で示されます。

表 2 には、システム・アクティビティ・インディケータが記載されています。

表 2. キャッシュ LED の設定

キャッシュ LED 状況	結果
オフ	システムはまだ処理を開始していません。
オン	システムは機能的にアクティブであり、作業クラスターを結合してデータを処理中です。
明滅	ノードは、システム・リポート (電源オフ保留アクションまたはその他の制御再始動シーケンスからの) に備えてキャッシュ・データと状況データをローカル・ディスクにダンプ中です。この LED が明滅している間は、電源ケーブルを取り外し、または強制的な電源オフ・アクションを行わないでください。

フロント・パネル表示

フロント・パネル表示は、サービス、構成、およびナビゲーション情報を表示します。

フロント・パネル表示上の情報は、複数の言語で提供されています。表示は、英数字情報およびグラフィカル情報 (進行状況表示バー) の両方で表示されます。

フロント・パネルには、SAN ボリューム・コントローラーおよび SAN ボリューム・コントローラー・クラスターに関する、以下の項目を含む構成およびサービス情報が表示されます。

- ブート進行インディケータ
- ブート失敗
- 充電
- ハードウェア・ブート
- ノード・レスキュー要求
- 電源障害
- パワーオフ
- リカバリー
- 再始動
- シャットダウン

- エラー・コード

関連資料

101 ページの『第 6 章 SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルの使用』

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルには、SAN ボリューム・コントローラーの保守を行うときに役立つインディケータおよびスイッチが表示されます。

ナビゲーション・ボタン

ナビゲーション・ボタンを使用して、メニュー内を移動できます。

メニューでの移動に使用できるナビゲーション・ボタンには、「上」、「下」、「右」、および「左」の 4 つがあります。

それぞれのボタンは、メニューで移動できる方向に対応しています。例えば、メニューで右に移動するには、右側にあるナビゲーション・ボタンを押します。メニューを下方に移動したい場合は、下部にあるナビゲーション・ボタンを押します。

注: 「選択」ボタンは、ナビゲーション・ボタンと併せてタンデムで使用されます。

選択ボタン

「選択」ボタンを使用して、メニューから項目を選択できます。

「選択」ボタンとナビゲーション・ボタンは、メニュー・オプションおよびブート・オプションのナビゲートと選択、および保守パネル・テストの開始に役立ちます。

「選択」ボタンは SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルにあります。ナビゲーション・ボタンの近くです。

ノード識別ラベル

フロント・パネル表示のノード識別ラベルは、6 桁のノード識別番号です。

ノード識別ラベルは、`svctask addnode` コマンドで使用される 6 桁の番号と同じです。このラベルはシステム・ソフトウェアで読み取ることができ、構成およびサービス・ソフトウェアがノード ID として使用します。ノード ID は、メニューから `node` を選択すればフロント・パネルにも表示できます。

サービス・コントローラー・アセンブリーのフロント・パネルを交換した場合、構成およびサービス・ソフトウェアは、交換パネルの前面に印刷されている番号を表示します。将来のエラー・レポートにはこの新しい番号が入ります。フロント・パネルを交換するときは、クラスターの再構成は必要ありません。

製品のシリアル番号

ノードには、システム・ボード・ハードウェア上に組み込まれた、SAN ボリューム・コントローラー製品のシリアル番号が入っています。

この番号は、保証とサービスの資格検査に使用され、エラー・レポートとともに送られるデータに組み込まれます。製品の契約期間中は、この番号を変更しないことが重要です。システム・ボードを交換する場合は、慎重にシステム・ボード交換の指示に従って、システム・ボードのシリアル番号を再書き込みする必要があります。

エラー LED

サービス・コントローラーの重大な障害は、こはく色のエラー LED により示されます。

エラー LED には次の 2 つの状態があります。

オフ サービス・コントローラーは正常に機能しています。

オン 重大なサービス・コントローラー障害が検出されたので、サービス・コントローラーを交換する必要があります。

電源ボタン

電源ボタンは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2の主電源のオン/オフを切り替えます。

電源を入れるには、電源ボタンを押して放します。

電源を切るには、電源ボタンを押して放します。電源オフするためのお勧めの方法としては、『SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』トピックを「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド*」で参照してください。

注: SAN ボリューム・コントローラーが稼働状態で、電源制御ボタンが押されると、SAN ボリューム・コントローラーは、電源オフが行われようとしていること、およびその制御データを内部ディスクに書き込むことをそのフロント・パネル上に表示します。これには、5 分を要する可能性があります。電源制御ボタンを押したまま放さずにしていると、SAN ボリューム・コントローラーの制御データをディスクに書き込まずに即時電源オフが行われます。その場合は、SAN ボリューム・コントローラーを再度作動可能状態にするには、保守アクションが必要となります。このため、電源オフ時には、2 秒を超えて電源ボタンを押し続けしないでください。

重要: SAN ボリューム・コントローラーの電源が 5 分を超えてオフになり、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) に接続された SAN ボリューム・コントローラーが他にない場合は、2145 UPS も電源がオフになります。SAN ボリューム・コントローラーの電源をオンにするには、まず接続されている 2145 UPSをオンにする必要があります。

注: 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は、SAN ボリューム・コントローラーが電源ボタンでシャットダウンされても電源オフになりません。

検査 LED

こはく色の検査 LED は、サービス・コントローラーで重大な障害が発生していることを示すために使用されます。

検査 LED がオフで電源 LED がオンの場合は、サービス・コントローラーは正しく動作しています。

検査 LED がオンの場合は、重大なサービス・コントローラー障害が検出されています。

また、検査 LED は、サービス・コントローラー・コードが再プログラミングされている間もオンになります。例えば、SAN ボリューム・コントローラーのクラスター・コードのアップグレード中は、検査 LED がオンになります。この場合に電源 LED がオンになっているのは正常です。

オペレーター・パネル表示装置

オペレーター・パネル表示装置には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のインディケーターとボタンがあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装

オペレーター・パネル表示装置は、使用するモデルによって少し異なります。以下の図には、モデル間で何が異なるのかを示してあります。図9には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を示し、36 ページの図10には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の各モデルで使用されるオペレーター・パネルを示してあります。

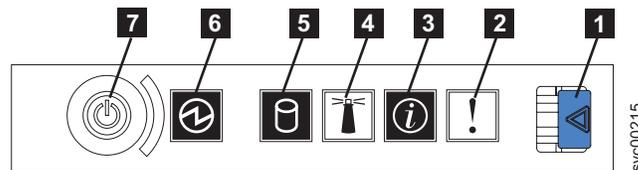


図9. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装

- 1 ライト・パス診断パネル用リリース・ラッチ
- 2 システム・エラー LED (こはく色)
- 3 システム情報 LED (こはく色)
- 4 位置 LED (青)
- 5 ハード・ディスク・アクティビティ LED (緑)
- 6 電源 LED (緑)
- 7 電源制御ボタン

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置

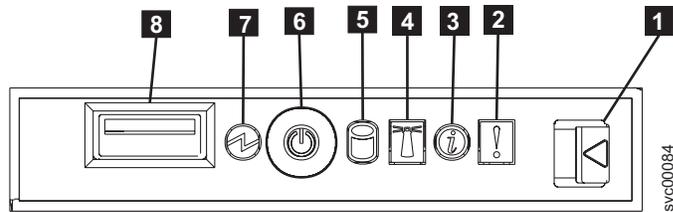


図 10. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置

- 1 ライト・パス診断パネル用のリリース・ラッチ
- 2 システム・エラー LED (こはく色)
- 3 情報 LED (こはく色)
- 4 位置 LED (青色)
- 5 ハード・ディスク・アクティビティ LED (緑色)
- 6 電源制御ボタン
- 7 電源 LED (緑色)
- 8 USB コネクター

関連タスク

469 ページの『オペレーター・パネル表示装置アセンブリーの取り外し』
SAN ボリューム・コントローラーのオペレーター・パネル表示装置を取り外すためのプロンプトが出される可能性があります。

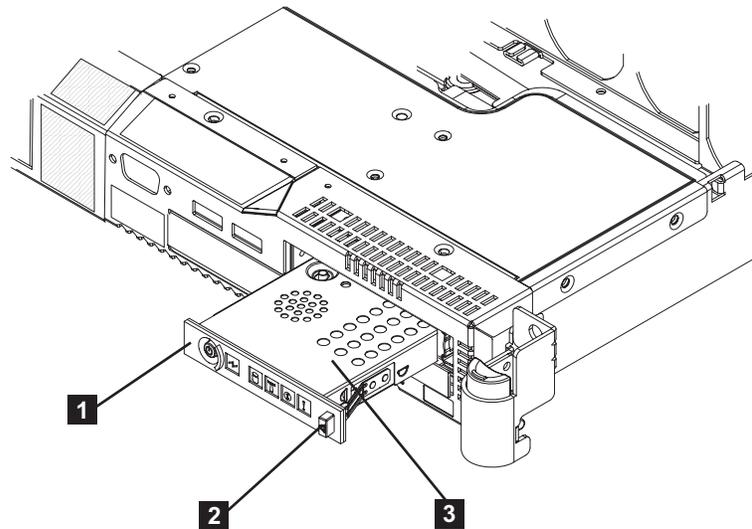
477 ページの『オペレーター・パネル表示装置アセンブリーの再取り付け』
SAN ボリューム・コントローラーのオペレーター・パネル表示装置アセンブリーを再取り付けするためようにプロンプトが出される可能性があります。

解放ラッチ

解放ラッチを使うと、ライト・パス診断パネルを見ることができます。このパネルは、問題の場所を判断するための予備的な方法を提供します。

情報パネルで解放ラッチを押してから、ライト・パス診断パネルを滑らせて引き出すと、点灯している LED を見ることができます。これらの LED は発生したエラーのタイプを示します。詳細は、「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド*」の『MAP 5800: ライト・パス』を参照してください。

パネルを引っ込めるには、カチッと音がするまでノードに押し込みます。37 ページの図 11 では、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4・モデル上にある解放ラッチの場所を示しています。



svc00234

図 11. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の解放ラッチ

- 1** オペレーター・パネル表示装置
- 2** 解放ラッチ
- 3** ライト・パス診断パネル

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

システム・エラー LED

システム・エラー LED が点灯すると、システム・ボード・エラーが発生していることを示しています。

新しい現場交換可能ユニット (FRU) が必要になる致命的エラーを SAN ボリューム・コントローラー・ハードウェアが検出すると、このこはく色の LED が点灯します。

注: 「IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド」の『MAP 5800: ライト・パス』を参照し、障害のある FRU の切り分けを行ってください。

システムによるエラーを表す LED は、SAN ボリューム・コントローラーの背面にもあります。

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

関連資料

36 ページの『解放ラッチ』

解放ラッチを使うと、ライト・パス診断パネルを見ることができます。このパネルは、問題の場所を判断するための予備的な方法を提供します。

情報エラー LED

情報エラー LED が点灯した場合は、重大でないイベントが発生しています。

ライト・パス診断パネルとエラー・ログを確認してください。ライト・パス診断については、ライト・パス保守分析手順 (MAP) に詳細な説明があります。

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

ロケーション LED

SAN ボリューム・コントローラーではロケーション LED を使用しません。

ハード・ディスク・アクティビティ LED

点灯している場合、緑色のハード・ディスク・アクティビティ LED は、ハード・ディスクが使用中であることを示します。

ハード・ディスク・アクティビティは、ハード・ディスクのアクティビティ LED 上に示されます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の場合、ハード・ディスク・アクティビティも、ハード・ディスク自身に表示されます。

電源制御ボタン

電源制御ボタンは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の主電源のオン/オフを切り替えます。

電源をオンにするには、電源制御ボタンを押してから放します。

電源をオフにするには、電源制御ボタンを押してから放します。SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源をオフにする方法の詳細は、「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド*」の『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

注: ノードが稼働状態で、電源制御ボタンが押されると、SAN ボリューム・コントローラーは、電源オフが行われようとしていること、およびその制御データを内部ディスクに書き込むことをそのフロント・パネル上に表示します。これには、5 分を要する可能性があります。電源制御ボタンを押したまま放さずにし

ていると、SAN ボリューム・コントローラーの制御データをディスクに書き込まずに即時電源オフが行われます。その場合、SAN ボリューム・コントローラーを再度作動可能状態にするには、保守アクションが必要となります。このため、電源オフ時には、2 秒を超えて電源制御ボタンを押し続けしないでください。

注: 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は、SAN ボリューム・コントローラーが電源制御ボタンでシャットダウンされても電源オフになりません。

電源 LED

緑色の電源 LED は、SAN ボリューム・コントローラーの電源状況を示します。

緑色の電源 LED のプロパティは、次のとおりです。

オフ 次の条件の 1 つ以上が当てはまっています。

- 電源装置に入力電源が供給されていない。
- 電源装置に障害が起こっている。
- LED に障害が起こっている。

オン SAN ボリューム・コントローラーの電源がオンです。

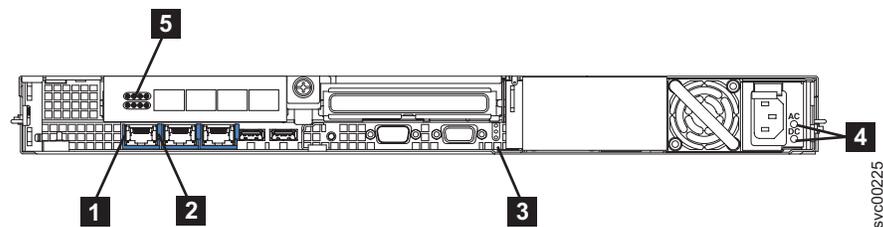
明滅 SAN ボリューム・コントローラーはオフ状態ですが、まだ給電部に接続されています。

注: サーバーの背面にも電源 LED があります。

SAN ボリューム・コントローラーの背面パネル・インディケータ

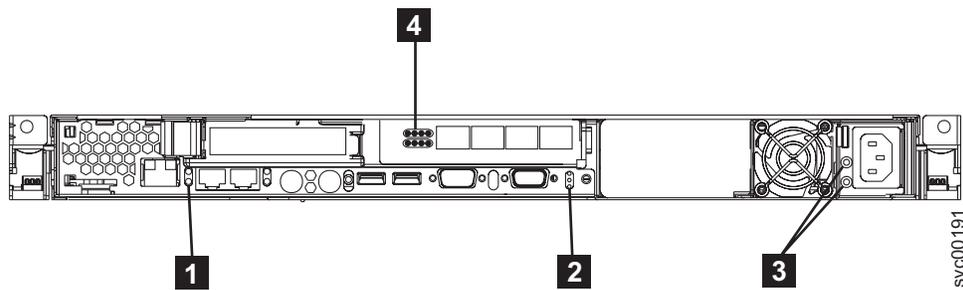
SAN ボリューム・コントローラーのインディケータは、フロント・パネル・アセンブリーおよびバック・パネル・アセンブリーにあります。以下の図は、背面パネル・インディケータを示しています。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の背面パネル・インディケータ



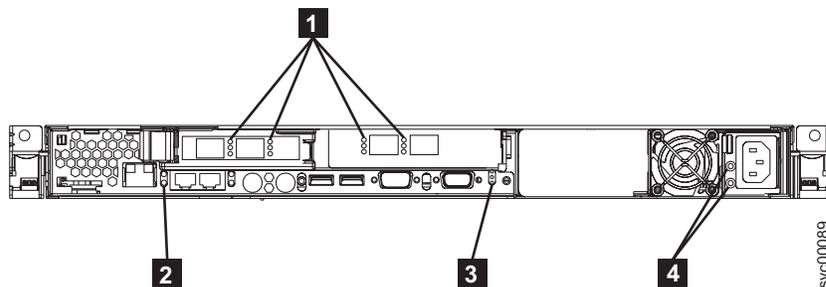
- 1** イーサネット活動 LED
- 2** イーサネット・リンク LED
- 3** 電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED
- 4** AC LED と DC LED
- 5** ファイバー・チャンネル LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面パネル・インディケータ



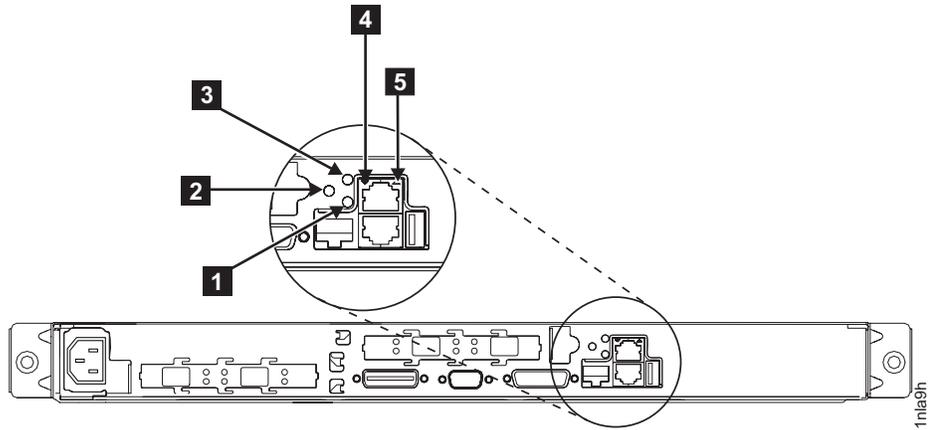
- 1** イーサネット接続 LED
- 2** 電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED
- 3** AC LED と DC LED
- 4** ファイバー・チャンネル LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2の背面パネル・インディケータ



- 1** ファイバー・チャンネル LED
- 2** イーサネット接続 LED
- 3** 電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED
- 4** AC LED と DC LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の背面パネル・インディケータ



- 1** システム・ボード電源 LED
- 2** システム・ボード障害 LED
- 3** モニター LED (未使用)
- 4** 下部イーサネット接続 LED
- 5** 上部イーサネット接続 LED

ファイバー・チャンネル LED

ファイバー・チャンネル LED は、ファイバー・チャンネル・ポートの状況を示します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 は、ファイバー・チャンネル・ポートごとに 2 つのファイバー・チャンネル LED を使用します (1 つのファイバー・チャンネル・ポートの上にもう 1 つのファイバー・チャンネル・ポートが配置されています)。LED はポートと同じ順序で配置されており、図 12 と 42 ページの図 13 に示されています。

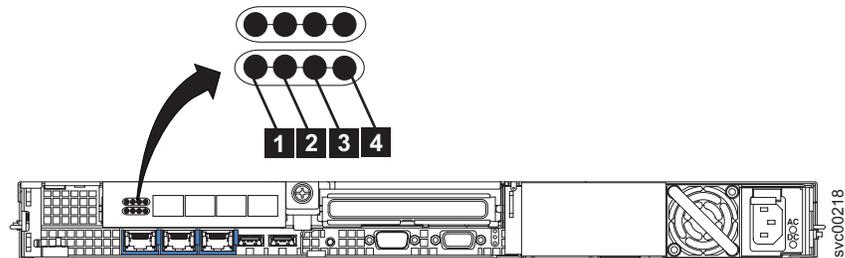


図 12. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ファイバー・チャンネル LED

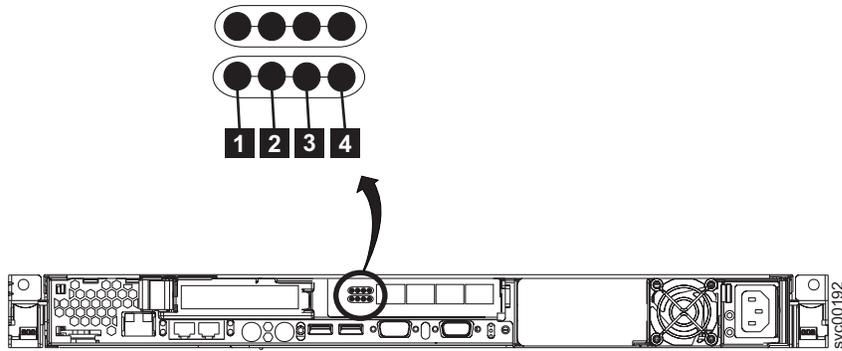


図 13. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ファイバー・チャンネル LED

表 3 は、リンク LED の状況を説明しています。

表 3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ファイバー・チャンネル LED の設定

上部 LED (リンク速度)	下部 LED (リンク・アクティビティ)	リンク状況
オフ	オフ	非アクティブ
オフ	オン/明滅	アクティブ 1 Gbps
明滅	オン/明滅	アクティブ 2 Gbps
オン	オン/明滅	アクティブ 4 Gbps

ファイバー・チャンネル LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 では使用されません。

関連資料

8 ページの『ファイバー・チャンネル・ポート番号とワールドワイド・ポート名』ファイバー・チャンネル・ポートは、その物理ポート番号とワールドワイド・ポート名 (WWPN) によって識別されます。

イーサネット・リンク LED

イーサネット・リンク LED は、イーサネット・ポートにアクティブな接続が存在することを示します。

イーサネット・リンク LED は各イーサネット・ポート上にあります。イーサネット・ポート 1 だけを通常稼働時に使用します。

イーサネット活動 LED

イーサネット活動 LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 が、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット・ネットワークと通信していることを示します。

イーサネット活動 LED は各イーサネット・ポート上にあります。イーサネット・ポート 2 はイーサネットのトラブルシューティング時にのみ使用します。

イーサネット接続 LED

左側のイーサネット接続 LED は、イーサネット・ポートにアクティブな接続が存在することを示します。

電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED

電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背面にまとめて収められています。

以下の項目には、電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED について以下に記載してあります。

電源 LED

これは 3 つの LED の最上部にあり、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上で以下のことを示します。

オフ 次の条件の 1 つ以上が当てはまっています。

- 電源装置に入力電源が供給されていない。
- 電源装置に障害が起こっている。
- LED に障害が起こっている。

オン SAN ボリューム・コントローラーの電源がオンです。

明滅 SAN ボリューム・コントローラーはオフ状態ですが、まだ給電部に接続されています。

ロケーション LED

これは 3 つの LED の真ん中にあります。SAN ボリューム・コントローラーでは使用されません。

システム・エラー LED

これは 3 つの LED の最下部にあり、システム・ボード・エラーが発生したことを示します。ライト・パス診断により詳細情報が提供されます。

AC LED と DC LED

AC と DC LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に電流が供給されているかどうかを示します。

AC LED と DC LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背面にあります。44 ページの図 14 および 44 ページの図 15 を参照してください。

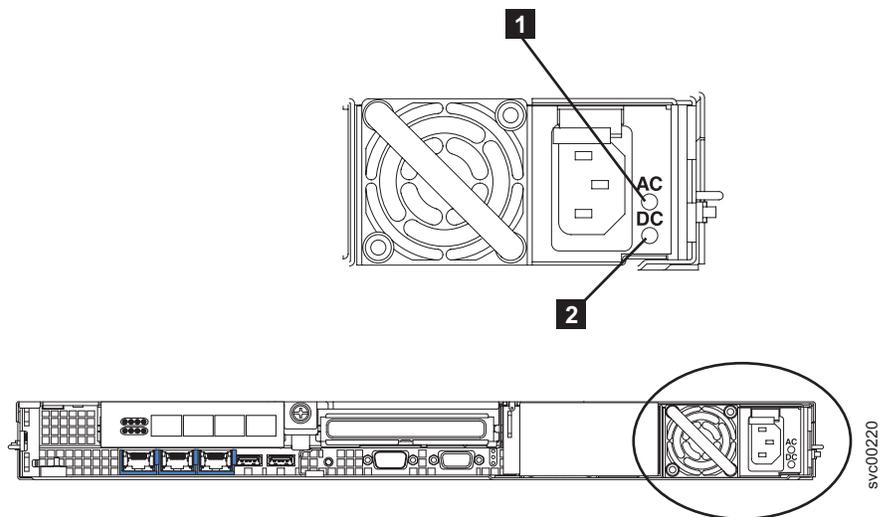


図 14. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 AC LED と DC LED

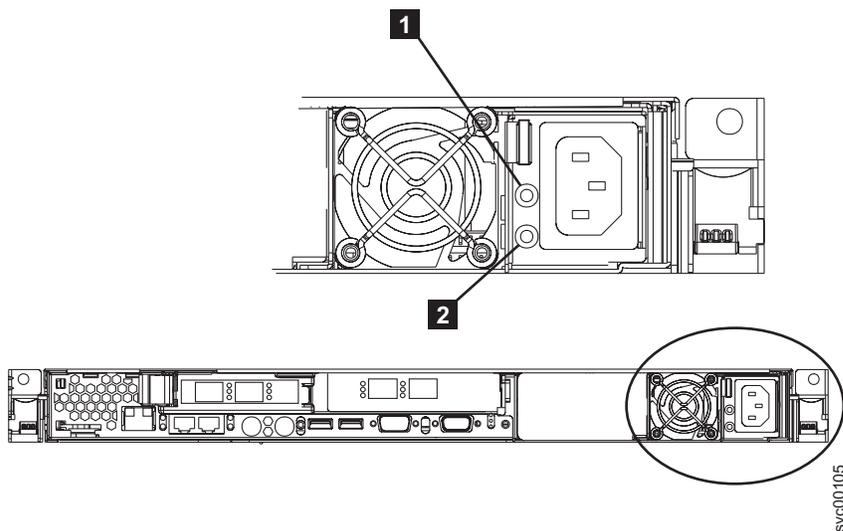


図 15. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の AC と DC LED

AC LED

上部 LED **1** 電源機構の隣にあり、AC 電流がノード上で流れていることを示します。

DC LED

下部 LED **2** 電源機構の隣にあり、DC 電流がノード上で流れていることを示します。

システム・ボード電源 LED

システム・ボード電源 LED は、システム・ボードが検出した電源装置の状況を示します。

システム・ボード障害 LED

オレンジ色のシステム・ボード障害 LED は、システム・ボードが重大な障害を検出したことを示します。

システム・ボード障害 LED は、背面パネル・インディケータの資料で見ることができます。

モニター LED

緑色のモニター LED は、SAN ボリューム・コントローラーでは使用されません。

モニター LED は、背面パネル・インディケータに関する資料で見ることができます。

下部イーサネット接続 LED

下部イーサネット接続 LED は、イーサネット・ポート 1 の操作状況を示します。この LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 とイーサネット・ネットワークの間に良好なイーサネット接続が存在するときに点灯します。

下部イーサネット接続 LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の背面パネル・インディケータに関する資料で見ることができます。

上部イーサネット接続 LED

上部イーサネット接続 LED は、イーサネット・ポート 2 の操作状況を示します。イーサネット・ポート 2 は、SAN ボリューム・コントローラーでは使用しません。

上部イーサネット接続 LED は、イーサネット・アダプターがイーサネット・ネットワークと通信すると明滅します。上部イーサネット接続 LED は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の背面パネル・インディケータに関する資料で見ることができます。

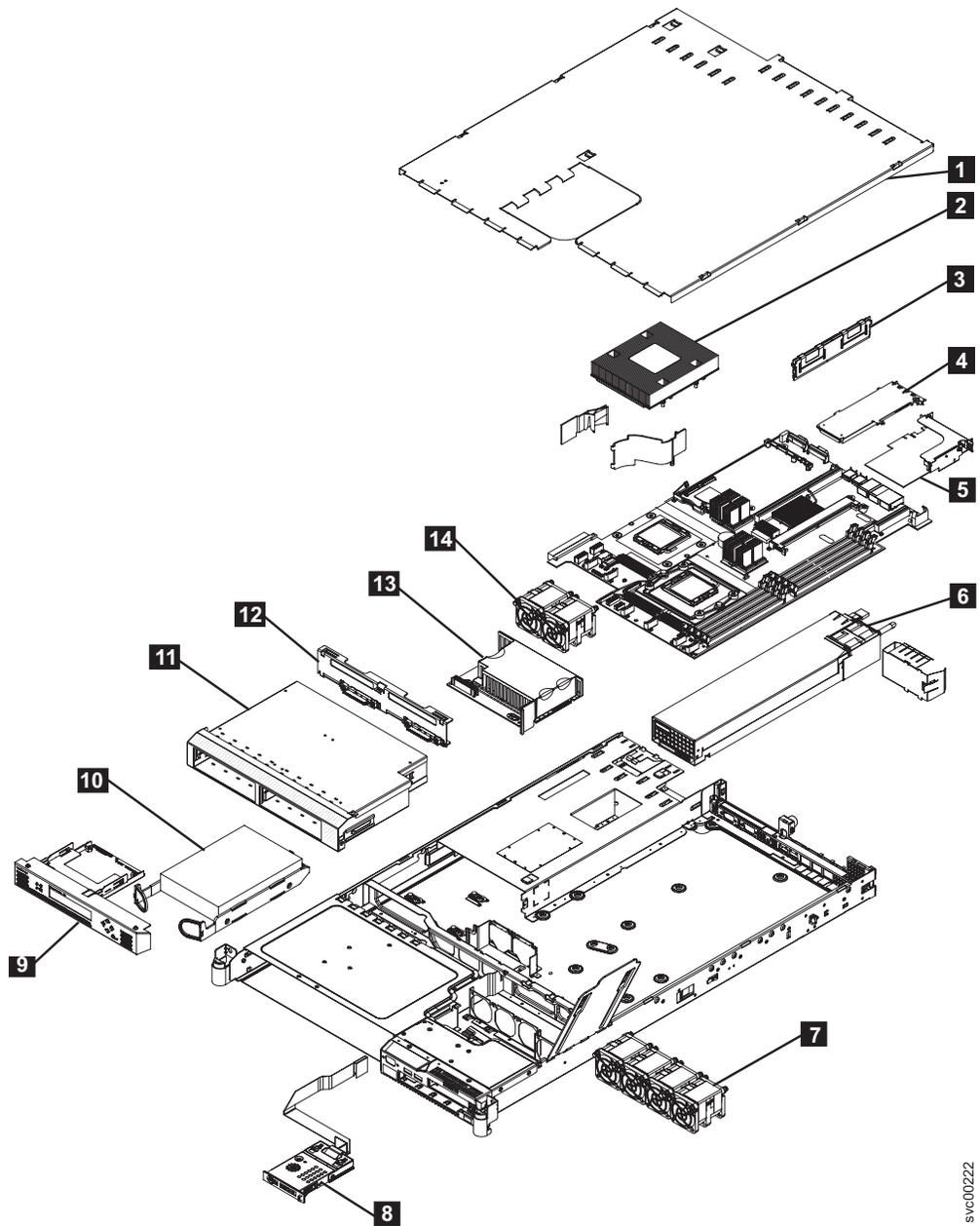
SAN ボリューム・コントローラーのハードウェア

SAN ボリューム・コントローラーのハードウェアについてよく理解しておくことは重要です。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェア

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェアについてよく理解しておく役立ちます。

46 ページの図 16 には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に対する部品の分解図を記載してあります。以下の参照キーを使用して、例示内の参照キーと突き合わせてください。



svc00222

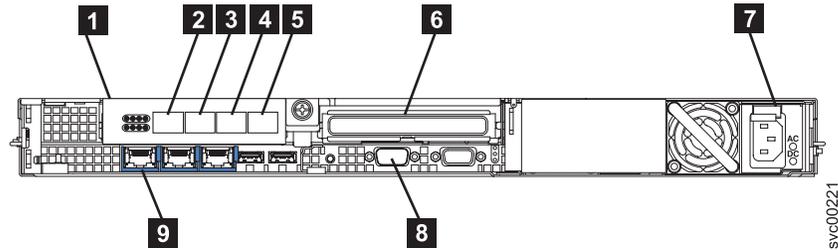
図 16. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のハードウェアの分解図

- 1** 上部カバー
- 2** ヒートシンク付きのマイクロプロセッサ
- 3** メモリー
- 4** ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート)
- 5** PCI Express ライザー・カード
- 6** 電源機構
- 7** ファン・アセンブリー (3 - 6)

- 8 オペレーター・パネル表示装置
- 9 サービス・コントローラー
- 10 3.5 インチ SATA ディスク・ドライブ
- 11 3.5 インチ SATA ディスク・ドライブ・ケージ
- 12 SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き)
- 13 電源バックプレーン
- 14 ファン・アセンブリー (1, 2)

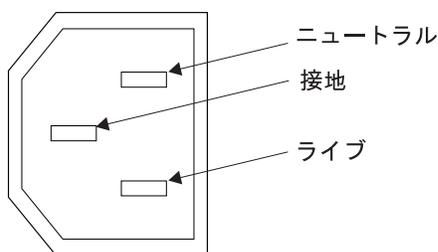
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のコネクター

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の外部コネクターは簡単に見つかります。



- 1 PCI スロット 1
- 2 ファイバー・チャンネル・ポート 1
- 3 ファイバー・チャンネル・ポート 2
- 4 ファイバー・チャンネル・ポート 3
- 5 ファイバー・チャンネル・ポート 4
- 6 PCI スロット 2
- 7 電源機構
- 8 シリアル接続
- 9 イーサネット・ポート 1

次の図に、電源装置アセンブリーにあるコネクターのタイプを示します。このコネクターを使用すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を無停電電源装置から給電部に接続できます。



サービス手順の間で使用される SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 には、サービス手順の間にのみ使用される複数のポートが含まれています。これらのポートは、図 17 に示されています。

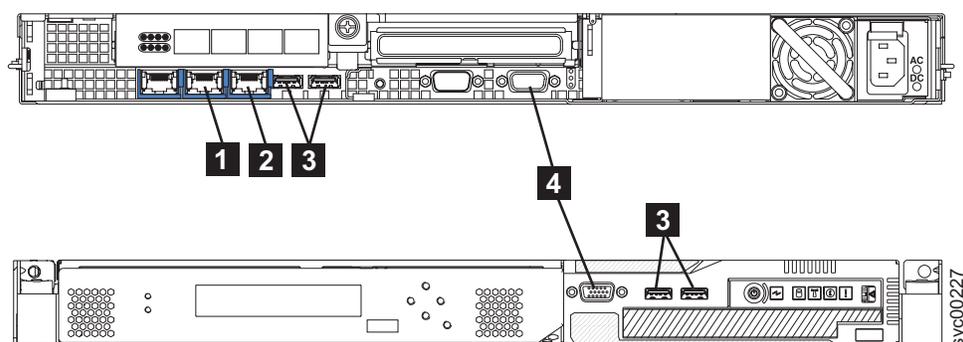


図 17. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

- 1** イーサネット・ポート 2
- 2** システム管理ポート
- 3** 4 つの USB ポート (2 つは前面、2 つは背面)
- 4** 2 つの モニター・ポート (1 つは前面、1 つは背面)

通常の稼働中はこれらのポートは使用されません。これらのどのポートに対しても装置を接続する必要があるのは、サービス手順でその旨を指示されている場合、または IBM サービス担当員が指示した場合に限定されます。

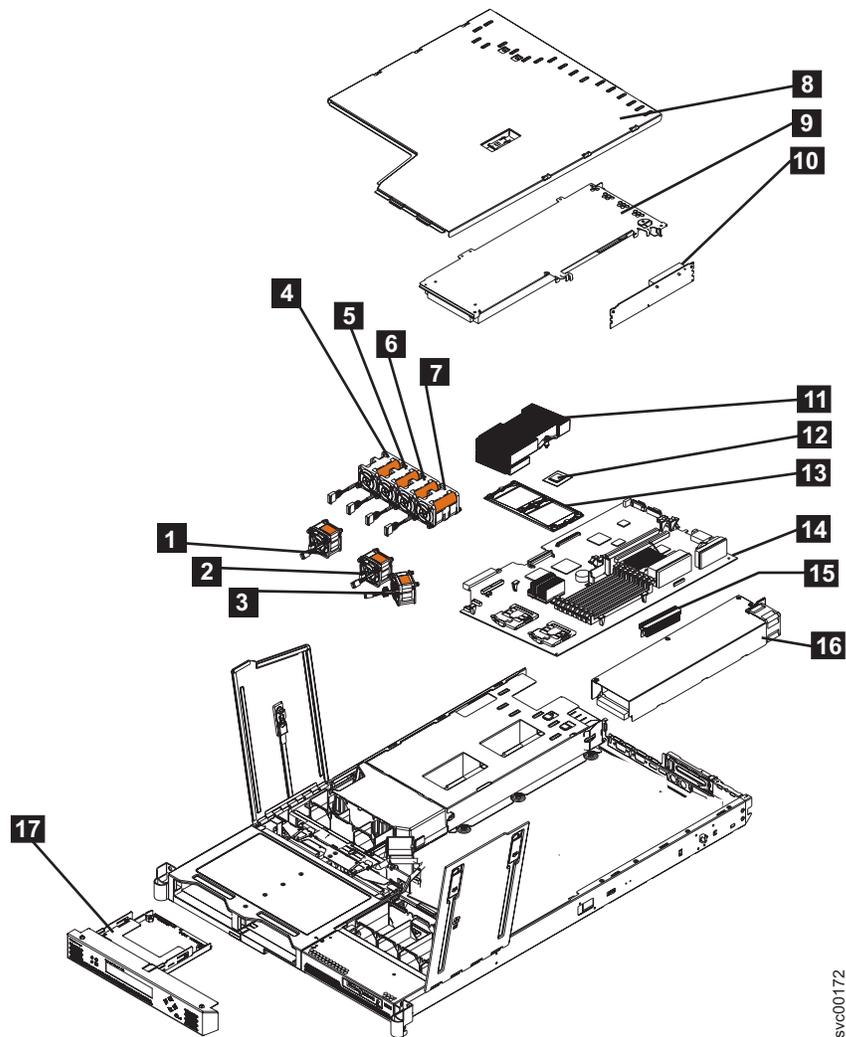
使用されない SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のポート

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 には未使用のポートはありません。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のハードウェア

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のハードウェアについてよく理解しておく役立ちます。

次の図は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の部品の分解図を示しています。以下の参照キーを使用して、例示内の参照キーと突き合わせてください。



svc00172

- 1** ファン 1
- 2** ファン 2
- 3** ファン 3
- 4** ファン 4
- 5** ファン 5
- 6** ファン 6
- 7** ファン 7
- 8** 上部カバー
- 9** ファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート)
- 10** PCI Express ライザー・カード
- 11** マイクロプロセッサ・ヒートシンク
- 12** マイクロプロセッサ

- 13** ヒートシンク・リテーナー
- 14** システム・ボード
- 15** 電圧調節モジュール
- 16** 電源機構
- 17** サービス・コントローラー

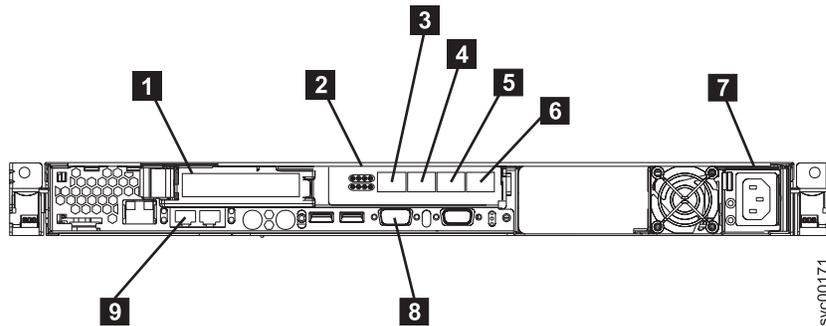
関連資料

79 ページの『2145 UPS-1U のハードウェア』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のハードウェアを次の図に示します。

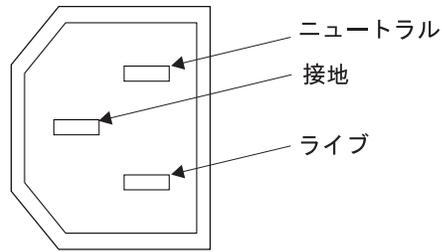
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 コネクター

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の外部コネクターは簡単に見つかりません。



- 1** PCI スロット 1
- 2** PCI スロット 2
- 3** ファイバー・チャンネル・ポート 1
- 4** ファイバー・チャンネル・ポート 2
- 5** ファイバー・チャンネル・ポート 3
- 6** ファイバー・チャンネル・ポート 4
- 7** 電源機構
- 8** シリアル接続
- 9** イーサネット・ポート 1

次の図に、電源装置アセンブリーにあるコネクターのタイプを示します。このコネクターを使用すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を無停電電源装置から給電部に接続できます。



サービス手順の間で使用される SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 には 3 つのサービス・ポート (イーサネット・ポート 2、キーボード・ポート、およびモニター・ポート) があります。これらのポートは現在使用状態ではありません。図 18 には、サービス・ポートの位置を記載してあります。

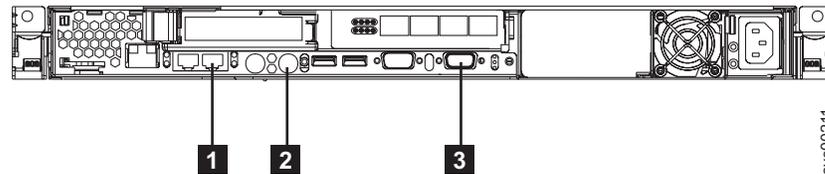


図 18. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4

- 1** イーサネット・ポート 2
- 2** キーボード・ポート
- 3** モニター・ポート

通常の稼働中に使用されない SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 は複数ポートを装備しており、これらのポートは、SAN ボリューム・コントローラーにより通常の稼働時には使用されず、テストは行われていません。これらのポートを SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 と一緒に使用すること、あるいはこのハードウェア上で実行される他のアプリケーションと一緒に使用することはサポートされません。使用されないこれらのポートは、図 19 および 52 ページの図 20 を参照してください。

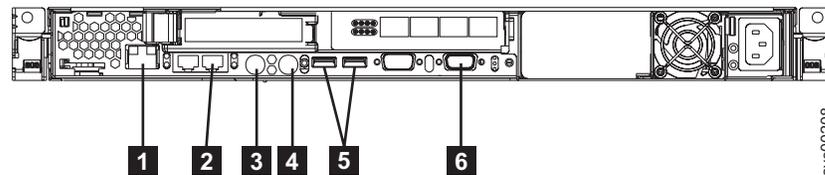


図 19. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 では使用されないポート

- 1** システム管理ポート

- 2 イーサネット・ポート 2
- 3 マウス・ポート
- 4 キーボード・ポート
- 5 USB ポート
- 6 モニター・ポート

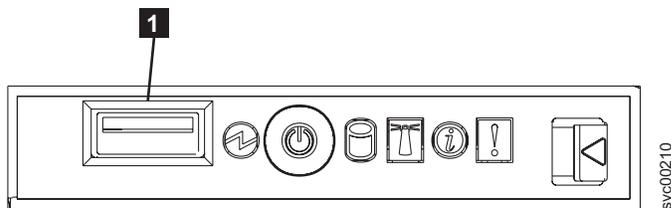


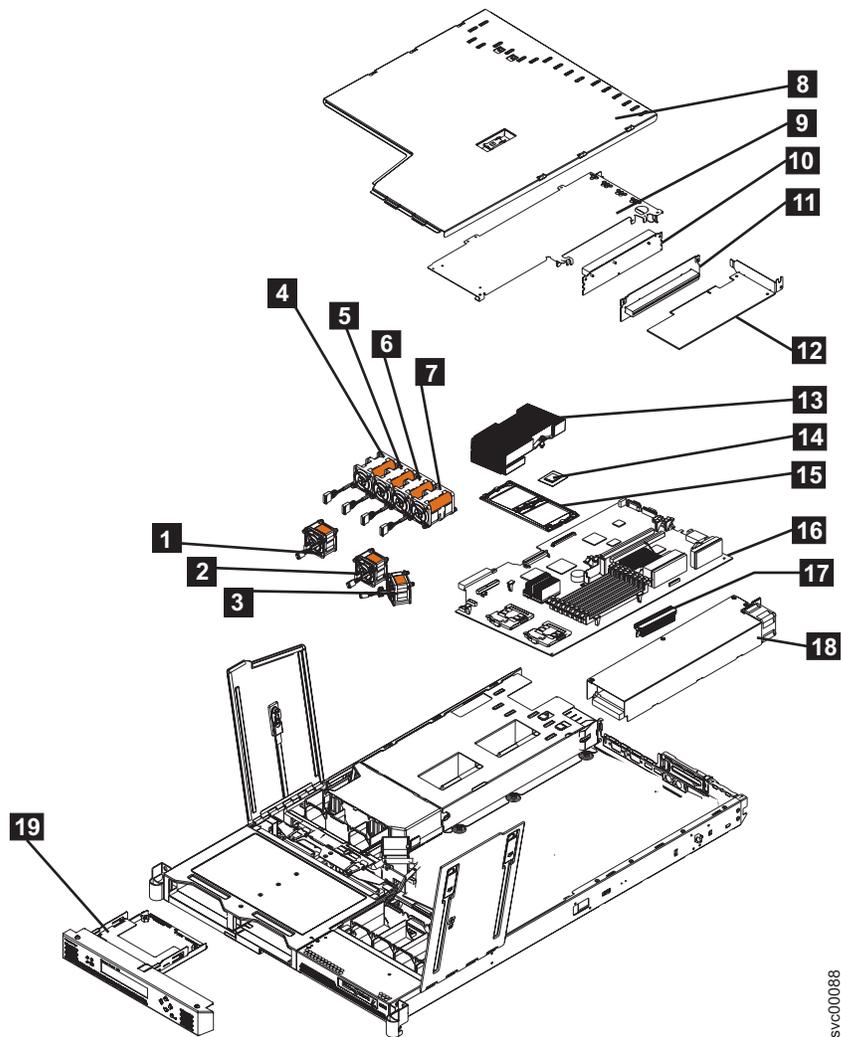
図 20. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の前面パネル上で使用されないポート

- 1 USB ポート

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のハードウェア

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のハードウェアについて知っておく必要があります。

次の図は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の部品の分解図を示しています。図の下にある参照キーを使用して、上の例の参照キーと突き合わせます。



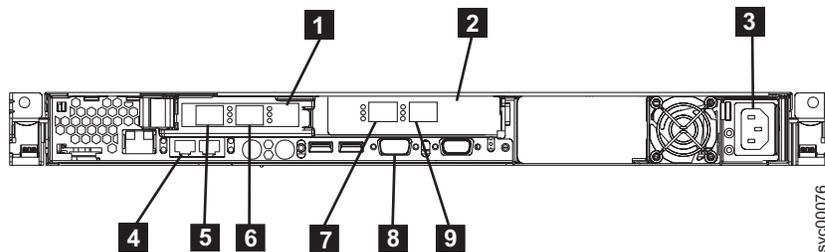
svc00088

- 1** ファン 1
- 2** ファン 2
- 3** ファン 3
- 4** ファン 4
- 5** ファン 5
- 6** ファン 6
- 7** ファン 7
- 8** 上部カバー
- 9** デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (フルハイト)
- 10** フルハイトのライザー・カード
- 11** ロー・プロファイルのライザー・カード

- 12** デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (ロー・プロファイル)
- 13** マイクロプロセッサ・ヒートシンク
- 14** マイクロプロセッサ
- 15** ヒートシンク・リテーナー
- 16** システム・ボード
- 17** 電圧調節モジュール (VRM)
- 18** 電源機構
- 19** サービス・コントローラー

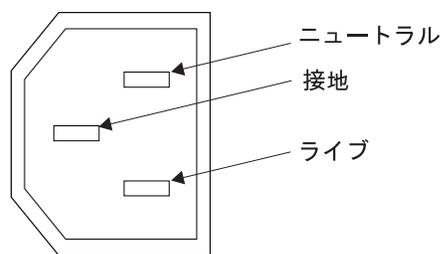
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 コネクター

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の外部コネクターは簡単に見つかります。



- 1** PCI スロット 1
- 2** PCI スロット 2
- 3** 電源機構
- 4** イーサネット・ポート 1
- 5** ファイバー・チャンネル・ポート 1
- 6** ファイバー・チャンネル・ポート 2
- 7** ファイバー・チャンネル・ポート 3
- 8** シリアル接続
- 9** ファイバー・チャンネル・ポート 4

次の図に、電源装置アセンブリーにあるコネクターのタイプを示します。このコネクターを使用すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 を無停電電源装置から給電部に接続できます。



SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のハードウェア

SAN ボリューム・コントローラーのハードウェアは、下の表と図に示されています。

56 ページの図 21 には、SAN ボリューム・コントローラーに対する部品の分解図を記載してあります。図の下にある参照キーを使用して上の例の参照キーと突き合わせます。

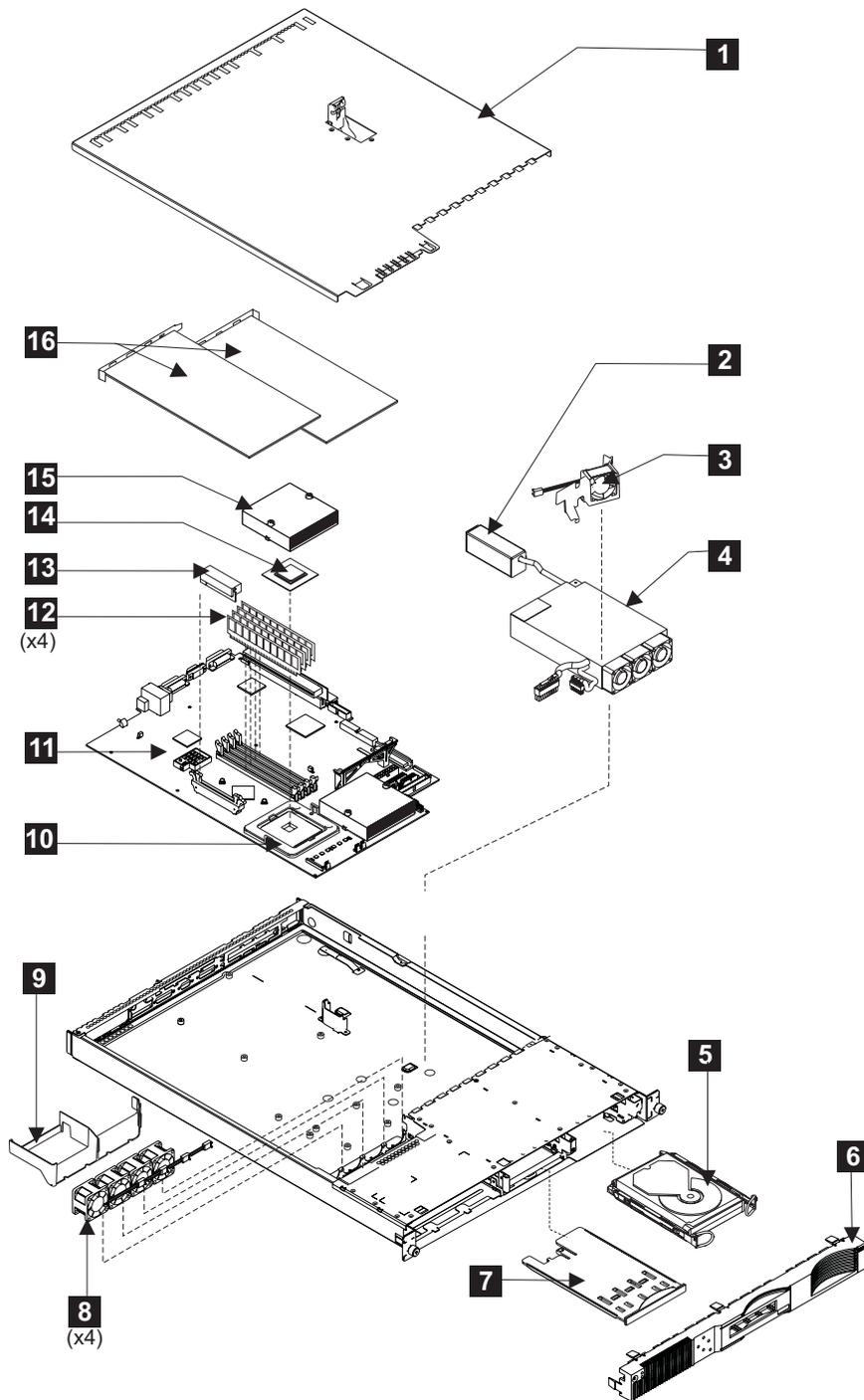


図 21. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のハードウェアの分解図

- 1** 上部カバー
- 2** 電源機構コネクタ
- 3** バッフル付きファン
- 4** 電源機構アセンブリー
- 5** ハード・ディスク

- 6 フロント・パネル
- 7 サービス・コントローラー・カード
- 8 ファン・アセンブリー (4)
- 9 エア・バッフル
- 10 マイクロプロセッサ・ヒートシンク保存モジュール
- 11 システム・ボード
- 12 DIMM モジュール (4)
- 13 マイクロプロセッサ電圧調整装置
- 14 マイクロプロセッサ
- 15 マイクロプロセッサ・ヒートシンク
- 16 ファイバー・チャンネル・アダプター (2)

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のコネクター

SAN ボリューム・コントローラーの外部コネクターは、容易に見つかります。

コンテキスト

図 22 には、外部コネクターの位置を記載してあります。

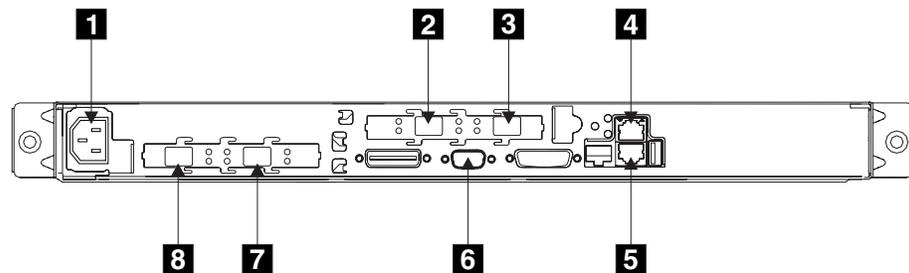
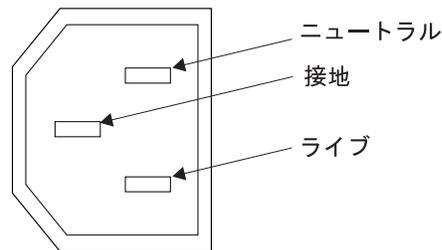


図 22. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のコネクターの位置

- 1 電源コネクター
- 2 ファイバー・チャンネル・ポート 3
- 3 ファイバー・チャンネル・ポート 4
- 4 イーサネット・ポート 2 (SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2では使用されない)
- 5 イーサネット・ポート 1
- 6 シリアル・コネクター
- 7 ファイバー・チャンネル・ポート 2

8 ファイバー・チャンネル・ポート 1

次の図に、電源機構アセンブリーにあるコネクターのタイプの図を示します。このコネクターを使用すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2を無停電電源装置にある給電部に接続できます。



SAN ボリューム・コントローラー環境の準備

SAN ボリューム・コントローラー をインストールする前に物理環境を準備する必要があります。

入力電圧要件

以下の要件が満足されていることを確認します。

電圧	周波数
200 - 240 V 単相 AC	50 または 60 Hz

各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードごとの消費電力

以下の電力が各ノードごとに使用可能かを確認します。必要な電力は、ノード・タイプ、無停電電源装置 (UPS) タイプ、および冗長 AC 電源機構に使用の有無により異なります。

コンポーネント	電源要件
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 + 2145 UPS-1U	470 W
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 + 2145 UPS-1U	520 W
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 + 2145 UPS-1U	520 W
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 + 2145 UPS-1U	420 W
1 台の SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 + 1 台の 2145 UPS	760 W
2 台の SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノード + 1 台の 2145 UPS	1120 W

各冗長 AC 電源スイッチごとに、20 W を消費電力に加算します。

回路ブレーカー要件

以下の回路ブレーカー要件が満足されていることを確認します。

- 2145 UPS-1U は集積回路ブレーカーを備えており、追加の保護を必要としません。
- 各2145 UPS は独立した分岐回路ブレーカーに接続されており、この回路ブレーカーは、UL リストされた 15 A 回路ブレーカーを含みます。
- 冗長 AC 電源スイッチを使用している場合、冗長 AC 電源スイッチへの両方の入力回路が、1 つの回路ブレーカーを使って保護されます。

この回路ブレーカーの定格要件を以下のテーブルに示します。

冗長 AC 電源スイッチに接続された 2145 UPS-1U 数	回路ブレーカーの最小定格	回路ブレーカーの最大定格
1	5 A	16 A
2	7 A	16 A

冗長 AC 電源が未使用の場合の環境要件

環境	温度	高度	相対湿度	最大湿球温度
操作 (低高度)	10°C - 35°C (50°F - 95°F)	0 - 914 m (0 - 2998 フィート)	8% から 80% まで (結露なし)	23°C (74°F)
操作 (高高度)	10°C - 32°C (50°F - 88°F)	914 - 2133 m (2998 - 6988 フィート)	8% から 80% まで (結露なし)	23°C (74°F)
パワーオフ	10°C - 43°C (50°F - 110°F)	0 - 2133 m (2998 - 6988 フィート)	8% から 80% まで (結露なし)	27°C (81°F)
保管時	1°C - 60°C (34°F - 140°F)	0 - 2133 m (0 - 6988 フィート)	5% から 80% まで (結露なし)	29°C (84°F)
配送時	-20°C - 60°C (-4°F - 140°F)	0 - 10668 m (0 - 34991 フィート)	5% から 100% (凝縮あり、ただし降雨なし)	29°C (84°F)

冗長 AC 電源を使用の場合の環境要件

環境	温度	高度	相対湿度	最大湿球温度
操作 (低高度)	15°C - 32°C (59°F - 89°F)	0 - 914 m (0 - 2998 フィート)	20% から 80% まで (結露なし)	23°C (74°F)
操作 (高高度)	15°C - 32°C (50°F - 88°F)	914 - 2133 m (2998 - 6988 フィート)	20% から 80% まで (結露なし)	23°C (74°F)

環境	温度	高度	相対湿度	最大湿球温度
パワーオフ	10°C - 43°C (50°F - 110°F)	0 から 2133m (0 - 6988 フィート)	20% から 80% まで (結露なし)	27°C (81°F)
保管時	1°C - 60°C (34°F - 140°F)	0 - 2133 m (0 - 6988 フィート)	5 % から 80% まで (結露なし)	29°C (84°F)
配送時	-20°C - 60°C (-4°F - 140°F)	0 - 10668 m (0 - 34991 フィート)	5% から 100% (凝縮あり、ただし降雨なし)	29°C (84°F)

SAN ボリューム・コントローラー環境の準備

以下の 3 つの表には、ノードの物理的な寸法と重量、ノード周辺の追加スペース要件、およびノードが発する最大温度を記載しており、この各要件を考慮した上で、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、またはSAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を取り付ける必要があります。

寸法と重量

高さ	幅	奥行き	最大重量
43 mm(1.69 インチ)	440 mm (17.32 インチ)	686 mm (27 インチ)	12.7 kg

必要な追加スペース

位置	追加スペース要件	理由
左側および右側	50 mm (2 インチ)	冷却用空気の流れ
背面	最小: 100 mm (4 インチ)	ケーブルの出口

発熱量

モデル	ノード当たりの発熱量
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	400 W (1350 btu/時間)
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4	450 W (1540 btu/時間)
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2	450 W (1540 btu/時間)
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	350 W (1200 btu/時間)

関連資料

85 ページの『UPS 環境の準備』

設置場所が無停電電源装置 (UPS) のインストール要件を満たしていることを確認してください。

SAN ボリューム・コントローラーの電源制御の使用

SAN ボリューム・コントローラーの電源は、SAN ボリューム・コントローラーと同じラックにある無停電電源装置 (UPS) から供給されます。

SAN ボリューム・コントローラーの電源状態は、フロント・パネルの電源表示ライトによって表示されます。UPS のバッテリーが、SAN ボリューム・コントローラーを完全に作動可能にするまで充分充電されていない場合は、その充電状態が SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル・ディスプレイに表示されます。

SAN ボリューム・コントローラーへの電源は、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル上の電源ボタンか、あるいはイーサネット・インターフェースで送信するコマンドによって制御されます。決して、電源ケーブルを取り外して SAN ボリューム・コントローラーの電源を切らないでください。データが失われる可能性があります。SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにする方法の詳細は、329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアが実行中であり、かつ、そのソフトウェアに SAN ボリューム・コントローラー・コンソール、CLI、または電源ボタンから電源をオフにするよう要求した場合、SAN ボリューム・コントローラーはパワーオフ処理を開始します。この間、パワーオフ操作の進行状況が SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示に示されます。パワーオフ処理が完了した後に、フロント・パネルはブランクになり、フロント・パネルの電源ライトが明滅します。SAN ボリューム・コントローラーの背面から電源ケーブルを取り外しても安全です。パワーオフ処理中にフロント・パネルの電源ボタンを押した場合、フロント・パネル表示が変更され、SAN ボリューム・コントローラーが再始動することを示しますが、再始動が実行される前にパワーオフ処理が完了します。

フロント・パネルの電源ボタンが押されたときに SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアが実行していない場合は、SAN ボリューム・コントローラーの電源は即時にオフになります。

SAN ボリューム・コントローラーの電源がオフにされて、その SAN ボリューム・コントローラーの他に 2145 UPS に接続されているものがない場合は、2145 UPS は 5 分以内に電源が切れます。2145 UPS の電源オン・ボタンを押してから、SAN ボリューム・コントローラーを電源オンしてください。

注: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーが電源ボタンでシャットダウンされても電源オフになりません。

電源ボタンを使用して、またはコマンドで、SAN ボリューム・コントローラーの電源を切ると、SAN ボリューム・コントローラーはパワーオフ状態に入ります。SAN ボリューム・コントローラーは、電源ケーブルが SAN ボリューム・コントローラーの背面に接続され、電源ボタンが押されるまで、この状態を続けます。

SAN ボリューム・コントローラーは、SAN ボリューム・コントローラーの開始シーケンスの際、UPS のシグナル・ケーブルによって UPS の状況を検出しようとします。UPS が検出されない場合、SAN ボリューム・コントローラーは一時停止し、エラーがフロント・パネル表示に表示されます。UPS が検出されると、ソフトウェアが UPS の操作状態をモニターします。UPS のエラーが報告されず、UPS

のバッテリーが十分充電されていれば、SAN ボリューム・コントローラーは操作可能になります。UPS のバッテリーが十分充電されていない場合は、充電状態がフロント・パネル表示の進行状況表示バーによって示されます。UPS を初めて電源オンにしたときは、バッテリーが十分充電されて、SAN ボリューム・コントローラーが操作可能になるまでに、最長 3 時間かかります。

UPS への入力電源が失われると、SAN ボリューム・コントローラーはただちにすべての入出力操作を停止して、そのダイナミック RAM (DRAM) の内容を内部ディスク・ドライブに保管します。データがディスク・ドライブに保管されている間は、フロント・パネルに「電源障害 (Power Failure)」メッセージが表示され、保管すべき残りのデータ数を示す降順の進行状況表示バーが表示されます。すべてのデータが保管された後、SAN ボリューム・コントローラーは電源が切れ、フロント・パネルの電源ライトは消えます。

注: SAN ボリューム・コントローラーは、ここで待機状態になります。UPS 装置への入力電源が復元されると、SAN ボリューム・コントローラーは再始動します。UPS のバッテリーが完全に消費された場合は、「充電中」と表示され、ブート処理はバッテリーの充電を待ちます。バッテリーが十分に充電されると、「ブート中」と表示され、ノードがテストされてソフトウェアがロードされます。ブート処理が完了すると、「リカバリー中」と表示され、UPS の充電が完了します。「リカバリー中」が表示されていても、クラスターは正常に機能しますが、2 回目の電源障害後の電源回復の場合は、「充電中」と表示されてノードのブート処理の完了に遅延が生じます。

関連概念

103 ページの『電源オフ』

表示の進行状況表示バーは、電源オフ操作の進行を示します。

指示された保守手順の使用

SAN ボリューム・コントローラーの問題の診断および解決には、指示された保守手順 (DMP) を使用できます。

例えば、SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを修復するために行うタスクは、以下ようになります。

- エラー・ログを分析する。
- 障害を起こしたコンポーネントを交換する。
- 修復したデバイスの状況を確認する。
- デバイスをクラスター内の操作可能状態に復元する。
- エラー・ログ内のエラーに修正済みのマークを付ける。

指定された保守は、可能な限り多くのタスクを自動化することによってこれらの手順を単純化します。

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを修復するために DMP を開始するには、296 ページの『MAP 5000: 開始』を参照してください。

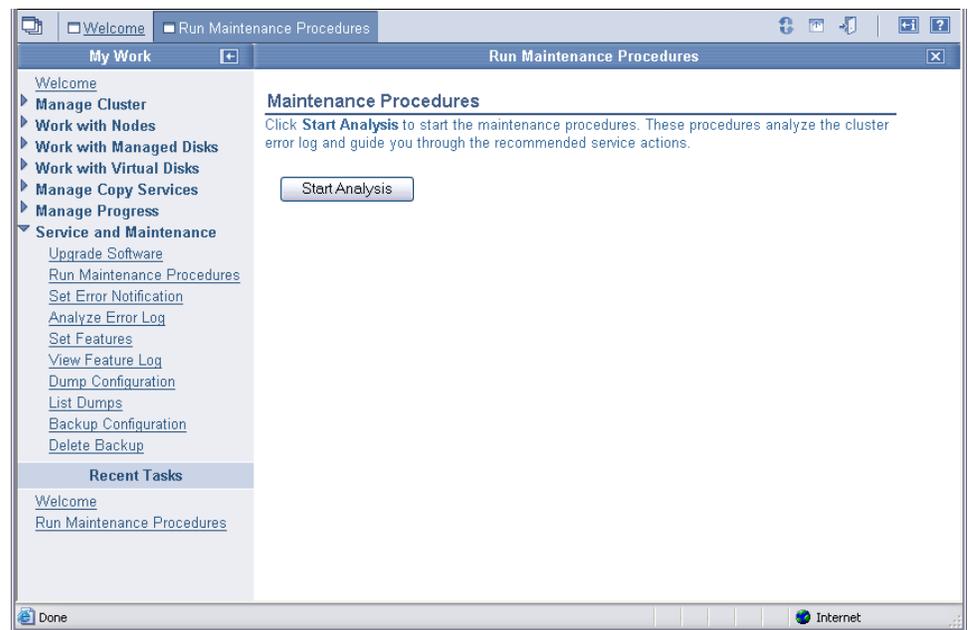
次の手順とパネルで、DMP を使用するときに表示される例を示します。固有の DMP とパネルは選択した手順によって異なります。

注: 次の手順とグラフィックスは、DMP を使用するときに表示される表示例です。

DMP とグラフィックスは選択した手順によって異なります。この作業は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソール を既に起動済みであることを前提としています。

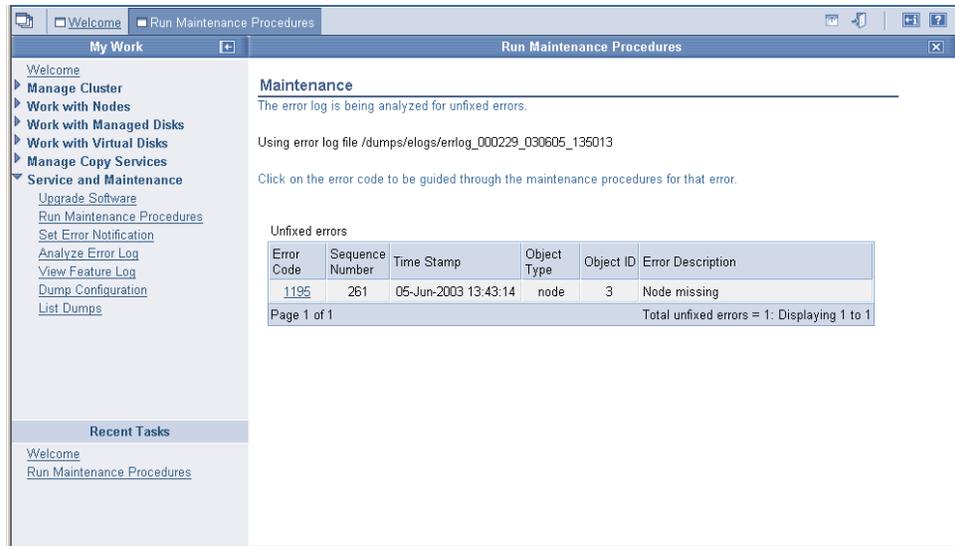
以下の例では、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用して SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを修復します。DMP を開始するには、以下のステップを実行します。

1. 「保守手順の実行」パネルで「分析の開始」をクリックします。



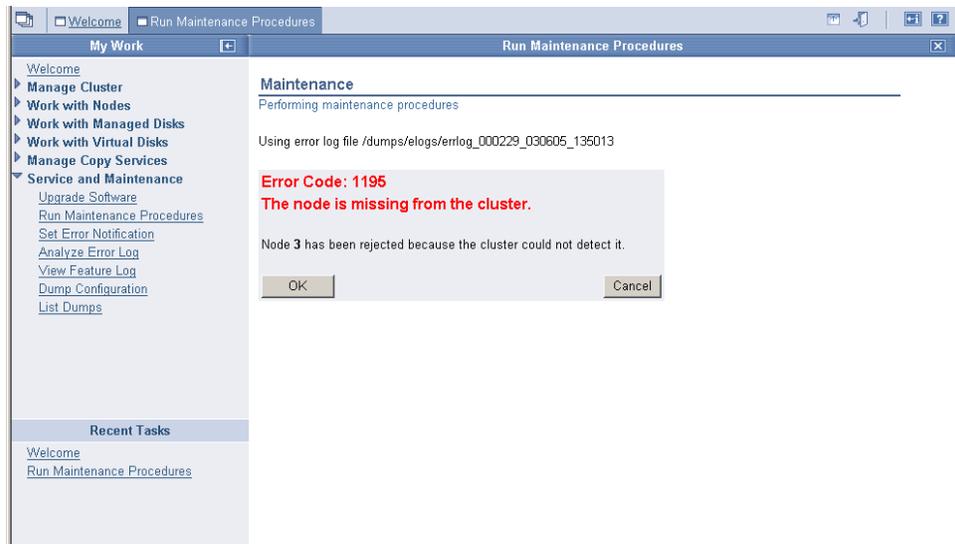
リストには、修復を必要とするエラーをいくつでも含めることができます。リスト上に複数のエラーがある場合は、リストの上部にあるエラーの優先順位が最も高く、常に最初に修正する必要があります。優先順位の高いエラーを最初に修正しないと、優先順位が下位のエラーを修正できない場合があります。

2. エラー・コードの番号をクリックします。

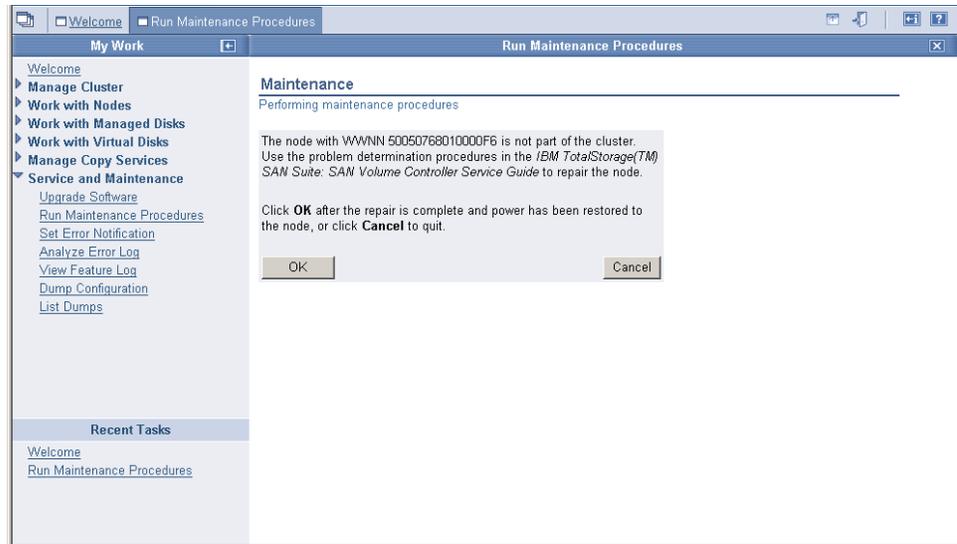


パネルにはエラー・コードが表示され、エラー状態の説明が記載されています。

3. 「OK」をクリックします。



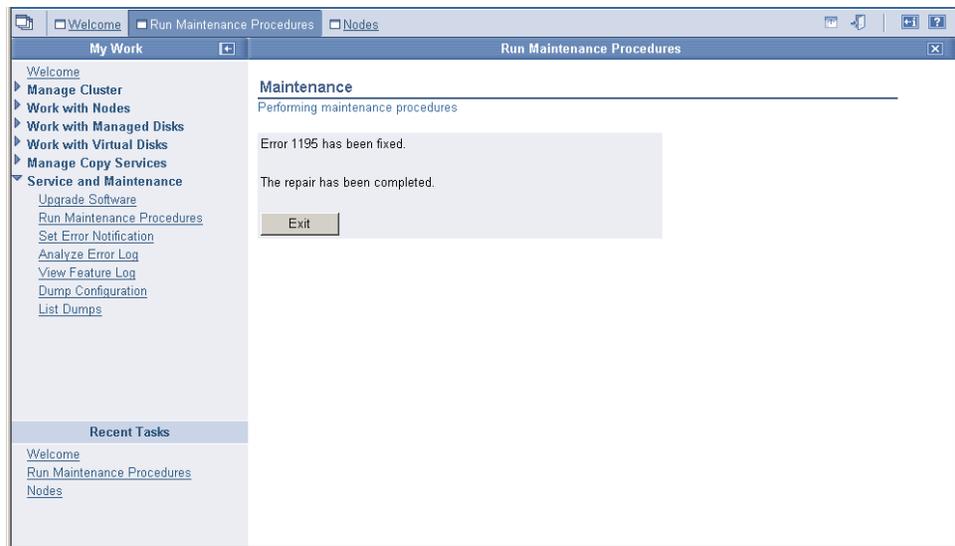
4. この場合 1 つ以上のパネルが表示されて、部品の交換、または他の修復を行うよう指示する場合があります。この時点で処置が完了できない場合は、「キャンセル」をクリックします。DMP に戻れば、修復をステップ 1 (63 ページ) からやり直しできます。実行するように指示された処置が完了したら、「OK」をクリックします。最後の修復処置が完成すると、DMP は、障害のあったデバイスをクラスターに復元しようとします。



5. 「OK」をクリックして、エラー・ログでエラーに修正済みのマークを付け、このエラーのインスタンスがもう一度リストされないようにします。



6. 「終了」をクリックします。修正を必要とするエラーが他にある場合は、それらのエラーが表示され、DMP は続行します。



エラーがない場合は、次のパネルが表示されます。



svc00314

このパネルは、修復手順の必要がなくなったことを示します。修復検査 MAP を使用して、修復を検査します。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

電源オン自己診断テスト

SAN ボリューム・コントローラーに電源を入れると、システム・ボードは自己診断テストを行います。初期テスト時に、ハードウェア・ブート・シンボルが表示されます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 では、最初に装置に電源を入れた時に、一連のテストを実行して、コンポーネントと取り付けられているいくつかのオプションの操作を検査します。この一連のテストは電源オン自己診断テスト (POST) と呼ばれます。

POST の間に重大な障害が検出されると、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアはロードされず、パネル表示装置にあるシステム・エラー LED が点灯します。これが起きた場合は、296 ページの『MAP 5000: 開始』を使用して障害の原因を特定します。

SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアがロードされると、追加のテストが行われます。このテストで、必要なすべてのハードウェアおよびソフトウェア・コンポーネントが取り付けられ、正しく機能していることが確認されます。追加のテスト中、ブート進行コードおよび進行状況表示バーとともに Booting というワードがフロント・パネルに表示されます。

テスト障害が起こると、ブート進行コードとともに Failed というワードがフロント・パネルに表示されます。一部のブート処理では、完了に数分を要する場合があります。進行状況表示バーが動かず、ブート・コード番号が数分間変わらない場合、ブート進行コードのセクションを参照し、状況を把握してください。

サービス・コントローラーは、内部検査を実行し、SAN ボリューム・コントローラーの操作にとって不可欠です。エラー (チェック) LED がサービス・コントローラーのフロント・パネルで点灯している場合、そのフロント・パネル表示は適切に機能していない可能性があるため、表示されるメッセージはすべて無視してかまいません。

注: サービス・コントローラーでマイクロコードをプログラムしているとエラー LED が点灯しますが、問題があることを示しているわけではありません。

無停電電源装置も内部テストを行います。UPS が障害状態を報告できる場合は、SAN ボリューム・コントローラーが、フロント・パネル表示に重大な障害情報を表示するか、あるいは重大でない障害情報をクラスター・エラー・ログに送ります。SAN ボリューム・コントローラーは、UPS と通信できない場合は、フロント・パネル表示にブート障害エラー・メッセージを表示します。UPS のフロント・パネルには、それ以外の問題判別情報が表示される場合もあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2

テストの間に重大な障害が検出されると SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ソフトウェアはロードされず、それ以上の障害情報は提供されません。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ソフトウェアがロードされると、追加のテストが行われます。このテストで、必要なすべてのハードウェアおよびソフトウェア・コンポーネントが取り付けられ、正しく機能していることが確認されます。テストのこの部分の間に、ブート進行コードおよび進行状況表示バーとともにブート中 というワードがフロント・パネルに表示されます。

テストが失敗すると、失敗 (Failed) というワードがフロント・パネルに表示されます。進行コードを使用すると、問題の原因を特定することができます。ブート進行状況表示バーが 2 分間右に移動しなかった場合は、テスト・プロセスがハングしています。ブート進行コードを使用して、障害を特定します。

サービス・コントローラーは、内部検査を実行し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の操作にとって不可欠です。内部検査が失敗すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 は作動しません。検査 LED が点灯しているのが見える場合は、他のフロント・パネルのインディケータは無視してください。

注: サービス・コントローラーでマイクロコードをプログラムしていると検査 LED が点灯しますが、問題があることを示しているわけではありません。

UPS も内部テストを行います。UPS が障害状態を報告できる場合は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が、フロント・パネル表示に重大な障害情報を表示するか、あるいは重大でない障害情報を SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のクラスター・エラー・ログに送ります。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 は、UPS と通信できない場合は、フロント・パネル表示にブート障害エラー・メッセージを表示します。追加の problem 問題判別情報が UPS のフロント・パネルに表示される場合もあります。

SAN ボリューム・コントローラーでのクラスターのシャットダウン

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターへのすべての入力電源を取り外す場合は、電源を取り外す前に、クラスターをシャットダウンする必要があります。無停電電源装置 (UPS) への入力電源を切る前にクラスターをシャットダウンしなかった場合、SAN ボリューム・コントローラーは、電源ロスを検出し、メモリー内のすべてのデータが内部ディスク・ドライブに保管されるまで、バッテリー電源で稼働を続けます。この結果、入力電源が復元したときにクラスターを操作可能にするのに必要な時間が増大し、UPS のバッテリーが完全に再充電されるまでに起こる可能性がある、予期しない電源ロスからリカバリーするのに必要な時間が著しく増えます。

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは CLI のいずれかを使用して、クラスターをシャットダウンします。

入力電源が復元されたら、SAN ボリューム・コントローラーの電源ボタンを押す前に、UPS の電源ボタンを押してください。

ファイバー・チャンネル・ネットワーク速度

SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートの速度は、SAN ボリューム・コントローラー・ノードのフロント・パネルを使用するか、あるいはイーサネット・インターフェースを用いて SAN ボリューム・コントローラー・クラスターに送信されるコマンドによって変更できます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用する場合、ファイバー・チャンネル・ポートの速度は、そのポートが接続されたファイバー・チャンネル・スイッチの最大速度によって決定されます (最大 4 Gbps まで)。ポートは、高信頼性接続が確立できる最大速度で作動します。SAN ボリューム・コントローラー上の別のポートおよびノードが、異なる速度で作動することがあります。

注: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファイバー・チャンネル・ポートの速度は、フロント・パネルまたはコマンドを使って変更可能ですが、フロント・パネルまたはコマンドを使って選択されたどの速度変更も、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 には影響を及ぼしません。

1 つの SAN ボリューム・コントローラー上の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のファイバー・チャンネル・ポートとノードは、すべて同じ速度で作動する必要があります。ポート速度のデフォルトは、2 Gbps です。ファイバー・チャンネル・ファブリックが、2 Gbps で作動できないファイバー・チャンネル・スイッチを使用している場合は、取り付け手順を実行しているときに、SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポート速度を 1 Gbps に設定してください。2 GB のファイバー・チャンネル・スイッチを 1 GB のファイバー・チャンネル・スイッチに取り替える必要がある場合は、手動で SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポート速度を前もって切り替える必要があります。これで、SAN ボリューム・コントローラーを 1 Gbps で使用することができます。

新しい SAN ボリューム・コントローラー・ノードを既存の SAN ボリューム・コントローラー構成に追加する場合、スイッチが 1 Gbps でのみ稼働できる場合は、速度の設定を変更する必要があります。SAN ボリューム・コントローラーの内部ディスク・ドライブに障害が起きた場合、ファイバー・チャンネルの速度設定は失われますが、SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアの復元に使用するノード・レスキュー手順が自動的に正しい速度を選択します。1 GB のファイバー・チャンネル・スイッチを 2 GB のファイバー・チャンネル・スイッチに取り替える場合、既存の SAN ボリューム・コントローラー・クラスターは 1 Gbps で作動します。コマンド行インターフェースを使用すれば、いつでも 2 Gbps に切り替えられます。

ファイバー・チャンネル・ポート速度の決定

いくつかの処置に合うようにファイバー・チャンネル・ポート速度を決定する必要があります。

以下のステップを実行して、ファイバー・チャンネル・ポート速度を判別します。

1. フロント・パネルから任意のファイバー・チャンネル・ポートを選択します。
2. 「下」ボタンを押し続けます。
3. 「選択」ボタンを押して放します。
4. 「下」ボタンを放します。
5. 再度「選択」を押して、テキスト表示を取り消すか、60 秒待つと、テキスト表示が自動的に取り消されます。

ノードが操作可能なクラスター内にある場合は、次のコマンドを発行して、クラスターの重要製品データからファイバー・チャンネル・ポート速度を決めることもできます。

```
svcinfolcluster name
```

ポート速度は、コンソールの「クラスター・プロパティ」の下にも表示されません。

クラスター内にはないノードのファイバー・チャンネル・ポート速度の変更

ときどき、クラスター内にはないノードのファイバー・チャンネル・ポート速度を変更する必要があります。

以下のステップを実行して、クラスター内にはないノードのファイバー・チャンネル・ポート速度を変更します。

1. フロント・パネルから、任意のファイバー・チャンネル・ポートを選択します。
2. 「下」ボタンを押し続けます。
3. 「選択」ボタンを押して放します。
4. 「下」ボタンを放します。
5. 必要な速度が表示されるまで、「上」または「下」を押します。
6. 「選択」を押して、新しい速度を活動化します。

クラスター内のノードのファイバー・チャンネル・ポート速度の変更

クラスター内のすべての SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードおよび SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ノードのファイバー・チャンネル・ポート速度は、`svctask chcluster` コマンドを発行して変更できます。

これはお客様が行う作業であり、これを行えるのは、admin ID とパスワードを使用してログオンしたユーザーのみです。

注: ファイバー・チャンネル・ポート速度を変更すると、クラスター内のすべてのノードは同時にウォーム・スタートを実行します。この結果、そのクラスターを使用するすべての I/O アクティビティが失敗し、したがって、ホスト上で実行されているアプリケーションが失敗する原因になります。

クラスター識別

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターは、その IP アドレスによって識別されます。

このアドレスは、SAN ボリューム・コントローラーのグラフィカル・ユーザー・インターフェースまたはコマンド行インターフェースを使用して、クラスターにアクセスする場合に使用します。ノードがクラスターに割り当てられると、メニューから「クラスター」を選択して、クラスター IP アドレスをフロント・パネル上に表示できます。

保守モードの概要

保守モードを使用すると、ノード上の重要製品データ (VPD)、ログ、およびダンプ・データにアクセスできます。また、異なるバージョンのソフトウェアを強制的にインストールする方法も得られます。

SAN ボリューム・コントローラーには 2 つの IP アドレスが割り当てられます。最初のアドレスは、通常の構成および保守アクティビティーのすべてに使用されるクラスター IP アドレスです。2 番目のアドレスは、通常はアクティブではありません。2 番目のアドレスは、サービス・モードに設定することによって、1 つの SAN ボリューム・コントローラー用に活動化することができます。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターを形成しているとき、クラスターへは、その IP アドレスを介してのみアクセスすることができます。ファイバー・チャンネル・ファブリックを介して十分なクラスター・ノードが相互にアクセスできない場合や、ノードが現在クラスターのメンバーでない場合は、ノードはクラスター IP アドレスを介してアクセスすることはできません。クラスター・アクセスの問題に対する通常の修復手順は、ファイバー・チャンネル・ファブリック上のすべての障害を修復し、障害状態をそのフロント・パネル表示に示しているすべてのノードを修復することです。これらの修復処置を行った後もクラスターにアクセスできない場合は、保守モードを使用可能にして、問題の分離または修復を行えるようにする必要があります。

注: 保守モードは、IBM サポートの指示のもとでのみ使用してください。アクティブ・クラスター内にあるノードに保守モードを設定すると、データが失われる可能性があります。

保守モードは、Web ブラウザーを使用するか、ノードへの電源をいったんオフにし、またオンにすることによってのみリセットできます。

関連資料

114 ページの『「クラスターのリカバリー」のナビゲーション』

「クラスターのリカバリー」メニューには SAN ボリューム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

第 2 章 冗長 AC 電源スイッチ

冗長 AC 電源スイッチはオプション機構であり、この機構により SAN ボリューム・コントローラー・ノードが電源障害に対して一層弾力性のある対応が可能となります。冗長 AC 電源スイッチは、無停電電源装置 (UPS) に対して置き換えとなる機構ではなく、依然として各ノードごとに 2145 UPS-1U を使用する必要があります。

冗長 AC 電源スイッチを 2 つの独立した電源回路に接続する必要があります。ある電源回路は主電源入力ポートに接続し、もう一方の電源回路はバックアップ電源入力ポートに接続します。何かの理由により、SAN ボリューム・コントローラーノードへの主電源に障害が発生した場合、冗長 AC 電源スイッチは自動的にバックアップ給電部を使用します。電力が回復すると、冗長 AC 電源スイッチは自動的に元のメイン給電部の使用に変わります。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードと同じラック内に 冗長 AC 電源スイッチを設置します。冗長 AC 電源スイッチは、論理的にはラック電力配分装置と 2145 UPS-1U との間に位置します。

単一の冗長 AC 電源スイッチを使用して、1 台または 2 台の SAN ボリューム・コントローラー・ノードを給電します。冗長 AC 電源スイッチを使用して 2 つのノードを給電する場合は、このノードは異なる入出力グループに存在する必要があります。冗長 AC 電源スイッチに障害が発生した場合、または保守が必要となった場合、両方のノードが電源オフ状態になります。このノードは、異なる 2 つの入出力グループ内に存在するため、そのホストはバックエンド・ディスク・データにアクセス不能にはなりません。

障害時に最大の回復力を実現するには、1 つの冗長 AC 電源スイッチを使用して、各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードを給電します。

以下の図には、冗長 AC 電源スイッチが記載されています。



冗長 AC 電源の環境準備

設置場所が冗長 AC 電源スイッチインストール要件を満たしていることを確認してください。

冗長 AC 電源スイッチには、2 つの独立した給電部が必要です。これらは、2 つのラック・マウント電力配分装置 (PDU) 経由で提供されます。この PDU には IEC320-C19 コンセントが必要です。

冗長 AC 電源スイッチと 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の間の電源ケーブルは、定格電流 10 A です。

冗長 AC 電源スイッチの仕様

寸法と重量

高さ	幅	奥行き	最大重量
43 mm (1.69 インチ)	192 mm (7.56 インチ)	240 mm	2.6 kg (5.72 lb)

追加のスペース要件

位置	幅	理由
左側	124 mm (4.89 インチ)	サイド装着プレート
右側	124 mm (4.89 インチ)	サイド装着プレート

発熱量 (最大)

冗長 AC 電源スイッチ内部で発する最大発熱量は、約 50 ワット (170 btu/時) です。

第 3 章 UPS

無停電電源装置 (UPS) は、電源障害、電力低下、過電流、または回線ノイズのために 1 次給電部からの電力を失った場合、SAN ボリューム・コントローラー・ノードに 2 次給電部を提供します。

電源が失われた場合に、電力を供給して装置の継続的な操作を可能にする従来の UPS とは異なり、これらの UPS は、外部電源の予期されない損失の場合、SAN ボリューム・コントローラーのダイナミック RAM (DRAM) に保持されるデータを保守するためだけに使用されます。SAN ボリューム・コントローラー・ノードの内部ディスクにデータを保存します。入力給電部が無停電電源であっても、UPS が SAN ボリューム・コントローラーに電源を供給するように要求されます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ノードは、2145 UPS-1U を使用した場合のみ稼働可能です。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードは、2145 UPS または 2145 UPS-1U のどちらを使用しても作動させることができます。

注: UPS は、接続された SAN ボリューム・コントローラー・ノードを使用して、連続的な SAN ボリューム・コントローラー固有の通信を維持します。SAN ボリューム・コントローラー・ノードは UPS がないと作動しません。この UPS は、文書化されたガイドラインと手順に従って使用する必要があり、電源を供給できる装置は、SAN ボリューム・コントローラー・ノードに限定されます。

2145 UPS-1U の SAN ボリューム・コントローラーへの接続

予備保守および並行保守を行うには、SAN ボリューム・コントローラーをペアで取り付ける必要があります。

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) に接続する場合、ペアの各、SAN ボリューム・コントローラーを 1 つの 2145 UPS-1U にのみ接続する必要があります。

注: クラスタに含めることができる SAN ボリューム・コントローラーは 8 つまでです。2145 UPS-1U は単相と 200-240 V の両方であるソースに接続されている必要があります。2145 UPS-1U は集積回路ブレーカーを備えていて、外部保護は不要です。

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) に接続する場合、ペアの各 SAN ボリューム・コントローラーを異なった UPS に接続する必要があります (両方の SAN ボリューム・コントローラーを同じ UPS に接続することはできません)。各 2145 UPS は、2 つの SAN ボリューム・コントローラーをサポートできます。

注: 1 つのクラスタにつき 2 台の 2145 UPS が必要です。クラスタに含めることができる SAN ボリューム・コントローラーは 8 つまでです。また、ペアの各 UPS は、別々の入力給電部に接続して (可能な場合)、両方の UPS で入力電源障害が起こる可能性を減らす必要があります。

2145 UPS には、以下の仕様に合った専用の分岐回路が必要です。

- UPS に電源を供給する分岐回路ごとに、15 A 回路ブレーカーを取り付ける必要があります。
- 単相
- 200 - 240 V

SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアは、UPS への入力電圧が範囲内にあるかどうかを判別し、UPS に適切な電圧アラーム範囲を設定します。このソフトウェアは、数分おきに入力電圧の再検査を続行します。入力電圧が大きく変わっても、許容範囲内におさまっている場合は、アラーム限界が再調整されます。

注: 2145 UPS-1U には、電源ケーブルが背面パネルから外れないようにするためのケーブル保持ブラケットが装備されています。詳しくは、関連文書を参照してください。

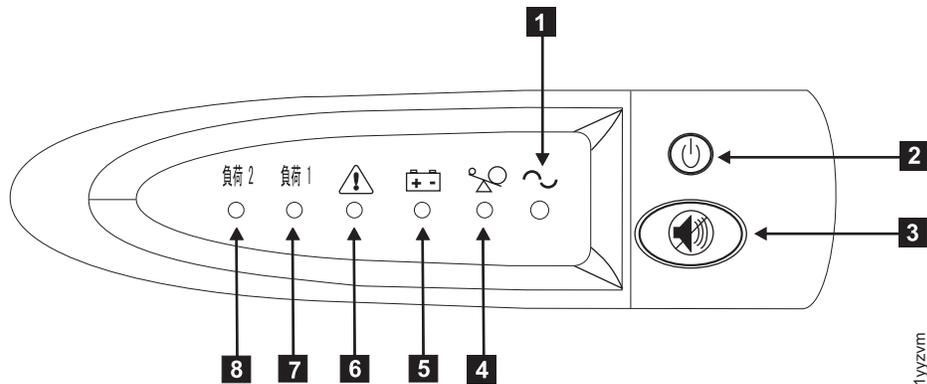
関連資料

79 ページの『2145 UPS-1U のハードウェア』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のハードウェアを次の図に示します。

2145 UPS-1U のコントロールとインディケータ

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・アセンブリーにあります。



- 1** 電源オン・インディケータ
- 2** オン/オフ・ボタン
- 3** テストおよびアラーム・リセット・ボタン
- 4** 過負荷インディケータ
- 5** オン・バッテリー・インディケータ
- 6** サービス・インディケータ
- 7** ロード・セグメント 1 インディケータ
- 8** ロード・セグメント 2 インディケータ

電源オン・インディケータ

電源オン・インディケータは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) が機能していることを示します。

電源オン・インディケータが緑色に点灯したままの場合、2145 UPS-1U はアクティブです。

オン/オフ・ボタン

オン/オフ・ボタンは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の電源をオンまたはオフにします。

2145 UPS-1U をオンにする

2145 UPS-1U をコンセントに接続すると、電源をオンにするまで待機モードになります。電源オン・インディケータが点灯するまで (約 5 秒)、オン/オフ・ボタンを押したままにします。自己診断テストが開始され、約 10 秒続きます。その間、インディケータのオン/オフが何回か繰り返されます。その後で、2145 UPS-1U は通常モードになります。

2145 UPS-1U をオフにする

パワーオン・ライトが消えるまで (約 5 秒)、オン/オフ・ボタンを押したままにします。これによって、2145 UPS-1U は待機モードになります。その後、2145 UPS-1U のプラグを抜いて、装置を電源オフにする必要があります。

テストおよびアラーム・リセット・ボタン

テストおよびアラーム・リセット・ボタンは、自己診断テストを始めるときに使用します。

自己診断テストを開始するには、テストおよびアラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けます。このボタンで、アラームもリセットされます。

注: このボタンは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) と 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の両方に適用されます。

過負荷インディケータ

過負荷インディケータは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の容量を超えた場合に点灯します。

過負荷インディケータがオンになった場合は、2145 UPS-1U MAP に進んで、問題を解決してください。

関連タスク

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ポリユーム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

オン・バッテリー・インディケータ

バッテリー使用中ライトは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) がバッテリーから電力供給されているときに黄色に点灯します。これは、メイン給電部が障害を起こしたことを示します。

バッテリー使用中ライトがオンになった場合は、2145 UPS-1U MAP に進んで、問題を解決してください。

関連タスク

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

サービス・インディケータ

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のサービス・インディケータが赤く明滅している場合は、保守を行う必要があります。

サービス・インディケータがオンになった場合はインディケータ、2145 UPS-1UMAP に進んで、問題を解決してください。

関連タスク

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

ロード・セグメント 1 インディケータ

ロード・セグメント 1 インディケータは、現在 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) では使用されません。

注: ロード・セグメント 1 は、SAN ボリューム・コントローラーによっては使用されません。2145 UPS-1U が SAN ボリューム・コントローラーによって構成される場合、このロード・セグメントは使用不可になります。通常操作時には、ロード・セグメント 1 インディケータはオフです。

関連資料

79 ページの『2145 UPS-1U のハードウェア』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のハードウェアを次の図に示します。

ロード・セグメント 2 インディケータ

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のロード・セグメント 2 インディケータは、ロード・セグメント 2 に電源を供給できる場合に (緑色に) 点灯します。

ロード・セグメント 2 インディケータが緑色の場合は、2145 UPS-1U は正常に稼働しており、このセグメントに電源を供給できます。

このセグメントの電源コンセントの位置については、2145 UPS-1U のハードウェア資料を参照してください。

関連資料

『2145 UPS-1U のハードウェア』

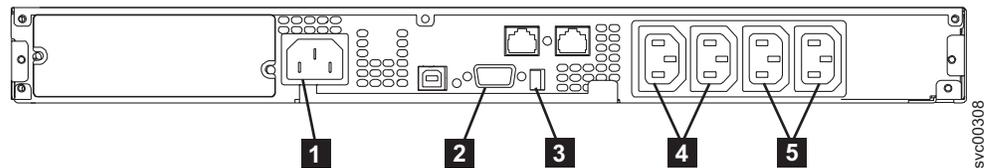
2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のハードウェアを次の図に示します。

2145 UPS-1U のハードウェア

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のハードウェアを次の図に示します。

2145 UPS-1U のコネクターおよびスイッチの位置

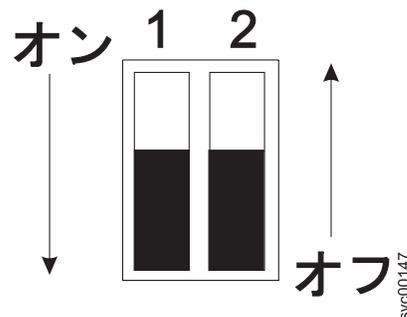
以下の図は、2145 UPS-1U のハードウェアを示しています。



- 1** 主電源コネクター
- 2** 通信ポート
- 3** ディップ・スイッチ
- 4** ロード・セグメント 1 コンセント
- 5** ロード・セグメント 2 コンセント

UPS-1U のディップ・スイッチ

ディップ・スイッチは、入力および出力の電圧範囲の設定に使用します。この機能は SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアによって実行されるため、この 2 つのスイッチはオフのままにしておいてください。



使用されない 2145 UPS-1U のポート

2145 UPS-1U には、SAN ボリューム・コントローラーでは使用されず、テストされていないポートが装備されています。これらのポートを、SAN ボリューム・コントローラーあるいは SAN ボリューム・コントローラーで使用される他のアプリケーションと併せて使用することはサポートされません。80 ページの図 23 には、使

用されない 2145 UPS-1U ポートが記載されています。

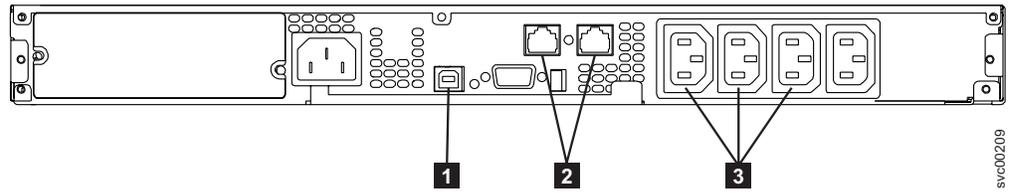
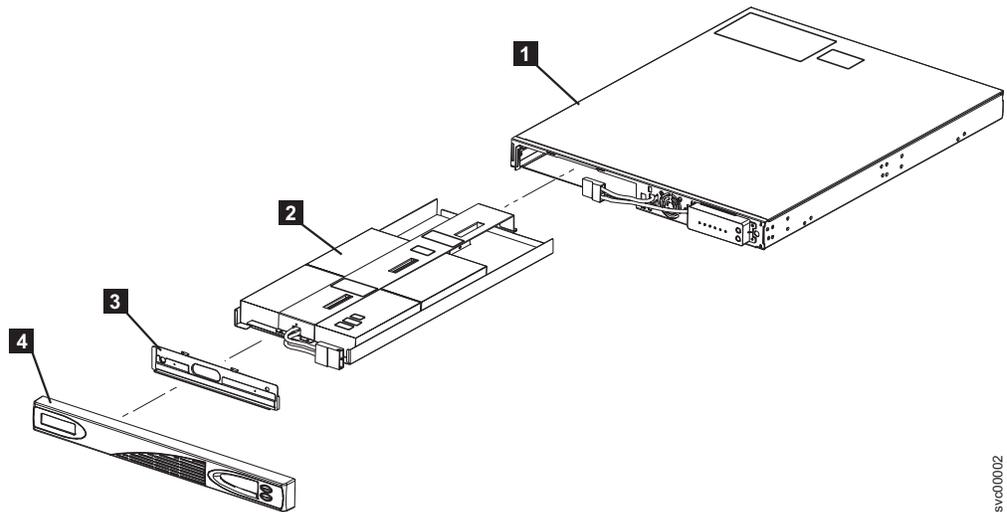


図 23. 2145 UPS-1U では使用されないポート

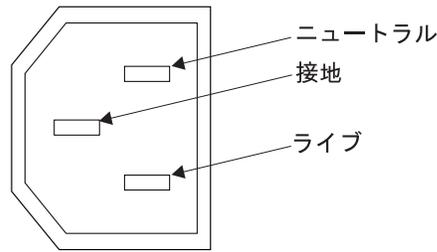
- 1** USB インターフェース・ポート
- 2** ネットワーク・ポート
- 3** ロード・セグメント・コンセント

2145 UPS-1U のハードウェア位置



- 1** フレーム・アセンブリー
- 2** バッテリー・パック・アセンブリー
- 3** バッテリー・プレート
- 4** フロント・パネル・アセンブリー

2145 UPS-1U の電源コネクタ



関連資料

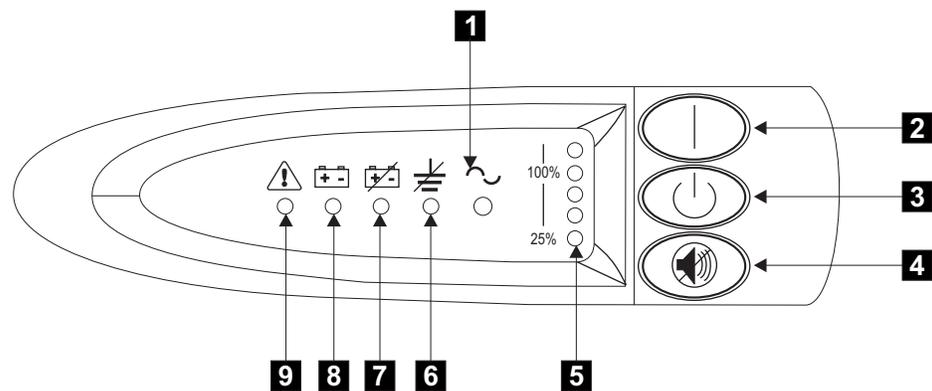
48 ページの『SAN ボリューム・コントローラ 2145-8F4 のハードウェア』
SAN ボリューム・コントローラ 2145-8F4 のハードウェアについてよく理解
しておく役立ちます。

関連情報

563 ページの『付録 A. 部品カタログ』
SAN ボリューム・コントローラおよび無停電電源装置の各種部品および現場
交換可能ユニット (FRU) の部品番号が記載されています。

2145 UPS のコントロールとインディケータ

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・
アセンブリーにあります。



- 1** モード・インディケータ
- 2** オン・ボタン
- 3** オフ・ボタン
- 4** テストおよびアラーム・リセット・ボタン
- 5** 負荷レベル・インディケータ
- 6** サイト配線障害インディケータ
- 7** バッテリー・サービス・インディケータ
- 8** バッテリー・サービス・インディケータ
- 9** バッテリー・サービス・インディケータ

8 バッテリー・モード・インディケーター

9 汎用アラーム・インディケーター

関連資料

77 ページの『テストおよびアラーム・リセット・ボタン』

テストおよびアラーム・リセット・ボタンは、自己診断テストを始めるときに使用します。

モード・インディケーター

モード・インディケーターは、フロント・パネルにあり、2145 無停電電源装置 (2145 UPS)に関する状況情報を提供します。

モード・インディケーターが緑色で点灯したままの場合は、2145 UPSは通常モードです。2145 UPSは、そのバッテリーを検査し、必要に応じて充電します。

モード・インディケーターが緑色で明滅している場合は、2145 UPSは待機モードです。待機モードは、2145 UPSがオフになっているが、まだ主給電部に接続されていることを示します。2145 UPSの出力ソケットからの電力は使用できませんが、2145 UPSはそのバッテリーを検査し、必要に応じて充電します。

モード・インディケーターが赤く点灯したままの場合は、2145 UPSは以下のいずれかの条件のためにバイパス・モードになっています。

- 2145 UPSがオーバーヒートしている。
- 2145 UPSが 30 秒間 103% から 110 % の過負荷になっている。
- 2145 UPSがバッテリーまたは2145 UPSの電子部品アSEMBリーに障害を検出した。

モード・インディケーターが赤色で明滅していて、アラームが鳴っているときは、電圧範囲の設定が正しくありません。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2を2145 UPSに接続すると、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2は自動的に電圧範囲設定を調整します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2を 2145 UPS に接続して電源オンした後 5 分を超えてもこの状態が続いている場合を除き、このアラーム状態に対するアクションは必要ありません。

オン・ボタン

オン・ボタンは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の主電源をオンにします。

電源を入れるには、ピープ音が鳴るまで (約 1 秒) オン・ボタンを押し続けます。モード・インディケーターが明滅を停止し、負荷レベル・インディケーターが、2145 UPS に適用される負荷のパーセントを表示します。

オフ・ボタン

オフ・ボタンは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS)の主電源をオフにします。

重要: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2に付属の説明書に特に指示がない限り、オフ・ボタンは使用しないでください。指示のない場合にオフ・ボタンを押すと、他の2145 UPSに障害が起こった場合に、クラスター内のデータが失われる可能性があります。

電源をオフにするには、オフ・ボタンを押し、長いビープ音が止まるまで (およそ 5 秒) 押し続けます。モード・インディケータが明滅し始めますが、2145 UPSを主電源コンセントから外すまで、2145 UPSは待機モードのままです。

負荷レベル・インディケータ

負荷レベル・インディケータは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS)容量のうち SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2が使用しているパーセンテージを示します。

すべてのインディケータが点灯している場合、SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 の消費電力が2145 UPSの容量を超えています。

サイト配線障害インディケータ

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のサイト配線障害インディケータは、接地線接続がないこと、または活線と中性線が入力電源接続で逆になっていることを示します。

サイト配線障害インディケータは、2145 UPS のフロント・パネルにあります。

バッテリー・サービス・インディケータ

バッテリー・サービス・インディケータは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS)のフロント・パネルにあり、2145 UPSがバッテリー・モードのときにバッテリーの充電が少なくなってきたことを示します。

5 秒おきに 1 回、アラームのビープ音が鳴り続けます。アプリケーション・プログラムはただちに終了し、処理を保管して、データのロスを防ぎます。2145 UPS は、シャットダウンした後、主電源が回復すると自動的に再始動されます。

バッテリー・モード・インディケータ

バッテリー・モード・インディケータは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS)がバッテリーで稼働していることを示します。

バッテリー・モード・インディケータは、主給電部に障害が起き、2145 UPS がバッテリー電力で稼働しているときに点灯します。5 秒おきに 1 回、アラームのビープ音が鳴ります。主電源が回復すると、2145 UPSは通常モードに戻り、バッテリーが再充電されます。その結果、バッテリー・モード・インディケータはシャットオフし、アラームは停止します。

汎用アラーム・インディケータ

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の汎用アラーム・インディケータは、電源または温度に関する問題が発生したときにオンになります。

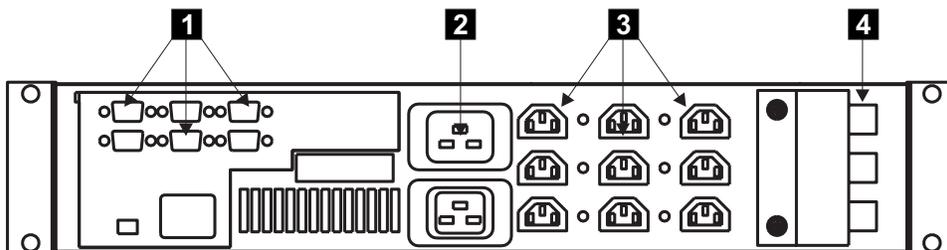
汎用アラーム・インディケータがオンになり、同時にオーディオ・アラームが 5 秒ごとにビープ音を鳴らしている場合は、バッテリーの充電が少なくなっています。オーディオ・アラームが連続して鳴る場合は、2145 UPS の内部温度が高過ぎるか、または瞬間的な出力過負荷が起きています。

2145 UPS のハードウェア

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のハードウェアを次の図に示します。

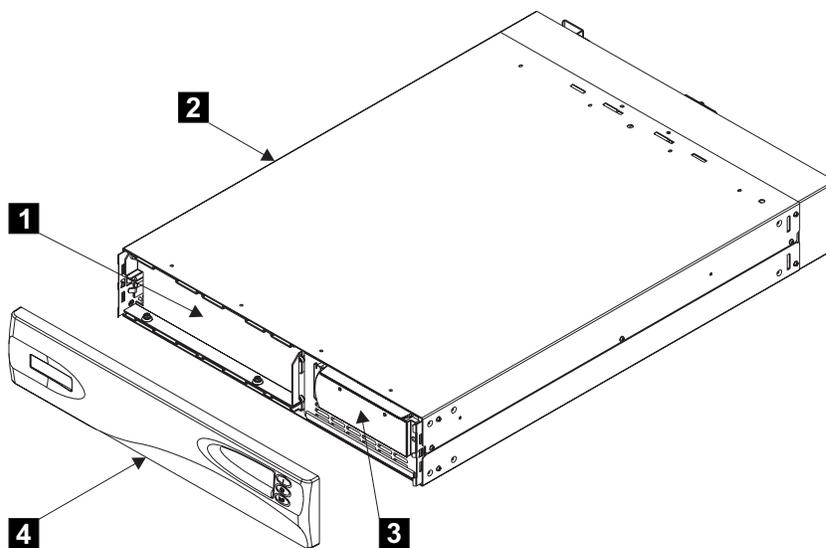
2145 UPS のコネクタおよび回路ブレーカーの位置

以下の図は、2145 UPS のハードウェアを示しています。



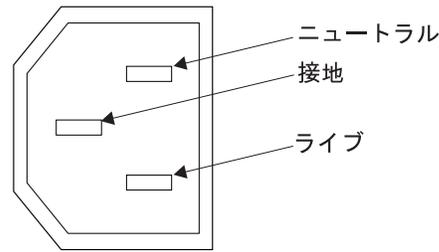
- 1** シグナル・ケーブル・コネクタ
- 2** 主電源コネクタ
- 3** 出力コネクタ
- 4** 回路ブレーカー

2145 UPS のハードウェア位置



- 1** バッテリー・アセンブリー
- 2** フレーム・アセンブリー
- 3** 電子部品アセンブリー
- 4** フロント・パネル・アセンブリー

無停電電源装置コネクター



関連情報

563 ページの『付録 A. 部品カタログ』

SAN ポリウム・コントローラーおよび無停電電源装置の各種部品および現場交換可能ユニット (FRU) の部品番号が記載されています。

UPS 環境の準備

設置場所が無停電電源装置 (UPS) のインストール要件を満たしていることを確認してください。

2145 UPS-1U

SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 は、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を使ってサポートされます。

2145 UPS

SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のみが、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を使ってサポートされます。

重要: UPS 装置に関する次の要件を順守してください。

- UPS を別の UPS からカスケード接続する場合、ソース UPS は 1 相につき少なくとも 3 倍の電気容量を持ち、合計高調波ひずみは 5 % 未満でなければなりません。
- さらに、UPS は、3 Hz/秒以下のスルー・レートの入力電圧キャプチャー機能を備えていなければなりません。

UPS の仕様

2145 UPS-1U の寸法と重量

高さ	幅	奥行き	最大重量
44 mm (1.73 インチ)	439 mm (17.3 インチ)	579 mm (22.8 インチ)	18.8 kg (41.4 ポンド)

2145 UPS の寸法と重量

高さ	幅	奥行き	最大重量
89 mm (3.5 インチ)	483 mm (19 インチ)	622 mm (24.5 インチ)	37 kg (84 ポンド)

発熱量

モデル	通常稼働時の発熱量	バッテリー稼働時の発熱量
2145 UPS-IU	40 W (135 btu/時間)	150 W (510 btu/時間)
2 台の SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードに給電する 2145 UPS	140 W (480 btu/時間)	250 W (850 btu/時間)

関連資料

58 ページの『SAN ボリューム・コントローラー環境の準備』

SAN ボリューム・コントローラー をインストールする前に物理環境を準備する必要があります。

第 4 章 SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールと保守

SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアは、すべてのノードにプリインストールされています。

このソフトウェアには、次の品目が組み込まれています。

- オペレーティング・システム
- アプリケーション・ソフトウェア

概要

このソフトウェアは、プリインストールされているため、ノード上でソフトウェアを取り替える必要はありません。しかし、何らかの理由でソフトウェアが失われた場合 (例えば、ノードのハード・ディスク・ドライブに障害がある場合) は、すべてのソフトウェアを同じファイバー・チャンネル・ファブリックに接続された別のノードからコピーすることも可能です。このプロセスは、ノード・レスキュー と呼ばれます。

ノードがクラスターとして作動できるようにするには、すべてのノードを同じバージョンのソフトウェアで作動する必要があります。この規則は、クラスター・ソフトウェア自体によって強制されます。ノードをクラスターに追加しようとする、そのソフトウェア・バージョンが調べられ、クラスター内の別のノードと同じバージョンのソフトウェアを実行していない場合は、追加操作が完了する前に、クラスター内の別のノードの 1 つからそのソフトウェアの改訂が自動的にコピーされます。何らかの理由で、追加するノード上でソフトウェアを更新することが不可能な場合、その操作は失敗し、クラスターは失敗の原因を説明するためエラーをログに記録します。

SAN ボリューム・コントローラーがソフトウェア・エラーを検出すると、エラー・コードが生成されます。エラーと一緒にログ記録された追加データに、ソフトウェア・エラーの原因が示されます。追加のデータは次のようになります。

```
Assert File /build/lodestone/030129_nd/src/user/vg/vgagentvt.c Line 1234
```

追加のデータを表示するには、SAN ボリューム・コントローラーの Web ページにアクセスして、調べているソフトウェア・エラーの「エラー・ログの分析」オプションを選択する必要があります。エラー・コードおよび追加データを IBM サポートに報告します。

この問題が、お客様のバージョンのソフトウェアで既知の問題である場合は、最新のソフトウェア・レベルにアップグレードされることをお勧めします。問題が IBM サポートに通知されていない場合は、このエラーに関する追加情報を提供していただく場合があります。ほとんどの場合、ソフトウェア・エラーが検出されたとき自動的にダンプが取られます。

コマンド行インターフェースを使用して、ダンプ・データをリストおよび保管することができます。複数のダンプ・ファイルが存在する場合は、ソフトウェア・エラー・レポートのタイム・スタンプに最も近いタイム・スタンプのダンプ・ファイルを選び、このファイルを **IBM サポート** が使用するために保管してください。以下のコマンドを使用して、ダンプをリストできます。

- `svcinfolerrlogdumps`
- `svcinfolsiostatsdumps`
- `svcinfolsiotracedumps`
- `svcinfolsfeaturedumps`
- `svcinfol2145dumps`

ダンプ・ファイルをマスター・コンソールにコピーするときは、セキュア・コピーを使用できます。

SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェア・パッケージの入手

ソフトウェア・パッケージを SAN ボリューム・コントローラーの Web サイトから入手する必要があります。ソフトウェア・パッケージを取得する前に、必要とするバックのタイプとフォーマットを決めてください。

改定されたソフトウェア・パッケージを取得するには、次のサイトにアクセスして必要なソフトウェア・パッケージ・タイプをダウンロードします。

<http://www.ibm.com/storage/support/2145>

ソフトウェア・パッケージは、完全パッケージおよびアップグレード・パッケージとして、TAR フォーマットおよび CD イメージ・フォーマットで用意されています。アップグレード・パッケージには、前のソフトウェア・バージョン以降に置き換えられたソフトウェア・コンポーネントのみが入っています。完全パッケージには、そのソフトウェア・バージョンのすべてのソフトウェア・パッケージが入っています。

アップグレードによっては、SAN ボリューム・コントローラーのアプリケーション・ソフトウェアだけでなく、オペレーティング・システム・ソフトウェアも置き換えることが必要な場合があります。両方のパッケージのインストールが必要な場合、それらのパッケージは別々に提供されます。アプリケーション・ソフトウェアを適用する前に、両方のパッケージを SAN ボリューム・コントローラーにコピーする必要があります。

TAR ファイルは、SAN ボリューム・コントローラーに直接インストールできます。CD イメージ・フォーマットは、CD をカスタマーのサイトへ配送する必要がある場合に、標準の ISO フォーマットの CD を作成するのに適しています。ソフトウェアをアップグレードするときは、順序を厳密に守ってください。所定のバージョンから最新バージョンにアップグレードする際の規則は、Web サイトにも記載されています。

関連タスク

90 ページの『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別』

現行のソフトウェア・バージョンは、ノードまたはクラスターの重要製品データ (VPD) から入手できます。

91 ページの『ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー』

自動ソフトウェア・インストール・プロセスの際、特定の状態が発生すると、インストール・プロセスは自動的に停止することがあります。

SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールとアップグレード

SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェア・パッケージは、SAN ボリューム・コントローラー Web サイトからダウンロードして、インストールまたはアップグレードできます。

ソフトウェア・パッケージ

ソフトウェアのインストールまたはアップグレードの手順により、新規ソフトウェア・レベルをクラスターへコピーし、自動インストール・プロセスを開始します。インストール・プロセス中、各ノードが再始動します。各ノードが再始動している間は、クラスターが維持できる最大 I/O 速度がいくらか低下する場合があります。インストールまたはアップグレードに要する時間は、クラスターのサイズおよびソフトウェアのアップデート・パッケージのサイズによって異なります。ソフトウェアのアップデート・パッケージのサイズは、交換されるコンポーネントの数によって異なります。クラスター内のすべてのノードが新しいソフトウェア・レベルで正常に再始動された後に、新規ソフトウェア・レベルは自動的にコミットされます。

インストール操作

インストール操作は、一般に、通常のコマンドの入出力操作と並行して行われます。アップグレード中に実行できる操作に適用される制限がある場合、その制限は、ソフトウェア・パッケージをダウンロードするのに使用した SAN ボリューム・コントローラー Web サイトで文書化されています。ソフトウェアのアップグレード手続き中 (インストール・プロセスの開始から新規ソフトウェア・レベルがコミットされるまで、またはプロセスがバックアウトされるまで)、以下の SAN ボリューム・コントローラーのコマンドのみが使用可能になります。他のコマンドはすべて、ソフトウェアのアップグレードが進行中であることを示すメッセージが出て失敗します。

- すべての `svcinfo` コマンド
- `svctask rmnode`

ソフトウェアのアップグレード処理が完了した時点を判別するために、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを介して通知が行われます。あるいは、コマンド行インターフェースを使用している場合は、エラー・ログを調べます。

ソフトウェアのアップグレード・プロセスの際に発生する操作上の制限があるため、ソフトウェアのインストールはユーザーの作業になります。

関連タスク

88 ページの『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェア・パッケージの入手』

ソフトウェア・パッケージを SAN ボリューム・コントローラーの Web サイトから入手する必要があります。ソフトウェア・パッケージを取得する前に、必要とするパックのタイプとフォーマットを決めてください。

『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別』
現行のソフトウェア・バージョンは、ノードまたはクラスタの重要製品データ (VPD) から入手できます。

91 ページの『ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー』
自動ソフトウェア・インストール・プロセスの際、特定の状態が発生すると、インストール・プロセスは自動的に停止することがあります。

SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別

現行のソフトウェア・バージョンは、ノードまたはクラスタの重要製品データ (VPD) から入手できます。

ソフトウェア・アップグレードの際、ソフトウェアがインストールされ、そのノードが再始動されたとき、各ノードのバージョン番号は更新されます。クラスタのソフトウェア・バージョン番号は、ソフトウェアの新規バージョンがコミットされたときに更新されます。

注: ソフトウェア・バージョン番号は *x.y.z* のフォーマットになっています。ここで *x* はバージョンのリリース番号、*y* はメジャー番号、*z* はマイナー番号です。例えば、バージョン番号 1.2.3 は、バージョン・リリース番号 1、メジャー番号 2、マイナー番号 3 となります。この番号で、ソフトウェア・バージョンが前のバージョンに戻せるかどうかを判別します。ソフトウェアのバージョンを、低いメジャー番号のバージョンに戻すことはできません。例えば、バージョン 1.2.3 がクラスタ上で稼働している場合、バージョン 1.2.2 または 1.2.1 に置き換えることはできますが、バージョン 1.1.6 に置き換えることはできません。

CLI で次のコマンドを発行して、現在クラスタ上で稼働しているソフトウェアのバージョンを判別します。

```
svcinfo lscluster <cluster_name>
```

ここで、<cluster_name> はクラスタの名前です。

クラスタ・コード・レベルはコード・レベル・フィールドにリストされます。次の例では、クラスタ rc-cluster-8 がコード・レベル 1.1.1.0 で稼働しています。

```
IBM_2145:your_cluster_name:admin>svcinfolcluster rc-cluster-8
id 000002006160EDCC
name rc-cluster-8
location local
partnership
bandwidth
cluster_IP_address 9.20.168.48
cluster_service_IP_address 0.0.0.0
total_mdisk_capacity 9.1GB
space_in_mdisk_grps 0
space_allocated_to_vdisks 0
total_free_space 9.1GB
statistics_status off
statistics_frequency 15
required_memory 4096
cluster_locale en_US
SNMP_setting none
SNMP_community
SNMP_server_IP_address 0.0.0.0
subnet_mask 255.255.255.0
default_gateway 9.20.168.1
time_zone 522 UTC
email_setting none
email_id
code_level 1.1.1.0 (build 0.28.0310210000)
FC_port_speed 2GB
console_IP 9.20.247.77:9080
id_alias 000002005FC0EDCC
```

関連タスク

『ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー』

自動ソフトウェア・インストール・プロセスの際、特定の状態が発生すると、インストール・プロセスは自動的に停止することがあります。

ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー

自動ソフトウェア・インストール・プロセスの際、特定の状態が発生すると、インストール・プロセスは自動的に停止することがあります。

ノード障害が検出されるか、クラスターへの電源消失があった場合、インストール・プロセスは自動的に停止します。この場合、障害のあるノードが修復されてクラスターに復元され、ユーザーがアップグレード異常終了コマンドを発行するまでアップグレード・プロセスは活動停止中となります。これらのタスクが終了すると、自動クリーンアップ・プロセスが開始され、クラスター・ソフトウェアはプリインストール状態に戻ります。ノードが修復される前にアップグレード異常終了を強制すると、障害のあるノードのパートナー・ノードがダウングレードする際に一部の I/O アクセスが失われる可能性があります。アップグレードの処理中は、指定保守手順は使用できません。

ソフトウェア・インストール障害からリカバリーするには、次の手順で行います。

1. クラスター内のハードウェア・エラーがあれば解決します。
2. クリーンアップ・プロセスの完了がイベント・ログのメッセージで知らされるまで待ちます (これは、8 ノードのクラスターの場合は、最長 4 時間かかる場合があります)。
3. ソフトウェア・インストールを再始動します。

関連タスク

90 ページの『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別』
現行のソフトウェア・バージョンは、ノードまたはクラスターの重要製品データ (VPD) から入手できます。

ソフトウェアのバージョンの置き換え

ソフトウェアのバージョンを前のバージョンと置き換える必要がある場合があります。

ソフトウェアのバージョンを前のバージョンに置き換えることができるのは、ソフトウェア・バージョンのメジャー番号が変更されていない場合のみです。ソフトウェア・バージョンのメジャー番号が変更されている場合は、ソフトウェアの現行バージョンを除去しなければ、置き換えられません。

注: ソフトウェア・バージョン番号は $x.y.z$ のフォーマットになっています。ここで x はバージョンのリリース番号、 y はメジャー番号、 z はマイナー番号です。例えば、バージョン番号 1.2.3 は、バージョン・リリース番号 1、メジャー番号 2、マイナー番号 3 となります。この番号で、ソフトウェア・バージョンが前のバージョンに戻せるかどうかを判別します。ソフトウェアのバージョンを、低いメジャー番号のバージョンに戻すことはできません。例えば、バージョン 1.2.3 がクラスター上で稼働している場合、バージョン 1.2.2 または 1.2.1 に置き換えることはできますが、バージョン 1.1.6 に置き換えることはできません。

ソフトウェアの現行バージョンを直前のバージョンに置き換えるには、次のステップを実行します。

1. ソフトウェアの現行レベルを判別します。
2. ソフトウェアの現行レベルのメジャー番号が変更されているかどうかを判別します。
 - ソフトウェアの現行レベルのメジャー番号が変更されていない場合は、そのソフトウェアを、通常のソフトウェア・アップグレード手順を使用してソフトウェアの前のバージョンに置き換えることができます。
 - ソフトウェアの現行レベルのメジャー番号が変更されている場合は (メジャー番号が低い)、IBM サポートに問い合わせてください。

関連タスク

88 ページの『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェア・パッケージの入手』

ソフトウェア・パッケージを SAN ボリューム・コントローラーの Web サイトから入手する必要があります。ソフトウェア・パッケージを取得する前に、必要とするパックのタイプとフォーマットを決めてください。

90 ページの『SAN ボリューム・コントローラー ソフトウェアのバージョンの判別』

現行のソフトウェア・バージョンは、ノードまたはクラスターの重要製品データ (VPD) から入手できます。

91 ページの『ソフトウェア・インストール障害からのリカバリー』
自動ソフトウェア・インストール・プロセスの際、特定の状態が発生すると、インストール・プロセスは自動的に停止することがあります。

第 5 章 重要製品データの紹介

重要製品データ (VPD) とは、SAN ボリューム・コントローラーの各エレメントを一意的に定義した情報です。

前提条件

SAN ボリューム・コントローラーの VPD はクラスター・レベルで維持されます。各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードについて、VPD には次の項目が含まれています。

- インストール済みのソフトウェア・バージョン
- ハードウェア構成の詳細
- ハードウェアのレベル
- FRU の部品番号
- FRU マイクロコード・レベル
- ファームウェアおよびソフトウェア・コンポーネントのレベル
- ノードに電源を供給する無停電電源装置の VPD
- コミット済みのソフトウェア・レベル
- クラスタ構成の詳細

VPD は、SAN ボリューム・コントローラーのグラフィカル・ユーザー・インターフェースまたはコマンド行インターフェースを使用して表示できます。VPD は、クラスターが初期化されるか (電源オンになる)、クラスターに新規ノードが追加されるか、あるいは欠落したノードがクラスター内に再構成されると、更新されます。

システム・ボード、プロセッサ、プロセッサ・キャッシュ、メモリー・モジュール、ファイバー・チャンネル・アダプター・カード、SCSI および IDE デバイス、ソフトウェア、フロント・パネル・アセンブリー、ならびに無停電電源装置のフィールドについては、ノードの VPD に関連したトピックを参照してください。クラスターのフィールドについてはクラスターの VPD に関連したトピックを参照してください。

重要製品データの表示

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して SAN ボリューム・コントローラーのクラスターまたはノードの VPD を表示することができます。

CLI で次のコマンドを発行して、VPD を表示します。

```
svcinfo lsnodevpd nodename  
svcinfo lscluster name
```

注: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を使用している場合、`svcinfo lsnodevpd nodename` コマンドの発行で生成される出力では、`device_serial_number` フィールドに「N/A」が入っています。

これらのコマンドについて詳しくは、「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェース・ユーザズ・ガイド*」を参照してください。

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

ノード VPD のフィールドの理解

ノードの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

表 4 に、システム・ボードで使用されるフィールドを示します。

表 4. システム・ボードのフィールド

項目	フィールド名
システム・ボード	部品番号
	システム・シリアル番号
	プロセッサの数
	メモリー・スロットの数
	ファンの数
	ファイバー・チャンネル・カードの数
	SCSI または IDE デバイスの数 注: サービス・コントローラーは、1 つのデバイスです。
	BIOS メーカー
	BIOS バージョン
	BIOS リリース日
	システム・メーカー
	システム・プロダクト
	プレーナー・メーカー
	電源機構の部品番号
	CMOS バッテリーの部品番号
電源ケーブル・アセンブリーの部品番号	
サービス・プロセッサ FW	

97 ページの表 5 に、インストール済みのプロセッサごとに表示されるフィールドを示します。

表 5. プロセッサのフィールド

項目	フィールド名
プロセッサ	部品番号
	プロセッサの位置
	キャッシュの数
	メーカー
	バージョン
	速度
	状況

表 6 に、各プロセッサに取り付けられたキャッシュごとに繰り返されるフィールドを示します。

表 6. 各プロセッサに取り付けられたキャッシュごとに繰り返されるフィールド

項目	フィールド名
プロセッサ・キャッシュ	キャッシュのタイプ
	キャッシュのサイズ (KB)

表 7 に、取り付けられたファンごとに表示されるフィールドを示します。

表 7. ファンのフィールド

項目	フィールド名
ファン	部品番号
	位置

表 8 に、取り付けられたメモリー・モジュールごとに繰り返されるフィールドを示します。

表 8. 取り付けられたメモリー・モジュールごとに繰り返されるフィールド

項目	フィールド名
メモリー・モジュール	部品番号
	デバイスの位置
	バンクの位置
	サイズ (MB)

98 ページの表 9 に、取り付けられたファイバー・チャンネル・アダプター・カードごとに繰り返されるフィールドを示します。

表9. 取り付けられたファイバー・チャンネル・アダプター・カードごとに繰り返されるフィールド

項目	フィールド名
ファイバー・アダプター・カード	部品番号
	ポート番号
	デバイス・シリアル番号
	メーカー
	デバイス

表10 に、取り付けられた SCSI デバイスおよび IDE デバイスごとに繰り返されるフィールドを示します。

表10. 取り付けられた SCSI および IDE デバイスごとに繰り返されるフィールド

項目	フィールド名
デバイス	部品番号
	バス
	デバイス
	デバイス・ベンダー 注: サービス・コントローラーには指定しない。
	モデル
	改訂
	シリアル番号
	概算容量

表11 に、ノード・ソフトウェアに固有のフィールドを示します。

表11. ノード・ソフトウェアに固有のフィールド

項目	フィールド名
ソフトウェア	コード・レベル
	ノード名
	イーサネット状況
	Worldwide Node Name
	ID
	MAC アドレス

表12 に、フロント・パネルで使用されるフィールドを示します。

表12. フロント・パネルで使用されるフィールド

項目	フィールド名
フロント・パネル	部品番号
	フロント・パネル ID
	フロント・パネル・ロケール

表 13 は、ノードに電源を供給している無停電電源装置 (UPS) アセンブリー用のフィールドを示しています。

表 13. ノードに給電する UPS アセンブリーで使用されるフィールド

項目	フィールド名
UPS	電子部品アセンブリーの部品番号
	バッテリーの部品番号
	UPS アセンブリーの部品番号
	入力電源ケーブルの部品番号
	UPS シリアル番号
	UPS タイプ
	UPS 内部部品番号
	UPS 固有 ID
	UPS メイン・ファームウェア
	UPS 通信ファームウェア

関連資料

『クラスター VPD のフィールドの理解』

クラスターの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

クラスター VPD のフィールドの理解

クラスターの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

表 14 に、クラスターで使用されるフィールドを示します。

表 14. クラスターで使用されるフィールド

項目	フィールド名
クラスター	ID 注: これはクラスターの固有 ID です。
	名前
	位置
	協力関係
	帯域幅
	クラスター IP アドレス
	クラスター・サービス IP アドレス
	合計 mdisk 容量
	mdisk_grps 内のスペース
	VDisk に割り振られたスペース
	合計フリー・スペース
	統計状況
	統計頻度
	必要メモリー

表 14. クラスタ内で使用されるフィールド (続き)

項目	フィールド名
	クラスタ・ロケール
	SNMP 設定
	SNMP コミュニティ
	SNMP サービス IP アドレス
	サブネット・マスク
	デフォルト・ゲートウェイ
	時間帯
	E メール設定
	E メール ID
	コード・レベル
	ファイバー・チャネル・ポート速度 注: このフィールドは、速度の否定が可能ではないクラスタ内のノードの稼働速度を示します。速度の否定が可能な SAN ボリューム・コントローラ 2145-8F4 ノードまたは SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 ノードは、必ずしもこのフィールドに示された速度値で稼働するとは限りません。
	コンソール IP
	ID 別名

関連資料

96 ページの『ノード VPD のフィールドの理解』

ノードの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

第 6 章 SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルの使用

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルには、SAN ボリューム・コントローラーの保守を行うときに役立つインディケータおよびスイッチが表示されます。

SAN ボリューム・コントローラーのインディケータおよびスイッチについては、関連トピックを参照してください。

ブート進行インディケータ

ブート進行は、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルに表示されます。

フロント・パネル上のブート進行表示は、そのノードが始動中であることを示します。



ブート操作の際は、ブート進行コードが表示され、ブート操作が進むにつれて進行状況表示バーが右に移動します。

ブート失敗

ブート操作が失敗すると、ブート・コードが表示されます。



「*IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー サービス・ガイド*」でブート・コードを記載されたトピックで、失敗の説明と、失敗を訂正するために実行する必要がある適切なステップを調べてください。

関連情報

240 ページの『ブート・コードの理解』

ブート・コードは、ノードをブートする際に表示画面に表示されます。

充電

フロント・パネルには無停電電源装置が充電中であることが表示されます。



電源障害時の対応策となる UPS バッテリーに電力不足がある場合は、ノードが始動せずにクラスターに結合しません。その場合は、「充電中 (Charging)」が表示されます。この表示はノードが安全に始動できる状態になるまで続きます。この充電には数時間を要する場合があります。

ハードウェア・ブート

ハードウェア・ブート表示では、ノードがブート対象のディスク・ドライブを検索するときに電源が最初にノードに適用されるシステム・データが示されます。



3 分を超えてもこの表示がアクティブのままである場合は、問題が起きている可能性があります。原因としては、ハードウェア障害、あるいはハード・ディスク上のソフトウェアの欠落または損傷が考えられます。ハードウェア・ブート障害の判別に関するトピックを参照してください。

関連タスク

240 ページの『ハードウェア・ブート障害の判別』

フロント・パネル上のハードウェア・ブートの表示が 3 分を超えても消えない場合、ノードはブートできません。原因は、ハードウェア障害か、そうでなければハード・ディスクのソフトウェアが欠落しているか、損傷しています。

ノード・レスキュー要求

ソフトウェアが失われた場合は、ノード・レスキューを使用してすべてのソフトウェアを他のノードからコピーすることができます。

ノード・レスキュー要求の表示には、このノード上のソフトウェアを交換する要求が出されたことが示されます。SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアは、すべての SAN ボリューム・コントローラー・ノードにプリインストールされています。このソフトウェアには、オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェア、および SAN ボリューム・コントローラーの資料が含まれています。ノードのソフトウェアの取り替えは通常は必要ありませんが、ソフトウェアが何らかの理由で失われた場合（ノード内のハード・ディスクに障害が起こった場

合) は、すべてのソフトウェアを、同じファイバー・チャンネル・ファブリックに接続された別のノードからコピーすることができます。このプロセスは、ノード・レスキューと呼ばれます。



電源障害

主電源が失われると、SAN ボリューム・コントローラーはバッテリー電源で稼働します。

電源障害表示は、主電源が失われたため、SAN ボリューム・コントローラーがバッテリー電源で稼働していることを示しています。入出力操作はすべて停止します。ノードは、クラスター・メタデータとノード・キャッシュ・データを内部ディスク・ドライブに保管します。進行状況表示バーがゼロになると、ノードはパワーオフされます。

注: 入力電源が無停電電源装置にリストアされると、フロント・パネルの電源ボタンを押さなくても、SAN ボリューム・コントローラーは電源オンになります。

電源障害



電源オフ

表示の進行状況表示バーは、電源オフ操作の進行を示します。

電源オフ表示は、電源ボタンが押されたためにノードが電源オフ中であることを示します。電源オフには、数分かかることがあります。

パワーオフ



電源が除去されると、進行状況表示バーは左へ移動します。

リカバリー

フロント・パネルには、無停電電源装置 (UPS) のバッテリーが十分に充電されていないことが表示されます。



クラスターにおいてノードがアクティブだが、UPS バッテリーが十分に充電されていない場合、「リカバリー中 (Recovering)」と表示されます。このメッセージの表示中に電源障害が起きた場合、次に発生する可能性のある電源障害に耐え得るレベルに UPS の充電が完了するまでは、ノードは再始動されません。

再始動

フロント・パネルは、ノード上のソフトウェアが再始動することを示します。



以下のいずれかの理由で、ソフトウェアが再始動されます。

- 内部エラーが検出された
- ノードのパワーオフ中に電源ボタンが再び押されたため、パワーオフ操作が終了した

パワーオフ操作が終了しても、ノードのデータ保管が終るまで、進行状況表示バーは左に動き続けます。データが保管されると、進行状況表示バーは再始動中は右に動きます。

シャットダウン

フロント・パネル・インディケータは、シャットダウン操作をトラッキングします。

シャットダウン表示が示されるのは、SAN ボリューム・コントローラー・クラスターまたは SAN ボリューム・コントローラー・ノードにシャットダウン・コマンドを出した場合です。進行状況表示バーは、安全に電源をオフにできるまで、左に動き続けます。

シャットダウン操作が完了すると、ノードからすべての電源が除去されます。2145 無停電電源装置 (2145 UPS) に接続されている最後のノードから電源が除去されると、2145 UPS もシャットダウンされます。2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) に接続されているノードがシャットダウンした場合、2145 UPS-1U は通常モードのままです。

シャットダウン

エラー・コード

エラー・コードは、フロント・パネルに表示されます。

フロント・パネル表示に示されるエラー・コードについては、各種のエラー・コード・トピックに、障害の詳しい記述と、障害を訂正するために実行する必要がある処置についての説明があります。

SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション

メニュー・オプションは、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

メニュー・オプションを使用して、クラスター、ノード、および外部インターフェースの操作状況が検討できます。また、これらのオプションによって、ノードをインストールして保守するのに必要なツールへもアクセスすることができます。

図 24 に、メニュー・オプションのシーケンスを示します。フロント・パネル表示には、一度に 1 つのオプションだけが表示されます。オプションによっては、追加のデータが 2 行目に表示されます。最初に表示されるオプションは「クラスター」オプションです。

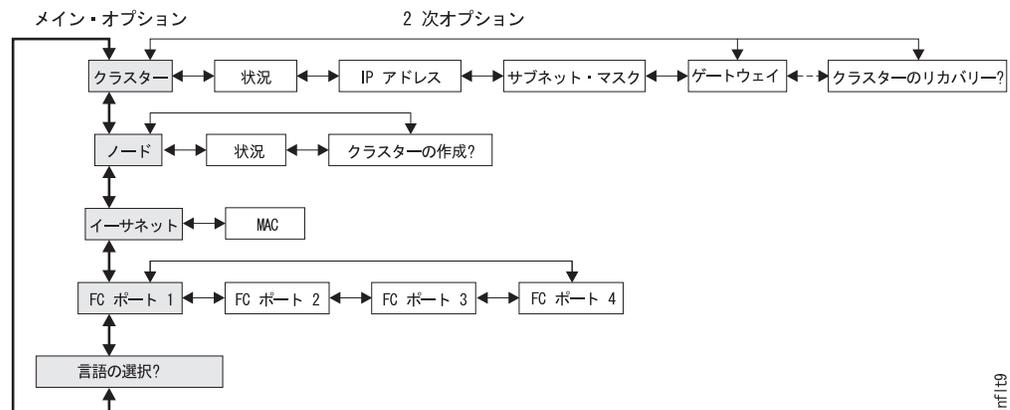


図 24. メニュー・オプションのシーケンス

「左」および「右」ボタンを使用して、いくつかのメイン・フィールドに関連付けられた 2 次フィールドをナビゲートします。

注: メッセージが画面上に完全に表示されないことがあります。表示画面の右側に右不等号括弧 (>) が表示されることもあります。右不等号括弧が表示された場合は、右矢印ボタンを押して画面をスクロールしてください。こうすれば、残

りのテキストが表示されます。後方へスクロールするには、左矢印を押します。表示するテキストがなくなったら、右矢印ボタンを押してメニューの中の次の項目へ移動することができます。

使用できるメインオプションは 5 つあります。

- 「クラスター」
- 「ノード」
- 「イーサネット」
- 「FC ポート 1 から 4」
- 「言語の選択」

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

関連資料

116 ページの『「クラスターの作成」メニュー・ナビゲーション』

「クラスターの作成」メニューには SAN ボリューム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

クラスター・オプション

メニューのメイン・クラスター・オプションは、クラスター名または IP アドレスを表示する場合があります、またブランクの場合もあります。

メインオプションの「クラスター」は、ユーザーが割り当てたクラスター名を表示します。名前が割り当てられていない場合は、クラスターの IP アドレスが表示されます。この SAN ボリューム・コントローラーにクラスターが割り当てられていない場合は、このフィールドはブランクです。

関連資料

114 ページの『「クラスターのリカバリー」のナビゲーション』

「クラスターのリカバリー」メニューには SAN ボリューム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

状況

状況 (Status) はフロント・パネルに示されます。

この SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターのメンバーでない場合は、このフィールドはブランクです。この SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターのメンバーである場合は、このフィールドは次のようにクラスターの操作状況を示します。

アクティブ (Active)

- この SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターのアクティブ・メンバーであることを示します。

非アクティブ (Inactive)

- SAN ボリューム・コントローラー・ノードはクラスターのメンバーであるが、現在操作可能でないことを示します。それが操作可能でない理由は、クラスター内の他の SAN ボリューム・コントローラー・ノードにアクセスできないか、またはこの SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターから除外されているかのいずれかです。

劣化 (Degraded)

- クラスターは操作可能だが、メンバーの SAN ボリューム・コントローラー・ノードの 1 つ以上が喪失しているか、障害が発生していることを示します。

IP アドレス

IP アドレスを使用して、コマンド行ツールまたは Web ブラウザーから、このクラスターにアクセスすることができます。

このフィールドには、クラスターの既存のイーサネット IP アドレスが含まれます。これは、クラスター作成操作時に設定されます。このアドレスを使用して、コマンド行ツールまたは Web ブラウザーから、このクラスターにアクセスすることができます。この SAN ボリューム・コントローラーがクラスターのメンバーでない場合は、このフィールドは空白です。

サブネット・マスク

サブネット・マスクは、クラスターの作成時に設定されます。

「サブネット・マスク」オプションは、サブネット・マスク・アドレスを表示します。これは、クラスター作成操作時に設定されます。

関連資料

『ゲートウェイ』

ゲートウェイ・アドレスは、クラスターの作成時に設定されます。

ゲートウェイ

ゲートウェイ・アドレスは、クラスターの作成時に設定されます。

「ゲートウェイ」オプションは、ゲートウェイ・アドレスを表示します。

関連概念

『サブネット・マスク』

サブネット・マスクは、クラスターの作成時に設定されます。

ノード・オプション

「ノード」オプションには、SAN ボリューム・コントローラーの識別番号または名前が表示されます。

メインオプションである「ノード」オプションは、SAN ボリューム・コントローラーの識別番号、またはユーザーが名前を割り当てている場合は SAN ボリューム・コントローラーの名前を表示します。

関連概念

102 ページの『ハードウェア・ブート』

ハードウェア・ブート表示では、ノードがブート対象のディスク・ドライブを検索するときに電源が最初にノードに適用されるシステム・データが示されません。

関連資料

33 ページの『ノード識別ラベル』

フロント・パネル表示のノード識別ラベルは、6 桁のノード識別番号です。

70 ページの『クラスター識別』

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターは、その IP アドレスによって識別されます。

116 ページの『「クラスターの作成」メニュー・ナビゲーション』

「クラスターの作成」メニューには SAN ボリューム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

状況

「状況 (status)」は、クラスター障害を診断するのに使用します。

アクティブ (Active)

- SAN ボリューム・コントローラーは操作可能であり、クラスターに割り当てられています。ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできます。

非アクティブ (Inactive)

- SAN ボリューム・コントローラーは操作可能であり、クラスターに割り当てられています。ファイバー・チャンネル・ファブリックにはアクセスできません。

フリー (Free)

- SAN ボリューム・コントローラーは操作可能ですが、どのクラスターにも割り当てられていません。ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできます。

切断 (Disconnected)

- SAN ボリューム・コントローラーは操作可能ですが、どのクラスターにも割り当てられていません。ファイバー・チャンネル・ファブリックにはアクセスできません。

失敗 (Failed)

- SAN ボリューム・コントローラーは操作不能です。ハードウェア障害により、SAN ボリューム・コントローラーがクラスターの一部になることができません。

クラスターの作成?

「クラスターの作成」メニューからクラスターを作成できます。

「クラスターの作成?」フィールドを使用すると、新しい SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを作成できます。「選択」ボタンを押して、「クラスターの作成」メニューに進みます。109 ページの図 25 は、クラスターの作成のメニュー・シーケンスを示します。

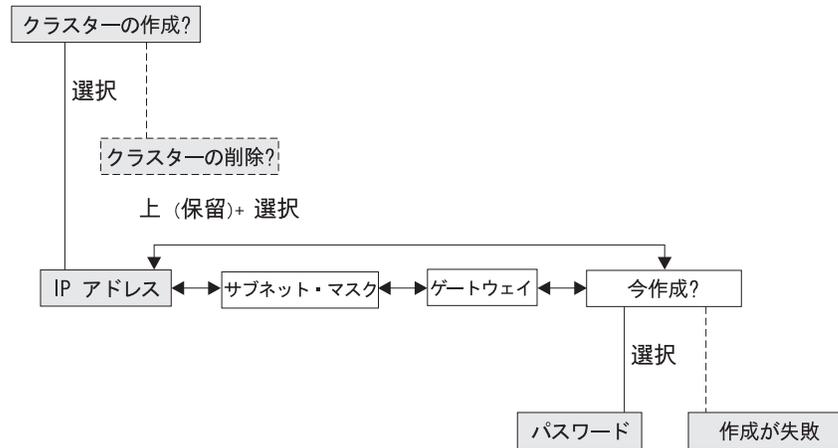


図 25. クラスタの作成? メニュー・シーケンス

「左」および「右」のボタンを押して、「クラスタの作成?」オプションに関連付けられている 2 次オプションの中をナビゲートします。望みのオプションが見つかったら、「選択」ボタンを押します。使用できる 2 次オプションには、次のものがあります。

- IP アドレス
- サブネット・マスク
- ゲートウェイ
- 今作成?

IP アドレス

「IP アドレス」によって、作成しようとするクラスタのイーサネット IP アドレスを表示または変更することができます。クラスタを作成する前に、お客様に正しい IP アドレスを必ず確認してください。

重要: IP アドレスを変更する場合は、必ず正しいアドレスを入力してください。誤ったアドレスを入力すると、コマンド行ツールまたは Web ブラウザーを使用してクラスタにアクセスすることができません。

IP アドレスを変更するには、次の手順で行います。

1. 「クラスタの作成?」オプションから「選択」ボタンを押す。IP アドレス・オプションが表示されます。
2. 再度、「選択」ボタンを押す。最初の IP アドレス数値が強調表示されます。
3. 表示されている値を増したい場合は、「上」ボタンを押す。値を下げたい場合は、「下」ボタンを押してください。値を急いで増したり減らしたりしたい場合は、それぞれ「上」または「下」のボタンを押したままにします。

注: 高速増減機能を使用不可にするには、「下」ボタンを押したままで、「選択」ボタンを押して放してから、「下」ボタンを放します。高速増減の使用不可状態は、クラスタ作成が完了するか、機能が再度使用可能化されるまで続きます。使用不可状態の間は、「上」ボタンまたは「下」ボタンが押され続けた場合、値は 2 秒ごとに 1 つ増えたり減ったりします。高速増減機

能を再度使用可能にするには、「上」ボタンを押したままで、「選択」ボタンを押して放してから、「上」ボタンを放します。

4. 更新したい数値フィールドに移動するには、「右」または「左」のボタンを押す。
5. 更新する数値フィールドごとに、ステップ 3 (109 ページ) と 4 を繰り返す。
6. 「選択」ボタンを押して、変更を完了します。

次の 2 次オプションを表示するには「右」ボタンを、前のオプションを表示するには「左」ボタンを押します。

サブネット・マスク

このオプションを使用すると、サブネット・マスクを表示または変更することができます。

重要: サブネット・マスク・アドレスを変更する場合は、必ず正しいアドレスを入力してください。誤ったアドレスを入力すると、コマンド行ツールまたは Web ブラウザーを使用してクラスターにアクセスすることができません。

サブネット・マスクを変更するには、次のステップを実行してください。

1. 「選択」ボタンを押す。最初のサブネット・マスク数値が表示されます。
2. 表示されている値を増したい場合は、「上」ボタンを押す。値を下げたい場合は、「下」ボタンを押してください。値を急いで増したり減らしたりしたい場合は、それぞれ「上」または「下」のボタンを押したままにします。

注: 高速増減機能を使用不可にするには、「下」ボタンを押したままで、「選択」ボタンを押して放してから、「下」ボタンを放します。高速増減の使用不可状態は、クラスター作成が完了するか、機能が再度使用可能化されるまで続きます。使用不可状態の間は、「上」ボタンまたは「下」ボタンが押され続けた場合、値は 2 秒ごとに 1 つ増えたり減ったりします。高速増減機能を再度使用可能にするには、「上」ボタンを押したままで、「選択」ボタンを押して放してから、「上」ボタンを放します。

3. 更新したい数値フィールドに移動するには、「右」または「左」のボタンを押す。
4. 更新する数値フィールドごとに、ステップ 2 と 3 を繰り返す。
5. 「選択」ボタンを押して、変更を完了します。

ゲートウェイ

重要: ゲートウェイ・アドレスを変更する場合は、必ず正しいアドレスを入力してください。誤ったアドレスを入力すると、Web インターフェースまたはコマンド行からクラスターにアクセスすることができません。

ゲートウェイ・アドレスを変更するには、次の手順で行います。

1. 「選択」ボタンを押す。最初のゲートウェイ・アドレス番号フィールドが強調表示されます。

- 表示されている値を増したい場合は、「上」ボタンを押す。値を下げたい場合は、「下」ボタンを押してください。値を急いで増したり減らしたりしたい場合は、それぞれ「上」または「下」のボタンを押したままにします。

注: 高速増減機能を使用不可にするには、「下」ボタンを押したまま、「選択」ボタンを押して放してから、「下」ボタンを放します。高速増減の使用不可状態は、クラスター作成が完了するか、機能が再度使用可能化されるまで続きます。使用不可状態の間は、「上」ボタンまたは「下」ボタンが押され続けた場合、値は 2 秒ごとに 1 つ増えたり減ったりします。高速増減機能を再度使用可能にするには、「上」ボタンを押したまま、「選択」ボタンを押して放してから、「上」ボタンを放します。

- 更新したい数値フィールドに移動するには、「右」または「左」のボタンを押す。
- 更新する数値フィールドごとに、ステップ 2 と 3 を繰り返す。
- 「選択」ボタンを押して、変更を完了します。

今作成?

このオプションを使用すると、クラスターを作成する操作を開始できます。「選択」ボタンを押して、操作を開始します。

作成操作が正常に終了すると、1 行目に「パスワード (Password)」と表示されます。このクラスターにアクセスするために使用できるパスワードは 2 行目に表示されます。パスワードをすぐに記録しておいてください。クラスターに最初にアクセスしようとするときに、そのパスワードが必要です。

重要: パスワードは 60 秒間だけ、またはフロント・パネル・ボタンが押されるまで表示されます。クラスターは、パスワード表示がクリアされた後にのみ作成されます。

作成操作が失敗すると、サービス表示画面の 1 行目に「作成が失敗: (Create Failed:)」と表示されます。2 行目には、2 つのエラー・コードのいずれかが表示されます。このコードを使用して、障害の原因を分離することができます。

「クラスターの作成?」オプションに戻るには、「上」ボタンを押します。

クラスターの削除?

「クラスターの削除?」のフィールドは、既にクラスターのメンバーである SAN ボリューム・コントローラーで「クラスターの作成?」を選択した場合のみ、表示されます。通常は、コマンド行インターフェース (CLI) またはグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用してクラスターを削除できます。ただし、CLI または GUI が使用できない場合は、「クラスターの削除」を使用してクラスターからノードを強制的に削除することができます。クラスターからのノードの削除は、次の手順で行います。

- 「上」ボタンを押したままにします。
- 「選択」ボタンを押して放します。
- 「上」ボタンを放します。

SAN ボリューム・コントローラーがクラスターから削除され、ノードが再始動します。表示はデフォルト・メニューに戻ります。作成オプションを開始するには、クラスター作成オプションをもう一度選択する必要があります。

「クラスターの作成?」オプションに戻るには「上」ボタンを使用します。

イーサネット・オプション

「イーサネット (Ethernet)」オプションは、イーサネット・ポートの操作状態と、そのメディア・アクセス制御 (MAC) アドレスを表示します。

クラスターを作成すると、1 つのノードのイーサネット・ポートのみがクラスター構成に対してアクティブになります。アクティブなポートを持つノードに障害が発生すると、クラスター内の別のノードがそのイーサネット・ポートを開き、そのクラスターの構成にアクセスできるようになります。

アクティブ

クラスターへは、このポートを介してアクセスできます。

非アクティブ

ポートは操作可能でも、クラスターにアクセスできません。クラスターのアクティブ・ポートに障害が起こった場合は、このポートを使用してクラスターにアクセスできます。

障害 ポートは操作できません。

「右」ボタンを押すと、イーサネット・ポートの MAC アドレスが表示されます。

ファイバー・チャンネル・ポート 1 から 4 のオプション

「ファイバー・チャンネル・ポート 1 から 4」オプションは、ファイバー・チャンネル・ポートの操作状況を表示します。

アクティブ

ポートは操作可能で、ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできます。

非アクティブ

ポートは操作可能だが、ファイバー・チャンネル・ファブリックにはアクセスできません。次のいずれかの条件により、この結果が生じました。

- ファイバー・チャンネル・ケーブルに障害がある
- ファイバー・チャンネル・ケーブルが取り付けられていない
- ケーブルのもう一方の端のデバイスに障害が起こっている。

障害 ポートが、ハードウェア障害のため操作できません。

未インストール

このポートはインストールされていません。

現在のファイバー・チャンネル・ポート速度を表示するには、「下」ボタンを押したままで、「選択」ボタンを押して放し、「下」ボタンを放します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の場合、「上」ボタンまたは「下」ボタンを押してこの操作を行うと、クラスターに参加していないノードのファイバー・チャンネル・ポート速度を変更することもできます。

言語の選択? オプション

表示された言語は、メニューから変更できます。

「言語の選択」オプションによって、メニューに表示される言語を変更することができます。図 26 は、「言語の選択」オプション・シーケンスを示しています。



図 26. 言語の選択? メニュー・シーケンス

「右」ボタンを押して、使用したい各国語を表示します。必要な言語が表示されたら、「選択」ボタンを押します。

注: メニューの 1 行目はオプションを表示しています。オプションによっては、追加データが 2 行目に表示されることがあります。フロント・パネルが日本語、韓国語、または中国語の場合は、メニューは 1 行目にだけ示されます。2 行目を表示するには、「選択」ボタンを押します。1 行目のオプションに戻るには、「選択」ボタンをもう一度押します。

以下の言語が利用できます。

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポルトガル語
- スペイン語
- 中国語 (簡体字)
- 中国語 (繁体字)

表示されている言語が理解できない場合は、メニューがデフォルト・オプションにリセットされるまで少なくとも 60 秒待ってください。必要な言語を選択するには、以下のステップを実行してください。

1. 「上」ボタンを一度押します。
2. 「選択」ボタンを一度押します。表示が変わった場合は、ステップ 5 に進みません。
3. 「上」ボタンを一度押します。
4. 「選択」ボタンを一度押します。
5. 必要な言語が表示されるまで、「右」ボタンを押す。
6. 「選択」ボタンを押します。

注: この手順は、ノードがブート・エラーを表示している場合は使用できません。

「クラスタのリカバリ」のナビゲーション

「クラスタのリカバリ」メニューには SAN ボリューム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

ユーザーが管理者パスワードを失った場合、またはクラスタにアクセスできない場合は、クラスタのリカバリ・オプション (図 27 を参照) を使用します。ユーザーのパスワード・セキュリティ・ポリシーで許可されている場合は、この選択を使用して管理者パスワードを再設定します。あるいは、この選択を使用してノードを保守モードに設定します。こうすれば、ノードが保守用 IP アドレスを介して使用可能になります。

「クラスタのリカバリ?」メニューにアクセスした後、「選択」ボタンを押して「保守アクセス」を選択します。

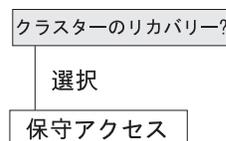


図 27. 「クラスタのリカバリ」のナビゲーション

パスワードの再設定

クラスタで管理者パスワードを再設定するには、「保守アクセス?」メニューから次のステップを実行します。メニュー:

1. 「上」ボタンを押したままにします。
2. 「選択」ボタンを押して放します。
3. 「上」ボタンを放します。

ユーザーのパスワード・セキュリティ・ポリシーでパスワードのリカバリーが許可されている場合、さらにノードが現在クラスタのメンバーであれば、管理者パスワードが再設定され、新規パスワードが 60 秒間表示されます。ユーザーのパスワード・セキュリティ・ポリシーでパスワードのリカバリーが許可されていない場合、または、ノードがクラスタのメンバーでない場合、このステップを完了しても効果はありません。

保守モードの設定

1. この機能は、作業クラスタの操作性を低下することができます。使用するの
は、クラスタがアクセス不能になる問題からリカバリする場合に限ってくだ
さい。
2. すべての SAN ボリューム・コントローラーは、同じ保守用 IP アドレスを共用
します。LAN 上では一度に 1 つの SAN ボリューム・コントローラーのみをサ
ービス・モードに設定してください。複数の SAN ボリューム・コントローラー
を保守モードに設定すると、LAN 障害が発生します。

重要: クラスタでは、保守モード IP アドレスに固定アドレスを使用できま
す。保守モード IP アドレスに固定アドレスを使用した場合、一度に保守
モードにできるノードは 1 つだけです。

保守モードを設定するには、「保守アクセス?」メニューから次のステップを実行します。メニュー:

1. 「下」ボタンを押し続けます。
2. 「選択」ボタンを押して放します。
3. 「下」ボタンを放します。

ノードが再始動し、保守モードが使用可能になります。保守用 IP アドレスが表示され、ノードへはこのアドレスを使用してアクセスできます。保守モードがアクティブの間、フロント・パネル上のほかのボタンはすべて使用不可になります。サービス・アドレスは、保守用 IP アドレスに送られたコマンドによって保守モードがリセットされるか、あるいは、ノードへの電源がオフになりまたオンになるまで、フロント・パネル上に表示され続けます。

注: 保守モードを使用する場合は、一度に 1 ノードずつ、これを行う必要があります。保守モードを使用不可にしてから他のノードに進んでください。

保守用 IP アドレス

以下の Web アドレスを使用すると、SAN ボリューム・コントローラー・アプリケーションを使用して、保守モードにアクセスできます。ここで、*serviceipaddress* は、フロント・パネル表示上の IP アドレスです。

`https://serviceipaddress`

保守用 IP アドレスは、サービス・アクセスが使用可能である間表示されます。保守用 IP アドレスは、クラスター構成の際に正しく設定しておく必要があります。保守用 IP アドレス選択が DHCP として設定されている場合、そのノードが DHCP アドレスを入手しようとしている間はフロント・パネル・ディスプレイには 0.0.0.0 が表示されます。このアドレスは、DHCP アドレスが割り振られてアクティブ化されると、自動的に変更されるか、あるいは、DHCP アドレスが割り振られなかった場合は 0.0.0.0 のままとなります。

この保守 IP アドレスが正しく設定されなかった場合、または DHCP アドレスが割り振られなかった場合は、このパネルで IP アドレスを訂正するオプションがあります。この保守用 IP アドレスは、クラスターの IP アドレスと同じサブネットの中に存在する必要があります。

特定の保守モード IP アドレスを設定するには、次のステップを実行します。

1. 「下」ボタンを押し続けます。
2. 「選択」ボタンを押して放します。
3. 「下」ボタンを放します。クラスターの IP 構成に基づくネットワーク・アドレスは、新しい保守用 IP アドレスに対する開始点として表示されます。
4. 「選択」ボタンを押して放します。「アドレス変更」メニューが表示されます。フィールド間のナビゲートには「左」ボタンと「右」ボタンを使用します。「上」ボタンおよび「下」ボタンを使用して、強調表示された値を変更します。
5. IP アドレスを必要な値に設定するための選択を押します。
6. 「左」または「右」のボタンを押して、新しいアドレスをアクティブ化します。

DHCP を使用するように保守用 IP アドレスを設定するには、以下のステップを行います。

1. 「上」 ボタンを押したままにします。
2. 「選択」 ボタンを押して放します。
3. 「上」 ボタンを放します。そのノードが DHCP アドレスを入手しようとしている間は、0.0.0.0 が表示されます。このアドレスは、DHCP アドレスが割り振られてアクティブ化されると、自動的に変更されるか、あるいは、DHCP アドレスが割り振られなかった場合は 0.0.0.0 のままとなります。

ノードが保守モードになっている間は、常にサービス IP アドレスが表示されます。Web ブラウザー、CLI、またはそのノード電源をオフ後にオンすることによって、保守モードを終了できます。

関連概念

105 ページの『SAN ポリウム・コントローラーのメニュー・オプション』メニュー・オプションは、SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

「クラスターの作成」メニュー・ナビゲーション

「クラスターの作成」メニューには SAN ポリウム・コントローラーのデフォルト・メニューを介してアクセスします。

図 28 クラスターの作成のメニュー・シーケンスを示します。メニュー画面に一度に表示できるフィールドは 1 つのみです。矢印は、自動的に循環する順序を示します。

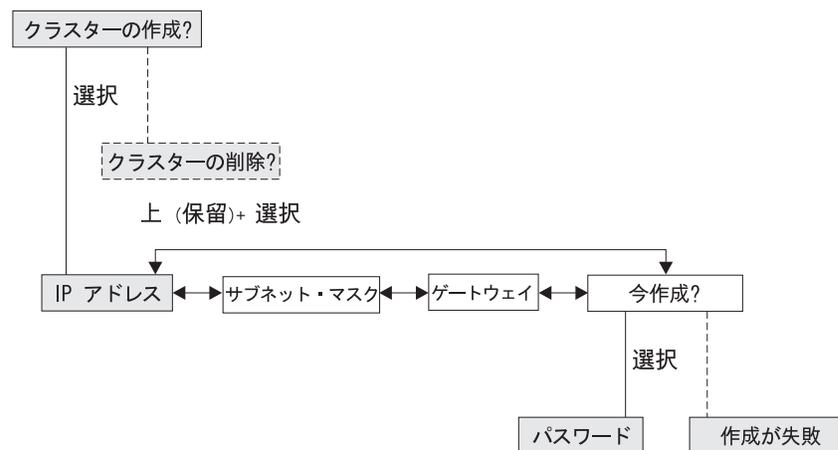


図 28. クラスターの作成のナビゲーション・メニュー・シーケンス

「左」 ボタンおよび「右」 ボタンを使用して、いくつかのメイン・フィールドに関連付けられた 2 次フィールドをナビゲートします。

関連概念

105 ページの『SAN ポリウム・コントローラーのメニュー・オプション』メニュー・オプションは、SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

クラスタの削除

「クラスタの削除」フィールドが表示されるのは、既にクラスタのメンバーである SAN ボリューム・コントローラーで「**クラスタの作成?**」を選択した場合だけです。

通常は、コマンド行インターフェース (CLI) またはグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用してクラスタを削除できます。ただし、CLI または GUI が使用できない場合は、「クラスタの削除」を使用してクラスタからノードを強制的に削除することができます。ノードをクラスタから削除するには、「上」を押したまま、「選択」を押して放し、次に「上」を放します。SAN ボリューム・コントローラーがクラスタから削除され、ノードが再始動します。これで、表示はデフォルト・メニューに戻ります。作成オプションを開始するには、クラスタ作成オプションをもう一度選択する必要があります。

「上」ボタンおよび「下」ボタンを使用して、デフォルト・メニューに戻ります。

パスワード

パスワードは、60 秒間だけ、あるいは「上」、「下」、「左」、または「右」矢印ボタンを押すまで表示されます。このパスワードは、最初にクラスタへのアクセスを試みるときに必要です。

作成が失敗

作成操作が失敗した場合は、メニュー画面の行 2 にエラー・コードが入りますので、それを使用して失敗の原因を特定することができます。

関連情報

288 ページの『クラスタ作成エラー・コードの理解』

クラスタ作成エラー・コードは、フロント・パネルを使用して新しいクラスタを作成しようとしたが、作成操作が失敗した際にメニュー画面上に表示されます。

第 7 章 SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置、およびマスター・コンソールに関する問題の診断

SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置、およびマスター・コンソールに関する問題を診断するには、コマンド行インターフェース (CLI) または SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のユーザーは、エラーの原因を検出するのにライト・パス診断も使用できます。

エラー・ログ

エラー・ログを理解することによって、以下のことを行うことができます。

- エラー・ログを管理する
- エラー・ログを表示する
- エラー・ログ内のフィールドを説明する

エラー・コード

エラー・コードは、以下を行うのに必要な情報を提供します。

- エラー・コード・テーブルを使用する
- FRU 名を定義する
- クラスタ・エラー・コードを理解する
- ハードウェア・ブート障害を判断する
- ブート・エラー・コードを理解する
- ノード・レスキューを行う
- ノード・レスキュー・エラー・コードを理解する
- クラスタの作成エラー・コードを理解する
- ノードの状況を検査する
- エラーに修正済みのマークを付ける
- ノード・ポートの状況を検査する
- 管理対象ディスクをリストする
- 管理対象ディスクの状況を理解する
- 管理対象ディスクを組み込む
- 管理対象ディスク・モードを理解する
- クラスタのディスカバリーを実行する
- 管理対象ディスクのグループ状況を理解する
- ディスク・コントローラー状況を判別する

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

エラー・ログの理解

SAN ボリューム・コントローラーには、エラー・データとイベント・データの両方が含まれています。

エラー・データ

エラー・データは、障害の状態が検出されたときにログに記録されます。エラー・データがログに記録されると、エラー・ログ分析が行われ、ユーザーに状態を通知すべきかどうかを判別します。

イベント・データ

イベント・データは、構成イベントが発生したときにログに記録されます。

エラー・ログの管理

エラー・ログはサイズに制限があります。いっぱいになると、新しいエントリーで古いエントリーが置き換えられます。古いエントリーが修正されていない場合は、新しいエントリーによって置き換えられません。

単一エラーでログをあふれさせるようなエラー状態が起きないようにするため、同じタイプの複数のエラーがエラー・ログ内の同じスペースに記録されます。エラー・ログ・エントリーがこのように合体されると、問題の最初のオカレンスと最後のオカレンスのタイム・スタンプがログ・エントリー内に保管されます。エラー状態の発生回数のカウントも、ログ・エントリーに保管されます。新しいエントリーが、最初のエントリー後 25 時間を超えて作成したものと同一場合は、新しいエラー・レコードが開かれます。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

エラー・ログの表示

エラー・ログは、SAN ボリューム・コントローラーのコマンド行インターフェース (CLI) または SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用して表示できます。

CLI を使用した以下のステップを実行して、各エラー・ログ・エントリーの全内容を表示します。

1. `svctask dumperrlog` コマンドを発行して、現行エラー・ログ・データが入るダンプ・ファイルを作成します。
2. `svcinfolerrlogdumps` コマンドを発行して、作成したばかりのダンプ・ファイルの名前を決定します。

3. `secure copy` コマンドを発行して、ダンプ・ファイルをマスター・コンソールにコピーします。

これでファイルを、テキスト・ビューアーで表示することができます。

図 29 に、表示されるエラー・ログ・エントリーの例を示します。

```
Error Log Entry 21
Node Identifier      : node3
Object Type         : adaptor
Object ID           : 1
Sequence Number     : 174
Root Sequence Number : 174
First Error Timestamp : Tue Aug 23 16:02:18 2005
                    : Epoch + 1051027338
Last Error Timestamp  : Tue Aug 23 16:02:18 2005
                    : Epoch + 1051027338
Error Count          : 1
Error ID             : 73003 : More/Less fibre channel ports operational
Error Code           : 1060 : Fibre Channel ports not operational
Status Flag          : UNFIXED
Type Flag            : ERROR CAT 1

02 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
```

図 29. コマンド行インターフェースを使用したときのエラー・ログ・エントリーの例

また、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用してエラー・ログを表示することもできます。エラー・ログには大量のエントリーが入っていますが、このログの表示方法を用いれば、必要な情報のタイプのみを選択できます。例えば、障害を修復するのであれば、「未修正エラーを表示」のみを選択すると良いでしょう。

122 ページの図 30 は、必要な情報のタイプを選択したときに表示されるエラー・ログの要約の一例です。

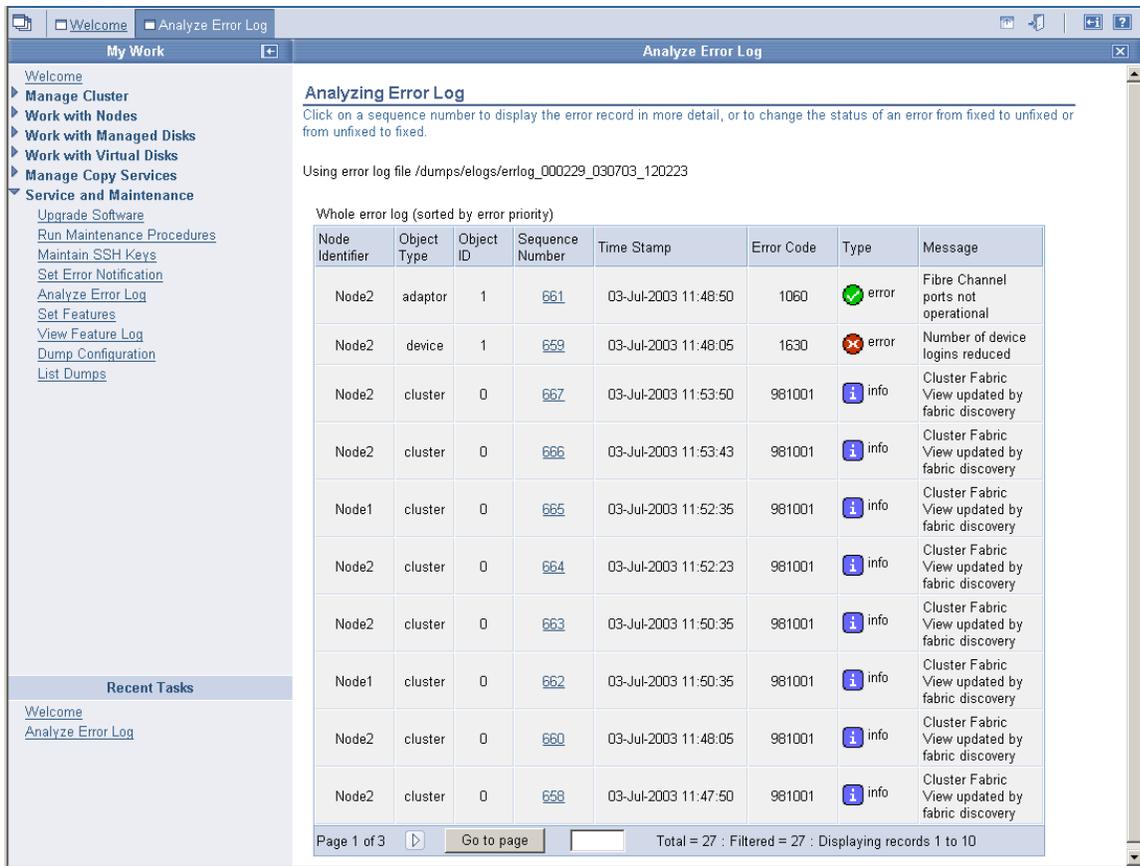


図 30. エラー・ログ要約の例

リストされた各エラーの詳細は、任意のレコードのシーケンス番号をクリックすると表示されます。「タイプ」フィールドには、ログ・エントリーの原因を示すアイコンとテキスト・メッセージが表示されます。表 15 は、「タイプ」フィールドの情報の意味の説明です。

表 15. ログ・エントリー・アイコンの説明

アイコン	説明
	「エラー」アイコン。このログ・エントリーがサービス・アクティビティを必要とすることを示します。「サービスおよび保守」メニューから「保守手順の実行」を選択して、修復アクティビティを開始します。
	「修正済み」アイコン。問題が存在したが、既に解決されたことを示します。サービス・アクティビティの結果として問題が解決された場合と、他のアクション (欠落ノードの電源オンなど) の結果として問題が解決された場合があります。

表 15. ログ・エントリー・アイコンの説明 (続き)

アイコン	説明
	「警告」アイコン。なんらかの条件が発生したことを示します。その原因は、一時的な問題の場合と、SAN ボリューム・コントローラーの外部の問題 (RAID コントローラーのエラーなど) の場合があります。25 時間以内にこれらのイベントが指定の回数発生した場合は、警告がエラーに変わります。SAN ボリューム・コントローラーではこのログ・エントリーに対する保守処置は必要ありません。
	「情報」アイコン。ログ・エントリーが構成変更またはコマンドの状態に関する情報を提供することを示します。場合によっては、SAN ボリューム・コントローラーのユーザーは、この情報に基づいてなんらかの処置を行う必要があります。

エラー・ログ内のフィールドの説明

エラー・ログには、問題の診断に使用できる情報のフィールドが組み込まれています。

表 16 は、エラー・ログを生成するためにコマンド行インターフェースを使用する時に見られる フィールドを示します。

表 16. エラー・ログのデータ・フィールドの説明

データ・フィールド	説明
ノード ID	エラー・レポートを作成したノードの名前。
オブジェクト・タイプ	エラー・ログが関連するオブジェクト・タイプ。124 ページの表 17 を参照してください。
オブジェクト ID	このノードのオブジェクトを一意的に識別する番号。
シーケンス番号	ホスト・システムに戻されたセンス・データへの相互参照を行う場合に使用できる、順次に割り当てられた番号。
ルート・シーケンス番号	原因が 1 つのすべてのエラーに 1 回のアクションで修正済みのマークを付けられる、別のログ・エントリーのシーケンス番号。
最初のエラー・タイムスタンプ	このエラー・コードの最初のインスタンスが、最後の 25 時間でこのオブジェクト・タイプによって報告された時刻。
最後のエラー・タイムスタンプ	このエラー・コードの最後のインスタンスが、最後の 25 時間でこのオブジェクト・タイプによって報告された時刻。
エラー件数	このエラー・コードが、最後の 25 時間でこのオブジェクトによって報告された回数。
エラー ID	この番号は、エラーまたはイベントの固有 ID です。
エラー・コード	この番号は、サービス手順の開始点として使用されます。

表 16. エラー・ログのデータ・フィールドの説明 (続き)

データ・フィールド	説明
状況フラグ	状況フラグの詳細については、表 18 を参照してください。
タイプ・フラグ	タイプ・フラグの詳細については、125 ページの表 20 を参照してください。
追加のセンス・データ	このエラー・コードまたはイベント・コードに固有のデータ。これはバイナリー・データ・レコードです。エラー・ログがコマンド行ツールによって表示されたときに、このデータが 16 進数で表示されます。Web インターフェースを使用してデータを表示した場合、このデータはページの右側で ASCII 文字に変換されます。通常は、このデータをサービス手順の一環として、解釈する必要はありません。しかし、データを参照するいずれの手順でも ASCII フォーマットについて説明しています。

表 17 は、エラー・ログ・オブジェクトのタイプを説明しています。

表 17. エラー・ログのオブジェクト・タイプおよびオブジェクト ID の説明

オブジェクト・タイプ	オブジェクト ID
ノード	6 文字のノード ID
Fcgrp	フラッシュ・コピー整合性グループ番号
Rcgrp	メトロ・ミラー整合性グループ番号
Fcmap	フラッシュ・コピー・マップ番号
Rcmap	メトロ・ミラー・マップ番号
クラスター	フロント・パネルに表示された場合のクラスター名
装置	装置番号
Mdisk	管理対象ディスク番号
Mdiskgrp	管理対象ディスク・グループ番号

表 18 に、エラー・ログ・フラグのタイプを示します。

注: フラグ・フィールドには構成イベントのフラグはありません。情報イベントには、SNMP トラップ発生フラグが構成されている場合のみ、このフラグがオンになります。

表 18. エラー・ログのフラグの説明

フラグ	説明
未修正	このログ・エントリーには、サービス・アクションが必要です。
修正済み	このエントリーは修正済みのマークが付けられています。このエントリーは、ログ内の最古のレコードとなり、次のログ・エントリーによって上書きされる時点まで、エラー・ログに残ります。

表 18. エラー・ログのフラグの説明 (続き)

フラグ	説明
期限切れ	エラー・ログ・エントリーは、25 時間を超えて経過しています。このオブジェクト・タイプに対してエラー/イベント・コードの新規ログ・エントリーがあると、新規ログ・エントリーが作成されます。
SNMP トラップ発生	SNMP トラップが発生しました。 SNMP トラップは未修正エラーおよび情報イベントについて発生します。

表 19 は、ログに記録できる各種のフラグの組み合わせと、ユーザー・インターフェースによって報告される結果の状況を示します。

注: SNMP_TRAP_RAISED は他のフラグから独立しています。

表 19. エラー・ログ状況フラグの組み合わせについて報告される状況

UNFIXED	ERROR_FIXED	ERROR_EXPIRED	報告される状況
0	0	0	BELOW_THRESHOLD
0	0	1	EXPIRED
0	1	0	FIXED
0	1	1	不可能
1	0	0	UNFIXED
1	0	1	不可能
1	1	0	FIXED
1	1	1	不可能

表 20 に、エラー・ログ・フラグのタイプを示します。

表 20. エラー・ログ・フラグのタイプの説明

フラグ	説明
不明のエラー	このフラグは表示されないはずですが、このフラグが生じるのは、ソフトウェアの障害の場合のみです。
エラー・カテゴリ 1	このエラーには、サービス・アクションが必要です。 1 つの FRU または複数の FRU のリストには、エラー・レコードと共に送信されたトラップ・データが組み込まれています。
エラー・カテゴリ 2	このエラーには、サービス・アクションが必要ですが、サービス・アクションまたは FRU を特定するには、さらに分析が必要です。
関連エラー	これは、根本原因が別のログ・エントリーで報告されているエラーです。ソース・エラーに修正済みのマーク付けると、このエラーにも修正済みのマークが付きます。
一時的エラー	一時的のフラグが立ったエラーは、エラー・リカバリー手順でリカバリーされています。
構成イベント	このエントリーは、構成イベント・ログから行われます。このフラグは、ログに記録されたエラー状態を構成イベントに関連付ける際の補助として、シームレス表示で両方のログを表示するときに役立ちます。

表 20. エラー・ログ・フラグのタイプの説明 (続き)

フラグ	説明
情報	このエントリーは、ログ・エントリーが情報イベントであることを示します。情報イベントは、予期しない構成結果をユーザーに警告し、さらに構成アクションを開始するよう、ユーザーにプロンプトを出す場合に使用できます。ユーザーから要求があれば、このタイプのログ・エントリーで SNMP トラップが起こります。

関連タスク

120 ページの『エラー・ログの表示』

エラー・ログは、SAN ボリューム・コントローラーのコマンド行インターフェース (CLI) または SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用して表示できます。

エラー・レポート作成

SAN ボリューム・コントローラーが検出したエラーは、エラー・ログに保管されます。このエラー・ログにエントリーが行われると、ただちにエラー状態が分析されます。サービス・アクティビティーが必要な場合は、ユーザーにエラーが通知されます。

エラー・レポート作成プロセス

以下の方式を使用して、ユーザーおよび IBM サービスに新規エラーを通知します。

- クラスターの各ノードのフロント・パネルに、最も重要なクラスター・コードが表示されます。
- Simple Network Management Protocol (SNMP) を使用可能にしている場合、お客様が構成した SNMP マネージャーに SNMP トラップが送られます。

この SNMP マネージャーは、IBM® Director (インストールされている場合) か、または別の SNMP マネージャーである可能性があります。

- コール・ホームを使用可能にしている場合は、重大な障害は直接 IBM に E メールで報告されます。

関連タスク

62 ページの『指示された保守手順の使用』

SAN ボリューム・コントローラーの問題の診断および解決には、指示された保守手順 (DMP) を使用できます。

関連情報

137 ページの『クラスター・エラー・コードの定義』

それぞれのクラスター・エラー・コードには、エラー・コード番号、説明、アクション、および可能性のある現場交換可能ユニット (FRU) が組み込まれています。

通知の送信

The SAN ボリューム・コントローラーは、SNMP トラップ、コール・ホームの E メール、およびインベントリー情報の E メールを使用して、お客様および IBM サポートに必要なデータとイベント通知を送信します。

以下のタイプの情報が、SAN ボリューム・コントローラーから送信されます。

- Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップ
- ホーム・コールの E メール
- インベントリー情報

Simple Network Management Protocol トラップ

Simple network management protocol (SNMP) は、ネットワーク管理とメッセージ交換を行うための標準プロトコルです。SNMP を使用すると、SAN ボリューム・コントローラーが、発生イベントを関係要員に通知するための外部メッセージを送信できるようになります。SNMP マネージャーにより、SNMP エージェントが送信するメッセージを表示可能となります。SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは SAN ボリューム・コントローラー・コマンド行インターフェースを使用して、SNMP 設定値の構成と変更を行います。SNMP トラップとコール・ホームの E メールは同時に送信可能です。

ホーム・コールの E メール

コール・ホーム機能を使用すると、運用データおよびエラー関連データをお客様担当者と IBM に伝送可能となります。この伝送は、イベント通知 Eメールの形式で SMTP サーバー接続経由で行われます。この機能により、マシンの状態を IBM サービス技術員に警告し、エラー分析と解決のためのデータを送信します。

お客様の LAN 外部へのアクセスに関して SMTP サーバーを構成し、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは SAN ボリューム・コントローラー・コマンド行インターフェースを使用してコール・ホーム設定 (連絡先情報および Eメール受信者) を構成する必要があります。その後で、テスト的に Eメールを送信して、すべての接続とインフラストラクチャーが正しく接続するかどうかをチェックできます。SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは SAN ボリューム・コントローラー・コマンド行インターフェースを使用して、いつでもコール・ホーム機能を使用不可にできます。

コール・ホーム・サポートは、以下の理由またはデータ・タイプの場合に開始されます。

- 問題またはイベントの通知: IBM サービス技術員の注意を要する可能性のある問題またはイベントの発生時にデータが送信されます。
- 通信テスト: 正常インストールおよび通信インフラストラクチャーをテストできます。
- インベントリー情報: IBM サービス技術員に対して、必要な状況情報とハードウェア情報を提供するための通知が送信されます。

コール・ホームの Eメールには、以下のタイプの情報を任意に組み合わせて送信できます。

- 連絡先氏名
- 連絡先電話番号
- 勤務時間外電話番号
- マシンの場所
- レコード・タイプ
- マシン・タイプ
- マシン・シリアル番号
- エラー ID
- エラー・コード
- ソフトウェアのバージョン
- FRU 部品番号
- クラスタ名
- ノード ID
- エラー・シーケンス番号
- タイム・スタンプ
- オブジェクト・タイプ
- オブジェクト ID
- 問題データ

インベントリー情報の E メール

インベントリー情報の E メールは、コール・ホーム通知の 1 タイプです。インベントリー情報を IBM に送信して、SAN ボリューム・コントローラー・システムを評価する面で IBM サービス技術員を支援します。インベントリー情報はコール・ホームの E メール機能を使用して送信されるために、コール・ホーム機能要件を満足させ、コール・ホームの E メール機能を使用可能にする必要があります。その後でインベントリー情報の E メール送信を試行できるようになります。SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは SAN ボリューム・コントローラー・コマンド行インターフェースを使用して、連絡先情報の調整、インベントリー Eメールの頻度の調整、またはインベントリー Eメールの手動送信を行うことができます。

IBM 宛に送信されるインベントリー情報には、コール・ホーム機能対応のクラスタに関して以下の情報を入れることができます。

- タイム・スタンプ
- 連絡先情報 (名前と電話番号を含む)。この情報は、デフォルトの連絡先情報となり、コール・ホーム E メール機能に対して設定済みの情報です。ただし、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは **mkemailuser** または **chemailuser** CLI コマンドを使用して、特にインベントリー E メールに対する連絡先情報を変更することができます。
- マシンの場所。これは、コール・ホーム E メール用に設定されたマシンの設置場所です。
- ソフトウェア・レベル

- ライセンス情報。これは、**svcinfo lslicense** コマンドから出力される情報と同じです。
- クラスターの Vital Product Data (VPD)。クラスターの VPD は、**svcinfo lscluster** コマンドで出力される情報と同じであり、以下の項目を含みます。
 - クラスター名と ID
 - クラスターの場所
 - 帯域幅
 - IP アドレス
 - メモリー容量
 - SNMP 設定値
 - タイム・ゾーン設定値
 - E メール設定値
 - マイクロコード・レベル
 - ファイバー・チャンネル・ポート速度
- クラスター内の各ノードごとのノード VPD。ノード VPD は、**svcinfo lsnodevpd** コマンドで出力される情報と同じであり、以下の項目を含みます。
 - システム部品番号
 - 各種ハードウェア部品 (ファン、プロセッサー、メモリー・スロット、ファイバー・チャンネル・カード、および SCSI/IDE 装置の数など) の個数。
 - 各種ハードウェア部品の部品番号
 - BIOS 情報
 - システム製造情報 (システム・プロダクトおよび製造メーカーなど)
 - サービス・プロセッサーに対するファームウェア・レベル
- ソフトウェア VPD (以下の項目を含む)
 - コード・レベル
 - ノード名
 - イーサネット状況
 - Worldwide node name (WWNN)
 - MAC アドレス
- プロセッサー情報 (各プロセッサーごとの以下の情報を含む)
 - プロセッサーの場所
 - キャッシュのタイプ
 - キャッシュ・サイズ
 - メーカー
 - バージョン
 - 速度
 - 状況 (使用可能または使用不可)
- メモリー情報 (以下の項目を含む)
 - 部品番号
 - デバイスの位置

- バンクの位置
 - サイズ
- ファイバー・チャネル・カード情報 (以下の項目を含む)
 - 部品番号
 - ポート番号
 - デバイス・シリアル番号
 - メーカー
- SCSI/IDE 装置情報 (以下の項目を含む)
 - 部品番号
 - バス ID
 - 装置 ID
 - モデル
 - 改訂レベル
 - シリアル番号
 - 概算容量
- フロント・パネル・アセンブリー情報 (以下の項目を含む)
 - 部品番号
 - ID
 - 位置
- Universal power supply (UPS) 情報 (以下の項目を含む)
 - 電子部品番号
 - バッテリーの部品番号
 - UPS アセンブリーの部品番号
 - 入力電源ケーブルの部品番号
 - UPS シリアル番号
 - UPS タイプ
 - UPS 内部部品番号
 - ID
 - ファームウェア・レベル

エラー・コードの理解

エラー・コードは、システム・エラー・ログ分析およびシステム構成コードにより SAN ボリューム・コントローラー用に生成されます。

エラー・コードは、問題の原因、障害を起こした現場交換可能ユニット (FRU)、および問題の解決に必要なサービス・アクションを識別するのに役立ちます。

注: 操作の際に発生するエラーが複数の場合は、最高優先順位のエラー・コードがフロント・パネルに表示されます。エラー・コードの番号が低いほど、優先順位は高くなります。例えば、クラスター・エラー・コード 1020 は、クラスター・エラー・コード 1370 より高い優先順位になります。

エラー・コード・テーブルの使用

エラー・コード・テーブルには、さまざまなエラー・コードと、対応するアクションの説明がリストされています。

エラー・コード・テーブルを使用するには、次のステップを実行します。

1. テーブルでエラー・コードを探します。特定のコードがどのテーブルでも見つからない場合は、IBM サポートの支援を依頼してください。
2. 実行する必要があるアクションを読んで、問題を修正します。現場交換可能ユニット (FRU) は、指示がない限り交換しないでください。
3. 通常 FRU の交換は、エラー・コードの FRU リストの先頭から始めて、一度に 1 つのみ行います。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

371 ページの『第 9 章 部品の取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、および無停電電源装置から、現場交換可能ユニット (FRU) を取り外し、再取り付けすることができます。

SAN ボリューム・コントローラーの FRU 名の定義

このトピックには、すべての SAN ボリューム・コントローラーの用語集を記載して、適用できるすべての現場交換可能ユニット (FRU) を示しています。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の用 FRU 名の用語集

FRU の名前	説明
フレーム・アセンブリー	ファイバー・チャンネル・カードとサービス・コントローラーを除いた完全な SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4
4 ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (HBA)	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 はファイバー・チャンネル HBA を介してファイバー・チャンネル・ファブリックに接続されます。この HBA は PCI スロット 1 にあります。
ライザー・カード、PCI Express	システム・ボードと 4 ポート・ファイバー・チャンネル・アダプター間のインターフェースを提供する相互接続カード
サービス・コントローラー	サービス機能、フロント・パネル・ディスプレイ、およびボタンを提供する FRU。

FRU の名前	説明
ディスク・ドライブ	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用の SATA (Serial Advanced Technology Attachment) ディスク・ドライブ
ディスク・ドライブ・ケージ・アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用の SATA ディスク・ドライブ・ケージ・アセンブリー
SATA ケーブル・アセンブリー	SATA ディスク・ドライブ・ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き)
メモリー・モジュール	1 GB ECC DRR2 メモリー・モジュール
マイクロプロセッサ	システム・ボード上でのヒートシンク搭載のデュアル・コア・マイクロプロセッサ
電源機構アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4に DC 電源を供給するアセンブリー。
電源バックプレーン	システム・ボードと電源機構アセンブリー間の電力インターフェース機構を提供するアセンブリー
CMOS バッテリー	システム BIOS 設定をバックアップする電源を維持するシステム・ボード上のバッテリー
フロント・パネル・シグナル・ケーブル	オペレーター・パネル表示装置をシステム・ボードに接続するリボン・ケーブル
オペレーター・パネル表示装置	電源制御ボタンとライト・パス診断 LED を含むパネル表示装置
ファン・アセンブリー	2 つのファンを含むファン・アセンブリーで、すべてのファン位置で使用される
入力電源ケーブル・アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 と 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) アセンブリー間の電源およびシグナルの接続を供給するケーブル・アセンブリー

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の用 FRU 名の用語集

FRU の名前	見出し
フレーム・アセンブリー	ファイバー・チャンネル・カードとサービス・コントローラーを除いた完全な SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
4 ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (HBA)	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 はファイバー・チャンネル HBA を介してファイバー・チャンネル・ファブリックに接続されます。カード・アセンブリーは PCI スロット 2 に配置されます。カードを取り付けるときに、ファイバー・チャンネル・カードを PCI スロット 1 に取り付けることは許可されません。

FRU の名前	見出し
ライザー・カード、PCI Express	システム・ボードと 4 ポート・ファイバー・チャンネル・アダプター間のインターフェースを提供する相互接続カード
サービス・コントローラー	サービス機能、フロント・パネル・ディスプレイ、およびボタンを提供する FRU。
ディスク・ドライブ・アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の SATA (シリアル先進テクノロジー接続) ディスク・ドライブ・アセンブリー
メモリー・モジュール	1 GB ECC DRR2 メモリー・モジュール
マイクロプロセッサ	システム・ボード上のマイクロプロセッサ
電圧調節モジュール (VRM)	マイクロプロセッサの VRM
電源機構アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4に DC 電源を供給するアセンブリー。
電源バックプレーン	システム・ボードと電源機構アセンブリー間の電力インターフェース機構を提供するアセンブリー
CMOS バッテリー	システム BIOS 設定をバックアップする電源を維持するシステム・ボード上のバッテリー
ファン電源ケーブル	ファン・バックプレーンをシステム・ボードに接続するためのケーブルを提供するキット
フロント・パネル・シグナル・ケーブル	オペレーター・パネル表示装置をシステム・ボードに接続するリボン・ケーブル
ファン・バックプレーン	すべてのファン・ホルダーとファン・バックプレーン・アセンブリーを提供するキット
オペレーター・パネル表示装置	電源制御ボタンとライト・パス診断 LED を含むパネル表示装置
ファン、40x40x28	ファンの位置 1 から 3 に配置されるシングル・ファン・アセンブリー
ファン、40x40x56	ファンの位置 4 から 7 に配置されるダブル・ファン・アセンブリー
入力電源ケーブル・アセンブリー (SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 から 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U))	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 と 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) アセンブリー間の電源およびシグナルの接続を供給するケーブル・アセンブリー

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の用 FRU 名の用語集

FRU の名前	見出し
フレーム・アセンブリー	ファイバー・チャンネル・カードとサービス・コントローラーを除いた完全な SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

FRU の名前	見出し
ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (HBA) (フルハイト)	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 はファイバー・チャンネル HBA を介してファイバー・チャンネル・ファブリックに接続されます。フルハイト・カード・アセンブリーは PCI スロット 2 に配置されます。
ライザー・カード、PCI (フルハイト)	システム・ボードとスロット 2 の PCI カード間のインターフェースを提供する相互接続カード
ファイバー・チャンネル HBA (ロー・プロファイル)	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 はファイバー・チャンネル HBA を介してファイバー・チャンネル・ファブリックに接続されます。ロー・プロファイル・カード・アセンブリーは PCI スロット 1 に配置されます。
ライザー・カード、PCI (ロー・プロファイル)	システム・ボードとスロット 1 の PCI カード間のインターフェースを提供する相互接続カード
サービス・コントローラー	サービス機能、フロント・パネル・ディスプレイ、およびボタンを提供する FRU。
ディスク・ドライブ・アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の SATA (シリアル先進テクノロジー接続) ディスク・ドライブ・アセンブリー
メモリー・モジュール	1 GB ECC DRR2 メモリー・モジュール
マイクロプロセッサ	システム・ボード上のマイクロプロセッサ
電圧調節モジュール (VRM)	マイクロプロセッサの VRM
電源機構アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2に DC 電源を供給するアセンブリー。
電源バックプレーン	システム・ボードと電源機構アセンブリー間の電力インターフェース機構を提供するアセンブリー
CMOS バッテリー	システム BIOS 設定をバックアップする電源を維持するシステム・ボード上のバッテリー
ファン電源ケーブル	ファン・バックプレーンをシステム・ボードに接続するためのケーブルを提供するキット
フロント・パネル・シグナル・ケーブル	オペレーター・パネル表示装置をシステム・ボードに接続するリボン・ケーブル
ファン・バックプレーン	すべてのファン・ホルダーとファン・バックプレーン・アセンブリーを提供するキット
オペレーター・パネル表示装置	電源制御ボタンとライト・パス診断 LED を含むパネル表示装置
ファン、40×40×28	ファンの位置 1 から 3 に配置されるシングル・ファン・アセンブリー
ファン、40×40×56	ファンの位置 4 から 7 に配置されるダブル・ファン・アセンブリー

FRU の名前	見出し
入力電源ケーブル・アセンブリー (SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2 から 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U))	SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2 と 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) アセンブリー間の電源およびシグナルの接続を供給するケーブル・アセンブリー

SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 の用 FRU 名の用語集

FRU の名前	定義
フレーム・アセンブリー	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のフレームおよびフレームに含まれるケーブル。
ディスク・ドライブ・アセンブリー	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のディスク・ドライブ。
ディスク・ドライブ・ケーブル	ディスク・ドライブを SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のシステム・ボードに接続する SCSI ケーブルおよび電源ケーブル。
ファイバー・チャンネル・ケーブル	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 をファイバー・チャンネル・ネットワークに接続するケーブル。
イーサネット・ケーブル	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 をイーサネット・ネットワークに接続するケーブル。
電源機構アセンブリー	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 に DC 電源を供給し、3 つのファンを含むアセンブリー
電源ケーブル・アセンブリー	SAN ポリウム・コントローラーを無停電電源装置に接続する電源ケーブルとシグナル・ケーブル。この FRU は、電源ケーブルとシグナル・ケーブルから構成されます。
ファン・アセンブリー	DC 冷却ファンが入ったアセンブリー。SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 には、電源機構アセンブリーにあるものを除き、2 つのタイプのファン・アセンブリーがあります。
システム・ボード・アセンブリー	この FRU は、システム・ボード、2 つのプロセッサ、VRM、ライザー・カード、電圧調整装置、および CMOS バッテリーから構成されます。
ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 をファイバー・チャンネル・ファブリックに接続する手段。
サービス・コントローラー	SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のサービス機能を提供する FRU。この FRU は、電子カード、フラッシュ・モジュール、および 3 つの接続ケーブルから構成されます。

FRU の名前	定義
CMOS バッテリー	時間と日付のシステム BIOS 設定をバックアップするための電源を維持するバッテリー。
フロント・パネル・アセンブリー	SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・カバー。この FRU には、フロント・パネル、コントロール、およびディスプレイが組み込まれています。

関連資料

『UPS の FRU 名の定義』

以下の用語集は、無停電電源装置 (UPS) に関する現場交換可能ユニット (FRU) 名を示しています。

冗長 AC 電源スイッチの FRU 名の定義

以下の用語集には、冗長 AC 電源スイッチに関する現場交換可能ユニット (FRU) 名を記載してあります。

FRU の名前	説明
冗長 AC 電源スイッチ アセンブリー	冗長 AC 電源スイッチとその入力電源ケーブル

UPS の FRU 名の定義

以下の用語集は、無停電電源装置 (UPS) に関する現場交換可能ユニット (FRU) 名を示しています。

FRU の名前	説明
バッテリー・アセンブリー	電源障害が発生した場合に SAN ボリューム・コントローラーにバックアップ電源を供給するバッテリー。この FRU は UPS の一部です。
バッテリー・プレート	2145 UPS-IU のバッテリー・パック・アセンブリー用カバー・プレート
入力電源ケーブル、UPS への電力配分装置	2145 UPS-IU 用電源コード
フロント・パネル	2145 UPS-IU 用取り外し可能な FRU
UPS 電子部品アセンブリー	2145 UPS の機能を制御する装置。この FRU は 2145 UPS の一部です。
UPS	この FRU には、UPS のフレームと、そのフレームに収められる FRU のすべてが組み込まれています。

関連資料

131 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの FRU 名の定義』

このトピックには、すべての SAN ボリューム・コントローラーの用語集を記載して、適用できるすべての現場交換可能ユニット (FRU) を示しています。

クラスター・エラー・コードの定義

それぞれのクラスター・エラー・コードには、エラー・コード番号、説明、アクション、および可能性のある現場交換可能ユニット (FRU) が組み込まれています。

1001 クラスタ自動リカバリーが実行されました。

説明

クラスター構成コマンドはすべてブロックされます。

アクション

ソフトウェア・サポートに連絡してください。

注意:

svctask enablecli コマンドを発行すると、構成コマンドを非ブロック化できますが、クラスター構成の破損を回避するために、まずソフトウェア・サポートに相談するようにしてください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

1002 エラー・ログがいっぱいです。

説明

エラー・ログがいっぱいです。

アクション

エラー・ログのエラーを修正するには、開始 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ログの未修正エラー。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

1010 ファイバー・チャンネル・アダプターの欠落が報告されました。

説明

ファイバー・チャンネル・アダプターの欠落が報告されました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー (90 %)
- システム・ボード・アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1011 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) が欠落しています。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) が欠落しています。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後に『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (90%)
- PCI Express ライザー・カード (8%)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-8F4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

1012 ファイバー・チャンネル・アダプターが、PCI バス・エラーを報告しました。

説明

ファイバー・チャンネル・アダプターが、PCI バス・エラーを報告しました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー (90 %)
- システム・ボード・アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1013 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) の PCI 障害です。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) の PCI 障害です。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (80%)
- PCI Express ライザー・カード (10%)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8F4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

1014 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターが欠落しています。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターが欠落しています。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

- デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル HBA - ロー・プロファイル (90 %)
- PCI ライザー・カード - ロー・プロファイル (8 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・

アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1015 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターが欠落しています。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターが欠落しています。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

- デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター - フルハイト (90 %)
- PCI ライザー・カード (8 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

N/A

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

459 ページの『アダプター・アセンブリの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1016 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) が欠落しています。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) が欠落しています。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (90%)
- PCI Express ライザー・カード (8%)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査でき
ます。

1017 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターの PCI バ ス・エラーです。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターの PCI バス・エラーです。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後
のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示してい
る場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ
ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。
このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題
を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

- デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター - ロー・
プロファイル (80 %)
- PCI ライザー・カード (10 %)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、
SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクショ
ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要で
す。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済み
のマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ポリウム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ポリウム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1018 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターの PCI 障害です。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターの PCI 障害です。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

- デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター - フルハイト (80 %)
- PCI ライザー・カード (10 %)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1019 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) の PCI 障害です。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) の PCI 障害です。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4

- ファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (80%)
- PCI Express ライザー・カード (10%)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1020 2145 のシステム・ボードが障害を起こしています。

説明

2145 のシステム・ボードが障害を起こしています。

アクション

1. システム・ボード・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

システム・ボード・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1025 2145 のシステム・アセンブリーが障害を起こしています。

説明

2145 のシステム・アセンブリーが障害を起こしています。

アクション

1. ライト・パス診断 MAP に進み、ライト・パス診断手順を実行します。
2. ライト・パス診断手順で FRU が特定された場合は、このエラーに「修正済み」とマークを付け、修復検査 MAP に進みます。FRU を交換したばかりで、問題を解決されていない場合は、FRU が正しくインストールされていることを確認して次のステップに進みます。
3. フレーム・アセンブリーを交換します。
4. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ライト・パス診断が示す FRU (98 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1030 あるノードの内部ディスクに障害が発生しました。

説明

エラーが発生したのは、クラスター内にあるノードのいずれかの内部ディスクに対して、データの読み取りまたは書き込みを行っていた時点です。ディスクが障害を起こしています。

アクション

このエラー内のノード情報を使用して、どのノードの内部ディスクに障害が発生したかを判別します。表示された順に FRU を交換します。エラーに修正済みのマークを付けます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリ (90 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (10 %)

2145-8F4 または 2145-8F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (100 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』

ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

1040 2145 が正常に開始した後、フラッシュ・モジュール・エラーが発生しました。

説明

注: フラッシュ・モジュールを含むノードはクラスターによってリジェクトされませんでした。

アクション

1. サービス・コントローラー・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

サービス・コントローラー (100 %)

2145-4F2

サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1044 サービス・コントローラーの読み取り障害が発生しました。

説明

サービス・コントローラーの読み取り障害が発生しました。

アクション

1. サービス・コントローラーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

サービス・コントローラー (100 %)

2145-4F2

サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1050 2145 のファイバー・チャンネル・アダプターが、ループバックまたは類似のテストに失敗しました。

説明

2145 のファイバー・チャンネル・アダプターが、ループバックまたは類似のテストに失敗しました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー (90 %)
- システム・ボード・アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換

により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1054 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターのアダプターは存在していますが故障しています。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプターのアダプターは存在していますが故障しています。

アクション

1. ファイバー・チャンネル・アダプターを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター - ロー・プロファイル (100 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1055 スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) のアダプターは存在していますが故障しています。

説明

スロット 1 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) のアダプターは存在していますが故障しています。

アクション

1. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。

2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (100%)

2145-8F4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

1056 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターのアダプターは存在していますが故障しています。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプターのアダプターは存在していますが故障しています。

アクション

1. ファイバー・チャンネル・アダプターを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2

デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター - フルハイ
ト (100 %)

2145-8G4

N/A

2145-8F4

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリを再取り付けする必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1057 スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) のアダプターは存在していますが故障しています。

説明

スロット 2 のファイバー・チャンネル・アダプター (4 ポート) のアダプターは存在していますが故障しています。

アクション

1. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後に『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4

- ファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (100%)

2145-8G4

N/A

2145-8F2

N/A

2145-4F2

N/A

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査でき
ます。

1060 2145 の 1 つ以上のファイバー・チャンネル・ポートが操作可能 ではありません。

説明

2145 の 1 つ以上のファイバー・チャンネル・ポートが操作可能ではありません。

アクション

1. 『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』に進み、問題を特定し、修復します。
2. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4 または 2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ケーブル (80 %)
- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (20%)

2145-8F2

- ファイバー・チャンネル・ケーブル (80 %)
- デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (ファイ
バー・チャンネル MAP により適切なタイプに分離します) (10 %)

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・ケーブル (80 %)
- ファイバー・チャンネル・アダプター・ポート (10 %)

その他:

- ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリック (10 %)

関連タスク

345 ページの『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』

MAP 5600: ファイバー・チャンネルは、SAN ボリューム・コントローラーのフ
ァイバー・チャンネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換
により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントロー
ラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1065 1 つ以上のファイバー・チャンネル・ポートが、以前に保存され た速度より低速で稼働しています。

説明

ファイバー・チャンネル・ポートは、通常、ファイバー・チャンネル・スイッチで許可
される最高速度で作動しますが、ファイバー・チャンネル接続のシグナル品質が低下
すると、この速度が低減することがあります。ファイバー・チャンネル・スイッチ

は、ユーザーによって低速で作動するように設定された可能性があります。そうでない場合は、ファイバー・チャンネル・シグナルの品質が低下しています。

アクション

- 『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』に進んで、この問題を解決します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4 または 2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ケーブル (50 %)
- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (25%)

その他:

- ファイバー・チャンネル・スイッチまたは GBIC (25%)

関連タスク

345 ページの『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』

MAP 5600: ファイバー・チャンネルは、SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

1070 プロセッサを冷やす 4 つのファン・アセンブリーのいずれかが、サービス・プロセッサを介して「障害」状況を戻しました。

説明

プロセッサを冷やす 4 つのファン・アセンブリーのいずれかが、サービス・プロセッサを介して「障害」状況を戻しました。

アクション

1. エラー・ログを検査して、障害のあるファンを確認します。
2. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
3. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- マイクロプロセッサ・ファン (90 %)
- システム・ボード・アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

482 ページの『ファンの取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

486 ページの『ファンの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1071 ディスク・ドライブ・アセンブリーを冷やすファン・アセンブリーが、サービス・プロセッサを使用して障害状況を戻しました。

説明

ディスク・ドライブ・アセンブリーを冷やすファン・アセンブリーが、サービス・プロセッサを使用して障害状況を戻しました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・ファン (90 %)
- システム・ボード・アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

434 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換』

ディスク・ドライブ・ファンは、障害があるかまたは交換の必要がある場合は、取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』
通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』
通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。
22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1075 ノードの周辺温度しきい値を超過しました。

説明

ノードの周辺温度しきい値を超過しました。

アクション

1. 室内温度が許容制限内にあるか検査します。
2. 空気の流れに障害物がないか検査します。
3. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

システム環境 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

58 ページの『SAN ボリューム・コントローラー環境の準備』
SAN ボリューム・コントローラー をインストールする前に物理環境を準備する必要があります。

1076 2145 の内部温度センサーが、温度警告しきい値を超過したことを報告しています。

説明

2145 の内部温度センサーが、温度警告しきい値を超過したことを報告しています。

アクション

1. 2145 内部の空気の流れが妨げられていないか検査します。障害物があれば除きます。障害物が見つからない場合は、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

システム・ボード・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1077 2145 の温度ソフトまたはハード・シャットダウンしきい値を超過しました。

説明

2145 は自動的にパワーオフになりました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

システム・ボード・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1080 システム・ボードでモニターされていたが、別のところで生成された電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

説明

システム・ボードでモニターされていたが、別のところで生成された電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- 電源機構装置 (98%)
- システム・ボード・アセンブリー (2 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1081 システム・ボードで生成およびモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

説明

システム・ボードで生成され、かつモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

アクション

1. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

システム・ボード・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1089 1 つ以上のファンに障害が発生しています。

説明

1 つ以上のファンに障害が発生しています。

アクション

1. システム・ボード上のファン・インディケータによって、またはログ内のエラー・データ・テキストによって故障しているファンを判別します。ログ中のエラー・データから、障害を起こしたファン番号を判別済みの場合、以下のテーブルを使用して交換対象のファン・アセンブリーの位置を決定します。各ファン・アセンブリーには 2 台のファンが組み込まれています。
2. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後に『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
3. 修復検査 MAP に進みます。
 - ファン番号 : ファン・アセンブリー位置
 - 1 または 2 :1
 - 3 または 4 :2
 - 5 または 6 :3
 - 7 または 8 :4
 - 9 または 10:5
 - 11 または 12:6

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ファン・アセンブリー (100%)

2145-4F2 または 2145-4F2 または 2145-8F4

N/A

1090 1 つ以上のファン (40x40x28) が故障しています。

説明

1 つ以上のファン (40x40x28) が故障しています。

アクション

1. システム・ボード上のファン・インディケータによって、またはログ内のエラー・データ・テキストによって故障しているファンを判別します。
2. ファン・バックプレーン上のすべてのファンが故障しているかファン障害ライトが点灯していない場合は、ファン・バックプレーンとシステム・ボード間のケーブルが接続されていることを検査してください。
3. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後に『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4

- ファン 40x40x28 (98%)
- ファン電源ケーブル・アセンブリー (2 %)

2145-4F2 または 2145-8G4

N/A

関連タスク

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

482 ページの『ファンの取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

486 ページの『ファンの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

490 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バックプレーンの取り外し』

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用の部品を破棄します。

491 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バックプレーンの交換』

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用の部品を破棄します。

1091 1 つ以上のファン (40x40x56) が故障しています。

説明

1 つ以上のファン (40x40x56) が故障しています。

アクション

1. システム・ボード上のファン・インディケータによって、またはログ内のエラー・データ・テキストによって故障しているファンを判別します。
2. ファン・バックプレーン上のすべてのファンが故障しているかファン障害ライトが点灯していない場合は、ファン・バックプレーンとシステム・ボード間のケーブルが接続されていることを検査してください。
3. FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4

- ファン 40×40×56 (98%)
- ファン電源ケーブル・アセンブリー (2 %)

2145-4F2 または 2145-8G4

N/A

関連タスク

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

482 ページの『ファンの取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

486 ページの『ファンの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

490 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バックプレーンの取り外し』

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用の部品を破棄します。

491 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バックプレーンの交換』

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用の部品を破棄します。

1092 2145 の温度ソフトまたはハード・シャットダウンしきい値を超過しました。2145 は自動的にパワーオフになりました。

説明

2145 の温度ソフトまたはハード・シャットダウンしきい値を超過しました。2145 は自動的にパワーオフになりました。

アクション

1. 稼働環境が仕様を満足しているかを確認します。
2. 空気の流れを遮るものがないか確認します。
3. 各ファンが稼働状態にあるかどうかを確認します。
4. ライト・パス診断 MAP に進み、ライト・パス診断手順を実行します。
5. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。
このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。

6. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ライト・パス診断が示す FRU (25 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

N/A

その他

システム環境または空気の流れの遮断 (70 %)

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1093 2145 の内部温度センサーが、温度警告しきい値を超過したことを報告しています。

説明

2145 の内部温度センサーが、温度警告しきい値を超過したことを報告しています。

アクション

1. ノード内部の空気の循環が妨げられていないか検査します。

2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ファン・アセンブリー (25 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

N/A

その他

空気の循環の遮断 (70 %)

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1094 周辺温度しきい値を超過しました。

説明

周辺温度しきい値を超過しました。

アクション

1. 室内温度が許容制限内にあるか検査します。
2. 空気の流れに障害物がないか検査します。
3. エラーに修正済みのマークを付けます。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

なし

その他:

システム環境 (100 %)

関連タスク

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1100 システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

説明

システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

アクション

1. ライト・パス診断 MAP を参照してください。
2. ライト・パス診断 MAP で問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。
3. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ライト・パス診断 MAP FRU (98 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-4F2

N/A

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1101 システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

説明

システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値外にあります。

アクション

1. ライト・パス診断 MAP を参照してください。
2. ライト・パス診断 MAP で問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリを交換します。
3. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ライト・パス診断 MAP FRU (98 %)

- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-4F2

N/A

1105 システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値以下です。

説明

システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値以下です。

アクション

1. ケーブル接続を検査します。
2. ライト・パス診断 MAP を参照してください。
3. ライト・パス診断 MAP で問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。
4. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ライト・パス診断 MAP FRU (98 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-4F2

N/A

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1106 システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値以下です。

説明

システム・ボードでモニターされた電圧の 1 つが、設定しきい値以下です。

アクション

1. ケーブル接続を検査します。
2. ライト・パス診断 MAP を参照してください。
3. ライト・パス診断 MAP で問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリを交換します。
4. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ライト・パス診断 MAP FRU (98 %)
- フレーム・アセンブリ (2 %)

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-4F2

N/A

1110 電源管理ボードで、しきい値外の電圧を検出しました。

説明

電源管理ボードで、しきい値外の電圧を検出しました。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- 電源バックプレーン (90 %)
- 電源装置アセンブリー (5 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

N/A

関連タスク

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

453 ページの『電源バックプレーンの取り外し』

SAN ボリューム・コントローラーの電源バックプレーンを取り外す必要が生じる場合があります。

455 ページの『電源バックプレーンの交換』

保守アクションのために電源バックプレーンを再取り付けする必要が生じる場合があります。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』
保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付け
する必要が生じる場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1135 2145 UPS が、周辺温度の過熱を報告しています。

説明

2145 UPS が、周辺温度の過熱を報告しています。無停電電源装置 (UPS) は、バイ
パス・モードに切り替わり、UPS の熱が下がるようにします。

アクション

1. UPS に接続されたノードを電源オフします。
2. UPS の電源を切ってから、主給電部から UPS のプラグを抜きます。
3. UPS の通気孔が妨げられていないか確認します。
4. UPS の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
5. 少なくとも 5 分待ってから、UPS を再始動します。問題が残る場合は、周辺温
度を検査します。問題を訂正してください。そうでない場合は、FRU を新しい
FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原
因 - FRU またはその他』を参照。
6. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示してい
る場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ
ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。
このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装
置の問題を解決してください。
7. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS 電子機器 (50 %)

その他:

システム周辺温度が仕様から外れている (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、
SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクショ
ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要で
す。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済み
のマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』
ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

85 ページの『UPS 環境の準備』

設置場所が無停電電源装置 (UPS) のインストール要件を満たしていることを確認してください。

1136 2145 UPS-1U が、周辺温度の過熱を報告しています。

説明

2145 UPS-1U が、周辺温度の過熱を報告しています。

アクション

1. UPS に接続されたノードを電源オフします。
2. UPS の電源を切ってから、主給電部から UPS のプラグを抜きます。
3. UPS の通気孔が妨げられていないか確認します。
4. UPS の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
5. 少なくとも 5 分待ってから、UPS を再始動します。問題が残る場合は、周辺温度を検査します。問題を訂正してください。そうでない場合は、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
6. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
7. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS アセンブリー (50 %)

その他:

システム周辺温度が仕様から外れている (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』
ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』
MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』
2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』
以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

528 ページの『2145 UPS-1U からの電源ケーブルの取り外し』
電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) から取り外すことができます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』
このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』
このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

関連情報

515 ページの『2145 UPS-1U の部品の取り外しと交換』
2145 UPS-1U の現場交換可能ユニットの取り外しと交換手順は次のトピックに説明されています。

1140 2145 UPS が入力 AC 電源に問題があることを報告しています。

説明

2145 UPS が入力 AC 電源に問題があることを報告しています。

アクション

1. 入力 AC 電源が欠落しているか、または仕様外であることを調べます。必要があれば、直します。そうでない場合は、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 入力電源ケーブル (10 %)
- 電子部品アセンブリー (10 %)

その他:

- 入力 AC 電源が欠落している (40 %)
- 入力 AC 電源が仕様に合っていない (40 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1141 2145 UPS-1U が入力 AC 電源に問題があることを報告しています。

説明

2145 UPS-1U が入力 AC 電源に問題があることを報告しています。

アクション

1. 入力 AC 電源が欠落しているか、または仕様外であることを調べます。必要があれば、直します。そうでない場合は、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 入力電源ケーブル (10 %)
- UPS アセンブリー (10 %)

その他:

- 入力 AC 電源が欠落している (40 %)
- 入力 AC 電源が仕様に合っていない (40 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1145 2145 とその 2145 UPS の信号接続に障害があります。

説明

2145 とその 2145 UPS の信号接続に障害があります。

アクション

1. この無停電電源装置を使用している他の 2145 がこのエラーを報告している場合は、UPS の電子部品を新しいものに交換してください。
2. この 2145 のみが問題を報告している場合は、シグナル・ケーブルを調べて、表示された順序で FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
3. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

N/A

2145-4F2

- 電源ケーブル・アセンブリー (40 %)
- UPS 電子部品アセンブリー (30 %)
- システム・ボード・アセンブリー (25 %)
- 2145 のディスク・ドライブ・アセンブリー (5 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』

ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

434 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換』

ディスク・ドライブ・ファンは、障害があるかまたは交換の必要がある場合は、取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1146 2145 とその 2145 UPS-1U の信号接続に障害があります。

説明

2145 とその 2145 UPS-1U の信号接続に障害があります。

アクション

1. 表示された順序で FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- 電源ケーブル・アセンブリー (40 %)
- UPS アセンブリー (30 %)
- フレーム・アセンブリー (30 %)

2145-4F2

- 電源ケーブル・アセンブリー (40 %)
- UPS アセンブリー (30 %)
- システム・ボード・アセンブリー (25 %)
- 2145 のディスク・ドライブ・アセンブリー (5 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』
ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』
ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

434 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換』
ディスク・ドライブ・ファンは、障害があるかまたは交換の必要がある場合は、取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』
通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』
通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』
通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』
通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1150 2145 が UPS から受け取ったデータは、2145 UPS の電源ケーブルまたはシグナル・ケーブル、あるいはその両方が正しく接続されていないことを示しています。

説明

2145 が UPS から受け取ったデータは、2145 UPS の電源ケーブルまたはシグナル・ケーブル、あるいはその両方が正しく接続されていないことを示しています。

アクション

1. ケーブルを正しく接続します。ご使用の製品のインストール・ガイドを参照してください。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 構成エラー

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1151 2145 が UPS から受け取ったデータは、2145 UPS-1U の電源ケーブルまたはシグナル・ケーブル、あるいはその両方が正しく接続されていないことを示しています。

説明

2145 が UPS から受け取ったデータは、2145 UPS-1U の電源ケーブルまたはシグナル・ケーブル、あるいはその両方が正しく接続されていないことを示しています。

アクション

1. ケーブルを正しく接続します。ご使用の製品のインストール・ガイドを参照してください。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 構成エラー

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1155 電源ドメイン・エラーが発生しました。

説明

ペアのうちの両方の 2145 が、同じ UPS から電源を供給されています。

アクション

1. クラスターの 2145 をリストし、同じ入出力グループにある 2145 が異なった UPS に接続されていることを確認します。
2. ステップ 1 で識別された 2145 を異なった UPS に接続します。
3. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 構成エラー

関連タスク

12 ページの『重要製品データの表示』

ノードの重要製品データは、「重要製品データの表示」パネルから表示することができます。

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

1160 2145 UPS での出力負荷が仕様を超えています (UPS アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS での出力負荷が仕様を超えています (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) から電源を受けているのが 2145 のみであることを確認します。UPS に接続しているスイッチまたはディスク・コントローラーがないことを確認します。
2. 出力過負荷が解除されるまで、接続された各 2145 入力電源を順々に取り外します。
3. 過電流の 2145 で、表示された順序で FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。
4. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- 電源ケーブル・アセンブリー (50 %)
- 電源機構アセンブリー (40 %)
- UPS 電子部品アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』
ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』
MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

444 ページの『電源機構の取り外し』
SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』
保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要がある場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1161 2145 UPS-1U での出力負荷が仕様を超えています (UPS アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS-1U での出力負荷が仕様を超えています (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) から電源を受けているのが 2145 のみであることを確認します。また、他の装置が UPS に接続されていないことも確認します。
2. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。過負荷インディケータがまだ点灯していてすべての出力が切り離されている場合は、UPS を交換します。
3. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。

4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- 電源ケーブル・アセンブリー (50 %)
- 電源機構アセンブリー (40 %)
- UPS アセンブリー (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1165 2145 UPS の出力負荷が予想外に高くなっています。UPS の出力が、余分な非 2145 負荷に接続されている可能性があります。

説明

2145 UPS の出力負荷が予想外に高くなっています。UPS の出力が、余分な非 2145 負荷に接続されている可能性があります。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) から電源を受けているのが 2145 のみであることを確認します。UPS に接続しているスイッチまたはディスク・コントローラーがないことを確認します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、この問題はすでに解消しています。修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付け、修復検査 MAP に進みます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

なし

その他:

- 構成エラー

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1166 2145 UPS-1U の出力負荷が予想外に高くなっています。

説明

無停電電源装置 (UPS) の出力が、規格外の非 2145 の負荷に接続されている可能性があります。

アクション

1. UPS に接続している装置が他にないことを確認します。

2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS アセンブリー (5 %)

その他:

- 構成エラー (95 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1170 2145 UPS 電子機器に障害があります (UPS アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS 電子機器に障害があります (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) の電子組み立て部品を交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS 電子部品アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1171 2145 UPS-1U 電子機器に障害があります (UPS アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS-1U 電子機器に障害があります (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノ

ードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1175 UPS フレームの障害に伴って問題が発生しました (UPS のアラーム・ビットによる報告)。

説明

UPS フレームの障害に伴って問題が発生しました (UPS のアラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 無停電電源装置 (UPS) アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。

3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1180 2145 UPS バッテリーの障害です (UPS アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS バッテリーの障害です (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 2145 UPS バッテリー・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1181 2145 UPS-1U バッテリーの障害です (UPS UPS-1U アラーム・ビットによる報告)。

説明

2145 UPS-1U バッテリーの障害です (2145 UPS-1U アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. UPS-1U バッテリー・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1185 特定の FRU が識別されていない、2145 UPS の障害 (無停電電源装置 (UPS) アラーム・ビットによる報告)。

説明

特定の FRU が識別されていない、2145 UPS の障害 (UPS アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、UPS の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリー (60 %)
- UPS バッテリー・アセンブリー (20 %)
- UPS アセンブリー (20 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1186 特定の FRU が識別されていない、2145 UPS-1U で問題が発生しました (2145 UPS-1U アラーム・ビットによる報告)。

説明

特定の FRU が識別されていない、2145 UPS-1U で問題が発生しました (2145 UPS-1U アラーム・ビットによる報告)。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置 (UPS) の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクション

ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1190 2145 UPS のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

説明

2145 UPS のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

アクション

1. 2145 UPS バッテリー・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置 (UPS) の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』
ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』
MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』
2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』
2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1191 2145 UPS-1U のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

説明

2145 UPS-1U のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

アクション

1. 2145 UPS-1U バッテリー・アセンブリーを交換します。
2. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、無停電電源装置の問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1195 2145 が、クラスターから脱落しています。

説明

この問題は、欠落した 2145 の障害を修復することで解決できます。

アクション

1. クラスター内のどのノードに障害があるかがはっきりしない場合は、ノードの状況を検査し、オフラインの状況の 2145 を検出します。
2. 「MAP の開始」に進んで、障害のあるノードの修復を行います。
3. 修復が完了すると、このエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。
4. ノードの状況を検査します。すべてのノードが「オンライン」の状況を示しているが、ログのエラーに「修正済み」のマークが付いていない場合は、いま修復したエラーに手動で「修正済み」のマークを付けます。どのノードも「オンライ

ン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。

5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1200 構成が無効です。クラスターまたは 2145 に提示されたデバイスが多過ぎます。

説明

構成が無効です。クラスターまたは 2145 に提示されたデバイスが多過ぎます。

アクション

1. 不要なデバイスを、ファイバー・チャネル・ネットワーク・ファブリックから取り外します。
2. ファイバー・チャネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスター・ディスカバリー操作を開始して、デバイス/ディスクを検出します。
3. 接続されたすべての管理対象ディスクをリストします。構成が予想どおりであることをお客様と確認します。修復したばかりのエラーに修正済みのマークを付けます。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャンネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャンネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

1203 重複したファイバー・チャンネル・フレームが受信されました。

説明

重複したファイバー・チャンネル・フレームを検出することはあり得ないことです。重複したファイバー・チャンネル・フレームを受信することは、ファイバー・チャンネル・ファブリックに発生している問題を発生していることを示しています。ファイバー・チャンネル・ファブリックに発生している他のエラーが発生している可能性があります。

アクション

1. エラー・データに示された WWPN の送信と受信を使用して、重複フレームを発生したファイバー・チャンネル・ファブリックのセクションを判別します。ファブリック・モニター・ツールを使用して問題原因を探します。重複フレームの原因の可能性としては、ファブリックの接続形態における設計エラー、構成エラー、またはファイバー・チャンネル・ファブリックのコンポーネントのいずれかでソフトウェアまたはハードウェア障害が考えられます。
2. この問題が解消されたことを確信した場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. MAP 5700 (修復の検証) に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ファイバー・チャンネル・ケーブル・アセンブリー (1 %)
- ファイバー・チャンネル・アダプター (1 %)

その他:

- ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (98 %)

1210 ローカル・ファイバー・チャンネル・ポートが除外されています。

説明

ローカル・ファイバー・チャンネル・ポートが除外されています。

アクション

1. 表示された順に障害を修復します。
2. ディスク・コントローラーの状況を検査します。すべてのディスク・コントローラーの示す状況が「良好」ならば、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ファイバー・チャンネル・ケーブル・アセンブリー (80 %)
- ファイバー・チャンネル・アダプター (10 %)

その他:

- ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (10 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

345 ページの『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』

MAP 5600: ファイバー・チャンネルは、SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1220 リモート・ファイバー・チャンネル・ポートが除外されています。

説明

リモート・ファイバー・チャンネル・ポートが除外されています。

アクション

1. エラー・ログを表示します。エラー・コードに関連する MDisk ID をメモします。
2. MDisk で、障害のあるディスク・コントローラー ID を判別します。
3. ディスク・コントローラー、およびファイバー・チャネル・ネットワークの保守関連資料を参照して、報告された問題を解決します。
4. ディスク・ドライブが修復された後に、ファイバー・チャネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスター・ディスクカバリー操作を開始して、除外されたファイバー・チャネル・ポートをリカバリーします。
5. MDisk の接続状況を復元するには、ステップ 1 でメモした管理対象ディスクを組み込みます
6. ディスク・コントローラーの状況を検査します。すべてのディスク・コントローラーの示す状況が「良好」ならば、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
7. すべてのディスク・コントローラーが良好な状況を示していない場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
8. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- エンクロージャー/コントローラーの障害 (50 %)
- ファイバー・チャネル・ネットワーク・ファブリック (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

120 ページの『エラー・ログの表示』

エラー・ログは、SAN ボリューム・コントローラーのコマンド行インターフェース (CLI) または SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用して表示できます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

28 ページの『CLI を使用したディスク・コントローラー状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してディスク・コントローラーの状況を検査できます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1230 ログインが排除されました。

説明

ログインが排除されています。

アクション

1. 表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。
2. ファイバー・チャネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスター・ディスクバリー操作を開始して、ログインをリカバリーします。
3. ディスク・コントローラーの状況を検査します。すべてのディスク・コントローラーの示す状況が「良好」ならば、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。「良好」の状況を示していないディスク・コントローラーがある場合は、開始 MAP へ進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ファイバー・チャネル・ケーブル、リモート・ポートへのスイッチ (50 %)
- ファイバー・チャネル・ケーブル、スイッチへのローカル・ポート (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

28 ページの『CLI を使用したディスク・コントローラー状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してディスク・コントローラーの状況を検査できます。

1310 管理対象ディスクが過度のエラーを報告しています。

説明

管理対象ディスクが過度のエラーを報告しています。

アクション

1. エンクロージャー/コントローラーの障害を修復します。
2. 管理対象ディスクの状況を検査します。すべての管理対象ディスクが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。「除外済み」の状況を示している管理対象ディスクがある場合は、除外された管理対象ディスクを組み込んで、エラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

エンクロージャー/コントローラーの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

1320 ディスク I/O のメディア・エラーが発生しました。

説明

ディスク I/O のメディア・エラーが発生しました。

アクション

1. 間違ったデータを、ホスト・システム SCSI センス・データで報告されたブロック LBA に書き直すように、お客様に依頼します。このエラーがマイグレーション中に発生したのであれば、ターゲット・デバイスがアクセスされるまで、ホスト・システムはこのエラーに気付きません。
2. 管理対象ディスクの状況を検査します。すべての管理対象ディスクが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どの管理対象ディスクも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

エンクロージャー/コントローラーの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

1330 どの管理対象ディスク (MDisk) もクォーラム・ディスクとして適していません。

説明

クラスターの作成時、3 つのディスクがクォーラム・ディスクとして自動的に選択されます。クォーラム・ディスクは、欠落したクラスター・メンバーがあるときに、タイ・ブレイク (tie-break) を使用できるようにするのに必要です。クォーラム・ディスクになるには、以下のことが必要です。

- MDisk が、クラスター内のすべてのノードからアクセス可能でなければならない。
- MDisk にフリー・エクステン트가なければならない。

クラスター内のすべてのノードからアクセスできないクォーラム・ディスクが少なくとも 1 つあると、このエラー・コードが作成されます。

クォーラム・ディスクは、ファイバー・チャネル・ネットワーク障害、または、ファイバー・チャネル・スイッチのゾーニング問題のために使用できなくなる場合があります。

アクション

1. 既知のファイバー・チャネル・ネットワーク問題があれば解決してください。
2. Mdisk が作成されていること、ならびにそれらの Mdisk にフリー・エクステンがあることを確認するように、お客様に依頼します。少なくとも 1 つの管理対象ディスクが管理対象のモードを示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. MDisk をリストします。少なくとも 1 つの MDisk が管理対象のモードを示している場合は、エラーに「修正済み」のマークを付けます。
4. お客様が適切な変更を行えない場合は、ソフトウェア・サポートの支援を依頼してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

構成エラー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

289 ページの『SAN の問題判別』

ここで説明する SAN ボリューム・コントローラーを保守するための手順は、

SAN ボリューム・コントローラーと、そのストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) への接続に関する問題の解決に役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

1335 クォーラム・ディスクが使用できません。

説明

クォーラム・ディスクが使用できません。

アクション

1. エラー・ログ・エントリーを表示し、クォーラム・ディスクとして使用されていたが、使用できなくなった管理対象ディスク (MDisk) を識別します。
2. ステップ 1 で識別された MDisk について、ディスク・コントローラーの問題判別と修復手順を実行します。
3. クラスタに MDisk を組み込みます。
4. 管理対象ディスクの状況を検査します。ステップ 1 で示された管理対象ディスクが「オンライン」の状態を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。管理対象ディスクも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

エンクロージャー/コントローラーの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスタ・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1340 管理対象ディスクがタイムアウトになっています。

説明

このエラーが報告されたのは、大量のディスク・タイムアウト状態が検出されたためです。多くの場合、問題の原因は SAN 上の別のコンポーネントの障害にあります。

アクション

1. この 2145 クラスタと同じ SAN 上のすべてのエンクロージャー/コントローラーおよびスイッチの問題を修復します。
2. 問題が検出されたら、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. スイッチまたはディスク・コントローラーの障害が検出されない場合は、エラー・ログ・ダンプを取って、ハードウェア・サポートに連絡してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- エンクロージャー/コントローラーの障害
- ファイバー・チャネル・スイッチ

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスタ・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1360 SAN トランスポート・エラーが発生しました。

説明

このエラーは、SAN コンポーネントに関連したトランスポート・エラーに対応して 2145 がエラー・リカバリー手順を実行したため報告されました。問題は SAN コンポーネントの障害によって起きている可能性があります。

アクション

1. エラー・ログ・エントリを表示して問題を記録したノードを判別します。問題が記録された 2145 のノードまたはコントローラーを判別します。
2. ファイバー・チャンネル・スイッチの問題判別を行い、2145 のノードまたはコントローラーに接続されたスイッチの手順を修復します。
3. ファイバー・チャンネル・ケーブル接続の問題判別を行い、2145 のノードまたはコントローラーに接続されたケーブルの手順を修復します。
4. ステップ 2 および 3 で問題がすべて検出され、解決された場合は、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。
5. ステップ 2 および 3 でスイッチまたはケーブルの障害が検出されなかった場合は、エラー・ログ・ダンプを取ります。ハードウェア・サポートに連絡してください。
6. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ファイバー・チャンネル・スイッチ
- ファイバー・チャンネルケーブル接続

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1370 管理対象ディスクのエラー・リカバリー手順 (ERP) が発生しました。

説明

このエラーが報告されたのは、ディスク・コントローラーによって、大量のディスク・エラー・リカバリー手順が実行されたためです。多くの場合、問題の原因は SAN 上の別のコンポーネントの障害にあります。

アクション

1. エラー・ログ・エントリーを表示して、問題が検出されたときにアクセスされていた管理対象ディスクを判別します。
2. ステップ 1 で判別された、ディスク・コントローラーの問題判別と、MDisk の修復手順を実行します。
3. 問題判別を行い、2145、およびその他のファイバー・チャンネル・ネットワーク・コンポーネントに接続されたファイバー・チャンネル・スイッチの手順を修復します。
4. ステップ 2 および 3 で問題がすべて検出され、解決された場合は、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。
5. ステップ 2 および 3 でスイッチまたはディスク・コントローラーの障害が検出されなかった場合は、エラー・ログ・ダンプを取ります。ハードウェア・サポートに連絡してください。
6. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- エンクロージャー/コントローラーの障害
- ファイバー・チャンネル・スイッチ

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1400 2145 がイーサネット接続を検出できません。

説明

2145 がイーサネット接続を検出できません。

アクション

1. イーサネット MAP に進みます。
2. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- イーサネット・ケーブル (25 %)

- フレーム・アセンブリー (25 %)

2145-4F2

- イーサネット・ケーブル (25 %)
- システム・ボード・アセンブリー (25 %)

その他:

- イーサネット・ケーブルが外れているか損傷している (25 %)
- イーサネット・ハブの障害 (25 %)

関連タスク

341 ページの『MAP 5500: イーサネット』

MAP 5500: イーサネットは、SAN ボリューム・コントローラー・イーサネットで発生した問題の解決に役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

1550 クラスタ・パスが障害を起こしました。

説明

2145 のいずれかのファイバー・チャンネル・ポートが、クラスタ内の他の 2145 と通信できません。

アクション

1. スイッチ・ゾーニングに誤りがないか検査します。
2. ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックでの障害を修復します。
3. ノード・ポートの状況を検査するノード・ポートの状態がアクティブとして表示される場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どのノード・ポートもアクティブ状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、2145 の問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノード・ポートの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノード・ポートの状況を検査できます。

1610 バックエンドの管理対象ディスクのメディア・エラー。

説明

バックエンドの管理対象ディスクのメディア・エラー。

アクション

1. エンクロージャー/コントローラーでの障害を修復します。
2. MDisk の接続状況を復元するには、管理対象ディスクをクラスターに組み込んでください。
3. 管理対象ディスクの状況を検査します。すべての管理対象ディスクが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どの管理対象ディスクも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

• なし

その他:

エンクロージャー/コントローラーの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクション

ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1620 Mdisk グループがオフラインです。

説明

Mdisk グループがオフラインです。

アクション

1. 表示された順に障害を修復します。
2. ファイバー・チャネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスター・ディスクバリー操作を開始します。
3. 管理対象ディスク (MDisk) の状況を検査します。すべての MDisk が「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どの MDisk も「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ファイバー・チャネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (50 %)
- エンクロージャー/コントローラーの障害 (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクション

ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャンネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャンネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1625 ディスク・コントローラー構成に誤りがあります。

説明

構成エラーの詳細は、エラー・ログ・エントリーおよびエラー・レポートの追加セクション・データ・フィールドのバイト 32 から 63 に含まれています。

アクション

1. ディスク・コントローラー用の保守関連資料を使用して、ディスク・コントローラーに正しい構成がセットアップされているか検査します。ご使用の製品の構成ガイドも参照してください。
2. ファイバー・チャンネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスター・ディスカバリー操作を開始します。
3. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- エンクロージャー/コントローラーの障害

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

1630 デバイス・ログインの数が減らされました。

説明

考えられる原因は、ユーザーが故意にシステムを再構成したためです。

アクション

1. クラスタ・エラー・ログのエラーを検査して、エラーに関連付けられているオブジェクト ID を確認します。
2. `svcinfolscntroller object_ID` コマンド行を使用して、障害のあるデバイスの可用性を検査します。コマンドの実行が失敗して、「CMMVC6014E 要求されたオブジェクトが使用可能でないか存在しないため、コマンドは失敗しました (CMMVC6014E The command failed because the requested object is either unavailable or does not exist)」というメッセージが表示された場合は、このデバイスがシステムから除去されたかどうか、お客様に問い合わせます。
 - 答えが「はい」の場合は、クラスタ・エラー・ログでエラーに修正済みのマークを付けて、修復検査 MAP を継続します。
 - 答えが「いいえ」の場合、またはコマンドが障害のあるコントローラーの詳細をリストした場合は、次のステップに進みます。
3. デバイスが再度接続を獲得したかどうかを検査します。獲得していない場合は、リモート・デバイス・ポートへのケーブル接続を検査します。
4. リモート・デバイス・ポートへのすべてのログインに障害があって、ケーブルの変更では問題を解決できない場合は、リモート・デバイス・ポートの状態とリモート・デバイスの状態を検査します。
5. ファイバー・チャネル・ネットワークを再スキャンすることにより、クラスタ・ディスクバリー操作を開始します。
6. ディスク・コントローラーの状況を検査します。すべてのディスク・コントローラーの示す状況が「良好」ならば、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。「良好」の状況を示していないディスク・コントローラーがある場合は、開始 MAP へ進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
7. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ファイバー・チャネル・ネットワーク・ファブリックの障害 (50 %)
- エンクロージャー/コントローラーの障害 (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

28 ページの『CLI を使用したディスク・コントローラー状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してディスク・コントローラーの状況を検査できます。

1660 管理対象ディスクの初期化が失敗しました。

説明

管理対象ディスクの初期化が失敗しました。

アクション

1. エラー・ログ・エントリーを表示して、問題が検出されたときにアクセスされていた管理対象ディスク (MDisk) を識別します。
2. ステップ 1 で識別された MDisk について、ディスク・コントローラーの問題判別と修復手順を実行します。
3. クラスターに MDisk を組み込みます。
4. 管理対象ディスクの状況を検査します。すべての管理対象ディスクが「オンライン」の状況を示している場合は、修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。どの管理対象ディスクも「オンライン」の状態を示していない場合は、MAP の開始に進みます。このステップに戻った場合は、サポート・センターに連絡を取り、ディスク・コントローラーの問題を解決してください。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

エンクロージャー/コントローラーの障害 (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ポリウム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ポリウム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ポリウム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1670 2145 のシステム・ボードの CMOS バッテリーに障害が起こりました。

説明

2145 のシステム・ボードの CMOS バッテリーに障害が起こりました。

アクション

1. CMOS アセンブリーを交換します。
2. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

CMOS バッテリー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

435 ページの『CMOS バッテリーの取り外し』

システム・ボードの CMOS、またはシステム・ボードのバッテリーを取り外して再取り付けするか、通常の保守を行います。

1720 メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラー操作において、継続的に発生する入出力エラー以外の理由により、関連性処理が停止し、同期状態ではありません。

説明

メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラー操作において、継続的に発生する入出力エラー以外の理由により、関連性処理が停止し、同期状態ではありません。

アクション

1. 優先度の高いエラーを修正した後に関連性処理を再始動します。
2. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1800 SAN が間違っってゾーニングされました。

説明

この結果 SAN 上で 2145 ノードの 1 つのポートに 512 を超える他のポートがロギングしました。

アクション

1. ユーザーは SAN の再構成を要求されます。
2. エラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ファイバー・チャネル・スイッチの構成エラー
- ファイバー・チャネル・スイッチ

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1850 クラスター・リカバリー操作が実行されましたが、1 つ以上の VDisk のデータがリカバリーされませんでした。

説明

クラスター・リカバリー操作が実行されましたが、1 つ以上の VDisk のデータがリカバリーされませんでした。

アクション

1. サポート・センターにより、ユーザーは影響された仮想ディスク (VDisk) 上のデータを復元するよう誘導されます。
2. VDisk のデータを復元済みか、またはユーザーがそのデータの復元を選択しなかった場合は、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

25 ページの『CLI を使用した MDisk のリスト作成』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して管理対象ディスク (MDisk) をリストすることができます。

27 ページの『新規 MDisk のファイバー・チャネル・ネットワークの再スキャン』

ファイバー・チャネル・ネットワークで、追加された新しい管理対象ディスク (MDisk) を手動で再スキャンすることができます。

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

1900 キャッシュ・フラッシュに障害があるため、FlashCopy の Trigger Prepare コマンドが失敗しました。

説明

キャッシュ・フラッシュに障害があるため、FlashCopy の Trigger Prepare コマンドが失敗しました。

アクション

1. 優先順位の高いエラーを訂正してから、Trigger Prepare コマンドを試行してください。

2. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

キャッシュ・フラッシュ・エラー (100 %)

1910 センス・データ内に示されているエラーのために、FlashCopy マッピング・タスクが停止しました。

説明

停止した FlashCopy は、同じ入出力グループのほかの VDisks の状況に影響を及ぼしている可能性があります。停止済み FlashCopy をできるだけ早く準備することをお勧めします。

アクション

1. 優先順位の高いエラーを訂正してから、FlashCopy タスクを準備して再度開始してください。
2. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
3. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

データ・エラー (100 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1920 パフォーマンスの低下が原因で、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けが中断されています。

説明

このエラーが発生した原因は、1 次クラスター上の問題、2 次クラスター上の問題、またはクラスター間リンク上の問題が考えられます。この問題は、コンポーネ

ント障害 (保守アクションによりコンポーネントが使用不能またはパフォーマンス低下) の可能性があります。あるいは、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連性を維持できないレベルにまでコンポーネントのパフォーマンスが低下している可能性があります。あるいは、このエラーの原因として、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーを使用するアプリケーションのパフォーマンス要件が変化したことが考えられます。

このエラーが 1 次クラスター上でレポートされるのは、コピーの関連性が長期間に渡って十分に進行していなかった場合です。すべての問題が解決する前にこの関連付けを再開すると、この期間 (デフォルト期間は 5 分) が次回期限切れとなる時点でこのエラーが再度レポートされる可能性があります。

この問題を診断するには、「SVC Configuration Requirements and Guidelines (CRG)」資料を参照する必要がある可能性があります。この資料は、<http://www.ibm.com/storage/support/2145> に掲載されています。

アクション

1. 同一クラスター間のメトロ・ミラーまたはグローバル・ミラー上で以前に 1920 エラーが発生したことがあり、以下のすべてのアクションを行ったことがある場合、プロダクト・サポート・センターに連絡してこの問題を解決してください。
2. このエラーをレポートしている 1 次クラスター上で、もっと優先度の高いエラーを訂正してください。
3. 2 次クラスター上で、メンテナンス・ログを見て、このエラーのレポート時点で通常より低下した能力で稼働中だったかどうかを判別します。通常より低下した能力の原因は、ソフトウェアのアップグレード、2145 ノードに対するハードウェア保守、バックエンドのディスク・サブシステムに対する保守、または SAN に対する保守の可能性にあります。
4. 2 次 2145 クラスター上で、解決されていないエラーを修正します。
5. クラスター間リンク上では、このエラー発生時点で通常時より低い能力となった原因と考えられる全発生事象に対して、各リンク・コンポーネントのリンクのログを調査します。それらの問題が解決されているかどうかを確認します。
6. このエラーの理由が見つかって解決された場合はアクション 10 に進みます。
7. このエラーをレポートしている 1 次クラスター上で、SAN 生産性モニター・ツールを使用して 2145 統計を調査し、「SVC Configuration Requirements and Guidelines (CRG)」資料に記載されたメトロ・ミラーとグローバル・ミラーの全要件が満足されているかどうかを確認します。メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーを使用するアプリケーションに対するすべての変更が、考慮に入れられたかどうかを確認します。どの懸念事項も解決してください。
8. 2 次クラスター上で、SAN 生産性モニター・ツールを使用して 2145 統計を調査し、「SVC Configuration Requirements and Guidelines (CRG)」資料に記載されたメトロ・ミラーとグローバル・ミラーの全要件が満足されているかどうかを確認します。どの懸念事項も解決してください。
9. クラスター間リンク上で、適切な SAN 生産性モニター・ツールを使用して各コンポーネントのパフォーマンスを調査し、各コンポーネントが期待どおりに稼働しているかどうかを判別します。どの懸念事項も解決してください。

10. このエラーを「修正済み」としてマークを付け、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けを再開します。

メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けを再開する場合、ある初期的な期間があります。この期間中に、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーがバックグラウンド・コピーを行って 1 次と 2 次クラスター上の vdisk を再同期します。この期間中は、2 次クラスターにあるメトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの補助 vdisk 上のデータは、矛盾がある状態になっており、ご使用のアプリケーションで vdisk をバックアップ・ディスクとして使用できません。

注意: バックグラウンド・コピー負荷の処理能力をこのシステムが確実に保有できるようにするには、2 次クラスターとその SAN ファブリック (クラスター間リンクも含む) が必要能力を保有できる静止時点がくるまで、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けは再開を遅延させてもかまいません。この必要能力が確保できない場合、別の 1920 エラーが検出される可能性があり、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けは不整合状態で中断することになります。

注意: メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けが整合状態で停止 (「整合停止済み」) した場合は、2 次クラスターにあるメトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの補助 vdisk 上のデータは、ご使用のアプリケーションで vdisk をバックアップ・ディスクとして使用可能です。このため、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けを再開する前に、この 2 次システム上のメトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの補助ディスクのフラッシュ・コピーを開始してもかまいません。これを行う意味は、メトロ・ミラーまたはグローバル・ミラーの関連付けが再度同期化されて整合状態になる時点まで、現行の整合状態にあるイメージを保守することを表します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 1 次 2145 クラスターまたは SAN ファブリック問題 (10 %)
- 1 次 2145 クラスターまたは SAN ファブリック構成 (10 %)
- 2 次 2145 クラスターまたは SAN ファブリック問題 (15 %)
- 2 次 2145 クラスターまたは SAN ファブリック構成 (25 %)
- クラスター間リンク問題 (15 %)
- クラスター間リンク構成 (25 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換

により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

1930 マイグレーションが中断しました。

説明

マイグレーションが中断しました。

アクション

1. 優先順位の高いエラー・コードがすべて修正されているか確認します。
2. 中断したマイグレーション操作の宛先であるすべての MDisk グループが使用可能なフリー・エクステンツを持っているか確認するように、お客様に依頼します。
3. このエラーに「修正済み」のマークを付けます。これで、マイグレーション操作は再始動します。再始動が失敗した場合は、新しいエラーがログに記録されません。
4. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

2010 ソフトウェアのアップグレードが失敗しました。

説明

この原因は、ハードウェア・エラーか、ソフトウェアの新規バージョンの障害である可能性があります。アップグレード操作が停止すると、自動ソフトウェア・ダウングレードが実行されて、2145 をその前のソフトウェア・バージョンに復元します。ダウングレード操作が 2145 のダウングレードに失敗した場合 (例えば、オフラインであるため)、ダウンロード操作は停止して、オフラインの 2145 が修復されるか、クラスターから削除されるのを待ちます。ダウングレード操作の進行中は、クラスターに送られた構成コマンドは、ソフトウェア・アップグレード操作が依然進行中である旨のメッセージを出して、失敗します。ダウングレード操作は、8 つのノード・クラスターに対して、最長 4 時間かかる場合があります。

アクション

1. クラスター上のノードの状況を表示します。

2. オフラインのノードがある場合は、クラスターからオフライン・ノードを削除します。クラスターからのノードの削除について詳細は、ご使用の製品の「コマンド行インターフェース・ユーザーズ・ガイド」のクラスターの診断および保守支援機能コマンドを参照してください。削除操作が、ソフトウェア・アップグレードの進行中を示すメッセージとともに失敗した場合は、ダウングレード・プロセスはまだアクティブです。この操作が完了するか、オフライン・ノード上で停止するのを待ってから、削除操作を再試行します。ダウングレード操作が停止した場合は、ここで続行できます。
3. ログに記録されたすべてのハードウェア障害を解決します。
4. ユーザーに、ソフトウェア・インストールの再試行を依頼します。
5. インストールが再度失敗した場合は、その問題をソフトウェア・サポートに報告します。
6. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
7. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

2145 ソフトウェア (100%)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

2030 クラスターのエラー・ログに記録されたエラーが、2145 クラスター、または、2145 に接続されたディスク・エンクロージャー/コントローラーのソフトウェア問題を示しています。

説明

クラスターのエラー・ログに記録されたエラーが、2145 クラスター、または、2145 に接続されたディスク・エンクロージャー/コントローラーのソフトウェア問題を示しています。

アクション

1. ソフトウェアが、クラスターおよびコントローラーで最新レベルであるか確認してください。
2. 構成ダンプおよびログに記録されたデータ・ダンプと共にダンプ・データを保管します。
3. 問題を解決するには、製品サポートに連絡してください。
4. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 2145 ソフトウェア (50%)
- エンクロージャー/コントローラー・ソフトウェア (50 %)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

2040 ソフトウェア・アップグレードが必要です。

説明

ソフトウェアが、FRU の VPD を判別できません。新しい FRU が取り付けられて、ソフトウェアがその FRU を認識していないものと思われます。

アクション

1. ソフトウェアが、クラスターで最新レベルであるか確認してください。
2. 構成ダンプおよびログに記録されたデータ・ダンプと共にダンプ・データを保管します。

3. 問題を解決するには、製品サポートに連絡してください。
4. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

2145 ソフトウェア (100%)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

2100 ソフトウェア・エラーが発生しました。

説明

2145 のいずれかのサーバー・ソフトウェア・コンポーネント (sshd、crond、または httpd) が障害を起こし、エラーが報告されています。

アクション

1. ソフトウェアが、クラスターで最新レベルであるか確認してください。
2. 構成ダンプおよびログに記録されたデータ・ダンプと共にダンプ・データを保管します。
3. 問題を解決するには、製品サポートに連絡してください。
4. 修復したばかりのエラーに「修正済み」のマークを付けます。
5. 修復検査 MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

2145 ソフトウェア (100%)

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクション

ンは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

2500 クラスタに対するセキュア・シェル (SSH) セッション限度に達しました。

説明

セキュア・シェル (SSH) セッションは、このクラスタを管理するアプリケーションにより使用されます。このようなアプリケーションの例としては、コマンド行インターフェース (CLI) があります。アプリケーションは最初にこのクラスタにログインして SSH セッションを作成する必要があります。このクラスタは、一度にオープン可能な SSH セッション数の制限を順守する必要があります。このエラーの意味は、SSH セッション数の制限に達したこと、およびこれ以上のログインは、現行セッションがログアウトするまでは受け付けられないことを示しています。

SSH セッション数の制限に達する一般的な理由は、複数ユーザーが SSH セッションをオープン済みであり、これらのユーザーがアプリケーションをもうこれ以上使用しない時点で SSH セッションのクローズするのを忘れた結果です。

各ユーザー・タイプごとに、独立した SSH セッション限度の割り振りが維持されます。このユーザー・タイプの例として、「admin」と「service」があります。

アクション

- このエラーは、クラスタへの外部アクセスを行おうとするセッション数に関する問題を表しているため、非常に多くのセッションがオープンされた理由を判別する必要があります。
- IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの「クラスタの表示 (Viewing Clusters)」パネル上で、そのクラスタに対する「保守手順の起動 (Launch Maintenance Procedures)」を選択します。
- 現行セッションのリストを選択します。
- 保守手順オプションを使用して全セッションを終了させるか、あるいは、もう不要になったセッションを個別にクローズするか、いずれかを行います。セッションを使用するホスト・システムとアプリケーションに基づいて、各セッションを識別します。
- 上記の選択肢のいずれかを使用してもエラーを解決できない場合、構成ノードを停止と再始動を行って全 SSH セッションを終了させます。
- エラーに「修正済み」のマークを付けます。

関連タスク

4 ページの『マスター・コンソールでの SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーション』

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールは、マスター・コンソール・ソフトウェアのコンポーネントです。要件を満たしていれば、他のサーバーにもインストールできます。

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

3000 2145 UPS 温度がその上限にまで近づいています。この温度が上昇し続けると、この UPS は電源オフされることとなります。

説明

2145 UPS 内の温度センサーは、温度がこの装置の操作上の限界に近づいていることを報告しています。この温度が上昇し続けると、この UPS は安全上の理由で電源オフされることとなります。UPS の稼働環境が余りにも高温のため、このセンサーは異常に高い温度をレポートしている可能性があります。

アクション

1. 室の周辺温度が許容制限内にあるか検査します。
2. UPS 前面または背面にある通気孔が塞がれていないか確認します。
3. 同一ラックにある他装置が過熱していないか確認します。
4. 過熱の原因が解消されたことを確信した場合は、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』

クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

3001 2145 UPS-1U 温度がその上限にまで近づいています。この温度が上昇し続けると、この UPS は電源オフされることとなります。

説明

2145 UPS-1U 内の温度センサーは、温度がこの装置の操作上の限界に近づいていることを報告しています。この温度が上昇し続けると、この UPS は安全上の理由で電源オフされることとなります。UPS の稼働環境が余りにも高温のため、このセンサーは異常に高い温度をレポートしている可能性があります。

アクション

1. 室の周辺温度が許容制限内にあるか検査します。
2. UPS 前面または背面にある通気孔が塞がれていないか確認します。

3. 同一ラックにある他装置が過熱していないか確認します。
4. 過熱の原因が解消されたことを確信した場合は、このエラーに「修正済み」のマークを付けます。

関連タスク

14 ページの『エラーを修正済みとしてマーキング』
クラスター・エラー・ログのエラーに修正済みのマーク付けをする場合は、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。このアクションは、オンライン保守手順を使用しないでエラーを修正する場合にのみ必要です。修復が正常に実行されると、オンライン手順ではエラーに自動的に修正済みのマークが付けられます。

3010 内部的な UPS ソフトウェア・エラーが検出されました。

説明

ノード始動時に実行されるテストの一部が完了しませんでした。その理由は、ノード始動時に UPS によりレポートされたデータの一部が、UPS 内のソフトウェア・エラーが原因で矛盾を起こしています。UPS が操作を継続するためにノードに対して十分に機能していることを、このノードが判別しました。クラスターの操作はこのエラーにより影響を受けません。このエラーは、通常は UPS の電源を入れ直すことにより解決されます。

アクション

1. タイミングをみて UPS の電源を入れ直します。UPS に接続された 1 つまたは 2 つのノードは、この UPS の電源をオフする前に電源オフする必要があります。ノードのパワーダウンの完了後は、UPS が待機モードに入るのに 5 分間待ちます (その間、緑色の AC LED が明滅します)。この状態が自動的に起こらない場合は、配線をチェックして、この UPS が給電している全ノードが電源オフ済みであることを確認します。UPS から電源入力ケーブルを取り外し、UPS がその内部状態をクリーンアップするのに最低 2 分待ちます。UPS 電源入力ケーブルを再接続します。UPS の ON ボタンを押します。この UPS に接続されたノードを電源オンします。
2. 各ノードの再始動後もこのエラーがレポートされる場合は、2145 UPS の電子組み立て部品を交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- 2145 UPS 電子組み立て部品 (5%)

その他:

- 一時 UPS エラー (95 %)

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

ハードウェア・ブート障害の判別

フロント・パネル上のハードウェア・ブートの表示が 3 分を超えても消えない場合、ノードはブートできません。原因は、ハードウェア障害か、そうでなければハード・ディスクのソフトウェアが欠落しているか、損傷しています。

ハードウェア・ブート障害を判別するには、次のステップを実行します。

1. ノード・レスキュー手順を使用して、ソフトウェアの復元を試みます。
2. ノード・レスキューが失敗した場合は、任意の障害ノード・レスキュー・コードまたは手順に説明されている処置を実行してください。

関連概念

102 ページの『ハードウェア・ブート』

ハードウェア・ブート表示では、ノードがブート対象のディスク・ドライブを検索するときに電源が最初にノードに適用されるシステム・データが示されません。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできません。

ブート・コードの理解

ブート・コードは、ノードをブートする際に表示画面に表示されます。

コードは、ブート操作の進行、あるいはノードがブートできなかった状態を示します。これらは、ブートがハングしたとき、あるいはブートがリカバリー不能エラーを検出したときの、障害の特定に使用されます。メニュー画面の行 1 は、メッセージ「ブート中」とそれに続くブート・コードを表示します。画面の行 2 は、ブート進行インディケータを表示します。ブートがハングした場合、進行状況表示バーが停止しますが、このコードを使用して障害を特定できます。ブート・コードがハードウェア・エラーを検出した場合、「障害が発生 (Failed)」が表示されますが、このエラー・コードを使用して障害を特定できます。ブート進行の表示については、図 31 を、ブート障害表示の図は、図 32 を参照してください。



図 31. ブート進行の表示



図 32. ブート障害表示

関連概念

101 ページの『ブート進行インディケータ』
ブート進行は、SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネルに表示されます。

100 ブートが実行されています。

説明

進行状況表示バーが 2 分間進まない場合は、ブート・プロセスがハングしています。

アクション

この問題を解決するには、ハードウェア・ブート MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- サービス・コントローラー (95 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

- サービス・コントローラー (95 %)
- システム・ボード (5 %)

関連タスク

363 ページの『MAP 5900: ハードウェア・ブート』

MAP 5900: ハードウェア・ブートはノードがブート・シーケンスを開始するのを妨げる問題を解決するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

110 2145 がカーネル・コードをロードしています

説明

進行状況表示バーが停止しました。

アクション

進行状況表示バーが 2 分間停止したら、ノード・レスキュー手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』
ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできません。

120 ディスク・ドライブのハードウェア・エラーが発生しました。

説明

ディスク・ドライブのハードウェア・エラーが発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。（『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。）

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- ディスク・ケーブル・アセンブリー (4%)
- フレーム・アセンブリー (1 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (98 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』
保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』
ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』
保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』
ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』
ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

130 2145 がファイル・システムを検査しています。

説明

進行状況表示バーが停止状態です。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 5 分間停止したら、ノード・レスキュー手順を再始動してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』
ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

132 2145 がノードの BIOS CMOS 設定を更新しようとしています。

説明

この更新が完了したら、ノードをリブートします。

アクション

進行状況表示バーが 10 分よりも多く停止していた場合、またはディスプレイにコード 100 と 132 を 3 回以上表示した場合は、MAP 5900 (問題解決のためのハードウェア・ブート) に進みます。

関連タスク

363 ページの『MAP 5900: ハードウェア・ブート』
MAP 5900: ハードウェア・ブートはノードがブート・シーケンスを開始するのを妨げる問題を解決するのに役立ちます。

135 2145 がソフトウェアを検査しています。

説明

2145 がソフトウェアを検査しています。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 5 分間停止したら、ノード・レスキュー手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

137 システム・ボードのサービス・プロセッサ・ファームウェアを更新中です。

説明

システム・ボードのサービス・プロセッサ・ファームウェアの更新処理は、最大 1 時間かかる可能性があります。

アクション

進行状況表示バーが 90 分を超えて停止状態にある場合、電源オフしてそのノードをリブートします。ブート進行状況表示バーがこのノード上で再度停止したら、フレーム・アセンブリーを交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- 通信問題 (95 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできません。

140 2145 ソフトウェアが損傷しています。

説明

2145 ソフトウェアが損傷しています。

アクション

ノード・レスキュー手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできません。

145 ファイバー・チャンネル・アダプターを検出できません。

説明

2145 がファイバー・チャンネル・アダプター・カードを何も検出できません。

アクション

ファイバー・チャンネル・アダプター・カードが取り付け済みであることを確認します。ライザー・カード上にファイバー・チャンネル・カードが正しく取り付けられていることを確認します。ライザー・カードがシステム・ボード上に正しく取り付けられていることを確認します。問題が解決しない場合は、示された順序で各 FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (80 %)
- ライザー・カード (19 %)
- フレーム・アセンブリー (1 %)

2145-8F4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (99 %)
- フレーム・アセンブリー (1 %)

2145-8F2

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (フルハイト) (40 %)
- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (ロー・プロファイル) (40 %)
- ライザー・カード、PCI (フルハイト) (9 %)
- ライザー・カード、PCI (ロー・プロファイル) (9 %)
- フレーム・アセンブリー (2 %)

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー (98 %)
- システム・ボード (2 %)

関連タスク

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリを再取り付けする必要がある場合です。

469 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリの取り外し』

以下の手順を使用するのは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリを取り外すようにプロンプトが出された場合です。

469 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリを再取り付けするようにプロンプトが出された場合です。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

150 2145 がクラスター・コードをロードしています。

説明

2145 がクラスター・コードをロードしています。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 90 秒間停止したら、ノード・レスキュー手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

155 2145 がクラスター・データをロードしています。

説明

2145 がクラスター・データをロードしています。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 90 秒間停止したら、ノード・レスキュー手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

160 2145 がフラッシュ・ディスクをリカバリーしています。

説明

フラッシュ・ディスクのリカバリー操作は、ノード・レスキューが発生していない場合よりも発生している場合の方が時間を要します。

アクション

ノード・レスキューが発生している時点では、進行状況表示バーが少なくとも 30 分間停止したら、その FRU を新しい FRU に交換します。ノード・レスキューが発生していない時点では、進行状況表示バーが少なくとも 15 分間停止していたら、その FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの末尾の『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

170 フラッシュ・モジュール・ハードウェア・エラーが発生しました。

説明

フラッシュ・モジュールのハードウェア・エラーが発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』
サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外す
ことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』
SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することが
できます。

174 システム・ボード上のサービス・プロセッサで障害が起きました。

説明

システム・ボード上のサービス・プロセッサで障害が起きました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- フレーム・アセンブリー (100 %)

2145-4F2

- システム・ボード・アセンブリー (100 %)

関連タスク

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラ
ー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・
アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、または
エラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える
時です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード
の取り外し』
通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があり
ます。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード
の交換』
通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

175 サービス・プロセッサの温度が過熱を示しています。

説明

ノードの温度ソフトまたはハード・シャットダウンしきい値を超過しました。このノードは、10 秒後にパワーオフされます。

アクション

通気孔をきれいにして、熱の原因を除きます。ノード周辺の空気の流れが妨害されていないか確認します。稼働環境が要件を満足しているかを確認します。ライト・パス診断 MAP に進み、ライト・パス診断手順を実行します。これらのアクションでも問題が解決されない場合は、FRU を交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- ライト・パス診断 FRU (25 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

- システム・ボード・アセンブリー (30 %)

その他:

- システム環境 (70 %)

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

363 ページの『MAP 5900: ハードウェア・ブート』

MAP 5900: ハードウェア・ブートはノードがブート・シーケンスを開始するのを妨げる問題を解決するのに役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

58 ページの『SAN ボリューム・コントローラー環境の準備』

SAN ボリューム・コントローラー をインストールする前に物理環境を準備する必要があります。

180 通信ケーブル、無停電電源装置 (UPS) のシリアル・インターフェース、またはその 2145 に障害があります。

説明

通信ケーブル、UPS のシリアル・インターフェース、または 2145 に障害があります。

アクション

通信ケーブルが、2145 と UPS に正しく差し込まれているか検査します。ケーブルが正しく差し込まれている場合は、表示された順序で FRU を交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-4F2

- 2145 電源ケーブル・アセンブリー (40%)
- UPS 電子部品アセンブリー (30 %)
- 2145 システム・ボード・アセンブリー (25%)
- 2145 のディスク・ドライブ・アセンブリー (5 %)

関連タスク

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

403 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルの取り外しおよび再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から取り外すことができます。

545 ページの『2145 UPS からの電源ケーブルの取り外し』

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) で交換することができます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

181 通信ケーブル、無停電電源装置 (UPS) のシリアル・インターフェース、またはその 2145 に障害があります。

説明

通信ケーブル、無停電電源装置 (UPS) のシリアル・インターフェース、または 2145 に障害があります。

アクション

通信ケーブルが、2145 と UPS に正しく差し込まれているか検査します。ケーブルが正しく差し込まれている場合は、表示された順序で FRU を交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- 2145 電源ケーブル・アセンブリー (40%)
- UPS (30%)
- 2145 フレーム・アセンブリー (30%)

2145-4F2

- 2145 電源ケーブル・アセンブリー (40%)
- UPS アセンブリー (30 %)
- 2145 システム・ボード・アセンブリー (25%)
- 2145 のディスク・ドライブ・アセンブリー (5 %)

関連タスク

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

403 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルの取り外しおよび再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から取り外すことができます。

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

185 無停電電源装置 (UPS) のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

説明

最大使用可能容量が、4 つの 2145 をサポートできなくなりました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

186 無停電電源装置 (UPS) のバッテリーが耐用年数の終わりに達しました。

説明

最大使用可能容量が、1 つの 2145 をサポートできなくなりました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。) バッテリー・アセンブリーの交換後、UPS サービス・インディケータが点灯している場合は、UPS テスト・ボタンを 3 秒間押しつづけて自己診断テストを開始し修復を検証します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

190 無停電電源装置 (UPS) のバッテリーに問題が発生しました。

説明

UPS のバッテリーに問題が発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS バッテリー・アセンブリー (100 %)

関連タスク

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

191 無停電電源装置 (UPS) のバッテリーに問題が発生しました。

説明

無停電電源装置 UPS バッテリーに問題が発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。) バッテリー・アセンブリの交換後、UPS サービス・インディケータが点灯している場合は、UPS テスト・ボタンを 3 秒間押しつづけて自己診断テストを開始し修復を検証します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS バッテリー・アセンブリ
- UPS アセンブリ

関連タスク

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

195 無停電電源装置 (UPS) の電子部品に問題が発生しました。

説明

UPS の電子部品に問題が発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリ (100 %)

関連タスク

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリを交換します。

196 無停電電源装置 (UPS) の電子部品に問題が発生しました。

説明

UPS の電子部品に問題が発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS アセンブリー

関連タスク

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

200 無停電電源装置 (UPS) に問題が発生しました。

説明

UPS に問題が発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS (100 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

205 無停電電源装置 (UPS) より、出力過負荷の問題が報告されました。

説明

これは偽のエラーであるか、または UPS 2145 の電源がオフになっていて、負荷レベル・インディケータが赤になっていると想定されます。

アクション

FRU を交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリー (100 %)

関連タスク

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

206 無停電電源装置 (UPS) より、出力過負荷の問題が報告されました。UPS フロント・パネル上の過負荷インディケータが赤色で点灯しています。

説明

無停電電源装置 (UPS) より、出力過負荷の問題が報告されました。UPS フロント・パネル上の過負荷インディケータが赤色で点灯しています。

アクション

UPS から電源を受けているのが 1 つの 2145 のみであることを確認します。また、他の装置が UPS に接続されていないことも確認します。

2145 を UPS から切り離します。切り離れた 2145 上の過負荷インディケータがオフになっていれば、表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。このセクションの最後のアクションの後で『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照。

過負荷インディケータがまだ点灯していてすべての出力が切り離されている場合は、UPS を交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- 2145 電源ケーブル・アセンブリー (45%)
- 2145 電源機構アセンブリー (45%)
- UPS (10 %)

関連タスク

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

210 無停電電源装置で問題が発生しました。

説明

特定の FRU は識別されていません。

アクション

表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリー (40 %)
- UPS バッテリー・アセンブリー (40 %)
- UPS (20 %)

その他:

- なし。

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

211 無停電電源装置 (UPS) で問題が発生しました。

説明

UPS に問題が発生しました。

アクション

表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS (100 %)

その他:

- なし。

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

215 無停電電源装置 (UPS) の負荷に問題が発生しました。

説明

4 つの 2145 に必要とされる電流を UPS の電流が超えていることが、2145 で検出されました。

アクション

1. また、UPS から電源を受けているのが 2145 のみであること、つまり、スイッチまたはディスク・コントローラーが、UPS に接続されていないことも確認します。
2. 1 つの 2145 のみが UPS に接続されている場合は、FRU を新しい FRU と交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。複数の 2145 が UPS に接続されている場合は、2145 を UPS から切り離し、それらを 1 つずつ再接続します。問題が続く間は、2145 のフロント・パネルにブート・エラー・コード 215 を表示してノードの開始は失敗します。最初の障害が発生した時は、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- FRU: UPS の電子アセンブリー (40 %)
- FRU: 2145 電源機構アセンブリー (10 %)
- その他: 構成エラー (50 %)

関連タスク

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

216 無停電電源装置 (UPS) の負荷に問題が発生しました。

説明

1 つの 2145 が必要とする電流を UPS 電流が超えていることを、2145 が検出しました。

アクション

UPS から電源を受けているのが 1 つの 2145 のみであること、つまり、他の装置は UPS に接続されていないことを確認します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

220 無停電電源装置 (UPS) が受け取っている入力電源が不安定であるか、または低電圧状態になっている可能性があります。

説明

UPS が受け取っている入力電源が不安定であるか、または低電圧状態になっている可能性があります。

アクション

この 2145 に電源を供給している UPS へのサイト電源を検査するように、お客様に依頼します。接続、電圧、および周波数を検査します。入力電源に問題がなければ、FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 入力電源ケーブル (10 %)
- UPS 電子部品アセンブリー (10 %)

その他:

- AC 入力電源 (80 %)

関連タスク

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

221 無停電電源装置 (UPS) が受け取っている入力電源が不安定であるか、あるいは低電圧または高電圧状態になっている可能性があります。

説明

UPS が受け取っている入力電源が不安定であるか、あるいは低電圧または高電圧状態になっている可能性があります。

アクション

この 2145 に電源を供給している UPS へのサイト電源を検査するように、お客様に依頼します。接続、電圧、および周波数を検査します。入力電源に問題がなければ、FRU を新しい FRU に交換します。(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 入力電源ケーブル (10 %)
- UPS (10 %)

その他:

- AC 入力電源 (80 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

225 誤ったタイプの無停電電源装置 (UPS) が取り付けられました。

説明

誤ったタイプの UPS が取り付けられました。

アクション

UPS を正しいタイプのものと交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS (100 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

226 誤ったタイプの無停電電源装置 (UPS) が取り付けられました。

説明

誤ったタイプの UPS が取り付けられました。

アクション

UPS を正しいタイプのもものと交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS (100 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

230 無停電電源装置 (UPS) が正しく構成されていません。

説明

シグナル・ケーブルまたは 2145 の電源ケーブルが、正しく接続されていないものと思われます。電源ケーブルとシグナル・ケーブルが別の UPS アセンブリーに接続されている可能性があります。

アクション

ケーブルを正しく接続します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

その他:

- ケーブル接続エラー (100 %)

231 無停電電源装置 (UPS) が正しく構成されていません。

説明

シグナル・ケーブルまたは 2145 の電源ケーブルが、正しく接続されていないものと思われます。電源ケーブルとシグナル・ケーブルが別の UPS アセンブリーに接続されている可能性があります。

アクション

ケーブルを正しく接続します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

その他:

- ケーブル接続エラー (100 %)

235 2145 は電源オンになっていますが、AC 入力電源の障害が発生したため、別 2145 がこの無停電電源装置に電源オフするように指示しました。

説明

AC 入力電源は現在戻りましたが、2145 は依然パワーオフのままです。次に、再度電源オンになります。

アクション

2145 がパワーオフになるのを待ちます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

236 2145 は電源オンになっていますが、AC 入力電源のロスが発生したため、無停電電源装置が 2145 から電源オフを指示されました。

説明

AC 入力電源は現在戻りましたが、2145 は依然パワーオフのままです。次に、再度電源オンになります。

アクション

2145 がパワーオフになるのを待ちます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし。

240 無停電電源装置 (UPS) の周辺温度しきい値を超えました。

説明

UPS は赤色の警告ライトを示し、アラームが鳴ります。UPS はバイパス・モードに切り替わって温度を下げます。

アクション

1. UPS の電源を切り、給電部からプラグを抜きます。
2. 通気孔をきれいにして、熱の原因を除きます。
3. UPS の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
4. 少なくとも 5 分待ってから、UPS を再始動します。
5. 問題が残る場合は、表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。
(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリー (60 %)
- UPS バッテリー・アセンブリー (20 %)
- UPS (20 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

533 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け』

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

554 ページの『2145 UPS バッテリーの交換』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

241 無停電電源装置 (UPS) の周辺温度しきい値を超えました。

説明

UPS に対する周辺温度しきい値を超えました。

アクション

1. UPS の電源を切り、給電部からプラグを抜きます。
2. 通気孔をきれいにして、熱の原因を除きます。
3. UPS の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
4. 少なくとも 5 分待ってから、UPS を再始動します。
5. 問題が残る場合は、表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。
(『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。)

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS (100 %)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

245 無停電電源装置 (UPS) のエラーのために、ノードが繰り返して再始動しました。

説明

UPS エラーが原因で複数のノードで再始動が発生しました。

アクション

UPS のエラーが検出されているために、無停電電源装置 (UPS) が繰り返して再始動されました。室内温度が指定の限界値内にあること、および入力電力が安定していることを確認します。UPS シグナル・ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを検査します。

状態は、ノードのフロント・パネルでノードをパワーオフするとリセットされます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS 電子部品アセンブリー (85 %)
- UPS バッテリー・アセンブリー (5 %)
- UPS フレーム・アセンブリー (5%)
- 電源/シグナル・ケーブル (5%)

246 無停電電源装置 (UPS) のエラーのために、ノードが繰り返して再始動しました。

説明

UPS エラーが原因で複数のノードで再始動が発生しました。

アクション

UPS のエラーが検出されているために、無停電電源装置 (UPS) が繰り返して再始動されました。室内温度が指定の限界値内にあること、および入力電力が安定していることを確認します。UPS シグナル・ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを検査します。

状態は、ノードのフロント・パネルでノードをパワーオフするとリセットされます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- UPS-1U アセンブリー (95 %)
- 電源/シグナル・ケーブル (5%)

関連タスク

363 ページの『MAP 5900: ハードウェア・ブート』

MAP 5900: ハードウェア・ブートはノードがブート・シーケンスを開始するのを妨げる問題を解決するのに役立ちます。

ノード・レスキューの実行

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

同様に、サービス・コントローラーを交換した場合、ノード・レスキュー・プロシージャを使用してそのサービス・コントローラーに正しいソフトウェアがあるかどうかを確認する必要があります。

重要: 同じ修復操作の一環として、サービス・コントローラーおよびディスク・ドライブの両方を最近交換した場合は、ノード・レスキューが失敗します。

代替ブート・デバイスを提供するために、サービス・コントローラーの不揮発性メモリーにも、最小限のオペレーティング・システムが用意されています。ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破壊された場合は、そのノードはブートできず、ハードウェア・ブート・インディケータがフロント・パネルに表示され続けるか、ブート操作が進行しません。この状態が発生した場合、ノード・レスキュー・プロシージャを使用してSAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールします。

ノード・レスキューは、サービス・コントローラーにあるオペレーティング・システムをブートし、ファイバー・チャンネル・ファブリック上にある他の任意の SAN ボリューム・コントローラーからすべてのノード・ソフトウェアをコピーするプログラムを実行します。

重要: ノード・レスキュー操作を実行するとき、同じ SAN 上で一度に実行するノード・レスキュー操作は 1 つのみにしてください。1 つのノード・レスキュー操作が完了するまで待機した後に、次のノード・レスキュー操作を開始してください。

ノード・レスキューを完了するには、次のステップを実行します。

1. ファイバー・チャンネル・ケーブルが接続されていることを確認します。

2. 他のノードが少なくとも 1 つ、ファイバー・チャンネル・ファブリックに接続されていることを確認します。
3. ノードの電源をオフにします。
4. フロント・パネルの「左」ボタンと「右」ボタン押し続けます。
5. 電源ボタンを押します。
6. フロント・パネルにノード・レスキュー要求のシンボルが表示されるまで、「左」ボタンと「右」ボタンを押し続けます (図 33)。



図 33. ノード・レスキュー要求の表示

ノードがサービス・コントローラーからブートを開始するまで、フロント・パネル・ディスプレイにノード・レスキュー要求のシンボルが表示されます。ノード・レスキュー要求のシンボルが 2 分を超えて表示された場合は、ハードウェア・ブート MAP に進み問題を解決します。ノード・レスキューが開始すると、サービス画面がノード・レスキュー操作の進行または失敗を表示します。

注: リカバリーされるノードがクラスターの一部であった場合は、ノードはオフラインになります。オフライン・ノードをクラスターから削除し、次にそのノードをクラスターに戻します。ソフトウェア・アップグレード処理中に障害の起こったノードのリカバリーにノードのリカバリーを使用した場合は、自動ソフトウェア・ダウングレード処理が開始されますが、障害の起こったノードがクラスターから削除されるまで継続しないことがあります。障害の起こったノードが削除された後、ダウングレード処理が完了するまでは、ノードを元のクラスターに追加することはできません。これは、8 つのノード・クラスターに対して、最長 4 時間かかる場合があります。

関連タスク

10 ページの『クラスターからのノードの削除』

必要であれば、クラスターからノードを削除できます。

11 ページの『クラスターへのノードの追加』

クラスターによってノードが除去またはリジェクトされた場合は、ノードをクラスターに追加しなければならない場合があります。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

ノード・レスキュー・コードの理解

ノード・レスキュー・コードは、ノード・レスキューの実行時にメニュー画面に表示されます。

ハード・ディスク上のブート・イメージが欠落しているか、または破壊された場合、ノード・レスキューを開始します。ブート・プロセスの際に、破壊されたコードが、エラー・コードの表示か、ハング条件によって示されます。

ノード・レスキューを開始するには、電源オン・サイクルの間に、フロント・パネルの「左」ボタンと「右」ボタンを押し続けます。メニュー画面がノード・レスキュー要求を表示します。ノード・レスキュー要求のトピックを参照してください。ハード・ディスクがフォーマット設定され、フォーマット設定がエラーなしに完了した場合は、ソフトウェア・イメージが使用可能なノードからダウンロードされます。ノード・リカバリーの際、メニュー画面の行 1 は、メッセージ「ブート」と、それに続くノード・レスキュー・コードのいずれかを表示します。メニュー画面の行 2 は、**ブート進行インディケータ**を表示します。図 34 は、表示されるノード・レスキュー・コードの例を示します。



図 34. 表示されるノード・レスキュー・コードの例

図 34 に表示された 3 桁コードは、ノード・レスキュー・コードを表します。

重要: 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) が、この SAN ボリューム・コントローラーにのみ接続されている場合は、ノード・レスキュー処理の失敗から 5 分以内に 2145 UPS が電源オフになります。例えばドナー・ノードが見つからないで、ノード・レスキューを妨げる問題が解決されたら、SAN ボリューム・コントローラーを電源オンにする前に、2145 UPS を電源オンする必要があります。

注: 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は、ノード・レスキュー障害の後で電源オフになりません。

関連概念

102 ページの『ノード・レスキュー要求』

ソフトウェアが失われた場合は、ノード・レスキューを使用してすべてのソフトウェアを他のノードからコピーすることができます。

300 2145 がノード・レスキューを実行しています。

説明

2145 がノード・レスキューを実行しています。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 2 分間停止したら、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

310 2145 がフォーマット操作を実行しています。

説明

2145 がフォーマット操作を実行しています。

アクション

進行状況表示バーが 2 分間停止したら、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)
- ディスク・ケーブル・アセンブリー (10 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (100 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』
ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

320 2145 のフォーマット操作が失敗しました。

説明

2145 のフォーマット操作が失敗しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)
- ディスク・ケーブル・アセンブリー (10 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』
保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要がある場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要がある場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』
ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』
保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要がある場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』
ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

330 2145 が、そのディスク・ドライブを区分化しています。

説明

2145 が、そのディスク・ドライブを区分化しています。

アクション

進行状況表示バーが 2 分間停止したら、FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)
- ディスク・ケーブル・アセンブリー (10 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- フレーム・アセンブリー (5 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (95 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

その他:

- 構成問題
- ソフトウェア・エラー

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』
保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要がある場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要がある場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』
ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』
保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要がある場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

433 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換』
ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

340 2145 がドナー・ノードを検索しています。

説明

2145 がドナー・ノードを検索しています。

アクション

進行状況表示バーが 2 分を超えて停止したら、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ファイバー・チャンネル・アダプター (100 %)

関連タスク

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』
このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』
以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

345 2145 がソフトウェアをコピーするためのコピー元のドナー・ノードを検索しています。

説明

このノードは 1 Gb/s でドナー・ノードを検索します。

アクション

進行状況表示バーが 2 分を超えて停止したら、FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- ファイバー・チャンネル・アダプター (100 %)

関連タスク

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

350 2145 がドナー・ノードを検出できません。

説明

2145 がドナー・ノードを検出できません。

アクション

進行状況表示バーが 2 分を超えて停止したら、次の手順を実行します。

1. ノードをリカバリーするには、ファイバー・チャンネル・ポートが最低 1 つは操作可能でなければなりません。フロント・パネルから、ファイバー・チャンネル・ポートの状況を表示します。アクティブの状況のポートがない場合は、『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』を参照してください。
2. ほかの少なくとも 1 つのノードが操作可能で、同じファイバー・チャンネル・ネットワークに接続されているか確認します。
3. ネットワークに対して問題判別手順を行います。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ファイバー・チャンネル・ネットワークの問題。

関連タスク

345 ページの『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』

MAP 5600: ファイバー・チャンネルは、SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

360 2145 がドナーからソフトウェアをロードしています。

説明

2145 がドナーからソフトウェアをロードしています。

アクション

進行状況表示バーが少なくとも 2 分間停止したら、ノード・レスキュー手順を再始動してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

370 2145 がソフトウェアをインストールしています。

説明

2145 がソフトウェアをインストールしています。

アクション

1. このコードが表示され、進行状況表示バーが少なくとも 10 分間停止した場合、ソフトウェア・インストール・プロセスは予期しないソフトウェア・エラーで失敗しています。
2. 2145 を電源オフして、60 秒待ちます。
3. 2145 の電源をオンにします。ソフトウェア・アップグレード操作は続行します。
4. この問題を、ただちにソフトウェア・サポートに報告してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

ノード・エラー・コードの理解

ノード・エラー・コードは、ノード・ソフトウェアによって表示画面に表示されます。

各コードは、ノードがクラスタのメンバーになるのを妨げるクリティカル・エラーが検出されたことを示します。メニュー画面の行 1 には、メッセージ「ノード・エラー」が入ります。

2 行目には、エラー・コード、またはエラー・コードと追加データが入ります。図 35 は、ノード・エラー・コードの例です。このデータは、メニュー画面の最大幅を超える場合があります。「右」ナビゲーションを押して、表示をスクロールすることができます。



```
ノード・エラー:  
550      000125
```

図 35. 表示されるノード・エラー・コードの例

追加データは、すべてのエラー・コードで固有です。これは、オフライン環境での問題の特定を可能にする必要情報を提供します。追加データの例は、ディスク・シリアル番号と現場交換可能ユニット (FRU) ロケーション・コードです。これらのコードが表示されているときは、デフォルト・メニューをナビゲートし、ノードおよびファイバー・チャネル・ポートの状況を判別して、追加の障害分離を行えます。

510 この 2145 の検出済みメモリー・サイズが、予想されたクラスタのメモリー・サイズと一致していません。

説明

検出されたメモリー・サイズ (MB 単位) は、エラー・コードに続く最初の数値です。予想されたクラスタのメモリー・サイズは、エラー・コードに続く 2 番目の

数値です。この問題は、メモリー・モジュールに障害があるか、または障害のあるメモリー・モジュールを交換し、間違ったサイズのモジュールを取り付けたために起る場合があります。

アクション

同じクラスター内の別の 2145 のメモリー・サイズを検査します。2145-4F2 では、この 2145-4F2 のメモリー・モジュールを正しいサイズのモジュールに交換します。2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 では、メモリー・モジュールを交換したばかりであれば、インストールしたモジュールが正しいサイズであることを確認し、ライト・パス MAP に進んで、障害の可能性があるメモリー・モジュールを特定します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- メモリー・モジュール (100 %)

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

416 ページの『メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し』

1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要があることがあります。

419 ページの『メモリー・モジュールの交換』

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

511 2145 のメモリー・バンク 1 に障害が起こっています。

説明

2145 のメモリー・バンク 1 に障害が起こっています。

アクション

2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 の場合は、この問題を解決するには、ライト・パス MAP に進みます。

2145-4F2 の場合は、バンク 1 の両方のメモリー・モジュールを新しいモジュールに交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- メモリー・モジュール (100 %)

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

416 ページの『メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し』

1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要があることがあります。

419 ページの『メモリー・モジュールの交換』

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。 静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

513 2145 のメモリー・バンク 2 に障害が起こっています。

説明

2145 のメモリー・バンク 2 に障害が起こっています。

アクション

2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 の場合は、この問題を解決するには、ライト・パス MAP に進みます。

2145-4F2 の場合は、バンク 2 の両方のメモリー・モジュールを新しいモジュールに交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- メモリー・モジュール (100 %)

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

416 ページの『メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し』

1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要があることがあります。

419 ページの『メモリー・モジュールの交換』

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。 静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

514 2145 のメモリー・バンク 3 に障害が起こっています。

説明

2145-4F2 上では発生し得ません。

アクション

2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 の場合は、この問題を解決するには、ライト・パス MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- メモリー・モジュール (100 %)

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

515 2145 のメモリー・バンク 4 に障害が起こっています。

説明

2145-4F2 上では発生し得ません。

アクション

2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 の場合は、この問題を解決するには、ライト・パス MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- メモリー・モジュール (100 %)

関連タスク

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

520 表示されたエラー・コードの後に続く数値が、障害のあるファイバー・チャンネル・アダプター・ポートを示しています。

説明

ファイバー・チャンネル・ポート上でエラーが検出されました。 2145-4F2 と 2145-8F2 の場合、ポート番号 1 または 2 はアダプター 1 を示し、ポート番号 3 または 4 はアダプター 2 を示します。2145-8F4 と 2145-8G4 の場合は、アダプターが 1 つしかありません。

アクション

障害のある FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F4 と 2145-8G4

- ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート) (100%)

2145-8F2

- スロット 1: ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (ロー・プロファイル) (100%)
- スロット 2: ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (フルハイト) (100%)

2145-4F2

- ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー (100 %)

その他:

- ソフトウェアの問題。

関連タスク

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

540 2145 上のイーサネット・ポートに障害が起こっています。

説明

2145 上のイーサネット・ポートに障害が起こっています。

アクション

イーサネット MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

- イーサネット・ケーブル
- フレーム・アセンブリー

2145-4F2

- イーサネット・ケーブル
- システム・ボード・アセンブリー

その他:

- イーサネット・ケーブルが外れている
- イーサネット・ハブ

関連タスク

341 ページの『MAP 5500: イーサネット』

MAP 5500: イーサネットは、SAN ボリューム・コントローラー・イーサネットが発生した問題の解決に役立ちます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』
通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』
通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

550 クラスターのリソース不足のため、クラスターを形成できません。

説明

このエラー・コード付きで表示された補足データに、2145 およびクォーラム・ディスク・コントローラーの欠落 ID がリストされます。各欠落ノードはそのノード ID によってリストされます。欠落しているクォーラム・ディスクは WWWWWWWWWWWWWWW/LL としてリストされます。WWWWWWWWWWWWWWWW は、欠落しているクォーラム・ディスクを含むディスク・コントローラー上のワールド・ワイド・ポート名 (WWPN) を示し、LL は、コントローラー上の欠落しているクォーラム・ディスクの論理装置番号 (LUN) を示します。

アクション

1. クラスター内のほかの 2145 が電源オンで、操作可能であることを確認します。
2. フロント・パネルから、ファイバー・チャネル・ポート状況を表示します。アクティブなポートがない場合は、ファイバー・チャネル・ポートの問題判別手順を実行します。
3. ネットワークに対して問題判別手順を行います。
4. クォーラム・ディスクに障害が起こったか、あるいは、アクセスできません。ディスク・コントローラーに問題判別手順を実行してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

555 電源ドメイン・エラー。

説明

入出力グループの両方の 2145 が、同じ無停電電源装置から電源を供給されています。フロント・パネルには、ノード・エラー・コードとともに他の 2145 の ID が表示されます。

アクション

構成が正しく、しかも入出力グループの各 2145 が、別々の無停電電源装置から接続されていることを確認します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- 構成問題。

558 2145 がファイバー・チャンネル・ファブリックを検出できません。あるいは、ファイバー・チャンネル・カードのポート速度がファイバー・チャンネル・ファブリックとは異なる速度に設定されている可能性があります。

説明

2145 がファイバー・チャンネル・ファブリックを検出できません。あるいは、ファイバー・チャンネル・カードのポート速度がファイバー・チャンネル・ファブリックとは異なる速度に設定されている可能性があります。

アクション

以下の点を確認します。

1. ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックのスイッチが電源オンになっている。
2. 少なくとも 1 つのファイバー・チャンネル・ケーブルが、2145 をファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックに接続している。
3. ファイバー・チャンネル・カードのポート速度がファイバー・チャンネル・ファブリックと等しい。
4. 少なくとも 1 つのファイバー・チャンネル・アダプターが 2145 に取り付けられている。
5. ファイバー・チャンネル MAP に進みます。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

関連タスク

345 ページの『MAP 5600: ファイバー・チャンネル』

MAP 5600: ファイバー・チャンネルは、SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

関連資料

69 ページの『ファイバー・チャンネル・ネットワーク速度』

SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャンネル・ポートの速度は、SAN ボリューム・コントローラー・ノードのフロント・パネルを使用するか、あるいはイーサネット・インターフェースを用いて SAN ボリューム・コントローラー・クラスターに送信されるコマンドによって変更できます。

560 ファイバー・チャンネル・ネットワーク・ファブリックが大き過ぎます。

説明

構成が無効です。

アクション

1. すべてのファイバー・チャンネル接続が正しいか確認します。
2. 2145 を再始動します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ご使用の製品の構成ガイドを参照してください。

562 ハードウェア構成が無効です。

説明

このエラーは、FRU の交換時にサービス・アクション・エラーによって引き起こされたものと思われます。

アクション

1. 2145 のハードウェアが正しいか確認します。
2. 2145 を再始動します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

564 この 2145 ノードは、ソフトウェア障害のために繰り返し異常終了しています。

説明

ソフトウェアのダンプ・データは、Dumps ディレクトリーにあります。

この問題がこのノードでのみ発生していて、引き続き仮想ディスク (VDisk) のデータにアクセスできる場合は、次のアクションを実行します。複数のノードでこの問題が発生している場合、または VDisk のデータにアクセスできない場合は、IBM サポートに連絡をとって支援を依頼してください。

アクション

1. フロント・パネル・コントロールを使用して、クラスターからノードを削除します。以下の手順に従ってください。
 - a. フロント・パネル・メニューで「ノード」を表示します。2145 メニュー・オプションを参照してください。
 - b. 「クラスターの作成? (Create Cluster?)」が表示されるまで、左ボタンまたは右ボタンを押します。
 - c. 「クラスターの削除? (Delete Cluster?)」の選択を押します。
 - d. 「上」ボタンを押したままにします。
 - e. 「選択」ボタンを押して放します。
 - f. 「上」ボタンを放します。ノードがクラスターから削除され、再始動します。
2. クラスターからノードを削除します。
3. ノードを完全にパワーオフします。
4. ノードの電源をオンにします。
5. ノードを元のクラスターに追加する。

6. ソフトウェア・サポートに支援依頼のため連絡します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ソフトウェア・エラー。

関連タスク

10 ページの『クラスターからのノードの削除』
必要であれば、クラスターからノードを削除できます。

11 ページの『クラスターへのノードの追加』
クラスターによってノードが除去またはリジェクトされた場合は、ノードをクラスターに追加しなければならない場合があります。

570 2145 データは読み取り可能ですが、破損しています。

説明

2145 がクラスターによってリジェクトされました。

アクション

複数のノードでこの問題が発生している場合、または仮想ディスクのデータにアクセスできない場合は、IBM サポートに支援を依頼してください。この問題がこのノードでのみ発生していて、引き続き仮想ディスク (VDisk) のデータにアクセスできる場合は、次のアクションを実行します。

パワーオフ・シーケンスを中断したと思われる場合 (例えば、UPS アセンブリー上の電源ボタンを押した、あるいはパワーオフ・シーケンスが完了する前に電源ケーブルを取り外した場合) は、ノードをクラスターから除去した後に、再度クラスターに追加します。

問題の推定原因が不明な場合は、ノードを削除した後に再度追加し、その後にサポートに連絡して支援を依頼します。問題の根本原因を分析するために、サポートが、ダンプおよびトレース・データ・レコードをリカバリーするようお客様に依頼することがあります。問題が続く場合は、表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (80 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (10 %)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (45 %)
- システム・ボード・アセンブリー (50 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

その他:

- ソフトウェアの問題。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要が生じる場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

572 2145 ソフトウェアが、FRU の VPD を判別できません。

説明

2145 の FRU が変更され、VPD が読めないか、認識されません。

アクション

1. 2145 ソフトウェアを最新のレベルに更新します。
2. 一番最近に交換した FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ソフトウェアの問題。

574 このノード上の 2145 ソフトウェアが損傷しています。

説明

このノードの 2145 ソフトウェアが損傷しています。リカバリーが必要です。

この問題がこのノードでのみ発生していて、引き続き仮想ディスク (VDisk) のデータにアクセスできる場合は、次のアクションを実行します。複数のノードでこの問題が発生している場合、または仮想ディスクのデータにアクセスできない場合は、IBM サポートに支援を依頼してください。

アクション

1. ノード・レスキュー手順を実行します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

その他:

- ソフトウェアの問題。

関連タスク

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできません。

576 2145 データが読み取れません。

説明

2145 がクラスターからリジェクトされました。

アクション

表示された順序で、FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8G4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (80 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (10 %)
- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-8F2 または 2145-8F4

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (90 %)

- フレーム・アセンブリー (10 %)

2145-4F2

- ディスク・ドライブ・アセンブリー (45 %)
- システム・ボード・アセンブリー (50 %)
- ディスク・ドライブ・ケーブル (5 %)

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要が生じる場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

578 このノードでは、その現状データを内部ディスクに保存せずに電源が落ちました。

説明

このノードでは、現在の状態を内部ディスクに保存せずにシャットダウンしました。このノードは再始動しましたが、クラスターに参加できません。

一般にはこのエラーは、ノードが内部ディスクに状態データを保存できないような方法で、ノードから電源を遮断したユーザー・アクションが原因です。このエラー原因となる可能性のあるアクションには、以下が考えられます。

- ノードまたは UPS からノード電源ケーブルを取り外すこと。
- このノード上の電源ボタンを 4 秒を超えて押すこと。このアクションは即時電源オフの原因となります。

- ノードがアクティブ状態、またはノードがシャットダウン進行中に UPS を電源オフすること。

ソフトウェア・エラーまたはハードウェア・エラーが原因でも、状態データを保存せずにノード電源オフとなる可能性があります。この原因がハードウェア・エラーの場合は、このハードウェア上の問題はノードを再始動したことにより一時的に発生します。この場合は、ノード・メッセージとトレース・ファイルには電源オフとなった原因が示される可能性があり、サポート・センターはこれらのファイルを分析用に要求する場合があります。

アクション

1. このノードがクラスターに対してオフライン状態の場合、オフライン・ノードをクラスターから削除し、次にそのノードをクラスターに戻します。
2. ノードが内部ディスクに状態データを保存できないような方法でノードから電源を遮断したために、このエラーが発生したかどうかを判別します。このエラー原因が特定された場合は、MAP 5700 (修復の検証) に進みます。
3. このノードに対する一時的な電源ロスの原因が判別できない場合は、入力電源ケーブルが、ノードと無停電電源装置の両方に確実に接続されているか検査します。
4. 依然としてノードに対する一時的な電源ロスの原因がわからない場合は、サポート・センターに支援を依頼してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

サポート・センターは、問題分析に基づいて FRU を示す可能性がある (2 %)

その他:

- ユーザー処置 (98 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

427 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し』

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要が生じる場合があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリを取り外します。

548 ページの『2145 UPS 電子部品の交換』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリを交換します。

580 2145 がサービス・コントローラーからの固有 ID を読み取れないため、ファイバー・チャンネル・アダプターが開始できません。

説明

2145 がサービス・コントローラーからの固有 ID を読み取れないため、ファイバー・チャンネル・アダプターが開始できません。

アクション

表示された順序で、以下の FRU を新しい FRU に交換します。『考えられる原因 - FRU またはその他』を参照してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

2145-8F2 または 2145-8F4 または 2145-8G4

サービス・コントローラー (100 %)

2145-4F2

- フロント・パネル・アセンブリ (50 %)
- サービス・コントローラー (50 %)

その他:

- なし

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

502 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのフロント・パネルの取り外し』

フロント・パネルを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で保守を行うことができます。

クラスター作成エラー・コードの理解

クラスター作成エラー・コードは、フロント・パネルを使用して新しいクラスターを作成しようとしたが、作成操作が失敗した際にメニュー画面上に表示されます。

メニュー画面の行 1 には、メッセージ「作成が失敗しました (Create Failed)」が入ります。行 2 には、エラー・コードと、必要な場合は追加のデータが表示されます。

700 固有の識別番号がすべて使用されました。

説明

ノードが新規クラスターを作成するたびに、固有の ID がそのノードのサービス・コントローラーにより生成されます。255 個のクラスターが作成された後は、サービス・コントローラーを取り替える必要があります。

アクション

クラスターの作成には別のノードを使用します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

710 サービス・コントローラーが、クラスター ID カウンターを増やせません。

説明

サービス・コントローラーは、新しいクラスター ID を要求したとき、ID カウンターを増やすよう指示されます。新しい ID は、確認のため復唱されます。ID カウンターが増やされなかった場合は、このエラー・コードが表示されます。このエラーは、サービス・コントローラーに障害が起こったために発生しました。

アクション

FRU を新しい FRU に交換します。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- サービス・コントローラー (100 %)

関連タスク

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

クラスター・リカバリー・コードの理解

クラスター・リカバリー・コードは、クラスターを破損する可能性のある重大なソフトウェア・エラーが発生したことを示します。

ご使用のクラスター構成が破損する可能性を回避するために、クラスター操作を引き続き実行する前に、ソフトウェア問題分析を実行する必要があります。

9xx

説明

クラスター・リカバリー・アクションが必要です。

アクション

サポートに連絡して、ソフトウェア問題分析の実行での支援を依頼してください。

考えられる原因 - FRU またはその他:

- なし

SAN の問題判別

ここで説明する SAN ボリューム・コントローラーを保守するための手順は、SAN ボリューム・コントローラーと、そのストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) への接続に関する問題の解決に役立ちます。

SAN に障害があると、SAN ボリューム・コントローラー・クラスターが形成できなくなったり、SAN ボリューム・コントローラー・ディスクからホスト・システムにアクセスできなくなったりすることがあります。障害は、SAN 構成の変更、または SAN コンポーネントでのハードウェア障害によって引き起こされます。

保守分析手順、またはエラー・コードからここに送られてきた場合は、以下のステップを実行します。

1. お客様が、ファイバー・チャンネル・ケーブル接続またはスイッチ・ゾーニングを変えて、SAN 構成を変更している場合は、その変更が正しいかどうか確認し、必要であればその変更を元に戻すように、お客様に依頼します。
2. SAN ボリューム・コントローラーが使用するすべてのスイッチおよび新磁気ディスク制御機構 (RAID) コントローラーの電源がオンになっていること、またそれらがいずれのハードウェア障害も報告していないことを検証します。問題が検出された場合は、それらの問題を解決してから先に進みます。
3. SAN ボリューム・コントローラーをスイッチに接続するファイバー・チャンネル・ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。
4. お客様が実行している SAN 管理ツールをこちらが熟知していて、アクセスできる場合は、そのツールを使用して SAN トポロジを表示し、障害のあるコンポ

ーネットを特定することができます。また、ファイバー・チャンネル・ファブリック接続の表示方法を記載したトピックを検討すると、SAN の SAN ボリューム・コントローラー表示を理解することができます。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

14 ページの『ファイバー・チャンネル・ファブリック接続の表示』

SAN ボリューム・コントローラー・ハードウェア、ファイバー・チャンネル・ケーブル、ファイバー・チャンネル・スイッチ、ホスト・システム内のファイバー・チャンネル・ハードウェア、またはディスク・コントローラーの障害が、チャンネル接続問題の原因になる可能性があります。

マスター・コンソールのトラブルシューティング

以下のトピックには、マスター・コンソールを使用する場合に、お客様がトラブルシューティングおよび問題解決するのに役立つ情報が記載されています。

お客様自身によるトラブルシューティングの他に、IBM サービス担当員とのオンサイト支援セッションを要求することもできます。

Microsoft Windows イベント・ログの消去

マスター・コンソール IP アドレスまたはホスト名を変更する場合、Microsoft® Windows イベント・ログにエントリーを作成してもかまいません。

問題切り分けを行おうとする場合、これらのログ・エントリーが混乱の原因にならないようにすべて 3 つのログを消去してください。

以下の手順は、Windows デスクトップが表示されているものと仮定します。

以下のステップに従って、イベント・ログの消去を行います。

1. 「マイコンピュータ」を右マウス・ボタンでクリックして「管理」を選択する。
2. 「イベント・ビューアー」を拡張する。
3. 「アプリケーション」を右マウス・ボタン・クリックして、「すべてのイベントを消去」を選択する。消去する前にログを保管するかどうかの質問に対しては、「いいえ」をクリックする。
4. 「セキュリティ」を右マウス・ボタン・クリックして、「すべてのイベントを消去」を選択する。消去する前にログを保管するかどうかの質問に対しては、「いいえ」をクリックする。
5. 「システム」を右マウス・ボタン・クリックして、「すべてのイベントを消去」を選択する。消去する前にログを保管するかどうかの質問に対しては、「いいえ」をクリックする。
6. コンピューター管理のウィンドウを閉じる。

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの予期しないシャットダウンのトラブルシューティング

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールで作業中で、かつ、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールが突然クローズする前に「サインオフされました (You have signed off)」メッセージを受信する場合、以下の手順を使用してこの問題のトラブルシューティングが行えるようになります。

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールの突然のシャットダウンをトラブルシューティングするには、次のいずれかの処置を行ってください。

- 新規のブラウザ・ウィンドウを開いて、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールへの再接続を行ってください。このログオフ・メッセージの一般的なケースでの原因は、オープン状態のセッションがタイムアウトした場合です。この状態が頻繁に発生するのは、ブラウザ・ウィンドウが以前のセッションでオープン状態のままにされた場合です。
- SAN ボリューム・コントローラー・コンソール用のメモリー割り振りを増加してから、このコンソール・アプリケーションへの再接続を行ってください。突然のシャットダウンが発生する原因の可能性としては、マスター・コンソール・ハードウェア上のメモリー障害があります。この原因により、必要とするよりも少ないメモリーを使って SAN ボリューム・コントローラー・コンソールが実行することになります。
- マスター・コンソール・ハードウェアの IP アドレスが、このシステムを再始動した最終時点以降に、変更されたかどうかを判別します。変更されていた場合は、システムを再始動してこの問題を訂正します。

Microsoft Windows のブート問題のトラブルシューティング

このセクションを使用して、マスター・コンソール・システム上での Microsoft Windows のブート問題を解決できるようにします。

Windows のブート問題を解決するために、次の処置を行ってください。

- ブート・ドライブから Windows システムを始動できない場合、2 次ディスク・ドライブ (ミラーリングされたディスク) からマスター・コンソール・システムを始動してみます。
- ブート・ディスク・ドライブまたは 2 次ディスク・ドライブのどちらからもシステムの始動問題が解消しない場合、壊れたディスク・ドライブを交換してから、ディスク・ドライブを再度ミラーリングします。

注: ミラーリングのセットアップ完了後は、マスター・コンソールを稼働するシステム上のハード・ディスクは、実際は、ミラーリングされた 1 対のハード・ディスクです。ディスク障害が原因で、マスター・コンソールにアクセス不能にあることに対して、この方式で対応します。このミラーリングを使用すると、ブート・ディスクが作動しない場合にマスター・コンソール・システムを始動できるようになります。マスター・コンソール上のディスクのいずれかを交換した場合、必ず、そのディスクを再度ミラーリングしてください。

ミラーリングされたディスクからのマスター・コンソール・ハードウェアの始動

マスター・コンソール ハードウェアで、Microsoft Windows ブート処理中に、Windows が始動しようとしたが、青色の画面上に「ブート・デバイスへアクセス不能 (Inaccessible Boot Device)」メッセージが表示されて失敗に終わり、もう一方から再始動を試行しても問題が解決しない場合、始動デバイス上の Windows ブート・コードが壊れている可能性があります。

以下の手順を行うには、システム再始動時のパワーオン・パスワードとして管理者パスワードを使用する必要があります。管理者パスワードを使用してこのシステムをセットアップし、通常のパワーオン・パスワードを使用すると、「構成/セットアップ (Configuration/Setup)」メニューの限定されたバージョンのみ表示できます。

問題を解決するために、次のステップを行ってください。

1. マスター・コンソール・システムを再始動して、画面の表示内容を見ます。「構成/セットアップに対して F1 を押す (Press F1 for Configuration/Setup)」メッセージが表示されたら、F1 を押します。

Configuration/Setup Utility 用のメインメニューが表示されます。

2. 「開始オプション (Start Options)」をメインメニューから選択します。
3. 「開始シーケンス (Start Sequence)」を選択します。
4. ハード・ディスクを含むシーケンスまで、下がって行きます。
5. 左方または右方のカーソル・キーを使用して、他のハード・ディスクを選択します。例えば、そのハード・ディスクが 1 に設定されている場合、0 を選択します。ハード・ディスクが 0 に設定されている場合は、1 を選択します。
6. 保存と終了を行うオプションが表示されるまでは、各メニューの終了には Esc を押します。「はい (Yes)」を選択して変更内容を保存し、Configuration/Setup Utility を終了します。
7. マスター・コンソール・システムが始動したら、マスター・コンソール・ディスク障害からリカバリーするためのステップを継続します。マスター・コンソール・システムが始動しない場合、IBM サービス担当員に連絡してください。

マスター・コンソール・ハードウェア上でのディスクの交換

マスター・コンソール・システム上でのディスク・ドライブのいずれかに障害が発生した場合、そのディスク・ドライブを新しいディスク・ドライブに交換する必要があります。この新規ドライブは、交換対象のドライブと同じまたはそれ以上の容量を保有している必要があります。

ミラーリングされたディスク・ドライブのいずれかに障害が発生し、交換する必要が生じた場合、以下のステップを行います。

1. 2 つのディスク・ドライブのどちらが障害を起こしたか判断できない場合、おのおののディスク・ドライブを使ってシステムを再始動して、どちらのドライブが機能していないかを判別します。
2. デスクトップ上で「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックし、「管理」を選択します。
3. 左側のナビゲーション・パネルで「ディスクの管理」を選択します。右側パネルにハード・ディスクが表示されます。

4. 障害を起こしたディスク・ドライブが表示される場合は、そのドライブのメイン・ボリュームを右クリックし、「ミラーリングの中断 (**Break Mirror**)」を選択します。
5. マスター・コンソール・ハードウェアをシャットダウンし、交換するハード・ディスク用資料に詳述された手順に従って障害のあるディスク・ドライブを交換します。新規ドライブ用のジャンパー設定は、交換対象ドライブ用のジャンパー設定と必ず同じにしてください。

注: 交換ドライブにマスター・ブート・レコード (MBR) がある場合、交換ドライブの使用前にこの MBR を消去します。ただし、マスター・コンソール・コンピューターが MBR を検出できないために始動できない場合は、BIOS 内の始動シーケンスを他のハード・ディスクに変更します。

6. コンピューターを再始動します。
7. デスクトップ上で「マイ コンピュータ」を右クリックし、「管理」を選択します。
8. 「ディスクの管理」を選択します。右側パネルにハード・ディスクが表示されます。
9. ディスク・ドライブに「欠落 (**Missing**)」のマークが付いている場合、そのドライブを右クリックし、「ドライブの除去 (**Remove Disk**)」を選択します。
10. 新規ディスク・ドライブ上にエントリーなし記号が表示される場合、そのディスク・ドライブを右クリックし、「シグニチャーの書き込み (**Write Signature**)」を選択します。これにより、エントリーなし記号を除去します。
11. 新規ディスク・ドライブを右クリックし、「動的ディスクのアップグレード (**Upgrade to Dynamic Disk**)」を選択します。
12. ミラーリング対象のボリュームを右クリックし、「ミラーの追加 (**Add Mirror**)」を選択します。「ミラーの追加 (Add Mirror)」ウィザードが開始します。
13. 「ミラーの追加 (Add Mirror)」ウィザードを使用して、2 番目のボリュームを構成します。
14. boot.ini ファイルへの変更用ウィンドウは無視します。

両ボリュームの状態 (既存ドライブおよび新規ドライブ) は「再生成 (**Regenerating**)」に変わります。少し時間が経過すると、この状態には完了した再生成のパーセンテージが表示されます。再生成が完了すると、この状態は「正常 (**Healthy**)」として表示されます。

第 8 章 保守分析手順

保守分析手順 (MAP) は、SAN ボリューム・コントローラーで発生した障害の分析方法を提供します。

MAP を使用すると、障害が起きた SAN ボリューム・コントローラーの現場交換可能ユニット (FRU) を特定することができます。次の MAP は、SAN ボリューム・コントローラーについて定義をしています。

- 開始
- 電源オン
- 電源オフ
- 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U)
- 2145 無停電電源装置 (2145 UPS)
- 2145 UPS-1U の修復検査
- 2145 UPS の修復検査
- 冗長 AC 電源
- 冗長 AC 電源の検証
- フロント・パネル
- イーサネット
- ファイバー・チャンネル
- 修復検査
- ライト・パス
- ハードウェア・ブート

注: すべての問題判別手順および修復手順は、296 ページの『MAP 5000: 開始』から始めます。

保守分析手順の使用

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

SAN ボリューム・コントローラーの 1 つの保守中に、もう 1 つがストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) を操作可能に維持します。並行保守を使用すると、SAN およびホスト・システムを電源オンして実動処理を行いながら、1 つの SAN ボリューム・コントローラーですべての現場交換可能ユニット (FRU) の取り外し、交換、およびテストを行うことができます。

注: 特別な理由がなければ、特に指示がない限り、両方の SAN ボリューム・コントローラーの電源を除去しないでください。電源を除去する必要がある場合は、329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

- 障害のある SAN ボリューム・コントローラーの FRU を特定するには、これらの保守分析手順 (MAP) にあるアクションを実行し、質問に教えてください。
- 複数の FRU を順序どおりに交換するように指示されたら、次のようにします。
 1. リストの最初の FRU を新しいものに交換します。
 2. 問題が解決されたか確認します。
 3. 問題が残る場合は、以下のことを行います。
 - a. 元の FRU を再度取り付ける。
 - b. リストの次の FRU を新しいものに交換する。
 4. 問題が解決されるか、関連する FRU がすべて交換されるまで、ステップ 2 および 3 を繰り返します。
 5. MAP で指示された次のアクションを完了します。
 6. クラスタ・エラー・コードのために MAP を使用していて、引き続き修復を行う場合は、クラスタ・エラー・ログでエラーに修正済みのマークを付けてから、修復を検証します。

関連タスク

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

MAP 5000: 開始

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

これらの MAP に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。このマップは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に対して使用されます。この手順を開始する前に、どのモデルを使用するかを必ず確認してください。取り扱うモデルを判別するには、SAN ボリューム・コントローラーの概要トピックを参照してください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- Web ベースの指示された保守手順からここに送られた。
- SAN ボリューム・コントローラーの取り付けの際に問題が発生した。
- 別の MAP によってここに送られた。
- システムが検出しなかった問題にお客様が気付いた。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードはペアで構成されています。1 台の SAN ボリューム・コントローラーの保守を行っているときに、もう 1 台を使用して、このペアが管理するすべてのストレージにアクセスできます。並行保守を使用すると、SAN およびホスト・システムを電源オンして実動処理を行いながら、1 台の SAN ボリューム・コントローラーですべての FRU の取り外し、交換、およびテストを行うことができます。

注: 特別な理由がなければ、特に指示がない限り、両方の SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源を取り外さないでください。

以下のステップを行います。

1. 指示された保守手順からここに進んできましたか?

いいえ ステップ 2 に進みます。

はい ステップ 8 に進んでください。

2. (ステップ 1 から)

SAN ボリューム・コントローラー・クラスターへのアクセスに使用するマスター・コンソール・システムを見つけます。これは通常 SAN ボリューム・コントローラー・ノードと同じラックにありますが、マスター・コンソールが複数の SAN ボリューム・コントローラー・クラスターのサポートに使用されている場合、またはユーザーが「ソフトウェア・マスター・コンソール」フィーチャーを取り付けている場合は、別のラックにある場合もあります。

3. (ステップ 2 から)

ユーザーによって準備されたユーザー ID とパスワードを使用して、マスター・コンソール・システムにログオンします。

4. (ステップ 3 から)

ユーザーが準備したユーザー ID とパスワードを使用して、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールにログインし、修復対象のクラスターに対して SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーションを起動します。

5. (ステップ 4 から)

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールは始動しますか?

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい ステップ 6 に進みます。

6. (ステップ 5 から)

サービス対象の SAN ボリューム・コントローラー・クラスターを選択したとき、「ようこそ」パネルが表示されましたか?

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい ステップ 7 に進みます。

7. (ステップ 6 から)

指示された保守手順を開始します。

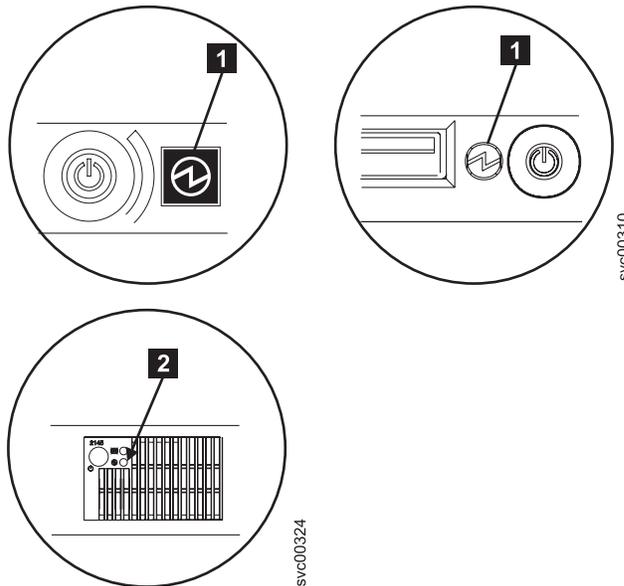
保守手順は、修正が必要なエラーを検出しましたか?

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい 指示された保守手順に従ってください。

8. (ステップ 1、5、6、および 7 から)

フロント・パネルの電源表示ライトがオフ状態の SAN ボリューム・コントローラーがありますか? SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 上で、フロント・パネル上の電源ライト **2** がオフ状態かどうかをチェックします。その他のモデルでは、オペレーター・パネル表示装置上の電源 LED **1** がオフ状態かどうかをチェックします。



1 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のオペレーター・パネル表示装置の電源 LED

2 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源ライト

いいえ ステップ9 に進みます。

はい SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源をオンにしてみます。61 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源制御の使用』を参照してください。

注: SAN ボリューム・コントローラーに供給する無停電電源装置 (UPS) も電源オフである可能性があります。これは、SAN ボリューム・コントローラーの電源を入れる前に、電源をオンにする必要があります。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源がオン状態の場合は、ステップ 9 に進み、そうでない場合は、電源 MAP に進みます。

9. (ステップ 8 (297 ページ) から)

いくつかの SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルにエラーが表示されていますか? SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 上のチェック LED がオンの場合、エラーがあります。他モデル上では、フロント・パネルのエラー LED がオンの場合、またはフロント・パネル上のどの LED もオンでなく、フロント・パネル・ディスプレイがブランクの場合、エラーがあり

ます。図 36 を参照してください。

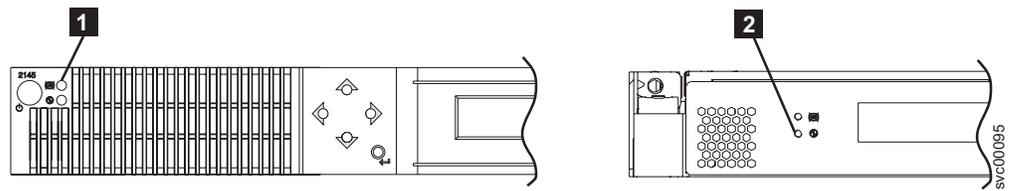


図 36. サービス・コントローラーのチェック・ライト

1 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーのチェック・ライト

2 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラーのエラー・ライト

いいえ ステップ 10 に進みます。

はい その SAN ボリューム・コントローラーのサービス・コントローラーに障害があります。

a. エラーが表示されているサービス・コントローラーが正しく取り付けられているかどうかチェックします。正しく取り付けられている場合は、サービス・コントローラーを交換します。

b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

10. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で作業していますか?

いいえ ステップ 11 に進みます。

はい ステップ 12 に進みます。

11. (ステップ 10 から)

図 37 に記載されているオペレーター・パネル・エラー LED **1** が点灯、または、明滅していますか?

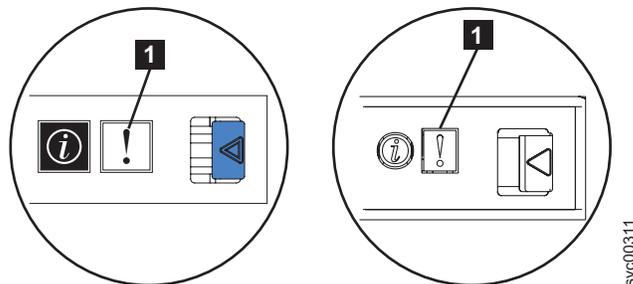


図 37. オペレーター・パネル表示装置のエラー LED

いいえ ステップ 12 に進みます。

はい 354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』に進みます。

12. (ステップ 10 およびステップ 11 から)

図 38 に表示されているハードウェア・ブート表示が、いずれかの SAN ボリューム・コントローラーで表示されていますか？

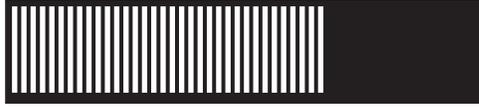


図 38. ハードウェア・ブートの表示

いいえ ステップ14 に進みます。

はい ステップ 13 に進みます。

13. (ステップ 12 (299 ページ) から)

図 38 に示すハードウェア・ブート表示が 3 分を超えて表示されていますか？

いいえ ステップ14 に進みます。

はい 次の手順で行います。

a. 363 ページの『MAP 5900: ハードウェア・ブート』に進みます。

b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

14. (ステップ 12 (299 ページ) および 13 から)

サービス画面の先頭行に「障害 (Failed)」が表示されている SAN ボリューム・コントローラーがありますか？

いいえ ステップ15 に進みます。

はい 次の手順で行います。

a. 障害コードをメモし、ブート・コードに進んで修復処置を行います。

b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

15. (ステップ 14 から)

サービス画面の先頭行に「ブート中」が表示されている SAN ボリューム・コントローラーがありますか？

いいえ ステップ 17 (301 ページ) に進みます。

はい ステップ16 に進みます。

16. (ステップ 15 から)

進行状況表示バーおよびブート・コードが表示されます。進行状況表示バーが 3 分間を超えて進まなかった場合は、停止しています。

進行状況表示バーが停止しましたか？

いいえ ステップ 17 (301 ページ) に進みます。

はい 次の手順で行います。

a. 障害コードをメモし、240 ページの『ブート・コードの理解』に進んで修復処置を行います。

b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

17. (ステップ 15 (300 ページ) およびステップ 16 (300 ページ) から)

フロント・パネル上のいずれかのナビゲーション・ボタンを押した場合は、60 秒間待って、表示がデフォルト表示に切り替わったことを確認します。

サービス画面の先頭行に「ノード・エラー (Node Error)」が表示された SAN ボリューム・コントローラーがありますか?

いいえ ステップ 18 に進みます。

はい 以下のステップを実行します。

- a. 障害コードをメモし、ノード・エラー・コードに進んで修復処置を行います。
- b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

18. (ステップ 17 から)

サービス画面の先頭行に「クラスター・エラー (Cluster Error)」が表示された SAN ボリューム・コントローラーがありますか?

いいえ ステップ 19 に進みます。

はい クラスター・エラーが検出されました。このエラー・コードは、クラスターのすべての操作可能なノード上に表示されます。このタイプのエラーは、通常、指示された保守手順を使用して修復されます。以下のステップを行います。

- a. 2 (297 ページ)に進んで、指示された保守手順を行います。ここに戻る場合は、クラスター・エラー・コードに進んで修復処置を行ってください。
- b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進みます。

19. (ステップ 18 から)

サービス画面の先頭行に「パワーオフ中 (Powering Off)」、「再始動中 (Restarting)」、「シャットダウン中 (Shutting Down)」、または「電源障害 (Power Failure)」が表示されていますか?

いいえ ステップ 21 (302 ページ) に進みます。

はい 進行状況表示バーが数秒おきに移動します。操作の完了を待って、この MAP のステップ 1 (297 ページ) に戻ります。進行状況表示バーが 3 分間移動しなかった場合は、電源ボタンを押して、ステップ 20 に進みます。

20. (ステップ 19 から)

SAN ボリューム・コントローラーが電源オフになりましたか?

いいえ 以下のステップを行います。

- a. 電源コードをボックスの背面から外してください。
- b. 60 秒待ちます。
- c. 電源コードを戻します。
- d. ノードが電源オンにならない場合は、電源ボタンを押して SAN ボリューム・コントローラーを電源オンにしてから、この MAP のステップ 1 (297 ページ) に戻ります。

はい 以下のステップを行います。

- a. 60 秒待ちます。
- b. 電源ボタンを押して、SAN ボリューム・コントローラーを電源オンにしてから、この MAP のステップ 1 (297 ページ) に戻ります。

注: SAN ボリューム・コントローラーの電源が 5 分を超えてオフになっており、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) に接続された SAN ボリューム・コントローラーが他にない場合は、2145 UPS も電源がオフになります。SAN ボリューム・コントローラーの電源ボタンを押す前に、2145 UPS の電源オン・ボタンを押してください。2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は、SAN ボリューム・コントローラーの電源が切られても、電源オフにはなりません。2145 UPS-1U は、電源ボタンが押され、入力電源が 5 分を超えてオフになっている場合か、または、入力電源の消失が報告された後で、SAN ボリューム・コントローラーがそれをシャットダウンした場合のみに電源が切れます。

21. (ステップ 20 (301 ページ) から)

サービス画面の先頭行に「充電中 (Charging)」または「リカバリー中 (Recovering)」が表示されている SAN ボリューム・コントローラーがありますか?

いいえ ステップ 22 に進みます。

はい 「充電中」が表示されている場合は、UPS のバッテリーは SAN ボリューム・コントローラーをサポートできるほど十分に充電されていません。3 時間を超えて「充電中 (Charging)」が表示されている場合は、ご使用の UPS の MAP (314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』または 318 ページの『MAP 5200: 2145 UPS』) に進みます。「リカバリー中 (Recovering)」が表示されている場合は、電源機構障害の直後に SAN ボリューム・コントローラーをサポートできるほど、UPS バッテリーが十分に充電されていません。ただし、「リカバリー中 (Recovering)」が表示されている場合、SAN ボリューム・コントローラーは正常に使用できます。「リカバリー中 (Recovering)」の表示が 2 時間を超えた場合は、ご使用の特定 UPS の MAP に進みます。

22. (ステップ 21 から)

サービス画面が不鮮明ですか?

いいえ ステップ 23 に進みます。

はい 以下のステップを行います。

- a. 言語を調べます。画面が別の言語に設定されていることがあります。
- b. 言語が正しく設定されている場合は、337 ページの『MAP 5400: フロント・パネル』に進みます。

23. (ステップ 22 から)

SAN ボリューム・コントローラーによって検出されたエラーはありません。お客様から報告された問題がハードウェア障害の疑いがある場合は、以下のタスクを実行します。

- a. ホスト・システム、ディスク・コントローラー、およびファイバー・チャネル・スイッチに問題判別手順を実行します。
- b. ハードウェア・サポートに支援依頼のため連絡します。

問題がソフトウェアのものであると思われる場合は、SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールと保守に関するトピックを参照してください。

関連概念

1 ページの『第 1 章 SAN ボリューム・コントローラーの概要』

SAN ボリューム・コントローラーによって、対称パーチャリゼーションを使用する包括的なモジュラー装置に、ハードウェアとソフトウェアを結合します。

関連タスク

62 ページの『指示された保守手順の使用』

SAN ボリューム・コントローラーの問題の診断および解決には、指示された保守手順 (DMP) を使用できます。

240 ページの『ハードウェア・ブート障害の判別』

フロント・パネル上のハードウェア・ブートの表示が 3 分を超えても消えない場合、ノードはブートできません。原因は、ハードウェア障害か、そうでなければハード・ディスクのソフトウェアが欠落しているか、損傷しています。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

310 ページの『MAP 5100: 電源 2145-4F2』

MAP 5100: 電源 2145-4F2 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の電源で発生した問題の解決に役立ちます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用している場合、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ノード用の MAP を参照します。

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

318 ページの『MAP 5200: 2145 UPS』

MAP 5200: 2145 UPS は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で使用される 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

337 ページの『MAP 5400: フロント・パネル』

MAP 5400: フロント・パネルは、SAN ボリューム・コントローラー・フロント・パネルで発生した問題の解決に役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

87 ページの『第 4 章 SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアのインストールと保守』

SAN ボリューム・コントローラーのソフトウェアは、すべてのノードにプリインストールされています。

61 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源制御の使用』

SAN ボリューム・コントローラーの電源は、SAN ボリューム・コントローラーと同じラックにある無停電電源装置 (UPS) から供給されます。

113 ページの『言語の選択? オプション』

表示された言語は、メニューから変更できます。

関連情報

137 ページの『クラスター・エラー・コードの定義』

それぞれのクラスター・エラー・コードには、エラー・コード番号、説明、アクション、および可能性のある現場交換可能ユニット (FRU) が組み込まれています。

240 ページの『ブート・コードの理解』

ブート・コードは、ノードをブートする際に表示画面に表示されます。

274 ページの『ノード・エラー・コードの理解』

ノード・エラー・コードは、ノード・ソフトウェアによって表示画面に表示されます。

MAP 5050: 電源 2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4

MAP 5050: 電源 2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 では、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源上で発生した問題を解決できるようになります。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を使用している場合は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のノード MAP を参照してください。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ノードの取り付けの際に問題が発生した。
- 電源スイッチでノードをオンにできなかった。
- 電源スイッチでノードをオフにできなかった。
- 別の MAP によってここに送られた。

以下のステップを実行します。

1. ノードの電源がオンされないので、ここにありますか?

いいえ ステップ 8 (308 ページ) に進みます。

はい ステップ 2 (305 ページ) に進みます。

2. (ステップ 1 (304 ページ) から)

電源ライトが絶え間なく点灯していますか? 図 39 または図 40 を参照してください。

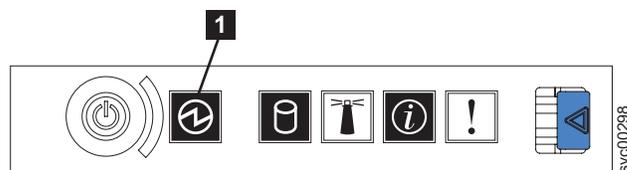


図 39. The SAN ポリユーム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置

1 電源 LED

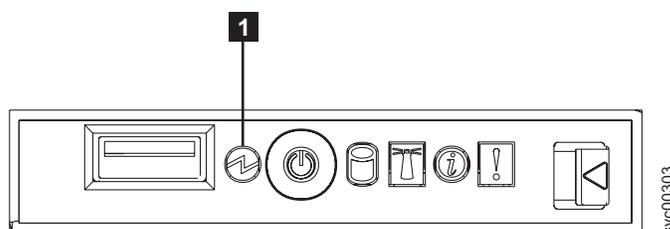


図 40. SAN ポリユーム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ポリユーム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置

いいえ ステップ 3 に進みます。

はい このノードは正しく電源オンされます。症状を見直して 296 ページの『MAP 5000: 開始』に戻るか、または 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』に進んで操作が正しかったかを検証します。

3. (ステップ 2 から)

ノード・オペレーターのパネル表示装置上の電源ライトは明滅していますか?

いいえ ステップ 5 (306 ページ) に進みます。

はい ノードは待機モード状態です。入力電源があります。ステップ 4 に進みます。

4. (ステップ 3 から)

ノードのフロント・パネル上のパワーオン・ボタンを押します。

ノードのフロント・パネル上の電源オン・インディケータは、緑色で点灯していますか?

いいえ オペレーター・パネル・ケーブルが両端に正しくが配置されているかを確認します。SAN ポリユーム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ポリユーム・コントローラー 2145-8F4 ノードの電源がまだオンにならない場合は、以下の順序で部品を交換します。

- a. オペレーター・パネル表示装置
- b. ケーブル、シグナル、フロント・パネル

c. フレーム・アセンブリー

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上で作業している場合は、オペレーター・パネル表示装置ケーブルがシステム・ボード上に正しく取り付けられていることを確認します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源がまだオンにならない場合は、以下の順序で部品を交換します。

a. オペレーター・パネル表示装置アセンブリー

b. フレーム・アセンブリー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい フロント・パネル上の電源オン・インディケータは、そのノードが正常に電源オンされたことを示します。351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して、操作が正しいかどうかを検証します。

5. (ステップ 3 (305 ページ) から)

背面パネルの電源 LED が点灯、または明滅していますか? 図 41 を参照してください。

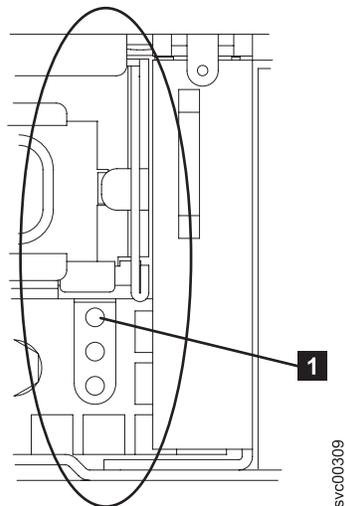


図 41. 電源 LED

1 電源 LED

いいえ ステップ 6 (307 ページ) に進みます。

はい オペレーター・パネルが障害を起こしています。オペレーター・パネル表示装置ケーブルが両端に正しく取り付けられているかを確認します。ケーブルが正しく配置されているのに、オペレーター・パネルの電源ライトが点灯していないか、または明滅している場合は、以下の順序で、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の部品を交換します。

a. オペレーター・パネル表示装置

b. ケーブル、シグナル、フロント・パネル

c. フレーム・アセンブリー

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上で作業している場合は、オペレーター・パネル表示装置ケーブルがシステム・ボード上に正しく取り付けられていることを確認します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源がまだオンにならない場合は、以下の順序で部品を交換します。

- a. オペレーター・パネル表示装置アセンブリー
- b. フレーム・アセンブリー

6. (ステップ 5 (306 ページ) から)

このノードに接続された 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の位置を探します。

このノードに電源を供給する 2145 UPS-1U の電源がオンであり、負荷セグメント 2 インディケータが緑色で点灯していますか？

いいえ 314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』に進みます。

はい ステップ 7 に進みます。

7. (ステップ 6 から)

ノード電源機構アセンブリー背面の AC インディケータが点灯していますか？ 図 42 を参照してください。

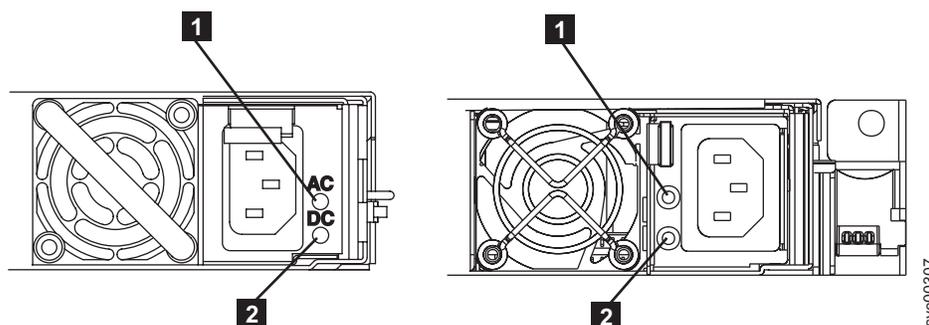


図 42. ac および dc LED インディケータ

1 ac LED

2 dc LED

いいえ 入力電源ケーブルが、両端にしっかりと接続されていて、損傷の兆候がないことを確認します。ケーブルに障害または損傷がある場合は、そのケーブルを交換します。そうでない場合は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の部品を以下の順序で交換します。

- a. 電源機構、585 ワット
- b. 電源バックプレーン

以下の順序で、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 部品を交換します。

- a. 電源機構 670W

b. 電源バックプレーン

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい ステップ 8 に進みます。

8. (ステップ 7 (307 ページ) から)

ノード電源機構アセンブリー背面の DC インディケータが点灯していますか？ 307 ページの図 42 を参照してください。

いいえ SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 部品を以下の順序で交換します。

a. 電源バックプレーン

b. 電源機構、585 ワット

c. フレーム・アセンブリー

以下の順序で、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 部品を交換します。

a. 電源バックプレーン

b. 電源機構 670W

c. 電源バックプレーン

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい オペレーター・パネル・ケーブルが両端に正しくが配置されているかを確認します。このノードの電源がまだオンにならない場合は、以下の順序で部品を交換します。

a. オペレーター・パネル表示装置

b. ケーブル、シグナル、フロント・パネル

c. フレーム・アセンブリー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

9. (ステップ 1 (304 ページ) から)

このノードでは電源ボタンを押しても、ノードは電源オフされません。このノードが完全にブートされると、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアの制御下で、電源オフが実行されます。電源オフ操作を完了するには最大で 5 分かかります。

フロント・パネルに電源オフが表示されていますか？

いいえ ステップ 10 に進みます。

はい ノードがパワーオフになるのを待ちます。このノードが 5 分経っても電源オフできない場合は、ステップ 10 に進んでください。

10. (ステップ 9 から)

重要: SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用する方法以外でこのノードを電源オフすると、このノードのキャッシュ内のデータが失われる可能性があります。並行保守を実行している場合は、進める前に、このノードをクラスターから削除してください。ここで、クラスターからノードを削除するようお客様に依頼します。ノードを削除できない場合は、進める前に、サポート・センターに連絡してください。

ノードは、ハードウェア障害またはソフトウェア障害のために電源オフできないことがあります。電源ボタンを押し続けます。ノードは 5 秒以内に電源オフになります。

ノードが電源オフになりましたか?

いいえ このノードに接続されている 2145 UPS-1U の電源をオフにします。

重要: 正しい 2145 UPS-1U に電源を供給していることを確認します。必要であれば、2145 UPS-1U アセンブリーにケーブルをトレースバックします。間違った 2145 UPS-1U を電源オフにすると、お客様のデータが損失することがあります。ステップ 11 に進みます。

はい ステップ 11 に進みます。

11. (ステップ 10 (308 ページ) から)

必要であれば、このノードに接続している 2145 UPS-1U の電源をオンにしてから、ノードの電源をオンにする電源ボタンを押します。

このノードは正しく電源オンおよびブートされましたか?

いいえ この問題を解決するには、296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

はい ステップ 12 に進みます。

12. (ステップ 11 から)

このノードは、ソフトウェア障害の可能性があります。問題の解決に役立つダンプ・データが収集されている場合があります。サポートに連絡をとって、支援を依頼します。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』

MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

30 ページの『SAN ボリューム・コントローラー のコントロールとインディケータ』

コントロールとインディケータは、すべて SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルにあります。

39 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの背面パネル・インディケータ』

SAN ボリューム・コントローラーのインディケータは、フロント・パネル・アセンブリおよびバック・パネル・アセンブリにあります。以下の図は、背面パネル・インディケータを示しています。

96 ページの『ノード VPD のフィールドの理解』

ノードの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

MAP 5100: 電源 2145-4F2

MAP 5100: 電源 2145-4F2 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の電源で発生した問題の解決に役立ちます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用している場合、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ノード用の MAP を参照します。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の取り付けの際に問題が発生した。
- 電源オン・スイッチでノードをオンにできなかった。
- 別の MAP によってここに送られた。

次の手順で行います。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルで電源オン・スイッチを押します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルで電源オン・インディケータが緑色で点灯していますか?

いいえ ステップ 2 に進みます。

はい フロント・パネルの電源オン・インディケータは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が正常に電源オンになっていることを示しています。351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して、操作が正しいかどうかを検証します。

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の背面パネルで、システム・ボード電源 LED インディケータが緑色に明滅していますか?

いいえ ステップ 3 (311 ページ) に進みます。

はい ノードの背面パネルのシステム・ボード電源 LED インディケータは、電源機構に電源はあっても、電源オン・スイッチがノードをオンにできなかったことを示しています。

- 以下の順序で、部品を交換します。
 - 電源機構装置
 - サービス・コントローラー
 - フロント・パネル・アセンブリー
 - システム・ボード・アセンブリー
- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の背面パネルで、システム・ボード電源 LED インディケータが緑色に点灯していますか?

いいえ ステップ 4 に進みます。

はい ノードの背面パネルのシステム・ボード電源 LED インディケータは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の電源オン・スイッチがオンになっていても、フロント・パネルの電源オン・インディケータに表示されていないことを示しています。

- 以下の順序で、部品を交換します。
 - サービス・コントローラー
 - フロント・パネル・アセンブリー
 - システム・ボード・アセンブリー
- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

4. 使用している無停電電源装置 (UPS) のタイプを判別します。

どの UPS を使用しているかを検出するには、以下のいずれかのメソッドを使用します。

- UPS の物理検査を行います。2145 無停電電源装置 (2145 UPS)は、2U 高 (3.5 インチ) であり、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U)は、1U 高 (1.75 インチ) です。
- ユーザー・インターフェースを介して、ノードの重要製品データ (VPD) を見ます。ノードの VPD フィールドの詳細を理解するには、文書を参照してください。
- コマンド行インターフェースを介してノード VPD を見るには、次のコマンドを発行します。

```
svcinfolsnodevpd nodeID
```

ご使用の UPS が 2145 UPS の場合:

ステップ 5 に進んでください。

ご使用の UPS が 2145 UPS-1U の場合:

ステップ 9 (313 ページ) に進みます。

5. (ステップ 4 から)

この SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のノードに電源を供給している 2145 UPS のモード・インディケータが緑色に点灯していますか？

いいえ 318 ページの『MAP 5200: 2145 UPS』を参照してください。

はい ステップ 6 に進みます。

6. (ステップ 5 (311 ページ) から)

この SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のノードに電源を供給している 2145 UPS のすべての回路ブレーカーがオンになっていますか？

いいえ ステップ 7 に進みます。

はい SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードへの入力電源が欠落しています。電源コード・アセンブリーが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 および 2145 UPS に正しく挿し込まれているかどうか確認します。

• 以下の順序で、部品を交換します。

- 電源機構アセンブリー
- 電源コード・アセンブリー
- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

7. (ステップ 6 から)

2145 UPS の回路ブレーカーのいずれかが飛んでいます。飛んでいる回路ブレーカーをオンにリセットします。

2145 UPS の回路ブレーカーはオンの状態を維持していますか？

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

8. (ステップ 7 から)

2145 UPS の出力負荷のいずれかが、回路ブレーカーが飛ぶ原因になっています。最大 8 つの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のノードの電源ケーブルを順番に取り外して、回路ブレーカーを「オン」にリセットすることを試みてください。

いずれかの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードの電源ケーブルを取り外すと、回路ブレーカーをオンに維持できますか？

いいえ 2145 UPS の出力回路ブレーカーに障害があります。

- a. 2145 UPS・アセンブリーを交換します。
- b. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』に進みます。

はい SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードへの入力電流が高すぎます。

- a. 以下の順序で、部品を交換します。
 - 1) 電源機構アセンブリー
 - 2) 電源コード・アセンブリー

- b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

9. (ステップ 4(311 ページ) から)

この SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のノードに電源を供給している 2145 UPS-1U の電源オン・インディケータとロード・セグメント 2 インディケータが緑色に点灯しており、サービス・インディケータ、オン・バッテリー・インディケータ、および過負荷インディケータがオフになっていますか？

いいえ 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を参照してください。

はい SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードへの入力電源が欠落しています。電源コード・アセンブリーが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 および 2145 UPS-1U に正しく挿し込まれているかどうか確認します。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

318 ページの『MAP 5200: 2145 UPS』

MAP 5200: 2145 UPS は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で使用される 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

502 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのフロント・パネルの取り外し』

フロント・パネルを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で保守を行うことができます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』

MAP 5300: 2145 UPS の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』

MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

96 ページの『ノード VPD のフィールドの理解』

ノードの重要製品データ (VPD) のフィールドについて理解しておく必要があります。

MAP 5150: 2145 UPS-1U

MAP 5150: 2145 UPS-1U は、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- システムの問題判別手順によってここに送られた。
- SAN ボリューム・コントローラーの取り付けの際に問題が発生した。
- 別の MAP によってここに送られた。
- システム問題判別手順が検出しなかった問題にお客様が気付いた。

図 43 は、2145 UPS-1U のパネル前面を図示したものです。

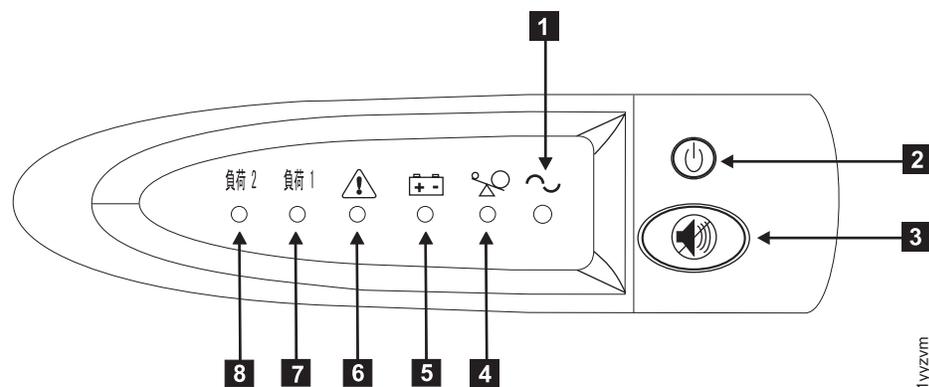


図 43. 2145-1U 無停電電源装置のフロント・パネル・アセンブリー

1 電源オン・インディケータ

2 オン/オフ・ボタン

3 テストおよびアラーム・リセット・ボタン

4 過負荷インディケータ

5 オン・バッテリー・インディケータ

6 サービス・インディケータ

7 ロード・セグメント 1 インディケータ

8 ロード・セグメント 2 インディケータ

1. 障害のある SAN ボリューム・コントローラに接続された 2145 UPS-1U の電源オン・インディケータがオフになっていますか?

いいえ ステップ3 に進みます。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

他の 2145 UPS-1U の電源オン・インディケータがオフになっていますか?

いいえ 2145 UPS-1U は待機モードになることがあります。このような状態になるのは、この 2145 UPS-1U のオン/オフ・ボタンが押され、入力電源が 5 分を超えて欠落していることが原因であるか、または SAN ボリューム・コントローラが、入力電源の消失を報告された後にシャットダウンされたことが原因です。「オン/オフ」ボタンを、2145 UPS-1U の電源オンインディケータが点灯するまで (約 5 秒)、押し続けます。

ステップ3 に進みます。

はい 主電源がご使用のシステム環境で落ちたか、または冗長 AC 電源スイッチに障害が発生しました。2145 UPS-1U が冗長 AC 電源スイッチに接続されている場合は、326 ページの『MAP 5320: 冗長 AC 電源』に進みます。そうでない場合は、以下のステップを行います。

a. 主電源をご使用のシステムに戻します。

b. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

3. (ステップ 1 とステップ 2 から)

2145 UPS-1U の電源オン・インディケータとロード・セグメント 2 インディケータが緑色で点灯し、サービス、オン・バッテリー、および過負荷インディケータがオフになっていますか?

いいえ ステップ4 に進みます。

はい 2145 UPS-1U は、障害を示さなくなりました。323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

4. (ステップ 3 から)

2145 UPS-1U のオン・バッテリー・インディケータが黄色になり (点灯または明滅)、サービスおよび過負荷インディケータがオフになっていますか?

いいえ ステップ 5 (316 ページ) に進みます。

はい この 2145 UPS-1U への入力電源機構が正しく接続されていないか、ま

たは 2145 UPS-1U が、不安定な入力電源、または指定された電圧または周波数範囲外の入力電源を受け取っています。(電圧は 200V から 240V の間、周波数は 50 Hz または 60 Hz のいずれかである必要があります。) SAN ボリューム・コントローラーは 2145 UPS-1U の電圧範囲を自動的に調整します。入力電圧が最近変更された場合は、SAN ボリューム・コントローラーのアラーム設定が調整されるまで、アラーム状態が存続する可能性があります。2145 UPS-1U に接続された SAN ボリューム・コントローラーの電源をオンにします。SAN ボリューム・コントローラーが始動すると、オン・バッテリー・インディケータが 5 分間消えるものと考えられます。SAN ボリューム・コントローラーが再度電源オフ状態になるか、またはこの状態が最低でも 5 分間続く場合は、以下を行います。

- a. 2145 UPS-1U 背面パネルの入力回路プロテクターを調べ、それがオープン状態になっている場合は押します。
- b. 冗長 AC 電源を 2145 UPS-1U に対して使用している場合は、この UPS-1U に接続された冗長 AC 電源スイッチの出力コンセントの位置で電圧と周波数をチェックします。給電されていない場合は、327 ページの『MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証』に進みます。電力が仕様範囲外の場合、この問題を解決するようにお客様に要求します。この UPS に対して冗長 AC 電源を使用していない場合は、この SAN ボリューム・コントローラーに給電している 2145 UPS-1U に対するサイト電源コンセントをチェックします。接続、電圧、および周波数を検査します。電力が仕様範囲外の場合、この問題を解決するようにお客様に要求します。
- c. 入力電源が仕様範囲内であり、入力回路プロテクターが安定している場合は、以下の順序で現場交換可能ユニット (FRU) を交換します。
 - 1) 2145 UPS-1U 電源コード
 - 2) 2145 UPS-1U
- d. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

5. (ステップ 4 (315 ページ) から)

2145 UPS-1U の過負荷インディケータが赤色で点灯していますか?

いいえ ステップ6 (317 ページ) に進みます。

はい 2145 UPS-1U 出力電源要件が 2145 UPS-1U の容量を超えました。

- a. 1 つの SAN ボリューム・コントローラー・ノードのみが 2145 UPS-1U に接続されていることを確認します。
- b. 他の負荷が 2145 UPS-1U に接続されていないことを確認します。
- c. 出力負荷が正しいことを確認した後で、2145 UPS-1U から入力電源を切って、プラグを抜きます。すべての LED がオフになるまで少なくとも 5 秒待って、入力電源に再接続し、2145 UPS-1U の電源オン・インディケータが点灯するまで (約 5 秒) オン/オフ・ボタンを押して、2145 UPS-1U を再始動します。
- d. 状態が変わらない場合は、2145 UPS-1U を交換します。

- e. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

6. (ステップ 5 (316 ページ) から)

2145 UPS-1U のサービス・インディケータが赤色で明滅し、オン・バッテリー・インディケータが黄色で点灯し、電源オンおよび過負荷インディケータがオフになっていますか?

いいえ ステップ 7 に進みます。

はい 2145 UPS-1U のバッテリーが完全に充電切れになっているか、障害を起こしている可能性があります。

- a. 2145 UPS-1U が、バッテリーの充電のために、少なくとも 2 時間電源コンセントに接続されていることを確認します。バッテリーの充電後、テスト/アラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けてから、サービス・インディケータを検査します。
- b. サービス・インディケータがまだ明滅していれば、2145 UPS-1U を交換します。
- c. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

7. (ステップ 6 から)

2145 UPS-1U のサービス・インディケータが赤色で明滅し、オン・バッテリー・インディケータが黄色で点灯し、電源オン・インディケータが緑色で点灯し、過負荷インディケータがオフになっていますか?

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい 2145 UPS-1U の内部温度が高過ぎます。

- a. 2145 UPS-1U をオフにし、プラグを抜きます。2145 UPS-1U の前面および背面の通気孔をきれいにします。すべての熱の原因を除きます。2145 UPS-1U の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
- b. 少なくとも 5 分待って、入力電源に再接続し、2145 UPS-1U の電源オン・インディケータが点灯するまで (約 5 秒) オン/オフ・ボタンを押して、2145 UPS-1U を再始動します。
- c. 状態が変わらない場合は、2145 UPS-1U を交換します。
- d. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

8. (ステップ 7 から)

2145 UPS-1U のサービス、オン・バッテリー、過負荷、電源インディケータが明滅していますか?

いいえ 2145 UPS-1U に内部障害があります。

- a. 2145 UPS-1U を交換します。
- b. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

- はい 2145 UPS-1U のバッテリーが完全に充電切れになっているか、障害を起している可能性があります。
- a. 2145 UPS-1U が、バッテリーの充電のために、少なくとも 2 時間電源コンセントに接続されていることを確認します。バッテリーの充電後、テスト/アラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けてから、サービス・インディケータを検査します。
 - b. サービス・インディケータがまだ明滅していれば、2145 UPS-1U を交換します。
 - c. 323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

関連タスク

xxxi ページの『SAN ポリウム・コントローラー、UPS、および冗長 AC 電源スイッチのアースのチェック』

SAN ポリウム・コントローラー、無停電電源装置 (UPS)、およびオプションの冗長 AC 電源機構のアースをチェックする方法を、必ず理解してください。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ポリウム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

323 ページの『MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査』

MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ポリウム・コントローラー 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

528 ページの『2145 UPS-1U からの電源ケーブルの取り外し』

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) から取り外すことができます。

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

MAP 5200: 2145 UPS

MAP 5200: 2145 UPS は、SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2で使用される 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) システムで発生した問題の解決に役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- システムの問題判別手順によってここに送られた。
- SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2の取り付けの際に問題が発生した。
- 別の MAP によってここに送られた。
- システム問題判別手順が検出しなかった問題にお客様が気付いた。

図 44 は、2145 UPS のパネル前面を図示したものです。

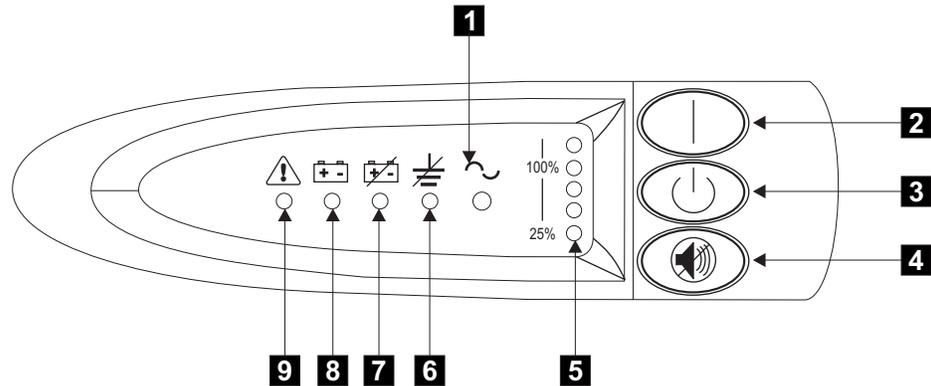


図 44. 2145 無停電電源装置のフロント・パネル・アセンブリー

- 1** モード・インディケータ
- 2** オン・ボタン
- 3** オフ・ボタン
- 4** テストおよびアラーム・リセット・ボタン
- 5** 負荷レベル・インディケータ
- 6** サイト配線障害インディケータ
- 7** バッテリー・サービス・インディケータ
- 8** バッテリー・モード・インディケータ
- 9** 汎用アラーム・インディケータ

1. 障害のある SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に接続された 2145 UPS のモード・インディケータがオフになっていますか？

いいえ ステップ 3 (320 ページ) に進みます。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

他の 2145 UPS のモード・インディケータがオフになっていますか？

いいえ この 2145 UPS への電源機構に障害があるか、正しく接続されていません。

- a. この 2145 UPS へのサイト電源接続の検査を、お客様に依頼します。
- b. 入力電源接続が安定している場合は、以下の順序で現場交換可能ユニット (FRU) を交換します。
 - 1) 2145 UPS 電源コード
 - 2) 2145 UPS 電子部品アセンブリー
 - 3) 2145 UPS アセンブリー

- c. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 主電源が取り付けられていません。

- a. 主電源をご使用のシステムに戻します。
- b. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

3. (ステップ 1 (319 ページ) から)

2145 UPS のモード・インディケータが緑色で明滅していますか?

いいえ ステップ 4 に進みます。

はい 2145 UPS は待機モードです。これは、この 2145 UPS によって電源を供給される SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2が 5 分を超えて電源オフの状態であったか、2145 UPS 上の「オフ」ボタンが押されたためと考えられます。

- a. 2145 UPS のピープ音が聞こえ (約 1 秒)、電源オン・インディケータが緑色で点灯するまで、オン・ボタンを押し続けます。モード・インディケータが緑色の点灯に変わらない場合は、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。
- b. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

4. (ステップ 3 から)

モード・インディケータが赤色で点灯していますか?

いいえ ステップ 8 (321 ページ) に進みます。

はい 2145 UPS はバイパス・モードです。ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

2145 UPS の過負荷の負荷レベル・インディケータが赤色で点灯していますか?

いいえ ステップ 6 に進みます。

はい 2145 UPS 出力消費電力が、2145 UPS の容量を超えました。

- a. 2145 UPS に接続されている SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードが 4 台以下であることを確認します。
- b. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードのみが 2145 UPS に接続されていることを確認します。
- c. 出力負荷が正しいことを確認した後で、2145 UPS から入力電源を切って、プラグを抜きます。すべての LED がオフになるまで少なくとも 5 秒待ち、入力電源に再接続して、2145 UPS のピープ音が聞こえるまで (約 1 秒) オン・ボタンを押すことにより、2145 UPS を再始動します。
- d. 状態が変わらない場合は、IBM サポートに連絡します。
- e. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

6. (ステップ 5 から)

2145 UPS の汎用アラーム・インディケータが赤色で明滅していますか? (これは、連続した音響アラームが鳴る原因になります。)

いいえ ステップ 7 に進みます。

はい 2145 UPS の内部温度が高過ぎます。

- a. 2145 UPS をオフにし、プラグを抜きます。2145 UPS の前面および背面の通気孔をきれいにします。すべての熱の原因を除きます。2145 UPS の周囲の空気の流れが制限されていないか確認します。
- b. 少なくとも 5 分待ち、入力電源に再接続して、2145 UPS のピープ音が聞こえるまで (約 1 秒) オン・ボタンを押すことにより、2145 UPS を再始動します。
- c. 状態が変わらない場合は、2145 UPS の電子部品アセンブリーを交換します。
- d. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

7. (ステップ 6 (320 ページ) から)

2145 UPS のバッテリー・モード・インディケータが赤色で明滅していますか? (これは、5 秒おきにピープ音が鳴る原因になります。)

いいえ 2145 UPS は、内部 2145 UPS 障害のため、バイパス・モードになっています。

- a. 以下のアセンブリーを順番に交換します。
 - 2145 UPS 電子部品アセンブリー
 - 2145 UPS バッテリー・アセンブリー
 - 2145 UPS アセンブリー
- b. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 2145 UPS のバッテリーが、完全に充電が切れているか、正しく接続されていない可能性があります。

- a. 2145 UPS のバッテリー・アセンブリーが正しく取り付けられていることを確認します。
- b. 2145 UPS が、バッテリーの充電のために、電源コンセントに少なくとも 3 時間接続されていたことを確認します。バッテリーの充電後、テスト/アラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けてから、バッテリー・モード・インディケータを検査します。
- c. バッテリー・モード・インディケータがまだオンになっている場合は、2145 UPS のバッテリー・アセンブリーを交換します。
- d. 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

8. (ステップ 4 (320 ページ) から)

2145 UPS の配線障害インディケータが赤色で明滅していますか? (これは、5 秒おきにピープ音が鳴る原因になります。)

いいえ ステップ 9 (322 ページ) に進みます。

- はい 2145 UPS の接地ワイヤー接続が存在しないか、電源入力線とニュートラル・ワイヤーが逆にされています。
- 2145 UPS の接地を検査します。
 - 2145 UPS の入力電力接続の検査を、お客様に依頼します。
 - 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

9. (ステップ 8 (321 ページ) から)

2145 UPS のモード・インディケータが赤色で明滅していますか? (これは、5 秒おきにビープ音が鳴る原因になります。)

いいえ ステップ 10 に進みます。

- はい 2145 UPS は、不安定であるか、指定電圧または指定周波数の範囲外の入力電源を受け取っています。SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 は 2145 UPS の電圧範囲を自動的に調整します。入力電圧が最近変更された場合は、SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 のアラーム設定が調整されるまで、アラーム状態が存続する可能性があります。操作可能な SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 が 2145 UPS に接続されていることを確認してください。状態が少なくとも 5 分間持続する場合は、次のようにします。
- この SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 に電源を供給している 2145 UPS のサイト電源の検査を、お客様に依頼します。接続、電圧、および周波数を検査します。
 - 入力電源に問題がない場合は、2145 UPS の電子部品アセンブリーを交換します。
 - 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

10. (ステップ 9 から)

2145 UPS の汎用アラーム、バッテリー電源、バッテリー・モード、配線障害、およびモード・インディケータが赤色で明滅していますか? (これは、連続した音響アラームが鳴る原因になります。)

いいえ 2145 UPS は、障害を示さなくなりました。324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』を継続して修復結果を検証します。

- はい 2145 UPS は障害状態を報告しています。
- 以下のアセンブリーを順番に交換します。
 - 2145 UPS 電子部品アセンブリー
 - 2145 UPS バッテリー・アセンブリー
 - 2145 UPS アセンブリー
 - 324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』2145 UPSを継続して修復結果を検証します。

関連タスク

xxxi ページの『SAN ポリウム・コントローラー、UPS、および冗長 AC 電源スイッチのアースのチェック』

SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置 (UPS)、およびオプションの冗長 AC 電源機構のアースをチェックする方法を、必ず理解してください。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

324 ページの『MAP 5300: 2145 UPS の修復検査』

MAP 5300: 2145 UPS の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

545 ページの『2145 UPS からの電源ケーブルの取り外し』

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) で交換することができます。

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査

MAP 5250: 2145 UPS-1U の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

修復を行い、マシン上に存在する問題がほかにはないことを確認するために、ここに送られてきた可能性があります。

以下のステップを実行します。

1. 修復した 2145 UPS-1U の電源オン・インディケータとロード・セグメント 2 インディケータが緑色で点灯し、サービス、オン・バッテリー、および過負荷インディケータがオフになっていますか?

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

この 2145 UPS-1U によって電源が供給されている SAN ボリューム・コントローラー・ノードがオンになっていますか?

いいえ この 2145 UPS-1U に接続され、電源オフ状態の SAN ボリューム・コントローラー・ノード上で電源オンを押します。ステップ 3 に進みます。

はい ステップ 3 に進みます。

3. (ステップ 2 から)

この 2145 UPS-1U に接続されたノードがまだ電源オンされていないノード、またはフロント・パネル表示にエラー・コードを示しているノードがありますか？

いいえ ステップ 4 に進みます。

はい 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

4. (ステップ 3 (323 ページ) から)

この 2145 UPS-1U に接続された SAN ボリューム・コントローラー・ノードが、「充電中 (Charging)」をフロント・パネル・ディスプレイ上に表示していますか？

いいえ ステップ5 に進みます。

はい 「充電中 (Charging)」の表示が消えるのを待ちます (これは最長 60 分かかります。) ステップ5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

修復した 2145 UPS-1U のテスト/アラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けて、自己診断テストを開始します。テストの際、2145 UPS-1U のさまざまな部品が検査されるにつれて、個々のインディケーターが点灯します。

2145 UPS-1U のサービス、オン・バッテリー、または過負荷インディケーターがオンのままですか？

いいえ 2145 UPS-1U の修復検査が正常に完了しました。351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続してください。

はい 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

MAP 5300: 2145 UPS の修復検査

MAP 5300: 2145 UPS の修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラー 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

修復を行い、マシン上に存在する問題がほかにはないことを確認するために、ここに送られてきた可能性があります。

重要: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が 5 分を超えて電源オフの状態で、この 2145 UPS に接続された SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が他にない場合は、2145 UPS も電源オフになります。2145 UPS の電源をオンにするには、2145 UPS のビープ音が聞こえ (約 1 秒)、モード・インディケーターが緑色に点灯するまで、オン・ボタンを押し続けます。

以下のステップを実行して、2145 UPS への修復を確認します。

1. 修復した 2145 UPS のモード・インディケーターが緑色で点灯し、負荷レベル・インディケーターが 25 % と 100 % の間の出力負荷レベルを示していますか?

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

修復された 2145 UPS から電源を供給されているすべての SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードが電源オンになっていますか?

いいえ パワーオフになっているすべての SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードで「電源オン (power-on)」を押します。ステップ 3 に進みます。

はい ステップ 3 に進みます。

3. (ステップ 2 から)

まだ電源オンになっていないノードや、フロント・パネル表示にエラー・コードを示しているノードがありますか?

いいえ ステップ 4 に進みます。

はい 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

4. (ステップ 3 から)

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ノードがフロント・パネル表示で「充電中 (charging)」を示していますか?

いいえ ステップ 5 に進みます。

はい 充電表示が終了するのを待ちます。(これは最長 60 分かかります。) ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

修復した 2145 UPS のテスト/アラーム・リセット・ボタンを 3 秒間押し続けて、自己診断テストを開始します。テストの際、2145 UPS のさまざまな部品が検査されるにつれて、個々のインディケーターが点灯します。

アラーム・ビープ音または 2145 UPS のアラーム・インディケーターはオンのままですか?

いいえ 2145 UPS の修復検査は正常に完了しました。351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続してください。

はい 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

MAP 5320: 冗長 AC 電源

MAP 5320: 冗長 AC 電源を使用すると、SAN ボリューム・コントローラーで使用される 冗長 AC 電源スイッチで発生した問題の解決に役立ちます。この MAP を使用するのには、冗長 AC 電源スイッチに接続された 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) が入力電源を保有するものとして表示されない場合です。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下のいずれかの理由で、ここに進んできた可能性があります。

- SAN ボリューム・コントローラーの取り付けの際に問題が発生した。
- 314 ページの『MAP 5150: 2145 UPS-1U』からここに進んできた。

冗長 AC 電源スイッチで発生した問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 1 つまたは 2 つの 2145 UPS-1U が冗長 AC 電源スイッチに接続されている可能性があります。接続された 2145 UPS-1U のいずれかで電源オン・インディケータがオンになっていますか？

いいえ ステップ 3 (327 ページ) に進みます。

はい 冗長 AC 電源スイッチは給電状態です。ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

電源オンを示していない 2145 UPS-1U に接続された冗長 AC 電源スイッチの出力ソケットで電圧を計ります。

注意:

給電されたどの UPS の電源ケーブルも取り外していないことを確認します。

出力ソケットで電力がありますか？

いいえ ある冗長 AC 電源スイッチ出力が作動していますが、他方では作動していません。冗長 AC 電源スイッチ を交換します。

注意:

稼働状態のノードを電源オフして、冗長 AC 電源スイッチ・アセンブリを交換します。その場合には、お客様に相談して交換するための適切な時刻を決定します。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。冗長 AC 電源スイッチの交換後は、『MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証』から作業を継続します。

はい 冗長 AC 電源スイッチは作動状態です。2145 UPS-1U の電源コード、または 2145 UPS-1U に問題があります。この MAP を呼び出した手順に戻って、その手順内でもといた場所から作業を継続します。その手順は、2145 UPS-1U の電源コード、または 2145 UPS-1U に関する問題を分析するのに役立ちます。

3. (ステップ 1 (326 ページ) から)

使用される冗長 AC 電源スイッチ出力のいずれも、給電状態を表していません。

冗長 AC 電源スイッチに対する 2 本の入力電源ケーブルは、冗長 AC 電源スイッチおよび別のメイン回路に正しく接続されていますか?

いいえ ケーブルを正しく接続します。『MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証』に進みます。

はい この冗長 AC 電源スイッチに電力を供給するサイトの両方の電力配分装置で主電源があるかどうかを検証します。ステップ 4 に進みます。

4. (ステップ 3 から)

この冗長 AC 電源スイッチに電力を供給する、サイトの 1 つ以上の電力配分装置で電力が使用可能ですか?

いいえ お客様に依頼してメイン回路を修正します。この MAP を呼び出した手順に戻って、その手順内でもといた場所から作業を継続します。

はい この冗長 AC 電源スイッチはこの状態で稼働する必要があります。冗長 AC 電源スイッチ・アセンブリを交換します。冗長 AC 電源スイッチの交換後は、『MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証』から作業を継続します。

MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証

MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証により、冗長 AC 電源スイッチが正しく機能しているかどうかを検証できるようになります。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

冗長 AC 電源スイッチを交換したため、または冗長 AC 電源スイッチの配線を訂正したため、読者がここまで進んできた可能性があります。また、この MAP を使用する可能性があるのは、唯一の AC 電源回路の電源が落ちた時点で、冗長 AC 電源スイッチが電源の落ちたノードに接続されているために、冗長 AC 電源スイッチが正しく作動していないと読者が考えた場合もあります。

この MAP では、冗長 AC 電源スイッチの出力ソケット 1 と 2 で電力が使用可能な状態であるか否かを確認する必要があります。冗長 AC 電源スイッチが電源オンされていないノードに接続されている場合、電圧メーターを使用して電力が使用可能な状態にあるかどうかを確認します。

冗長 AC 電源スイッチが電源オンされたノードに接続されている場合（このため、そのノードが稼働可能）、いくつかの予防措置を取ってから下記のテストを続行してください。このテストを行うためにこのノードを電源オフする必要はありませんが、冗長 AC 電源スイッチが正しく作動していない場合は、このノードは電源オフになります。

この冗長 AC 電源スイッチに接続された電源オン状態の各ノードごとに以下のステップを行います。

1. グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) またはコマンド行インターフェース (CLI) を使用して、このノードと同じ入出力グループ内の他ノードがオンライン状態であることを確認します。
2. GUI または CLI を使用して、この入出力グループに接続された全仮想ディスクがオンライン状態であることを確認します。
3. 冗長 AC 電源スイッチの出力ケーブルをチェックして、冗長 AC 電源スイッチが同一入出力グループ内の 2 つのノードに接続されていないことを確認します。

上記のどのテストに失敗した場合も、この MAP を継続する前にどの失敗原因も解決してください。電源オン状態のノードを使ってこの検証を行っている場合は、以下の条件が真の場合は電力をこれ以上使用できないことを理解してください。

- 冗長 AC 電源スイッチをノードに接続する 2145 UPS-1U 上のオン・バッテリー・インディケータが、5 秒を超えて点灯している。
- SAN ボリューム・コントローラー・ノードのディスプレイが「電源障害 (Power Failure)」を表示する。

その場合の指示が「電源の除去」となっている場合、設置場所の電力配分装置が個別にスイッチされる出力を保有していると、その電源をオフに切り替えることができます。そうでない場合、指定された冗長 AC 電源スイッチの電源ケーブルを電力配分装置のコンセントから取り外します。

以下のステップを行います。

1. この冗長 AC 電源スイッチに電源を供給する、設置場所の 2 つの電力配分装置は、個別の電源回路に接続されていますか？

いいえ 問題を訂正してからこの MAP に戻ります。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

この冗長 AC 電源スイッチに電源を供給する、サイトの両方の電力配分装置は、給電されていますか？

いいえ 問題を訂正してからこの MAP の先頭に戻ります。

はい ステップ 3 に進みます。

3. (ステップ 2 から)

このサイトの電力配分装置を 冗長 AC 電源スイッチに接続している 2 本のケーブルは、接続されていますか？

いいえ 問題を訂正してからこの MAP の先頭に戻ります。

はい ステップ 4 に進みます。

4. (ステップ 3 (328 ページ) から)

冗長 AC 電源スイッチの出力ソケット位置 2 で、電力はありますか？

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

冗長 AC 電源スイッチの出力ソケット 1 の位置で、電力はありますか？

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい ステップ 6 に進みます。

6. (ステップ 5 から)

冗長 AC 電源スイッチへの主電源ケーブルから電源を除去します。 冗長 AC 電源スイッチの出力ソケット 1 の位置で、電力はありますか？

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい ステップ 7 に進みます。

7. (ステップ 6 から)

主電源ケーブルを再接続します。冗長 AC 電源スイッチへのバックアップ電源ケーブルから電源を除去します。 冗長 AC 電源スイッチの出力ソケット 1 の位置で、電力はありますか？

いいえ ステップ 8 に進みます。

はい バックアップ電源ケーブルを再接続します。冗長 AC 電源検証は正常に完了しました。 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続してください。

8. (ステップ 4、5、6、および 7 から)

冗長 AC 電源スイッチは予期したとおりには機能していませんでした。冗長 AC 電源スイッチ・アセンブリーを交換します。この MAP の先頭に戻ります。

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

単一ノードの電源をオフにしても、通常は、SAN ボリューム・コントローラー・クラスタの稼働を中断しません。この理由は、SAN ボリューム・コントローラー・クラスタ内では入出力グループと呼ばれるペア状態でノードが稼働するからです。ある入出力グループは、単一ノードのみが電源オンされた状態で、そのグルー

プが管理するディスクへの入出力を継続的に処理します。ただし、パフォーマンスの劣化およびエラーに対する回復力の低下が発生します。

注意が必要なのは、あるノードを電源オフする場合は、クラスター全体としては電源オフの影響を受けずに、必要としていることは必ず維持されるようにすることです。ここで概説した手順が順守されない場合、アプリケーション・ホストはそのデータにアクセスできなくなる可能性、最悪の場合は、データが失われてしまう可能性があります。

あるノード（クラスターのメンバーであり、オフライン状態でないノード）を電源オフするのに使用可能なお勧めの方法として以下の 2 つがあります。

1. SAN ボリューム・コントローラー・コンソール上で、「**ノードのシャットダウン (Shut Down a Node)**」オプションを使用します。
2. CLI コマンド `svctask stopcluster -node <name>` を使用します。

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたはコマンド行インターフェース (CLI) のいずれかを使用してノードを電源オフすることをお勧めします。その理由は、この 2 つの方式を使用すれば、パートナー・ノードへの制御された引き継ぎを行うことが可能であり、このシステム内での他の障害に対してより優れた回復力を実現できるからです。

ノードがオフライン状態の場合、またはクラスターのメンバーでない場合、電源スイッチを使用した電源オフが必要となります。

あるノードの電源オフ時に中断を最小限に抑えるには、以下の内容をすべて適用する必要があります。

- 入出力グループ内の他ノードは電源オン状態になっている必要があり、そのクラスター内でアクティブ状態になっている必要があります。
- 入出力グループの他ノードは、全ホストへの SAN ファイバー・チャネル接続、およびこの入出力グループが管理対象とするディスク・コントローラーを保有している必要があります。
- この入出力グループが処理するすべての仮想ディスクはオンライン状態にする必要があります。
- マルチパス処理を行うホストは、この入出力グループ内の他ノードに対してオンライン状態です。

一部の環境では、ノードを電源オフする理由によっては、これらの条件を満足させることが不可能となる可能性があります。例えば、障害のあるファイバー・チャネル・カードを交換しようとする場合、仮想ディスクはオンライン状況として表示されません。条件を満足していなかった場合に、いつ先にこの作業を進めることが安全かを決定するための判断は、お客様が行う必要があります。必ず、システム管理者に相談してから、入出力アクセスが中断されると分かっている電源オフ作業を進めてください。その理由は、もっと適切な時刻まで中断するのを待つか、またはホスト・アプリケーションを使用停止にするかについて、いずれか一方が好ましいとシステム管理者が考える可能性があるためです。

円滑な再始動を確実に行うには、ノードは、そのローカルの内部的なディスク・ドライブに対して再作成不能なデータ構造を保存する必要があります。ローカル・デ

ディスクに保存するデータ量は多くなりますので、この操作には数分の時間を要します。制御された電源オフを中断させないでください。

重要: 以下のアクションを行うと、ノードはそのローカル・ディスクにデータを保存できなくなります。このため、以下の方法を使用して絶対にノードを電源オフしないでください。

- ノードと無停電電源装置の間の電源ケーブルを取り外すこと。通常、UPS は電源障害時にローカル・ディスクへの書き込みを可能にするだけの十分な電源を供給しますが、このケースでは電源を供給不能になることは明白です。
- ノードの電源ボタンを押したままの状態にすること。この電源ボタンを押して放せば、SAN ボリューム・コントローラーはこの動きをソフトウェアに示して、このノードではデータを電源オフ前にローカル・ディスクに書き込むことができます。電源ボタンを押したままにすると、SAN ボリューム・コントローラー・ハードウェアはこの動作を緊急電源オフと解釈して即時シャットダウンします。この場合、お客様がローカル・ディスクにデータを保存する機会はありません。この緊急電源オフは、電源ボタンを押し続けて約 4 秒経過すると起こります。
- ライト・パス診断パネル上のリセット・ボタンを押すこと。

以下のトピックにはノードを電源オフするための方法が記載されています。

- 『SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用してノードの電源をオフにする方法』
- 334 ページの『SAN ボリューム・コントローラー CLI を使用してノードの電源をオフにする方法』
- 335 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源ボタンの使用』

関連タスク

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用してノードの電源をオフにする方法

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用してノードの電源をオフにする方法を記載してあります。

以下のステップを行って、ノード電源オフのために SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用します。

1. 管理者として マスター・コンソールにサインオンしてから、保守対象のクラスターに対して SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを立ち上げます。
2. 「私の作業 (My Work)」 ペインで、「ノードの作業」 → 「ノード」の順にクリックし、開かれるサブメニューをクリックします。「ノードの表示」パネルが表示されます。シャットダウンしようとするノードを探して、そのノードが所属する入出力グループ名を書き留めます。その入出力グループ内の他ノードが「オンライン」であることを確認します。

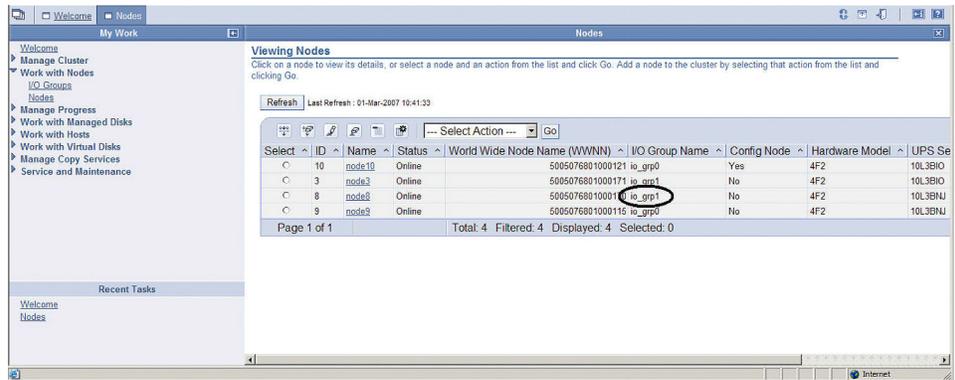


図 45. ノードの表示

電源オフ対象のノードが「オフライン」として表示される場合は、そのノードはこのクラスターに関係しておらず、入出力要求を処理していません。これらの環境では、ノード上の電源ボタンを使用してノードをオフに切り替える必要があります。

電源オフの対象ノードが「オンライン」として表示されているが、その入出力グループ内の他ノードが「オンライン」でない場合は、このノードを電源オフすると、入出力グループが管理対象とする VDisk に入出力処理依頼する全ホストが影響を受けます。

3. 「私の作業 (My Work)」 ペインで、「仮想ディスクの作業」 → 「仮想ディスク」の順にクリックしてから、開かれるサブメニューをクリックします。「仮想ディスクのフィルター操作」パネルが表示されます。

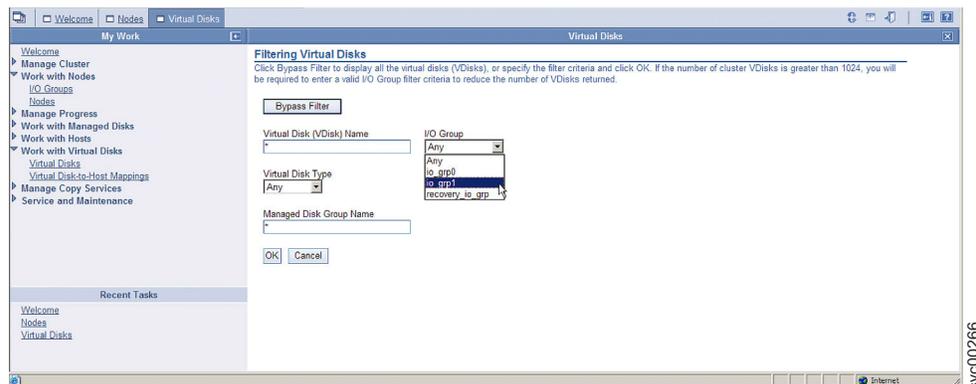


図 46. 仮想ディスクのフィルター操作

4. 「入出力グループ」ドロップダウン・メニューを開き、このノードに対してステップ 2 (331 ページ) で書き留めておいた入出力グループを選択します。次に、「OK」をクリックします。この入出力グループ内の仮想ディスク一覧が表示されます。「オンライン」となっている入出力グループ内の各仮想ディスクの状態をチェックします。この場合、表示対象ページが 1 ページを超える場合があります。

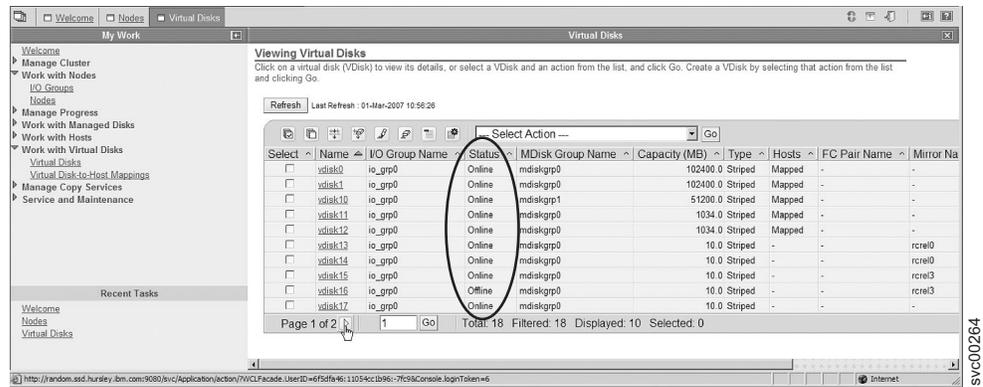


図 47. 仮想ディスクの状況

どの VDisk も劣化状態として表示される場合は、入出力内の 1 つだけのノードがその VDisk に対する入出力要求を処理しています。そのノードが電源オフされると、この劣化状態の VDisk に入出力処理を依頼している全ホストがそれによって影響を受けます。

どの仮想ディスクも劣化状態であり、かつ、その原因の可能性として、入出力グループ内のパートナー・ノードが最近電源オフされたことが確実である場合、画面がリフレッシュされて全仮想ディスクがオンライン表示されるまで待ちます。電源オフされているパートナー・ノードの全仮想ディスクは、30 分以内にはオンラインになるものと考えられます。

5. 処理を継続し、ノードを電源オフすることが問題ないと考えた場合は、「私の作業 (My Work)」 ペインで、「ノードの作業」 → 「ノード」の順にクリックします。クラスター内のノード一覧が表示されます。冗長 AC 電源スイッチに接続しているノードを選択し、ドロップダウン・リストから「ノードのシャットダウン」を選択します。

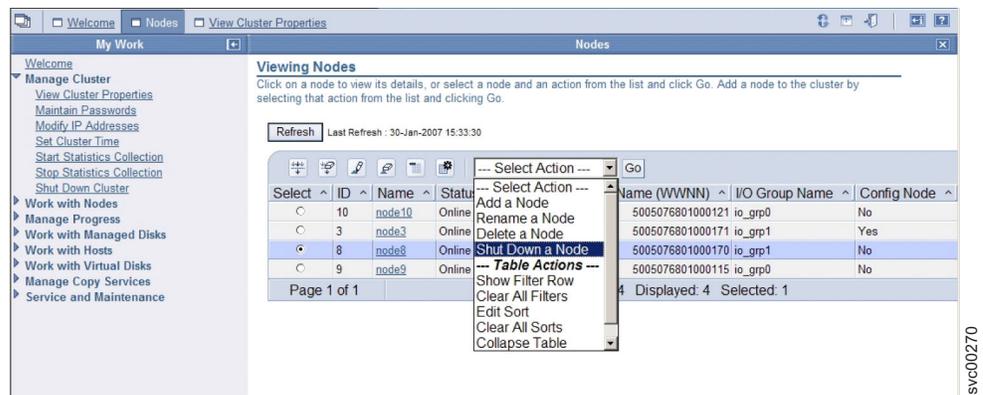


図 48. ノードのシャットダウン

シャットダウン時にこのノードはそのデータ構造を自分のローカル・ディスクに保存し、キャッシュ内に保持していたすべての書き込みデータを SAN ディスクにデステージします。このデステージ処理には数分を要する可能性があります。

この処理の最後にノードが電源オフされます。

SAN ボリューム・コントローラー CLI を使用してノードの電源をオフにする方法

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー CLI を使用してノードの電源をオフにする方法を記載してあります。

1. **svcinfn lsnode** CLI コマンドを発行して、クラスターと各ノード・プロパティ内のノード一覧を表示します。シャットダウンしようとするノードを探して、そのノードが所属する入出力グループ名を書き留めます。その入出力グループ内の他ノードが「オンライン」であることを確認します。

```
svcinfn lsnode -delim :
```

```
id:name:UPS_serial_number:WWNN:status:IO_group_id: IO_group_name:config_node:
UPS_unique_id
1:group1node1:10L3ASH:500507680100002C:online:0:io_grp0:yes:202378101C0D18D8
2:group1node2:10L3ANF:5005076801000009:online:0:io_grp0:no:202378101C0D1796
3:group2node1:10L3ASH:5005076801000001:online:1:io_grp1:no:202378101C0D18D8
4:group2node2:10L3ANF:50050768010000F4:online:1:io_grp1:no:202378101C0D1796
```

どの仮想ディスクも劣化状態であり、かつ、その原因の可能性として、入出力グループ内のパートナー・ノードが最近電源オフされたことが確実である場合、画面がリフレッシュされて全仮想ディスクがオンライン表示されるまで待ちます。電源オン対象のパートナー・ノードの全仮想ディスクは、30 分以内にはオンラインになるものと考えられます。

2. **svcinfn lsvdisk** CLI コマンドを発行して、入出力グループ (ステップ 1 でこのノードに対して書き留めておいた入出力グループ) が管理対象とする VDisk をリストします。

```
svcinfn lsvdisk -filtervalue IO_group_name=io_grp0 -delim :
```

```
0:mainvdisk1:0:io_grp0:online:0:mainmdiskgroup: 512.0GB:striped:::
1:bkpvdisk1:1:io_grp0:online:1:bkpmdiskgroup: 512.0GB:striped:::
```

この入出力グループ内の仮想ディスク一覧が表示されます。入出力グループ内の各仮想ディスクの状況がオンラインであることを確認します。

電源オフ対象のノードが「オフライン」として表示される場合は、そのノードはこのクラスターに関係しておらず、入出力要求を処理していません。これらの環境では、ノード上の電源ボタンを使用してノードをオフに切り替える必要があります。

電源オフの対象ノードが「オンライン」として表示されているが、その入出力グループ内の他ノードが「オンライン」でない場合は、このノードを電源オフすると、入出力グループの管理対象となる VDisk に入出力処理依頼する全ホストが影響を受けます。

どの VDisk も劣化状態として表示される場合は、入出力内の 1 つだけのノードがその VDisk に対する入出力要求を処理しています。そのノードが電源オフされている場合、この劣化状態の VDisk に入出力処理を依頼している全ホストがそれによって影響を受けます。

3. 処理を継続し、ノードを電源オフすることが問題ないと考えた場合は、**svctask stopcluster -node <name>** CLI コマンドを発行してノードを電源オフします。必ず、以下のように **-node** パラメーターを指定してください。その理由は、クラスター全体を電源オフしたくないからです。

```
svctask stopcluster -node group1node2
Are you sure that you want to continue with the shut down?
(シャットダウンを続けますか?)
yes
```

シャットダウン時にこのノードはそのデータ構造を自分のローカル・ディスクに保存し、キャッシュ内に保持していたすべての書き込みデータを SAN ディスクにデステージします。このデステージ処理には数分を要する可能性があります。

この処理の最後にノードが電源オフされます。

SAN ボリューム・コントローラーの電源ボタンの使用

緊急時を除き、電源ボタンを使用してノードを電源オフしないでください。

この方法で電源オフすると、フロント・パネルでクラスター状態をチェックできません。このため、この電源オフによって、クラスターに対する処理中断が必要以上に発生しやすくなっているかどうかを見分けられません。この方法の代わりに、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールまたは CLI コマンド (前記のトピックに記述) を使用して、アクティブ・ノードを電源オフします。

この電源ボタンを使用する方法をとる必要がある場合は、各 SAN ボリューム・コントローラーのモデル・タイプには前面に電源ボタンがあることに注意してください。

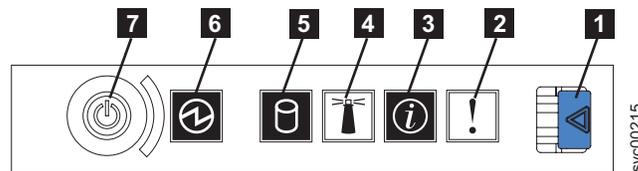


図 49. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置

- 1 ライト・パス診断パネル用リリース・ラッチ
- 2 システム・エラー LED (こはく色)
- 3 システム情報 LED (こはく色)
- 4 位置 LED (青)
- 5 ハード・ディスク・アクティビティー LED (緑)
- 6 電源 LED (緑)
- 7 電源制御ボタン

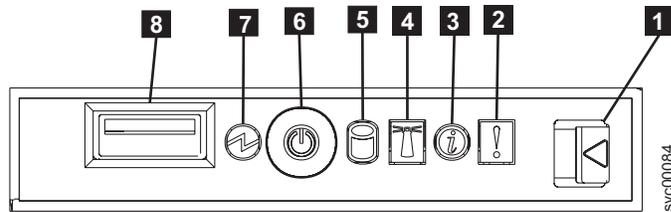


図 50. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置

- 1 ライト・パス診断パネル用リリース・ラッチ
- 2 システム・エラー LED (こはく色)
- 3 情報 LED (こはく色)
- 4 位置 LED (青)
- 5 ハード・ディスク・アクティビティ LED (緑)
- 6 電源制御ボタン
- 7 電源 LED (緑)
- 8 USB コネクター

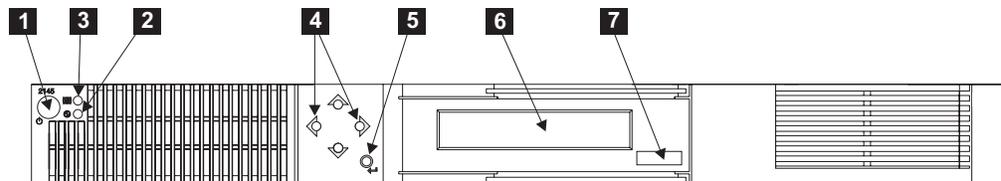


図 51. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のコントロールとインディケータ

- 1 電源ボタン
- 2 電源 LED
- 3 検査 LED
- 4 ナビゲーション・ボタン
- 5 選択ボタン
- 6 フロント・パネル表示
- 7 ノード識別ラベル

電源ボタンを使用して電源オフしても安全であると考えた場合は、電源ボタンを押してすぐに放します。フロント・パネル表示が変わって、「電源オフ中 (Powering Off)」が表示され、進行状況表示バーが表示されます。

あまり長い間電源ボタンを押したままにすると、そのノードでは、必ずしもすべてのデータを自分のローカル・ディスクに書き込むことができません。この場合、こ

のノードを再始動するのに、通常よりも実施項目が多い保守手順が必要となります。すなわち、この手順にはクラスターからのノードの削除、および削除されたノードをクラスターに追加して戻す作業が含まれます。

パワーオフ

図 52. パワーオフの表示

このノードでは、電源オフ時に自分のデータ構造をディスクに保存します。電源オフには、5 分を要する可能性があります。

電源ボタンを使用して (または電源障害が原因で) ノードが電源オフされた場合、その入出力グループ内のパートナー・ノードは、新規の書き込みデータに対してそのキャッシュの使用を即時中止して、キャッシュ内に既書き込まれたデータすべてを SAN 接続ディスクにデステージします。このデステージに要する時間はディスク・コントローラーの速度と使用状況により異なります。このデステージは 15 分未満で完了するものと考えられますが、もっと長くなる可能性もあり、オフライン状態のディスクへの書き込み待ちになっているデータがある場合は、デステージが完了できません。

あるノードのパートナー・ノードが入出力処理を継続している最中に、そのノードの電源オフと再始動を行うと、そのノードは入出力グループのアクティブ・メンバーに即時になることができない可能性があります。このノードは、パートナー・ノードがキャッシュのデステージを完了するまで待つ必要があります。この期間中にパートナー・ノードが電源オフされると、この入出力グループが管理対象とする SAN ストレージへのアクセスができなくなります。2145 ノードがそのキャッシュ・データをデステージしているこの期間中は、入出力グループが管理対象とする VDisk の状況は「劣化 (Degraded)」となります。

MAP 5400: フロント・パネル

MAP 5400: フロント・パネルは、SAN ボリューム・コントローラー・フロント・パネルで発生した問題の解決に役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

このマップは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に対して使用されます。この手順を開始する前に、どのモデルを使用するかを必ず確認してください。取り扱うモデルを判別するには、SAN ボリューム・コントローラーの概要を参照してください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- SAN ボリューム・コントローラー・システムの取り付けの際に問題が発生し、フロント・パネル表示テストに失敗したか、または正しいノード番号が表示されない。

- 別の MAP によってここに送られた。

次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルの電源オン・インディケーターが緑色で点灯していますか？

いいえ 電源 MAP を継続します。

はい ステップ2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネルのサービス・コントローラーのチェック・インディケーターがこはく色で点灯していますか？ 図 53 を参照してください。

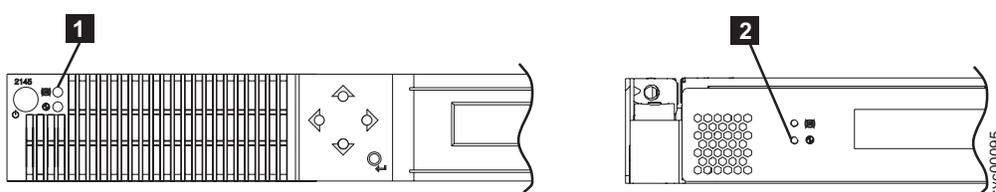


図 53. サービス・コントローラーのチェック・ライト

1 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーのチェック・ライト

2 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のサービス・コントローラーのチェック・ライト

いいえ 「選択」 ボタンを 5 秒間押し続けて、フロント・パネル・テストを開始します。ステップ 3 に進みます。

重要: ノードの電源がオンになるまで、少なくとも 2 分の間テストを開始しないでください。予期しない結果を受け取る可能性があります。

はい SAN ボリューム・コントローラーのサービス・コントローラーに障害が発生しています。以下の順序で、部品を交換します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	1. サービス・コントローラー 2. フロント・パネル・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	サービス・コントローラー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

3. (ステップ 2 から)

フロント・パネルの検査ライトが点灯し、すべての表示ビットの表示テストが 3 秒間オンになった後、3 秒間オフになり、縦線が左から右に移動し、続いて水平線が上から下に移動します。テストは完了し、画面の中央にスイッチ・テスト表示の単一の長方形が表示されます。

フロント・パネル・ライトと表示の作動状況は、説明のとおりでしたか？

いいえ SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネルが表示テストに失敗しました。

- 以下の順序で、部品を交換します。

SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2	1. サービス・コントローラー 2. フロント・パネル・アセンブリー
SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4	サービス・コントローラー

- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい ステップ4 に進みます。

4. (ステップ 3 (338 ページ) から)

図 54 は、ボタンを押さないとき、「上」ボタン、「左」ボタンおよび「右」ボタン、ならびに「選択」ボタンを押したときの、フロント・パネル表示の表示例を 4 つ示します。フロント・パネル・スイッチ・テストを行うには、任意の順序または組み合わせで任意のボタンを押します。表示には、押したボタンが示されます。

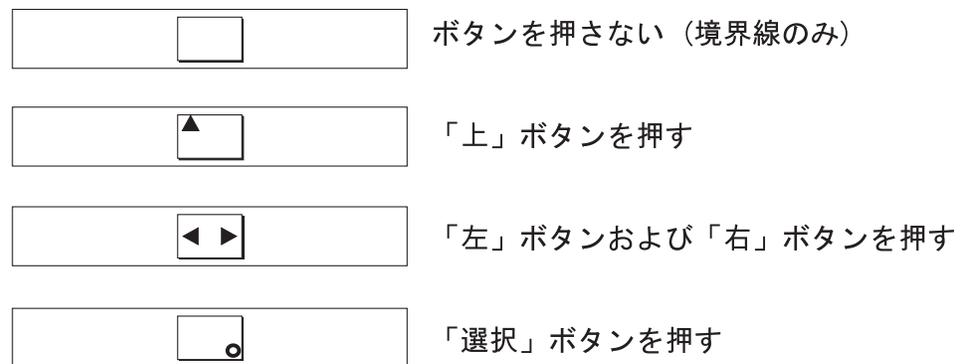


図 54. フロント・パネル表示でボタンを押す順序

各スイッチを順番に検査します。保守パネルのスイッチおよび表示の作動状況は図 54 のとおりでしたか？

いいえ SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネルがスイッチ・テストに失敗しました。

- 以下の順序で、部品を交換します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	1. フロント・パネル・アセンブリー 2. サービス・コントローラー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	サービス・コントローラー

- 修復検査 MAP を継続して、修復を検査します。

はい 「選択」 ボタンを 5 秒間押し続けて、このテストを終了します。ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 (325 ページ) から)

フロント・パネル表示は、充電中、クラスター・エラー、またはノード・エラーを表示していますか?

いいえ ステップ6 に進みます。

はい 「下」 を押します。ステップ6 に進みます。

6. フロント・パネル表示は現在そのデフォルト・メニューを表示していますか?

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』を継続してください。

はい メニュー画面の行 1 にノードが表示されるまで、「下」 ボタンを押しつづけ、離します。ステップ 7 に進みます。

7. (ステップ 6 から)

この MAP は新規ノードの取り付けの一環として使用されていますか?

いいえ フロント・パネル・テストは、障害未検出で完了しました。 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい ステップ8 に進みます。

8. (ステップ 7 から)

メニュー画面の行 2 に表示されるノード番号は、ノードのフロント・パネルに印刷されたノード番号と同じですか?

いいえ フロント・パネルの電子部品に保管されたノード番号は、フロント・パネルに印刷されたものと同じではありません。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	フロント・パネル・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	サービス・コントローラー

はい フロント・パネル・テストは、障害未検出で完了しました。 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

関連概念

105 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション』メニュー・オプションは、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』
並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

296 ページの『MAP 5000: 開始』
MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

310 ページの『MAP 5100: 電源 2145-4F2』
MAP 5100: 電源 2145-4F2 は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の電源で発生した問題の解決に役立ちます。 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用している場合、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ノード用の MAP を参照します。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』
MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

371 ページの『第 9 章 部品の取り外しと交換』
SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、および無停電電源装置から、現場交換可能ユニット (FRU) を取り外し、再取り付けすることができます。

MAP 5500: イーサネット

MAP 5500: イーサネットは、SAN ボリューム・コントローラー・イーサネットで発生した問題の解決に役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

このマップは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に対して使用されます。この手順を開始する前に、どのモデルを使用するかを必ず確認してください。取り扱うモデルを判別するには、SAN ボリューム・コントローラーの概要を参照してください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- SAN ボリューム・コントローラー・システムの取り付けの際に問題が発生し、イーサネット検査が失敗した。
- 別の MAP によってここに送られた。

次の手順で行います。

注: 構成ノードへのイーサネット接続が失敗する場合は、クラスターが障害状態を報告できず、また、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールがクラスターにアクセスできないため管理タスクおよびサービス・タスクを実行できません。このようなケースでこのクラスターに即時アクセスする必要がある場合は、クラスターが代替構成ノードを使うようにすることができます。1 つのみのノードが、フロント・パネルで「ノード・エラー 540」を表示する場合は、以下のステップを実行してください。

1. 「ノード・エラー 540」を表示するノードの電源ボタンを押してから離します。
2. フロント・パネルのディスプレイで「電源オフ」が表示されるときは、再度電源ボタンを押します。

「再始動」が表示されます。クラスターは新規構成ノードを選択することになります。SAN ボリューム・コントローラー・コンソールはクラスターに再度アクセスできます。

1. クラスター内のどのノードのフロント・パネルもエラー・コード 540 の「ノード・エラー (Node Error)」を表示していますか?

いいえ ステップ 2 に進みます。

はい ステップ4 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

フロント・パネルはエラー・コード 1400 の「クラスター・エラー (Cluster Error)」を表示していますか?

いいえ ステップ 3 に進みます。

はい ステップ6 (344 ページ) に進みます。

3. (ステップ 2 から)

フロント・パネルを使用して、イーサネット・ポート状況を表示します。クラスター内の各ノード上でイーサネット状況をチェックします。

表示は「失敗しました (Failed)」のイーサネット・ポート状況を表示していますか?

いいえ ステップ6 (344 ページ) に進みます。

はい ステップ4 に進みます。

4. (ステップ 1 および 3 から)

エラーを示しているノード上では、イーサネット・ケーブルをイーサネット・ポート 2 (上方または右方のイーサネット・ポート) に移動します。

注: このイーサネット・ポートは通常稼働時は機能しません。このイーサネット・ケーブルは、ケーブルのテスト時にこの位置に移動します。このイーサネット・ケーブルは、問題解決時にはポート 1 に戻す必要があります。

イーサネット・ポート・アセンブリーで緑色の LED が点滅している場合。343 ページの図 55 を参照してください。

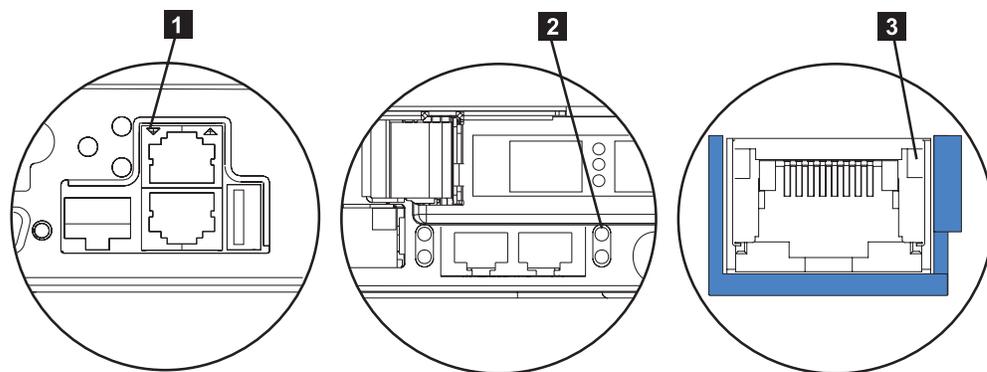


図 55. イーサネット接続 LED

1 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の下部イーサネット接続 LED

2 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の左方イーサネット接続 LED

3 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のイーサネット接続 LED

いいえ ステップ 5 に進みます。

はい システム・ボード・アセンブリーのイーサネット・インターフェースが正しく作動していません。

次のタスクを行います。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の場合、システム・ボード・アセンブリーを交換します。
- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の場合、フレーム・アセンブリーを交換します。
- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

5. (ステップ 4 (342 ページ) から)

その他のどのノード上でもイーサネット・ケーブルをイーサネット・ポート 2 (上方または右方のイーサネット・ポート) に移動します。

注: このイーサネット・ポートは通常稼働時は機能しません。このイーサネット・ケーブルは、ケーブルのテスト時にこの位置に移動します。このイーサネット・ケーブルは、問題解決時にはポート 1 に戻す必要があります。

イーサネット・ポート 2 で緑色の接続 LED が点灯している場合。図 55 を参照してください。

いいえ SAN ボリューム・コントローラーとイーサネット・ネットワーク間のイーサネット接続に障害があります。

- 次のタスクを行います。
 - イーサネット・ケーブルを新しいケーブルに交換します。

- ポート 2 LED が点灯していない場合。以下のステップを行います。
 - a. イーサネット・ハブの問題判別手順を使用して、イーサネット・ネットワークの接続問題を解決します。
 - b. 機能しているイーサネット・ポートが検出されると、このポート 2 の接続 LED が点灯します。
 - c. イーサネット・ケーブルを、それが元あったポート 1 の位置に戻します。
 - d. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい システム・ボード・アセンブリーのイーサネット・インターフェースが正しく作動していません。

次のタスクを行います。

- 以下の部品を交換します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	システム・ボード・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4	フレーム・アセンブリー

- 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

6. (ステップ 2 (342 ページ) および 3 (342 ページ) から)

これまでに報告されたイーサネット・インターフェースに関する障害は、これ以上は表示されません。イーサネットに伴う問題は修正済みの可能性があるか、または偶発的な問題が発生した可能性があります。イーサネット・インターフェースを故意に切り離していないかどうかを判別するためにお客様に確認します。また、イーサネット・ネットワークの他コンポーネントに関して、最近、イーサネット問題を修正したことがないかどうかチェックします。

イーサネット障害は直前の検査で説明されましたか?

いいえ 偶発的なイーサネット・エラーの可能性がります。問題が解決されるまで、以下のステップをこの順序で行います。

- a. イーサネット・ハブの問題判別手順を使用して、イーサネット・ネットワーク接続問題の有無のチェックおよび解決を行います。問題が解決された場合は、351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続します。
- b. このノード上で類似のイーサネット接続問題が最近発生していないかどうかを判別します。発生している場合は、イーサネット・ケーブルを交換します (既に交換済みの場合はその限りではありません)。その場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。
- c. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ポリウム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ポリウム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

MAP 5600: ファイバー・チャネル

MAP 5600: ファイバー・チャネルは、SAN ポリウム・コントローラーのファイバー・チャネル・ポートで発生した問題の解決に役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

このマップは、SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 に対して使用されます。この手順を開始する前に、どのモデルを使用するかを必ず確認してください。取り扱うモデルを判別するには、SAN ポリウム・コントローラーの概要を参照してください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- SAN ポリウム・コントローラー・システムの取り付けの際に問題が発生し、ファイバー・チャネル検査が失敗した。
- 別の MAP によってここに送られた。

ファイバー・チャネル・ポートによって起こった問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 または SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2 の問題を診断するためにここに進んできましたか?

いいえ ステップ2 に進みます。

はい ステップ 3 に進みます。

2. ファイバー・チャネル・ポート速度の問題を解決しようとしていますか?

いいえ ステップ 3 に進みます。

はい ステップ11 (350 ページ) に進みます。

3. SAN ポリウム・コントローラーのフロント・パネル表示で、ファイバー・チャネル・ポート 1 の状況を表示します。SAN ポリウム・コントローラーのメニュー・オプションに関するトピックを参照してください。

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示は、ファイバー・チャンネル・ポート 1 がアクティブであることを示していますか？

いいえ ファイバー・チャンネル・ポートが正しく作動していません。表示の 2 番目の行のポート状況を検査します。

- **非アクティブ:** ポートは操作可能ですが、ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできません。ファイバー・チャンネル・ケーブルに障害があるか、取り付けられていないか、あるいはケーブルの他方の端のデバイスに障害があります。ポート 1 をメモします。ステップ 8 (348 ページ) に進みます。
- **障害:** ポートは、ハードウェア障害のため操作不能です。ポート 1 をメモします。ステップ9 (348 ページ) に進みます。
- **未取り付け:** このポートは取り付けられていません。ポート 1 をメモします。ステップ 10 (349 ページ) に進みます。

はい 「右」ボタンを押して放し、ファイバー・チャンネル・ポート 2 を表示します。ステップ4 に進みます。

4. (ステップ 3 (345 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示は、ファイバー・チャンネル・ポート 2 がアクティブであることを示していますか？

いいえ ファイバー・チャンネル・ポートが正しく作動していません。表示の 2 番目の行のポート状況を検査します。

- **非アクティブ:** ポートは操作可能ですが、ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできません。ファイバー・チャンネル・ケーブルに障害があるか、取り付けられていないか、あるいはケーブルの他方の端のデバイスに障害があります。ポート 2 をメモします。ステップ 8 (348 ページ) に進みます。
- **障害:** ポートは、ハードウェア障害のため操作不能です。ポート 2 をメモします。ステップ9 (348 ページ) に進みます。
- **未取り付け:** このポートは取り付けられていません。ポート 2 をメモします。ステップ 10 (349 ページ) に進みます。

はい 「右」ボタンを押して放し、ファイバー・チャンネル・ポート 3 を表示します。ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示は、ファイバー・チャンネル・ポート 3 がアクティブであることを示していますか？

いいえ ファイバー・チャンネル・ポートが正しく作動していません。表示の 2 番目の行のポート状況を検査します。

- **非アクティブ:** ポートは操作可能ですが、ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできません。ファイバー・チャンネル・ケーブルに障害があるか、取り付けられていないか、あるいはケーブルの他方の端のデバイスに障害があります。ポート 3 をメモします。ステップ 8 (348 ページ) に進みます。
- **障害:** ポートは、ハードウェア障害のため操作不能です。ポート 3 をメモします。ステップ9 (348 ページ) に進みます。

- **未取り付け:** このポートは取り付けられていません。ポート 3 をメモします。ステップ 10 (349 ページ) に進みます。

はい 「右」 ボタンを押して放し、ファイバー・チャンネル・ポート 4 を表示します。ステップ 6 に進みます。

6. (ステップ 5 (346 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示は、ファイバー・チャンネル・ポート 4 がアクティブであることを示していますか?

いいえ ファイバー・チャンネル・ポートが正しく作動していません。表示の 2 番目の行のポート状況を検査します。

- **非アクティブ:** ポートは操作可能ですが、ファイバー・チャンネル・ファブリックにアクセスできません。ファイバー・チャンネル・ケーブルに障害があるか、取り付けられていないか、あるいはケーブルの他方の端のデバイスに障害があります。ポート 4 をメモします。ステップ 8 (348 ページ) に進みます。
- **障害:** ポートは、ハードウェア障害のため操作不能です。ポート 4 をメモします。ステップ 9 (348 ページ) に進みます。
- **未取り付け:** このポートは取り付けられていません。ポート 4 をメモします。ステップ 10 (349 ページ) に進みます。

はい ステップ 7 に進みます。

7. (ステップ 6 から)

これまでに報告されたファイバー・チャンネル・ポートに関する障害が表示されなくなりました。 SAN ファイバー・チャンネル・ファブリックに伴う問題は修正済みの可能性があるか、または偶発的な問題が発生した可能性があります。

お客様に相談して、一部のファイバー・チャンネル・ポートを切り離していなかったかどうか、または SAN ファイバー・チャンネル・ファブリックの一部のコンポーネントに障害があり、最近修正したかどうかを調べます。

上述の検査でファイバー・チャンネル・ポート障害は説明されていますか?

いいえ 偶発的なファイバー・チャンネル・エラーの可能性があります。

- SAN 問題判別手順を使用して、すべてのファイバー・チャンネル・ファブリックの接続問題の有無のチェックおよび解決を行います。問題が解決された場合は、351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続します。
- この SAN ボリューム・コントローラー・ノードの同一ポート上で最近発生した類似のファイバー・チャンネル・エラーがないかどうかチェックします。発生している場合は、ファイバー・チャンネル・ケーブルを交換します (既に交換済みの場合はその限りではありません)。ファイバー・チャンネル・ケーブルを交換済みの場合は、以下のテーブルに示したファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを交換します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ポート 1、2、3 または 4	ファイバー・チャンネル・アダプター
---	-------------------

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 1 または 2	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ ホスト・バス・アダプター (HBA) - ロー・ プロファイル
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 3 または 4	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル HBA - フルハイト
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA

c. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

8. (ステップ 3 (345 ページ)、4 (346 ページ)、5 (346 ページ)、およびステップ 6 (347 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーのメモされたポートは非アクティブの状況を表示しています。メモされたポートが、まだ非アクティブの状況を表示している場合は、メモされたポートに関連する部品を、次の順序で交換します。

- a. SAN ボリューム・コントローラー からファイバー・チャンネル・ネットワークへのファイバー・チャンネル・ケーブル。
- b. 障害のあるファイバー・チャンネル・ファブリック接続。SAN 問題判別手順を使用して、すべてのファイバー・チャンネル・ファブリックの接続問題を解決を行います。
- c. ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ポート 1、2、3 または 4	ファイバー・チャンネル・アダプター
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 1 または 2	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ ホスト・バス・アダプター (HBA) - ロー・ プロファイル
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 3 または 4	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル HBA - フルハイト
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA

d. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

9. (ステップ 3 (345 ページ)、4 (346 ページ)、5 (346 ページ)、およびステップ 6 (347 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーのメモされたポートは障害のある状況を表示しています。メモされたポートに関連する部品を、次の順序で交換します。

a. ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ポート 1、2、3 または 4	ファイバー・チャンネル・アダプター
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 1 または 2	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ ホスト・バス・アダプター (HBA) - ロー・ プロファイル
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 3 または 4	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル HBA - フルハイト
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA

b. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

10. (ステップ 3 (345 ページ)、4 (346 ページ)、5 (346 ページ)、およびステップ 6 (347 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーのメモされたポートは未インストールの状況を表示しています。ファイバー・チャンネル・アダプターを交換したばかりの場合は、正しくインストールされていることを確認します。既に他のシステム・ボードのコンポーネントを交換している場合は、ファイバー・チャンネル・アダプターに支障をきたしていないかを確認してください。

上述の検査でファイバー・チャンネル・アダプター障害は説明されていますか?

いいえ

a. ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ポート 1、2、3 または 4	ファイバー・チャンネル・アダプター
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 1 または 2	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル・ ホスト・バス・アダプター (HBA) - ロー・ プロファイル
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 3 または 4	デュアル・ポート・ファイバー・チャンネル HBA - フルハイト
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート 1、2、3 または 4	4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA

b. ファイバー・チャンネル・アダプター接続ハードウェア。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2	システム・ボード・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 1 または 2	1. ライザー・カード、PCI ロー・プロファ イル 2. フレーム・アセンブリー

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ポート 3 または 4	1. ライザー・カード、PCI 2. フレーム・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ポート 1、2、3 または 4	1. ライザー・カード、PCI Express 2. フレーム・アセンブリー
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ポート 1、2、3 または 4	1. ライザー・カード、PCI Express 2. フレーム・アセンブリー

c. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

11. (ステップ 2 (345 ページ) から) SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の場合、各ファイバー・チャンネル・ポートは、接続先スイッチとの動作速度の自動ネゴシエーションを行います。ポートの動作速度が、スイッチがサポートする速度より低速の場合は、リンク・エラーが多くの回数検出されることとなります。現在のリンク速度を表示するには、以下のステップを実行します。

- a. 保守パネルの最初の行に「FC Port-1:」が表示されるまで、フロント・パネルの「上」ボタンまたは「下」ボタンを押します。
- b. 必要なポートが表示されるまで、「左」ボタンまたは「右」ボタンを押します。
- c. 「下」ボタンを押し続けます。
- d. 「選択」ボタンを押して放します。
- e. 「下」ボタンを放します。

フロント・パネル・ディスプレイの 2 番目の行に、ポートの現在のファイバー・チャンネル速度が表示されます。

ポートは期待される速度より低速で作動していますか?

いいえ 障害のあるポートが特定されるまで、他のファイバー・チャンネル・ポートの検査を繰り返します。障害のあるポートが見つからない場合は、問題は存在しません。351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 以下のステップを実行します。

- a. ファイバー・チャンネル・ケーブルのルーティングを検査して、損傷がないこと、およびケーブル経路に急な曲がりがないことを確認します。曲がりの半径は、約 76 mm (3 インチ) 以上にする必要があります。ファイバー・チャンネル・ケーブルを再経路指定または交換します。
- b. ファイバー・チャンネル・ケーブルを 2 秒間取り外し、その後に再挿入します。これで、ファイバー・チャンネル・アダプターが、その動作速度の再ネゴシエーションを行います。

- c. ファイバー・チャンネル・ポートの速度を再検査します。現在正常である場合は、問題が解決されました。そうでない場合は、問題の原因が以下の 1 つである可能性があります。

- 4 ポート・ファイバー・チャンネル HBA
- ファイバー・チャンネル・スイッチ GBIC
- ファイバー・チャンネル・スイッチ

問題が解決されるまで、コンポーネントを変更し、速度を再検査します。その後、『MAP 5700: 修復検査』を継続して、修復結果を検査します。

関連概念

105 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション』メニュー・オプションは、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

関連タスク

289 ページの『SAN の問題判別』

ここで説明する SAN ボリューム・コントローラーを保守するための手順は、SAN ボリューム・コントローラーと、そのストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) への接続に関する問題の解決に役立ちます。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

関連資料

112 ページの『ファイバー・チャンネル・ポート 1 から 4 のオプション』

「ファイバー・チャンネル・ポート 1 から 4」オプションは、ファイバー・チャンネル・ポートの操作状況を表示します。

MAP 5700: 修復検査

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

修復を行い、マシン上に存在する問題がほかにないことを確認するために、ここに送られてきた可能性があります。

以下のステップを実行して修復を検証します。

1. すべての SAN ボリューム・コントローラーの電源 LED がオンになっていますか?電源 LED のトピックを参照してください。

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 (351 ページ) から)

すべての SAN ボリューム・コントローラーの検査 LED がオフになっていますか?検査 LED のトピックを参照してください。

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

はい ステップ 3 に進みます。

3. (ステップ 2 から)

すべての SAN ボリューム・コントローラーがフロント・パネル表示の先頭行に「クラスター」を表示 (2 行目は空白)、またはクラスター名を表示していますか?

いいえ 296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

はい ステップ 4 に進みます。

4. (ステップ 3 から)

いま修復したクラスター用の SAN ボリューム・コントローラー・アプリケーションを使用して、すべての構成済み管理対象ディスク (MDisk) の状況を検査します。

すべての MDisk の状況がオンラインですか?

いいえ オフラインの状況の MDisk がある場合は、その MDisk を修復します。障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別する方法に関するトピックを参照にして、オフラインの MDisk があるディスク・コントローラーを見つけます。この MAP へ戻る前に、ディスク・コントローラーの問題判別手順を使用して、MDisk の障害を修復してください。

機能低下の状況の MDisk がある場合は、この MAP に戻る前に、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) と MDisk の障害を修復してください。

除外の状況の MDisk がある場合は、この MAP へ戻る前に、MDisks を組み込みます。

296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

はい ステップ 5 に進みます。

5. (ステップ 4 から)

いま修復したクラスター用の SAN ボリューム・コントローラー・アプリケーションを使用して、すべての構成済み仮想ディスク (VDisk) の状況を検査します。

すべての vdisk の状況がオンラインですか?

いいえ ステップ 6 に進みます。

はい ステップ 7 (353 ページ) に進みます。

6. (ステップ 5 から)

| SAN ボリューム・コントローラーの修復に従うと、多くの VDisk がオフライン
| の状況を示しています。SAN ボリューム・コントローラーがデータの整合性を

確認できない場合は、VDisk はオフライン状態のままです。この VDisk が、完了しなかったコピーの宛先である可能性があるか、あるいはディスクに書き戻されなかったキャッシュ書き込みデータが脱落した可能性があります。この VDisk がオフラインになっている原因を判別します。この VDisk が、完了しなかったコピーの宛先だった場合、コピーを再開始してもかまいません。そうでない場合は、書き込みデータはディスクに書き込まれなかった可能性があり、その状態を検証できません。お客様の設置場所の手順を使って、どのようにして既知の状態にデータを復元するかを決定する必要があります。VDisk をオンラインにするには、全オフライン・ディスクをリカバリー入出力グループに移動した後で、再度アクティブ入出力グループに移動して戻します。296 ページの『MAP 5000: 開始』に進みます。

7. (ステップ 5 (352 ページ) から)

SAN ボリューム・コントローラーの修復が正常に完了しました。

関連タスク

289 ページの『SAN の問題判別』

ここで説明する SAN ボリューム・コントローラーを保守するための手順は、SAN ボリューム・コントローラーと、そのストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) への接続に関する問題の解決に役立ちます。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

関連資料

29 ページの『障害のあるエンクロージャーまたは CLI を使用したディスク・コントローラーの判別』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して障害のあるエンクロージャーまたはディスク・コントローラーを判別できます。

39 ページの『電源 LED』

緑色の電源 LED は、SAN ボリューム・コントローラーの電源状況を示します。

34 ページの『検査 LED』

こはく色の検査 LED は、サービス・コントローラーで重大な障害が発生していることを示すために使用されます。

119 ページの『第 7 章 SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置、およびマスター・コンソールに関する問題の診断』

SAN ボリューム・コントローラー、無停電電源装置、およびマスター・コンソールに関する問題を診断するには、コマンド行インターフェース (CLI) または SAN ボリューム・コントローラー・コンソールを使用できます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のユーザーは、エラーの原因を検出するのにライト・パス診断も使用できます。

関連情報

137 ページの『クラスター・エラー・コードの定義』

それぞれのクラスター・エラー・コードには、エラー・コード番号、説明、アクション、 および可能性のある現場交換可能ユニット (FRU) が組み込まれています。

MAP 5800: ライト・パス

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

以下の理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- オペレーター・パネルのエラー LED が点灯、または明滅している
- 別の MAP によってここに送られた。

関連タスク

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

457 ページの『フレーム・アセンブリの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

459 ページの『アダプター・アセンブリの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリを再取り付けする必要がある場合です。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のライト・パス

ノードが電源オンされているのを確認してから、以下のステップを実行してノードがブートできるようにします。

1. **SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネルでエラー LED が点灯、または明滅していますか?** 355 ページの図 56 を参照してください。

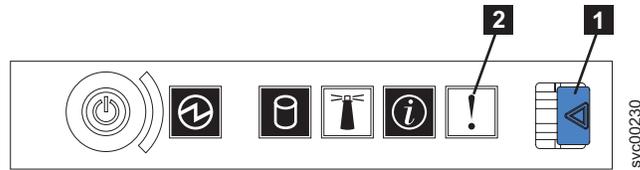


図 56. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置

1 リリース・ラッチ

2 エラー LED

いいえ 症状を見直して、296 ページの『MAP 5000: 開始』に戻ります。

はい ステップ2 に進みます。

2. (ステップ 1 (354 ページ) から)

リリース・ラッチを押して、ライト・パス診断パネルを開きます。図 57 を参照してください。

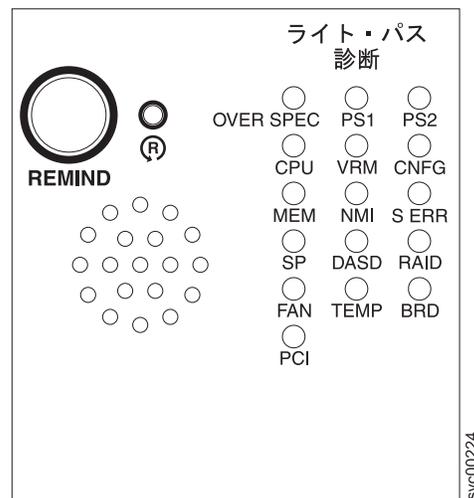


図 57. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ライト・パス診断パネル

ライト・パス診断パネルで 1 つ以上の LED が明滅していますか?

いいえ オペレーター・パネル・ケーブルが両端に正しくが配置されているかを確認します。エラー LED がまだ点灯しているが、ライト・パス診断パネルで LED が点灯していない場合は、以下の順で部品を交換します。

- a. オペレーター・パネル表示装置
- b. フレーム・アセンブリー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 357 ページの表 21 を参照にして、特定のライト・パス診断 LED 用に指定されたアクションを実行して、ステップ 3 (358 ページ) に進みます。アクションによっては、システム・ボード上の LED 状態を監視する必要があります。システム・ボード LED の位置は、356 ページの図

58 に示されます。ファン LED はそれぞれのファンに隣接して配置されています。必要な LED を表示するには以下を行います。

- a. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から電源を除去します。
- b. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4をラックから取り外します。
- c. 上部カバーを取り外し、ファン・ドアを開きます。
- d. ライト・パス診断ボタン **7** を押します。図 58 を参照してください。

注: ライト・パス診断ボタンは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から電源が切り離された時に、ライト・パス診断 LED を点灯するのに使用します。

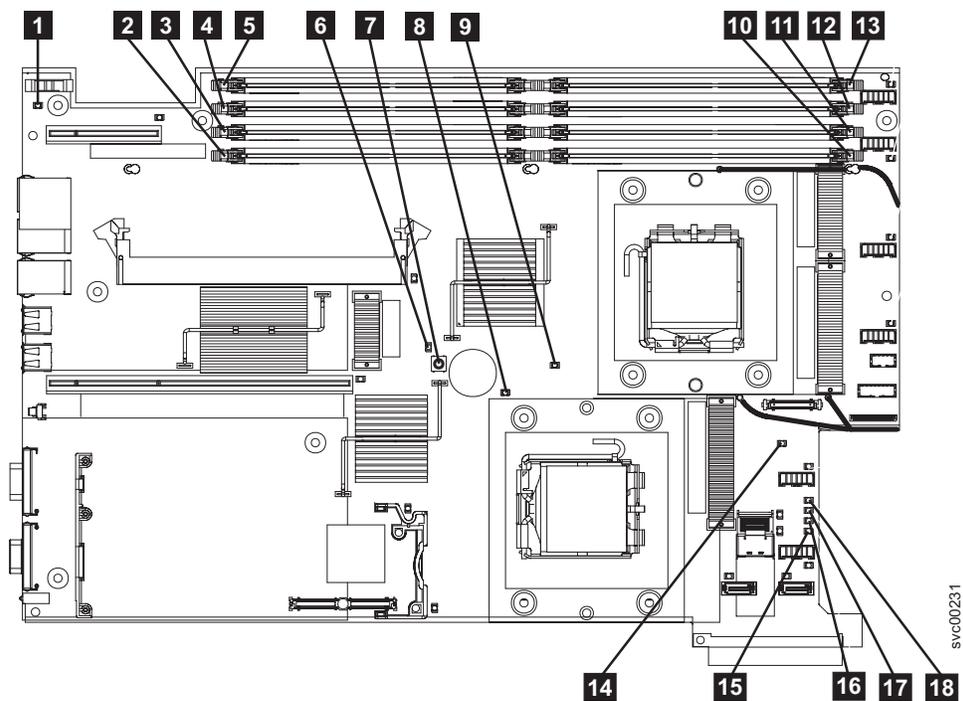


図 58. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボード

- 1** システム・ボードのバッテリー・エラー LED
- 2** DIMM 5 エラー LED
- 3** DIMM 6 エラー LED
- 4** DIMM 7 エラー LED
- 5** DIMM 8 エラー LED
- 6** ライト・パス診断アクティブ LED
- 7** ライト・パス診断ボタン

- 8 マイクロプロセッサ 2 エラー LED
- 9 マイクロプロセッサ 1 エラー LED
- 10 DIMM 1 エラー LED
- 11 DIMM 2 エラー LED
- 12 DIMM 3 エラー LED
- 13 DIMM 4 エラー LED
- 14 システム・ボード障害 LED
- 15 電源 B エラー LED
- 16 電源 A エラー LED
- 17 電源 C エラー LED
- 18 電源 D エラー LED

表 21. アクションを指示したパネル LED の診断

パネル LED の診断	アクション
OVER SPEC	電源機構の交換
PS1	電源装置を交換したばかりであれば、それが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合は、以下の順序で部品を交換します。 1. 電源機構 2. 電源バックプレーン
PS2	これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上では使用しません。これは誤った表示です。以下の順序で、部品を交換します。 1. 電源バックプレーン 2. オペレーター・パネル表示装置 3. フレーム・アセンブリー
CPU	マイクロプロセッサに障害が発生しました。障害が発生したマイクロプロセッサ (システム・ボード上に点灯した LED で示されている) が正しく取り付けられているかどうかを確認します。正しく取り付けられている場合は、マイクロプロセッサを交換します。
VRM	これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上では使用しません。
CNFG	マイクロプロセッサの構成エラー。取り付けられた各マイクロプロセッサに互換性があるかどうかをチェックしてください。

表 21. アクションを指示したパネル LED の診断 (続き)

パネル LED の診断	アクション
MEM	<p>システム・ボード上の DIMM LED を監視します。いずれかの DIMM LED が明滅していたら、すべてのスロットに正しいタイプの DIMM が取り付けられていることを確認します。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある DIMM 2. フレーム・アセンブリー <p>注: 複数の DIMM が、ライト・パス診断によって示されている場合は、診断で指示された最も低い番号の DIMM スロットから始めて DIMM を 1 つずつ取り外します。</p>
NMI	<p>マスク不可能割り込みが発生しました。サポート・センターに連絡して、この SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に適用する必要があるソフトウェアの更新を確認します。このノードがクラスターに結合しない場合は、ノード・リカバリーを実行します。ノード・リカバリーで問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換してください。</p>
S ERR	<p>ソフト・エラーが発生しました。サポート・センターに連絡して、この SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に適用する必要があるソフトウェアの更新を確認します。このノードがクラスターに結合しない場合は、ノード・リカバリーを実行します。ノード・リカバリーで問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換してください。</p>
SP™	<p>サービス・プロセッサで障害が起こりました。フレーム・アセンブリーを交換します。</p>
DASD	<p>これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上では使用しません。これは誤った表示です。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オペレーター・パネル表示装置 2. フレーム・アセンブリー
BRD	<p>バッテリー LED とシステム・ボード LED を監視します。バッテリー LED が点灯している場合は、バッテリーを交換します。システム・ボード LED が点灯している場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。</p>
FAN	<p>ファンに障害が発生し、ファン動きが非常に低速になるか、またはファンが除去されています。障害のあるファンは、TEMP LED が点灯する原因にもなります。障害のあるファン (システム・ボード上のファン・コネクタ 1 近くで点灯した LED で示される) を交換します。</p>
TEMP	<p>ファンに障害がある場合は、この手順を試みる前に、修復します。周辺温度が正常な操作仕様内であることを検査します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の内部およびその周辺の空気の流れが遮られていないことを確認します。状態が変わらない場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。</p>
RAID	<p>これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上では使用しません。</p>
PCI	<p>ファイバー・チャンネル・カードに障害が発生した可能性があります。ファイバー・チャンネル・カードとライザー・カードが正しく取り付けられていることを確認します。状態が変わらない場合は、ファイバー・チャンネル・カードを交換します。</p>

3. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して、操作が正しいかどうかを検証します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 用のライト・パス

ノードが電源オンされているのを確認してから、以下のステップを実行してノードがブートできるようにします。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネルでエラー LED が点灯、または明滅していますか? 図 59 を参照してください。

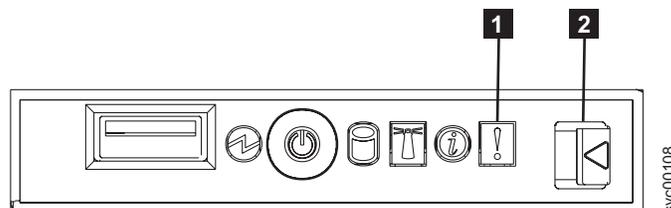


図 59. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 オペレーター・パネル表示装置

1 リリース・ラッチ

2 エラー LED

いいえ 症状を見直して、296 ページの『MAP 5000: 開始』に戻ります。

はい ステップ 2 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

リリース・ラッチを押して、ライト・パス診断パネルを開きます。図 60 を参照してください。

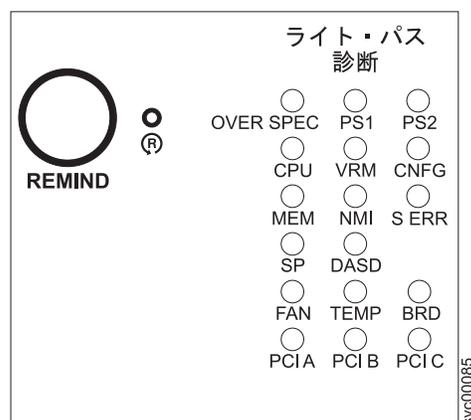


図 60. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 ライト・パス診断パネル

ライト・パス診断パネルで 1 つ以上の LED が明滅していますか?

いいえ オペレーター・パネル・ケーブルが両端に正しくが配置されているかを確認します。エラー LED がまだ点灯しているが、ライト・パス診断パネルで LED が点灯していない場合は、以下の順で部品を交換します。

- a. オペレーター・パネル表示装置
- b. ケーブル、シグナル、フロント・パネル
- c. フレーム・アセンブリー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい 361 ページの表 22 を参照にして、特定なライト・パス診断 LED 用に指定されたアクションを実行して、ステップ 3 (363 ページ) に進みます。アクションによっては、システム・ボード上またはファン・バックプレーン上の LED 状態を監視している必要があります。システム・ボード LED の位置は、図 61 に示されます。ファン LED はそれぞれのファンに隣接して配置されています。必要な LED を表示するには以下を行います。

- a. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 から電源を除去します。
- b. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をラックから取り外します。
- c. 上部カバーを取り外し、ファン・ドアを開きます。
- d. ライト・パス診断ボタン **1** を押します。図 61 を参照してください。

注: ライト・パス診断ボタンは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 から電源が切り離された時に、ライト・パス診断 LED を点灯するのに使用します。

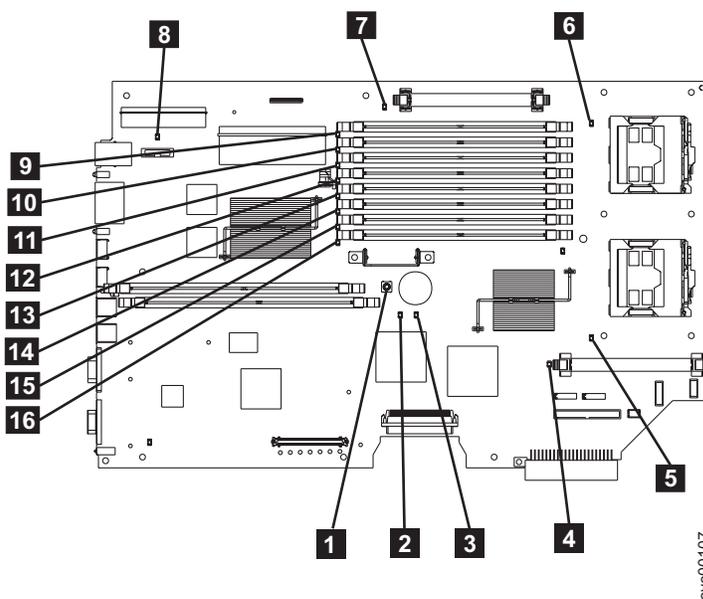


図 61. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のシステム・ボード

1 ライト・パス診断ボタン

- 2** システム・ボード障害 LED
- 3** ライト・パス・アクティビティ LED
- 4** VRM 2 エラー LED
- 5** CPU 2 エラー LED
- 6** CPU 1 エラー LED
- 7** VRM 1 エラー LED
- 8** バッテリー LED
- 9** DIMM 1 エラー LED
- 10** DIMM 2 エラー LED
- 11** DIMM 3 エラー LED
- 12** DIMM 4 エラー LED
- 13** DIMM 5 エラー LED
- 14** DIMM 6 エラー LED
- 15** DIMM 7 エラー LED
- 16** DIMM 8 エラー LED

表 22. アクションを指示したパネル LED の診断

パネル LED の診断	アクション
OVER SPEC	電源機構の交換
PS1	電源装置を交換したばかりであれば、それが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合は、以下の順序で部品を交換します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源機構 2. 電源バックプレーン
PS2	これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 では使用されません。これは誤った表示です。以下の順序で、部品を交換します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源バックプレーン 2. オペレーター・パネル表示装置 3. フレーム・アセンブリー
CPU	システム・ボード上の CPU インディケータを監視します。点灯した LED に隣接したマイクロプロセッサが障害を起こしています。正しくないタイプのマイクロプロセッサを取り付けると、LED が明滅します。以下の順序で、部品を交換します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロプロセッサ 2. フレーム・アセンブリー

表 22. アクションを指示したパネル LED の診断 (続き)

パネル LED の診断	アクション
VRM	<p>システム・ボード上の VRM インディケータを監視します。点灯した LED に隣接した VRM が障害を起こしています。VRM が正しく取り付けられていることを確認します。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VRM 2. フレーム・アセンブリー
CNFG	<p>システム・ボード LED のすべてを監視します。DIMM、マイクロプロセッサ、および VRM が正しく取り付けられていて、正しいタイプであることを確認します。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 点灯した LED に隣接するコンポーネント 2. フレーム・アセンブリー
MEM	<p>システム・ボード上の DIMM LED を監視します。いずれかの DIMM LED が明滅していたら、すべてのスロットに正しいタイプの DIMM が取り付けられていることを確認します。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある DIMM 2. フレーム・アセンブリー <p>注: 複数の DIMM が、ライト・パス診断によって示されている場合は、診断で指示された最も低い番号の DIMM スロットから始めて DIMM を 1 つずつ取り外します。</p>
NMI	<p>マスク不可能割り込みが発生しました。サポート・センターに連絡して、この SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 に適用する必要があるソフトウェアの更新を確認します。このノードがクラスターに結合しない場合は、ノード・リカバリーを実行します。ノード・リカバリーで問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換してください。</p>
S ERR	<p>ソフト・エラーが発生しました。サポート・センターに連絡して、この SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 に適用する必要があるソフトウェアの更新を確認します。このノードがクラスターに結合しない場合は、ノード・リカバリーを実行します。ノード・リカバリーで問題を解決できない場合は、フレーム・アセンブリーを交換してください。</p>
SP	<p>サービス・プロセッサで障害が起こりました。フレーム・アセンブリーを交換します。</p>
DASD	<p>これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 では使用されません。これは誤った表示です。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オペレーター・パネル表示装置 2. フレーム・アセンブリー
FAN	<p>ファン・バックプレーン上の LED を監視します。障害のある LED に隣接したファンが障害を起こしています。以下の順序で、部品を交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファン 2. ファン・バックプレーン

表 22. アクションを指示したパネル LED の診断 (続き)

パネル LED の診断	アクション
TEMP	ファンに障害がある場合は、この手順を試みる前に、修復します。周辺温度が正常な操作仕様内であることを検査します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の内部およびその周辺の空気の流れが遮られていないことを確認します。フレーム・アセンブリーを交換します。
BRD	バッテリー LED とシステム・ボード LED を監視します。バッテリー LED が点灯している場合は、バッテリーを交換します。システム・ボード LED が点灯している場合は、フレーム・アセンブリーを交換します。
PCI A	これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 では使用されません。これは誤った表示です。以下の順序で、部品を交換します。 1. オペレーター・パネル表示装置 2. フレーム・アセンブリー
PCI B	このバスに接続されたファイバー・チャンネル・アダプター・カードの 1 つが障害を起こしている可能性があります。両方のアダプターが正しく取り付けられ、ライザー・カードのラッチが完全に閉じられていることを確認します。可能な場合は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のフロント・パネルでファイバー・チャンネル・カード状況を表示して、障害のあるカードを判別します。そうでなければ、ファイバー・チャンネル・カードを 1 つずつ取り外して、障害のあるカードを判別します。以下の順序で、部品を交換します。 1. ファイバー・チャンネル・アダプター・カード 2. フレーム・アセンブリー
PCI C	フレーム・アセンブリーを交換します。

3. 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して、操作が正しいかどうかを検証します。

MAP 5900: ハードウェア・ブート

MAP 5900: ハードウェア・ブートはノードがブート・シーケンスを開始するのを妨げる問題を解決するのに役立ちます。

これらの保守分析手順 (MAP) に慣れていない場合は、まず MAP の使用に関するトピックをお読みください。

このマップは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2, SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に対して適用可能です。この手順を開始する前に、どのモデルを使用するかを認識してください。

以下のいずれかの理由で、ここに送られてきた可能性があります。

- ハードウェア・ブートの表示が連続的に表示される。図 62 を参照してください。

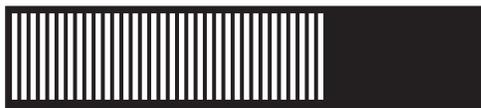


図 62. ハードウェア・ブートの表示

- ノード・レスキューの表示が連続的に表示される。図 63 を参照してください。



図 63. ノード・レスキュー要求の表示

- ブートの進行がハングし、ブート 100 がフロント・パネルに表示される。
- 別の MAP によってここに送られた。

以下のステップを実行してノードがブート・シーケンスを開始できるようにします。

1. これは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ですか？

いいえ ステップ 2 に進みます。

はい ステップ 3 に進みます。

2. (ステップ 1 から)

オペレーター・パネルでエラー LED が点灯、または明滅していますか？

いいえ ステップ 3 に進みます。

はい この問題を解決するには、354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』に進みます。

3. (ステップ 1 および 2 から)

SAN ボリューム・コントローラー・ノードを取り付けたばかりか、またはノード内の現場交換可能ユニット (FRU) を交換したばかりであれば、以下を実行します。

- ノードの電源を切ります。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
- ラックからノードを取り外します。372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』を参照してください。
- ノードから上部カバーを取り外します。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
- FRU の交換が完了したら、FRU が正しく取り付けられていること、FRU へすべて確実に接続されていることを確認します。

- e. すべてのメモリー・モジュールが正しく取り付けられていてラッチが完全に閉じられていることを確認します。419 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照してください。
- f. ファイバー・チャンネル・アダプター・カードが正しく取り付けられていることを確認します。465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』を参照してください。
- g. ディスク・ドライブおよびそのコネクタが正しく取り付けられていることを確認します。428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』を参照してください。
- h. サービス・コントローラーが正しく取り付けられていることを確認します。405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』を参照してください。
- i. これが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 でない場合は、オペレーター・パネル表示装置ケーブルがシステム・ボード上に正しく取り付けられていることを確認します。
- j. このノードの上部カバーを交換します。394 ページの『上部カバーの再取り付け』を参照してください。
- k. ノードをラックに再取り付けします。377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』を参照してください。
- l. このノードの電源を再度オンにします。

ブート操作でまだハングしますか?

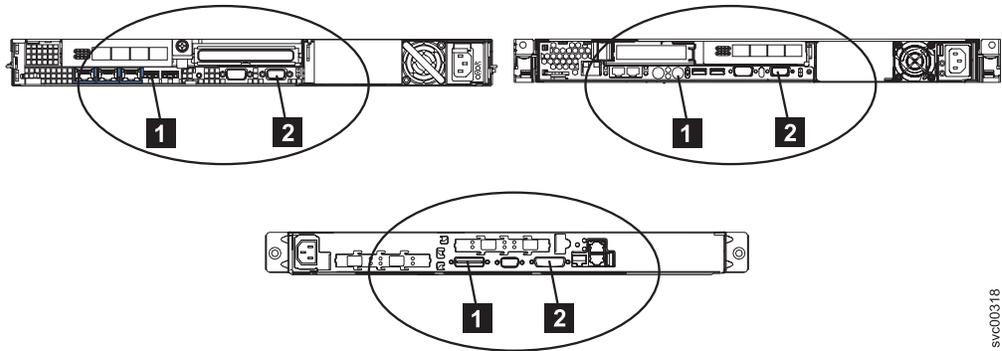
いいえ 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい ステップ 4 に進みます。

4. (ステップ 3 (364 ページ) から)

システム BIOS が何かエラーをレポートしていないかどうかをチェックします。BIOS 出力を表示するには、ディスプレイまたはキーボードを接続する必要があります。お客様が適切なディスプレイとキーボードを提供する必要があります。これが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の場合、ディスプレイとキーボードを接続するには特別なケーブルが必要です。このケーブルがない場合は、次のステップに進みます。

- a. SAN ボリューム・コントローラー の電源を切ります。
- b. キーボード (1) とディスプレイ (2) を接続します。366 ページの図 64 を参照してください。



svc00318

図 64. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 と SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 上のキーボード・ポートとモニター・ポート

- c. SAN ボリューム・コントローラーに電源を戻します。
- d. ディスプレイの表示内容を見ます。
 - POST シーケンスでエラーが表示された場合、または BIOS Configuration/Setup Utility プログラムで始動中にエラーが表示された場合、そのエラーを解決する必要があります。
 - 特定のハードウェア品目に伴うエラーが表示される場合は、ノードを電源オフし、そのノードをラックから除去します。表示された品目が正しく取り付けられているかどうかを確認し、そのノードを再取り付けしてから、ノードを再始動します。このエラーが依然としてレポートされる場合は、その表示された品目を交換します。
 - 構成エラーがレポートされる場合は、Configuration/Setup Utility プログラム・オプションを実行して、BIOS をそのデフォルト設定 (工場出荷時設定) にリセットします。
- e. ノードの電源を切り、キーボードとディスプレイを除去します。
- f. このノードの電源を再度オンにします。

ブート操作でまだハングしますか?

いいえ 351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

はい ステップ5 に進みます。

5. (ステップ 4 (365 ページ) から)
 - a. ノードの電源を切ります。
 - b. ラックからノードを取り外します。
 - c. ノードから上部カバーを取り外します。
 - d. メモリー・モジュールの一部を除去します。
 - SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を使用している場合は、Bank 1 で全メモリー・モジュールを除去します。
 - SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を使用している場合は、スロット 3 から 8 のメモリー・モジュールを除去します。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用している場合は、スロット 2、およびスロット 4 から 8 のメモリー・モジュールを除去します。

- インストールされているファイバー・チャンネル・カードをすべて取り外します。
- ディスク・ドライブを取り外します。
- このノードの上部カバーを交換します。
- ノードをラックに再取り付けします。
- このノードの電源を再度オンにします。

ブート操作でまだブート表示を出してハングするか、フロント・パネルに「ブート 100」が表示されますか？

注: FRU が取り外されると、ブートは別の障害コードでハングします。

いいえ 障害のある FRU が特定されるまで、1 つずつ FRU を交換します。

はい ステップ 6 に進みます。

6. (ステップ 5 (366 ページ) から)

- ノードの電源を切ります。
- ラックからノードを取り外します。
- ノードから上部カバーを取り外します。
- ファイバー・チャンネル・カードとディスク・ドライブを交換します。
- メモリー・モジュールを元の位置に戻します。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を使用している場合は、Bank 1 に全メモリー・モジュールを再度取り付け、Bank 2 にある全メモリー・モジュールを除去します。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を使用している場合は、スロット 3 - 8 から除去されたメモリー・モジュールのいずれか 2 つを使って、スロット 1 と 2 にメモリー・モジュールを再度取り付けます。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用している場合は、スロット 2 およびスロット 4 - 8 から除去されたメモリー・モジュールのいずれか 2 つを使って、スロット 1 と 3 にメモリー・モジュールを再度取り付けます。

- このノードの上部カバーを交換します。
- ノードをラックに再取り付けします。
- このノードの電源を再度オンにします。

ブート操作でまだブート表示を出してハングするか、フロント・パネルに「ブート 100」が表示されますか？

いいえ 障害のあるメモリー・モジュールを新規 FRU と交換し、351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して、修復を検証します。

はい 以下の順序で、部品を交換します。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の場合:

- a. サービス・コントローラー
- b. システム・ボード
- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の場合:
 - a. サービス・コントローラー
 - b. フレーム・アセンブリー

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』を継続して修復結果を検証します。

関連タスク

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

416 ページの『メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し』

1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要があることがあります。

419 ページの『メモリー・モジュールの交換』

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。 静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャネル・アダプターまたはファイバー・チャネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

457 ページの『フレーム・アセンブリーの取り替え』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、 および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

465 ページの『アダプター・アセンブリーの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要がある場合があります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』

一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要がある可能性があります。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

295 ページの『保守分析手順の使用』

並行保守を可能にするためには SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

351 ページの『MAP 5700: 修復検査』

MAP 5700: 修復検査は、現場交換可能ユニット (FRU) の新しい FRU との交換により、または実行した修復アクションにより、SAN ボリューム・コントローラーの問題がすべて解決されたかどうかを確認するのに役立ちます。

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

507 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換』

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

関連情報

240 ページの『ブート・コードの理解』

ブート・コードは、ノードをブートする際に表示画面に表示されます。

第 9 章 部品の取り外しと交換

SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、および無停電電源装置から、現場交換可能ユニット (FRU) を取り外し、再取り付けすることができます。

FRU ごとにその独自の取り外し手順があります。手順のステップで、別の取り外し/交換手順を参照することを指示される場合もあります。開始した最初の手順を続行する前に、新規の手順を完了することもできます。

部品の取り外しまたは交換は、保守分析手順 (MAP) でその取り外しまたは交換が指示された場合のみ実行してください。すべての問題判別手順および修復手順は、296 ページの『MAP 5000: 開始』から始めます。

関連タスク

296 ページの『MAP 5000: 開始』

MAP 5000: 開始は、SAN ボリューム・コントローラーの保守分析手順 (MAP) のエントリー・ポイントです。

354 ページの『MAP 5800: ライト・パス』

MAP 5800: ライト・パスを使用すると、ノードがブートするのを妨げている SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 でのハードウェア障害を解決するのに役立ちます。

並行保守の使用可能化

並行保守を使用可能にするには、SAN ボリューム・コントローラーをペアで構成する必要があります。

1 つの SAN ボリューム・コントローラーを保守する間に、もう 1 つは入出力グループを操作可能に保持します。並行保守を使用すると、SAN およびホスト・システムを電源オンして実動処理を行いながら、1 つの SAN ボリューム・コントローラーですべての現場交換可能ユニット (FRU) の取り外し、交換、およびテストを行うことができます。

重要: 両方の SAN ボリューム・コントローラーの電源を取り外さないでください。ただし、手順で行うよう指示されている場合はその限りではありません。

部品の取り外しおよび交換を行うための準備

部品の取り外しおよび交換をする前に、すべての安全問題を知っている必要があります。

まず、『*IBM Safety Information*』にある安全予防措置をお読みください。これらのガイドラインは、SAN ボリューム・コントローラー、冗長 AC 電源スイッチ、および無停電電源装置を安全に取り扱うのに役に立ちます。

SAN ボリューム・コントローラー の部品の取り外しと交換

SAN ボリューム・コントローラー の現場交換可能ユニットの取り外しと交換手順は次のトピックに説明されています。

ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し

一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

以下のトピックには、必須作業を記載してあります。

- 374 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ』
- ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し
 - 375 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の取り外し』
 - 376 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の取り外し』
 - 376 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の取り外し』

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

安全 1:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の規則を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 5:



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。

安全 26



注意:

ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



関連タスク

19 ページの『マスター・コンソールからの CLI へのアクセス』

コマンド行命令を入力して実行する必要がある場合、SAN ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェースは、マスター・コンソールでアクセスできます。

23 ページの『CLI を使用したクラスターからのノードの削除』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用してクラスターからノードを削除できます。

24 ページの『CLI を使用したクラスターへのノードの追加』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して、クラスターによって取り外しまたはリジェクトされたノードをクラスター内に追加できます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ

そうするように指示された場合は、SAN ボリューム・コントローラーのシャットダウンと電源オフを行ってから、部品の取り外しと再取り付けを行います。

SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ方法の詳細は、329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

重要: 他のなんらかの理由でホスト・システムまたはファイバー・チャンネル・スイッチをオフにする必要がない限り、SAN ボリューム・コントローラーの保守の際にそれらをオフにしないでください。SAN ボリューム・コントローラーのシャットダウンは、電源ケーブルを取り外してから行います。イーサネット・ケーブルとファイバー・チャンネル・ケーブルは、いつでも接続または切断できます。

SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ完了後は、以下のステップを行います。

1. SAN ボリューム・コントローラーの背面に接続されているすべての外部ケーブルの位置をメモします。
2. SAN ボリューム・コントローラーの背面から、すべての外部ケーブルを切り離します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を使用しており、電源ケーブル・リテーナーを取り付けてある場合は、ケーブルを取り外す前にリテーナーを取り外してください。

ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の取り外し

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を取り外すようにプロンプトが出された場合は、以下の手順を使用します。

SAN ボリューム・コントローラーが、まだ電源オフされていない場合は、374 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ』を参照してください。

重要: SAN ボリューム・コントローラーをラックから取り外す際、またはラックに取り付ける際に、隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触らないでください。隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触ると、これらのデバイスがパワーオフになって、お客様のデータがアクセス不能になる恐れがあります。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からケーブルを外します。
2. 保守位置でラッチされるまで、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を前方にスライドさせます。
3. これ以上、スライドがノードを保持しない時点でノードの重量を支えられるように作業者を位置付けてから、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の両サイドにある背面スライド・リリース・ラッチ **1** を押します。
4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を完全にスライドから引き出します。

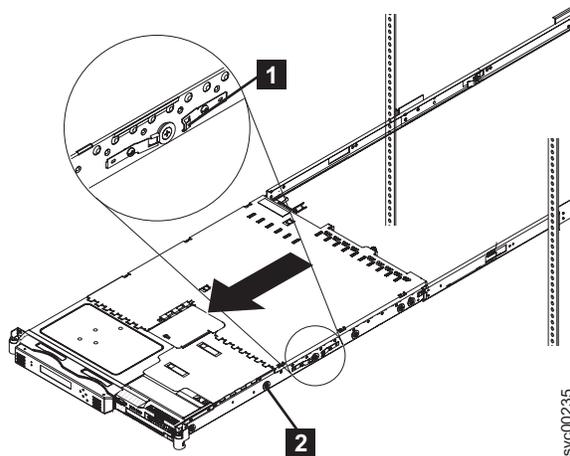


図 65. ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の取り外し

ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の取り外し

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を取り外すように指示された場合は、以下の手順を使用します。

SAN ボリューム・コントローラーが、まだ電源オフされていない場合は、374 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ』を参照してください。

重要: SAN ボリューム・コントローラーをラックから取り外す際、またはラックに取り付ける際に、隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触らないでください。隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触ると、これらのデバイスがパワーオフになって、お客様のデータがアクセス不能になる恐れがあります。

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を取り外す場合、以下のステップを行います。

1. ラックの前面にある 2 つのラッチをアンラッチします。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を前方に引いて、ラックから取り外します。

ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の取り外し

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を取り外すように指示された場合は、以下の手順を使用します。

SAN ボリューム・コントローラーが、まだ電源オフされていない場合は、374 ページの『SAN ボリューム・コントローラーの電源オフ』を参照してください。

重要: SAN ボリューム・コントローラーをラックから取り外す際、またはラックに取り付ける際に、隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触らないでください。隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触ると、これらのデバイスがパワーオフになって、お客様のデータがアクセス不能になる恐れがあります。

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 を取り外すには、以下のステップを行います。

1. 2 つの前面ねじ **1** を、図 66 に示すとおりにねじを抜きます。

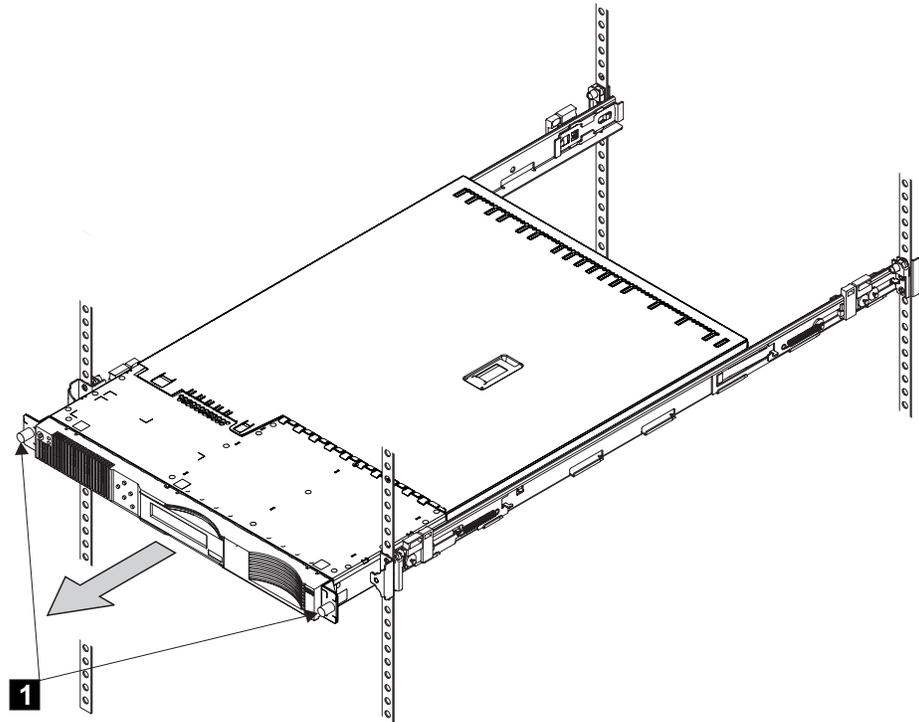


図 66. 前面のねじを抜いて、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を取り外します。

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を手前に引き、ラックから取り外します。

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

注: 最近ノードの現場交換可能ユニット (FRU) を交換した場合、修復したノードは通常は、電源オンにするとただちにクラスターに再結合し、その自己診断テストを完了しています。これには、ディスク・ドライブを交換したとき、あるいは何らかの理由で、ノードがその ID またはそのクラスター・メタデータの健全性を失ったときなどの若干の例外があります。こういう環境では、ノードはオフラインです。この修復を指定保守手順で実行すると、それらの手順は自動

的にノードをクラスターに復元します。修復を指定保守手順で実行しない場合は、ノードをクラスターから削除し、またクラスターに追加する必要があります。

安全 4:



注意:

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全 26



注意:

ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4をラックに再度取り付ける方法

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を再度取り付けるようにプロンプトが出された場合は、以下の手順に従います。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 をラックに再取り付けします。

1. ラック・キャビネットから約 150mm だけスライドを伸ばします。
2. ノード上の 2 つの後部ホイールをスライド内の開口部に位置合わせしてから、ノードをスライドの中に押し込んで、後部スライド・リリース・ラッチ **2** がカチッと音を立てて所定の位置に収まるようにします。これにより、スライド内でノードがロックされます。

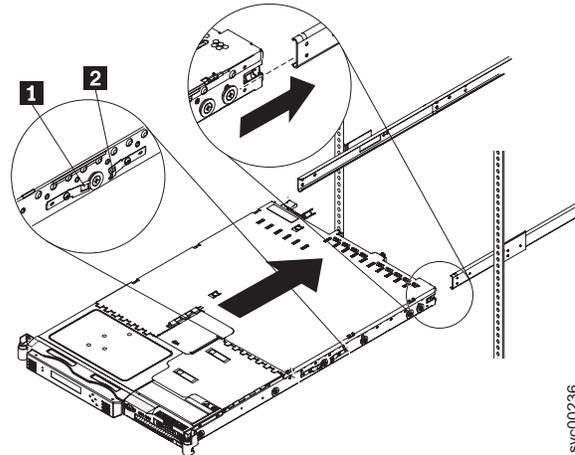


図 67. ラック・スライドと SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 とを位置合わせする方法

3. ラックからノードを引き出して、それによりスライドが完全に伸びきった状態にします。
4. ノードの両サイドにある前面スライド・リリース・ラッチ **1** を押して、ノードをラック・キャビネットの中へ移動し、外側に戻してノードが自由に動くことを検証します。
5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の背面に、すべての外部ケーブルを接続します。

重要: ラック上で、SAN ボリューム・コントローラーを取り外す際、隣接する SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の電源制御スイッチに触らないでください。隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触ると、これらのデバイスがパワーオフになって、お客様のデータがアクセス不能になる恐れがあります。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

6. SAN ボリューム・コントローラーのすべての電源を復元します。

ラックへの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の再取り付け

ラックから SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を再取り付けするようにプロンプトが出された場合は、以下の手順に従います。

以下のステップを行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をラックに再取り付けします。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をラックの中にスライドさせます。
2. ラック前面にある 2 つのラッチをラッチして、SAN ボリューム・コントローラーをラックに取り付けます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の場合は、2 個の前部ねじ **1** を留めます。図 68 を参照してください。

注: レール・アセンブリーの前面の外観は、図 68 に示す前面とは異なります。

3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面に、すべての外部ケーブルを接続します。

重要: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をラックに取り付ける場合、隣接する SAN ボリューム・コントローラー上の電源制御スイッチには触らないでください。隣接する SAN ボリューム・コントローラーの電源制御スイッチに触ると、これらのデバイスがパワーオフになって、お客様のデータがアクセス不能になる恐れがあります。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

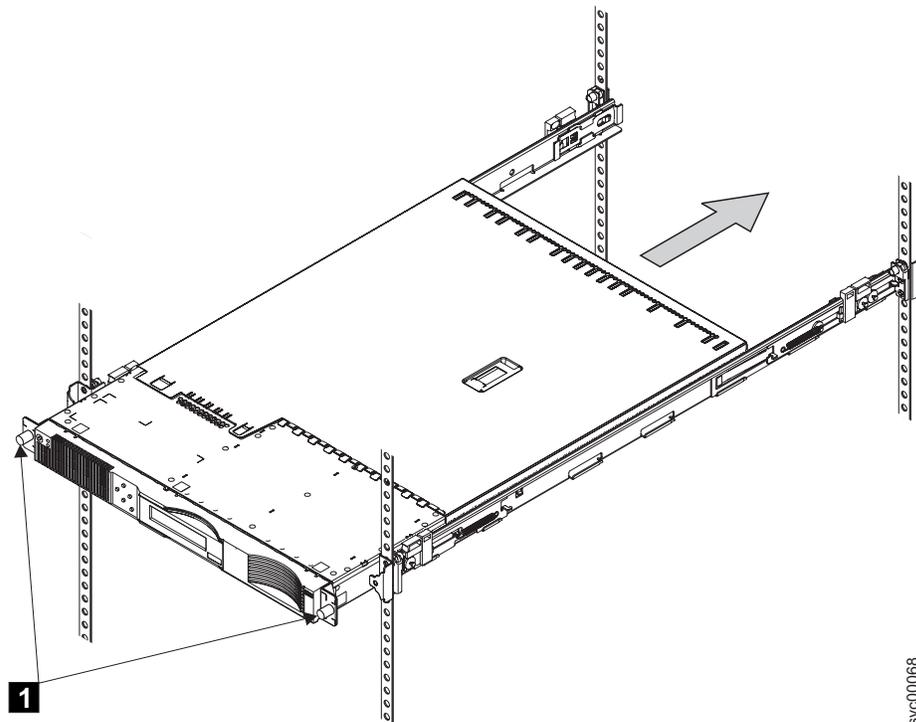


図 68. 前部ねじでの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の取り付け

4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 へすべての電源を復元します。

SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り外し

SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールは、SAN ボリューム・コントローラーの移動が必要な場合に取り外せます。

以下のトピックには、SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールを取り外す方法を記載してあります。

- 『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サポート・レールの取り外し』
- 382 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 サポート・レールの取り外し』

関連タスク

383 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り付け』

SAN ボリューム・コントローラーを保持するサポート・レールを取り付ける必要があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サポート・レールの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サポート・レールの取り外し方法を記載してあります。

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のサポート・レールを取り外します。

1. 左側背面の取り付け用フランジにスライド・レール **1** からねじ **2** を緩めて外し、スライド・レールを解放します。同じ方法で、右側背面の取り付け用フランジでねじを緩めて外し、もう一方のスライド・レールを解放します。

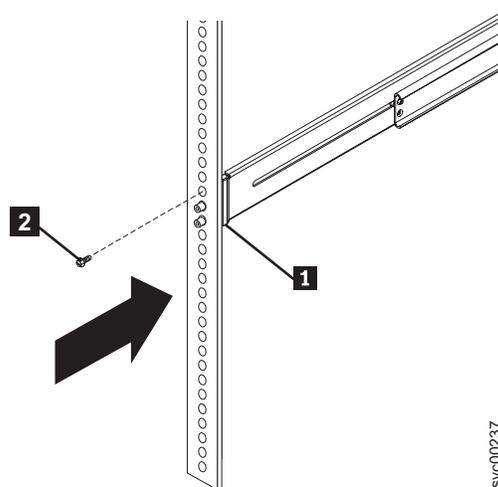


図 69. 背面取り付け用フランジからスライド・レールを取り外す方法

2. 拘束ねじ **3** を右側レール **2** の前面で緩めて外してから、ラッチ受け座 **1** を取り外します。同じ方法で左側レールの前面からもう一方のラッチ受け座を取り外します。

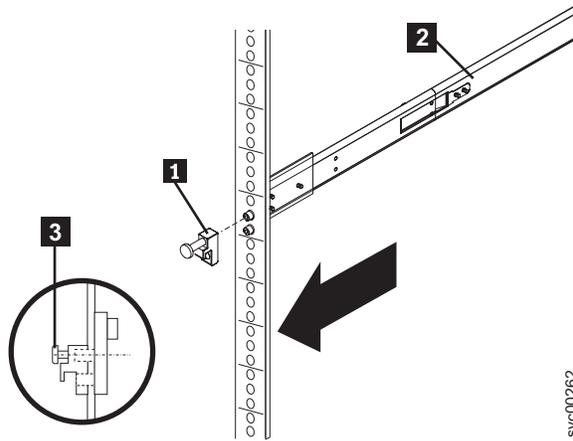


図 70. ラッチ受け座をレール前面から取り外す方法

3. 前面のラック・マウント用フランジからレール・ピン **1** を押して、右側スライド・レールを短くし、前面フランジからこのスライド・レールを取り外します。次に、右側スライド・レールを前方に引いて、背面のラック・マウント用フランジからこのスライド・レールを取り外します。同じ方法で左側スライド・レールも取り外します。

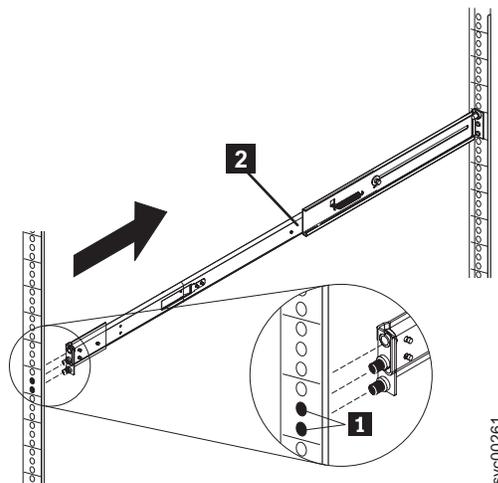


図 71. ラック前面からスライド・レールを取り外す方法

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 サポート・レールの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 サポート・レールの取り外し方法を記載してあります。

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールを取り外します。

1. 左方のサポート・レールの前部に進みます。
2. 左手の人さし指をラッチ・レバーの後端 **2** に置き、左の親指をラッチ・ロックの前端 **1** に置きます。

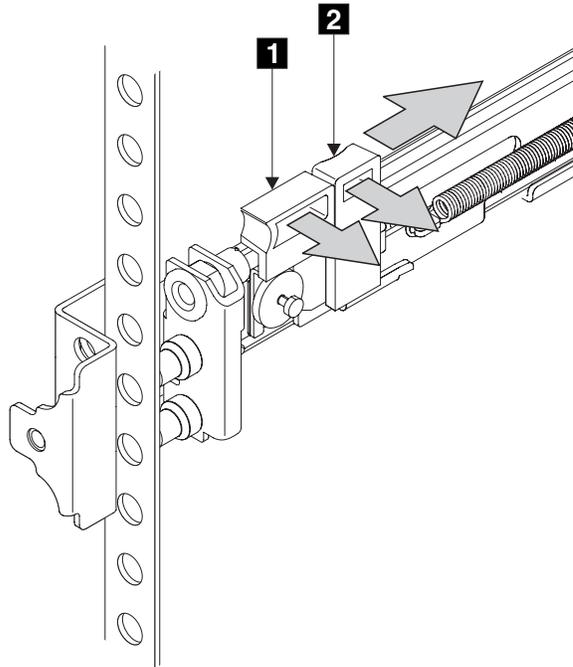


図 72. SAN ボリューム・コントローラー用左方サポート・レール

3. ラッチ・ロックを内側に軽く移動し、ラッチ・ロック・キャリアを、レールに止め金を掛けるまで、ラックの後方向に押します。
4. レールを前部ラック・マウント・フランジから引き出します。
5. レールの後部でもこのアクションを繰り返します。
6. ラックからレールを取り外します。
7. 右手のサポート・レールについて、ステップ 2 から 6 を繰り返します。

SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り付け

SAN ボリューム・コントローラーを保持するサポート・レールを取り付ける必要があります。

サポート・レールを取り付ける準備ができた時点で、以下の作業を行います。

- SAN ボリューム・コントローラーをラック内のどこに取り付けるかを決定します。
- ラック上の米国電子工業会 (EIA) マークの位置を参照して、サポート・レールを取り付ける場所を決定します。

SAN ボリューム・コントローラー の取り付け手順は、以下のトピックに記載してあります。

関連タスク

381 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールの取り外し』

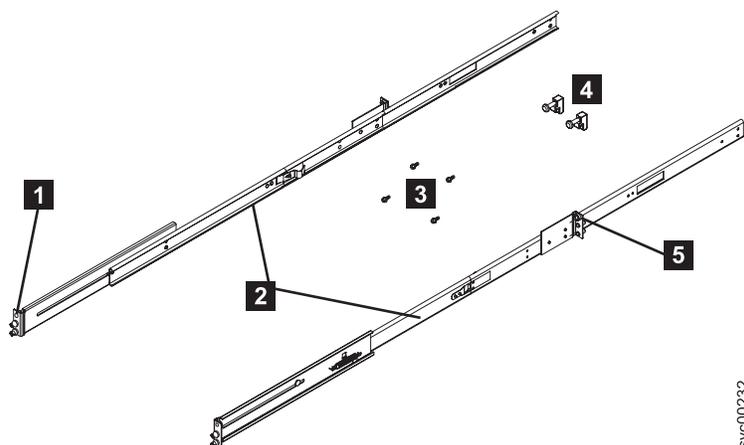
SAN ボリューム・コントローラーのサポート・レールは、SAN ボリューム・コントローラーの移動が必要な場合に取り外せます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のサポート・レールの取り付け

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を保持するサポート・レールを取り付ける必要があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のサポート・レールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. サポート・レールの取り付けに必要な全品目が揃っていることを確認します。



1 レールの背面

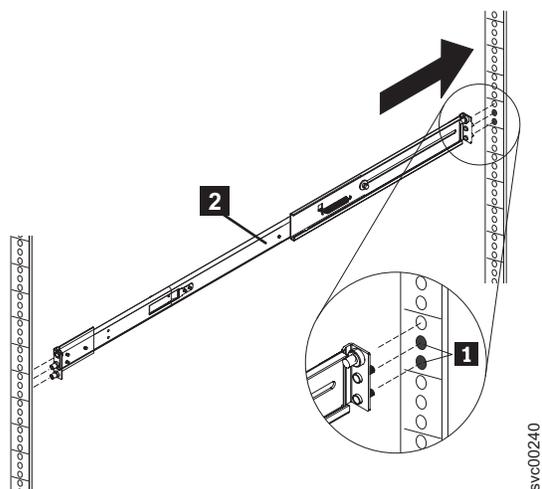
2 ラック・マウント用レール

3 M6 ねじ

4 ラッチ

5 レールの前面

2. ラック・ドアとサイド・パネルを除去して、取り付け時にアクセスしやすいようにします。
3. サポート・レール上のラベルを確認します。各レールには、レールの前面の端を示し、またラックの左右どちら側に取り付けるものであるかを示すラベルが付いています。この手順を両方のレールに行います。
4. 背面のラック・マウント・フランジに右側スライド・レール **2** を挿入します。この際、レール・ピン **1** がこのフランジから突き出た状態にします。



5. 右側スライド・レール **2** を延ばして、前面のラック・マウント・フランジに挿入します。この際、このレール・ピン **1** がこのフランジから突き出た状態にします。同じ方法で左側レールを挿入します。

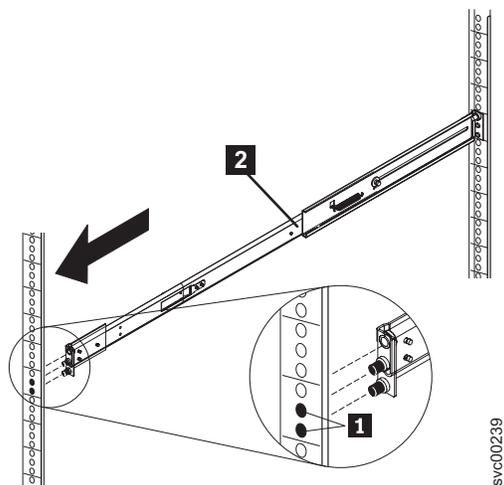
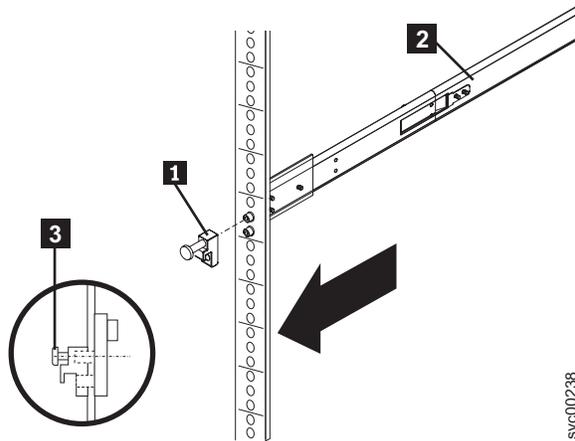
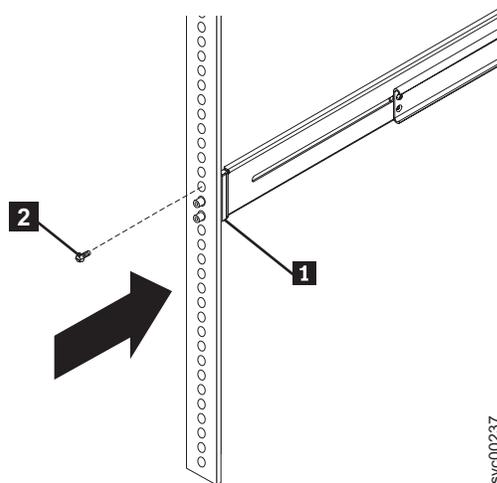


図 73. 右側レールを延ばします。

6. 一方のラッチ受け座 **1** を右側レール **2** の前面に取り付けます。この際、拘束ねじ **3** を使用します。このねじを締める場合は指だけを使用します。同じ方法で左側レールの前面にもう一方のラッチ受け座を取り付けます。



7. 単一のねじ **2** を使って、左側背面の取り付け用フランジにスライド・レール **1** を取り付けます。このねじを締める場合は指だけを使用します。同様に、もう一方のスライド・レールを右側背面の取り付け用フランジに取り付けます。



これで、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 をラック・キャビネットに取り付ける準備ができました。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 にサポート・レールを取り付ける方法

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、the SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を保持するサポート・レールを取り付ける必要があります。

サポート・レールを取り付けるには、次の手順で行います。

1. サポート・レール上のラベルを確認します。各レールには、レールの前面の端を示し、またラックの左右どちら側に取り付けるものであるかを示すラベルが付いています。この手順を両方のレールに行います。

2. ラッチ・レバー**1** (図 74) の側面に人指し指を置き、親指をラッチ・ロック**2** の正面に置きます。

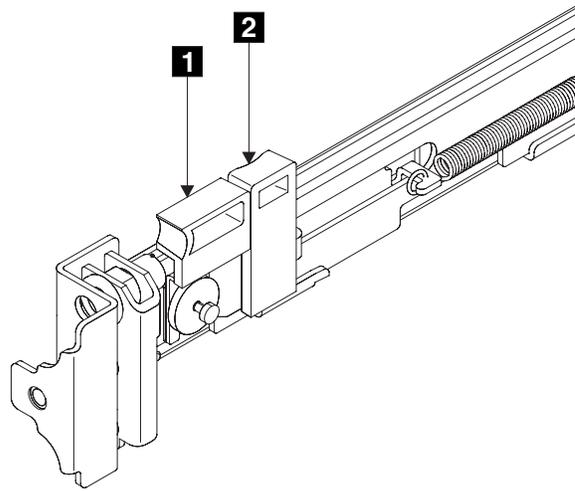


図 74. ラッチ・ロック・キャリアを引っ込める

1 ラッチ・レバー

2 ラッチ・ロック

3. ラッチ・レバー**1** をレール (図 75) の終端の方向に動かしながら、ラッチ・ロック**2** をレールから離れる方向に静かに押します。ラッチ・ロック・キャリア・アセンブリーが、ばねの強度でスライドします。

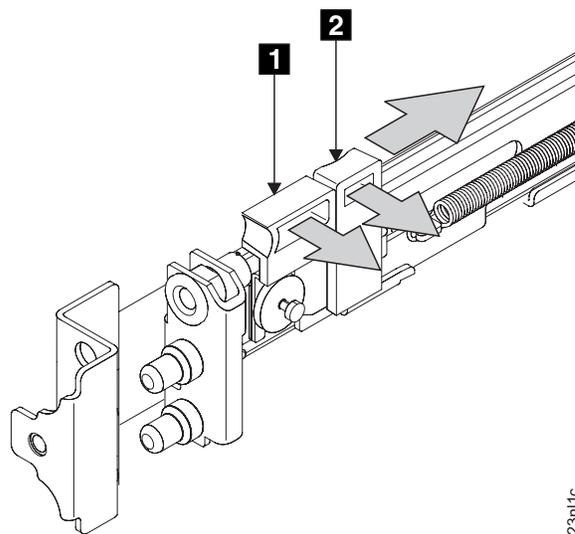


図 75. 前部ラッチ・ロック・キャリア・アセンブリーを開く

1 ラッチ・レバー

2 ラッチ・ロック

4. ラッチ・ロック・キャリアを約 13 mm (0.5 インチ) スライドし続けます。ラッチ・レバーが後部ブラケット・アセンブリーの穴とかみ合い、ラッチ・ロック・キャリアを引っ込めた位置に保ちます。
5. 後方のレール・ブラケット **1** (図 76) を、止まるまでレールの前面に向かって押します。これで、レールはその一番短い長さに調整されます。

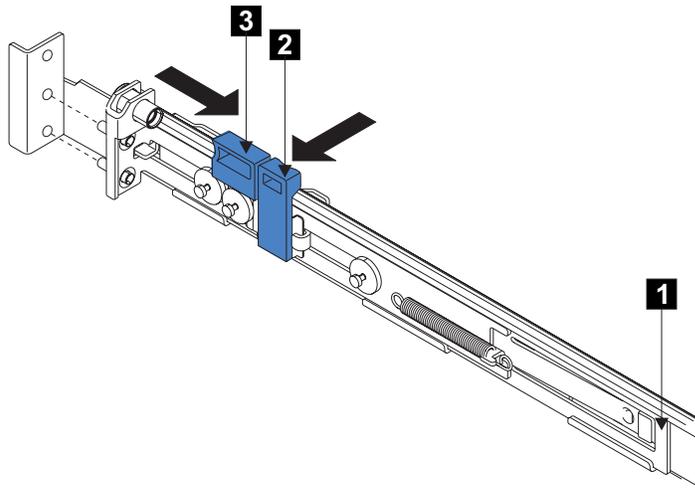


図 76. 後部のラッチ・ロック・キャリア・アセンブリーを開く

- 1** 後方のレール・ブラケット
 - 2** ラッチ・ロック
 - 3** ラッチ・レバー
6. 左レールの前面の端をラック・キャビネットにはめる。前面ブラケットの上端 **1** (389 ページの図 77) が、ラック上の必要な EIA マーキングに合うように調整します。

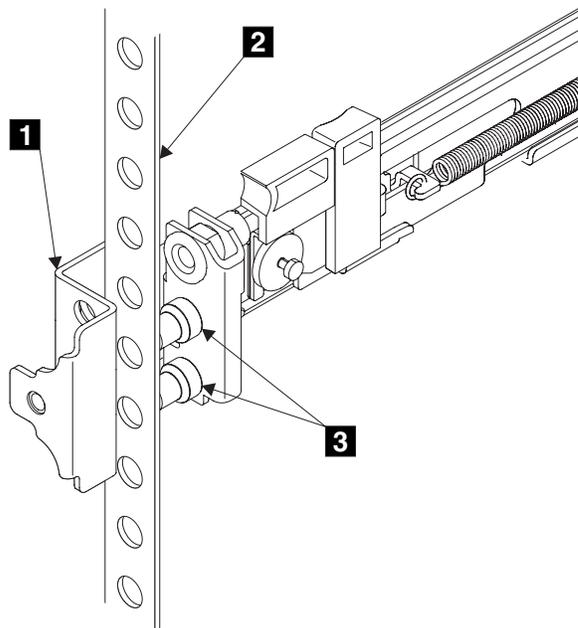


図 77. レールのフロントエンドの取り付け

- 1** 前面ブラケット
- 2** ラック・マウント・フランジ
- 3** 位置決めピン

7. 位置決めピン **3** を、ラック・マウント・フランジにある穴の位置に合わせます。
8. ラッチ・ロック **2** (390 ページの図 78) をレールから押し出して、キャリアを解放します。ラッチ・ロック・キャリアがラックの前方向にスライドし、位置決めピンが、前部フランジの穴と前部レール・ブラケットの穴を通して突き出ます。

重要: 位置決めピンが、前部レール・ブラケットを通して完全に延びているか確認します。

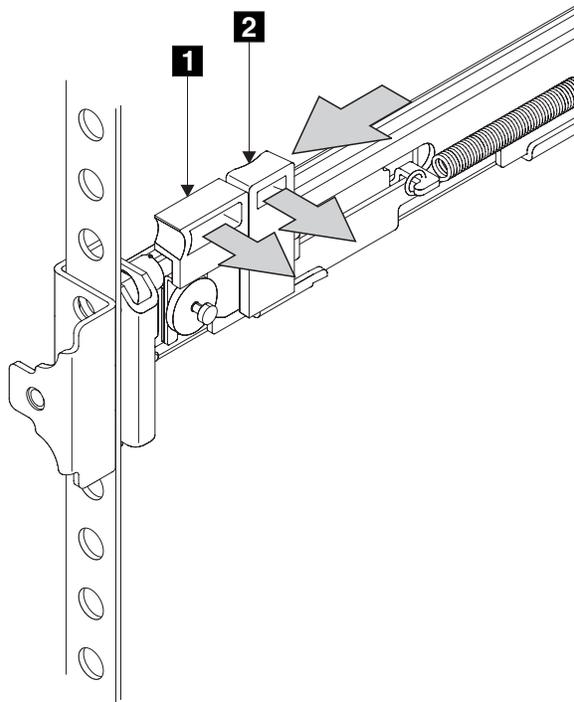


図 78. ラッチ・ロック・キャリア・アセンブリーを閉じる

1 ラッチ・レバー

2 ラッチ・ロック

9. 後方のレール・ブラケットを、ラックの背面に向かって押し、位置決めピンをラック・マウント・フランジに合わせます。
10. ラッチ・ロック **2** をレールから押し出して、キャリアを解放します。ラッチ・ロック・キャリアがラックの後方向にスライドし、位置決めピンが、後部フランジの穴と後部レール・ブラケットの穴を通して突き出ます。

重要: 位置決めピンが、後部レール・ブラケットを通して完全に延びているか確認します。

11. 各レールの後部の青色のリリース・タブを押して、梱包ブラケットをスライドさせてスライド・レールから離します。配送用ブラケットは、今後使用するために保管します。

両方のレールにこの手順を実行する必要があります。

上部カバーの取り外し

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

528 ページの『2145 UPS-1U からの電源ケーブルの取り外し』

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) から取り外すことができます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上部カバーの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の上部カバーの取り外し方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のカバーを取り外すには、以下のステップを行います。

重要: 給電されている状態で SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のカバーを絶対に取り外さないでください。

1. 371 ページの『部品の取り外しおよび交換を行うための準備』に記載された安全上の注意を読んでください。
2. ラックからノードを取り外します。 375 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の取り外し』を参照してください。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 背面でカバーを固定しているつまみねじ **1** を緩めます。

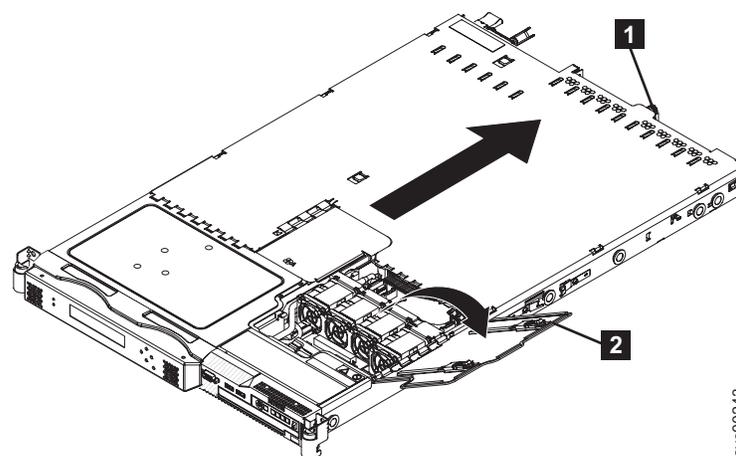


図 79. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

4. ファン・ドア **2** を開きます。ファン・ドアを開くには、2 つのラッチを右方にスライドさせて、ドア・パネルを持ち上げます。
5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 カバーを以下のようにして取り外します。
 - a. カバーが解放されるまで、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の後部方向に少しカバーをスライドさせます。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の正面、背面、側面にある差し込みから、カバー・タブがすべてスライドして取り去られていることを確認します。
 - b. カバーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から持ち上げ、そのカバーをそばに置いておきます。

重要: ノードをオンにする前に、正しい冷却と空気の流れのためにカバーを再度取り付けます。ノードをカバーを取り外した状態で、長時間 (30 分を超える) 操作するとコンポーネントに損傷を与える可能性があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の上部カバーの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のトップ・カバーの取り外し方法を記載してあります。

カバーを取り外す前に、ノードをラックから取り外して、2 つのファン・ドアを開けておく必要があります。

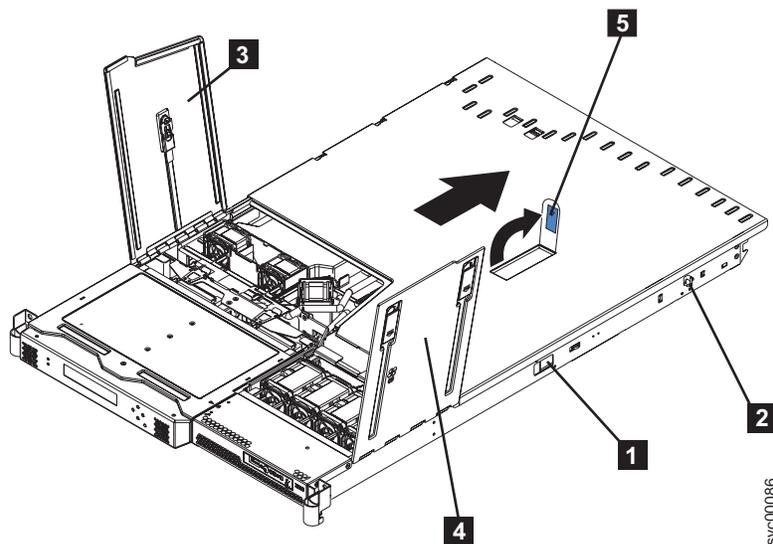


図 80. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4

- 1** サイド・リリース・ラッチ
- 2** レール・ロック・ピン
- 3** ファン・ドア A

4 ファン・ドア B

5 カバーを開くラッチ

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の上部カバーを取り外すには、次のステップを実行します。

1. サーバーをラックから取り外します。
 - a. ノードが止まるまで 3 分の 1 ほど引き出します。
 - b. 両方のサイド・リリース・ラッチ (左と右) をノードの前方に向かってスライドさせます。両方のレール・ロック・ピン **2** が垂直位置にあることを確認して、ノードを引き出し、ラックから取り外します。392 ページの図 80 を参照してください。
2. ファン・ドア A **3** およびファン・ドア B **4** を開きます。ファン・ドア A を開くには、スライド・ラッチを左方にスライドさせて、ドア・パネルを持ち上げます。ファン・ドア B を開くには、2 つのスライド・ラッチを右方にスライドさせて、ドア・パネルを持ち上げます。
3. 以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のカバーを取り外します。
 - a. カバーを開くラッチ **5** を上に上げて、カバーをノード後部へとスライドさせます。
 - b. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のカバーが、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 カバーの正面、背面、側面にある差し込みからスライドして離されていることを確認します。
 - c. カバーをノードから持ち上げ、そのカバーをそばに置いておきます。

重要: ノードをオンにする前に、正しい冷却と空気の流れのためにカバーを再度取り付けます。ノードをカバーを取り外した状態で、長時間 (30 分を超える) 操作するとコンポーネントに損傷を与える可能性があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 上部カバーの取り外し

上部カバーを交換するには、それを取り外す必要があります。

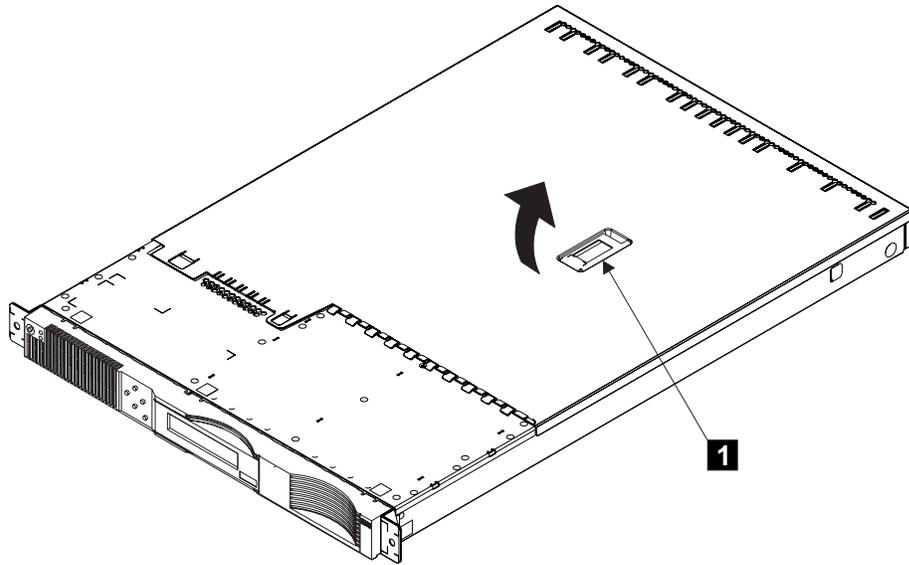


図 81. 上部カバーの取り外し

1 上部カバー・レバー

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. レバーを持ち上げます。図 81 の **1** を参照してください。このアクションで、上部カバーが後方に約 13 mm (0.5 インチ) 移動します。
4. カバーの正面部分を持ち上げて、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から取り外し、除けておきます。

適切な冷却と空気の流れのために、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に電源を入れる前にサーバー・カバーを交換します。SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をカバーを取り外した状態で、長時間 (30 分を超える) 操作するとコンポーネントに損傷を与える可能性があります。

上部カバーの再取り付け

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上部カバーの再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の上部カバーの再取り付け方法を記載してあります。

1. 内部ケーブルがカバーの取り付けの邪魔にならないように配置します。

重要: カバーを前方にスライドする前に、前面、背面の両方にあるすべてのつまみと、カバーの側面がシャーシに正しくはめ込まれていることを確認してください。すべてのタブが、シャーシに正しくはめ込まれていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難です。

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の上部にカバーを位置合わせして、ファン・ドアを開きます。
3. カバーが SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上のすべての差し込みタブに正しく噛み合うまで、つまみねじ **1** を締めます。

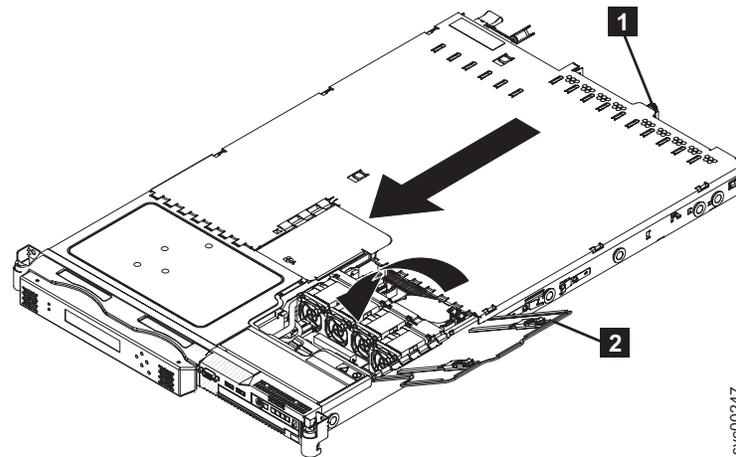


図 82. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

4. ファン・ドア **2** を閉じます。
5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4をラックに戻します。377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』を参照してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の上部カバーの再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のトップ・カバーの再取り付け方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をオンにする前に、正しい冷却と空気の流れのためにノードのカバーを再取り付けします。ノードのカバーを取り外した状態で、長時間 (30 分を超える) 操作するとコンポーネントに損傷を与える可能性があります。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の上部カバーを再取り付けします。

1. 内部ケーブルがカバーの取り付けの邪魔にならないように配置します。

重要: カバーを前方にスライドする前に、前面、背面の両方にあるすべてのつまみと、カバーの側面がシャーシに正しくはめ込まれていることを確認してください。すべてのつまみが、シャーシに正しくはめ込まれていないと、カバーを取り外す時に困難である場合があります。

2. ノードの上部にカバーを位置合わせして、手前にスライドします。
3. カバーを開くラッチ **3** をすべてのカバーが SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のすべての差し込みつまみに収まるまで、下方に押し下ろします。図 83 を参照してください。

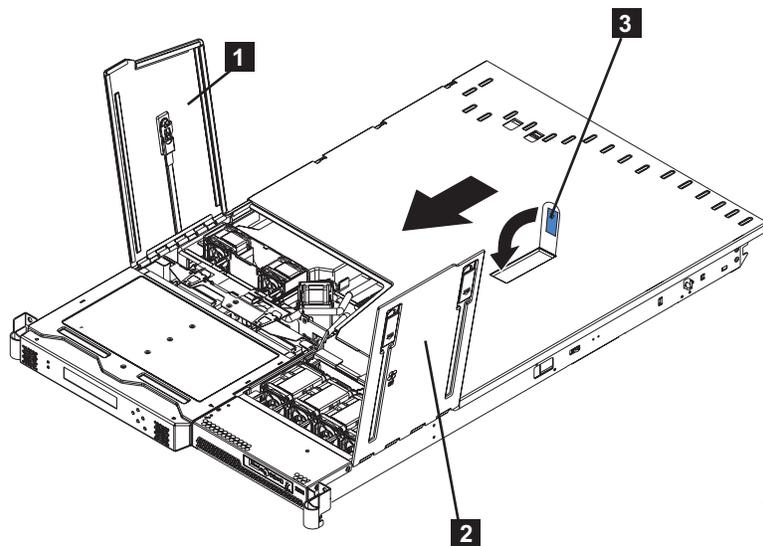


図 83. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

- 1** ファン・ドア A
- 2** ファン・ドア B
- 3** カバーを開くラッチ

4. ファン・ドアを閉じます。
5. ノードをラックに取り付けます。

注: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 をラックに取り付ける方法については関連トピックを参照してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 上部カバーの再取り付け

上部カバーを所定の位置に移動する前に、内部ケーブルがカバーの邪魔にならないように配置します。

重要: カバーを前方にスライドする前に、前面、背面の両方にあるすべてのつまみと、カバーの側面がシャーシに正しくはめ込まれていることを確認してください。すべてのつまみが、シャーシに正しくはめ込まれていないと、後でカバーを取り外すのが大変困難です。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に上部カバーを再取り付けします。

1. レバー **1** が完全に持ち上げられていることを確認します。図 84 を参照してください。

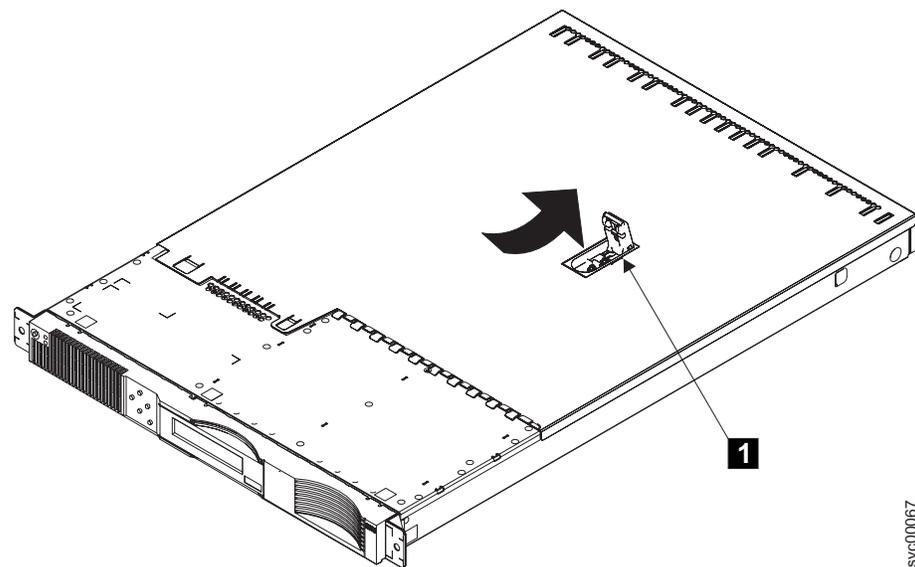


図 84. 上部カバーの取り付け

1 上部カバー・レバー

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフレームの後部端からカバーが約 13 mm (0.5 インチ) 突き出るように、カバーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上に置きます。
3. レバーを下方に押します。上部カバーが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前面方向に移動します。
4. カバーの上部フィンガーと後部突起が SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフレームに正しくかみ合っていることを確認します。
5. レバーが完全に収まるまで押します。

サービス・コントローラーの取り外し

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

関連概念

105 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション』メニュー・オプションは、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

502 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのフロント・パネルの取り外し』

フロント・パネルを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で保守を行うことができます。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

95 ページの『重要製品データの表示』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して SAN ボリューム・コントローラーのクラスターまたはノードの VPD を表示することができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラーの取り外し

サービス・コントローラーを取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源をオフにします。MAP 5350 を参照してください。
2. この電源オフが完全に完了した時点で、主電源ケーブルの保持ブラケットを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 背面から電源ケーブルを取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 背面に接続されたケーブルの長さに十分な余裕があることを確認してから、ラックの中で SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を前方に約 10 cm だけスライドさせてます。
4. このボリューム・コントローラーの左側にある埋め込み式のサービス・コントローラー・リリース・ボタンを探します。このボタンは青色の丸印が付いていません。399 ページの図 85 を参照してください。



図 85. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラー・リリース・ボタン

5. サービス・コントローラーをゆっくり前方に引っ張っている間、このリリース・ボタンを押し続けます。サービス・コントローラーは少し前方に移動します。
6. このリリース・ボタンを押すのを止めて、サービス・コントローラーを完全にフレームから引き出すことができます。 400 ページの図 86 を参照してください。

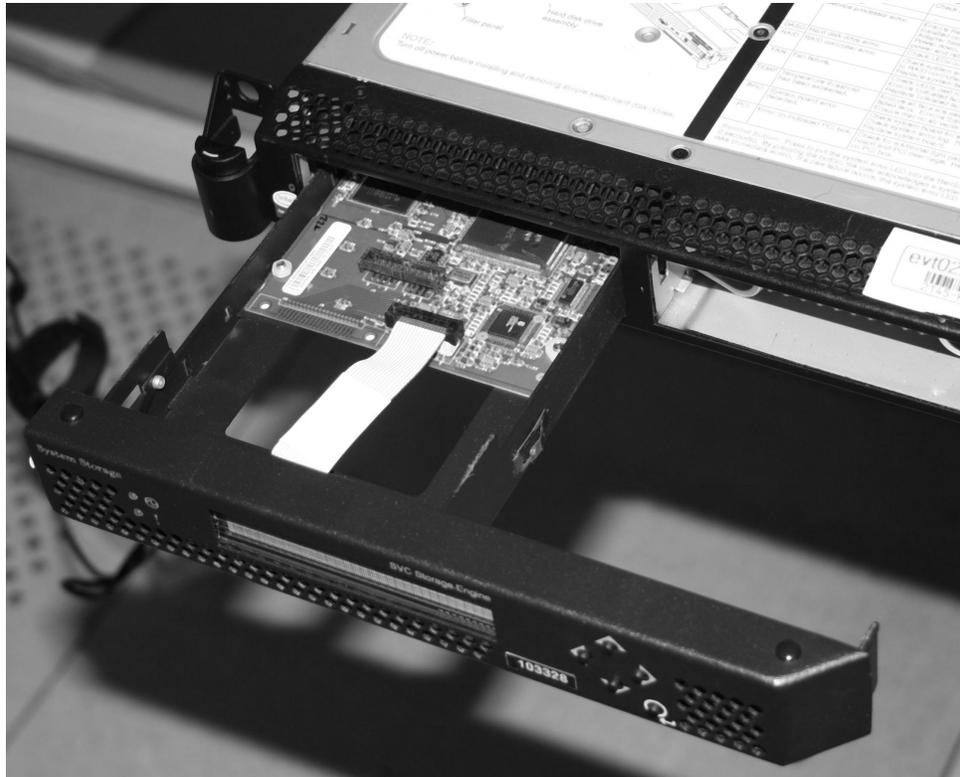
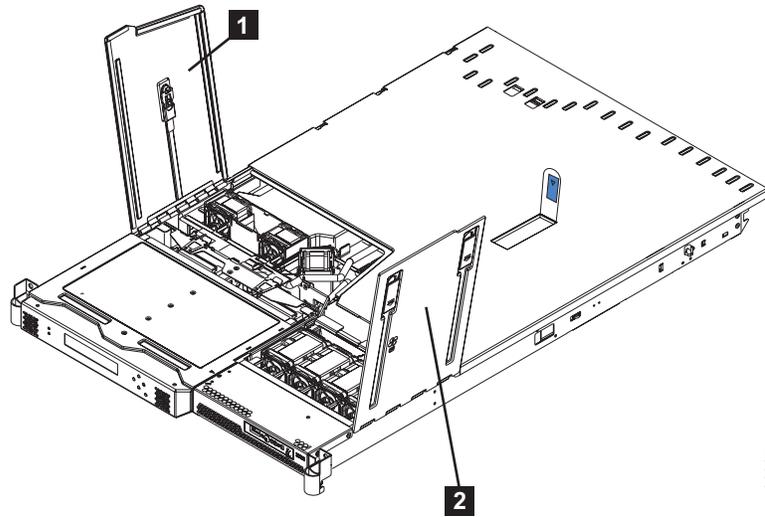


図 86. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からのサービス・コントローラーの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のサービス・コントローラーの取り外し

サービス・コントローラーを取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 からすべての電源を除去します。
2. ラックからノードを取り外します。
3. ノードのファン・ドア A **1** を開きます。401 ページの図 87 を参照してください。



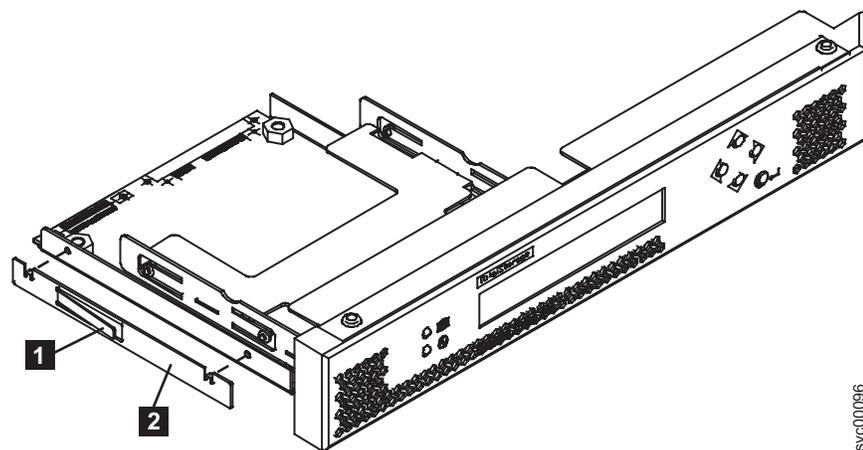
svc00097

図 87. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

1 ファン・ドア A

2 ファン・ドア B

4. ケージ・アセンブリーの後部にある 2 つの青色のレバーを上げてフレームから解放します。
5. ケージ・アセンブリーを持ち上げて、サービス・コントローラー・アセンブリーの左側にある青色のリリース・ラッチ **1** を操作できるようにします。図 88 を参照してください。



svc00096

図 88. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 サービス・コントローラー

1 リリース・ラッチ

2 保持クリップ

6. リリース・ラッチ **1** を押してからサービス・コントローラーを手前に引き、ケージ・アセンブリーから取り出します。
7. 保持クリップ **2** を外します。ノードを再度取り付ける時のために保持クリップを必ず保管してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーの取り外し

重要: 同じ修復操作の一環として、サービス・コントローラーおよびディスク・ドライブを交換する場合は、関連文書を参照してください。

サービス・コントローラーを取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上部カバーを取り外します。
4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルを取り外します。
5. 2 つのハンドル **2** を引いてラッチを外します。図 89 を参照してください。

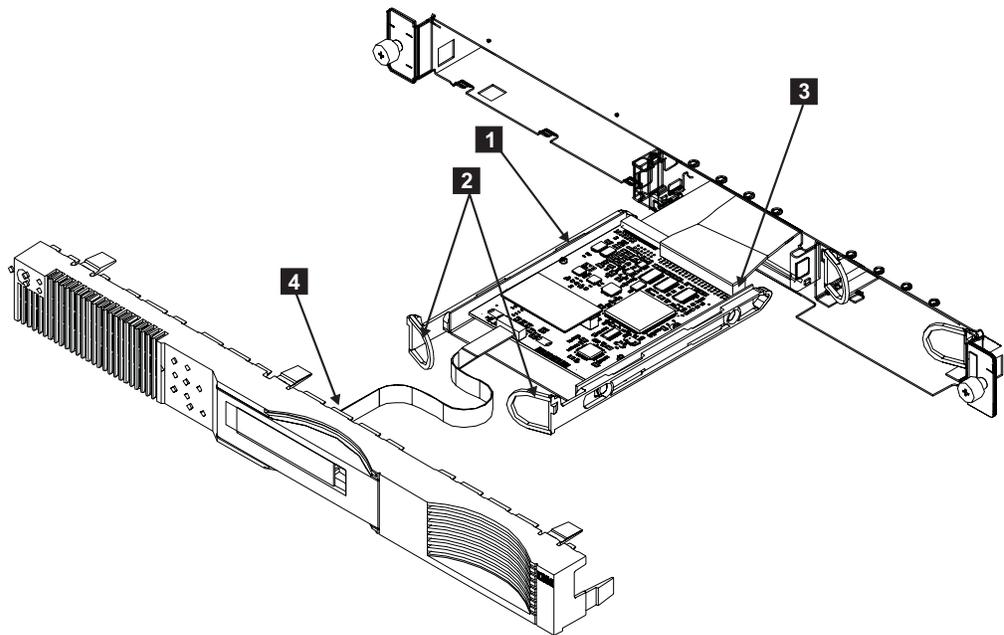


図 89. サービス・コントローラーの取り外し

6. 接続されたケーブルに損傷を与えないように、サービス・コントローラー **1** を SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から慎重に引き出します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルの取り外しおよび再取り付け

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラー・ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から取り外すことができます。

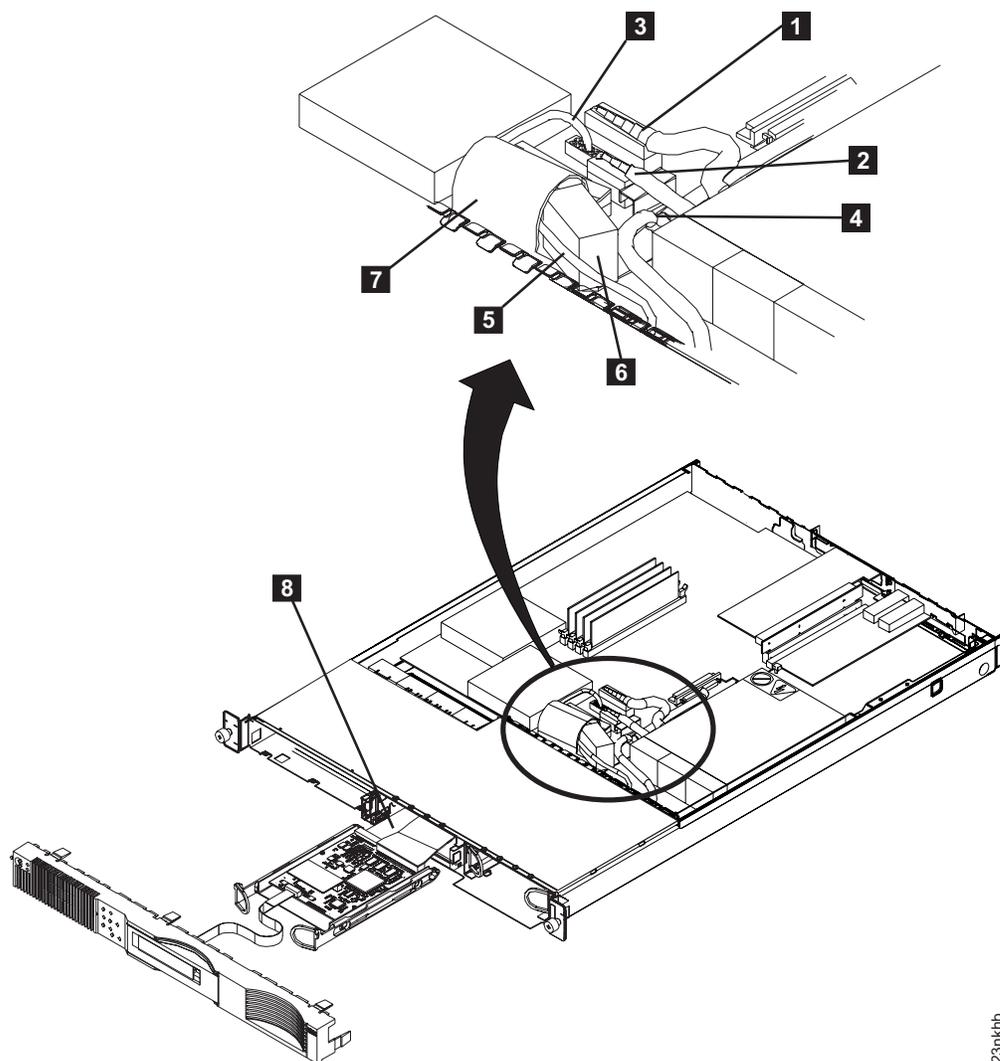


図 90. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 用のサービス・コントローラー・ケーブル

- 1** 電源コネクタ P1
- 2** 電源コネクタ P2
- 3** ファン・ケーブル
- 4** SCSI シグナル・ケーブル
- 5** ATA (Advanced Technology Attachment) ケーブル
- 6** ファン

7 ファン・クリップ

8 リボン・ケーブル

以下のステップを実行してサービス・コントローラー・ケーブルを取り外します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2の上部カバーを取り外します。
4. サービス・コントローラーおよびフロント・パネル・ケーブルをサービス・コントローラーの前面から取り外します。
5. 電源コネクタ P1 **1** と電源コネクタ P2 **2** のラッチを押して、それらをシステム・ボードから切り離します。403 ページの図 90 を参照してください。
6. ファン・ケーブル **3** を切り離します。
7. ATA ケーブル **5** を切り離します。
8. SCSI シグナル・ケーブル **4** を持ち上げてファン・ブラケットから離します。
9. ファン **6** の右側を前方にスライドさせて、ファンをクリップ **7** から引き離します。
10. リボン・ケーブル **8** をコネクタから持ち上げて取り出します。

注:

- a. リボン・ケーブルには「システム・プレーナー」のラベルが付いていません。
 - b. リボン・ケーブルは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2の内部で自動的に正しい経路に従うように事前に折りたたまれています。
11. ケーブルを再び取り付けるには、ケーブルがまっすぐに装着されるように注意して、システム・ボードにリボン・ケーブルの一端（「システム・プレーナー」のマークが付いている）を慎重に取り付けます。405 ページの図 91 を参照してください。
 12. フラット・ケーブルの経路を決めて、サービス・コントローラーを取り付ける開口部にフラット・ケーブルを差し込み、ケーブルの他の端（「コントローラー・カード」のマークが付いている）を SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のシャーシのフロントエンドから引き出します。ケーブルのもう一方の端を、揺れ動きやねじれがなくまっすぐに装着できるよう注意しながら、サービス・コントローラーの背面に慎重に取り付けます。
 13. ATA ケーブルをサービス・コントローラーの背面に取り付けます。
 14. シャーシの中にスライドさせるときにケーブルを傷つけないように注意しながら、サービス・コントローラーを慎重に取り付けます。
 15. ケーブル・コネクタの各端に青色の線が見えないことを確認します。青い線が見えなければ、サービス・コントローラーは完全に装着されています。詳しくは、サービス・コントローラーの SAN ボリューム・コントローラー

2145-4F2 からの取り外しに関する文書を参照してください。

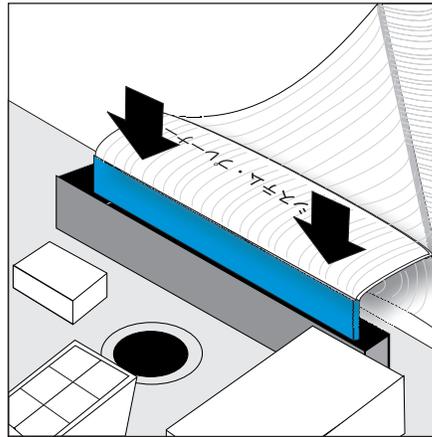


図 91. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のシステム・ボードにサービス・コントローラー・カード・ケーブルを取り付ける方法

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

関連資料

587 ページの『付録 C. サービス・コントローラー ATA ケーブルの取り付け』
ケーブルの損傷を防ぐために、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2に ATA (先進テクノロジー接続) ケーブルを取り付ける時は、正しく配置する必要があります。

サービス・コントローラーの再取り付け

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

関連概念

105 ページの『SAN ボリューム・コントローラーのメニュー・オプション』
メニュー・オプションは、SAN ボリューム・コントローラーのフロント・パネル表示で利用できます。

関連タスク

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

8 ページの『ノード状況の表示』

ノードのプロパティは、「一般詳細の表示」パネルから表示することができます。

12 ページの『重要製品データの表示』

ノードの重要製品データは、「重要製品データの表示」パネルから表示することができます。

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

504 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルの交換』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルを順に取り外して交換できます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

95 ページの『重要製品データの表示』

コマンド行インターフェース (CLI) を使用して SAN ボリューム・コントローラーのクラスターまたはノードの VPD を表示することができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラーの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のサービス・コントローラーを再取り付けするには、次のステップを行います。

1. 静かにサービス・コントローラーをフレームの中へ押し込んでゆき、背面コネクタが完全に収容された状態にして、サービス・コントローラー前面の金属加工部分がフレームに対して上向きになるようにします。図 92 を参照してください。



図 92. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス・コントローラー

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 をスライドさせてラックに戻し、すべてのケーブルが所定の場所に依然としてしっかり配線されていることを確認します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 に電源ケーブルを接続し、ケーブル保持ブラケットを再取り付けします。

注: ファイバー・チャンネル・ポート名 (WWPN) は、サービス・コントローラーのワールドワイド・ノード名 (WWNN) から派生しています。ステップ 4 を実行しないで、スイッチのゾーニングに WWPN を使用する場合は、ファイバー・チャンネル・スイッチを再ゾーニングする必要があります。このノードを介してディスクにアクセスできるようにするには、ホスト・システムを再始動する必要があります。

4. 並行保守の一環としてサービス・コントローラーを交換する場合は、新しいサービス・コントローラーに WWNN を再書き込みする必要があります。再書き込みをしないで、スイッチのゾーニングに WWPN を使用する場合は、SAN のファイバー・チャンネル・スイッチが再ゾーニングされるまでは、ノードをクラスターに追加することはできません。また、ホスト・システムは、リブートされるまで、該当のノードのファイバー・チャンネル・ポートにアクセスできません。WWNN を復元するには、次のステップを実行します。
 - a. ノード・レスキューを実行します。
 - b. 保守パネルにノード状況を表示します。ノード・ポートの状況の検査方法に関する手順を参照してください。
 - c. 「下」ボタンを押し続けます。
 - d. 「選択」ボタンを押して放します。
 - e. 「下」ボタンを放します。表示の最初の行に「WWNN」が表示されます。表示の 2 番目の行にはディスク・ドライブに保管された元の WWNN の最後の 5 文字が示されます。この 2 番目の行番号が全桁ゼロの場合は、修復操作の一環としておそらくディスク・ドライブも交換したものとされます。その

場合は、ステップ 4f に進みます。それ以外の場合は、「選択」ボタンを押して番号を受け入れます。これで WWNN を復元します。

- f. 作業対象のノードの重要製品データ (VPD) に WWNN を表示します。
- g. WWNN の最後の 5 文字を記録します。
- h. 保守パネルに WWNN が表示されているときに、「下」ボタンを押し続けます。
- i. 「選択」ボタンを押して放します。
- j. 「下」ボタンを放します。
- k. 表示された番号を編集して、VPD の番号とあわせます。「上」ボタンと「下」ボタンを使用して、表示された番号を増減します。フィールド間の移動には「左」ボタンと「右」ボタンを使用します。
- l. 「選択」ボタンを 2 回押して、番号を受け入れます。WWNN が復元されます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のサービス・コントローラーの交換

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のサービス・コントローラーを交換します。

1. 保持クリップ **2** をサービス・コントローラーの左側にある位置決め穴の上に配置します。図 93 を参照してください。

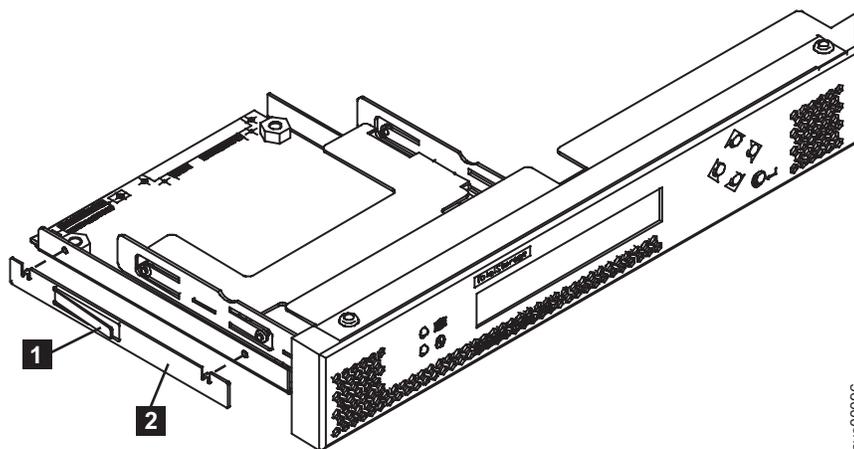


図 93. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のサービス・コントローラー

2. 保持クリップにはまるまで、サービス・コントローラーをケージに押し込みます。

3. ケージ・アセンブリーを再配置し、青色のレバーを閉じてケージ・アセンブリーをフレームに固定します。
4. ファン・ドア **1** を閉じて、ラックの中に ノードを再取り付けします。図 94 を参照してください。

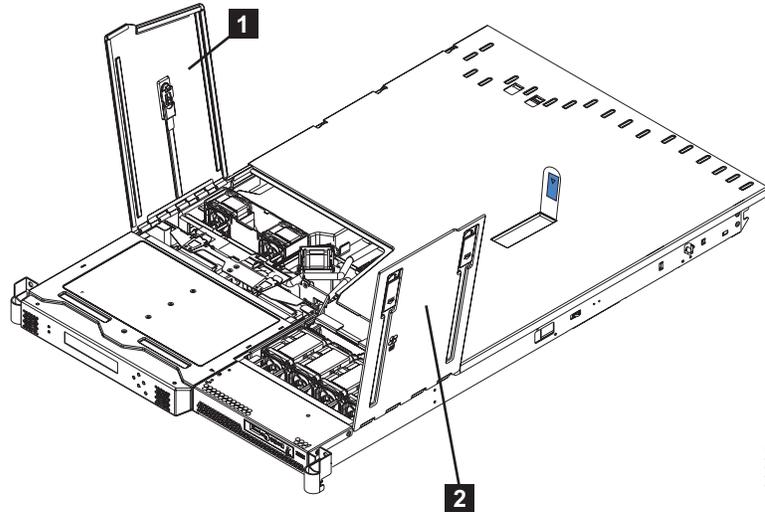


図 94. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4

注: ファイバー・チャンネル・ポート名 (WWPN) は、サービス・コントローラーのワールドワイド・ノード名 (WWNN) から派生しています。ステップ 5 を実行しないで、スイッチのゾーニングに WWPN を使用する場合は、ファイバー・チャンネル・スイッチを再ゾーニングする必要があります。このノードを介してディスクにアクセスできるようにするには、ホスト・システムを再始動する必要があります。

5. 並行保守の一環としてサービス・コントローラーを交換する場合は、新しいサービス・コントローラーに WWNN を再書き込みする必要があります。再書き込みをしないで、スイッチのゾーニングに WWPN を使用する場合は、SAN のファイバー・チャンネル・スイッチが再ゾーニングされるまでは、ノードをクラスターに追加することはできません。また、ホスト・システムは、リポートされるまで、該当のノードのファイバー・チャンネル・ポートにアクセスできません。WWNN を復元するには、次のステップを実行します。
 - a. ノード・レスキューを実行します。
 - b. 保守パネルにノード状況を表示します。ノード・ポートの状況の検査方法に関する手順を参照してください。
 - c. 「下」ボタンを押し続けます。
 - d. 「選択」ボタンを押して放します。
 - e. 「下」ボタンを放します。表示の最初の行に「WWNN」が表示されます。表示の 2 番目の行にはディスク・ドライブに保管された元の WWNN の最後の 5 文字が表示されます。この 2 番目の行番号が全桁ゼロの場合は、修復操作の一環としておそらくディスク・ドライブも交換したものと推定されます。その場合は、ステップ 5f (410 ページ) に進みます。それ以外の場合は、「選択」ボタンを押して番号を受け入れます。これで WWNN を復元します。

- f. 作業対象のノードの重要製品データ (VPD) に WWNN を表示します。
- g. WWNN の最後の 5 文字を記録します。
- h. 保守パネルに WWNN が表示されているときに、「下」ボタンを押し続けます。
- i. 「選択」ボタンを押して放します。
- j. 「下」ボタンを放します。
- k. 表示された番号を編集して、VPD の番号とあわせませす。「上」ボタンと「下」ボタンを使用して、表示された番号を増減します。フィールド間の移動には「左」ボタンと「右」ボタンを使用します。
- l. 「選択」ボタンを 2 回押して、番号を受け入れます。WWNN が復元されます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーの交換

重要: 問題判別手順の一端としてサービス・コントローラーを取り替える場合は、サービス・コントローラー現場交換可能ユニット (FRU) の一部として提供されているケーブルも取り替える必要があります。同じ修復操作の一環として、サービス・コントローラーおよび ディスク・ドライブを交換する場合は、関連文書を参照してください。

サービス・コントローラーを交換するには、次のステップを実行します。

1. サービス・コントローラー **1** を慎重に SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に押し込みます。図 95 を参照してください。

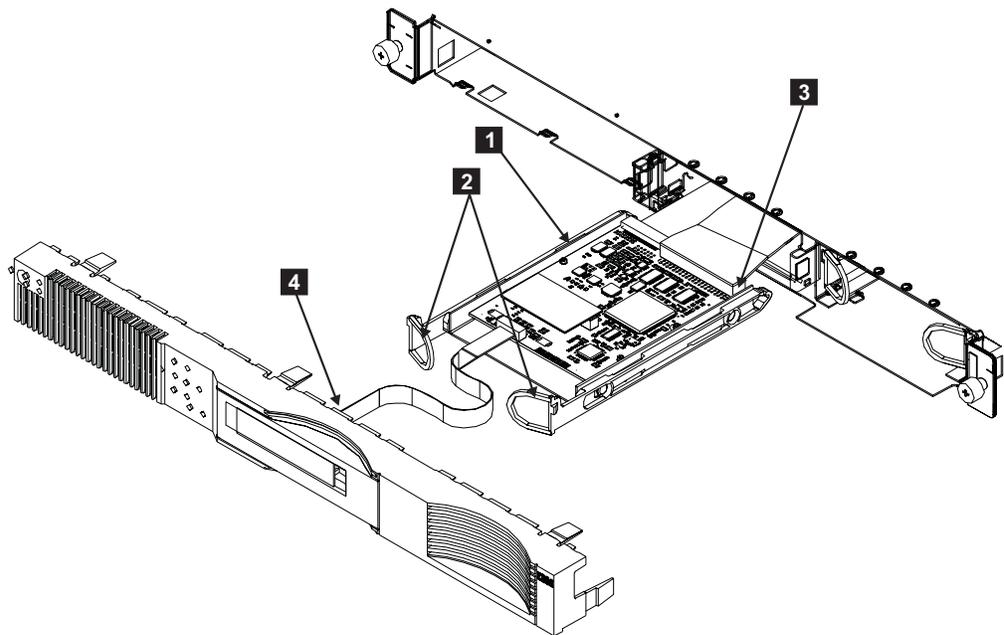


図 95. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 サービス・コントローラーの交換

注:

- a. 40 ウェイ・ケーブル・コネクタはキー付きです。

- b. リボン・ケーブルを再接続する前に、その接点が下方向きであることを確認します。サービス・コントローラーの背面にケーブルを慎重に取り付けます。取り付け中にケーブルがねじれや湾曲が生じないように、まっすぐ取り付けてください。ケーブル・コネクタの各端の紺色の線が見えないことを確認します。これで、ケーブルが完全に装着されます。図 96 および 図 97 を参照してください。

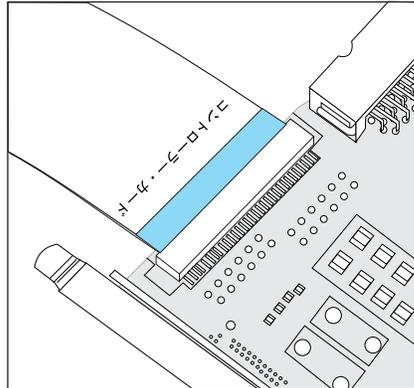


図 96. 正しく取り付けられたサービス・コントローラー・カード・ケーブル

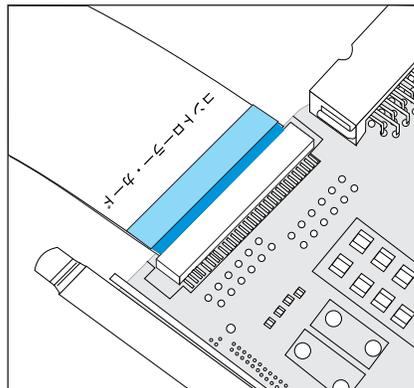


図 97. 正しく取り付けられていないサービス・コントローラー・カード・ケーブル

- c. サービス・コントローラーを取り付ける際、サービス・コントローラー・ベイの背後に装着されているファン・アセンブリーにケーブルが接触しないように注意してください。サービス・コントローラーの下でケーブルが折りたたまれるように、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の中へサービス・コントローラーを押し込みます。ラッチが所定の位置にカチッと収まるまで、サービス・コントローラーを押し続けます。
- d. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の内部でケーブルがサービス・コントローラーに正しく接続されていることを確認します。
2. フロント・パネルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に収めます。
 3. 上部カバーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に戻します。
 4. ラックに SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を収めます。
 5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のすべての電源を復元します。

注: ファイバー・チャネル・ポートのワールドワイド・ポート名は、サービス・コントローラーのワールドワイド・ノード名 (WWNN) から派生しています。新しいサービス・コントローラーに WWNN を再書き込みしない場合は、ホスト・システムを再始動して、ホスト・システムが、この SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を介してディスクにアクセスできるようにする必要があります。

並行保守の一環としてサービス・コントローラーを交換する場合は、新しいサービス・コントローラーに WWNN を再書き込みする必要があります。そうしないと、ホスト・システムは、リブートされるまで、該当のノードのファイバー・チャネル・ポートにアクセスできません。WWNN を復元するには、次のステップを実行します。

1. ノード・レスキューを実行します。
2. 保守パネルにノード状況を表示します (保守パネルにノード状況を表示する手順を参照してください)。
3. 「下」ボタンを押し続けます。
4. 「選択」ボタンを押して放します。
5. 「下」ボタンを放します。

表示の行 1 に WWNN が表示されます。表示の行 2 には元の WWNN の最後の 5 文字が表示されます。表示された番号が全桁ゼロの場合は、修復操作の一環としておそらくディスク・ドライブも交換したものとされます。

- a. 全桁ゼロが表示された場合は、ステップ 6 に進みます。
 - b. それ以外の番号が表示された場合は、「選択」ボタンを押して、その番号を受け入れます。WWNN が復元されます。
6. 表示された番号が全桁ゼロの場合は、処理対象のノードの重要製品データ (VPD) に WWNN を表示します。番号の最後の 5 文字を記録します。
 7. 保守パネルに WWNN を表示して、以下のステップを実行します。
 - a. 「下」ボタンを押し続けます。
 - b. 「選択」ボタンを押して放します。
 - c. 「下」ボタンを放します。
 - d. 「上」ボタンと「下」ボタンを使用して、表示された番号を増減し、番号を編集します。
 - e. フィールド間の移動には「左」ボタンと「右」ボタンを使用します。VPD からメモした番号が表示されたら、「選択」ボタンを 2 回押して、その番号を受け入れます。WWNN が復元されます。

SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

また、ハード・ディスクとサービス・コントローラーを同時に取り替える必要がある場合は、ノードをブートしてノード・レスキューを実行することはできません。以下のステップを実行して、ディスク・ドライブと サービス・コントローラーの交換後に、ノード・レスキューを行えるようにします。

- このサービス・コントローラーを、作業ノードにあるサービス・コントローラーとスワップします。結果は以下のようになります。
 - 作業ノード内にスワップされた「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーは、ノードがハード・ディスクからブートされる際に更新されます。
 - 作業ノード内から障害を起こしたノード内にスワップされたサービス・コントローラーには、障害のあるノードでのノード・レスキューの実行に必要なオペレーティング・システムが入っています。
- すべての更新の完了時は、再度サービス・コントローラーをスワップします。それにより、各サービス・コントローラーを元のノードに戻します。

関連タスク

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

電源ケーブル・アセンブリは、結合された電源ケーブルおよびシグナル・ケーブルにより成り立っています。電源機構に問題があり、電源ケーブルおよびシグナル・ケーブルに障害があるように思われる場合は、電源ケーブル・アセンブリを取り外すことができます。電源ケーブル・アセンブリを取り外す時には、必ず、無停電電源装置 (UPS) から取り外してください。以下のステップを実行して電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の電源 LED **1** (414 ページの図 99) あるいは SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源 ライト **1** (414 ページの図 98、414 ページの図 99、または 414 ページの図 100) をチェックします。ライトが点灯している場合は、ステップ 2 (415 ページ)

ジ)に進みます。ライトがオフまたは明滅のいずれかの場合は、電源は、SAN ボリューム・コントローラーから除去されています。ステップ 4 (415 ページ) に進みます。



図 98. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 オペレーター・パネル表示装置

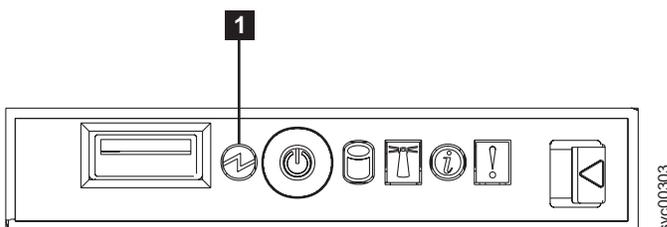


図 99. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のオペレーター・パネル表示装置

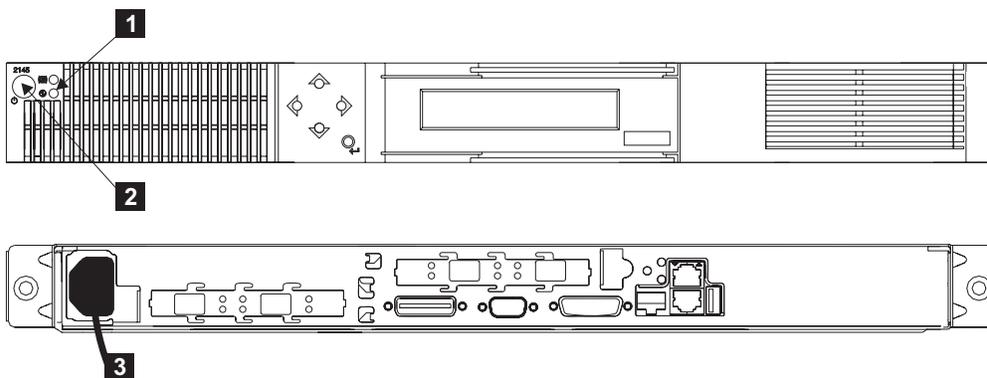


図 100. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルと背面パネルの図

- 1 電源ライト
- 2 電源ボタン
- 3 電源ケーブル

重要: SAN ボリューム・コントローラーはペアで作動します。両方の SAN ボリューム・コントローラーは、同じ入出力グループにあります。1 台の SAN ボリューム・コントローラーを保守している場合は、もう 1 台の SAN ボリューム・コントローラーを作動可能にしておく必要があります。両方の SAN ボリューム・コントローラーが機能しない場合は、入出力グループにあるいずれのディスクにもアクセスできません。

2. SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにします。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

重要: 両方の SAN ボリューム・コントローラーがオンラインの場合は、1 台の SAN ボリューム・コントローラーから電源を除去すると、入出力操作が自動的にもう 1 台の SAN ボリューム・コントローラーを通して転送されるため、なんらかの性能低下が生じます。この手順を続けるには、お客様の合意を得ておく必要があります。

3. 電源制御ボタン (SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4) または電源スイッチ (SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2)

2 を押して放します。SAN ボリューム・コントローラーが電源オフになるまで 1 分間待ちます。クラスター内の他の SAN ボリューム・コントローラーが、ノードがクラスターから欠落していることを示すエラー・コードを表示することがあります。このエラー・コードは無視します。これは、修復が完了すれば自動的に解決されます。

4. 電源ケーブルを SAN ボリューム・コントローラーの背面から取り外します。
5. 電源ケーブルを交換して、それが配置されたことを確認します。
6. SAN ボリューム・コントローラーのケーブル保持ブラケットと 2145 UPS-1U のケーブル保持ブラケットを再取り付けします。
7. SAN ボリューム・コントローラーが自動的にオンにならない場合は、電源スイッチを押して放します。

注: SAN ボリューム・コントローラーの電源がオフにされて、その 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) に接続された SAN ボリューム・コントローラーが他にない場合は、2145 UPS も 5 分以内に電源オフします。2145 UPS の電源オン・ボタンを押してから、SAN ボリューム・コントローラーを電源オンしてください。しかし、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は、SAN ボリューム・コントローラーが電源ボタンでシャットダウンされても電源オフになりません。

関連タスク

10 ページの『クラスターからのノードの削除』
必要であれば、クラスターからノードを削除できます。

11 ページの『クラスターへのノードの追加』
クラスターによってノードが除去またはリジェクトされた場合は、ノードをクラスターに追加しなければならない場合があります。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』
SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』
このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャネル・アダプターまたはファイバー・チャネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

関連資料

22 ページの『CLI を使用したノードの状況の検査』
コマンド行インターフェース (CLI) を使用してノードの状況を検査できます。

メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し

1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要があることがあります。

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要がある可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

メモリー・モジュールの見つけ方

必ずしもすべてのメモリー・モジュールを除去する必要がない場合、以下の情報を使用して、SAN ボリューム・コントローラー モデル固有のメモリー・モジュールを見つけます。

障害のあるメモリー・モジュールの位置を特定後は、418 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』に進みます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4: これらのモジュールには、**5** から **8**、および **1** から **4** の番号が付けられています。417 ページの図 101 を参照してください。

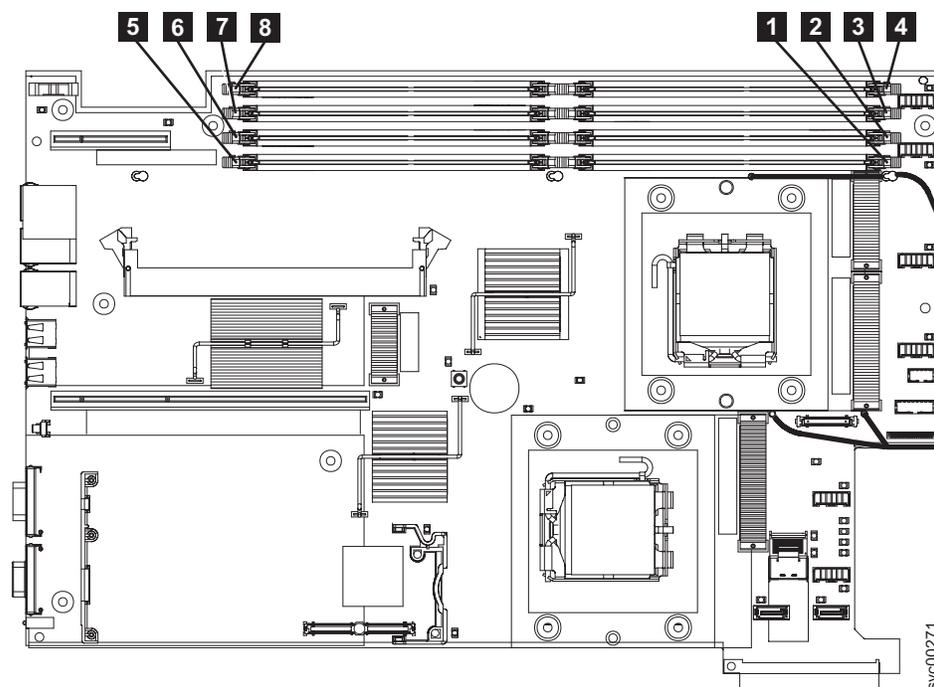


図 101. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボード

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2: これらのモジュールは、**1** から **8** の番号が付けられています。418 ページの図 102 を参照してください。

注: 複数の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 DIMM をライト・パス診断が示している場合は、1 度に 1 つずつ DIMM を取り替えてゆきます。その際、ライト・パス診断が示した DIMM スロットの番号のうち、低いものから順番に取り替えを開始します。

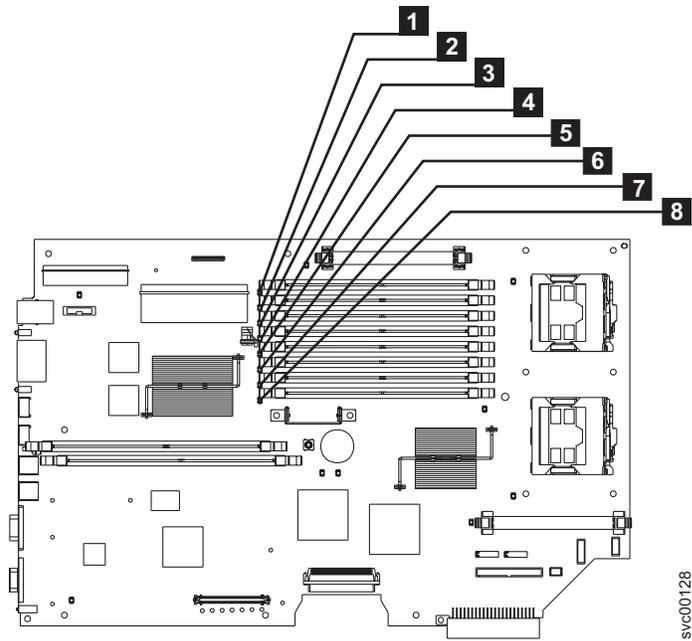


図 102. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 のシステム・ボード

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2: これらのメモリー・モジュールをノード前面から見ると、各モジュールは **4** から **1** (左から右の順番) で番号が付けられます。モジュール **4** と **3** はバンク 2 にあります。モジュール **2** と **1** はバンク 1 にあります。図 103 を参照してください。

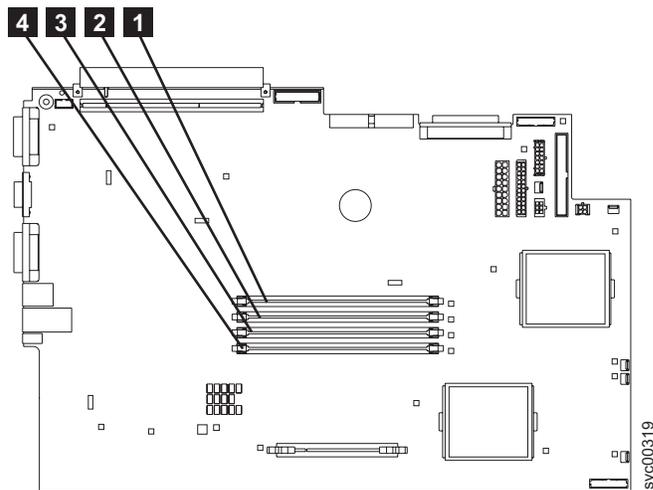


図 103. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード

メモリー・モジュールの取り外し

このトピックにはメモリー・モジュールの取り外し方法を記載してあります。

以下のステップを実行してメモリー・モジュールを取り外します。

1. SAN ボリューム・コントローラー からすべての電源を除去します。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. SAN ボリューム・コントローラー をラックから取り外します。372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』を参照してください。
3. SAN ボリューム・コントローラー から上部カバーを取り外します。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。

重要: 障害が、特定のモジュールではなく、モジュールのバンクのみに特定された場合は、バンクの両方のモジュールを交換してください。そうでない場合で、もっと少ないメモリー・モジュールを除去する必要がある場合は、416 ページの『メモリー・モジュールの見つけ方』を参照してください。複数の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4、または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 DIMM をライト・パス診断が示している場合は、1 度に 1 つずつ DIMM を取り替えてゆきます。その際、ライト・パス診断が示した DIMM スロットの番号のうち、低いものから順番に取り替えを開始します。

4. クリップ **2** を外側に押しながら開きます。このアクションで、メモリー・モジュール **3** をコネクタから引き出します。図 104を参照してください。

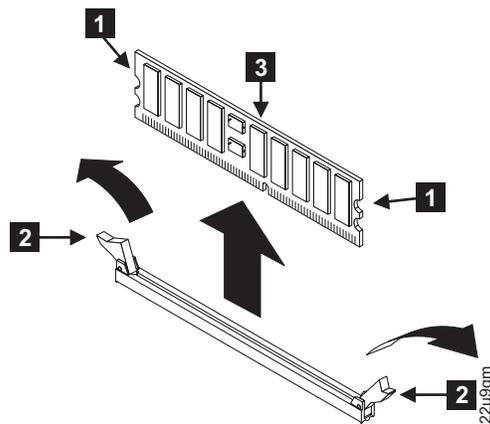


図 104. メモリー・モジュールの取り外し

- 1** サイド・コネクタ・ラッチ
- 2** メモリー・クリップ
- 3** メモリー・モジュール

5. SAN ボリューム・コントローラー の内部で行うタスクがほかにある場合は、ここで行います。

メモリー・モジュールの交換

メモリー・モジュールは静電気の放電 (ESD) に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

これらの指示は、以下を前提としています。

- SAN ボリューム・コントローラーのすべての電源をオフにしました。
- ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外しました。
- SAN ボリューム・コントローラーを取り外しました。
- 交換するメモリー・モジュールを取り外しました。

以下のステップを実行してメモリー・モジュールを交換します。

重要: 保持クリップが破損しないように、またはメモリー・モジュール・コネクタが損傷しないように、このクリップは静かに開閉してください。

1. クリップ **2** を開き、メモリー・モジュール **3** を下げてコネクタに差し込みます。クリップを内側に向かって押しながら閉じます。

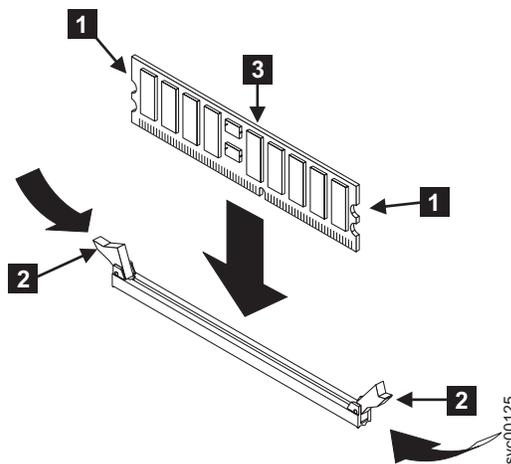


図 105. メモリー・モジュールの再取り付け

2. SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けします。
3. SAN ボリューム・コントローラーをラックに戻します。
4. SAN ボリューム・コントローラーのすべての電源を復元します。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

ディスク・ドライブの取り外し

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

関連タスク

428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』

一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

266 ページの『ノード・レスキューの実行』

ハード・ディスク・ドライブの交換が必要な場合、またはハード・ディスク・ドライブ上のソフトウェアが破損した場合は、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアを再インストールできます。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

関連資料

412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』

ディスク・ドライブの交換と同時にサービス・コントローラーを交換するとき、ノード・レスキューを行えません。これは「新規」サービス・コントローラーの不揮発性メモリーが、ノード・レスキューを行うのに必要なオペレーティング・システム・ソフトウェアを含んでいないからです。

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 SATA ディスク・ドライブの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 SATA ディスク・ドライブの取り外し方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のディスク・ドライブは、ノードのシャットダウン後に取り外すことができます。

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のディスク・ドライブを取り外します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のカバーが所定に位置で完全に閉じた状態にあることを確認します。

重要: ハード・ディスク・コネクタの損傷を防止するために、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行う場合は必ず、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のカバーが所定に位置で完全に閉じた状態にあることを確認します。

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を電源オフして、すべての電源コードを取り外します。詳しくは、「329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』」を参照してください。
3. サービス・コントローラーを取り外します。397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』を参照してください。

4. ドライブ・トレイの各ループをお互いの方向に引っ張って、ベイからこのトレイを引き出します。

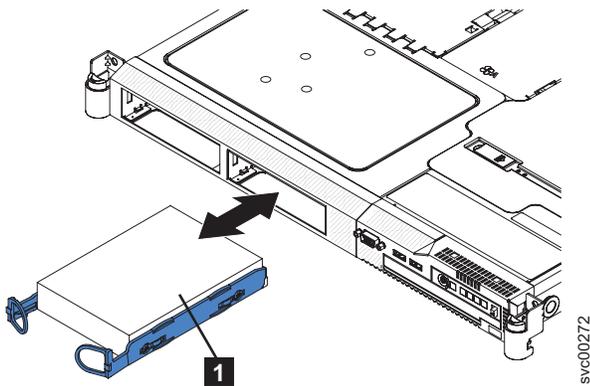


図 106. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からの SATA ディスク・ドライブの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の SATA ディスク・ドライブの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のディスク・ドライブは、ノードのシャットダウン後に取り外すことができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のディスク・ドライブを取り外すには、次のステップを実行します。

1. ノードの電源を切ります。
2. すべての電源コードと外部シグナル・ケーブルを取り外して切り離します。
3. ラックからノードを取り外します。
4. ファン・ドア A **1** を開きます。423 ページの図 107 を参照してください。
5. サービス・コントローラーを取り外します。サービス・コントローラーの取り外しについての文書を参照してください。
6. ディスク・ドライブをベイから引き出します。

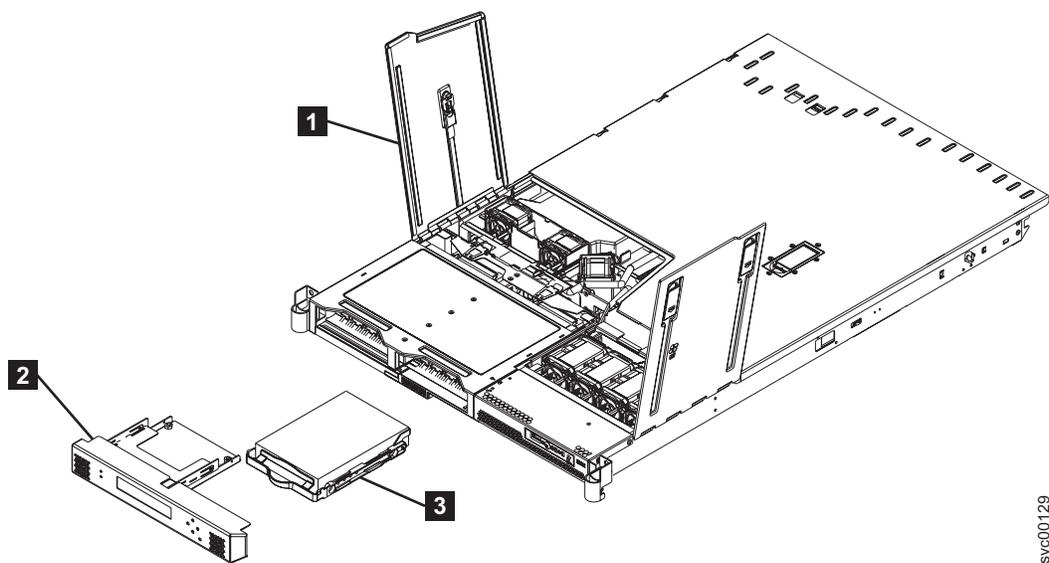


図 107. SATA ディスク・ドライブの取り外し

svc00129

- 1 ファン・ドア A
- 2 サービス・コントローラー
- 3 SATA ディスク・ドライブ

ここで SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のディスク・ドライブを交換できます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの取り外し

重要:

- ディスク・ドライブは慎重に扱って、磁場の強いところから離してください。
- ディスク・ドライブは静電気の放電 (ESD) に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。静電気に弱い装置の取り扱いについての文書を参照してください。

ディスク・ドライブおよびケーブルを取り外すには、次の手順で行います。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 とホスト・システム間のすべての操作が停止されていることを確認します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上部カバーを取り外します。
5. SCSI シグナル・コネクタ **1** と電源コネクタ **2** をディスク・ドライブの背面から切り離します。

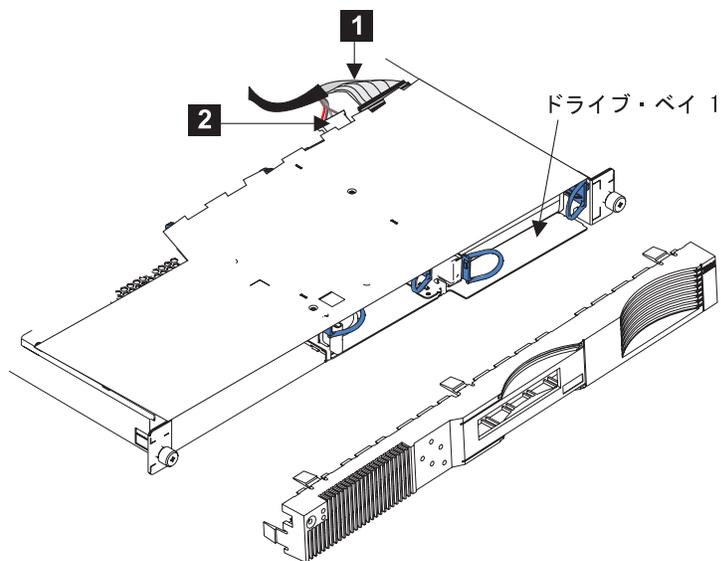


図 108. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの取り外し

6. フロント・パネルを取り外します。
7. 2 つのハンドルを引いてラッチを外し、ディスク・ドライブを手前に引いて SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から取り出します。
8. ディスク・ドライブを別のものと交換する場合は、図 109 を参照してください。新しいディスク・ドライブに同梱のレールとねじを見つけます。レールをディスク・ドライブに取り付けます。

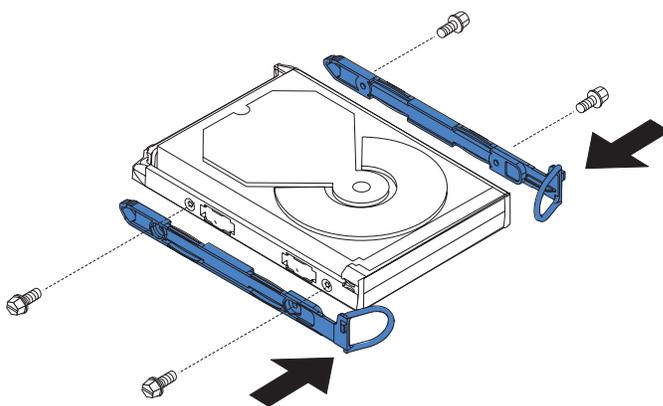


図 109. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブへのレールの取り付け

9. 古いディスク・ドライブに取り付けられたジャンパーの有無を検査します。ジャンパーがある場合は、マッチングするジャンパーを新しいディスク・ドライブに取り付けます。425 ページの図 110 を参照してください。

ドライブ HDA (背面図、PCB は下方向き)

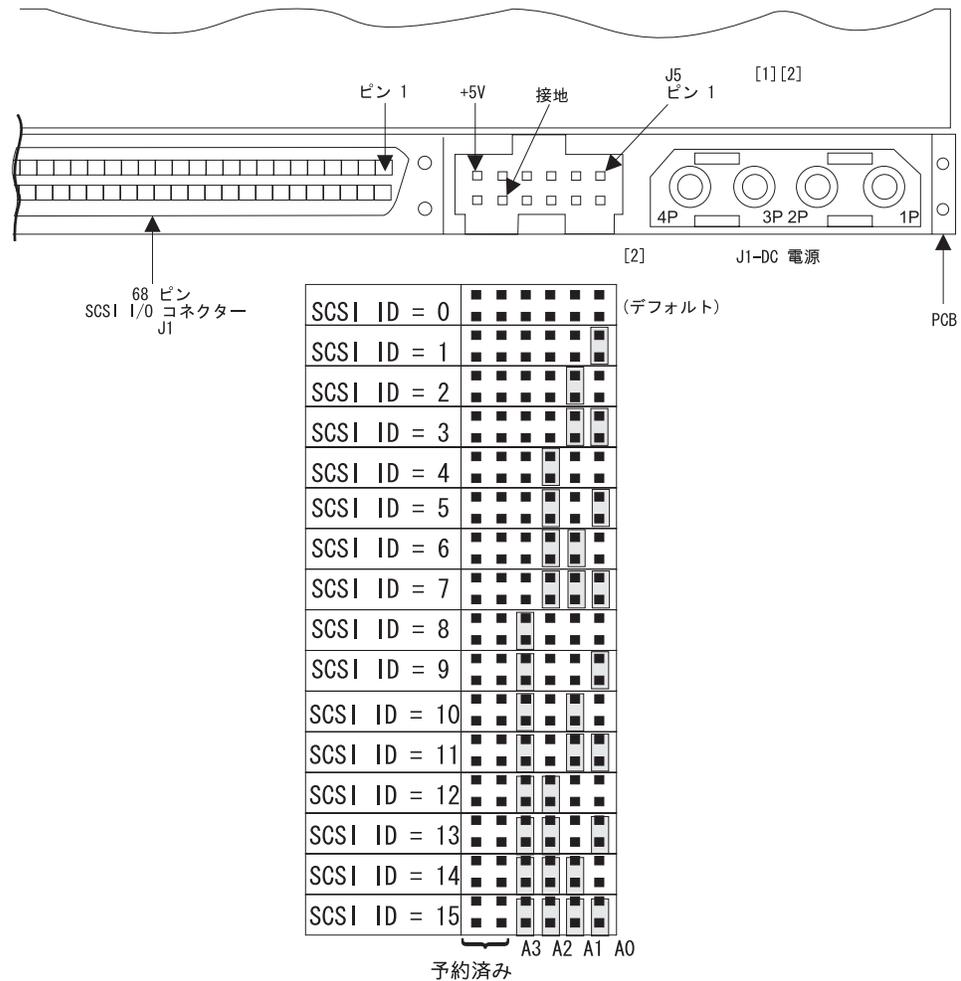


図 110. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ジャンパー

サービス・コントローラーを取り外している間に実行する必要があるタスクがあれば、ここでそれを行います。

注: ディスク・ドライブを取り付ける時は、ラッチがカチッと収まるまで、ディスク・ドライブをSAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2の中へ押し込みます。

10. ディスク・ドライブの交換後、ノード・レスキュー手順を使用して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 にソフトウェアを再インストールする必要があります。

注: ハード・ディスクとサービス・コントローラーを同時に取り替える必要がある場合は、ノードを始動してノード・レスキューを実行することはできません。ディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換についての文書を参照してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法

保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外すには、以下のステップを行います。

1. ノードを電源オフします。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. すべての電源コードを取り外します。
3. ラックからノードを取り外します。372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』を参照してください。
4. サービス・コントローラーを取り外します。397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』を参照してください。
5. ハード・ディスクをノードから少し引き出して、バック・プレートから離します。
6. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から上部カバーを取り外します。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
7. システム・ボードから 2 本の青色の信号ケーブルを外し、電源機構バックプレーン・カードから電源ケーブルを外します。
8. ロック用タブ **1** を押して、ノードからバック・プレートを少し持ち上げます。電源ケーブルを取り外し、バック・プレートを除去します。

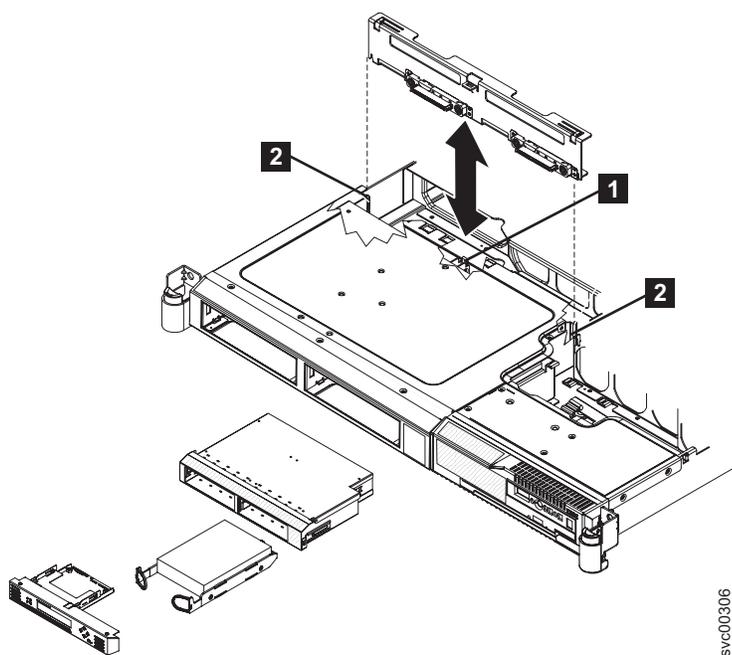


図 111. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法

1 ロック用タブ

2 マウント用の溝

関連タスク

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要がある可能性があります。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』
サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し

ディスク・ドライブ・ケーブルは、障害が起こった場合、または交換する場合に取り外す必要があります。

ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外すには、以下のステップで行います。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. SCSI シグナル・コネクタ **1** と電源コネクタ **2** をディスク・ドライブの背面から切り離してから、ケーブルを取り外します。図 112 を参照してください。

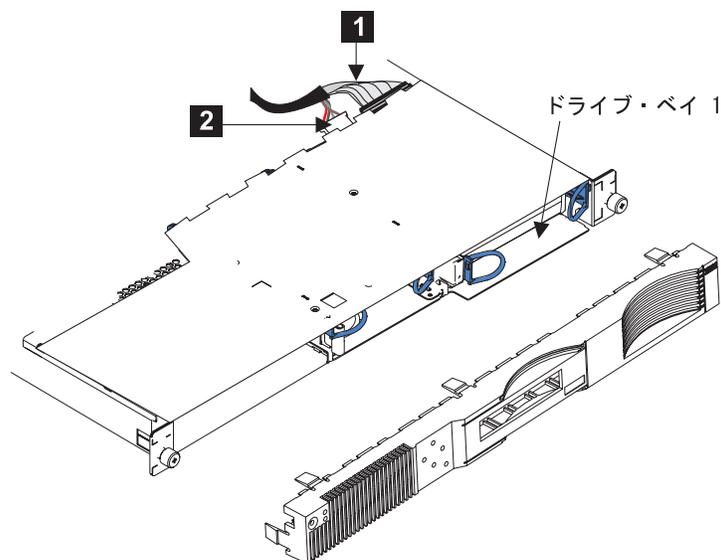


図 112. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の内部で行うタスクがほかにある場合は、ここで行います。

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

ディスク・ドライブの再取り付け

保守アクション用にディスク・ドライブを再取り付けする必要が生じる場合があります。

以下のトピックには、SATA ディスク・ドライブを取り外す方法を記載してあります。

関連タスク

420 ページの『ディスク・ドライブの取り外し』

保守アクション用にディスク・ドライブを取り外す必要が生じる場合があります。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

432 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法』

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要が生じる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 SATA ディスク・ドライブの再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 SATA ディスク・ドライブの再取り付け方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA (Serial Advanced Technology Attachment) ディスク・ドライブは、既存のディスク・ドライブを取り外した後に再取り付け可能です。

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のディスク・ドライブを再取り付けます。

1. ノードのカバーが所定に位置で完全に閉じた状態にあることを確認します。

重要: ハード・ディスク・コネクタの損傷を防止するために、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行う場合は必ず、ノードのカバーが所定に位置で完全に閉じた状態にあることを確認します。

2. 新しいディスク・ドライブに同梱のレール・アセンブリーとねじを見つけます。
4 つのねじを使って (ディスクの各サイド上に 2 つのねじを使用)、レール・アセンブリーをディスク・ドライブに接続します。



3. レールのループをお互いの方向に引っ張り、ドライブをノードの中へスライドさせてゆき、ドライブがバック・プレートに接続するようにします。
4. ドライブ・トレイのループを解放します。
5. サービス・コントローラーを交換します。405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』を参照してください。
6. 電源コードとすべての外部シグナル・ケーブルを再接続します。このノードの電源オン時に、ノード・レスキュー・プロシージャを使用して新規ディスク上に SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアをインストールします。次に、ノードをクラスターに追加します。

注: ハード・ディスクとサービス・コントローラーを同時に取り替える必要がある場合は、ノードを始動してノード・レスキューを実行することはできません。412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』を参照してください。

7. ノードを電源オンします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の SATA ディスク・ドライブの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の SATA (Serial Advanced Technology Attachment) ディスク・ドライブは、既存のディスク・ドライブを取り外した後に交換できます。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のディスク・ドライブを交換します。

1. 背面パネル取り付けコネクタで、ドライブの後部が音を立てて所定の位置に収まるまで、ディスク・ドライブをベイの中にスライドします。
2. サービス・コントローラーをノードに収めます。405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』を参照してください。
3. ノードをラックに再取り付けします。
4. 電源コードとすべての外部シグナル・ケーブルを再接続します。このノードの電源オン時に、ノード・レスキュー・プロシージャを使用して新規ディスク上に SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアをインストールします。次に、ノードをクラスターに追加します。

注: ハード・ディスクとサービス・コントローラーを同時に取り替える必要がある場合は、ノードを始動してノード・レスキューを実行することはできません。412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』を参照してください。

5. ノードを電源オンします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの交換

重要:

- ディスク・ドライブは慎重に扱って、磁場の強いところから離してください。
- ディスク・ドライブは静電気の放電 (ESD) に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。静電気に弱い装置の取り扱いについての文書を参照してください。

ディスク・ドライブおよびケーブルを再取り付けするには、次の手順で行います。

1. 新しいディスク・ドライブに同梱のレールとねじを見つけて、レールをディスク・ドライブに取り付けます。

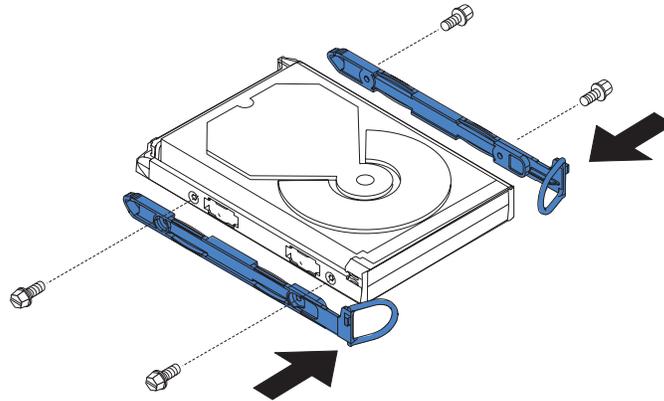


図 113. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブへのレールの取り付け

2. ディスク・ドライブを前方に押し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に押し込みます。

注: ディスク・ドライブを取り付ける時は、ラッチがカチッと収まるまで、ディスク・ドライブをSAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2の中へ押し込みます。

3. フロント・パネルを元に戻します。
4. SCSI シグナル・コネクタ **1** と電源コネクタ **2** をディスク・ドライブの背面に接続します。

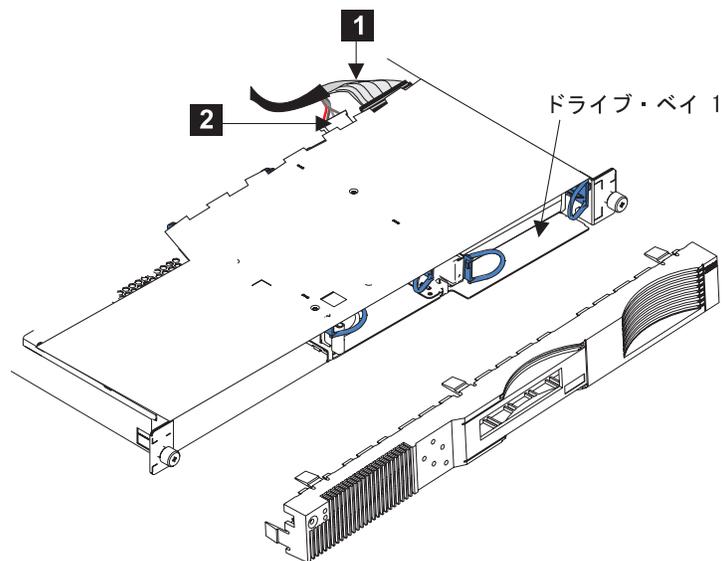


図 114. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブの交換

5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上部カバーを再取り付けします。
6. ラックに SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を収めます。

7. 電源コードとすべての外部シグナル・ケーブルを再接続します。このノードの電源オン時に、ノード・レスキュー・プロシージャを使用して新規ディスク上に SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェアをインストールします。次に、ノードをクラスターに追加します。

注: ハード・ディスクとサービス・コントローラーを同時に取り替える必要がある場合は、ノードを始動してノード・レスキューを実行することはできません。412 ページの『SAN ボリューム・コントローラーでのディスク・ドライブおよびサービス・コントローラーの交換』を参照してください。

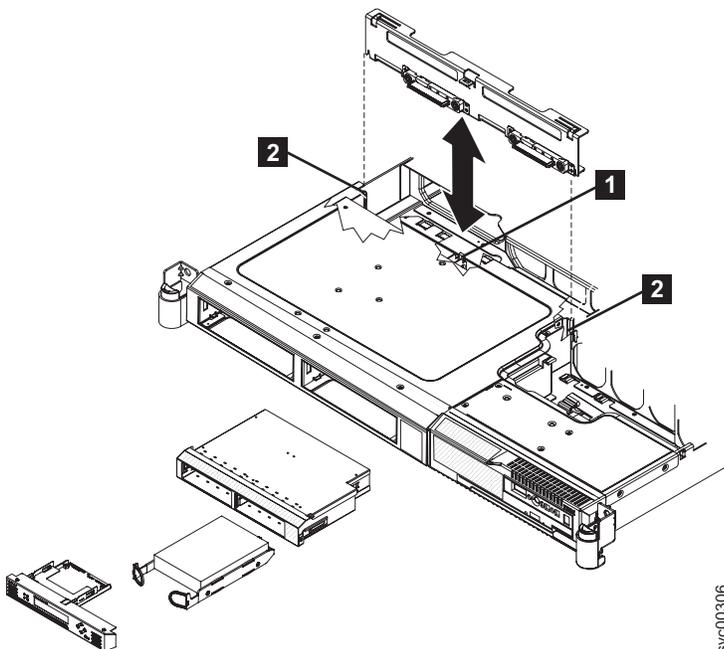
8. ノードを電源オンします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けする方法

保守アクション用に SATA バック・プレートを再取り付けする必要がある場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を再取り付けするには、以下のステップを行います。

1. 電源ケーブルを取り付け用バック・プレートに接続します。
2. バック・プレートをスライドさせて、取り付け用の溝 **2** に入れます。この場合に、隣接するどのワイヤーまたはケーブルも引っ掛かったり挟まったりしないようにしてください。



1 ロック用タブ

2 マウント用の溝

3. バック・プレートが、完全に収容されて、ロック・タブ **1** がカチッ音を立てて所定の位置に収まるまで、確実に押し込みます。

4. システム・ボードに 2 本の青色の信号ケーブルを再接続し、電源機構バックプレーン・カードに電源ケーブルを再接続します。
5. ハード・ディスクを取り付けます。428 ページの『ディスク・ドライブの再取り付け』を参照してください。
6. サービス・コントローラーを取り付けます。405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』を参照してください。
7. ノードをスライドさせてラックに入れます。
8. 取り外してあった電源コードを再接続します。
9. ノードの電源をオンにします。

関連タスク

426 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き) を取り外す方法』
保守アクション用に SATA バック・プレートを取り外す必要が生じる場合があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』
SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』
SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換

ディスク・ドライブ・ケーブルを取り外す場合は、必ず交換してください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルを交換するには、次の手順で行います。

1. SCSI シグナル・コネクタ **1** と電源コネクタ **2** をディスク・ドライブの背面に接続し、ケーブルを再取り付けします。434 ページの図 115 を参照してください。

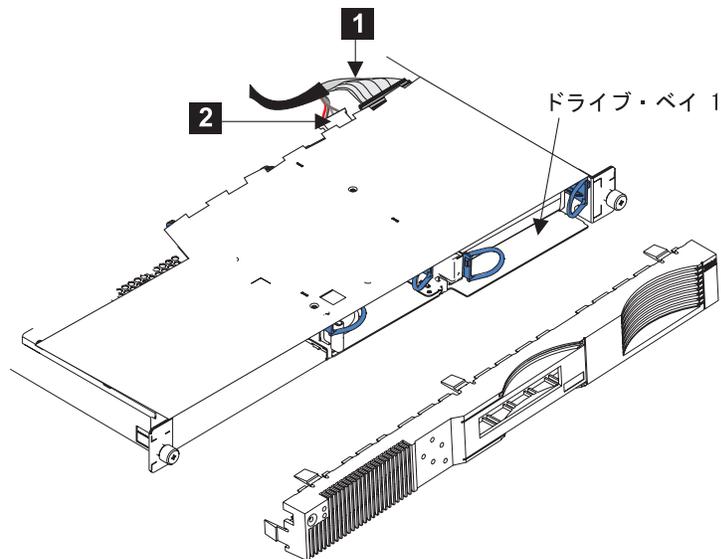


図 115. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ケーブルの交換

2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上部カバーを再取り付けします。
3. ラックに SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を収めます。
4. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のすべての電源を交換します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換

ディスク・ドライブ・ファンは、障害があるかまたは交換の必要がある場合は、取り外す必要があります。

ディスク・ドライブ・ファンを交換するには、以下のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. システム・ボードに接続された電源ケーブルのプラグを抜きます。
5. ディスク・ドライブ・ファンの右側を前方にスライドさせて、ファン・アセンブリー **1** 全体を取り外します。次にアセンブリーをクリップから引き離します。435 ページの図 116 を参照してください。

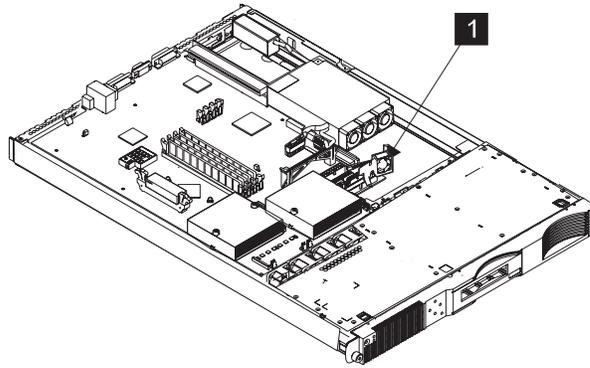


図 116. SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの取り外し

6. ブラケットの側面を引き離して、ファンをブラケットから取り外します。
7. ブラケットの側面を引き離して、新しいファンをブラケットに挿入します。
8. ファンを取り外している間に実行する必要がある他のタスクがあれば、ここでそれを行います。なければ、部品を逆の順序で取り付け直します。

注:

- 空気の流れは SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 の前部から後部へ向かいます。
- ファン・ケーブルはファンの後部から出ています。ファンを取り付ける際は、ファンの後部が SAN ポリウム・コントローラー 2145-4F2 の後部に向くようにしてください。

関連タスク

413 ページの『SAN ポリウム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換』

SAN ポリウム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ポリウム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ポリウム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ポリウム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

CMOS バッテリーの取り外し

システム・ボードの CMOS、またはシステム・ボードのバッテリーを取り外して再取り付けするか、通常の保守を行います。

IBM ではお客様の安全を考えてこの製品を設計しました。起こりうる危険を回避するために、リチウム・バッテリーは正しく取り扱ってください。バッテリーを交換する場合は、すべての安全指示に遵守してください。

安全 2:



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、**IBM 部品番号 33F8354** またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

以下のことは行わないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超えて熱する。
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

関連タスク

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ポリウム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

413 ページの『SAN ポリウム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ポリウム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ポリウム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ポリウム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 CMOS バッテリーの取り外し

このトピックには、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 CMOS バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

以下の手順を行って、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 の CMOS バッテリーを取り外します。

1. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 の電源を切って、すべての電源コードを取り外します。329 ページの『MAP 5350: SAN ポリウム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

2. カバーを取り外します。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
3. システム・ボード上でバッテリー **1** を見つけます。図 117 にはこのバッテリー位置を記載してあります。

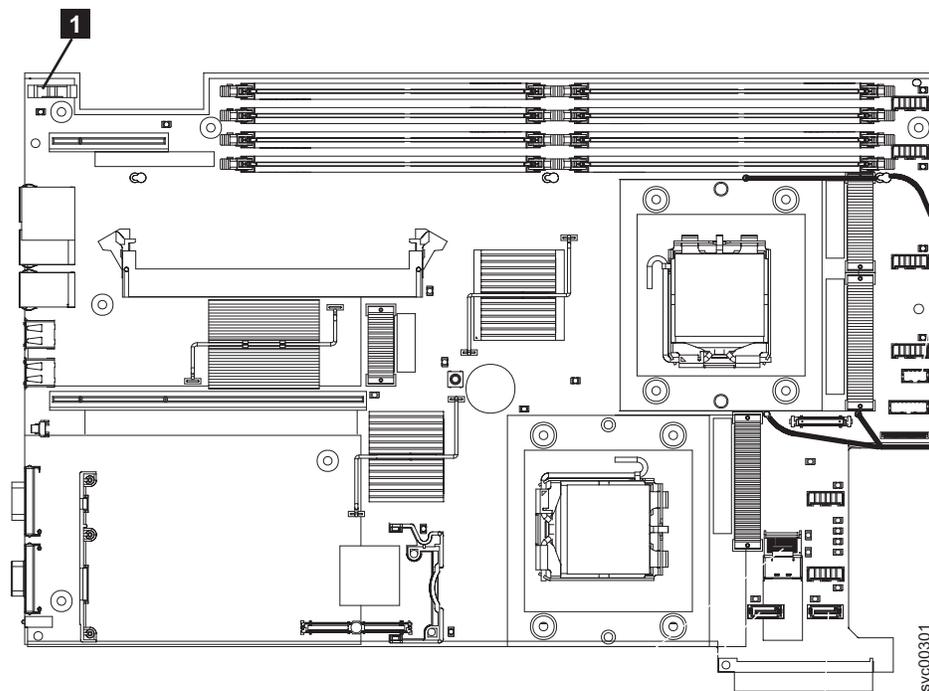


図 117. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4の CMOS バッテリー・ホルダーの位置

4. CMOS バッテリーの取り外し:

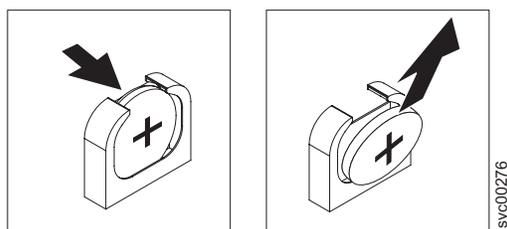


図 118. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 CMOS バッテリー・ホルダー

- a. 指の爪を使用してバッテリー・クリップの上部を押して、バッテリーから離します。指の爪を放すと、バッテリーがポップアップします。
 - b. 親指と人さし指でソケットからバッテリーを取り上げます。
5. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の CMOS バッテリーの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の CMOS バッテリーを取り外すには、次のステップを実行します。

1. バッテリーに付属の特別な取り扱いおよび取り付けの指示に従います。
2. ラックからノードを取り外します。
3. ノードから上部カバーを取り外します。
4. バッテリー **1** をシステム・ボード上で見つけます。図 119 を参照してください。

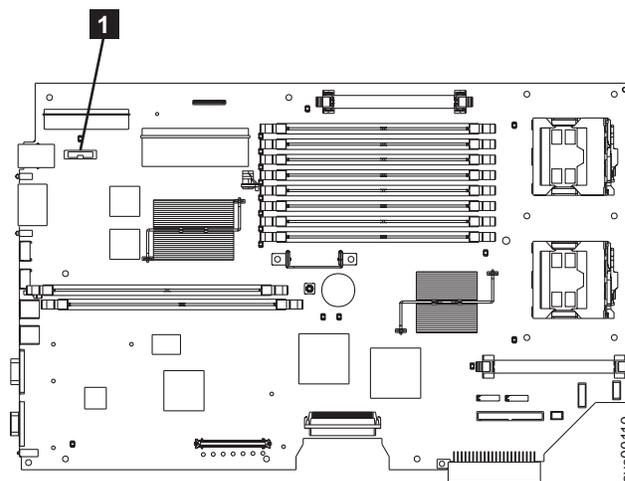


図 119. バッテリーの位置

5. バッテリーの取り外し:
 - a. 1 本の指で、バッテリーをハウジングに保護しているリテーナー・タブを引きます。図 120を参照してください。

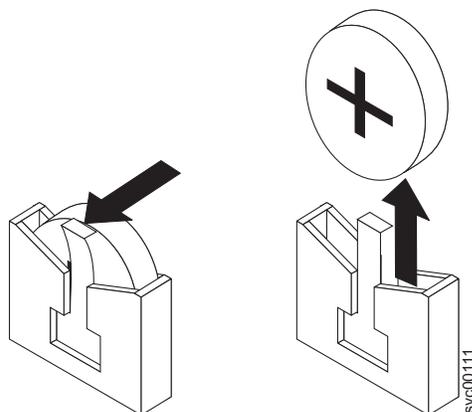


図 120. CMOS バッテリー・ホルダー

- b. 1 本の指で、バッテリーをソケットから少し押し出します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード CMOS バッテリーの取り外し

以下のステップを実行して、システム・ボード CMOS バッテリーを取り外します。図 121 を参照してください。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. 1 本の指で、バッテリーの上のバッテリー・クリップを持ち上げます。

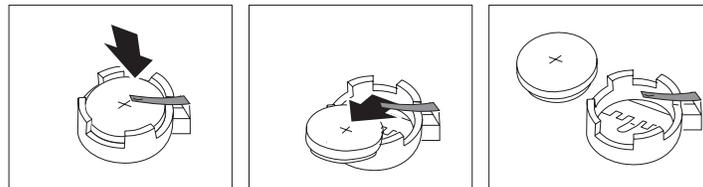


図 121. システム・ボードの CMOS バッテリーの取り外し

5. 1 本の指で、バッテリーをソケットから少し押し出します。スプリング機構がバッテリーをソケットからスライドさせながら、手前に押し出します。
6. 親指と人さし指でバッテリーをバッテリー・クリップの下から引き出します。
7. クリップを軽く押して、バッテリー・クリップがバッテリー・ソケットの底に触れていることを確認します。

CMOS バッテリーの再取り付け

通常の保守を実行した後に、システム・ボードの CMOS バッテリーを交換する必要があります。

IBM ではお客様の安全を考えてこの製品を設計しました。起こりうる危険を回避するために、リチウム・バッテリーは正しく取り扱ってください。バッテリーを交換する場合は、すべての安全指示に遵守してください。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

安全 2:



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

以下のことは行わないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超えて熱する。
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

関連タスク

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボードの再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 システム・ボードの再取り付け方法を記載してあります。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のシステム・ボード CMOS バッテリーを再取り付けします。

1. 再取り付けするバッテリーに付属の特別な取り扱いおよび取り付けの指示に従います。
2. システム・ボード上のバッテリーを見つけます。441 ページの図 122 には、バッテリーの位置 (1) を記載してあります。

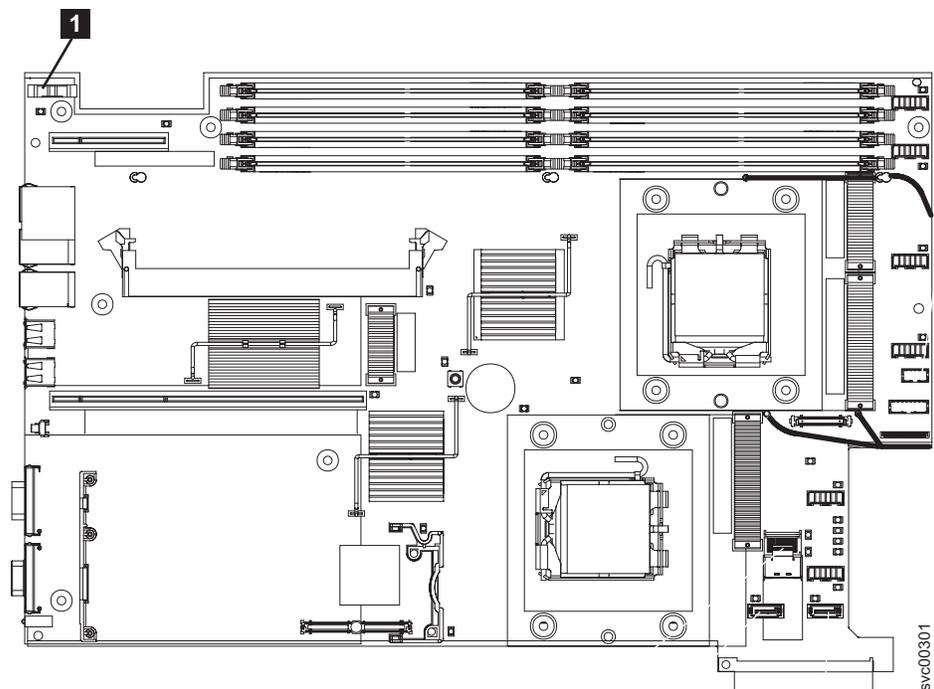


図 122. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の CMOS バッテリー・ホルダーの位置

3. 新規バッテリーを挿入するには以下を行います。
 - a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側にあるソケットに挿入します。
 - b. バッテリーを下に押し、所定の場所でカチッと音を立てるまでソケットに入れます。バッテリー・クリップがバッテリーを確実に保持するようにします。

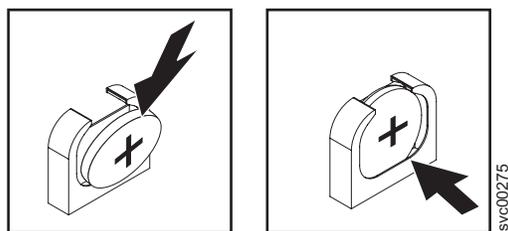


図 123. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 CMOS バッテリー・ホルダー

4. カバーを再取り付けします。
5. ノードをラックに再取り付けします。
6. 外部ケーブルを再接続してから、電源コードとノードを再接続します。
7. ノードの再始動上の問題がある場合は、MAP 5900: ハードウェア・ブート を参照してから、このシステムにモニターとキーボードを接続し、BIOS 日時を再設定します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の CMOS バッテリーの交換

IBM ではお客様の安全を考えてこの製品を設計しました。起こりうる危険を回避するために、リチウム・バッテリーは正しく取り扱ってください。バッテリーを交換する場合は、すべての安全指示に遵守してください。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の CMOS バッテリーを交換します。

1. 新しいバッテリーをバッテリー・ソケット **1** に挿入します。図 124 を参照してください。

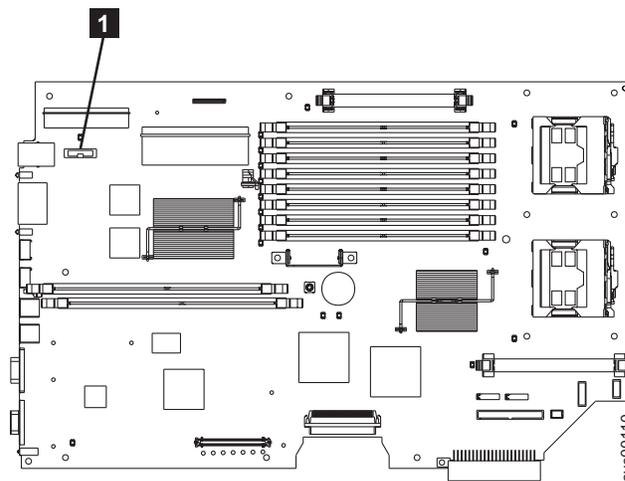


図 124. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 上の CMOS バッテリーの位置

- a. バッテリーの正 (+) 側がサーバーの中央に向くようにバッテリーを持ちます。
- b. バッテリーをソケットに入れることができるよう、邪魔にならないようにリテーナー・タブを引きます。
- c. バッテリーが所定の位置に収まるまで下方にスライドさせます。

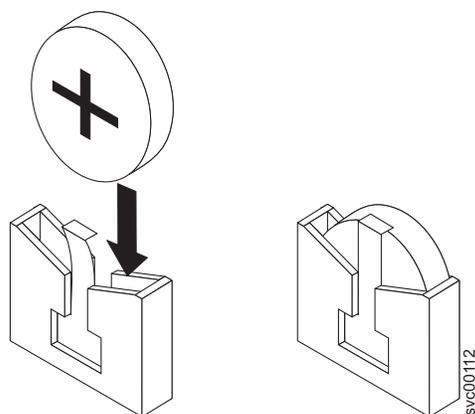


図 125. CMOS バッテリー・ソケット

2. ノード・カバーを再取り付けします。
3. ノードをラックに再取り付けします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のシステム・ボードの再取り付け

バッテリーを新しいものに交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等のタイプのバッテリーのみを使用してください。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

安全 2:



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

以下のことは行わないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超えて熱する。
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・ボード CMOS バッテリーを交換するには、以下のステップを実行します。444 ページの図 126 を参照してください。

1. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの下のソケットに挿入できるようにします。
2. バッテリー・クリップの下にスライドさせるときに、バッテリーを下に押し、ソケットに入れます。

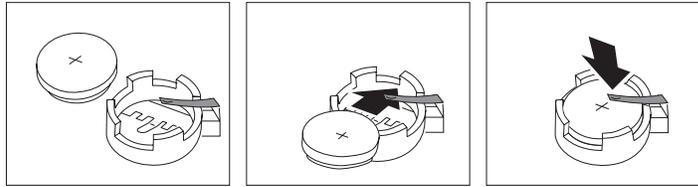


図 126. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボード CMOS バッテリーの交換

3. 上部カバーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に収めます。
4. ラックに SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を収めます。
5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のすべての電源を復元します。

CMOS バッテリーに障害が発生したときにこの SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 が構成ノードだった場合は、クラスターの日付と時刻が正しくなくなる可能性があります。CMOS バッテリーの交換後、マスター・コンソールを使用してクラスターの時刻を検査し、必要であれば訂正してください。

電源機構の取り外し

SAN ボリューム・コントローラー の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』
保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

434 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 ディスク・ドライブ・ファンの交換』
ディスク・ドライブ・ファンは、障害があるかまたは交換の必要がある場合は、取り外す必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源装置の取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源機構の取り外し方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源機構を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

電源装置を取り外すには、次のステップを実行します。

1. ノードを電源オフして、すべての電源コードを取り外します。 329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. ノードの背面で、ケーブル拘束ブラケットを取り外してノードの背面と電源装置 **1** にアクセスします。
3. オレンジ色のリリース・タブ **2** を押したままの状態にして、ノードから電源機構を引き出します。

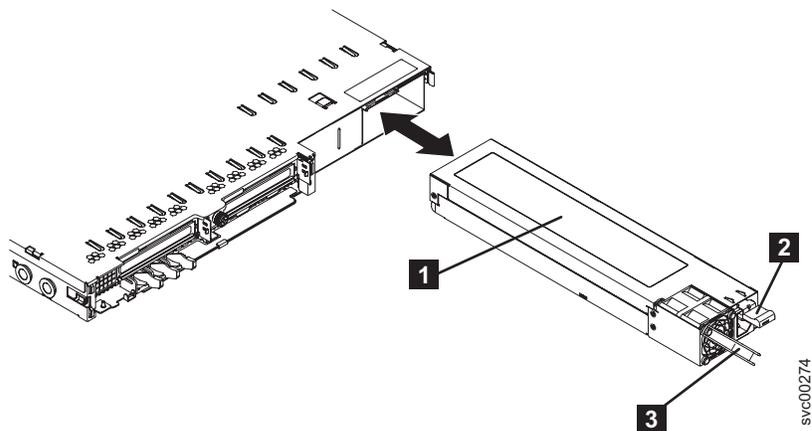


図 127. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源機構

- 1** 電源機構
- 2** 電源機構リリース・タブ
- 3** 電源機構ハンドル

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源機構の取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源機構を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

電源装置を取り外すには、次のステップを実行します。

1. ノードの電源をオフにします。
2. このノードに給電する 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の電源をオフにします。
3. 電源コードを取り外します。

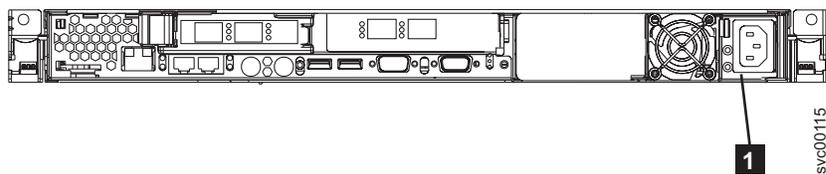
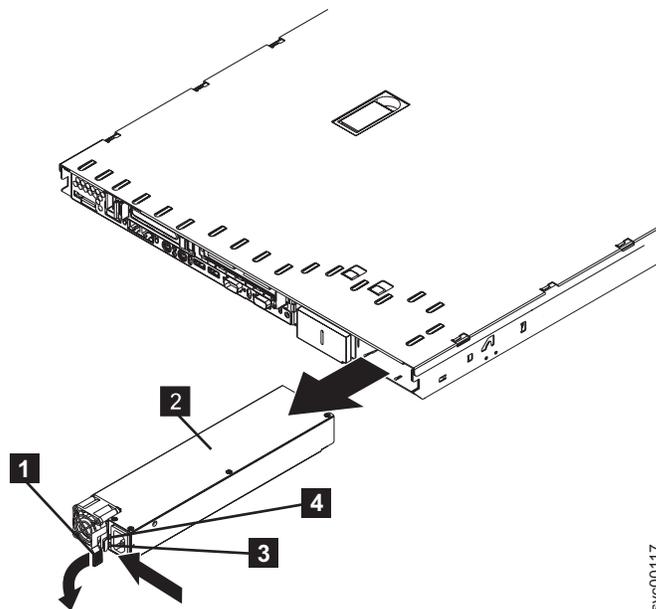


図 128. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 電源機構

4. ノードの後部で、オレンジ色のリリース・レバーを左方に押してから下方に押し、電源装置アセンブリーを解放します。これは、電源装置を少し後に移動し、簡単に取り外しができます。
5. 電源装置を電源装置ベイから引き出します。



svc00117

- 1** ハンドル
- 2** 電源装置
- 3** DC 電源 LED
- 4** AC 電源 LED

SAN ポリユーム・コントローラー 2145-4F2 電源機構の取り外し

電源装置を取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ポリユーム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ポリユーム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ポリユーム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. ディスク・ドライブのファンを取り外します。

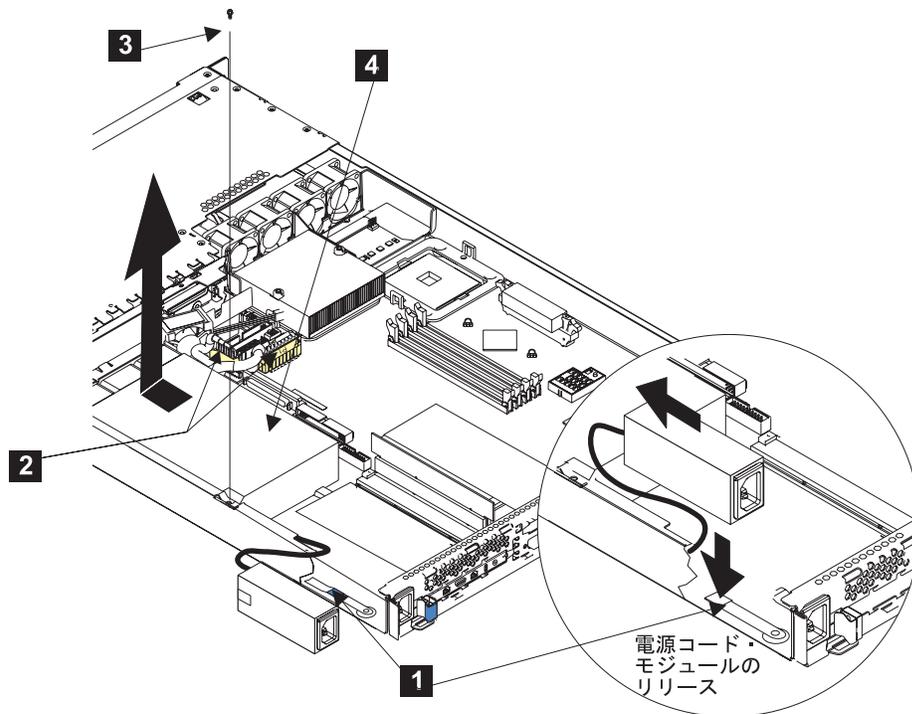


図 129. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源機構の取り外し

5. 電源ケーブル・モジュールの前部のクリップ **1** を押し下げて、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の側面にあるスロットから位置合わせタブが解放されるまで、モジュールを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前面方向へスライドさせます。図 129 を参照してください。
6. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から電源ケーブル・モジュールを、ケーブルが伸びるだけ持ち上げ、近くに置いておきます。
7. 電源コネクタ **2** を切り離します。
8. ねじ **3** を取り外します。
9. 電源機構 **4** を前方にスライドさせてから、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から持ち上げます。

電源機構は完成された FRU です。この内部の部品を修復したり、あるいは交換することは試みないでください。

10. 電源装置を取り外している間に、他のタスクを実行する場合は、ここで行いません。

電源機構の再取り付け

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要がある場合があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源装置の再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源機構の再取り付け方法を記載してあります。

電源装置を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源機構を再取り付けするには、次のステップを行います。

1. 電源装置の後部のハンドルをつかんで、所定の位置でカチッと音がするまで、電源装置をノードに向かって前方に完全にスライドさせます。

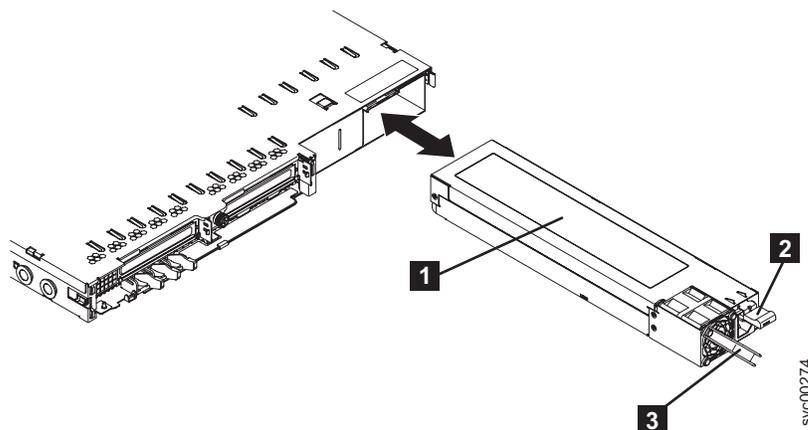


図 130. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源機構

- 1 電源機構
- 2 電源機構リリース・タブ
- 3 電源機構ハンドル

2. 電源機構上にある電源コード・コネクタに電源コードを接続します。この場合、ケーブル拘束ブラケットを通してこの電源コードを配線してこのコード上の機械的損傷を最小限にします。
3. 電源コードを再接続して、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の電源をオンにします。
4. 電源装置上の AC 電源 LED **1** と DC 電源 LED **2** が点灯 (電源装置が正しい作動状態であることを示す) していることを確認します。2 つの緑色の LED は電源コード・コネクタの隣にあります。

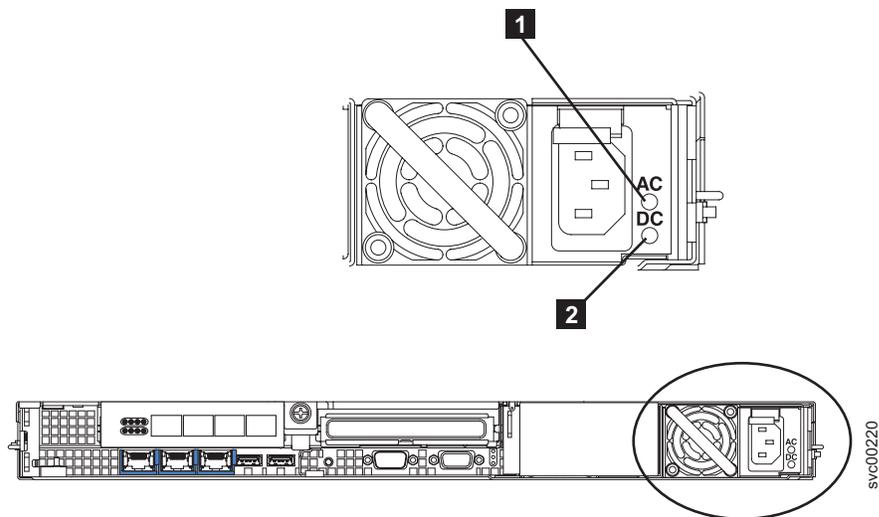


図 131. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 AC LED と DC LED

5. ノードを電源オンします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源機構の交換

電源装置を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源機構を交換します。

1. 電源装置を空の電源装置ベイに取り付けます。
 - a. 電源装置の後部のハンドル **1** を開放位置まで下の方に回して、電源装置を電源装置ベイに向かってスライドさせます。451 ページの図 132 を参照してください。

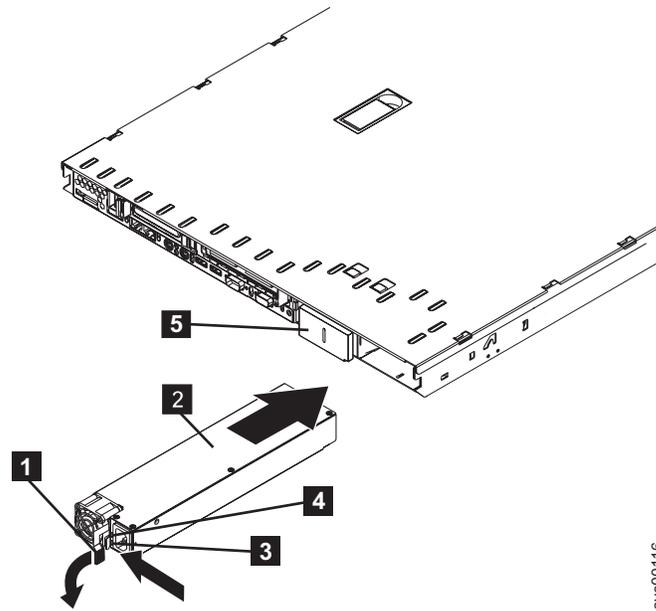


図 132. SAN ポリウレーム・コントローラー 2145-8F2電源装置のハンドル

- 1** ハンドル
- 2** 電源装置
- 3** DC 電源 LED
- 4** AC 電源 LED

- b. カチッという音がするまでハンドルを丁寧に上げます。これは電源装置がベイに安全に収まったことを示します。
2. 新しい電源装置の電源コードを、電源装置の電源コード・コネクタに接続します。
3. 電源コードを再接続して、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の電源をオンにします。
4. ノードを電源オンします。
5. 電源装置のファンが始動し、電源装置上の AC 電源 LED **1** と DC 電源 LED **2** が点灯 (電源装置が正しい作動状態であることを示す) していることを確認します。452 ページの図 133 を参照してください。

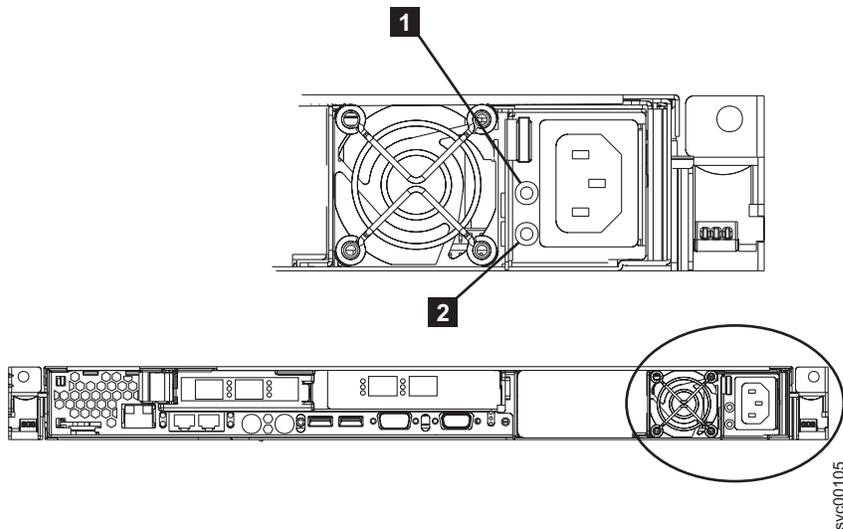


図 133. AC および DC 電源 LED

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源装置の交換

以下のステップを実行して電源装置を交換します。

1. 電源装置 **4** を SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 内にスライドします。図 134 を参照してください。

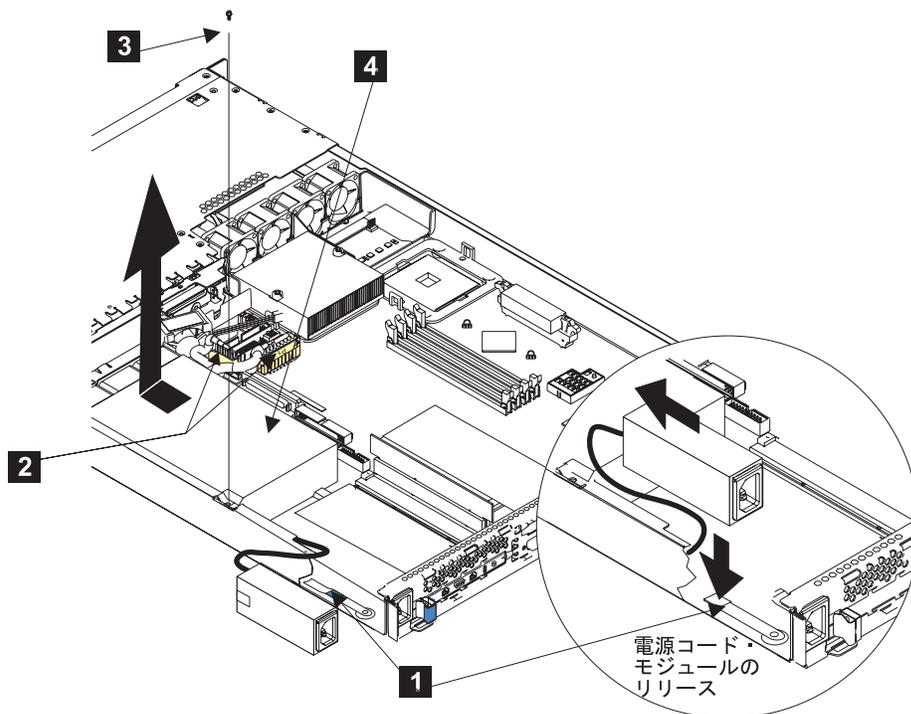


図 134. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 電源装置の交換

注: 以下の注記の翻訳については、「IBM Safety Information」を参照してください。

危険

電源機構アセンブリーを開いたり、保守したりしないでください。(D005a)

2. ねじ **3** を再取り付けします。
3. 電源コネクタ **2** を接続します。
4. SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 内に電源ケーブル・モジュールを収めます。
5. モジュールを SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 の後部に向かって、SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 の側面にあるスロットに調整タブがパチンと音を立てて収まるまでスライドします。
6. ディスク・ドライブ・ファンを交換します。
7. SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 の上部カバーを再取り付けします。
8. ラックに SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 を収めます。
9. SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 にすべての電源を戻します。

電源バックプレーンの取り外し

SAN ボリューム・コントローラの電源バックプレーンを取り外す必要が生じる場合があります。

電源バックプレーンを取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラ・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラ・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラ・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラ の上部カバーを取り外すことができます。

444 ページの『電源機構の取り外し』

SAN ボリューム・コントローラ の電源装置を交換するつもりであれば、取り外す必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

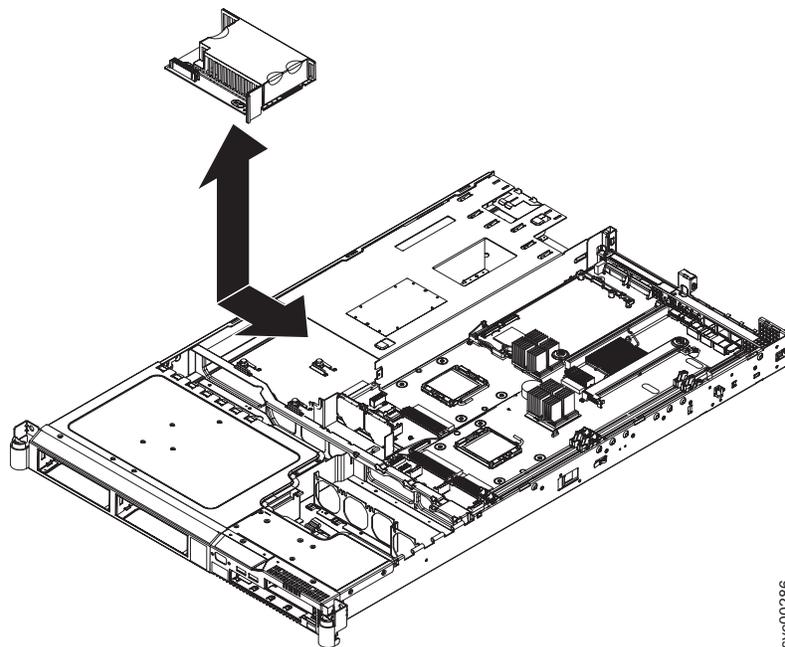
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の電源バックプレーンの取り外し

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源バックプレーンの取り外し方法を記載してあります。

電源バックプレーンを取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して電源バックプレーンを取り外します。

1. ノードを電源オフして、すべての電源コードを取り外します。 329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. ラックからノードを取り外します。 372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』を参照してください。
3. カバーを取り外します。 390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
4. 電源装置バックプレーンから電源装置を切り離します。



5. 電源装置バックプレーンに接続されたケーブルを切り離します。
6. 電源機構バックプレーンを左方にスライドし、システム・ボードから切り離します。
7. 電源機構バックプレーンを持ち上げて、このバックプレーンをこのノードから取り外します。

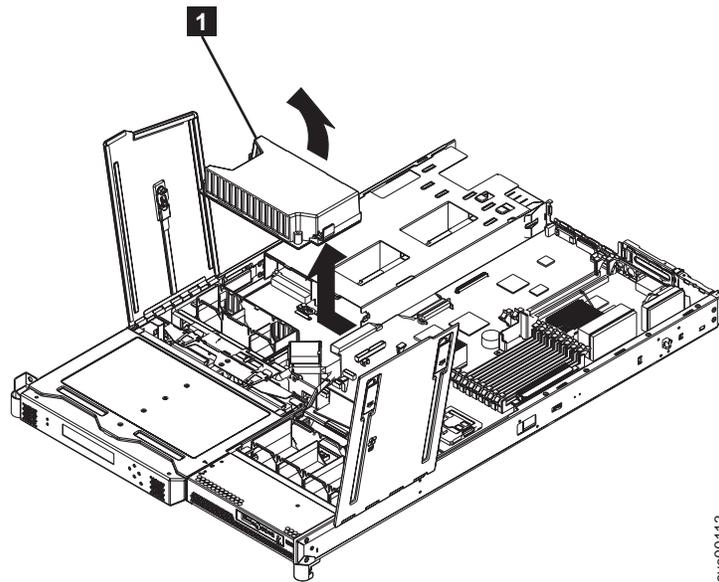
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源バックプレーンの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源バックプレーンを交換する必要がある場合があります。

電源バックプレーンを取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して電源バックプレーンを取り外します。

1. ノードの電源をオフにします。
2. すべての電源コードと外部ケーブルをノードの後部から切り離します。
3. ラックからノードを取り外します。
4. 上部カバーを取り外します。
5. 電源装置を電源バックプレーンから切り離します。
6. 電源バックプレーンを左方にスライドし、システム・ボードから切り離します。



7. 電源バックプレーンをノードから取り外します。

電源バックプレーンの交換

保守アクションのために電源バックプレーンを再取り付けする必要がある場合があります。

関連タスク

448 ページの『電源機構の再取り付け』

保守アクション用に SAN ボリューム・コントローラーの電源機構を再取り付けする必要がある場合があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

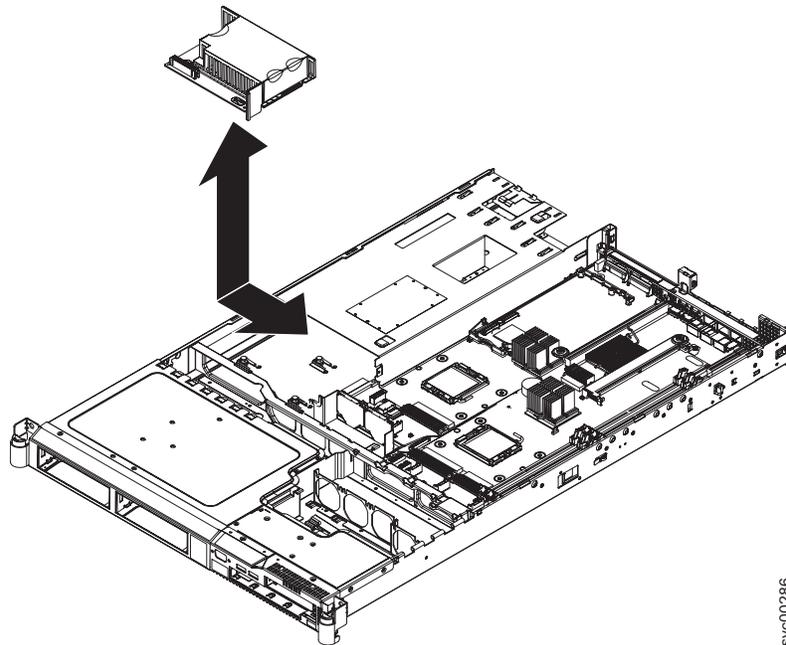
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源バックプレーンの再取り付け

このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 電源バックプレーンの再取り付け方法を記載してあります。

電源バックプレーンを交換する前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して電源バックプレーンを交換します。

1. 電源機構バックプレーンにあるかぎ穴スロットと、ノードにある取り付けピンとを位置合わせします。
2. 電源機構バックプレーンをノードの右側方向にスライドさせて行き、エッジ・コネクタが完全に接続されるようにします。
3. 電源装置バックプレーンにケーブルを再接続します。
4. 電源装置を電源装置ベイに取り付けます。



5. カバーを再取り付けします。
6. ノードをラックに再取り付けします。
7. 取り外してあった電源コードとすべてのケーブルを再接続します。
8. ノードの電源をオンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源バックプレーンの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の電源バックプレーンを交換する必要がある場合があります。

電源バックプレーンを交換する前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して電源バックプレーンを交換します。

1. SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4 の所定の位置で電源バックプレーンを下げ、システム・ボードに接続するように右方にスライドします。図 135 を参照してください。

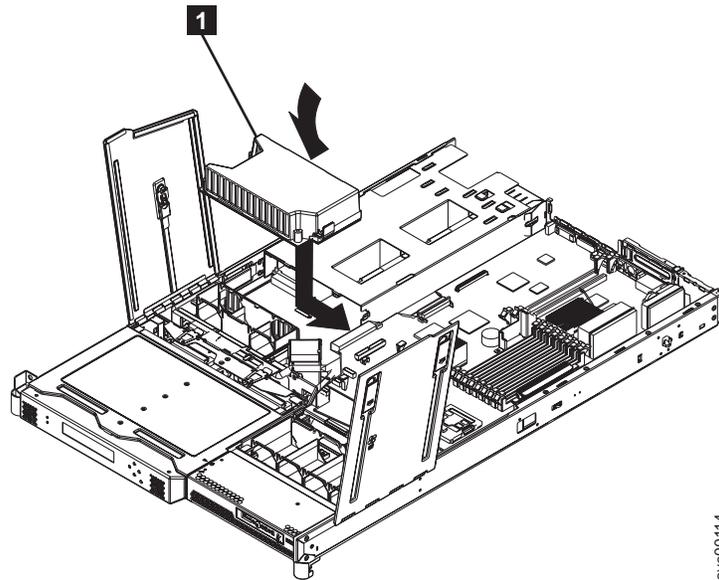


図 135. 電源バックプレーンの交換

2. 電源装置を電源バックプレーンに接続します。
3. 上部カバーを再取り付けします。
4. ラックにノードを収めます。
5. すべての電源コードと外部ケーブルをノードの後部に接続します。
6. ノードの電源をオンにします。

フレーム・アセンブリーの取り替え

SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリーを取り替える必要があるのは、システム・ボード障害時か、またはエラーの切り分けのために他のシステム・ボード・コンポーネントを取り替える時です。

フレーム・アセンブリーを取り替えるには、次の手順を実行します。

1. ノード前面のシリアル番号ラベルにある 7 桁のシステム・シリアル番号をメモします。

SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F2、SAN ポリウム・コントローラー 2145-8F4、および SAN ポリウム・コントローラー 2145-8G4 モデルのみ: シリアル番号を読み取れない、またはシリアル番号が正しいかどうかを確認したい場合は、ノードの Vital Product Data (VPD) で検出できます。

以下のステップを実行して、VPD でシリアル番号を検出します。

- a. SAN ボリューム・コントローラーのアプリケーションを開始します。
 - b. 障害のあるノードの VPD を表示します。
 - c. システム・シリアル番号をメモします。
2. SAN ボリューム・コントローラー をラックから取り外します。
 3. 上部カバーを取り外します。
 4. ファイバー・チャンネル・アダプター・カードを交換するフレーム・アセンブリーから取り外します。
 5. サービス・コントローラーを交換するフレーム・アセンブリーから取り外します。
 6. ファイバー・チャンネル・アダプター・カードを新しいフレーム・アセンブリーに取り付けます。
 7. サービス・コントローラーを新しいフレーム・アセンブリーに取り付けます。
 8. 上部カバーを再取り付けします。
 9. ラックに、SAN ボリューム・コントローラー を取り付けます。

注: オリジナル・マシン・シリアル番号を復元するために以下のステップは重要です。これに失敗すると、お客様の保証、またはサービス契約が無効になることがあります。

10. 指定保守手順の一環としてこの修復を実行すると、上記でメモしたマシン・シリアル番号を入力するようプロンプトが出されます。それ以外では、以下のステップを実行します。
 - a. クラスタから障害のあるノードを削除します。
 - b. 修復したノードをクラスタに追加します。
 - c. コマンド行インターフェースを開始します。
 - d. 次のコマンドを発行します。

```
svcservicetask writesernum -sernum nodeserialnumber nodename
```

nodeserialnumber は上記でメモした番号で、*nodename* は、このステップで追加した修復されたノードの名前です。

svcservicetask writesernum -sernum *nodeserialnumber* *nodename* コマンドは、マシン・シリアル番号を SAN ボリューム・コントローラーのシステム・ボードに書き込みます。

注: ノードは、シリアル番号がシステム・ボードに書き込まれるとすぐに再始動します。

- e. 上記でメモしたシリアル番号を、ノードの正面にある空のシリアル番号ラベルに書き込みます。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

『アダプター・アセンブリの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

465 ページの『アダプター・アセンブリの再取り付け』

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリを再取り付けする必要がある場合です。

397 ページの『サービス・コントローラーの取り外し』

サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー から取り外すことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

11 ページの『クラスターへのノードの追加』

クラスターによってノードが除去またはリジェクトされた場合は、ノードをクラスターに追加しなければならない場合があります。

4 ページの『マスター・コンソールでの SAN ボリューム・コントローラー・コンソール・アプリケーション』

SAN ボリューム・コントローラー・コンソールは、マスター・コンソール・ソフトウェアのコンポーネントです。要件を満たしていれば、他のサーバーにもインストールできます。

12 ページの『重要製品データの表示』

ノードの重要製品データは、「重要製品データの表示」パネルから表示することができます。

10 ページの『クラスターからのノードの削除』

必要であれば、クラスターからノードを削除できます。

19 ページの『マスター・コンソールからの CLI へのアクセス』

コマンド行命令を入力して実行する必要がある場合、SAN ボリューム・コントローラー コマンド行インターフェースは、マスター・コンソールでアクセスできます。

アダプター・アセンブリの取り外し

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

注: アダプター・アセンブリーは静電気の放電に敏感です。アダプター・アセンブリーの取り外しまたは交換を行うときは、静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーの取り外し

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外します。

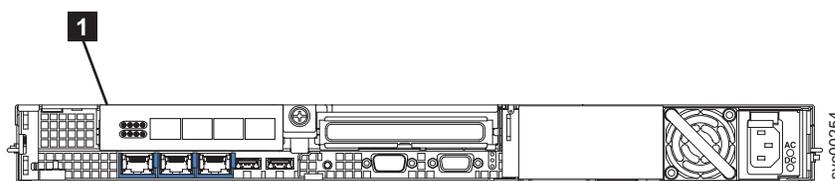


図 136. ファイバー・チャンネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背面図

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4の電源をオフします。

重要: アダプターの取り付け時は、アダプターがコネクタに正しく取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターの取り付けが間違っていると、システム・ボード、ライザー・カード・アセンブリー、またはそのアダプターを損傷する可能性があります。

2. この電源オフが完全に完了した時点で、主電源ケーブルの保持ブラケットを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 背面から電源ケーブルを取り外します。

3. それらの位置をメモした後で、その他の全ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から取り外します。
4. ラックからノードを取り外します。
5. ノードの上部カバーを取り外します。
6. ライザー・カード・アセンブリー **2** を後部エッジでつかみ、このライザー・カード・アセンブリーを持ち上げて取り外します。

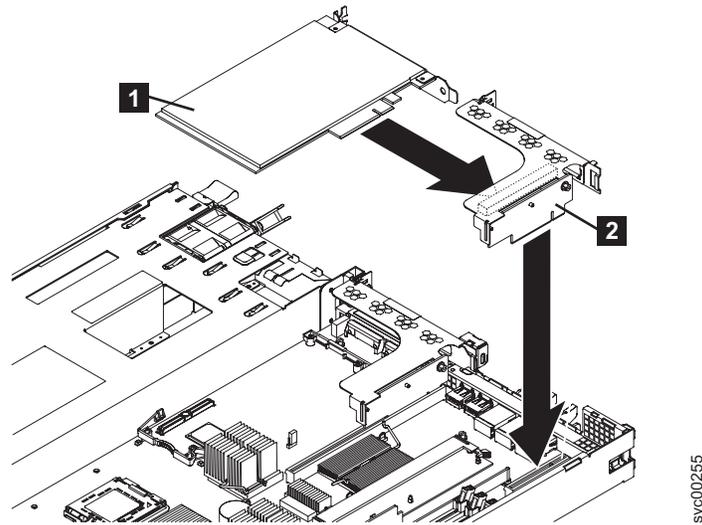


図 137. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 からのライザー・カード・アセンブリーの取り外し

7. ライザー・カード・アセンブリーを平坦で静電気保護された表面におきます。
8. 注意して、アダプター **1** をその上部エッジまたは上方の隅でつかんで、ライザー・カード・アセンブリー **2** からアダプターを引っ張ります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のアダプター・アセンブリーの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 には、2 つのタイプのファイバー・チャンネル・アダプターがあり、それらは機能的には同一ですが、交換可能ではありません。SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 には、PCI スロット 2 に 1 つの 4 ポート・アダプターがあります。

462 ページの図 138 は 2 つのファイバー・チャンネル・ポートを明示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の背面図を示しています。

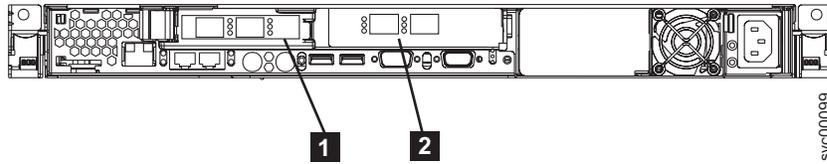


図 138. ファイバー・チャネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の背面図

1 PCI スロット 1 - ロー・プロファイルに、デュアル・ポート・ファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (HBA) を含みます。

2 PCI スロット 2 - フルハイトのデュアル・ポート・ファイバー・チャネル HBA を含みます。

図 139 は、4 ポート・ファイバー・チャネル HBA を明示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面図を示しています。

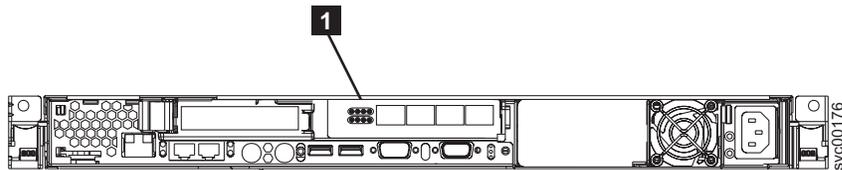


図 139. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の背面図

1 PCI スロット 2 - 4 ポート・ファイバー・チャネル HBA を含みます。

以下のステップを実行してファイバー・チャネル・アダプター・アセンブリを取り外します。

1. ノードからすべての電力を除去します。
2. ラックからノードを取り外します。
3. ノードの上部カバーを取り外します。
4. 以下のステップを実行して PCI カードを PCI スロット 1 (ロー・プロファイル) から取り外します。
 - a. 青色の PCI カード・リテーナー **1** をノードの後部から引き出します。図 140 を参照してください。

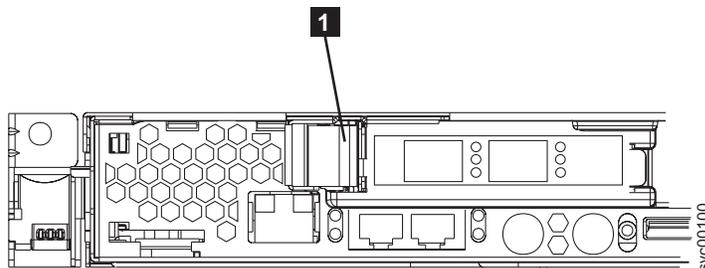


図 140. PCI スロット 1 カード・リテーナー

1 スロット 1 カード・リテーナー

- b. カードの青色のアダプター・サポートを押さえ、ライザー・カード・アセンブリーの、エッジ・コネクタから引き出します。図 141 を参照してください。

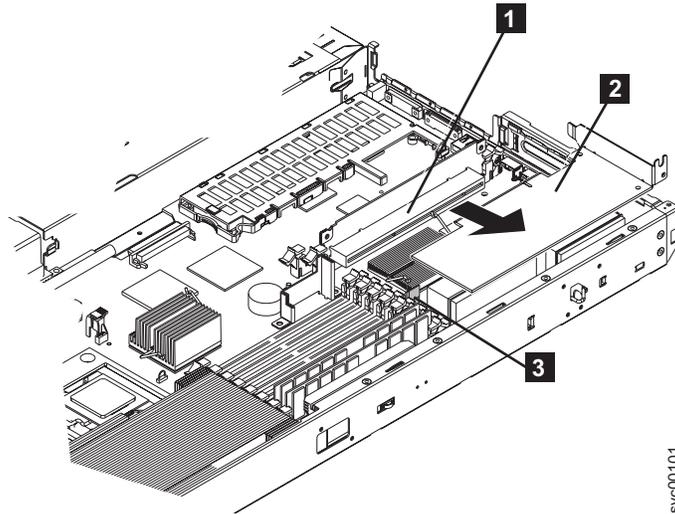


図 141. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ライザー・カードおよびロー・プロファイル・アダプター

1 ライザー・カード

2 ロー・プロファイル・アダプター

3 ロー・プロファイル・アダプター・サポート

5. 以下のステップを実行して PCI カードを PCI スロット 2 から取り外します。
- a. スロット 2 のライザー・カードの両側面にある固定クリップを、ライザー・カードからの接続がなくなるまで下方に押しながら開きます。

注: 指をスロット 2 アダプター・カバーのアクセス・ホールに入れて、ノードの後部にある保持ラッチを開放状態にします。

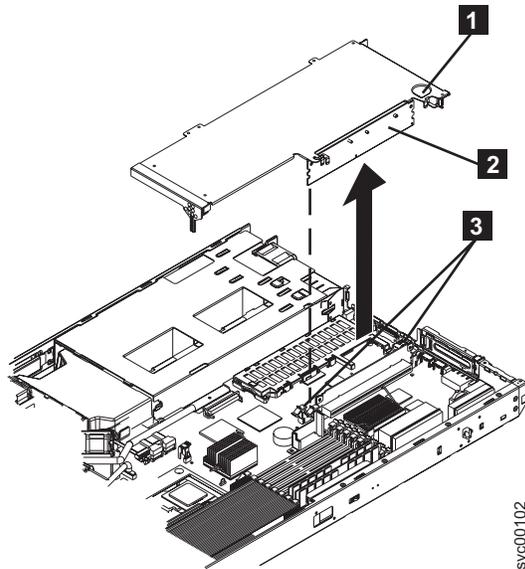


図 142. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のスロット 2 アダプター

- 1** 保持ラッチへのアクセス・ホール
- 2** ライザー・カード
- 3** ライザー・カード保持ラッチ

- b. PCI スロット 2 ライザー・カード **2** の止め金を外して、システム・ボード・エッジ・コネクタから抜き取ります。
- c. ライザー・カードをフレームから持ち上げて、ライザー・カード・エッジ・コネクタからファイバー・チャンネル・カードを引き出します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、次の手順で行います。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. 取り外すアダプターについて、拡張スロット・クリップ (465 ページの図 143 の **2** または **3**) の側面を一緒に押してクリップをアンロックしてから、拡張スロット・クリップをアダプターから離す方向に回転させます。拡張スロット・クリップは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 に緩めに接続しています。

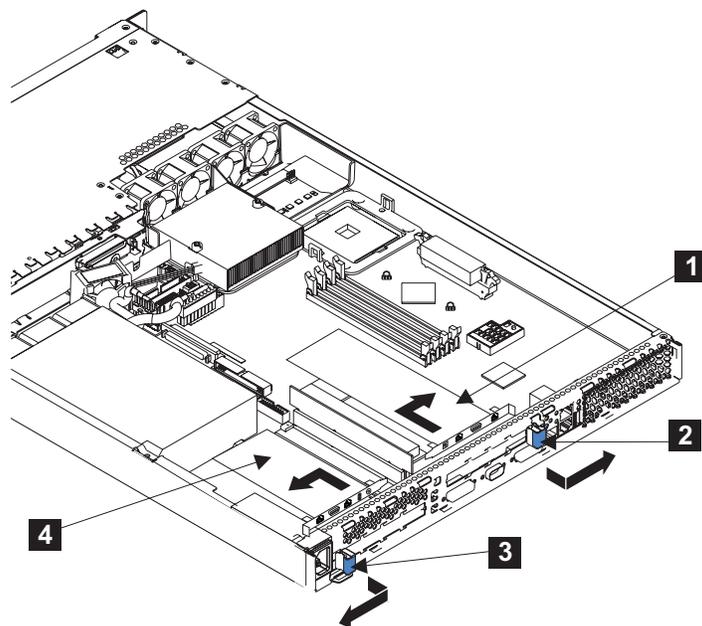


図 143. アダプターを取り外す前の SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2

- 1 アダプター A
- 2 アダプター A 拡張スロット・クリップ
- 3 アダプター B 拡張スロット・クリップ
- 4 アダプター B

重要: アダプターのコンポーネントおよびゴールド・エッジ・コネクタには触れないでください。

5. アダプター (1 または 4) をコネクタから外します。
6. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からアダプターを取り外します。

アダプター・アセンブリーの再取り付け

以下の手順を使用するのは、アダプター・アセンブリーを再取り付けする必要がある場合です。

関連タスク

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

459 ページの『アダプター・アセンブリーの取り外し』

このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを取り外す必要がある場合です。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーの再取り付け

以下の手順を行って、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーを再度取り付けます。

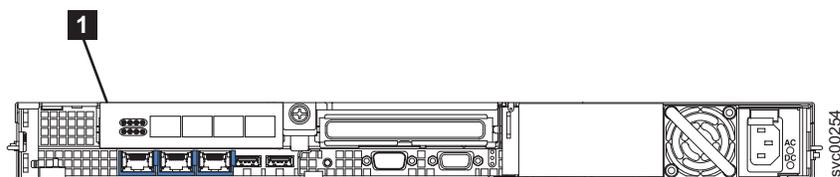


図 144. ファイバー・チャンネル・ポートを示した SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の背面図

1. アダプターの挿入を開始する場合、ロー・プロファイル・アダプター **1** 上のエッジ・コネクタをライザー・カード・アセンブリー上のコネクタと位置合わせします。 **3** エッジ・コネクタをしっかりと押してライザー・カード・コネクタの中へ入れます。 **4** このアダプターがカチッと音を立ててライザー・カード・アセンブリーに確実に入ったことを確認します。

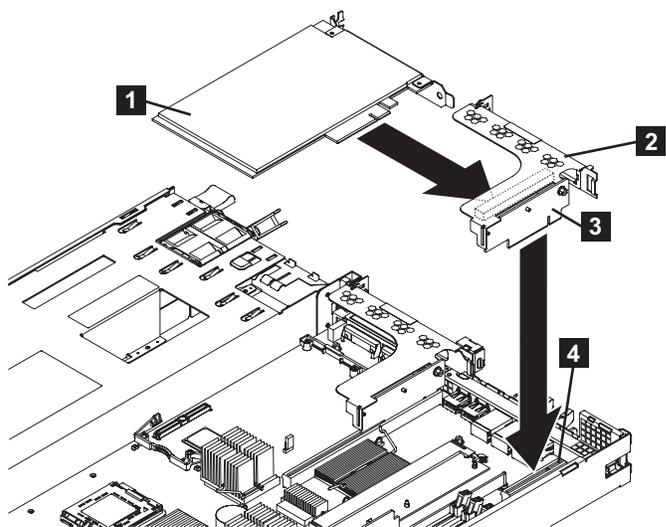


図 145. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 用のライザー・カード・アセンブリーの再取り付け

- 1** ファイバー・チャンネル・アダプター
- 2** アダプター・サポート・ブラケット
- 3** ライザー・カード・アセンブリー
- 4** ライザー・カード・コネクタ

2. このノードの上部カバーを再度取り付けます。
3. ノードをラックに再度取り付けます。
4. ノードから取り外してあった各ケーブルを再度取り付け、ファイバー・チャンネル・ケーブルを、取り外した時と同じポートに再度取り付けたことを確認します。
5. ノードに電源ケーブルを再度取り付け、電源ケーブル保持ブラケットを再度取り付けます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のアダプター・アセンブリーの交換

注: アダプター・アセンブリーは静電気の放電に敏感です。アダプター・アセンブリーの取り外しまたは交換を行うときは、静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

以下のステップを実行して、ファイバー・チャンネル・カードをライザー・カード・アセンブリーに取り付けます。

1. ファイバー・チャンネル・カードをスロット 1 に取り付けます。図 146 を参照してください。

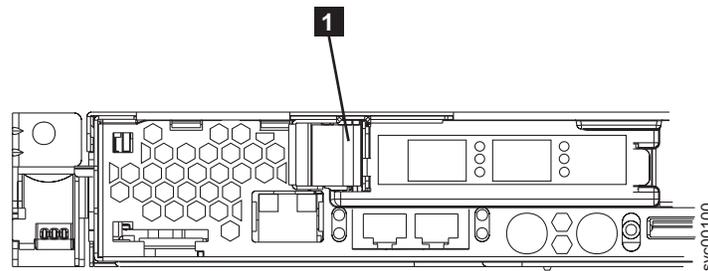


図 146. PCI スロット 1 カード・リテーナー

- a. アダプターの I/O コネクターの部分を、スロット 1 開口部にスライドさせて、ライザー・カードにコネク터를付けたロー・プロファイル・アダプターのエッジ・コネクターの位置合わせをします。エッジ・コネクターをしっかりとライザー・カード・コネクターに押し込みます。アダプターがカチッと音を立ててライザー・カードに安全に差し込まれていること、およびアダプターがロー・プロファイル・アダプター・サポートの上部にあることを確認してください。
 - b. アダプターをつまみよりも下に押し、アダプターがサポートの所定の位置にカチッと音を立てて収まるようにします。
 - c. ライザー・カードの保持ラッチを検査し、それらが安全に所定の位置にあるかどうかを確認します。
 - d. ファイバー・チャンネル・カード・リテーナーを閉じて、カードを保護します。
2. ファイバー・チャンネル・カードをスロット 2 に取り付けます。
 - a. ライザー・カードのコネクターを付けたファイバー・チャンネル・アダプターのエッジ・コネクターの位置合わせをします。エッジ・コネクターをしっかりと

りとライザー・カード・コネクタに押し込みます。ファイバー・チャネル・カードの端にある金色のコネクタが見えなくなると、カードは完全に取り付けられます。

- b. ライザー・カード・アセンブリーの上端または上部のすみを掴み、ライザー・カードをライザー・カード・コネクタのガイドに位置合わせします。
 - c. ライザー・カード・エッジ・コネクタをシステム・ボード上のスロット 2 ライザー・カード・エッジ・コネクタにしっかりと押し込みます。保持ラッチが所定の位置にカチッと収まり、ライザー・カードをスロット 2 ライザー・カード・コネクタに固定していることを確認してください。
3. このノードの上部カバーを再度取り付けます。
 4. ノードをラックに再取り付けします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 アダプターの交換

重要: アダプターのコンポーネントおよびゴールド・エッジ・コネクタには触れないでください。アダプターを取り付けるときは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2を電源オンにする前に、アダプターがコネクタに正しく収まっていることを確認します。アダプターの設置が正しくないと、システム・ボード、スロット 1 のライザー・カード、またはアダプターを損傷するおそれがあります。

アダプター・アセンブリーを交換するには、次の手順で行います。

1. 新しいアダプターを取り付ける場合は、静電気保護パッケージからアダプターを取り外します。
2. アダプターの上端または上隅をつかみ、コネクタの位置に合わせます。ライザー・カードを支えて、アダプターをコネクタに完全に押し込めます。
3. 拡張スロット・クリップ (図 147 の **2** または **3**) をアダプターの方向に回転し、所定の位置に押し込みます。

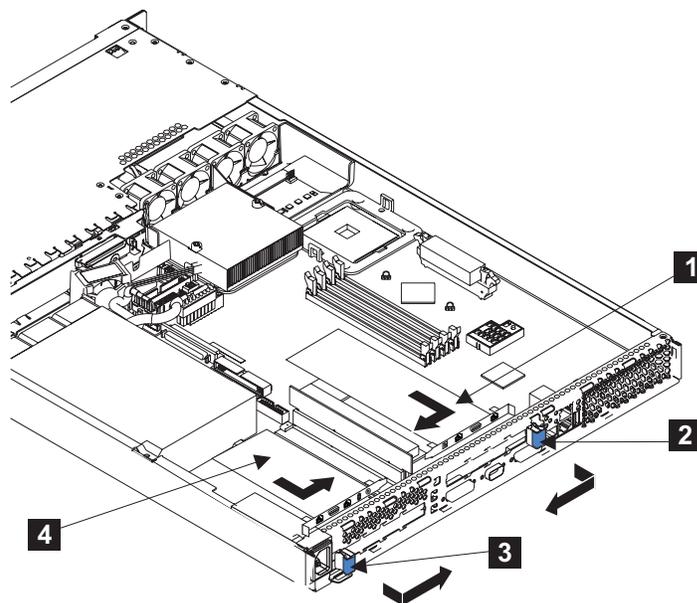


図 147. アダプターをインストールした SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2

- 1 アダプター A
- 2 アダプター A 拡張スロット・クリップ
- 3 アダプター B 拡張スロット・クリップ
- 4 アダプター B

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の手順を使用するのは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリーを取り外すようにプロンプトが出された場合です。

注: アダプター・アセンブリーは静電気の放電に敏感です。アダプター・アセンブリーの取り外しまたは交換を行うときは、静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリーの取り外すには、460 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーの取り外し』に記載された手順に従ってください。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け

以下の手順を使用するのは、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 PCI Express ライザー・カード・アセンブリーを再取り付けするようにプロンプトが出された場合です。

466 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリーの再取り付け』に記載された手順に従います。

オペレーター・パネル表示装置アセンブリーの取り外し

SAN ボリューム・コントローラーのオペレーター・パネル表示装置を取り外すためのプロンプトが出される可能性があります。

静電気に弱い装置の取り扱い方法を必ず理解しておいてください。

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のオペレーター・パネル表示装置アセンブリーの取り外し

必要な保守のため、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上のオペレーター・パネル表示装置アセンブリーを再取り付けする必要がある場合があります。

以下の手順を実施してゆく場合に、ケーブルのレイアウトを注意深くメモしてください。その理由は、オペレーター・パネル表示装置アセンブリーを再取り付け時に、同じ位置にそのケーブルを再取り付けすることになるからです。

1. ノードの電源をオフにし、そのノードをラックから取り外します。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. カバーを取り外し、ファン・ドアを開きます。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
3. ダミー CD/DVD ドライブ **2** を解放します。これを行うには、解放ボタン **1** を押し、このドライブを約 2 cm 外にスライドさせます。このドライブが動きだすようにするために、背面からこのドライブを押すことができます。覆いからはこのドライブを取り外さないでください。

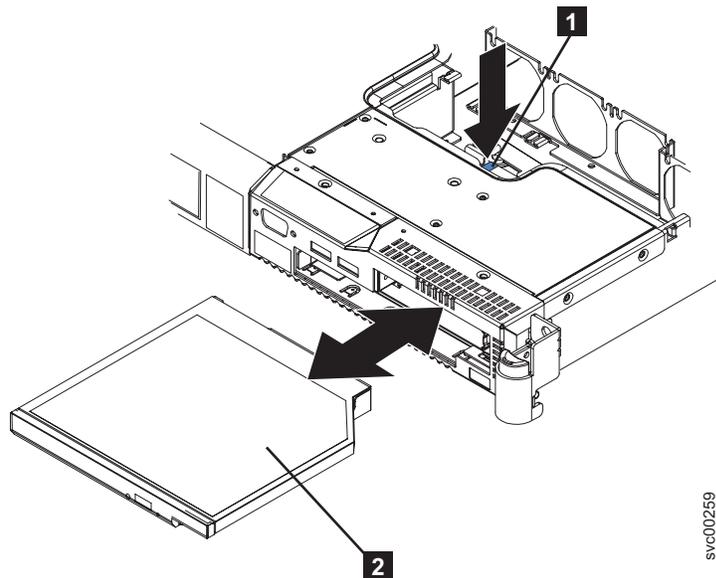


図 148. ダミーの CD/DVD ドライブを解放し、スライドさせて外に出す方法

1 リリース・ボタン

2 ダミー CD/DVD ドライブ

4. CD 変換コネクタ・カード **2** を取り外すには、そのねじを外し、少し持ち上げてから、ケーブルをそのカードから取り外します。

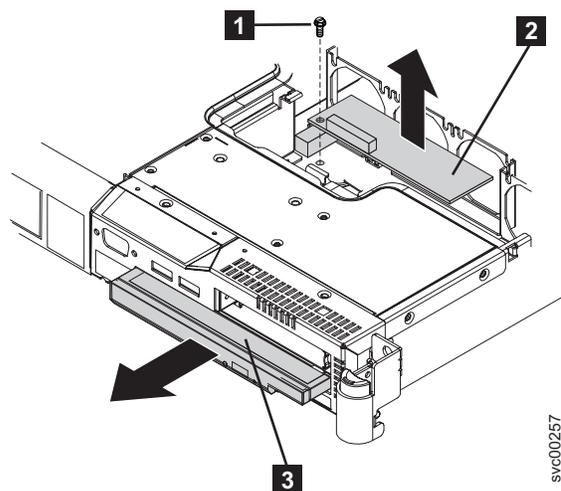
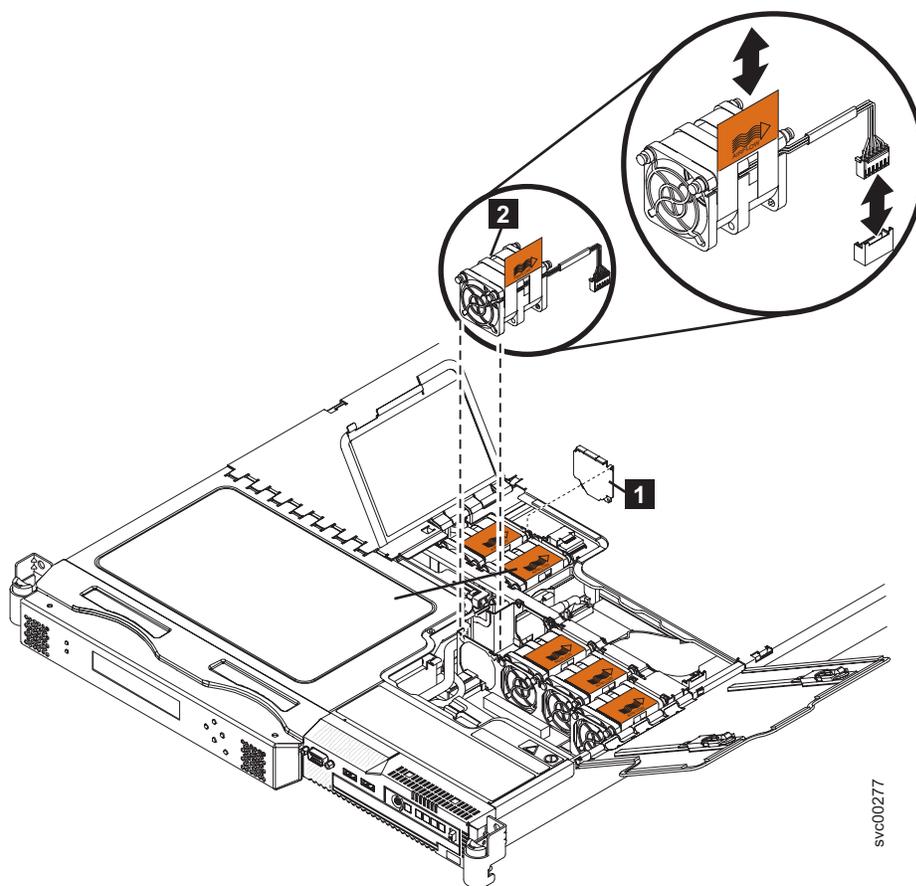


図 149. CD 変換コネクタ・カードの取り外し

- 1** ねじ
- 2** 変換コネクタ・カード
- 3** ダミー CD/DVD ドライブ

5. ファン 3 を取り外します。



svc00277

図150. ファン 3 の取り外し

- 1** エア・バッフル
- 2** ファン 3

6. エア・バッフルの取り外し **2**。

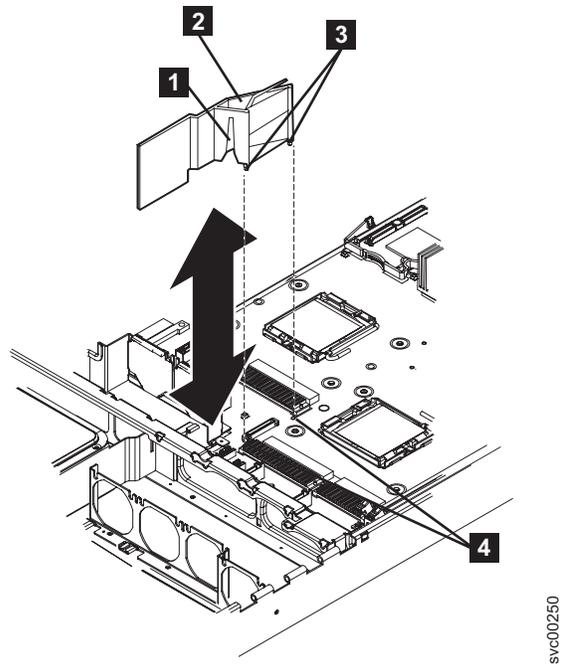


図 151. エア・バッフルの取り外し

- 1 ケーブル・ルーティング・スロット
- 2 エア・バッフル
- 3 バッフル・ピン
- 4 バッフル取り付け用の穴

7. システム・ボードから、ビデオ・ケーブル **8**、USB ケーブル **7**、および CD/DVD ケーブル **9** のプラグを抜きます。これらのケーブルを完全に除去する必要はありません。これらのケーブルのプラグを抜くと、ライト・パスのリボン・ケーブル **4** を操作しやすくなります。

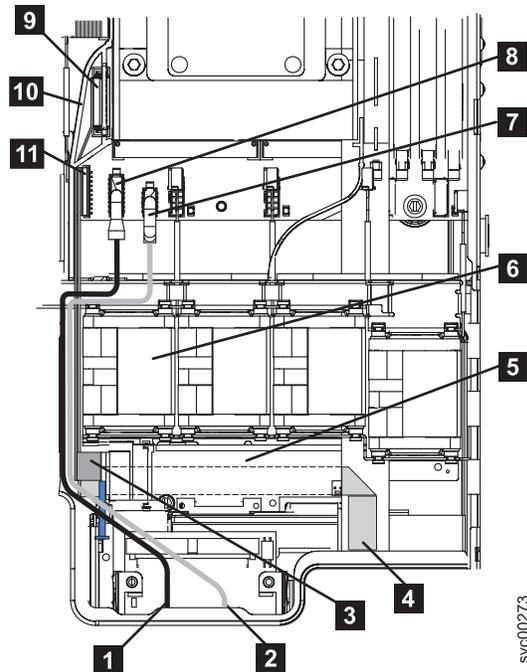


図 152. ビデオ、USB、および CD/DVD ケーブルのプラグを抜く方法

- 1** ビデオ・ケーブル
- 2** USB ケーブル
- 3** CD-RW ケーブル
- 4** ライト・パス・ケーブル
- 5** 変換コネクタ・カード
- 6** ファン 3
- 7** USB ケーブル・コネクタ
- 8** ビデオ・ケーブル・コネクタ
- 9** CD-RW コネクタ
- 10** エア・バッフル
- 11** ライト・パス・ケーブル・コネクタ

8. システム・ボード・コネクタ **11** からライト・パスのリボン・ケーブル **4** のプラグを抜き、3 つの保持ブラケットからケーブルを取り外して、ケーブルを完全に抜いてしまいます。また、所定の位置にケーブルを留めておくためのテープを外してケーブルを解放します。このケーブルは、ライト・パス・アセンブリーと一緒に前方に移動させるために解放されている必要があります。
9. ライト・パス・アセンブリー **2** を解放します。これを行うには、リリース・ボタン **1** を前面で使用して、所定の位置でロックするまで前方に引っ張りま

す。

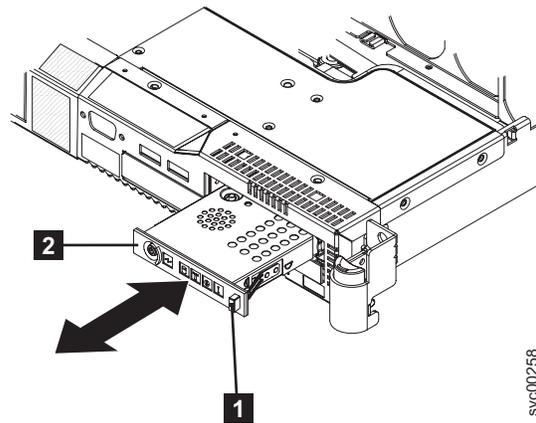


図 153. ライト・パス・アセンブリーの解放

10. 2つの解放ボタン **2** (ノード上部を通して見える) を押して、ライト・パス・アセンブリー **3** を完全にノードから引き出します。注意して、リボン・ケーブル **1** をライト・パス・アセンブリーの後を通して引っ張ります。

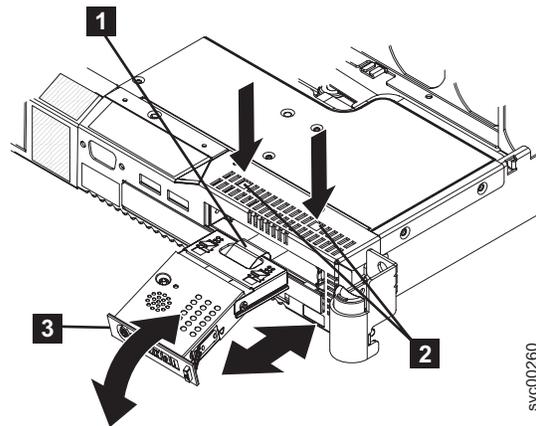


図 154. ライト・パス・アセンブリーの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置の取り外し

必要な保守のため、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネルを再取り付けする必要がある場合があります。

オペレーター・パネル表示装置を取り外すには、次のステップで行います。

1. ノードの電源をオフにします。
2. すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーの後部から切り離します。

3. 上部カバーを取り外します。必要であれば、ノードをラックから取り外す必要が生じる場合もあります。
4. オペレーター・パネル・リリース・ラッチ **2** を押して、オペレーター・パネル表示装置を SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 からスライドさせます。図 155 を参照してください。

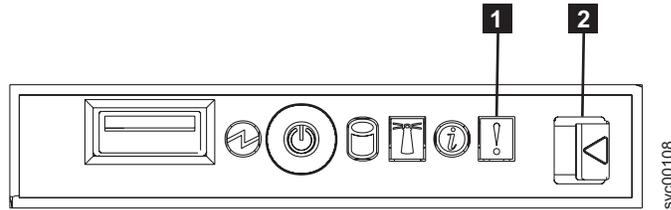


図 155. オペレーター・パネル表示装置

5. 小さなねじ回しを使用して、オペレーター・パネル表示装置アセンブリの側面にある保持スプリング **1** を押し込みます。図 156 を参照してください。

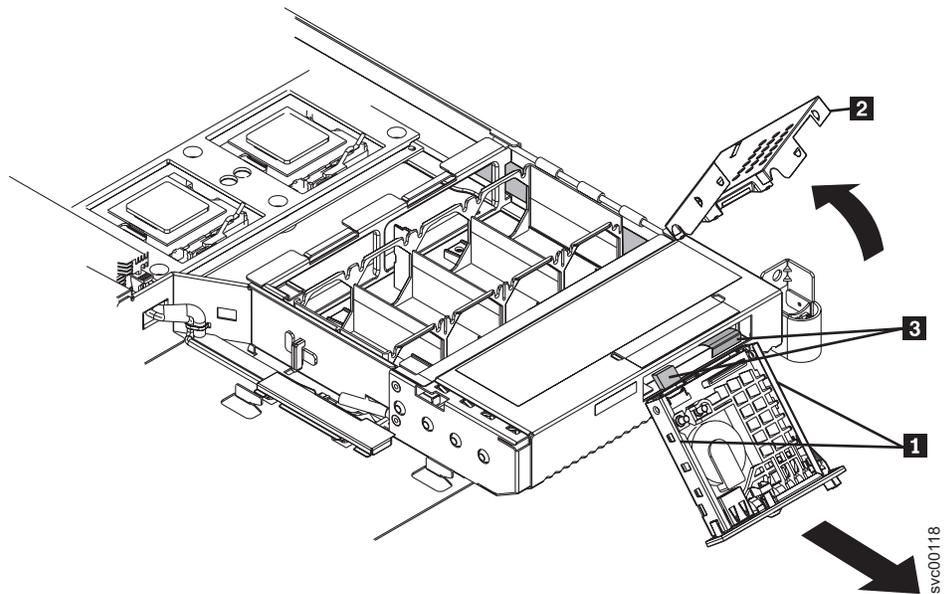


図 156. オペレーター・パネル表示装置が見える SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

- 1** 支持バネ
- 2** オペレーター・パネル表示装置アセンブリのカバー
- 3** ケーブル

6. アセンブリを前方にスライドさせ、ノードから出します。
7. アセンブリ・カバーの 2 つの側面を押しながら引き起こします。
8. アセンブリ・カバー **2** を上に回転して、オペレーター・パネル表示装置から外します。

9. アセンブリーの後部から 2 本のケーブル **3** のプラグを抜きます。

オペレーター・パネル表示装置アセンブリーの再取り付け

SAN ボリューム・コントローラーのオペレーター・パネル表示装置アセンブリーを再取り付けするためようにプロンプトが出される可能性があります。

静電気に弱い装置の取り扱い方法を必ず理解しておいてください。

関連タスク

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4のオペレーター・パネル表示装置アセンブリーの再取り付け

必要な保守のため、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 上のオペレーター・パネルを再取り付けする必要が生じる場合があります。

オペレーター・パネル表示装置を再取り付けするには、次のステップを実行します。

1. ライト・パス・アセンブリーのリボン・ケーブルの配線は、ライト・パス・アセンブリー・ケージに入れてその背面を通して出します。
2. ライト・パス・アセンブリーをスライドさせてそのケージに入れて戻し、所定の位置でロックするようにします (「In」の位置で)。この作業を行うに従って、背面で静かにこのリボン・ケーブルを引っ張って通します。

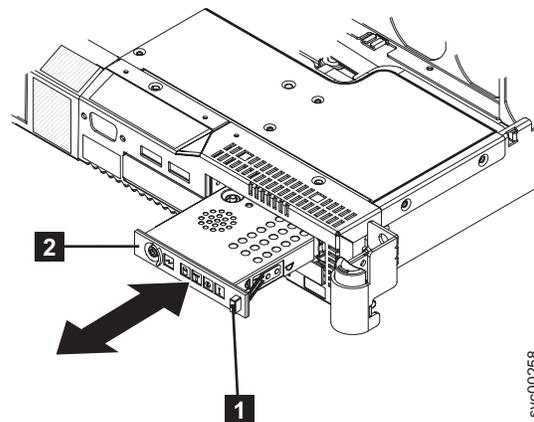


図 157. ライト・パス・アセンブリーの取り付け

- 1** リリース・ボタン

2 ライト・パス・アセンブリー

3. ライト・パス・アセンブリー・リボン・ケーブル **4** を、注意してその取り付けブラケットの下を通して戻し、このテープを所定の位置に固定させて再取り付けします。
4. ライト・パス・アセンブリー・リボン・ケーブル **4** を配線してシステム・ボードに戻します。このケーブルをシステム・ボード **11** に再接続します。ケーブル・プラグ上のコネクタはノード中央方向に持ってゆき、青側はノードの外部方向に持ってゆきます。

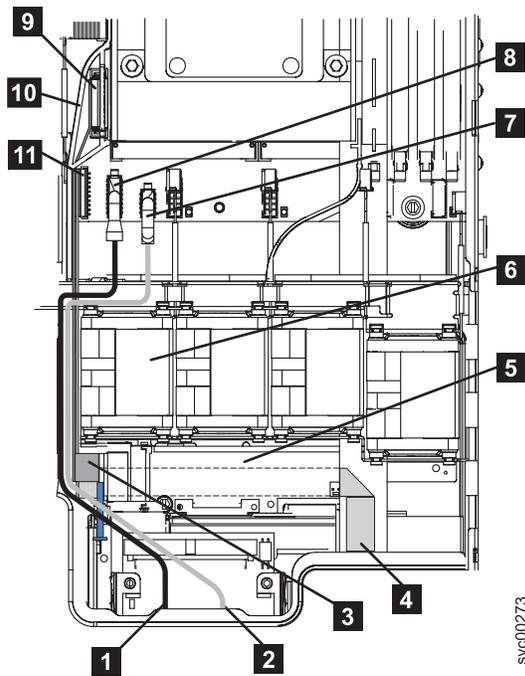


図 158. ビデオ、USB、および CD/DVD ケーブルの配線方法

- 1** ビデオ・ケーブル
- 2** USB ケーブル
- 3** CD-RW ケーブル
- 4** ライト・パス・ケーブル
- 5** 変換コネクタ・カード
- 6** ファン 3
- 7** USB ケーブル・コネクタ
- 8** ビデオ・ケーブル・コネクタ
- 9** CD-RW コネクタ
- 10** エア・バッフル

11 ライト・パス・ケーブル・コネクタ

5. ビデオ・ケーブル **8**、USB ケーブル **7**、および CD/DVD ケーブル **9** のプラグをシステム・ボードに再接続します。
6. エア・バッフルの再取り付け **2**。ファン 2 を取り外すとこの作業を容易に実施可能です。すべてのケーブルが正しく配線されており、ファン・ドアの障害になっていないかを確認します。

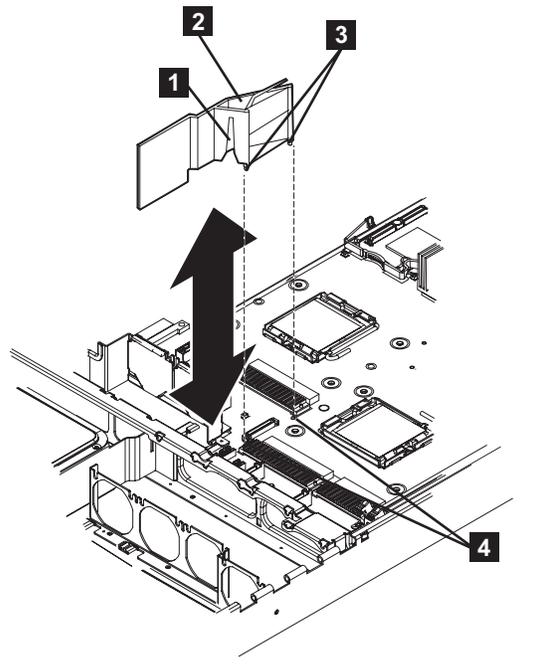
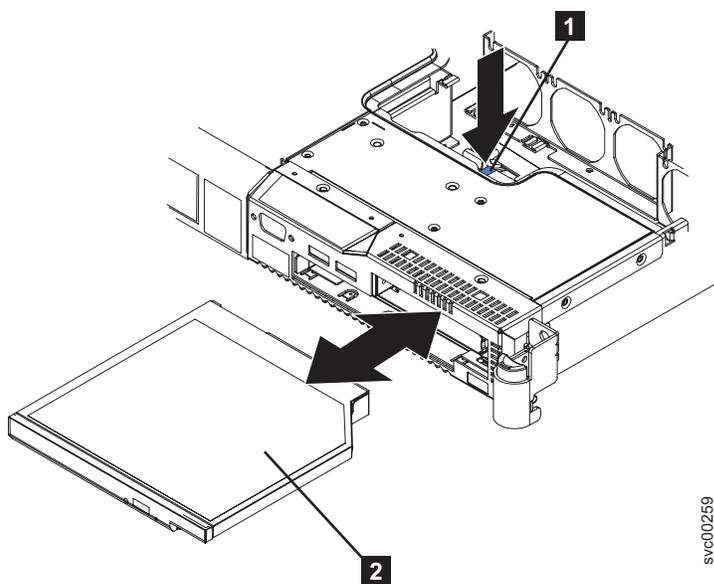


図 159. エア・バッフルの再取り付け

- 1** ケーブル・ルーティング・スロット
- 2** エア・バッフル
- 3** バッフル・ピン
- 4** バッフル取り付け用の穴

7. CD ケーブルを変換コネクタ・カードに再接続します。この場合、右側にあるピンを見つけます。次に、取り外してあったねじでこのカードをサーバーに取り付けます。
8. ダミー CD/DVD ドライブ **2** をその格納装置に押し込んで戻します。



svc00259

図 160. ダミー CD/DVD ドライブの再取り付け

1 リリース・ボタン

2 ダミー CD/DVD ドライブ

9. ファン 3 を再取り付けします。

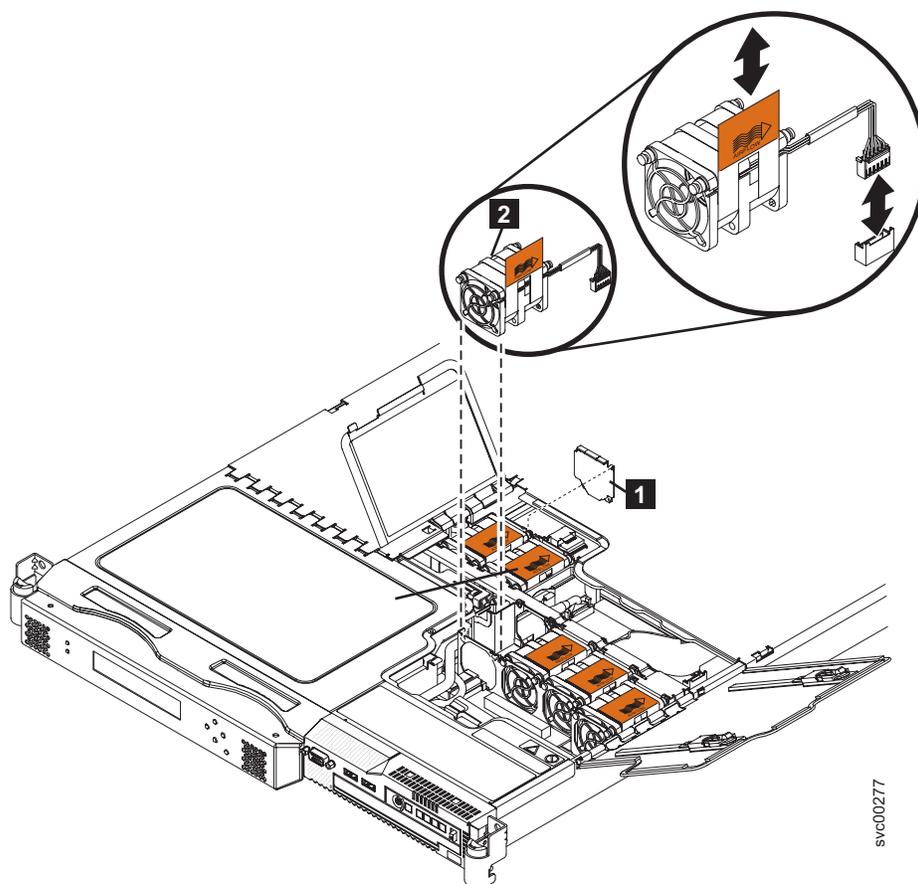


図 161. ファン 3 の再取り付け

1 エア・バッフル

2 ファン 3

10. ファン・ドアが依然として閉じた状態であることを確認します。このドアが閉じていない場合はケーブルを再調整します。
11. ファン・ドアを再度開いてカバーを再取り付けします。すべてのドアを閉じます。
12. ノードをラックに再取り付け、すべてのケーブルを再接続し、ノードの電源をオンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネル表示装置の再取り付け

必要な保守のため、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のオペレーター・パネルを再取り付けする必要がある場合があります。

オペレーター・パネル表示装置を再取り付けするには、次のステップを実行します。

1. アセンブリーの後部に 2 本のケーブル **1** を接続します。図 162 を参照してください。

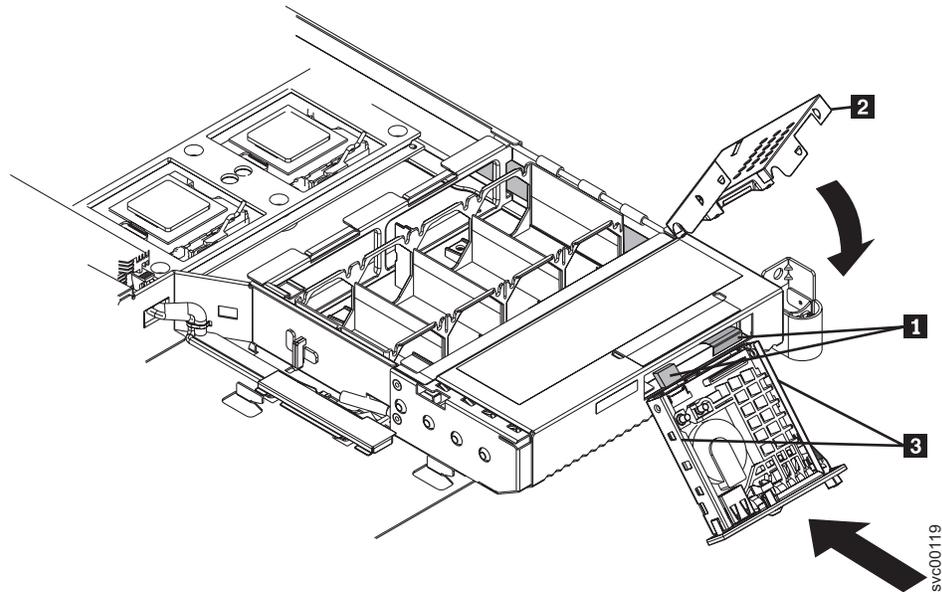


図 162. オペレーター・パネル表示装置の再取り付け

1 ケーブル

2 オペレーター・パネル表示装置アセンブリーのカバー

2. オペレーター・パネル表示装置アセンブリー上のアセンブリー・カバー **2** を再取り付けします。
3. このアセンブリーをノード内にスライドさせて、しっかりと固定します。
4. 上部カバーを再取り付けし、必要であれば、ラック上のノードを再取り付けします。
5. すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーの後部に接続します。
6. ノードの電源をオンにします。

ファンの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

486 ページの『ファンの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す
必要が生じる可能性があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方
法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してく
ださい。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外
すことができます。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り
付けする必要があります。

501 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリ
ューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の取り外し』

電圧調節モジュール (VRM) を取り外して SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 での保守を実行で
きます。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリー
の取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・ア
センブリーを取り外します。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ファンの取り外し

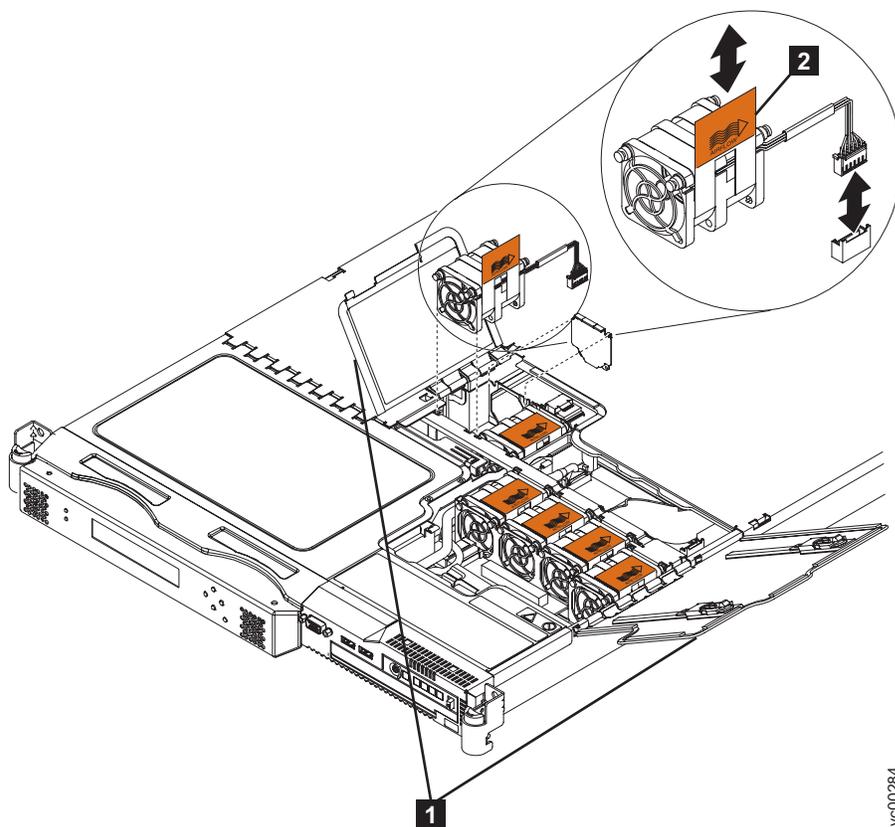
このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファンの取り外
し方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファンを取り外す前に、静電気に弱
い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して障害のあるファンを取り外します。

1. ノードを電源オフします。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コント
ローラー・ノードの電源オフ』 を参照してください。
2. ノードを前方にスライドさせて、ファン・ドア **1** にアクセスします。
3. 障害のあるファンのファン・ドアを開きます。電源ケーブルを取り外した場合を
除き、障害のあるファン・アセンブリーのコネクタ近くの LED が点灯しま
す。

注: このノードには 6 つのファンの収容位置があり、2 つのファン・ドアの下
で左から右に番号が付いています。



svc00284

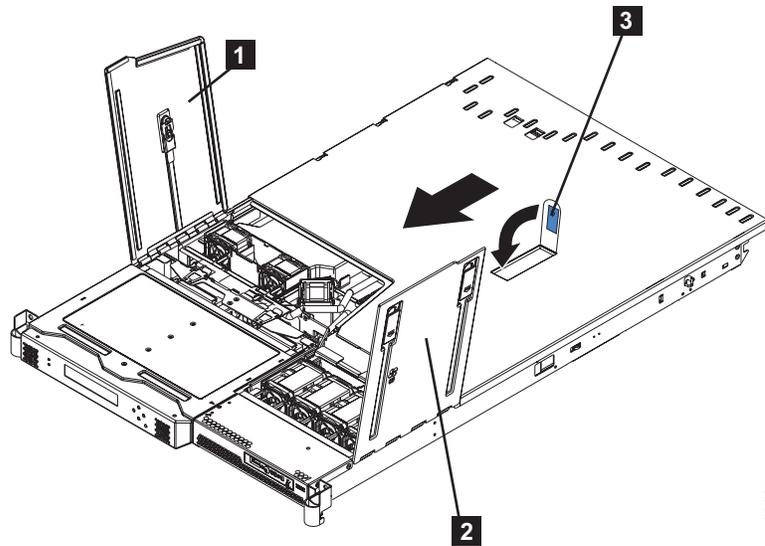
4. システム・ボード上のコネクタから障害のあるファンのケーブルを外します。これを行うには、ケーブルの端にあるプラグ上のリリース・ラッチを押します。
5. 障害のあるファンのオレンジ色のタブ **2** を引き出して、ノードからファンを持ち上げます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファンの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファンを取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。

以下のステップを実行して障害のあるファンを取り外します。

1. ノードからすべての電力を除去します。
2. ラックからノードを取り外します。
3. 障害を起こしたファンがあるファン・ドアを開きます。ファン 1、2、および 3 はファン・ドア A **1** の下にあります。ファン 4 から 7 はファン・ドア B **2** の下にあります。485 ページの図 163 を参照してください。



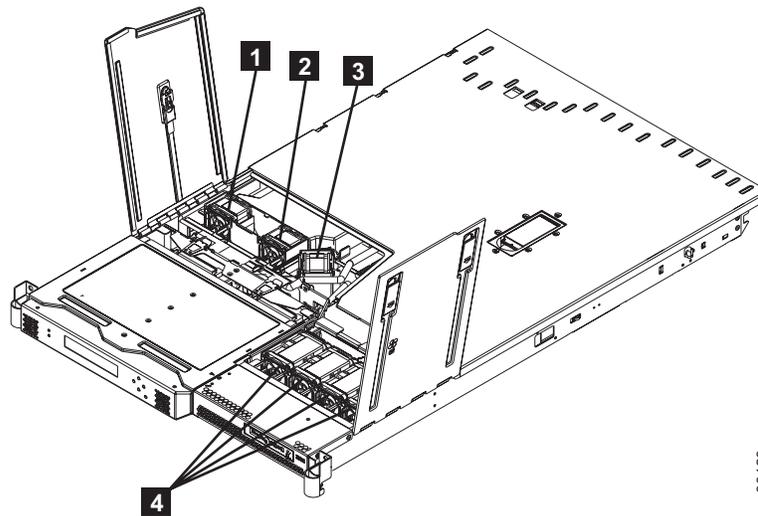
svc00087

図 163. ファン・ドアを開いた状態の SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

1 ファン・ドア A

2 ファン・ドア B

4. 障害のあるファンのケーブルをコネクターから切り離します。



svc00120

図 164. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 ファン

1 ファン 1

2 ファン 2

3 ファン 3

4 ファン 4、5、6 および 7

5. 障害のあるファンの側面にあるオレンジ色のつまみを引き上げます。

6. ノードからファンを持ち上げます。

ここで障害のあるファンを交換できます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 マイクロプロセッサ ー・ファンの取り外し

マイクロプロセッサ・ファンを取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から上部カバーを取り外します。
4. ファン・ケーブルをシステム・ボードから切り離します。

注: ファンには、左から右に 1 から 4 の番号が付いています。 図 165 を参照してください。

5. ファンを保持クリップから上方向に持ち上げます。

注: 4 番目のファンを取り外すには、まず 3 番目のファンを取り外してから、4 番目のファンを持ち上げて、左方に移動します。

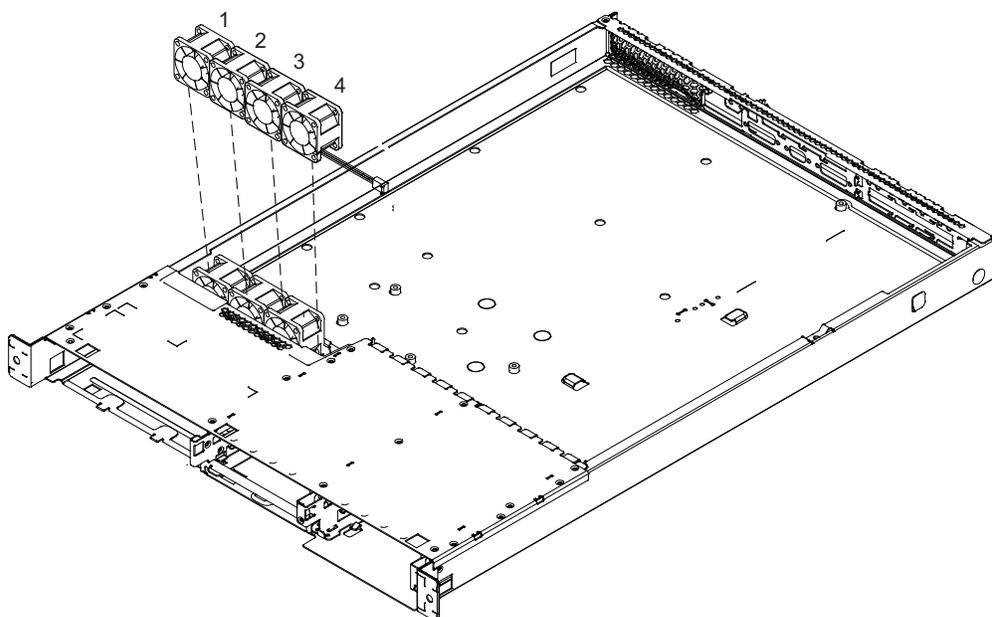


図 165. マイクロプロセッサ・ファンの取り外し

6. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の内部で行うタスクがほかにある場合は、ここでを行います。

ファンの再取り付け

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

関連タスク

482 ページの『ファンの取り外し』

SAN ボリューム・コントローラー ファンに障害がある場合は、交換する必要があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 ファンの交換

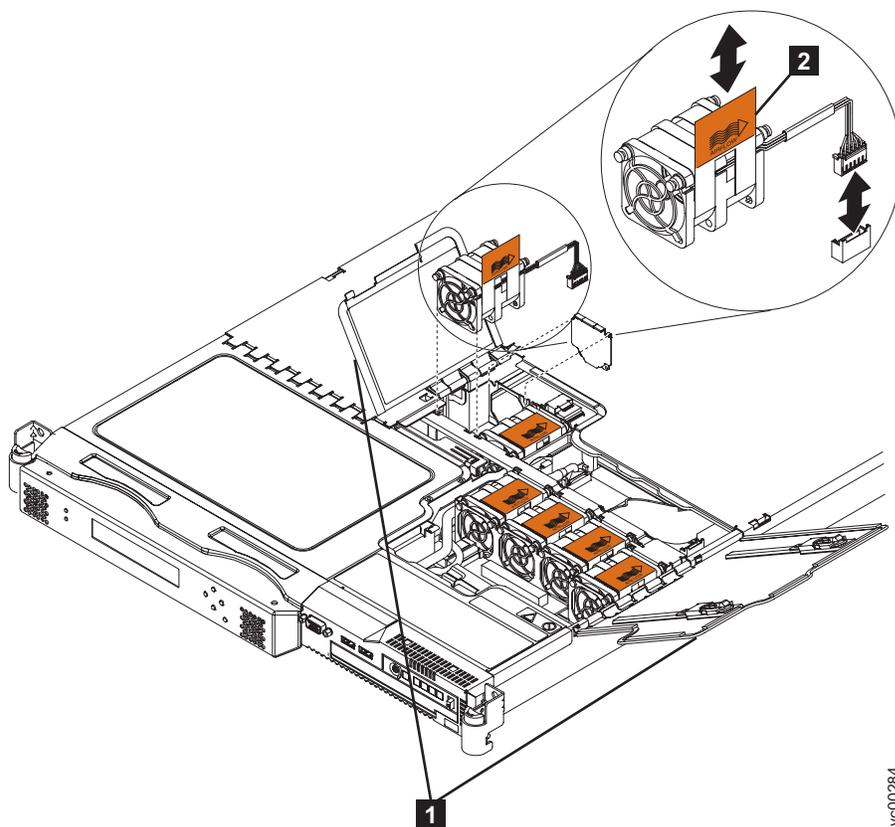
このトピックには、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファンの再取り付け方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のファンを再取り付けする前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。このトピックでの交換手順は以下が真であることを前提とします。

- 障害のあるファンが取り外されている。
- ノードの電源はオフになっている。
- ラックからノードが取り外されている。

以下のステップを実行して障害のあるファンを置き換えます。

1. 取り外したファンと同じ位置に、新しいファンを配置します。オレンジ色のタブ **2** 上の排気インディケーターが、ノードの背面を向いていることを確認します。



svc00284

2. 青色の装てん用グロメットが正しく収まるまで、ファン・アセンブリーをサーバー内に押し下げます。
3. 再取り付け用のファンのケーブルをシステム・ボード・コネクタに接続します。
4. ファン・ドア **1** を閉じます。
5. ノードをラックに再取り付けします。
6. このノードの電源を再度オンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファンの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファンを交換する前に、静電気に弱い装置の取り扱い手順について必ず理解しておいてください。このトピックでの交換手順は以下が真であることを前提とします。

- 障害のあるファンが取り外されている。
- ノードの電源はオフになっている。
- ラックからノードが取り外されている。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファンを交換します。

1. 取り外したファンと同じ位置に、新しいファンを置きます。ファンの上部にある空気の流れインディケーターが、サーバーの背面を向いていることを確認します。
2. 青色のグロメットが正しく収まるまで、ファン・アセンブリーをサーバー内に押し下げます。
3. 交換ファンのケーブルをコネクタに接続します。
4. ファン・ドアを閉じます。
5. 上部カバーを再取り付けします。
6. ラックに、ノードを戻します。
7. ケーブルと電源コードを再接続します。
8. このノードの電源を再度オンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 マイクロプロセッサ ー・ファンの交換

注:

- 空気の流れは SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前部から後部へ向かいます。
- ファン・ケーブルはファンの後部から出ています。ファンを取り付ける際は、ファンの後部が SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の後部に向くようにしてください。
- マイクロプロセッサ・ファンを取り付ける場合は、ケーブルがシステム・ボードのコネクタに届くように、ファンを保持クリップの正しい位置に置きます。

マイクロプロセッサ・ファンを取り外すには、次のステップを実行します。

1. ファンを固定クリップの中に押し下げます。490 ページの図 166 を参照してください。

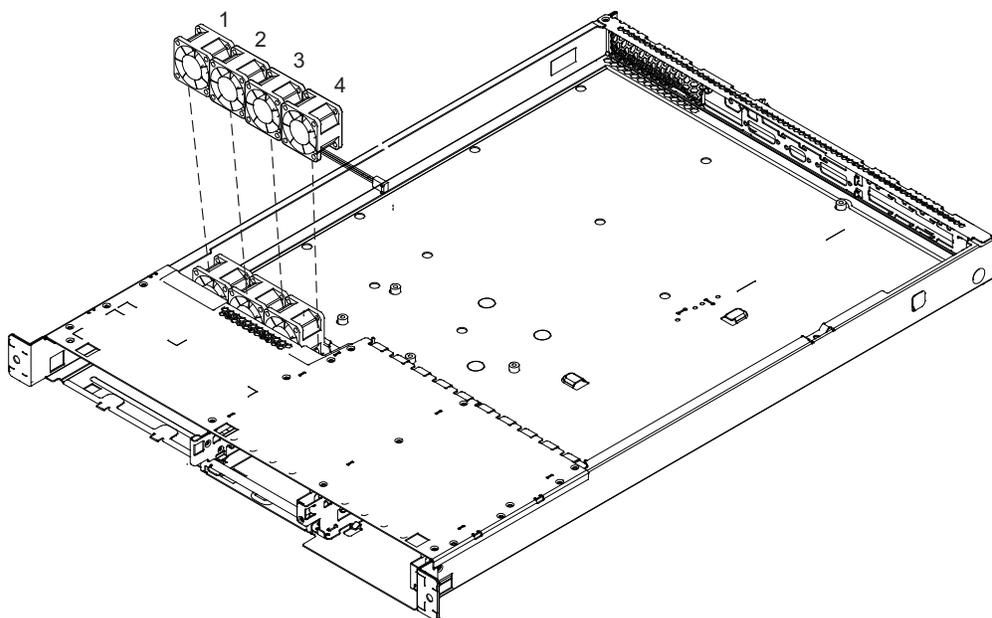


図 166. マイクロプロセッサ・ファンの交換

2. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します。

注: ファンには、左から右に 1 から 4 の番号が付いています。図 166 を参照してください。

3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の上部カバーを再取り付けします。
4. ラックに SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を収めます。
5. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の電源を入れます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・バックプレーンの取り外し

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用の部品を破棄します。

以下のステップを実行してファン・バックプレーンを持つファン・ホルダーを取り外します。

1. ノードの電源をオフにします。
2. すべての電源コードと外部ケーブルをノードの後部から切り離します。
3. ラックからノードを取り外します。
4. 上部カバーを取り外します。
5. ファンをファン・バックプレーンから抜きます。
6. ねじを取り外して安全な場所に避けておきます。
7. ファン・ケーブルを切り離します。
8. ファン・ブラケットをノードから引き出します。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す
必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外
すことができます。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリュ ーム・コントローラー 2145-8F4 のファン・ホルダーとファン・ バックプレーンの交換

ファン・バックプレーンの現場交換可能ユニット (FRU) を持つファン・ホルダーが
部品のキットとして提供されます。障害のあるアセンブリーのみを交換し、未使用
の部品を破棄します。

以下のステップを実行してファン・バックプレーンを持つファン・ホルダーを交換
します。

1. ファン・ブラケットをノードに収めます。
2. ファン・ケーブルを接続します。
3. 避けておいたねじを交換します。
4. ファンをファン・バックプレーンに差し込みます。
5. 上部カバーを再取り付けします。
6. ノードをラックに再取り付けします。
7. すべての電源コードと外部ケーブルをノードの後部に接続します。
8. ノードの電源をオンにします。

ヒント: ファン・ブラケットを、ノードの前部右側に再取り付けする際は、ディ
スク・ドライブとサービス・コントローラーを保持するケージ・アセン
ブリーを取り外し、ファン・ケーブル・カバーを外します。ファン・バ
ックプレーンに差し込む前に、ケーブルのたるみを引っ張ってから、フ
ァン・ホルダーとバックプレーン・アセンブリーを、ノードに取り付け
ます。

関連タスク

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り
付けする必要があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方
法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してく
ださい。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

マイクロプロセッサの取り外し

microprocessor を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱いについて、必ず理解しておいてください。

関連タスク

329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』

MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフは、単一 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフを行って、ディスクへのホスト・アクセスを中断せずに保守アクションを実施できるようになります。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

501 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の取り外し』

電圧調節モジュール (VRM) を取り外して SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 での保守を実行できます。

496 ページの『マイクロプロセッサの再取り付け』

このトピックを使用するのは、マイクロプロセッサを再取り付けする場合です。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

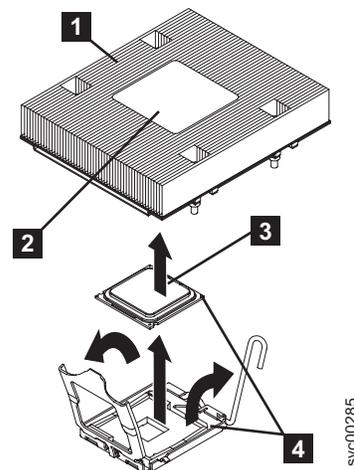
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のマイクロプロセッサの取り外し

重要:

- マイクロプロセッサとヒートシンク上の熱伝導グリースが何とも接触しないようご注意ください。熱伝導グリースがどの表面とも接触すると、熱伝導グリースとマイクロプロセッサ・ソケットが傷つく可能性があります。
- マイクロプロセッサの取り扱いには十分な注意が必要です。取り付けまたは取り外し時にマイクロプロセッサを落とすと、コンタクト部分が損傷する可能性があります。
- マイクロプロセッサのコンタクト部分を触らないでください。マイクロプロセッサを取り扱う場合は、そのエッジのみを触ります。また、マイクロプロセッサのコンタクト部分に汚染物質（作業者の手の油など）が付くと、そのコンタクトとソケット間で接続障害が発生する可能性があります。

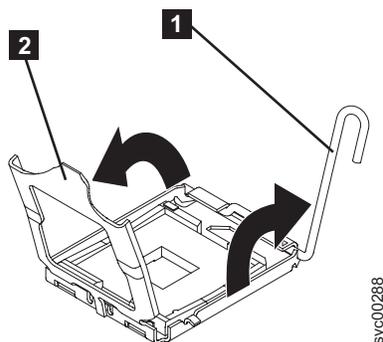
マイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、以下のステップを行います。

1. ノードと周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを取り外します。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。
2. カバーを取り外します。390 ページの『上部カバーの取り外し』を参照してください。
3. ヒートシンク **1** を取り外します。ヒートシンクの片側にある 2 つの拘束ねじを十分緩めてから、他方の 2 つの拘束ねじを緩めます。（これにより、ヒートシンクとマイクロプロセッサの接着状態が切り離されることとなります。）拘束ねじを緩めた後でヒートシンクを取り外します。



- 1** ヒートシンク
- 2** ヒートシンク取り付けラベル
- 3** マイクロプロセッサ
- 4** 位置合わせインディケーター

4. マイクロプロセッサ・リリース・レバー **1** を開いて、完全にオープン位置にします。



1 マイクロプロセッサ・リリース・レバー

2 マイクロプロセッサ・ブラケット・フレーム

5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレーム **2** を開きます。
6. 注意してソケットからマイクロプロセッサを取り外します。マイクロプロセッサのエッジだけを触るようご注意ください。
7. マイクロプロセッサを返却するように指示されている場合、すべての梱包指示に従い、お客様に提供された配送用の梱包資材をすべて使用します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のマイクロプロセッサの取り外し

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を正しく機能させるには、常に両方のマイクロプロセッサが取り付けられている必要があります。

495 ページの図 167 には、マイクロプロセッサと電圧調節モジュール (VRM) が記載されています。

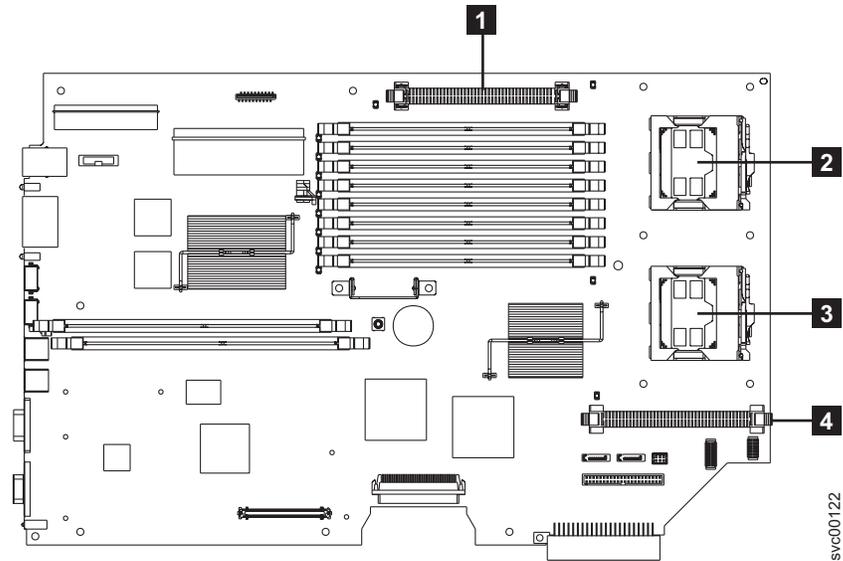


図 167. マイクロプロセッサと VRM ソケットの位置

- 1** VRM 1
- 2** マイクロプロセッサ 1
- 3** マイクロプロセッサ 2
- 4** VRM 2

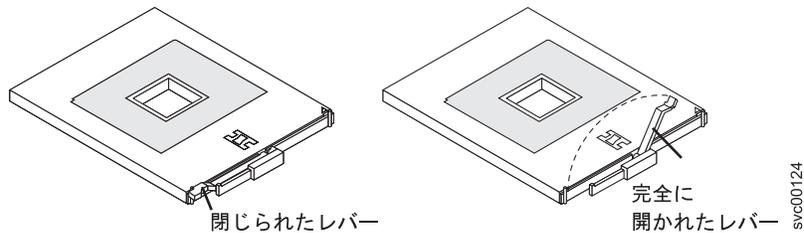
それぞれのマイクロプロセッサは、VRM およびヒートシンクに合います。マイクロプロセッサを取り外す時は、まずヒートシンクを取り外してください。

以下のステップを実行してマイクロプロセッサを取り外します。

1. ノードのすべての電源を切ります。
2. すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ラックからノードを取り外します。
4. 上部カバーを取り外します。
5. 1 本の拘束ねじを完全に緩めてから、他の拘束ねじを緩めます。これは、ヒートシンクとマイクロプロセッサの接着を切り離すのに役立ちます。
6. ヒートシンクを取り外します。

重要: マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り扱いには、慎重に行ってください。ヒートシンクとマイクロプロセッサを繋ぐ熱伝導グリースを再使用する場合は、熱伝導グリースを汚さないでください。熱伝導グリースが交換マイクロプロセッサと一緒に提供される場合、新しいグリースを適用する前に使用済みの熱伝導グリースの痕跡を取り除きます。

7. マイクロプロセッサ・ソケットのレバー・アームを回して最大垂直位置にします。



8. ソケットからマイクロプロセッサを取り外します。

マイクロプロセッサの再取り付け

このトピックを使用するのは、マイクロプロセッサを再取り付けする場合です。

マイクロプロセッサを再取り付け前に、静電気に弱い装置の取り扱いについて、必ず理解しておいてください。

関連タスク

394 ページの『上部カバーの再取り付け』

保守が完了した後に、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを再取り付けする必要があります。

377 ページの『SAN ボリューム・コントローラーをラックに再度取り付ける方法』

SAN ボリューム・コントローラーをラックに再取り付けする時は、注意してください。

502 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の交換』

マイクロプロセッサを交換する前に、電圧調節モジュール (VRM) を交換する必要があります。

492 ページの『マイクロプロセッサの取り外し』

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のマイクロプロセッサの再取り付け

このトピックには、マイクロプロセッサの再取り付け方法を記載してあります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 マイクロプロセッサを再取り付けするために記載された手順は、以下の作業の実施が前提となっています。

- ノードからすべての電源が除去されている
- ラックからノードが取り外されている
- ノード・カバーが取り外されている
- 再取り付け対象のマイクロプロセッサが取り外されている。

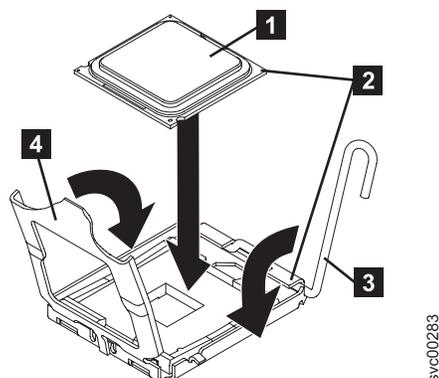
以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 のマイクロプロセッサを再取り付けします。

1. リリース・レバーを回して、閉鎖とロック位置から開放位置にします。

2. 新しいマイクロプロセッサが入った静電気防止パッケージを、ノード上の塗装されていない 任意の金属面に接触させるようにします。
3. パッケージからマイクロプロセッサを取り外します。

重要: マイクロプロセッサの取り扱い方法には注意が必要です。マイクロプロセッサのコンタクト部分を触らないでください。マイクロプロセッサを取り扱う場合は、そのエッジのみを触ります。取り付けまたは取り外し時にマイクロプロセッサを落とすと、コンタクト部分が損傷する可能性があります。マイクロプロセッサのコンタクト部分に汚染物質 (作業者の手の油など) が付くと、そのコンタクトとソケット間で接続障害が発生する可能性があります。

4. マイクロプロセッサ **1** をマイクロプロセッサのソケットの上で位置合わせします。マイクロプロセッサ・ソケット上の三角形の位置合わせ用カットアウトと、マイクロプロセッサ上の三角形の位置合わせ用マーク **2** を使用して、マイクロプロセッサとそのソケットの位置合わせが可能となります。次に、マイクロプロセッサをそのソケットの上に静かに置きます。マイクロプロセッサを無理に押し込まないでください。マイクロプロセッサが、一方向にソケット上にはめ込まれるだけです。

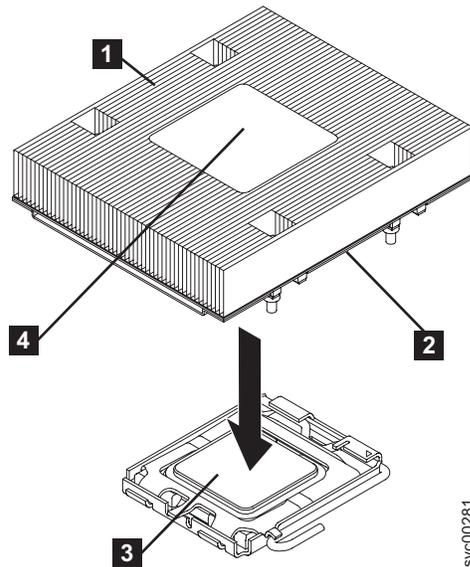


- 1** マイクロプロセッサ
- 2** 位置合わせマーク
- 3** マイクロプロセッサ・リリース・レバー
- 4** マイクロプロセッサ・ブラケット・フレーム

5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレーム **4** をマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケット上に下ろして、ソケットの中でマイクロプロセッサの位置を固定します。
6. マイクロプロセッサ・リリース・レバー **3** をクローズ位置の方に回します。
7. マイクロプロセッサ **3** の上にヒートシンク **1** を置きます。この場合に、熱伝導グリース **2** 側が下になるようにします。拘束ねじを締めてヒートシンクをシステム・ボードに固定します。ヒートシンクの両側にある各ねじの

間を、お互いがぴったり合うように締めながら、固く締まるまで交互に繰り返します。ここで注意すべきは、これらのねじのいずれも締めすぎないことです。

重要: プラスチック・カバーを除去した後は、ヒートシンクの底部にある熱伝導グリースに触らないでください。熱伝導グリースに触ると、それを汚染させることになります。



- 1** ヒートシンク
- 2** 熱伝導グリース
- 3** マイクロプロセッサ
- 4** ヒートシンク取り付けラベル

8. カバーを再取り付けします。
9. ノードをラックに再取り付けします。
10. 取り外してあった電源コードとすべてのケーブルを再接続します。
11. ノードの電源をオンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のマイクロプロセッサの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を正しく機能させるには、常に両方のマイクロプロセッサが取り付けられている必要があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のマイクロプロセッサを再取り付けするのに記載された手順は、以下の作業が実施されていることを前提としています。

- ノードからすべての電源が除去されている
- ラックからノードが取り外されている
- ノード・カバーが取り外されている

- 交換されるマイクロプロセッサが取り外されている。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 のマイクロプロセッサを交換します。

1. 新しいマイクロプロセッサが入った静電気防止パッケージを、ノード上の塗装されていない 任意の金属面に接触させるようにします。
2. パッケージからマイクロプロセッサを取り外します。
3. ロック・レバー **3** を回して閉鎖位置から開放位置にします。図 168 を参照してください。

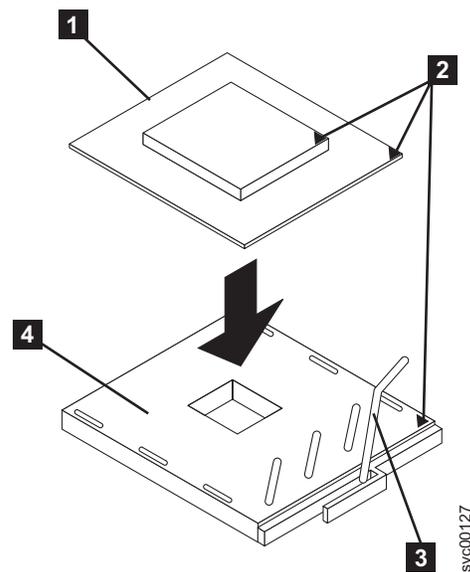


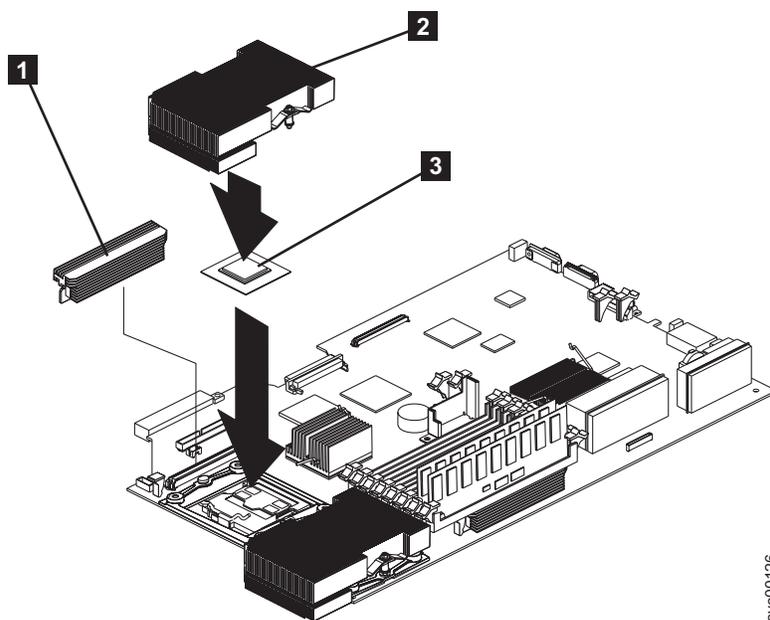
図 168. 開放位置にあるマイクロプロセッサ・ロック・レバー

- 1** マイクロプロセッサ
- 2** コーナーのマーク
- 3** ロック・レバー
- 4** マイクロプロセッサ・ソケット

4. マイクロプロセッサ **1** をマイクロプロセッサ・ソケット **4** の中央に配置します。
5. マイクロプロセッサのコーナー上の三角形 **2** をソケットのコーナー上の三角形に合わせて、マイクロプロセッサをソケットに慎重に押し込みます。
重要: マイクロプロセッサをソケットに押す時に過度に力を掛けないでください。
6. レバーを閉じます。

注: 電圧調節モジュール (VRM) とヒートシンクはマイクロプロセッサ・パッケージに含まれます。

- ヒートシンクを、パッケージから取り外した後に、下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり汚したりしないでください。これは、熱伝導機能に損傷を与え、マイクロプロセッサをオーバーヒートの危険にさらします。
- ヒートシンクを取り付けた後に、取り外す必要がある場合は、熱伝導グリースが、ヒートシンクとマイクロプロセッサをしっかりと接着させていることに注意してください。ヒートシンクおよびマイクロプロセッサを無理に引き離さないでください。これを行うと、マイクロプロセッサのピンに損傷を与えます。1本の拘束ねじを完全に緩めてから、他の拘束ねじを緩めることによって、損傷を与えることなく、コンポーネントの接着を切り離すのに役立ちます。



svc00126

図 169. マイクロプロセッサおよびヒートシンクの位置

- 1** VRM
- 2** ヒートシンク
- 3** マイクロプロセッサ

7. ヒートシンク **2** をマイクロプロセッサ **3** の上部に取り付けます。図 169 を参照してください。
8. 拘束ねじを完全に締めます。すべてのねじが締まるまでねじを交代に締めます。締めすぎないでください。
9. カバーを再取り付けします。
10. ノードをラックに再取り付けします。
11. 取り外してあった電源コードとすべてのケーブルを再接続します。
12. ノードの電源をオンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の取り外し

電圧調節モジュール (VRM) を取り外して SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 での保守を実行できます。

VRM を取り外す前に、静電気に弱い装置の取り扱いについて、必ず理解しておいてください。図 170 は、マイクロプロセッサと VRM を示します。

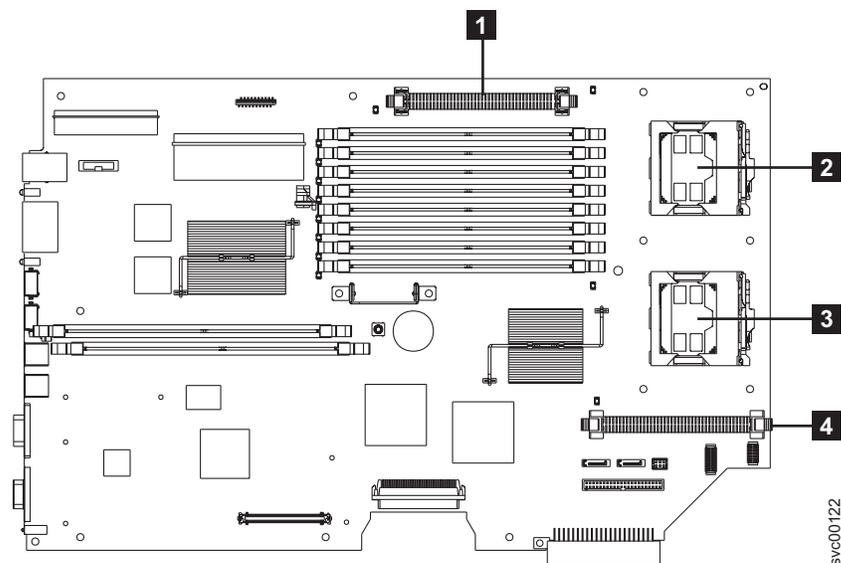


図 170. VRM ソケットの位置

- 1** VRM 1
- 2** マイクロプロセッサ 1
- 3** マイクロプロセッサ 2
- 4** VRM 2

以下のステップを実行して VRM を取り外します。

1. ノードからすべての電力を除去します。
2. ラックからノードを取り外します。
3. ノードの上部カバーを取り外します。
4. VRM の両側面にあるラッチを下方および外側に押します。

VRM は、ノードから引き出され、ここで VRM を交換できます。

関連タスク

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』

保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

『SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の交換』

マイクロプロセッサを交換する前に、電圧調節モジュール (VRM) を交換する必要があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』

静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の VRM の交換

マイクロプロセッサを交換する前に、電圧調節モジュール (VRM) を交換する必要があります。

VRM を交換する前に、静電気に弱い装置の取り扱いについて、必ず理解しておいてください。これらの指示は、以下を前提としています。

- SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 への電源がオフになっている。
- ラックからノードが取り外されている。
- ノードの上部カバーが取り外されている。
- 古い VRM がノードから取り外されている。

以下のステップを実行して VRM を交換します。

1. コネクターで VRM の位置合わせをします。
2. ラッチがカチッと音を立てて所定の場所に収まるまで、VRM の両側を押し下げます。
3. マイクロプロセッサを交換する場合は、必要なステップを実行します。交換しない場合は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 または SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の上部カバーを再取り付けします。
4. ノードをラックに取り付けます。
5. ノードの電源をオンにします。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのフロント・パネルの取り外し

フロント・パネルを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で保守を行うことができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からフロント・パネルを取り外すには、次のステップを実行します。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 とホスト・システム間のすべての操作が停止していることを確認します。
2. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からすべての電源を除去します。

3. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 をラックの外へ約 5 cm (約 2 インチ) スライドさせます。
4. フロント・パネルの上部、側面、および下部にある 7 個のラッチを押し、アセンブリーを解放します。
5. アセンブリーと接続されたケーブル・アセンブリーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 から慎重に引きます。最初にアセンブリーの一方の端を引き、フロント・パネルの端を手前にゆっくりと引きながら、他のラッチを 1 つずつ外します。

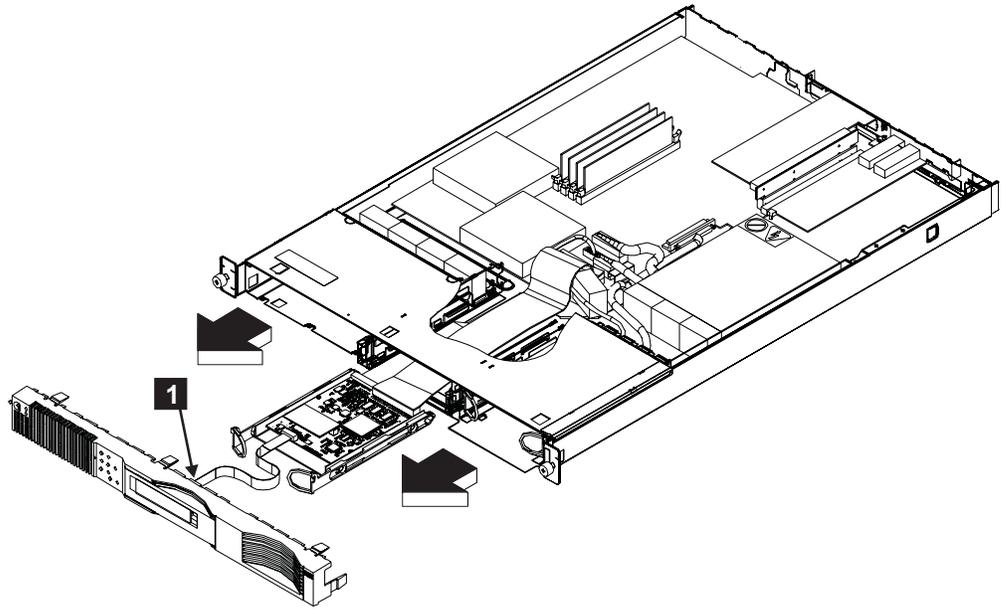


図 171. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルの取り外し

6. コネクター **1** を切り離します。

関連タスク

504 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルの交換』

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルを順に取り外して交換できます。

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

545 ページの『2145 UPS からの電源ケーブルの取り外し』

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) で交換することができます。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』

一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルの交換

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルを順に取り外して交換できます。

以下のステップを実行して、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフロント・パネルを取り外します。

1. ケーブル **1** をフロント・パネルに接続します。図 172 を参照してください。

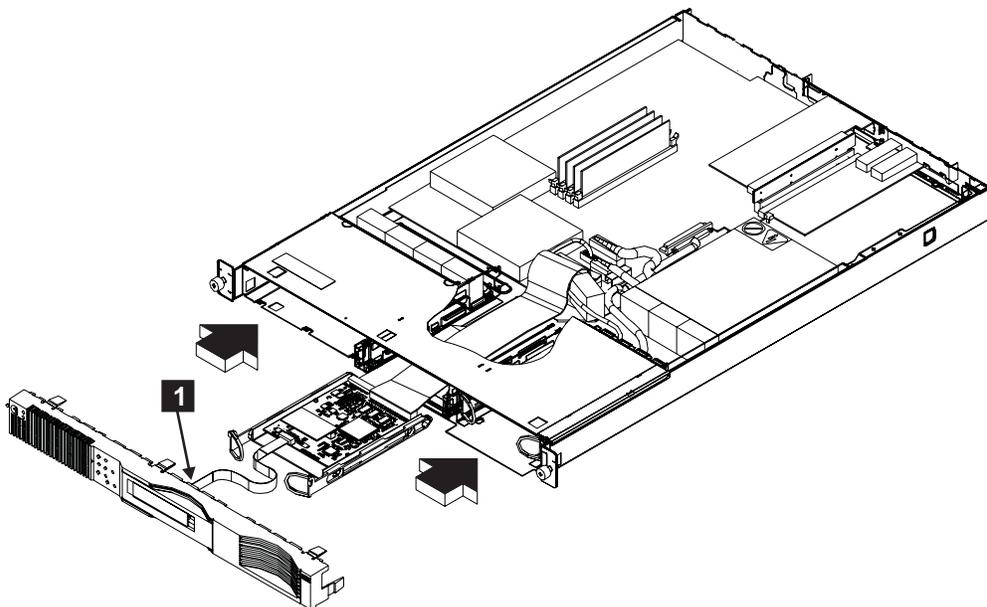


図 172. フロント・パネルの交換

2. ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前部に折り曲げます。
3. アセンブリーおよび接続ケーブルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前部に挿入します。
4. フロント・パネルを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の前部に合わせ、ラッチが SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のフレームに入るように位置合わせします。ラッチがカチッとって所定の位置に収まるまでフロント・パネルを押します。

注: フロント・パネルの現場交換可能ユニット (FRU) を新しい FRU に交換した場合は、フロント・パネルの保守分析手順 (MAP) に進み、フロント・パネル交換のステップを実行します。

関連タスク

337 ページの『MAP 5400: フロント・パネル』

MAP 5400: フロント・パネルは、SAN ボリューム・コントローラー・フロント・パネルで発生した問題の解決に役立ちます。

502 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのフロント・パネルの取り外し』

フロント・パネルを取り外し、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 で保守を行うことができます。

405 ページの『サービス・コントローラーの再取り付け』

SAN ボリューム・コントローラー サービス・コントローラーを交換することができます。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し

通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

システム・ボード現場交換可能ユニット (FRU) は、以下の部品が組み込まれたキットです。

- PCI ライザー・カード
- マイクロプロセッサ 2 つ
- マイクロプロセッサ電圧調節モジュール (VRM)
- プレーナー

システム・ボード FRU を取り替えるときは、キット内のすべての部品を使用します。

システム・ボードは静電気の放電に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。

静電気に弱い装置の取り扱い情報については、このトピックの最後に記載される静電気に弱い装置の取り扱いについての文書を参照してください。

システム・ボードを取り外すには、次の手順で行います。

1. SAN ボリューム・コントローラー からすべての電源を除去します。
2. SAN ボリューム・コントローラーをラックから取り外します。
3. SAN ボリューム・コントローラー **1** から上部カバーを取り外します。506 ページの図 173 を参照してください。

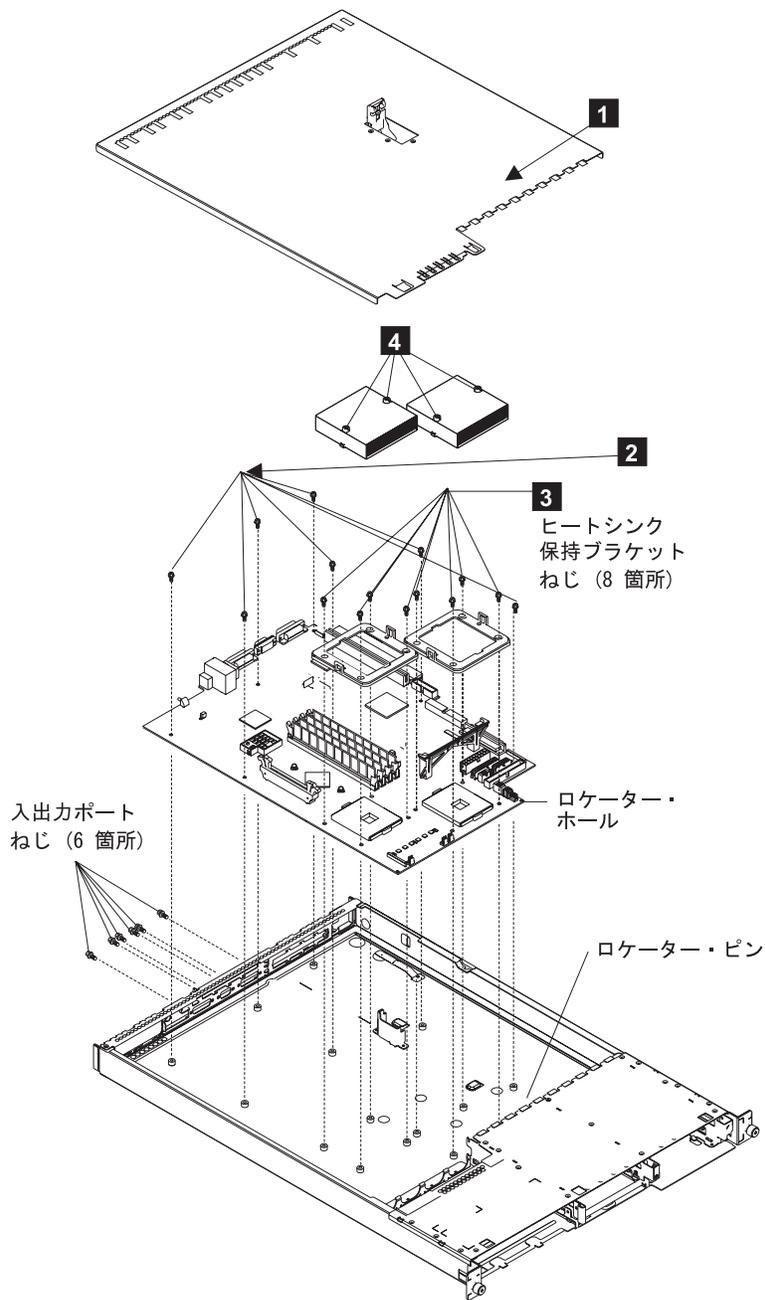


図 173. システム・ボードの取り外し

システム・ボードを別のシステム・ボードに交換する場合は、ステップ 4 に進みます。それ以外は、ステップ 6 に進みます。

4. アダプター・アセンブリーは取り外しますが、取っておきます。これは、交換用システム・ボードに取り付ける必要があります。
5. メモリー・モジュールは取り外しますが、取っておきます。これは、交換用システム・ボードに取り付ける必要があります。
6. 以下を切り離します。
 - すべてのファン・コネクター
 - 電源コネクター P1 と P2

- SCSI 電源コネクタ
 - ATA コネクタ
 - ディスク・ドライブ・コネクタ
 - サービス・コントローラー・コネクタ
7. エア・バッフルを持ち上げて、外に出します。
 8. ヒートシンクの拘束ねじ **4** を外します。506 ページの図 173 を参照してください。
 9. ヒートシンクを一端から他端へ静かに移動し、熱化合物のシールを破ってから、ヒートシンクをプロセッサから引き離します。
 10. それぞれのヒートシンク保持ブラケット **3** からねじを取り外します。506 ページの図 173 を参照してください。
 11. 保持ブラケットを取り外します。
 12. コネクタ 3 個のそれぞれから 2 個のねじを外します。
 13. 7 個のねじ **2** を外します。506 ページの図 173 を参照してください。
 14. システム・ボードを取り外します。

システム・ボードの取り外しの際、この時点でする作業があれば、それを実行します。

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリを取り外します。

372 ページの『ラックからの SAN ボリューム・コントローラーの取り外し』
一部の保守手順中に、ラックから SAN ボリューム・コントローラーを取り外す必要が生じる可能性があります。

390 ページの『上部カバーの取り外し』
保守が必要な場合は、SAN ボリューム・コントローラー の上部カバーを取り外すことができます。

459 ページの『アダプター・アセンブリの取り外し』
このトピックに記載された情報を使用するのは、ファイバー・チャンネル・アダプターまたはファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリを取り外す必要がある場合です。

416 ページの『メモリー・モジュール (DIMM) の取り外し』
1 つ以上の障害のあるメモリー・モジュールを除去する必要が生じる場合があります。

関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの交換

通常の保守の際、システム・ボードを交換する必要がある場合があります。

システム・ボード現場交換可能ユニット (FRU) は、以下の部品が組み込まれたキットです。

- PCI ライザー・カード
- マイクロプロセッサ 2 つ
- マイクロプロセッサ電圧調節モジュール (VRM)
- プレーナー

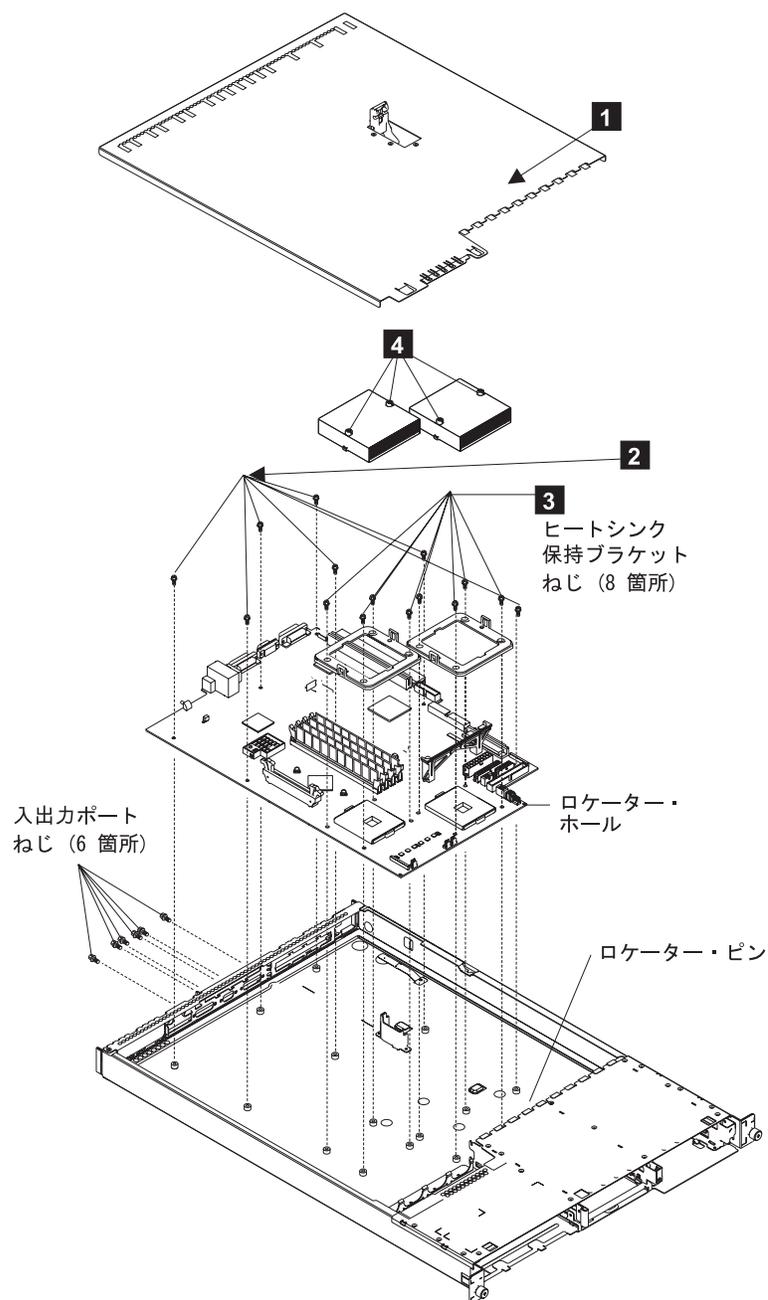
注:

- システム・ボード FRU キット内のすべての部品 (システム・ボード、プロセッサ [2]、VRM、ライザー・カード) を使用します。システム・ボードを取り外して、交換する場合は、取り外した 3 つのメモリー・モジュールと 2 つのアダプター・アセンブリーのみを再利用します。システム・ボードを取り外す方法については、このトピックの最後に記載される関連文書を参照してください。
- 新しいシステム・ボードを取り付ける前に、古いシステム・ボードに取り付けられたジャンパーの有無を検査します。ジャンパーがある場合は、マッチングするジャンパーを新しいシステム・ボードに取り付けます。
- システム・ボードにプロセッサを取り付ける前に、プロセッサ・ソケットからダスト・カバーを取り外します。
- 指定保守手順からここへ送られてきたのでなければ、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 のシリアル番号の再書き込みを行います。指示された保守手順からここへ送られてきた場合は、このステップは手順内で実行されます。
- システム・ボードは静電気の放電に敏感です。静電気による損傷を防ぐための予防措置を講じてください。静電気に弱い装置の取り扱い情報については、このトピックの最後に記載される関連文書を参照してください。
- システム・ボードのフラッシュ・メモリーを強制復元するには、すべての外部ケーブルをノードに再接続し、ノードを最初に電源オンした後に、ノード・レスキュー手順を実行する必要があります。

以下のステップを実行してシステム・ボードを交換します。

1. 7 個のねじ **2** を交換します。509 ページの図 174 を参照してください。
2. 3 つのコネクターのそれぞれの 2 つのねじを交換します。
3. 保持ブラケットを交換します。
4. それぞれのヒートシンク保持ブラケット **3** のねじを交換します。509 ページの図 174 を参照してください。
5. ヒートシンクの拘束ねじ **4** を留めます。
6. エア・バッフルを所定の位置に戻します。
7. 以下を接続します。
 - すべてのファン・コネクタ
 - 電源コネクタ P1 と P2
 - SCSI 電源コネクタ
 - ATA コネクタ

- ディスク・ドライブ・コネクタ
 - サービス・コントローラ・コネクタ
8. メモリ・モジュールを交換用システム・ボードで交換します。
 9. アダプター・アセンブリーを交換用システム・ボードで交換します。
 10. ノードの上部カバー **1** を再取り付けします。



1 上部カバー

2 ねじ

3 ヒートシンク保持ブラケット

4 ヒートシンク拘束ねじ

11. ラックにノードを収めます。
12. ケーブルがまっすぐに装着されていることを確認しながら、システム・ボードにリボン・ケーブルの端 (システム・プレーナーのマークが付いた) を慎重に取り付けます。図 175 を参照してください。 ケーブル・コネクタ各端の青い線が見えないことを確認してください。

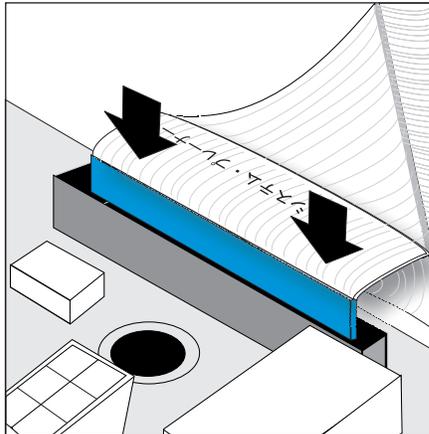


図 175. システム・ボードへのサービス・コントローラー・ケーブルの取り付け

13. SAN ボリューム・コントローラーにすべての電源を戻します。
14. 指定保守手順の一環としてこの修復を実行すると、マシン・シリアル番号を入力するようプロンプトが出されます。それ以外では、以下のステップを実行します。
 - a. クラスタから障害のあるノードを削除します。
 - b. 修復したノードをクラスタに追加します。
 - c. コマンド行インターフェースを開始します。
 - d. 次のコマンドを発行します。

```
svcservicetask writesernum -sernum nodeserialnumber nodename
```

nodeserialnumber はノード・フレーム上のシリアル番号であり、*nodename* は、このステップで追加した修復されたノードの名前です。

`svcservicetask writesernum -sernum nodeserialnumber nodename` コマンドは、マシン・シリアル番号を SAN ボリューム・コントローラーのシステム・ボードに書き込みます。

注: ノードは、シリアル番号がシステム・ボードに書き込まれるとすぐに再始動します。

関連タスク

505 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 システム・ボードの取り外し』
通常の保守の際、システム・ボードを取り外して交換する必要がある場合があります。

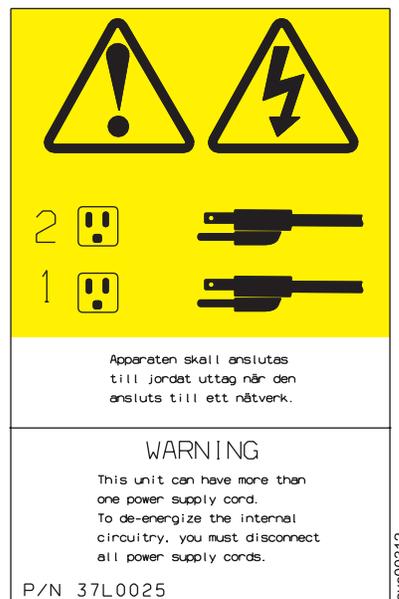
関連資料

1 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』
静電気の影響を受けやすい装置の取り扱い方法を正しく理解します。

冗長 AC 電源スイッチの取り外し

このトピックを使用するのは、冗長 AC 電源スイッチを取り外す必要がある場合です。

冗長 AC 電源スイッチ の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。



冗長 AC 電源スイッチを取り外すには、以下のステップを行います。

1. UPS 経由で冗長 AC 電源スイッチに接続された各 SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源をオフにします。冗長 AC 電源スイッチに接続されたノードが 1 台または 2 台ある可能性があります。2 台のノードが冗長 AC 電源スイッチに接続されている場合、その両ノードが同一入出力グループに接続されていないことを確認してから、ノードの電源をオフにします。この両ノードが同一入出力グループ内に存在している場合は、両ノードを電源オフすると、その入出力グループが管理対象とするデータにアクセスできなくなります。同一の入出力グループがこの両ノードに給電している場合、1 つのノードを電源オフし、そのノードを冗長 AC 電源スイッチから切り離して別の給電部に接続し、そのノードを電源オン状態に戻します。このノードが回復して入出力グループに再結合された場合は、もう一方のノードが電源オフされて冗長 AC 電源スイッチが取り外された時でも、このノードは I/O アクセスを持続できます。この操作を行

う必要があった場合は、2 番目のノードを電源オフしても安全な時点を、特別な注意を払って確認してください。329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』を参照してください。

2. 両方の冗長 AC 電源スイッチ入力電源ケーブルを設置場所の電力配分装置から取り外し、ラック内でそのケーブルの配線を外します。それにより、冗長 AC 電源スイッチを取り外す時点でこのケーブルをスライドさせて外に出すことになります。冗長 AC 電源スイッチがラック内にある間にこの冗長 AC 電源スイッチからこのケーブルを切り離すための作業アクセスは十分可能ですが、このケーブルを接続状態のままにして、冗長 AC 電源スイッチと一緒にケーブルを取り外すことが一層便利な場合が多々あります。
3. 2145 UPS-1U への冗長 AC 電源スイッチ (1 台または 2 台) の電源ケーブルを冗長 AC 電源スイッチ側で取り外します。2145 UPS-1U 側でこの電源ケーブルを取り外す必要はありません。
4. 冗長 AC 電源スイッチをラックに留めている 4 つのねじを外します。この手順を行っている間は、冗長 AC 電源スイッチを支えている必要がありますのでご注意ください。これらのねじは装置を支えているだけです。
5. 冗長 AC 電源スイッチを、入力電源ケーブルと一緒に (このケーブルがまだ接続されている場合は) ラックからスライドさせて外に出すことができます。

冗長 AC 電源スイッチ の交換

このトピックを使用するのは、冗長 AC 電源スイッチを再取り付けする必要がある場合です。

冗長 AC 電源スイッチの FRU アセンブリーには、冗長 AC 電源スイッチと入力電源ケーブルが含まれています。これらは、すべて一緒に再取り付けする必要があります。

以下の手順の前提としては、冗長 AC 電源スイッチがすでに取り外されて、このスイッチに接続された 1 台または 2 台のノードが電源オフされていることです。

冗長 AC 電源スイッチを再取り付けするには、以下のステップを行います。

1. 2 つの取り付け用プレートの各々を冗長 AC 電源スイッチに取り付けます。この取り付けには、3 つの M3 Torx T8 ヘッドねじを使用します。出力電源ソケットを含む冗長 AC 電源スイッチの側に取り付け面を位置合わせします。513 ページの図 176 を参照してください。



図 176. 取り付け用プレートの取り付け

2. 提供されたラベルを使用して、2 本の冗長 AC 電源スイッチ入力電源ケーブルの両端にラベルを付けます。これらのラベルは、構成を変更しようとしている場合を除き、古い冗長 AC 電源スイッチと一緒に取り外されたケーブル上のラベルと同じです。「冗長 AC 電源スイッチ <位置> <MAIN | BACKUP> 入力への給電部 <名前>、コンセント <ID>」というラベルを、ラックの電源配分側の終端に貼ります。例えば、「冗長 AC 電源スイッチの位置 7 MAIN 入力への給電部 D2、コンセント 4」となります。
3. 「給電部 <name>、コンセント <id> からの冗長 AC 電源スイッチ <位置> <MAIN | BACKUP> 入力」というラベルを、冗長 AC 電源スイッチ側の終端に貼ります。
4. 入力電源ケーブルを冗長 AC 電源スイッチに接続します。今ここで、このケーブルを接続してください。その理由は、冗長 AC 電源スイッチをラックに取り付けてしまうと、このスイッチ上の入力電源ソケットにアクセスすることは困難だからです。
5. メイン入力電源ケーブルを冗長 AC 電源スイッチに接続します。
6. バックアップ入力電源ケーブルを冗長 AC 電源スイッチに接続します。
7. 両方の冗長 AC 電源スイッチ入力ケーブルを固定します。これには冗長 AC 電源スイッチのクリップを使用します。514 ページの図 177 を参照してください。



図 177. 電源ケーブル・クリップ

8. ラックに、冗長 AC 電源スイッチ を取り付けます。この装置を取り付ける 4 つの「C」クリップは、必ずラック・マウント・バーの位置にあると考えられます。
9. ラックの中に冗長 AC 電源スイッチの位置を合わせて、各ケーブルをラック前面に押し込みます。4 つの M6 ねじを使用して所定の場所に取り付けます。
10. 冗長 AC 電源スイッチの電源入力ケーブルを設置場所の電源に接続します。
 - a. 冗長 AC 電源スイッチから電力配分装置までの適切なケーブル配線を決定します。
 - b. 冗長 AC 電源スイッチのメイン入力電源ケーブルを、指定された電力配分装置に配線して接続します。
 - c. 冗長 AC 電源スイッチのバックアップ入力電源ケーブルを、指定された電力配分装置に配線して接続します。
 - d. 冗長 AC 電源スイッチの各電源ケーブルが整然としているかどうかをチェックします。各ケーブルが他の装置の障害となっていないかどうか、必要な場合は、所定の場所に縛り付けてあるかどうかを確認します。
11. 327 ページの『MAP 5340: 冗長 AC 電源の検証』の記述を見て、冗長 AC 電源スイッチをテストしてから、このスイッチを 2145 UPS-1U に接続します。
12. この冗長 AC 電源スイッチが給電する 1 台または 2 台の 2145 UPS-1U を接続します。電源ケーブルは依然として、2145 UPS-1U にプラグが挿入された状態にしておく必要があります。
 - a. 冗長 AC 電源スイッチ前面の出力電源ソケットにケーブルの他端を接続します。
 - b. ケーブル上に貼られたラベルをチェックして、どのソケットに各ケーブルを接続する必要があるかを調べます。
 - c. UPS が自動的に電源オンしない場合、5 秒間電源ボタンを押して UPS の電源をオンにします。
13. この冗長 AC 電源スイッチに接続された 1 台または 2 台の SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源をオンにします。

2145 UPS-1U の部品の取り外しと交換

2145 UPS-1U の現場交換可能ユニットの取り外しと交換手順は次のトピックに説明されています。

2145 UPS-1U の取り外し

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

危険

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとしてはなりません。別のサービス担当者に手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

2145 UPS-1U を取り外すには、次の手順で行います。

1. 2145 UPS-1U の前面で、電源ライトが消えるまで (約 5 秒)、「オン/オフ」ボタン **1** を押し続けます。516 ページの図 178 を参照してください。2145 UPS-1U は待機モードになります。

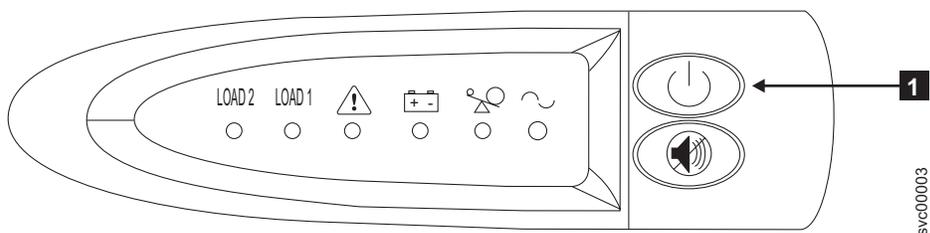


図 178. 2145 UPS-1U のフロント・パネル・アセンブリー

2. 2145 UPS-1U の背面で、SAN ボリューム・コントローラーの電源ケーブルを
負荷セグメント・コンセント 2 (図 179 の **5**) から切り離す前に電源ケーブ
ル・リテーナーを取り外します。
3. シグナル・ケーブルを通信ポート **2** から切り離します。
4. 主電源ケーブルを主給電部 **1** から切り離します。

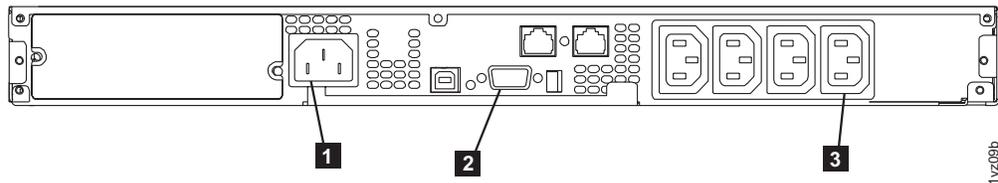
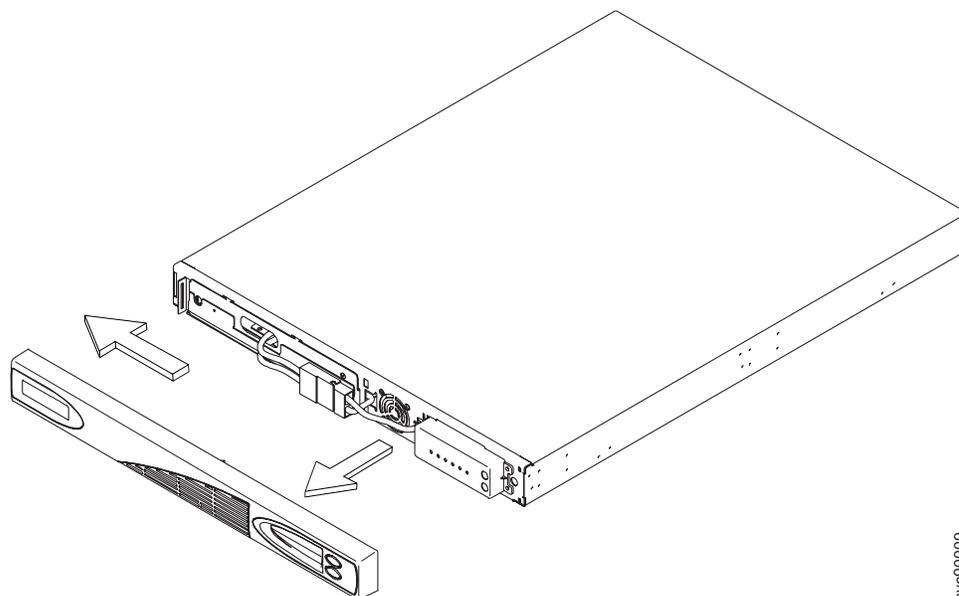


図 179. 2145-1U 無停電電源装置 (背面図)

5. 2145 UPS-1U フロント・パネルを取り外します (517 ページの図 180 を参
照)。

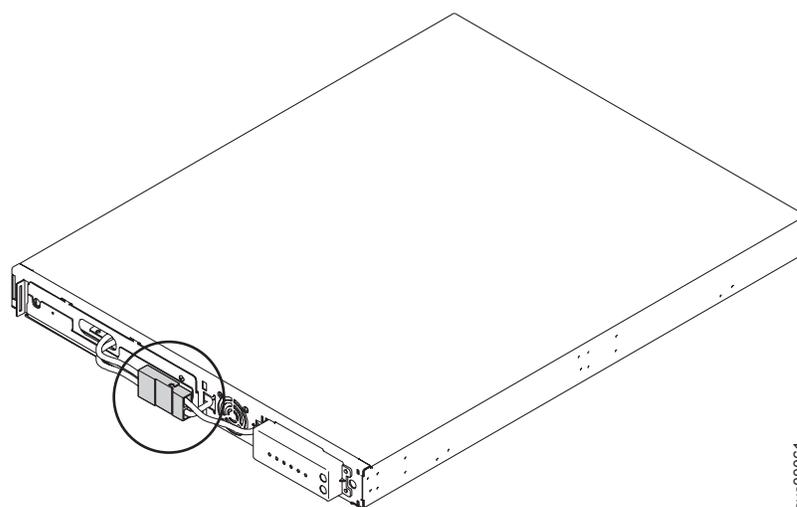
注: パネルの右側を 2145 UPS-1U から引き離すのが困難な場合はマイナス・ド
ライバーの刃先をカバーの右側とフレームの間に挟み、てこを応用して慎
重に外してください。



svc00009

図 180. 2145 UPS-IU のフロント・パネルの取り外し

6. 内部バッテリー・コネクタを切り離します。図 181 を参照してください。



svc00061

図 181. 2145 UPS-IU 内部バッテリー・コネクタ

7. 2 つのコネクタを引き離して、露出したバッテリー・コネクタを粘着テープでカバーします。518 ページの図 182 を参照してください。

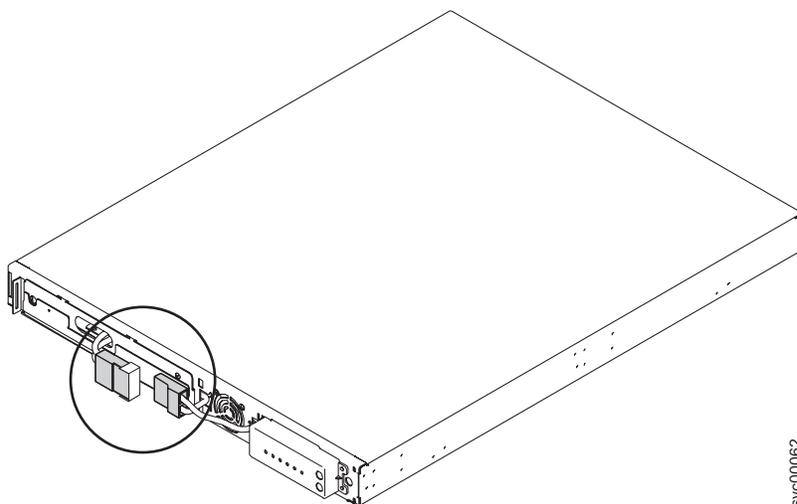


図 182. 保護テープ付きの 2145 UPS-1U 内部バッテリー・コネクタ

8. フロント・パネルを再度取り付ける。
9. 2145 UPS-1U の前面で、2 つの取り付けねじを取り外します。図 183 にある **1** を参照してください。

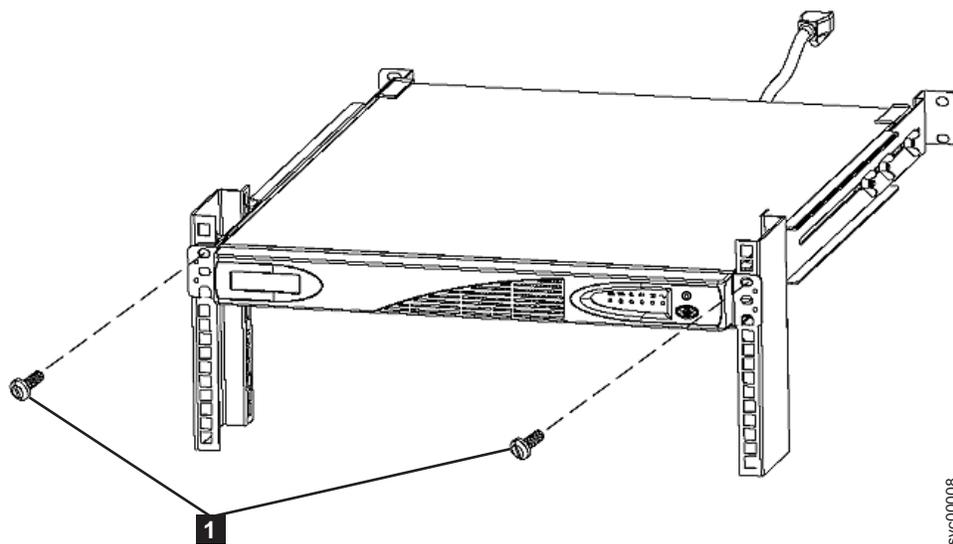


図 183. 2145-1U 無停電電源装置の取り付けねじの取り外し

10. ラックの後部から、2145 UPS-1U を約 5 cm (2 インチ) 前へ押し、ラックから引き出せるようにします。
11. ラックの前面に進みます。
12. 2145 UPS-1U を手前に引き、ラックから取り外します。

関連タスク

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』
このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

2145 UPS-1U の交換

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

注: 2145 UPS-1U の取り付けを始める前に、安全上の注意をお読みください。注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Safety Information*」を参照してください。

危険

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとしてはなりません。別のサービス担当者に手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

2145 UPS-1U を交換するには、次の手順で行います。

1. 2145 UPS-1U の前面を手前に向けて、平らで安定面に、2145 UPS-1U を置きます。
2. 2145 UPS-1U のそれぞれの側で、マウント・ブラケットの長いほうの側を 2145 UPS-1U に取り付けます。その場合、提供された 4 個の M3 × 6 ねじを使用します。520 ページの図 184 の **2** を参照してください。

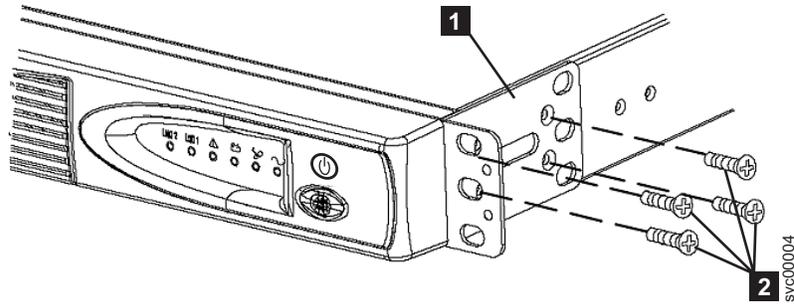


図 184. 2145 UPS-1U 取り付け金具

3. ラックの前面に立ち、2145 UPS-1U の後部をサポート・レールに載せてから、2145 UPS-1U をラック内にスライドさせます。
4. 2145 UPS-1U の前面で、2 つの取り付けねじを取り付けます。図 185 にある **1** を参照してください。

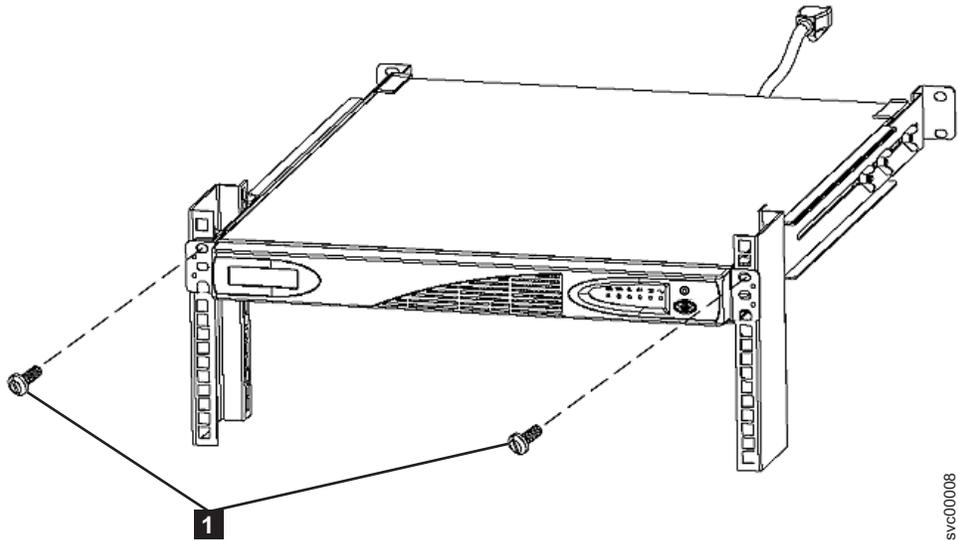
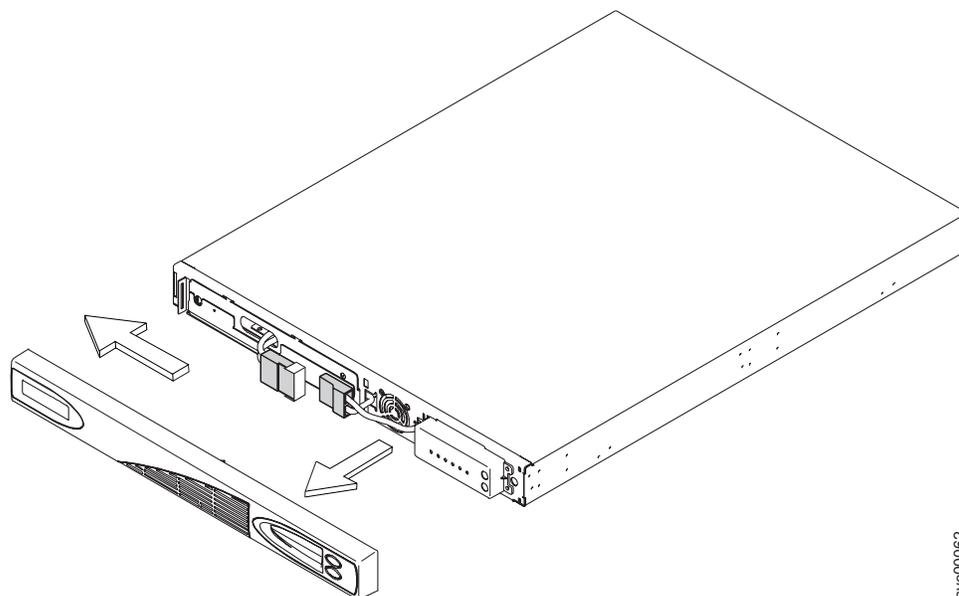


図 185. 2145 UPS-1U のラックへの再取り付け

5. 2145 UPS-1U のフロント・パネルを手前に引いてから左に引いて取り外します。521 ページの図 186 を参照してください。

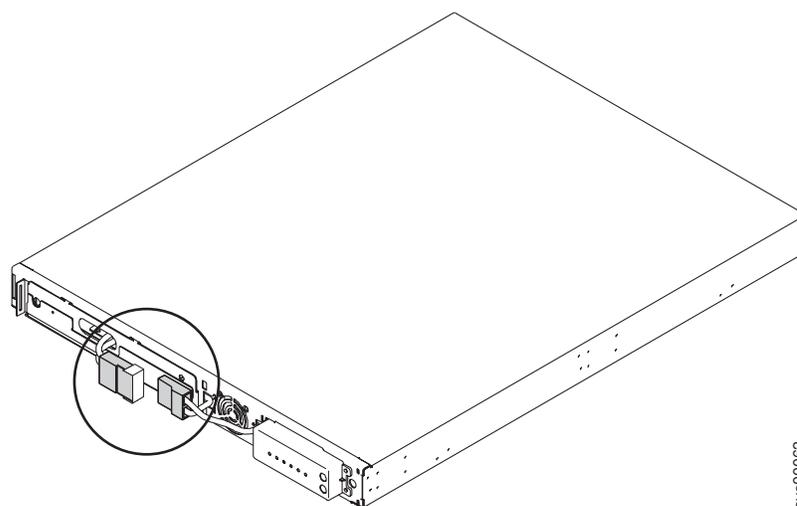
注: パネルの右側を 2145 UPS-1U から引き離すのが困難な場合はマイナス・ドライバーの刃先をカバーの右側とフレームの間に挟み、てこを応用して慎重に外してください。



svc00062

図 186. 2145 UPS-IU のフロント・パネルの取り外し

6. 保護テープを内部バッテリーから外します。図 187 を参照してください。



svc00062

図 187. 保護テープ付きの内部バッテリー

7. 内部バッテリー・コネクタを接続します。522 ページの図 188 を参照してください。

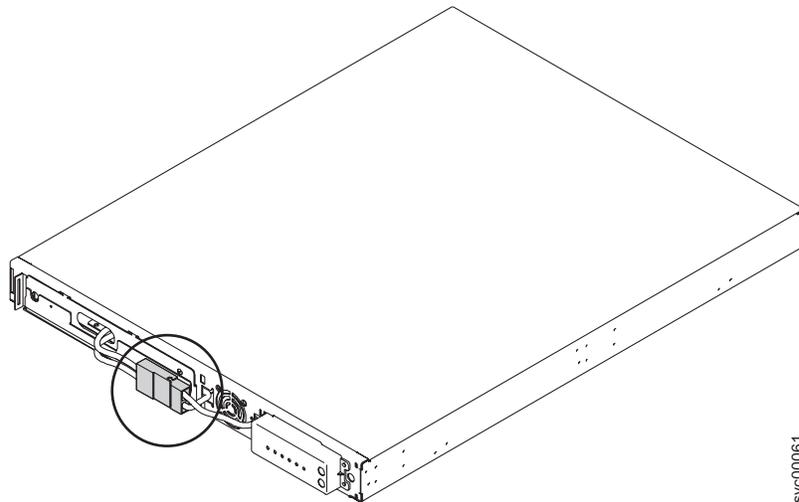


図 188. 内部バッテリー・コネクタを適所に収めた 2145 UPS-1U

注: バッテリーの接続中に、少量のアーカ放電が起こります。これは正常な状態で装置を損傷することなく、また安全上の心配もありません。

8. フロント・パネルを再度取り付ける。
9. 2145 UPS-1U の背面で、SAN ボリューム・コントローラーの電源ケーブルを
負荷セグメント 2 コンセント **3** に接続します。523 ページの図 190 を参照
してください。該当する場合は、電源ケーブル保持ブラケットを取り付けま
す。523 ページの図 189 を参照してください。

注: 2145 UPS-1U は、データをローカル・ハード・ディスク・ドライブに保存できるまでの間、単一の SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源を維持することを意図しています。SAN ボリューム・コントローラーのノードのみが、2145 UPS-1U に接続できます。それ以外は SAN ボリューム・コントローラー クラスターの誤動作を引き起こします。2145 UPS-1U には 1 台の SAN ボリューム・コントローラーのみを接続する必要があります、そのほかの接続はできません。

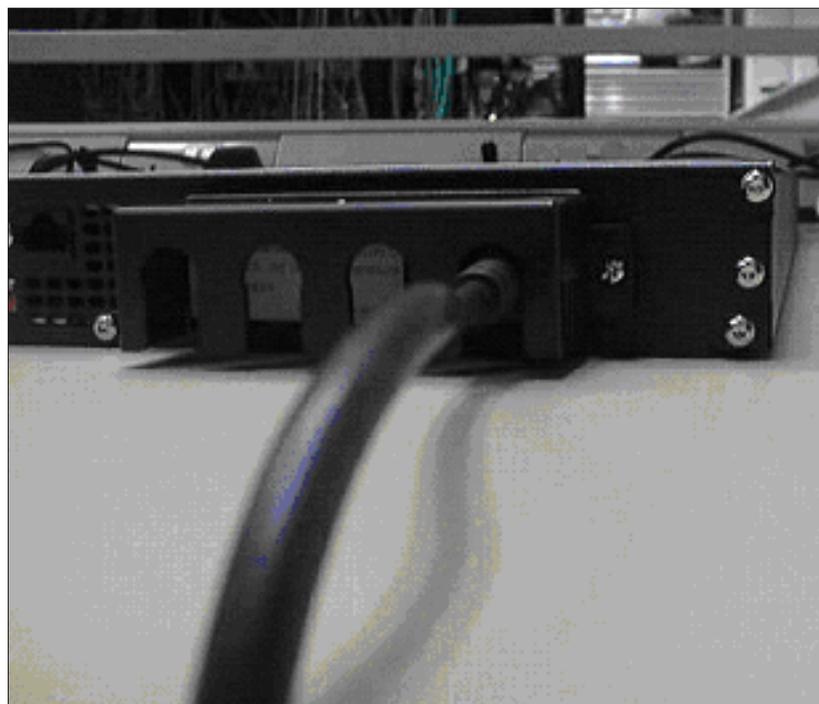


図 189. 2145 UPS-1U に接続された 2145 UPS-1U のケーブル保持ブラケット

10. SAN ボリューム・コントローラーのシグナル・ケーブルを通信ポート **2** に再接続します。図 190 を参照してください。
11. 2145 UPS-1U の主電源ケーブルを再接続します。この再接続は、電力配分装置または冗長 AC 電源スイッチのいずれかから、入力コネクタ **1** への接続です。

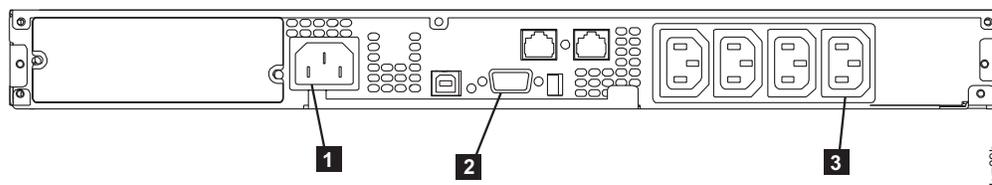


図 190. 2145 UPS-1U (背面図)

これで、2145 UPS-1U は待機モードになり、SAN ボリューム・コントローラーがオフラインになるはずですが、524 ページの図 191 に示されているすべてのインディケータがオフになります。

12. 2145 UPS-1U の電源をオンにするには、オン/オフ・ボタン **2** を押したままの状態にします。524 ページの図 191 を参照してください。2145 UPS-1U が自己診断テスト (約 5 秒を要す) を済ますと、電源オン・インディケータ **1** と負荷インディケータ (**7** および **8**) が永続的に点灯して、2145 UPS-1U が SAN ボリューム・コントローラーに電源を供給していることを示します。2145 UPS-1U は、通常モードのときにバッテリーの充電を開始します。

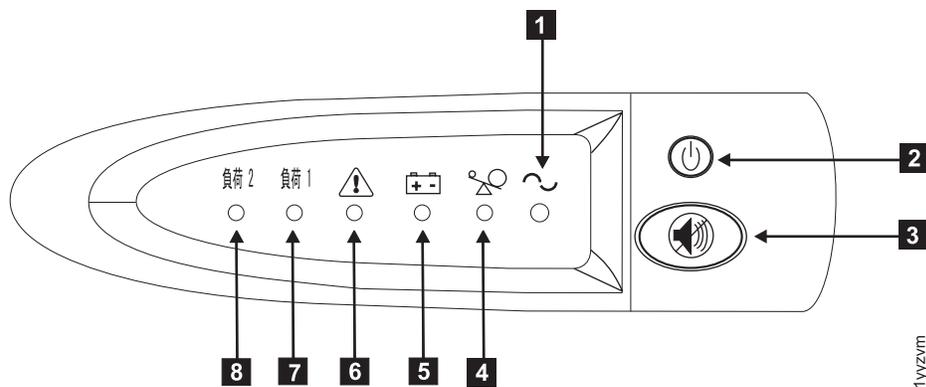


図 191. 2145 UPS-1U の電源スイッチおよびインディケータ

注: 2145 UPS-1U バッテリーが十分充電されていない場合は、SAN ボリューム・コントローラー・ノードはクラスターに結合できません。このノードでは「充電中 (Charging)」がフロント・パネルに表示されます。この状態は 2145 UPS-1U バッテリーが十分に充電されるまで続きます。これには 1 時間を要します。SAN ボリューム・コントローラー・ノードがクラスターに再結合すると、2145 UPS-1U バッテリーの充電を終了する間、フロント・パネルには「リカバリー中 (Recovering)」が表示される可能性があります。

関連タスク

530 ページの『2145 UPS-1U バッテリーの取り外し』

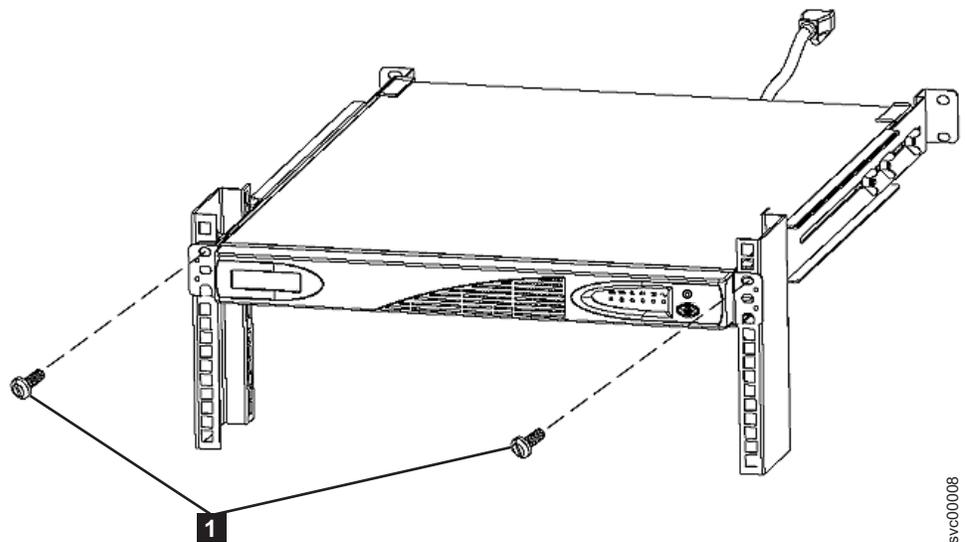
このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

2145 UPS-1U のサポート・レールの取り外し

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のサポート・レールを取り外すことができます。

サポート・レールを取り外すには、次の手順で行います。

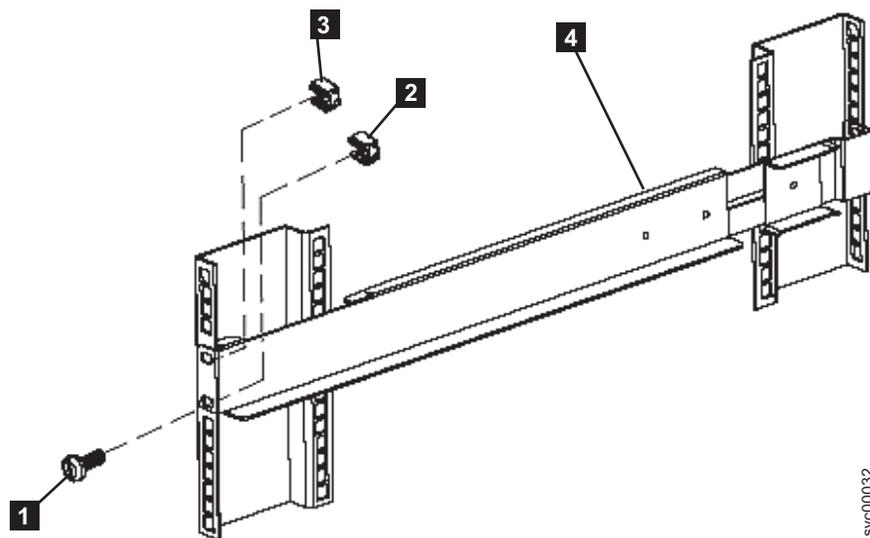
1. 2145 UPS-1U の各側面から M6 × 10 ねじ 2 個を緩めて取り外します。525 ページの図 192 の **1** を参照してください。



svc00008

図 192. 2145 UPS-1U からの前部ねじの取り外し

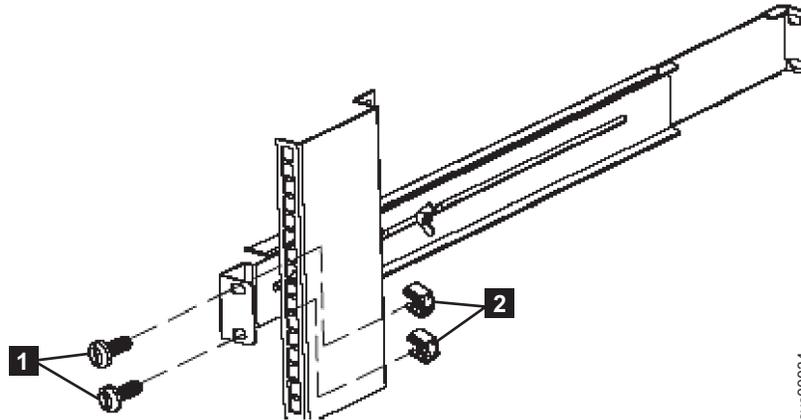
2. 2145 UPS-1U をラックから取り外します。
3. レールの上部穴 (図 193 の **3**) からクリップ・ナットを取り外します。



svc00032

図 193. 2145 UPS-1U の前部レール取り外し

4. M6 × 10 ねじ **1** をレールの下部穴のクリップ・ナット **2** から外します。
5. 2 つの M6 × 10 ねじと (526 ページの図 194 の **1**)、2 つのクリップ・ナット (**2**) をレールの後ろ側から取り外します。



svc00034

図 194. 2145 UPS-1U の後部レール取り外し

6. レールをラックから取り外します。
7. 3 (525 ページ) から 6 までのステップを繰り返して、もう 1 つのレールをラックから取り外します。

2145 UPS-1U用のサポート・レールの取り付け

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を取り付ける前に、サポート・レールをラックに取り付ける必要があります。

サポート・レールを取り付ける前に、以下の前提条件を完了してください。

1. お客様のハードウェア位置図を使用して、ラックのどこに 2145 UPS-1U を取り付けるかを決定します。
2. ラックの背面で、米国電子工業会 (EIA) マークの位置を探して、2145 UPS-1U を取り付ける場所を決定します。2145 UPS-1U は、常に、ラックの空いている一番下の位置に取り付ける必要があります。UPS より下にある唯一の装置は、別の UPS です。

2145 UPS-1U 用のサポート・レールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. 使用する側に前面を向けて、2145 UPS-1U を平らな面の上に置きます。
2. 取り付けブラケットごとに 4 つの M3 × 6 ねじ **2** を使用して、取り付けブラケット **1** の長い側を 2145 UPS-1U の各側に取り付けます。527 ページの図 195 を参照してください。

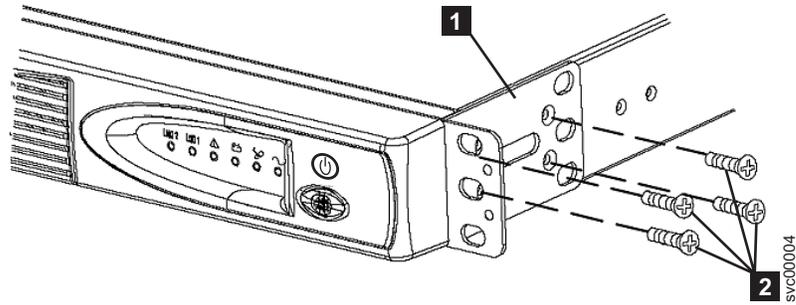


図 195. 2145 UPS-1U 用サポート・レールのラックへの取り付け

3. 両方のレール・アセンブリーのアセンブリー・ウィング・ナット **1** (図 196) を緩め、ラックの縦の長さに合わせてレール・サイズを調整します。

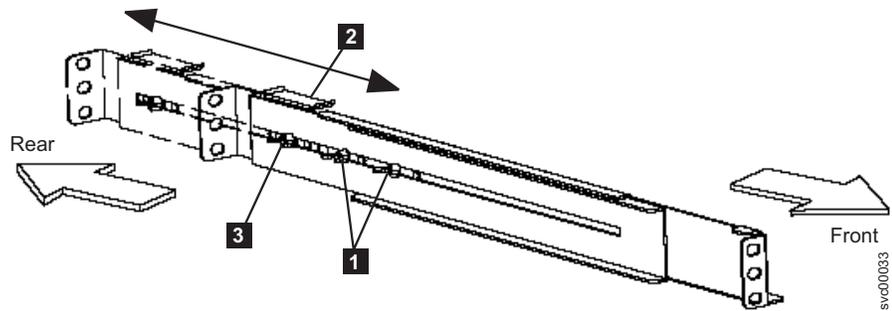


図 196. 2145 UPS-1U でのレールの縦の長さの調整

- 1** アセンブリー・ウィング・ナット
 - 2** 押さえブラケット
 - 3** ウィング・ナット
4. 後部の押さえブラケット **2** をレール・アセンブリーの端に位置付け、ウィング・ナット **3** を締めます。図 196 を参照してください。
 5. 2145 UPS-1U を位置付けるレールの穴を選択します。

注: サポート・レールの下部フランジをラックの EIA マークと位置合わせする必要があります。

6. 2 つの M6 × 10 ねじ **1** (528 ページの図 197) と 2 つのクリップ・ナット **2** を使用して、レールをラック背面に取り付けます。

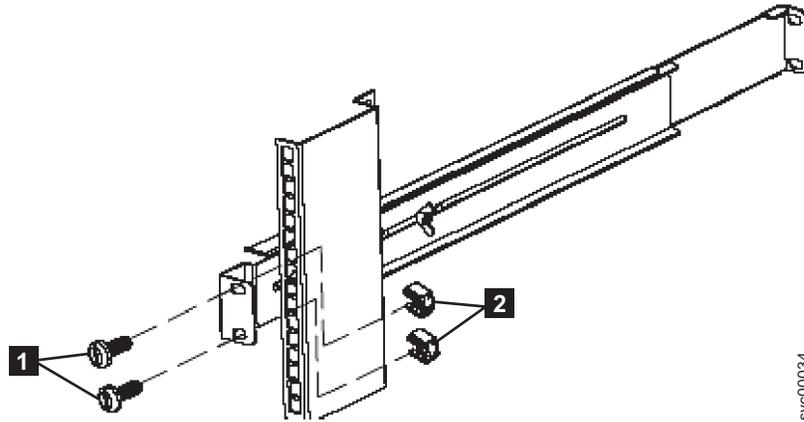


図 197. 2145 UPS-1U への背面レールの固定

7. 1 つの M6 × 10 ねじと 1 つのクリップ・ナット **1** (図 198) を使用して、レールの下部の穴のみをラックの前面に取り付けます。

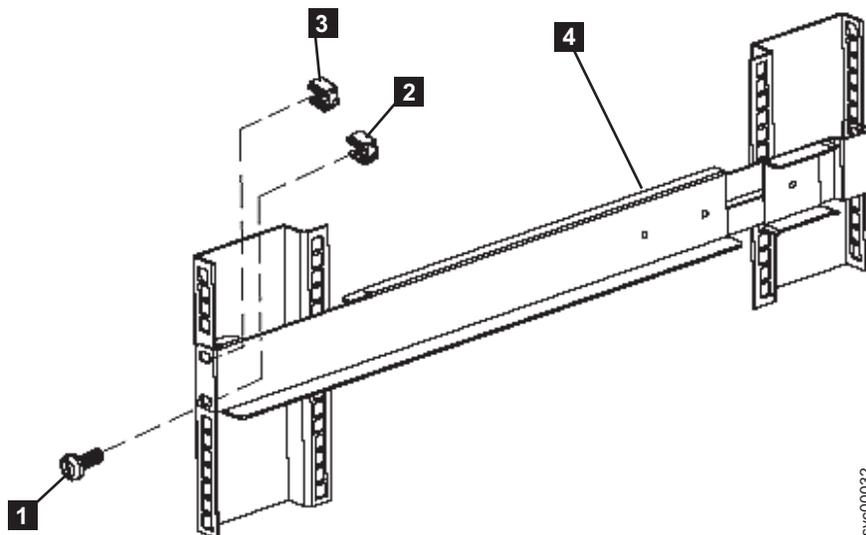


図 198. 2145 UPS-1U への前面レールの固定

8. クリップ・ナットをレールの上部の穴 **3** に取り付けます。
9. 他のレールについて、ステップ 6 (527 ページ) からステップ 8 を繰り返します。
10. 両方のレール・アセンブリーでアセンブリー・ウィング・ナットを締めます。

2145 UPS-1U からの電源ケーブルの取り外し

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) から取り外すことができます。

電源ケーブルを取り外すには、次のステップを実行します。

1. 各 SAN ボリューム・コントローラーの電源を除去します。電源ケーブルの SAN ボリューム・コントローラーからの取り外しに関する文書を参照してください。
2. 「オン/オフ」ボタン **2** を、電源ライト **1** が消えるまで (約 5 秒)、押し続けます。2145 UPS-1U は待機モードになり、すべてのインディケータがオフになります。2145 UPS-1U の正面図と背面図については、図 199 を参照してください。

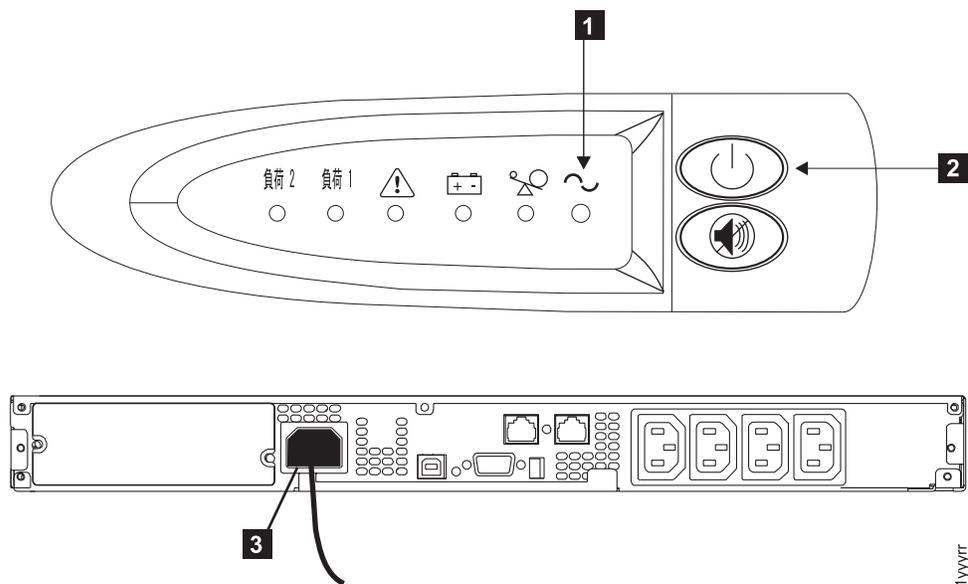


図 199. 2145 UPS-1U のフロント・パネルと背面パネル

- 1** 電源オン・インディケータ
- 2** オン/オフ・ボタン
- 3** 電源ケーブル

3. 電源ケーブルを主給電部 **3** から切り離します。
4. 電源ケーブルを交換して、それが配置されたことを確認します。2145 UPS-1U は待機モードになります。すべて標識がオフになり、SAN ボリューム・コントローラーには電源が供給されません。必要な場合、バッテリーが再充電されます。
5. 2145 UPS-1U をオンにするには、「オン/オフ」ボタン **2** を 2145 UPS-1U 電源ボタン **1** が点灯するまで (約 5 秒)、押し続けます。次に、フロント・パネル・インディケータは開始シーケンスを循環し、その間、2145 UPS-1U は自己診断テストを実行します。自己診断テストが完了すると、電源オン・インディケータと負荷インディケータが点灯して、2145 UPS-1U が電力を供給していることを示します。2145 UPS-1U は通常モードでのサービスを再開します。

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

2145 UPS-1U バッテリーの取り外し

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの取り外し方法を記載してあります。

2145 UPS-1U バッテリーを取り外すには、次の手順で行います。

1. UPS に接続された SAN ボリューム・コントローラーが電源オフされていることを確認してください。このノードがまだ電源オフされていない場合は、329 ページの『MAP 5350: SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源オフ』に記載された手順を使用して、電源オフしてください。

注: 2145 UPS-1U の電源オフ、またはラックからの取り外しは不要です。

2. フロント・パネルの右側を引っ張って、パネルを 2145 UPS-1U の右中央セクションから取り外します。フロント・パネルを左方に押して、パネル左端の留め金を解放します。図 200 を参照してください。

注: パネルの右側を 2145 UPS-1U から引き離すのが困難な場合はマイナス・ドライバーの刃先をカバーの右側とフレームの間に挟み、てこを応用して慎重に外してください。

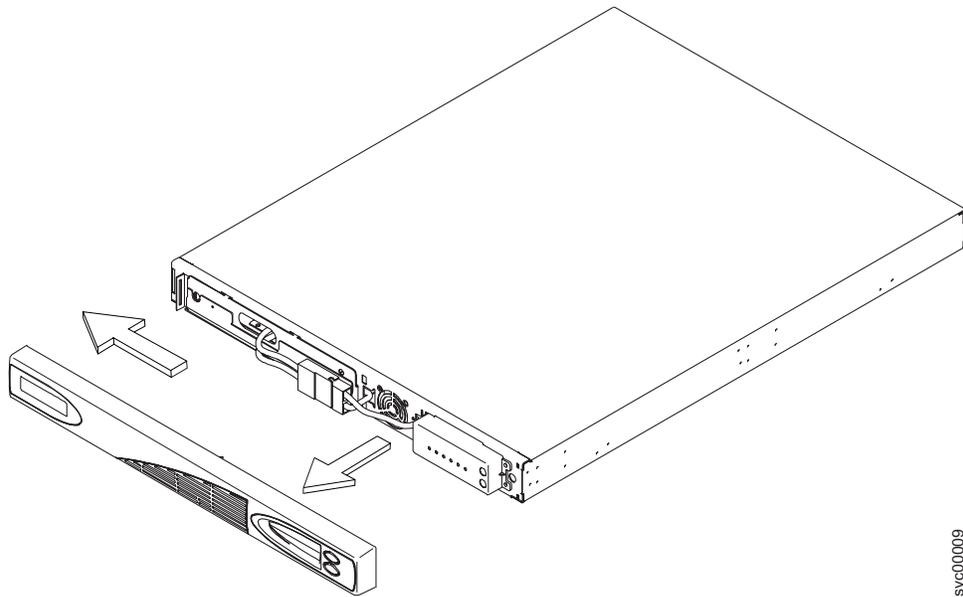
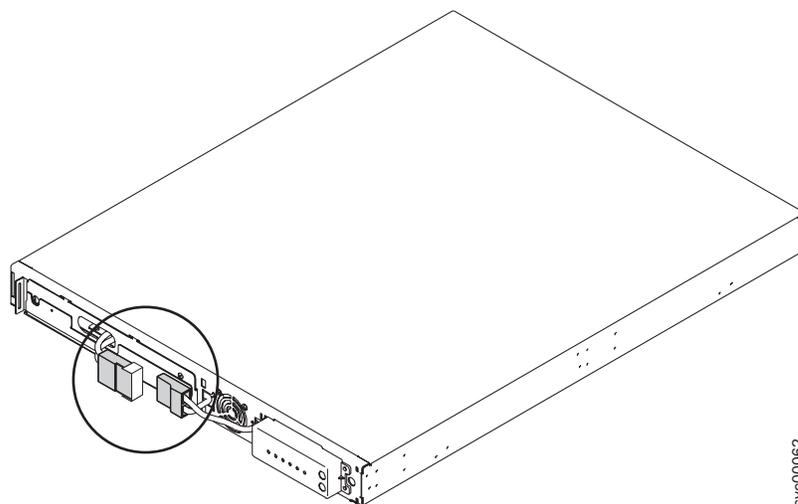


図 200. 2145 UPS-1U のフロント・パネルの取り外し

3. 内部バッテリー・コネクタを切り離します。531 ページの図 201 を参照してください。



svc00062

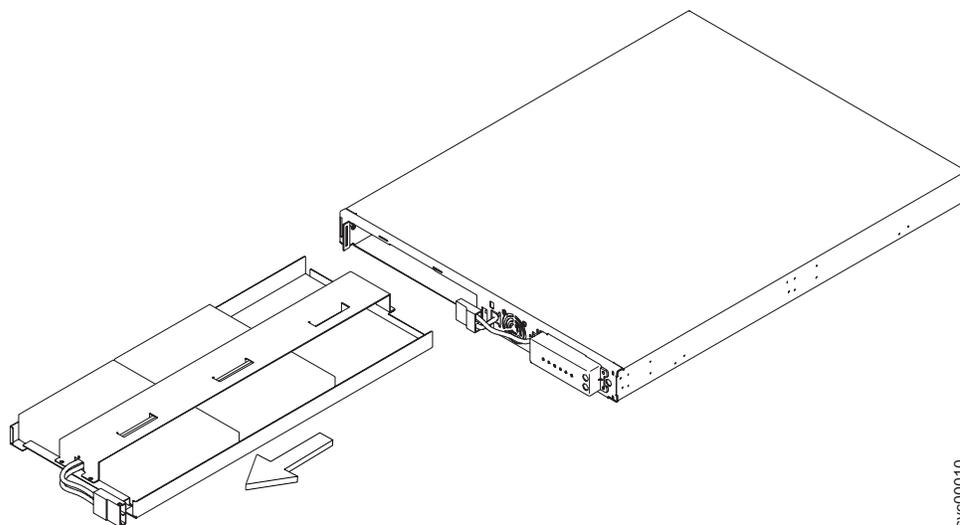
図 201. 2145 UPS-1U の内部バッテリー・コネクターの切り離し

4. バッテリー・カバーを右方にスライドさせ、それを取り外します。
5. バッテリーをスライドさせて 2145 UPS-1U から取り外し、平らな面に置きます。図 202 を参照してください。

注意:

鉛酸バッテリーには、高い短絡回路電流による電気熱傷の危険性があります。バッテリーが金属材料と接触することを回避するために、時計、リング、その他の金属製品を取り外し、絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。爆発の可能性を回避するために、バッテリーを燃やさないでください。

承認済みの部品との交換だけを行ってください。バッテリーは、指示に従ってリサイクルまたは廃棄してください。(C004a)



svc00010

図 202. 2145 UPS-1U バッテリーの取り外し

「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「IBM Systems Safety Notices」を参照してください。

危険

ラック・システムで、またはラック・システムの周囲で作業する場合は、以下の予防措置を守ってください。

- 重量のある装置を扱う場合、取り扱いを誤ると身体傷害または装置損傷が発生する恐れがあります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドを常に下げてください。
 ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを常に取り付けておいてください。
- 機械的負荷が均等でないために起きる危険な状態を回避するため、最も重いデバイスは、常にラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。サーバーやオプションのデバイスの取り付けは、常にラック・キャビネットの下部から始めてください。
- ラック・マウント・デバイスを、棚代わりや、作業スペースとして使用してはなりません。ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



- 各ラック・キャビネットごとに 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。保守の際に電源を切断するよう指示された場合は、ラック・キャビネットの電源コードをすべて外してください。
- ラック・キャビネットに取り付けるデバイスはすべて、同じラック・キャビネットに取り付けられた電源装置に接続してください。あるラック・キャビネットに取り付けたデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットに取り付けた電源装置に接続してはなりません。
- 正しく配線されていないコンセントは、システムまたは、システムに接続されているデバイスの金属部品に危険な電圧をかけるおそれがあります。感電予防のため、お客様の責任で、コンセントの正しい配線と接地を確認してください。

注意:

- すべてのラック・マウント・デバイスについて、ラック内部の環境温度が、製造メーカーが推奨する環境温度を超えるようなユニットをラックに取り付けしないでください。
- 通気が悪いラックに、ユニットを取り付けしないでください。ユニット全体の通気について、使用されるユニットの側面、前面、または背面のいずれでも通気が妨げられていないか、あるいは低減されていないか確認してください。
- 電源回路への装置の接続について十分配慮し、回路の過負荷のために供給配線の不具合や、過電流が起こらないように保護してください。ラックへの電源接続を正しく行うために、ラックの装置上に付いている定格ラベルを参照して、電源回路の総消費電力を判別してください。
- (スライド式ドロワーの場合) ラックのスタビライザー・ブラケットがラックに留められていない状態のときに、ドロワーまたは機構を引き出したり、取り付けたりしないでください。複数のドロワーを同時に引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックは不安定になります。
- (固定ドロワーの場合) このドロワーは固定ドロワーであり、製造メーカーが特に指定しない限り、修理などのために動かしてはなりません。ドロワーを部分的に動かしたり、完全にラックの外に引き出そうとすると、ラックは不安定になったり、ドロワーがラックの外に落ちたりすることがあります。

(R001)

関連タスク

515 ページの『2145 UPS-1U の取り外し』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) の取り外す前に、安全上の注意をすべてお読みください。

519 ページの『2145 UPS-1U の交換』

以前の無停電電源装置 (UPS) を取り外した後でのみ、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) を交換できます。

関連資料

76 ページの『2145 UPS-1U のコントロールとインディケータ』

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・アセンブリーにあります。

2145 UPS-1U バッテリーの再取り付け

このトピックには、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) バッテリーの再取り付け方法を記載してあります。

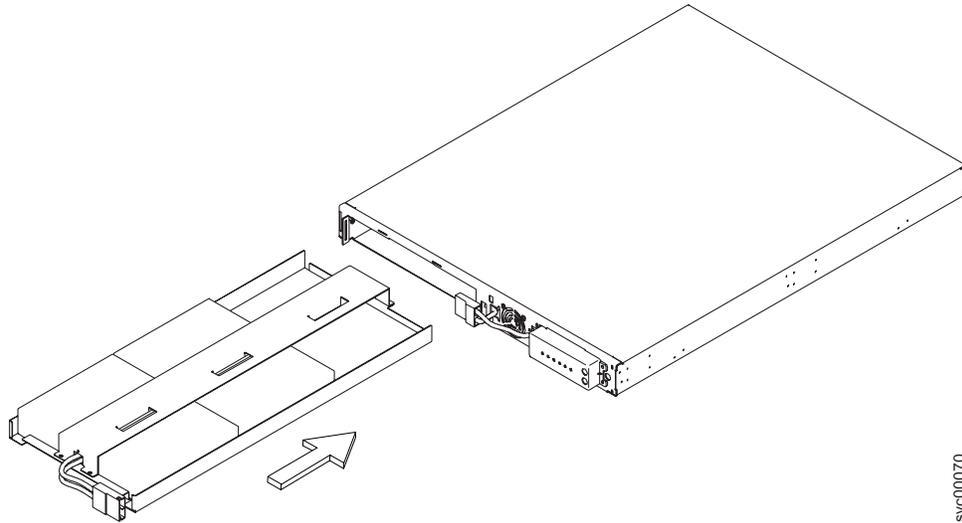
この作業では 2145 UPS-1U バッテリー電源が切り離され、SAN ボリューム・コントローラーの電源がオフにされていることを前提とします。以下のステップを実行して、2145 UPS-1U のバッテリーを交換します。

1. バッテリーを 2145 UPS-1U の中にスライドさせます。 534 ページの図 203 を参照してください。

注意:

鉛酸バッテリーには、高い短絡回路電流による電気熱傷の危険性があります。バッテリーが金属材料と接触することを回避するために、時計、リング、その他の金属製品を取り外し、絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。爆発の可能性を回避するために、燃やさないでください。

承認済み部品とのみ交換してください。バッテリーは、指示に従ってリサイクルまたは廃棄してください。(C004a)



svc00070

図 203. 2145 UPS-1U バッテリーの交換

すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「IBM Systems Safety Notices」を参照してください。

危険

ラック・システムで、またはラック・システムの周囲で作業する場合は、以下の予防措置を守ってください。

- 重量のある装置を扱う場合、取り扱いを誤ると身体傷害または装置損傷が発生する恐れがあります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドを常に下げてください。
- ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを常に取り付けておいてください。
- 機械的負荷が均等でないために起きる危険な状態を回避するため、最も重いデバイスは、常にラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。サーバーやオプションのデバイスの取り付けは、常にラック・キャビネットの下部から始めてください。
- ラック・マウント・デバイスを、棚代わりや、作業スペースとして使用してはなりません。ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



- 各ラック・キャビネットごとに 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。保守の際に電源を切断するよう指示された場合は、ラック・キャビネットの電源コードをすべて外してください。
- ラック・キャビネットに取り付けるデバイスはすべて、同じラック・キャビネットに取り付けられた電源装置に接続してください。あるラック・キャビネットに取り付けたデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットに取り付けた電源装置に接続してはなりません。
- 正しく配線されていないコンセントは、システムまたは、システムに接続されているデバイスの金属部品に危険な電圧をかけるおそれがあります。感電予防のため、お客様の責任で、コンセントの正しい配線と接地を確認してください。

注意:

- すべてのラック・マウント・デバイスについて、ラック内部の環境温度が、製造メーカーが推奨する環境温度を超えるようなユニットをラックに取り付けしないでください。
- 通気が悪いラックに、ユニットを取り付けしないでください。ユニット全体の通気について、使用されるユニットの側面、前面、または背面のいずれでも通気が妨げられていないか、あるいは低減されていないか確認してください。
- 電源回路への装置の接続について十分配慮し、回路の過負荷のために供給配線の不具合や、過電流が起こらないように保護してください。ラックへの電源接続を正しく行うために、ラックの装置上に付いている定格ラベルを参照して、電源回路の総消費電力を判別してください。
- (スライド式ドロワーの場合) ラックのスタビライザー・ブラケットがラックに留められていない状態のときに、ドロワーまたは機構を引き出したり、取り付けたらしないでください。複数のドロワーを同時に引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックは不安定になります。
- (固定ドロワーの場合) このドロワーは固定ドロワーであり、製造メーカーが特に指定しない限り、修理などのために動かしてはなりません。ドロワーを部分的に動かしたり、完全にラックの外に引き出そうとすると、ラックは不安定になったり、ドロワーがラックの外に落ちたりすることがあります。

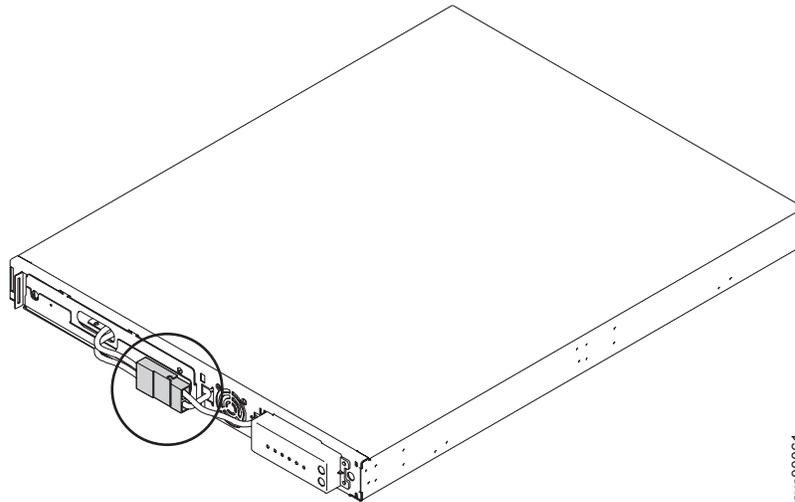
(R001)

注: 警告の注記の翻訳については、「IBM Systems Safety Notices」を参照してください。

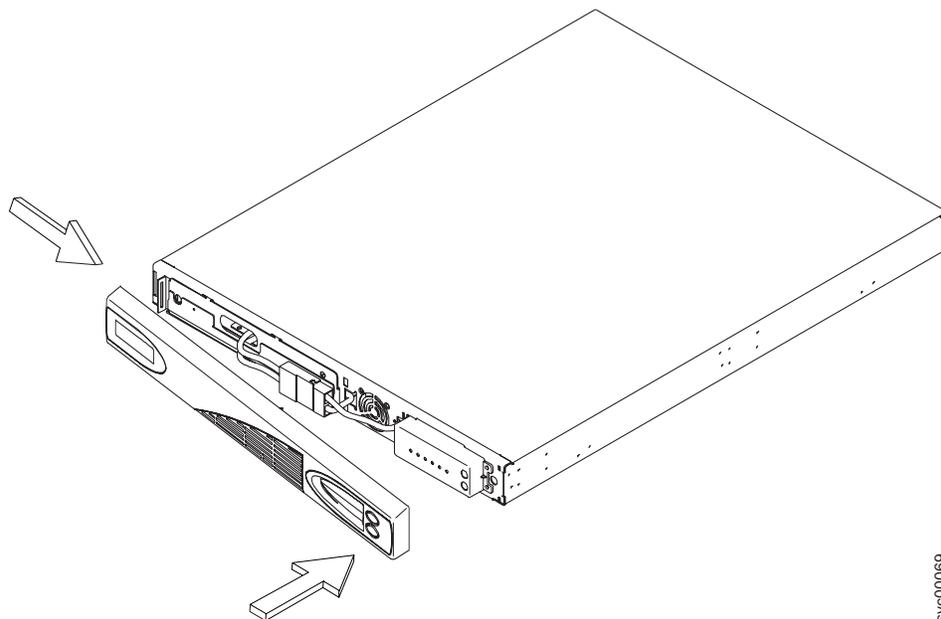
2. バッテリー・カバー経由でバッテリー・コネクタを通します。所定の位置にバッテリーを位置合わせし、左にスライドさせて固定します。

- |
- |
- |
3. 内部バッテリー・コネクタを接続します。キー付きのコネクタの各終端には 2 本のワイヤーがあり、1 つは赤色 (+)、もう 1 つは黒色 (-) です。黒色ワイヤーと赤色ワイヤーを結合します。

注: バッテリーを接続すると、わずかに弧状になることがあります。これは正常な状態で装置を損傷することはない、また安全上の心配もありません。



4. フロント・パネルを、パネル左側に引っかかるまで右方に押し込みます。フロント・パネルを、パネルがカチッと音が鳴って2145 UPS-1U の右と、真中のセクションに収まるまで前方に押し込みます。



- |
- |
5. 2145 UPS-1U の電源がオンであることを確認します。SAN ボリューム・コントローラーの電源をオンにします。

注: 電源障害時に必要となるアクションをサポートだけの十分な充電が、新規バッテリーに対して行われていない場合、SAN ボリューム・コントローラ

ー・ノードは、十分な充電が行われるまでは、そのフロント・パネル上に「充電中 (Charging)」が表示された状態で休止します。単一の電源障害時に必要となるアクションをサポートだけの十分な充電が新規バッテリーに対して行われている場合でも、2つの電源障害時のサポートには充電が不十分な場合、そのノードは始動してクラスターを結合しますが、そのフロント・パネル上には「リカバリー中 (Recovering)」が表示されます。

2145 UPS の部品の取り外しと交換

2145 UPS の現場交換可能ユニットの取り外しと交換手順は次のトピックに説明されています。

2145 UPS の取り外し

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Systems Safety Notices*」を参照してください。

注意:

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとしてはなりません。別のサービス担当者に手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

2145 UPS を取り外すには、次の手順で行います。

重要: ステップ 1 を実行する前に、この SAN ボリューム・コントローラーから電源を供給されている 2145 UPS をすべてシャットダウンしてパワーオフにする必要があります。

1. 2145 UPS の前面のオフ・ボタン **1** を、約 5 秒間または長いビープ音が停止するまで押し続けます。図 204 を参照してください。

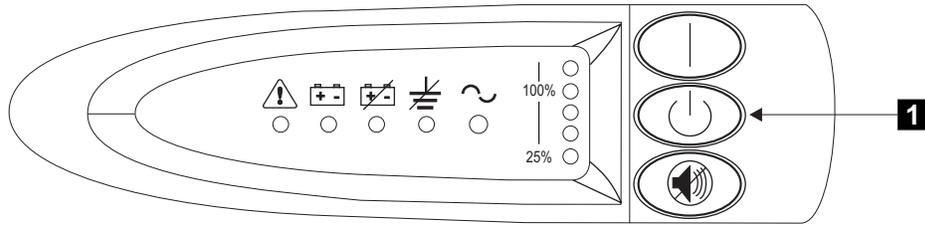


図 204. 2145 無停電電源装置のフロント・パネル・アセンブリー

2. 2145 UPS (図 205) の背面の SAN ボリューム・コントローラーの電源ケーブル **3** を切り離します。
3. シグナル・ケーブル **1** を切り離します。
4. 主電源ケーブル **2** (図 205) を切り離します。

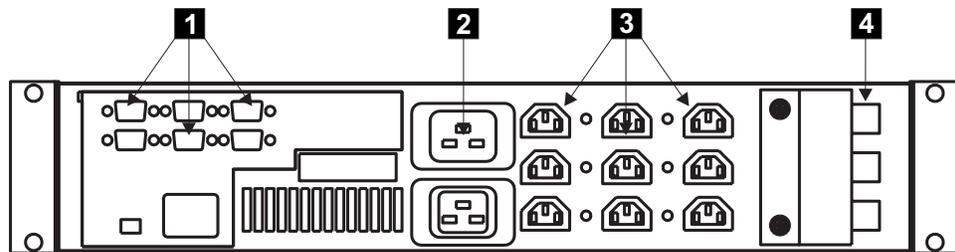


図 205. 2145 無停電電源装置 (背面図)

5. 2145 UPS のバッテリーを取り外します。2145 UPS のバッテリーの取り外し手順を参照してください。
6. 2145 UPS の電子部品アセンブリーを取り外します。2145 UPS の電子部品の取り外し手順を参照してください。
7. 2145 UPS の前面から取り付けねじ (539 ページの図 206 の **1**) を外します。

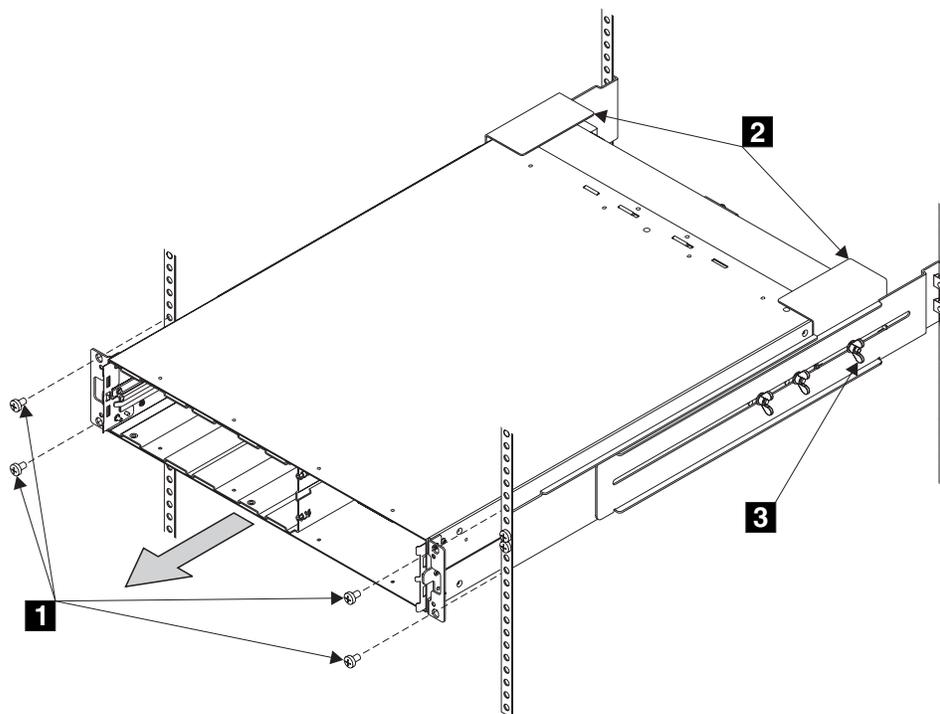


図 206. 2145 無停電電源装置の取り外し

8. ラックの後部で、2145 UPS を約 5 cm (2 インチ) 前へ押し、ラックから引き出せるようにします。
9. ラックの前面に進みます。
10. 別のサービス担当者の助けを借りて、2145 UPS を前方に引き、ラックから取り外します。
11. 2145 UPS を交換します。2145 UPS の交換手順を参照してください。

関連タスク

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

2145 UPS の交換

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Systems Safety Notices*」を参照してください。

注意:

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとしてはなりません。別のサービス担当者に手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

2145 UPS を交換するには、次の手順で行います。

1. 配送用の箱から装置を取り出す前に、バッテリー・アセンブリーを取り外して、2145 UPS の重量を減らします。バッテリー・アセンブリーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. 配送用の箱の上部を開き、別のサービス担当者の助けを借りて、2145 UPS の両側にあるフラップをつかみます。図 207 を参照してください。



図 207. 2 人で 2145 UPS を箱から取り出す

- b. 2145 UPS を箱の端までスライドし、図に示すように、その前端を箱の端に乗せません。図 208 を参照してください。



図 208. 2145 UPS を箱の端までスライドする

- c. ブラケットの左端にある 2 個のボルト **1** と追加ナット **2** を取り外します。図 209 を参照してください。

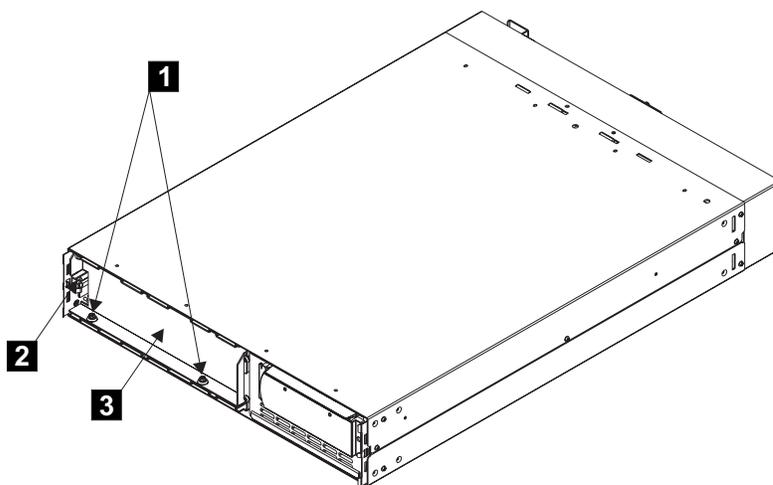


図 209. バッテリー保持ブラケットの取り外し

- d. バッテリー保持ブラケット **3** を取り外します。
e. バッテリー前部のつまみをつかんでバッテリーを前に引き出し、2 人のサービス担当者が作業できるようにします。
f. 別のサービス担当者の助けを借りて、バッテリー・アセンブリーを 2145 UPS から持ち上げて離し、横に置きます。

注: 2145 UPS のカバーは、取り付けられていませんが、2145 UPS の箱の中にあります。他の取り付けステップが完成した後で、フロント・カバーを取り付けます。

2. 別のサービス担当者の助けを借りて、2145 UPS を平らな安定した面に置きます。
3. 電子部品アセンブリーを 2145 UPS から取り外します。
 - a. 2 個のねじ **1** を取り外します (図 210 を参照)。

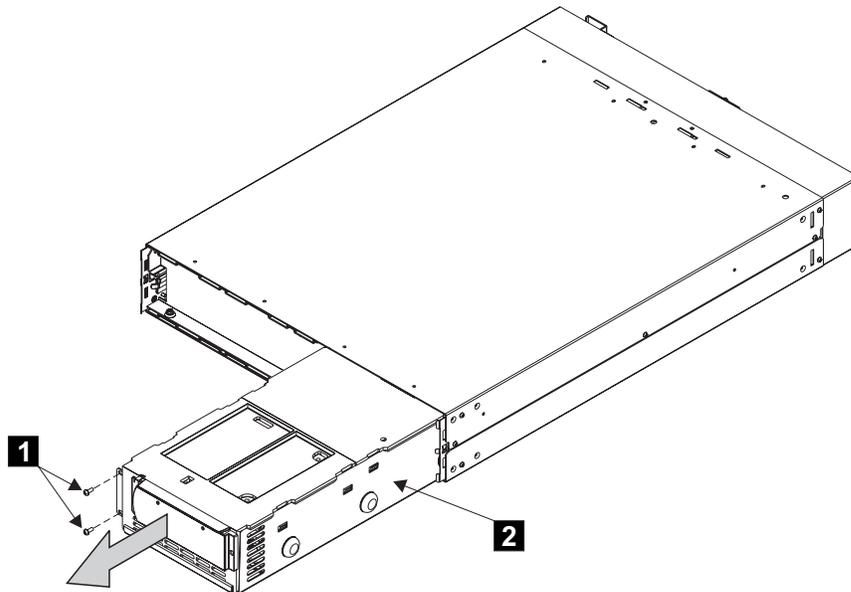


図 210. 2145 UPS 電子部品アセンブリーの取り外し

- b. 電子部品アセンブリー **2** を 2145 UPS から引き出し、横に置きます。
4. ラックの正面に立ち、別のサービス担当者の手を借りて、2145 UPS の後部をサポート・レールに載せてから 2145 UPS をラック内にスライドさせます。
5. 正面の平頭ねじ **1** を取り付けます (543 ページの図 211 を参照)。

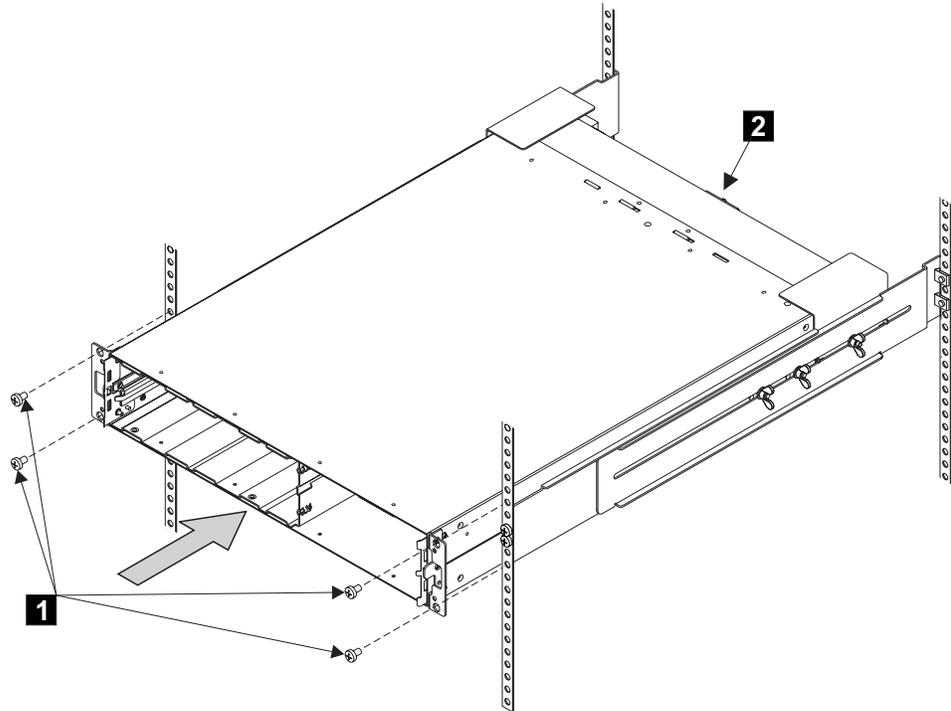


図 211. 2145 UPS のラックへの再取り付け

6. 別のサービス担当者の助けを借りて、以下の手順を実行します。
 - a. バッテリーを取り付けます。
 - b. 電子部品アセンブリーを取り付けます。

注: 接地ねじ機能が、2145 UPS の後部に用意されており、地域の配線コードで要求される場合は、接地結合線を接続できます。2145 UPS シャーシの安全性は入力線電源コードによって維持されているため、通常この補足的な接地ねじ機構を使用する必要はありません。

7. シグナル・ケーブルを再接続します。

重要: シグナル・ケーブルを再取り付けするときは、シリアル・コネクタの上列のみを使用してください。シリアル・コネクタの下列にシグナル・ケーブルを取りつけると、2145 UPS の誤動作の原因になります。

8. フロント・パネルを取り付けます。

9. 2145 UPS の後部で、2145 UPS の主電源ケーブルを電源ソケット **1** (544 ページの図 212) に差し込みます。

注: 2145 UPS は、データをローカル・ハード・ディスクに保管できるまで、SAN ボリューム・コントローラー・ノードの電源を維持することを目的としています。SAN ボリューム・コントローラー・ノードのみを 2145 UPS に差し込みます。それ以外のものを差し込むと、SAN ボリューム・コントローラー・クラスターが誤動作を起こします。

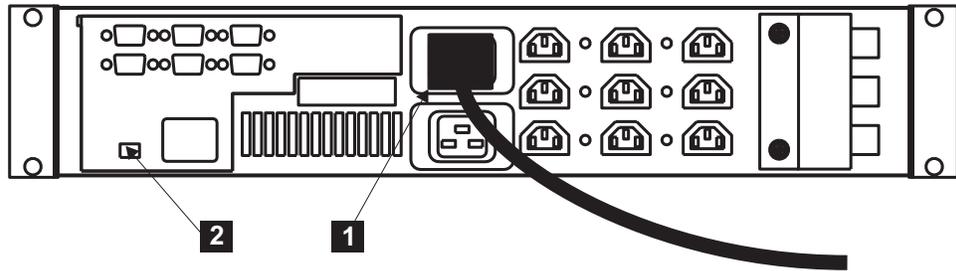


図 212. 2145 UPS 電源ケーブルの取り付け

重要: 可能なら、2 台の UPS を 1 つの給電部に接続しないようにしてください。

注: 2145 UPS には、以下の仕様に合った専用の分岐回路が必要です。

- 2145 UPS に電源を供給する、各分岐回路に 1 つの 15 A 回路ブレーカー
- 単相
- 50 または 60 Hz
- 200 から 240 ボルト

10. すべてのフロント・パネル・インディケータ (図 213 を参照) は、2145 UPS が自己診断テストを実行する間、しばらく明滅します。テストが完了すると、モード・インディケータが明滅して、2145 UPS が待機モードに入ったことを示します。

オン・ボタンを、2145 UPS のピープ音が聞こえるまで押し続けます (約 1 秒)。モード・インディケータが明滅を停止し、負荷レベル・インディケータが、2145 UPS から供給されている負荷のパーセントを表示します。2145 UPS はこれで通常モードになり、そのバッテリーを充電します。

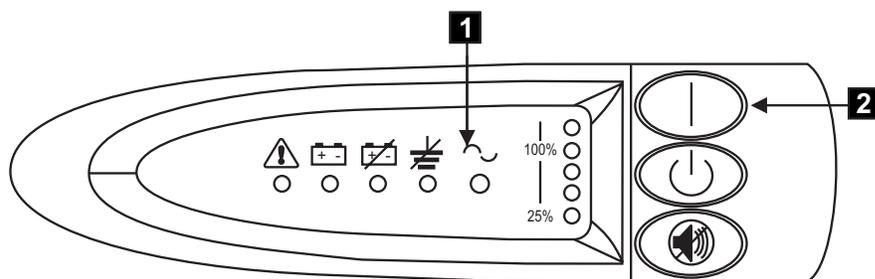


図 213. 2145 UPS の電源スイッチおよびインディケータ

- 1** モード・インディケータ
- 2** オン・ボタン

11. フロント・カバーを取り付けます。

関連タスク

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

549 ページの『2145 UPS バッテリーの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

2145 UPS からの電源ケーブルの取り外し

電源機構に問題があり、電源ケーブルに障害があるように思われる場合は、それを 2145 無停電電源装置 (2145 UPS) で交換することができます。

電源ケーブルを取り外すには、次のステップを実行します。

1. 各 SAN ボリューム・コントローラーの電源を除去します。電源ケーブルの SAN ボリューム・コントローラーから取り外しについての文書を参照してください。
2. オフ・スイッチ **2** を押し続けます。長いビープ音が約 5 秒間鳴ります。ビープ音が停止したら、スイッチを放します。モード・インディケーター **1** が明滅し、2145 UPS が待機モードに入ります。

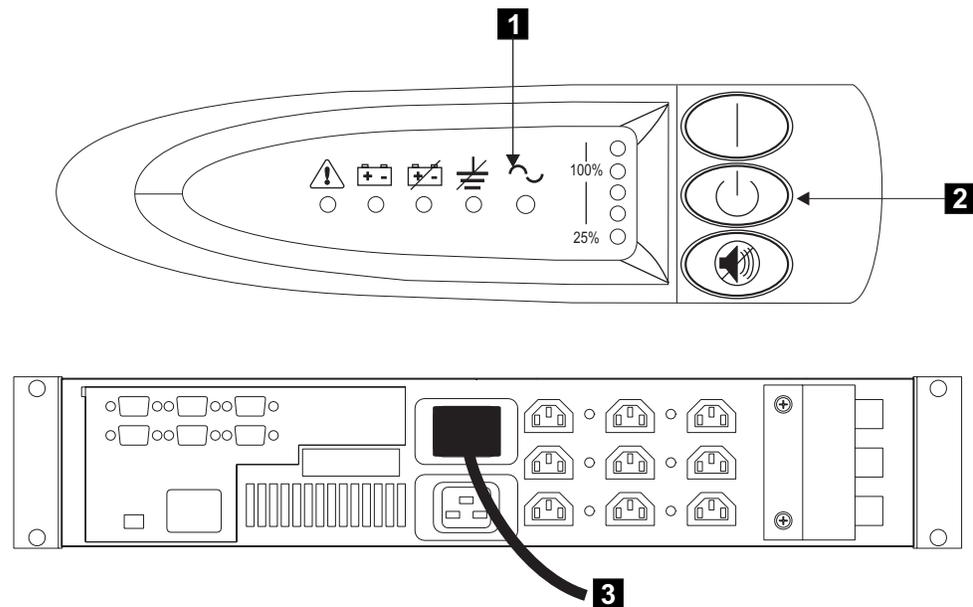


図 214. 2145 UPS の前面および背面図

- 1** モード・インディケーター
- 2** オフ・スイッチ
- 3** 電源ケーブル

3. 主給電部から電源ケーブル **3** を外します。
4. 電源ケーブルを際取り付けして (または交換して) 2145 UPS へ電源を戻します。2145 UPS は自己診断テストを実行行って待機モードに入ります。
5. 約 1 秒後に 2145 UPS がビープ音を鳴らすまで、オン・スイッチを押し続けます。モード・インディケーターが明滅を停止し、負荷レベル・インディケーターが、2145 UPS が供給する負荷のパーセントを表示します。

関連タスク

413 ページの『SAN ボリューム・コントローラー 電源ケーブル・アセンブリーの取り外しと交換』

SAN ボリューム・コントローラーの電源をオフにしてから、電源ケーブル・アセンブリーを取り外します。

2145 UPS 電子部品の取り外し

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の電子部品アセンブリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

重要: ステップ 1 を実行する前に、この SAN ボリューム・コントローラー から電源を供給されている 2145 UPS をすべてシャットダウンしてパワーオフにする必要があります。

以下のステップを実行して、2145 UPS の電子部品アセンブリーを取り外します。

1. 2145 UPS の前面で、オフ・ボタンを約 5 秒間、または長いピープ音が停止するまで押し続けます。2145 UPS の取り外しについては、関連文書を参照してください。
2. 2145 UPS の後部でシグナル・ケーブルを切り離します。図 215 の **1** を参照してください。

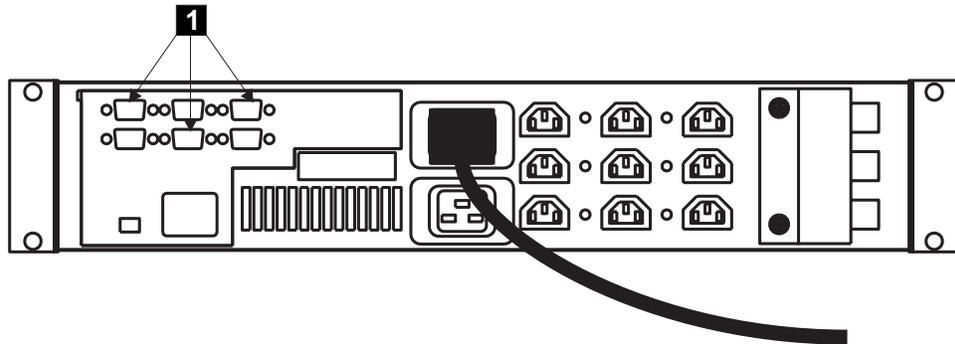


図 215. 2145 UPS シグナル・ケーブルの切り離し

3. フロント・パネルの側面を内側に押し、両端を手前に引きながらフロント・パネルを取り外します。547 ページの図 216 を参照してください。

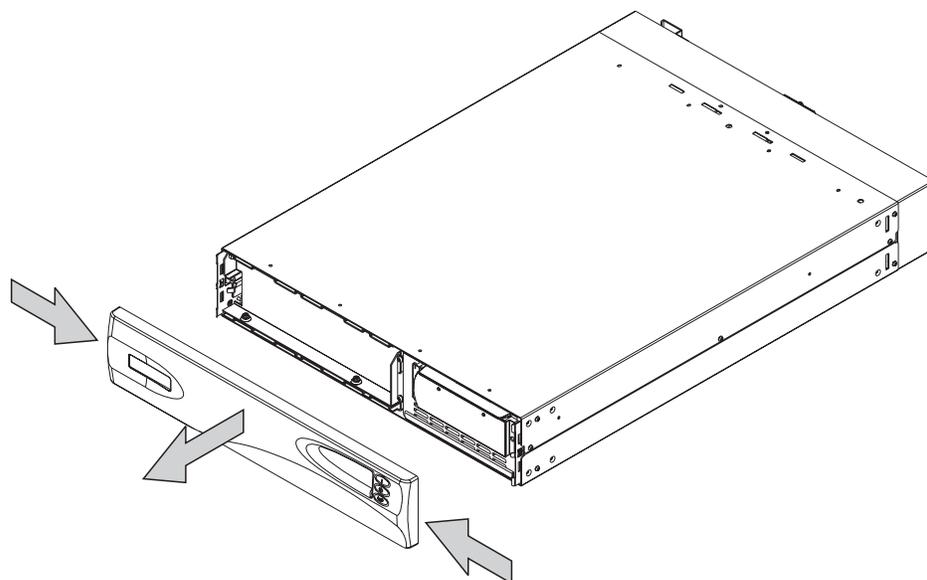


図 216. 2145 UPS のフロント・パネルの取り外し

4. 2 つのねじを外します。図 217 の **1** を参照してください。

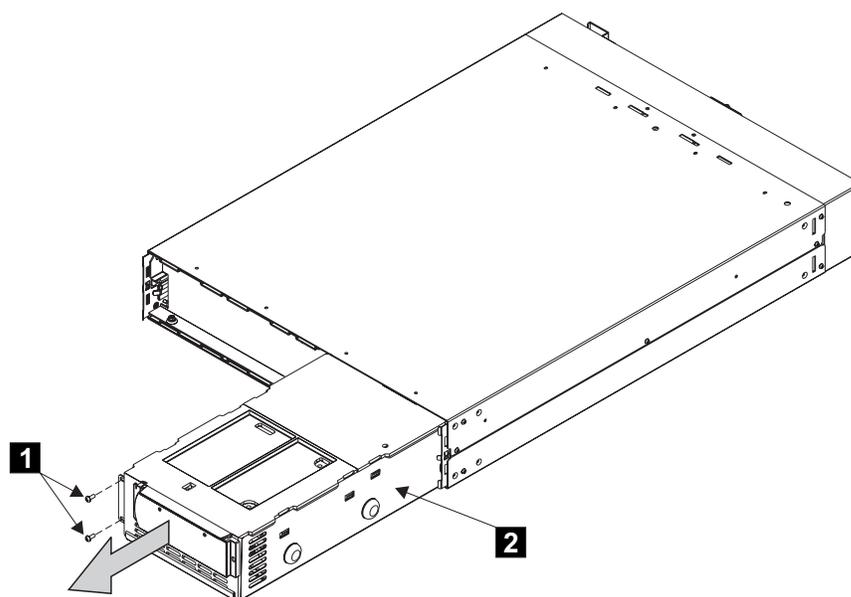


図 217. 2145 UPS からの電子装置の取り外し

5. 電子部品アセンブリー **2** を 2145 UPS から引き出します。

関連タスク

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

関連資料

81 ページの『2145 UPS のコントロールとインディケータ』
2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・アセンブリーにあります。

2145 UPS 電子部品の交換

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを交換します。

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の電子部品アセンブリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

重要: シグナル・ケーブルを再取り付けするときは、シリアル・コネクタの上列のみを使用してください。シリアル・コネクタの下列にシグナル・ケーブルを取りつけると、2145 UPS の誤動作の原因になります。

重要: ステップ 1 を実行する前に、この SAN ボリューム・コントローラー から電源を供給されている 2145 UPS をすべてシャットダウンしてパワーオフにする必要があります。

以下のステップを実行して、2145 UPS の電子部品アセンブリーを交換します。

1. 2145 UPS の前面の 2 つのねじを交換します。図 218 の **1** を参照してください。

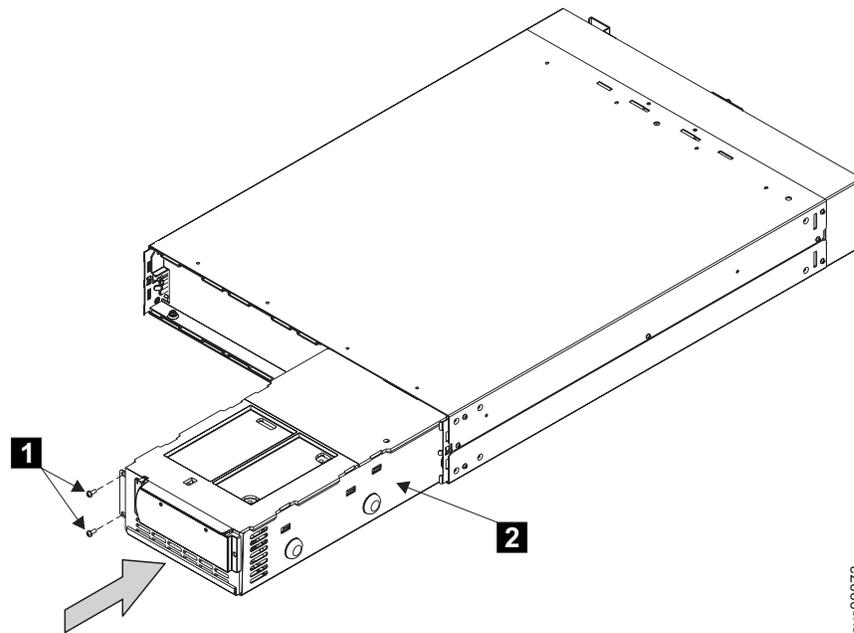


図 218. 2145 UPS の電子装置の交換

2. 電子部品アセンブリー **2** を 2145 UPS に挿入します。
3. サイドを内側に押して、その両端を 2145 UPS に向かって押しながら、フロント・パネルを交換します。549 ページの図 219 を参照してください。

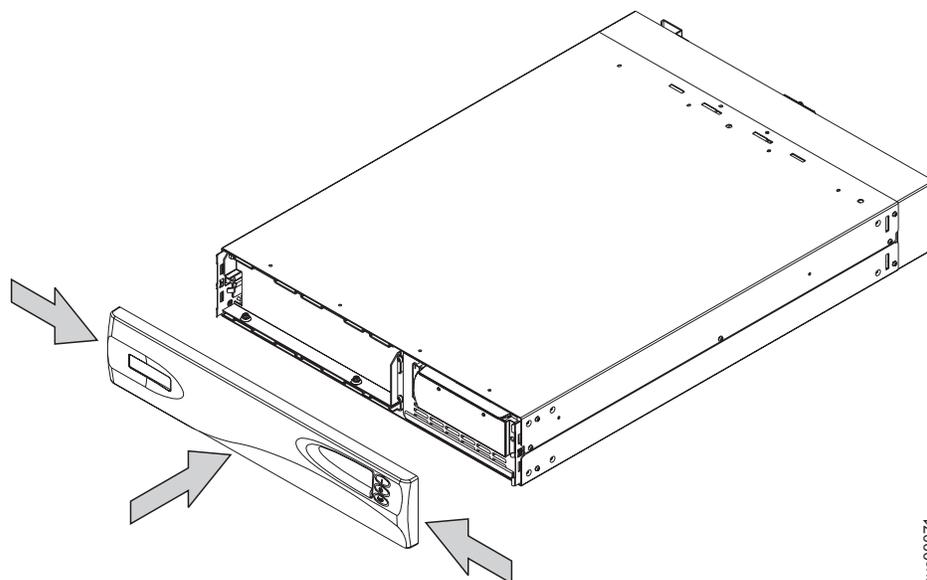


図 219. 2145 UPS のフロント・パネルの交換

- 2145 UPS の後部でシグナル・ケーブルを接続します。図 220 の **1** を参照してください。

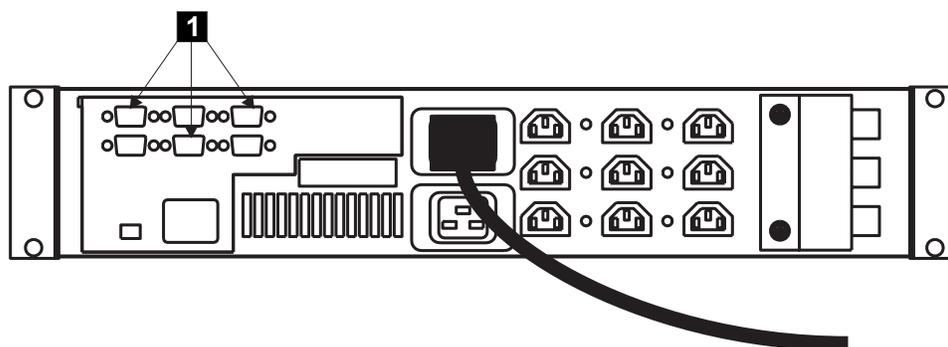


図 220. 2145 UPS シグナル・ケーブルの接続

- 2145 UPS の前面で、ピープ音が聞こえるまで (約 1 秒) オン・ボタンを押し続けます。モード・インディケータが明滅を停止し、負荷レベル・インディケータが、2145 UPS に適用される負荷のパーセントを表示します。2145 UPS の制御およびインディケータについての情報は、このトピックの最後に記載される関連文書を参照してください。

関連資料

81 ページの『2145 UPS のコントロールとインディケータ』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・アセンブリーにあります。

2145 UPS バッテリーの取り外し

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを取り外す時は、すべての安全上の注意を守ってください。

注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Systems Safety Notices*」を参照してください。

重要: ステップ 1 を実行する前に、この SAN ボリューム・コントローラー から電源を供給されている 2145 UPS をすべてシャットダウンしてパワーオフにする必要があります。

以下のステップを実行して、2145 UPS のバッテリー・アセンブリーを取り外します。

1. 2145 UPS の前面で、オフ・ボタンを約 5 秒間、または長いピープ音が停止するまで押し続けます。2145 UPS 制御とインディケータについては、関連文書を参照してください。
2. フロント・パネルの両側面を内側に押し、次に両端を手前に引いて、フロント・パネルを取り外します (図 221 を参照)。

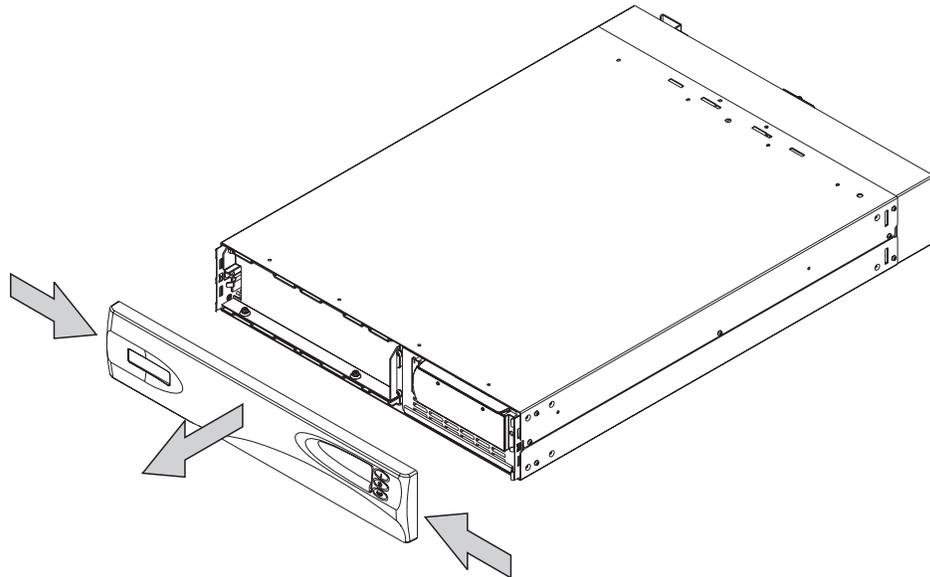


図 221. 2145 UPS のフロント・パネルの取り外し

3. 以下のステップを実行して、バッテリー保持ブラケットを取り外します。
 - a. 2 つのボルト **1** (551 ページの図 222) を取り外します。
 - b. 六角ナット **2** を取り外します。
 - c. バッテリー保持ブラケット **3** を取り外します。

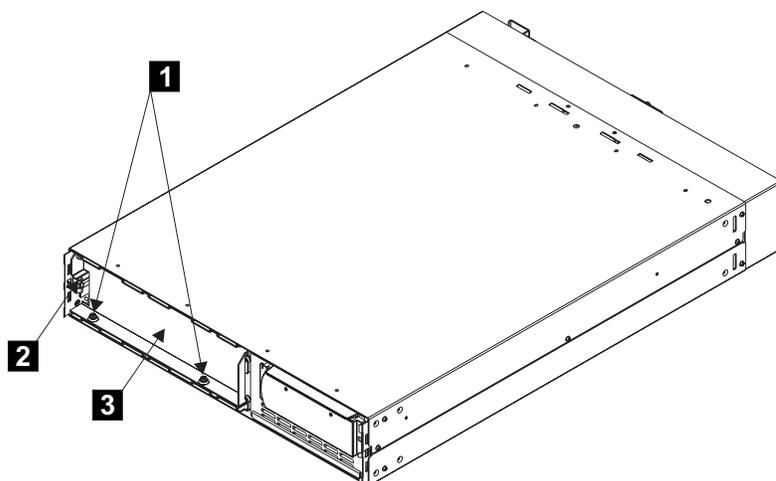


図 222. バッテリーの保持ブラケットの取り外し

4. バッテリーにアクセスするため、バッテリー・プレートを取り外します。図 223 を参照してください。

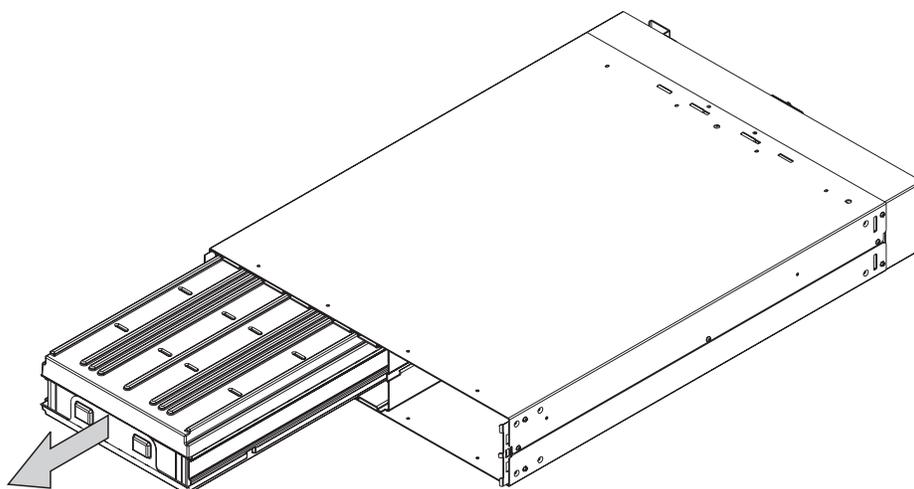


図 223. 2145 UPS バッテリーの取り外し

5. バッテリー・アセンブリのつまみをつかんでバッテリーを引き出し、2 人で取り外しできるようにします。

注意:

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとはなりません。別のサービス担当者を手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

6. 別のサービス・サポート担当者の助けを借りて、バッテリーを安定した平らな面に引き出します。

危険

ラック・システムで、またはラック・システムの周囲で作業する場合は、以下の予防措置を守ってください。

- 重量のある装置 — 取り扱いを誤ると身体傷害または装置損傷が発生する恐れがあります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドを常に下げてください。
- ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを常に取り付けておいてください。
- 機械的負荷が均等でないために起きる危険な状態を回避するため、最も重いデバイスは、常にラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。サーバーやオプションのデバイスの取り付けは、常にラック・キャビネットの下部から始めてください。
- ラック・マウント・デバイスを、棚代わりや、作業スペースとして使用してはなりません。ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



- 各ラック・キャビネットごとに 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。保守の際に電源を切断するよう指示された場合は、ラック・キャビネットの電源コードをすべて外してください。
- ラック・キャビネットに取り付けるデバイスはすべて、同じラック・キャビネットに取り付けられた電源装置に接続してください。あるラック・キャビネットに取り付けたデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットに取り付けた電源装置に接続してはなりません。
- 正しく配線されていないコンセントは、システムまたは、システムに接続されているデバイスの金属部品に危険な電圧をかけるおそれがあります。感電予防のため、お客様の責任で、コンセントの正しい配線と接地を確認してください。

注意:

- すべてのラック・マウント・デバイスについて、ラック内部の環境温度が、製造メーカーが推奨する環境温度を超えるようなユニットをラックに取り付けしないでください。
- 通気が悪いラックに、ユニットを取り付けしないでください。ユニット全体の通気について、使用されるユニットの側面、前面、または背面のいずれでも通気が妨げられていないか、あるいは低減されていないか確認してください。
- 電源回路への装置の接続について十分配慮し、回路の過負荷のために供給配線の不具合や、過電流が起こらないように保護してください。ラックへの電源接続を正しく行うために、ラックの装置上に付いている定格ラベルを参照して、電源回路の総消費電力を判別してください。
- (スライド式ドロワーの場合) ラックのスタビライザー・ブラケットがラックに留められていない状態のときに、ドロワーまたは機構を引き出したり、取り付けたりしないでください。複数のドロワーを同時に引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックは不安定になります。
- (固定ドロワーの場合) このドロワーは固定ドロワーであり、製造メーカーが特に指定しない限り、修理などのために動かしてはなりません。ドロワーを部分的に動かしたり、完全にラックの外に引き出そうとすると、ラックは不安定になったり、ドロワーがラックの外に落ちたりすることがあります。

(R001)

注意:

バッテリーは、リチウム・イオン・バッテリーです。爆発の可能性を回避するために、燃やさないでください。承認済み部品とのみ交換してください。バッテリーは、指示に従ってリサイクルまたは廃棄してください。(C007a)

注: 警告の注記の翻訳については、「*IBM Systems Safety Notices*」を参照してください。

関連タスク

537 ページの『2145 UPS の取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) の取り外しを始める前に、安全上の注意をすべてお読みください。

546 ページの『2145 UPS 電子部品の取り外し』

通常の保守の際に、2145 UPS 電子部品アセンブリーを取り外します。

539 ページの『2145 UPS の交換』

最初に現行の 2145 UPS を取り外してから、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を交換できます。

関連資料

81 ページの『2145 UPS のコントロールとインディケーター』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のすべてのコントロールは、フロント・パネル・アセンブリーにあります。

2145 UPS バッテリーの交換

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のバッテリーを交換する時は、すべての安全上の注意を守ってください。

注記に対応する翻訳文を見つけるには、各注記の終わりにある括弧で囲んだ参照番号、例えば (1) を使用してください。すべての「危険」、「警告」、および「注意」の注記の翻訳については、「*IBM Systems Safety Notices*」を参照してください。

危険

ラック・システムで、またはラック・システムの周囲で作業する場合は、以下の予防措置を守ってください。

- 重量のある装置 — 取り扱いを誤ると身体傷害または装置損傷が発生する恐れがあります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドを常に下げてください。
- ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを常に取り付けておいてください。
- 機械的負荷が均等でないために起きる危険な状態を回避するため、最も重いデバイスは、常にラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。サーバーやオプションのデバイスの取り付けは、常にラック・キャビネットの下部から始めてください。
- ラック・マウント・デバイスを、柵代わりや、作業スペースとして使用してはなりません。ラック・マウント・デバイスの上に物を置かないでください。



12c00064

- 各ラック・キャビネットごとに 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。保守の際に電源を切断するよう指示された場合は、ラック・キャビネットの電源コードをすべて外してください。
- ラック・キャビネットに取り付けるデバイスはすべて、同じラック・キャビネットに取り付けられた電源装置に接続してください。あるラック・キャビネットに取り付けたデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットに取り付けた電源装置に接続してはなりません。
- 正しく配線されていないコンセントは、システムまたは、システムに接続されているデバイスの金属部品に危険な電圧をかけるおそれがあります。感電予防のため、お客様の責任で、コンセントの正しい配線と接地を確認してください。

注意:

- すべてのラック・マウント・デバイスについて、ラック内部の環境温度が、製造メーカーが推奨する環境温度を超えるようなユニットをラックに取り付けしないでください。
- 通気が悪いラックに、ユニットを取り付けしないでください。ユニット全体の通気について、使用されるユニットの側面、前面、または背面のいずれでも通気が妨げられていないか、あるいは低減されていないか確認してください。
- 電源回路への装置の接続について十分配慮し、回路の過負荷のために供給配線の不具合や、過電流が起こらないように保護してください。ラックへの電源接続を正しく行うために、ラックの装置上に付いている定格ラベルを参照して、電源回路の総消費電力を判別してください。
- (スライド式ドロワーの場合) ラックのスタビライザー・ブラケットがラックに留められていない状態のときに、ドロワーまたは機構を引き出したり、取り付けたりしないでください。複数のドロワーを同時に引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックは不安定になります。
- (固定ドロワーの場合) このドロワーは固定ドロワーであり、製造メーカーが特に指定しない限り、修理などのために動かしてはなりません。ドロワーを部分的に動かしたり、完全にラックの外に引き出そうとすると、ラックは不安定になったり、ドロワーがラックの外に落ちたりすることがあります。

(R001)

注意:

無停電電源装置 (UPS) のユニットには、特定の有害物質が含まれています。ご使用の製品に UPS が組み込まれている場合は、以下の予防措置を守ってください。

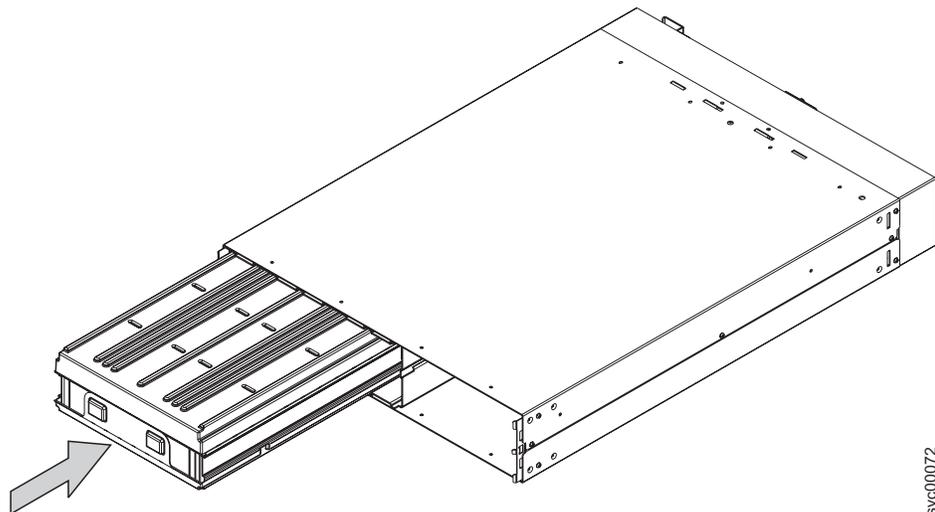
- UPS には致命的な電圧が含まれています。修復および保守を行うのは、認可されたサービス・サポート担当者に限定する必要があります。UPS の内部には、ユーザー保守可能パーツはありません。
- 警告: UPS には、それ自体のエネルギー源 (バッテリー) が含まれています。UPS が AC 電源機構に接続されていないときでも、出力コンセントはライブ電圧を送っています。
- UPS が電源オンのときは、入力コードを取り外したり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。こうすると、UPS、および UPS に接続された装置からの安全接地が除かれます。
- 必要な電子部品およびバッテリーのために、UPS には重量があります。損傷を避けるために、以下の予防措置を守ってください。
 - UPS を 1 人で持ち上げようとしてはなりません。別のサービス担当者に手伝ってもらってください。
 - UPS を配送カートンから取り出す前、または UPS をラックに取り付けるまたはラックから取り外す前に、バッテリーまたは電子組み立て部品 (あるいはその両方) を UPS から取り外してください。

(D007)

以下のステップを実行して、2145 UPS のバッテリー・アセンブリーを交換します。

1. 別のサービス・サポート担当者の助けを借りて、バッテリー・アセンブリーにあるつまみをつかんで、バッテリーを 2145 UPS の中にやさしく押し込みます。
2. バッテリー・プレートを交換します。図 224 を参照してください。

図 224. バッテリー・プレートの交換



3. 以下のステップを実行して、バッテリー保持ブラケットを再取り付けします。

- a. バッテリー保持ブラケット **3** を再取り付けします。556 ページの図 224 を参照してください。
- b. 六角ナット **2** を再取り付けします。
- c. 2 つのボルト **1** を再取り付けします。

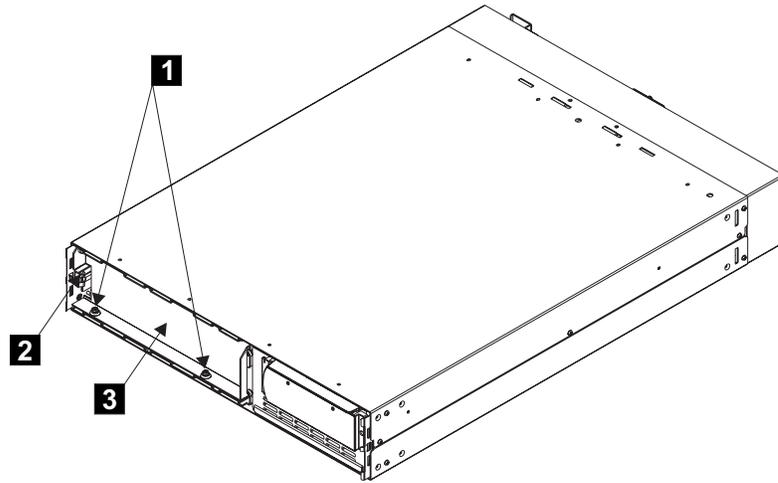


図 225. 2145 UPS バッテリー保持ブラケットの再取り付け

4. サイドを内側に押し、その両端を 2145 UPS に向かって押しながら、フロント・パネルを再取り付けします (図 226 を参照)。

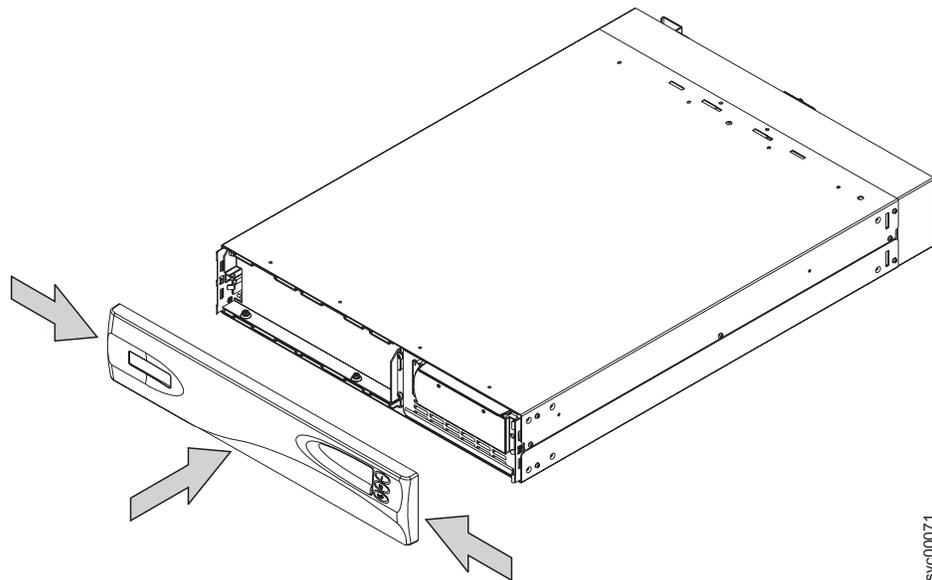


図 226. 2145 UPS のフロント・パネルの再取り付け

5. 2145 UPS の前面で、ピープ音が聞こえるまで (約 1 秒) オン・ボタンを押し続けます。モード・インディケータが明滅を停止し、負荷レベル・インディケータが、2145 UPS に適用される負荷のパーセントを表示します。2145 UPS 制御とインディケータについては、関連文書を参照してください。

2145 UPS のサポート・レールの取り外し

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のサポート・レールを取り外す必要が生じる場合があります。

2145 UPS のサポート・レールを取り外すには、以下のステップを実行します。

1. 左のサポート・レールに進みます。
2. 2 つの調整ウイング・ナット **2** (図 227) を緩めます。

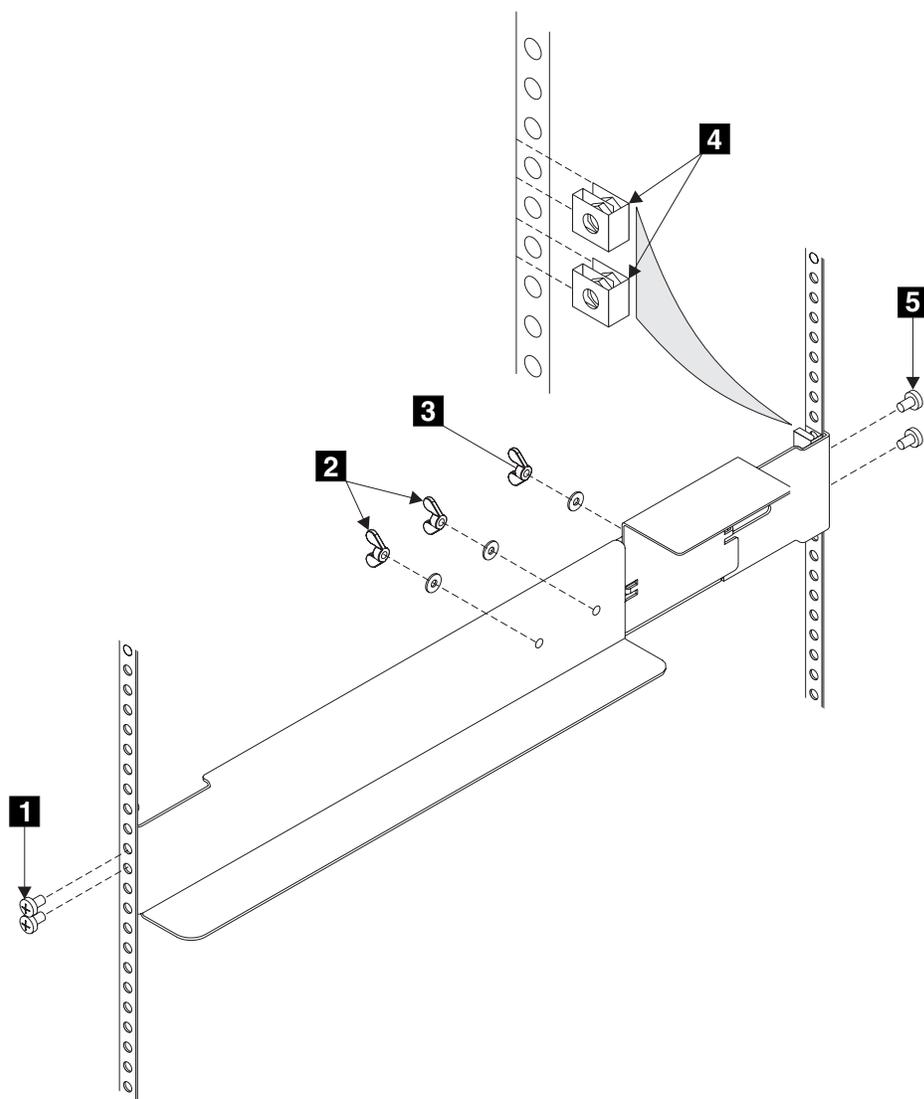


図 227. 2145 UPS のサポート・レールのラックからの取り外し

3. 後部ねじ **5** を取り外します。
4. 前部ねじ **1** を取り外します。
5. ラックからレールを取り外します。
6. 2 つのクリップ・ナット **4** を取り外します。

関連タスク

『2145 UPSのサポート・レールの取り付け』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を取り付ける前に、サポート・レールをラックに取り付ける必要があります。

2145 UPSのサポート・レールの取り付け

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) を取り付ける前に、サポート・レールをラックに取り付ける必要があります。

サポート・レールを取り付ける前に、2145 UPSをラックのどこに取り付けるかを決定する必要があります。サポート・レールを取り付ける前に、以下の前提条件を完了してください。

- お客様のハードウェア位置図 (<http://www.ibm.com/storage/support/2145> からダウンロード) を参照して、ラックのどこに 2145 UPS を取り付けるかを決定します。
- サポート・レールと共に出荷される 2 本のハンドルとそれに付随するナットは、廃棄します。
- ラックの背面で、米国電子工業会 (EIA) マークの位置を探して、2145 UPS を取り付ける場所を決定します。2145 UPS は、常に、ラックの空いている一番下の位置に取り付ける必要があります。2145 UPS より下にある唯一の装置は、別の UPS です。サポート・レールのフランジの下部をラックの EIA マークと合わせる必要があります。

注: お客様は使用可能な予備の容量がある 2145 UPS をラックに取り付けてある場合もあります。したがって、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2が 2145 UPS なしで納入される場合もあります。

レールごとに次のステップを実行します。

1. ナット・クリップ **4** をラックに取り付けます (560 ページの図 228 を参照)。これらのナット・クリップは、サポート・レール・フランジの 2 番目と 4 番目の穴に位置が合っている必要があります。

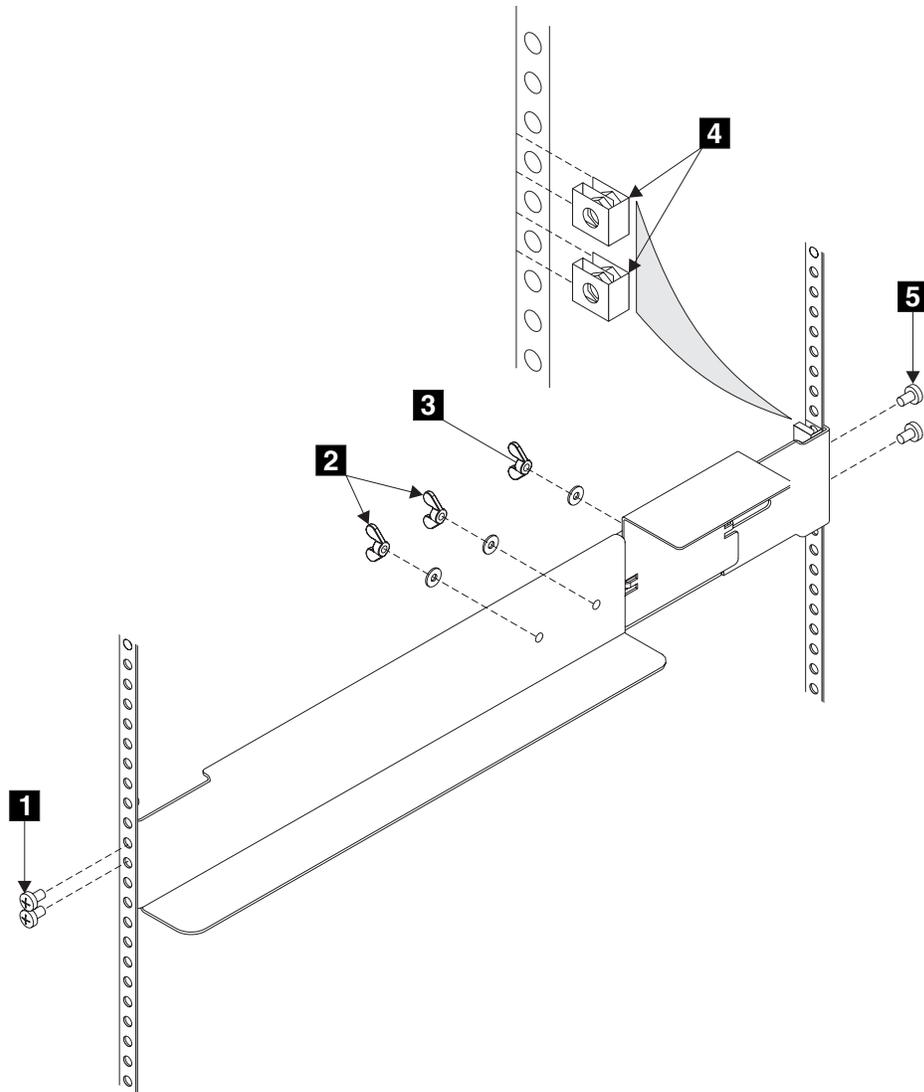


図 228. 2145 UPS 用サポート・レールのラックへの取り付け

2. ウィング・ナット 2 個 **2** を緩めます。
3. ウィング・ナット **3** を緩めて、ブラケットをレールの後方向にスライドさせます。
4. ラックの背後に立ったまま、ラックにはめたサポート・レールをその位置に保持し、2 つの取り付けねじ **5** を取り付け、完全に締めます。
5. ラックの前面に進みます。
6. サポート・レールをラックの前方に向かって伸ばします。

注: ステップ 8 が完成するまで、サポート・レールをその位置に保持します。

7. サポート・レールが水平であることを確認します (水準器が役に立ちます)。
8. 2 個の取り付けねじ **1** を、サポート・レール・フランジの 3 番目と 4 番目の穴に取り付けます。ねじを完全に締め付けます。
9. 2 個のウィング・ナット **2** を完全に締め付けます。

10. ウィング・ナット **3** を緩め、ブラケットをサポート・レールの前方に向かって動くところまでスライドさせ、ブラケットの前面の端が前面のサポート・レールの後端に来るようにします。
11. ウィング・ナット **3** を完全に締めます。

注: レールごとに、上記のステップをすべて実行する必要があります。

関連タスク

558 ページの『2145 UPS のサポート・レールの取り外し』

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) のサポート・レールを取り外す必要が生じる場合があります。

付録 A. 部品カタログ

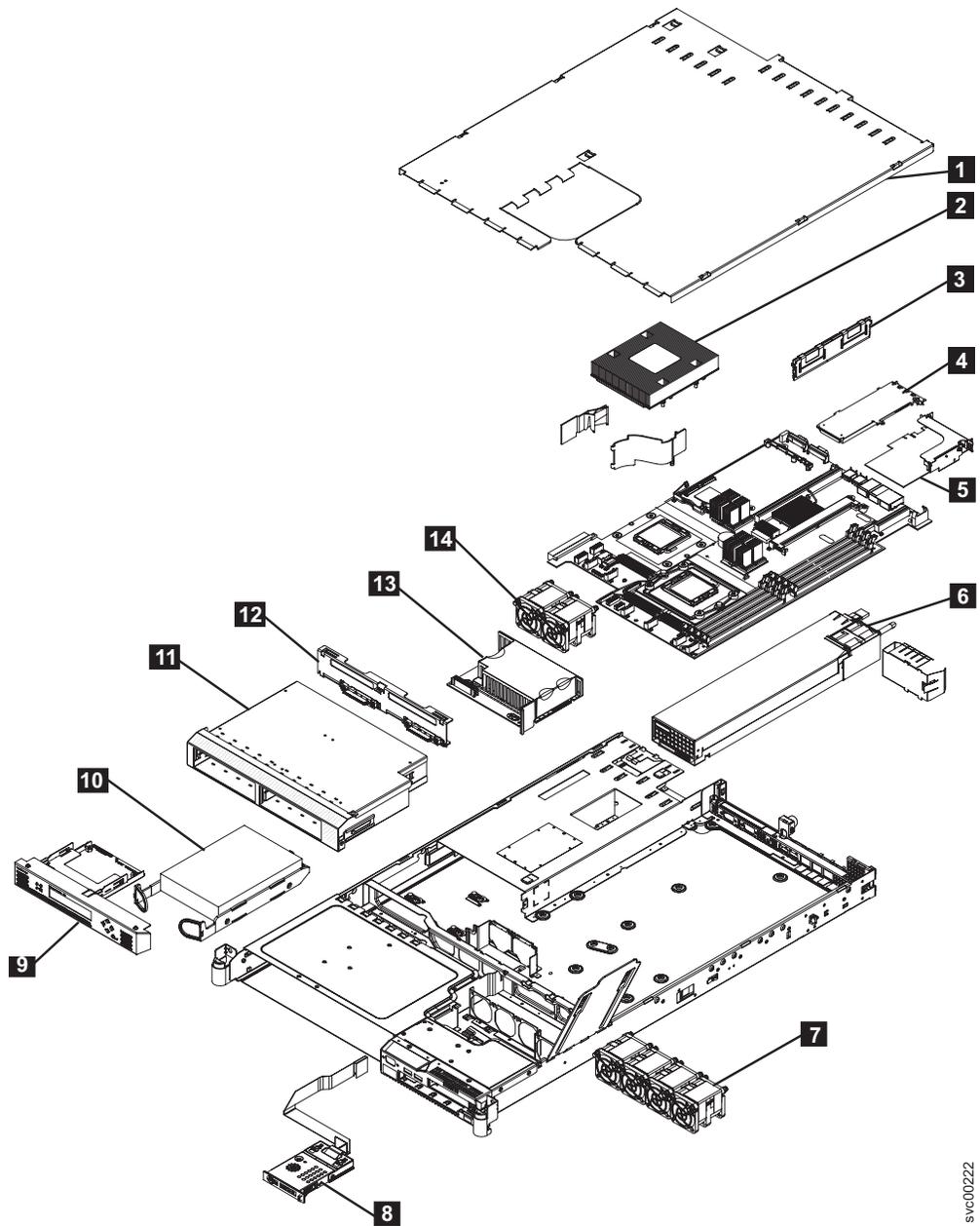
SAN ボリューム・コントローラーおよび無停電電源装置の各種部品および現場交換可能ユニット (FRU) の部品番号が記載されています。

アセンブリー 1: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の現場交換可能ユニット (FRU) の交換が必要になる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 の部品に関する情報を 565 ページの表 23 に示します。

564 ページの図 229 には、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 を構成する各種部品を示してあります。



svc00222

図 229. SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 のハードウェアの分解図

- 565 ページの表 23 には、図 229 に関連した種々の部品番号を記載してあります。
- フレーム・アセンブリ (565 ページの表 23) は、SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 サービス・コントローラとファイバー・チャンネル・カードを除くすべての部品で構成されます。これらの部品は、565 ページの表 24 に示されています。
- SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 のどのサービス手順によっても参照されない、複数の使用可能な FRU があります。これらの FRU は、566 ページの表 25 にリストされています。

表 23. アセンブリー 1: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 フレーム・アセンブリー

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-	31P0906	1	フレーム・アセンブリー
-1	43W0609	1	上部カバー
-2	42C4228	2	マイクロプロセッサ、2.33 GHz Woodcrest (ヒートシンク付き)
-3	39M5784	8	メモリー、1 GB ECC DRR2
-5	32R2883	1	ライザー・カード、PCI Express (スロット 1)
-6	39Y7189	1	電源機構、670 ワット
-7 と -14	26K8083	6	ファン・アセンブリー
-	33F8354	1	バッテリー、3.0V
-8	43W0625	1	オペレーター・パネル表示装置
-10	31P0994	1	単純なスワップ・キャリア内の 160GB SATA ディスク・ドライブ
-11	32R2823	1	単純スワップ SATA ディスク・ドライブ・ケージ
-12	26K8060	1	SATA ケーブル・アセンブリー (バック・プレート付き)
-13	39Y6972	1	電源バックプレーン

表 24. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-	39Y9510	1	キット、工具のいろいろなレール
-4	31P0937	1	ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート)
-9	31P0908	1	サーピス・コントローラー

表 24. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目 (続き)

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-	31P0763	1	電源ケーブル・アセ ンブリー (SVC/UPS)
-	31P0910	1	ケーブル・リテーナ ー・アセンブリー
-	39M5700		外部ファイバー・チ ャネル・ケーブル、 LC-LC、5.0 m (16.4 フィート)
-	39M5701		外部ファイバー・チ ャネル・ケーブル、 LC-LC、25.0 m (82 フィート)

表 25. SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 サービス手順で参照されない FRU

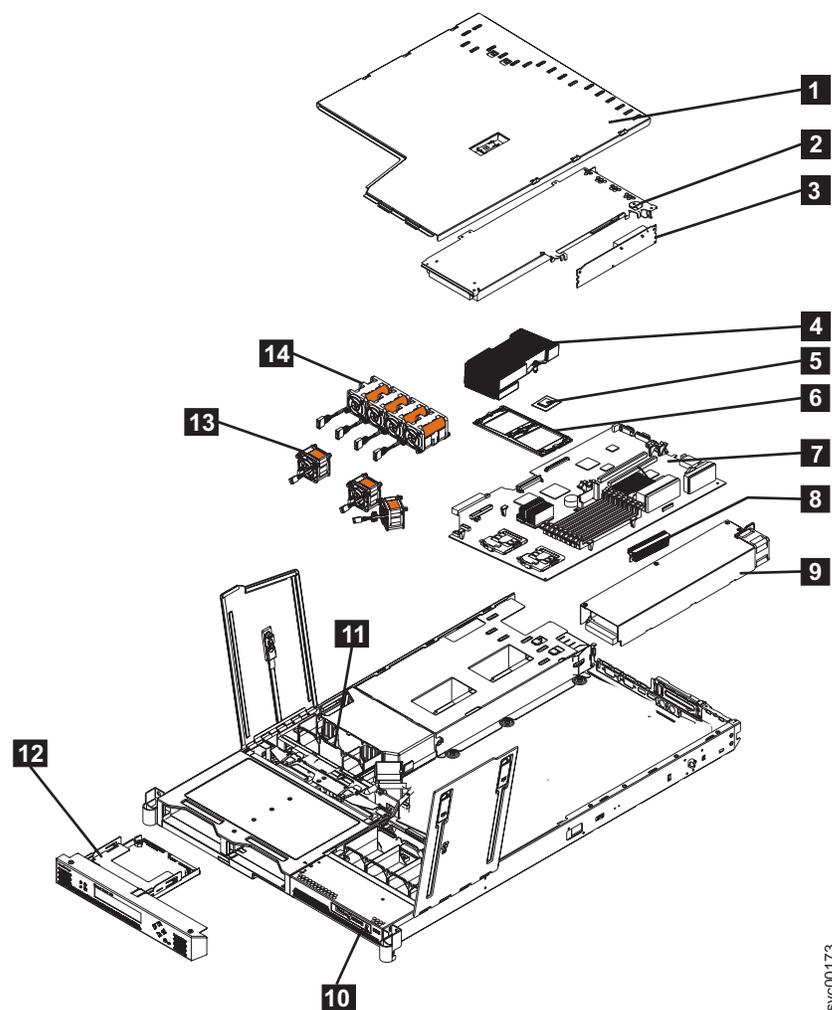
部品番号	数量	説明
26K8058	2	フロント・パネル USB ケー ブル
32R2820	1	3.5 インチ SATA サービス・ ラベル
39Y9420	1	排気部品
39Y9423	2	ヒートシンク・アセンブリー
39Y9507	1	メディア・ベゼル・アセンブ リー
43W0610	1	サービス・ラベル・アセンブ リー
43W5890	1	SATA プレーナー
39Y9522	1	メインパネル溶接物
42C3983	1	光変換コネクタ・カード
43V4869	1	CRU/FRU ラベル
39Y9507	1	メディア・ベゼル・アセンブ リー
32R2823	1	3.5 インチ SATA カートリッ ジ・アセンブリー

アセンブリー 2: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の現場交換可能ユニット (FRU) の交換が必要になる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 の部品に関する情報を 567 ページの表 26 に示します。

次の図は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 を構成する部品を示しています。



svc00173

次の表は、上の図を参照する部品番号の説明です。フレーム・アセンブリー (表 26) は、サービス・コントローラーとファイバー・チャンネル・カードを除くすべての部品で構成されます。これらの部品は、568 ページの表 27 に示されています。

表 26. アセンブリー 2: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 フレーム・アセンブリー

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
1-	31P0705	1	フレーム・アセンブリー
-	31P0769	1	80GB SATA HDD
-1	23K4219	1	上部カバー
-3	90P1956	1	ライザー・カード、PCI Express
-4	39R9058	2	ヒートシンク

表 26. アセンブリー 2: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 フレーム・アセンブリー (続き)

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-5	13M8293	2	マイクロプロセッサ、3.0 GHz
-6	90P5282	1	ヒートシンク保存モジュール
-	90P5284	1	シャーシ
-	23K4209	1	ケージ・アセンブリー
-7	39Y6958	1	システム・ボード
-8	39Y7261	2	電圧調節モジュール (VRM)、1U/75A
-9	39Y7169	1	電源機構、585 ワット
-	40K8157	1	電源バックプレーン
-	33F8354	1	バッテリー、3.0V
-	40K8160	1	ケーブル、ファン電源
-	40K8159	1	ケーブル、シグナル、フロント・パネル
-10	39Y6912	1	オペレーター・パネル表示装置
-11	40K8156	1	ファン・バックプレーンの付いたファン・ホルダー
-13	40K8139	3	ファン、40×40×28
-14	40K8140	4	ファン、40×40×56
-	73P2870	8	メモリー、1 GB ECC DRR2

表 27. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-2	31P0714	1	ファイバー・チャンネル・ホスト・バス・アダプター (4 ポート)
-12	31P0708	1	サービス・コントローラー
-	23K4218	1	キット、工具のいないレール
-	31P0763	1	電源ケーブル・アセンブリー (SVC/UPS)

表 27. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目 (続き)

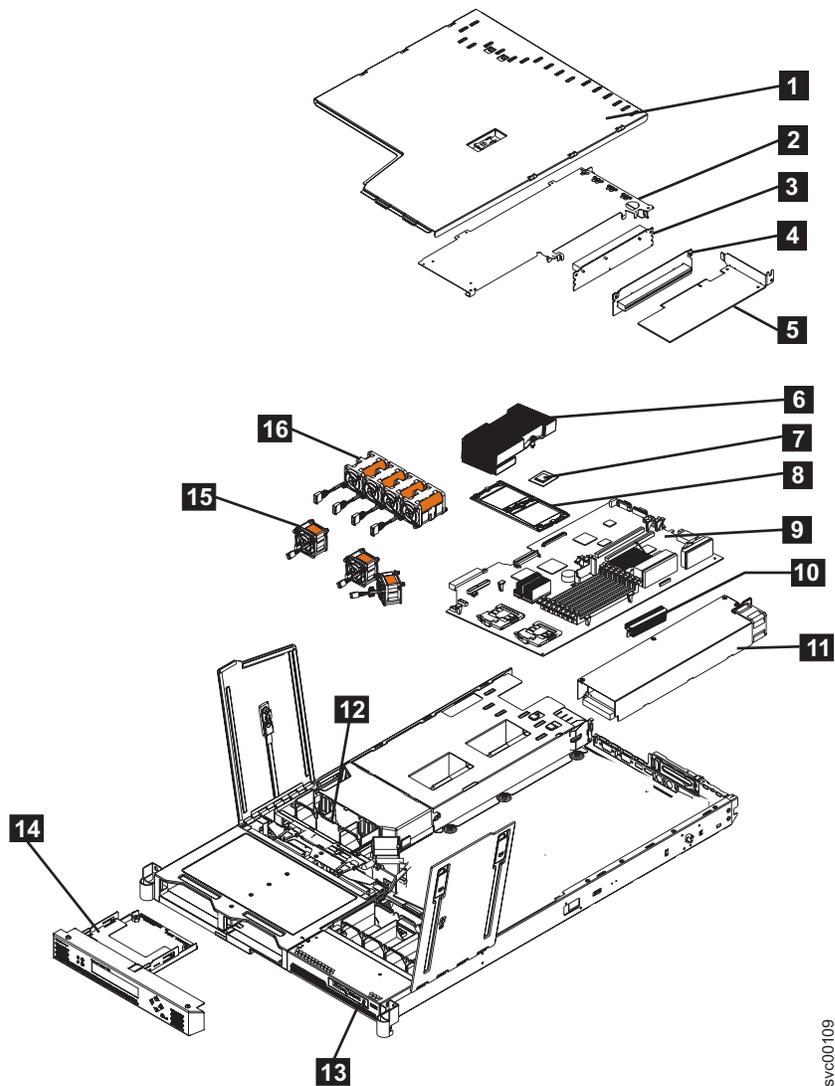
アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-	31P0715	1	ケーブル保持金具
-	39M5699		外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、1.0 m (3.3 フィート)
-	39M5700		外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、5.0 m (16.4 フィート)
-	39M5701		外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、25.0 m (82 フィート)
-	12R9321		外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-SC/LC、1.0 m (3.3 フィート)

アセンブリー 3: SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の現場交換可能ユニット (FRU) の交換が必要になる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 の部品に関する情報を 570 ページの表 28 に示します。

次の図は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 を構成する部品を示しています。



svc00109

次の表は、上の図を参照する部品番号の説明です。フレーム・アセンブリー (表 28) は、サービス・コントローラーとファイバー・チャンネル・カードを除くすべての部品で構成されます。これらの部品は、571 ページの表 29 に示されています。

表 28. アセンブリー 3 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 フレーム・アセンブリー

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
1-	64P7934	1	フレーム・アセンブリー
-1	23K4219	1	上部カバー
-	64P8332	1	80GB SATA HDD
-3	23K4211	1	ライザー・カード、PCI (フルハイト)
-4	90P1957	1	ライザー・カード、PCI (ロー・プロファイル)

表 28. アセンブリー 3 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 フレーム・アセンブリー (続き)

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-6	90P5281	2	ヒートシンク
-7	13M8293	2	マイクロプロセッサ、3.0 GHz
-8	90P5282	1	ヒートシンク保存モジュール
-	90P5284	1	シャーシ
-	23K4209	1	ケージ・アセンブリー
-9	32R1730	1	システム・ボード
-10	24R2698	2	VRM、1U/75A
-11	24R2640	1	電源機構アセンブリー
-	23K4515	1	電源バックプレーン
-	33F8354	1	バッテリー、3.0V
-	33P2352	1	ケーブル、ファン電源
-	25R4052	1	ケーブル、シグナル、フロント・パネル
-12	23K4992	1	ファン・バックプレーンの付いたファン・ホルダー
-13	23K4490	1	オペレーター・パネル表示装置
-15	23K4217	3	ファン、40×40×28
-16	33P2335	4	ファン、40×40×56
-	73P2870	8	メモリー、1 GB ECC DRR2

表 29. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
-2	64P7783	1	ファイバー・チャネル HBA (フルハイト)
-5	64P7813	1	ファイバー・チャネル HBA (ロー・プロファイル)
-14	64P7874	1	サービス・コントローラー

表 29. フレーム・アセンブリーに組み込まれていない品目 (続き)

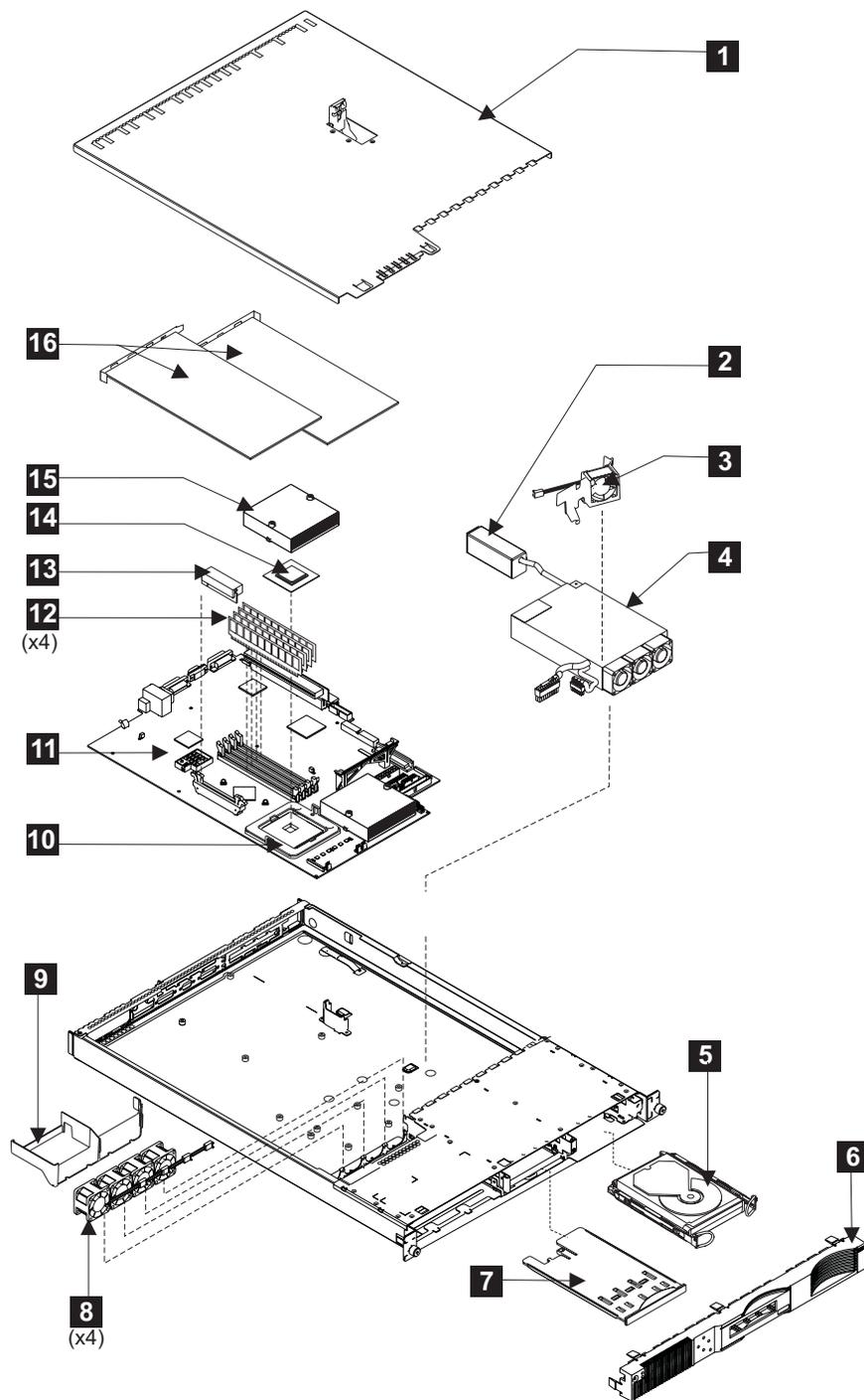
アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-	64P7940	1	入力電源ケーブル・アセンブリー (SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 から 2145 UPS-1U)
-	23K4218	1	キット、工具のいろいろなレール
-	39M5699		外部ファイバー・チャンネル・ケーブル、LC-LC、1.0 m (3.3 フィート)
-	39M5700		外部ファイバー・チャンネル・ケーブル、LC-LC、5.0 m (16.4 フィート)
-	39M5701		外部ファイバー・チャンネル・ケーブル、LC-LC、25.0 m (82 フィート)
-	12R9321		外部ファイバー・チャンネル・ケーブル、LC-SC/LC、1.0 m (3.3 フィート)

アセンブリー 4: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の現場交換可能ユニット (FRU) の交換が必要になる場合があります。

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 の部品に関する情報を 573 ページの表 30 に示します。

次の図は、SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 を構成する部品を示しています。



次の表は、上の図を参照する部品番号の説明です。

表 30. アセンブリー 4: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
2-	64P7793	1	フレーム・アセンブ リー
-1	24P0708	1	上部カバー
-9	24P0742	1	バッフル

表 30. アセンブリー 4: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 (続き)

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-6	64P7858	1	フロント・パネル・アセンブリー
-7	64P7785	1	サービス・コントローラー
-5	24P3704	1	36 GB ディスク・ドライブ・アセンブリー
-	18P6414	1	ケーブル、SCSI 電源
-	27H0776	1	ケーブル、SCSI シグナル
-	32P1928	1	ディスク・ドライブ・アセンブリーのレール・キット (レールとねじを含む)
-8	24P1118	4	マイクロプロセッサ・ファン・アセンブリー
-3	00N6991	1	ディスク・ドライブ・ファンおよびブラケット・アセンブリー
-11	64P7826*	1	システム・ボード・アセンブリー・キット
-12	09N4308	4	メモリー・モジュール
-	33F8354	1	CMOS バッテリー
-16	64P7783	2	ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー
-4	49P2090	1	電源機構アセンブリー
-	24P1121	1	SAN ボリューム・コントローラー・サポート・レール・キット
-	64P7940	1	電源ケーブル・アセンブリー、SAN ボリューム・コントローラーから無停電電源装置へ

1

表 30. アセンブリー 4: SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 (続き)

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-	39M5699	AR	外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、1.0 m (3.3 フィート)
-	19K1268	AR	外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-SC/LC、1.0 m (3.3 フィート)
-	39M5700	AR	外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、5.0 m (16.4 フィート)
-	39M5701	AR	外部ファイバー・チャネル・ケーブル、LC-LC、25.0 m (82 フィート)
-	18P5055	AR	イーサネット・ケーブル、2 m (6.5 フィート)
-	18P5056	AR	イーサネット・ケーブル、13 m (42 フィート)

* システム・ボード・アセンブリー・キットを注文する場合は、まず障害を起こしたノードの重要製品データにあるシステム・ボード部品番号を確認します。以下のステップを実行してシステム・ボード部品番号を見つけます。

1. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 を始動させます。
2. 障害のあるノードの重要製品データを表示します。重要製品データの表示に関するトピックを参照してください。
3. システム・ボード部品番号をメモします。部品番号が 64P7826 であれば、「システム・ボード・アセンブリー・キット (部品番号 64P7826)」を注文します。この部品番号が入手できない場合は、部品番号 64P7994 が代替として使用できる場合があります。部品番号が 64P7994 であれば、「システム・ボード・アセンブリー・キット (部品番号 64P7994)」を注文します。

アセンブリー 5: 冗長 AC 電源スイッチ

冗長 AC 電源機構用の単一の FRU アセンブリーがあります。この FRU はスイッチと 2 つの入力電源ケーブルから構成されています。

以下の図には、冗長 AC 電源スイッチが記載されています。



表 31 には、冗長 AC 電源スイッチ用の部品番号がリストされています。

表 31. アセンブリー 5: 冗長 AC 電源スイッチ

部品番号	個数	説明
31P0896	1	冗長 AC 電源スイッチ アセンブリー

アセンブリー 6 2145 UPS-1U

2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) は 4 つの異なった部品で構成されています。

次の図は、2145 UPS-1U を構成する部品を示しています。

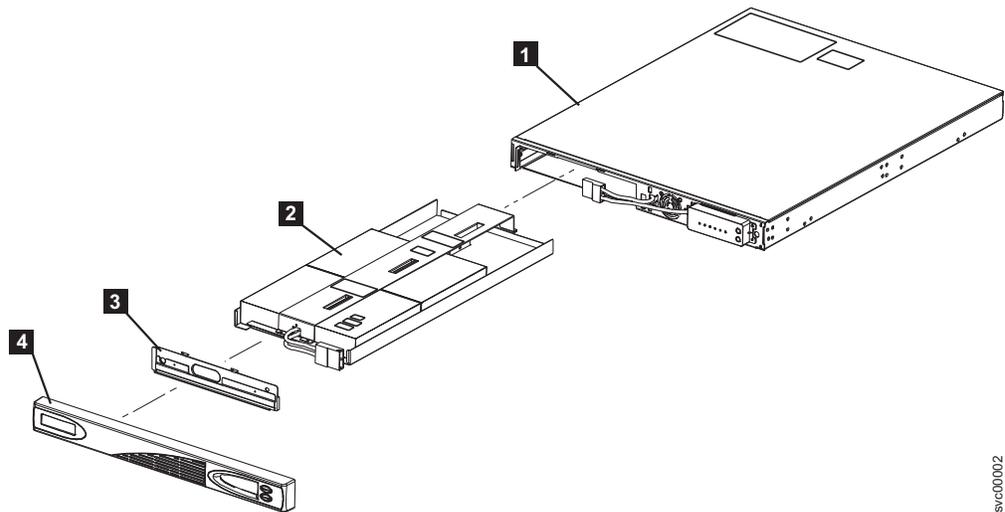


表 32 は、上の図の各種部品番号を関連付けたものです。

表 32. アセンブリー 6 2145 UPS-1U

アセンブリー・インデックス	部品番号	個数	説明
3-	64P8326	1	無停電電源装置アセンブリー

表 32. アセンブリー 6 2145 UPS-1U (続き)

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
-1	27H01211 (この品目を注文することはできません。これは、UPS アセンブリーの一部として提供されます)	1	シャーシ・アセンブリー
-2	31P0710	1	バッテリー・パック・アセンブリー
-3	27H0685 (この品目を注文することはできません。これは、UPS アセンブリーの一部として提供されます)	1	バッテリー・プレート
-4	31P0719	1	フロント・パネル
-	31P0711	1	サポート・レール・キット (レール、ナット・クリップ、およびねじを含む)
-	39M5376	1	入力電源ケーブル、電力配分装置 (無停電電源装置用)
-	39M5116	1	米国向け主電源ケーブル

2145 UPS-1U の国別または地域別の電源ケーブル

以下のリストは、2145 無停電電源装置 1U (2145 UPS-1U) ケーブルの国別または地域別要件に関する情報を示しています。

次の表は、国別または地域別の電源ケーブル要件のリストです。

国または地域	長さ (シールドなし、定格 250 V/6 A)	接続されたプラグ接続タイプ (200-240V AC 入力用として設計されている)	部品
中国	2.8 m (9 フィート)	GB 2099.1	02K0546
デンマーク	2.8 m (9 フィート)	DK2-5a	13F9997
バングラデシュ、ミャンマー、パキスタン、南アフリカ、スリランカ	2.8 m (9 フィート)	SABS 164	14F0015

国または地域	長さ (シールドなし、定格 250 V/6 A)	接続されたプラグ接続タイプ (200-240V AC 入力用として設計されている)	部品
アンティグア、バーレーン、ブルネイ、チャンネル諸島、中国 (香港特別行政区)キプロス、ドバイ、フィジー、ガーナ、インド、イラク、アイルランド、ケニア、クウェート、マラウィ、マレーシア、マルタ、ネパール、ナイジェリア、ポリネシア、カタール、シエラレオネ、シンガポール、タンザニア、ウガンダ、英国、イエメン、ザンビア	2.8 m (9 フィート)	BS 1363/A	14F0033
リヒテンシュタイン、スイス	2.8 m (9 フィート)	1011-S2450 7	14F0051
チリ、エチオピア、イタリア、リビア、ソマリア	2.8 m (9 フィート)	CEI 23-16	14F0069
イスラエル	2.8 m (9 フィート)	SI 32	14F0087
タイ	2.8 m (9 フィート)	NEMA 6-15P	1838574
アルゼンチン	2.8 m (9 フィート)	IRSM 2073	36L8880
米国 (シカゴ)、カナダ、メキシコ、およびその他	1.8 m (6 フィート)	NEMA L6-15P	7842122
バハマ、バルバドス、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コストリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、日本、韓国、リベリア共和国、メキシコ、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、スリナム、台湾、トリニダード島 (西インド諸島)、米国、ベネズエラ	2.8 m (9 フィート)	NEMA L6-15P	7842123
アルゼンチン、オーストラリア、中国 (PRC)、ニュージーランド、パプアニューギニア、パラグアイ、ウルグアイ、西サモア	2.8 m (9 フィート)	AS/NZS C112	13F9940

国または地域	長さ (シールドなし、定格 250 V/6 A)	接続されたプラグ接続タイプ (200-240V AC 入力用として設計されている)	部品
アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、オーストリア、ベルギー、ベナン、ブルガリア、ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、中央アフリカ共和国、チャド、中国 (マカオ S.A.R.)、チェコ共和国、エジプト、フィンランド、フランス、仏領ギアナ、ドイツ、ギリシャ、ギニア、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラン、コートジボアール、ヨルダン、レバノン、ルクセンブルグ、マラガシ、マリ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、モナコ、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニューカレドニア、ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セネガル、スロバキア、スペイン、スーダン、スウェーデン、シリア、トーゴ、チュニジア、トルコ、前 USSR、ベトナム、前ユーゴスラビア、ザイール、ジンバブエ	2.8 m (9 フィート)	CEE 7-VII	13F9979

アセンブリー 7 2145 UPS

2145 無停電電源装置 (2145 UPS) は 4 つの異なった部品で構成されています。

次の図は、2145 UPS を構成する各種の部品を示しています。

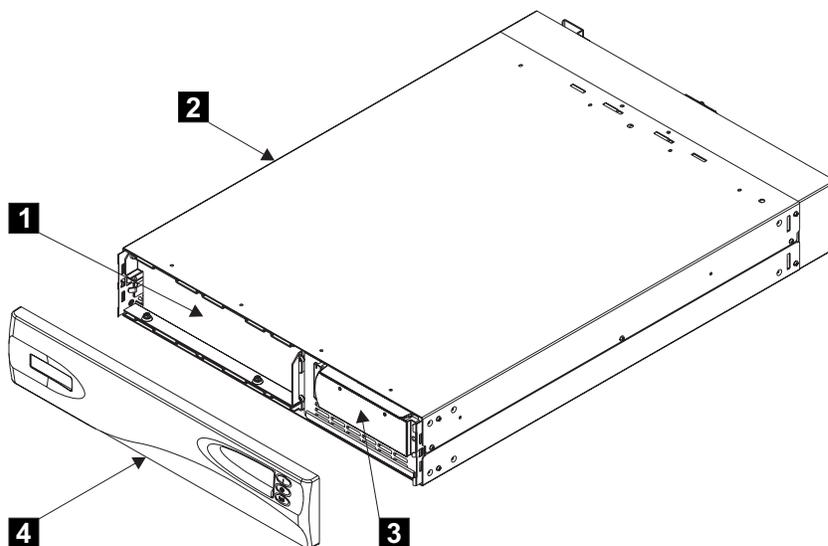


表 33 は、上の図の各種部品番号を関連付けたものです。

表 33. アセンブリー 7 2145 UPS

アセンブリー・イン デックス	部品番号	個数	説明
4-	64P8103	1	無停電電源装置アセンブリー
-4	18P5865	1	フロント・パネル
-3	64P8104	1	電子部品アセンブリー
-1	18P5880	1	バッテリー・アセンブリー
-	21P7220	1	サポート・レール・キット (レール、ナット・クリップ、およびねじを含む)
-	18P5138	1	入力電源ケーブル、電力配分装置 (無停電電源装置用)
-	12J5119	1	米国向け主電源ケーブル

2145 UPS の国別または地域別の電源ケーブル

以下のリストは、2145 無停電電源装置 (2145 UPS) ケーブルの国別または地域別要件に関する情報を示しています。

次の表は、国別または地域別の電源ケーブル要件のリストです。

国または地域	長さ	接続されたプラグ接続タイプ	部品
バハマ、バルバドス、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、日本、韓国、リベリア共和国、メキシコ、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、スリナム、台湾、トリニダード島 (西インド諸島)、米国、カナダ、ベネズエラ	2.5 m (8.125 フィート)	NEMA L6-15P	12J5119
アルゼンチン、オーストラリア、中国 (PRC)、ニュージーランド、パプアニューギニア、パラグアイ、ウルグアイ、西サモア	2.5 m (8.125 フィート)	L6-20P	12J5118
アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、オーストリア、ベルギー、ベナン、ブルガリア、ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、中央アフリカ共和国、チャド、チェコ共和国、エジプト、フィンランド、フランス、仏領ギアナ、ドイツ、ギリシャ、ギアナ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラン、コートジボアール、イスラエル、ヨルダン、レバノン、ルクセンブルグ、マカオ、馬拉ガシ、マリ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、モナコ、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニューカレドニア、ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セネガル、スロバキア、スペイン、スーダン、スウェーデン、シリア、トーゴ、チュニジア、トルコ、前 USSR、ベトナム、前ユーゴスラビア、ザイール、ジンバブエ	2.5 m (8.125 フィート)	CEE7	55H6643

国または地域	長さ	接続されたプラグ接続タイプ	部品
デンマーク、アンティグア、バーレーン、ブルネイ、チャネル諸島、キプロス、ドバイ、フィジー、ガーナ、香港、インド、イラク、アイルランド、ケニア、クウェート、マレーシア、マラウイ、マルタ、ネパール、ナイジェリア、ポリネシア、カタール、シエラレオネ、シンガポール、タンザニア、ウガンダ、英国、イエメン、ザンビア	2.5 m (8.125 フィート)	IEC 309	36L8822
バングラデシュ、ミャンマー、パキスタン、南アフリカ、スリランカ	2.5 m (8.125 フィート)	SABS 164	12J5124
チリ、エチオピア、イタリア、リビア、リヒテンシュタイン、ソマリア、スイス	2.5 m (8.125 フィート)	CEI 23-16	12J5126
タイ	2.5 m (8.125 フィート)	NEMA 6-15P	12J5120
米国 (シカゴ)、カナダ、メキシコ、およびその他	1.8 m (6 フィート)	NEMA L6-15P	14F1549

付録 B. Websphere および CIM ロギング

Websphere Application Server および Common Information Model (CIM) 用のログ・ファイルを取得することができます。説明は、以下のトピックに記載します。

Websphere Application Server ロギング

Websphere Application Server (WAS) は、問題判別に役立つログ・ファイルを作成します。

WAS はトレース・データを収集し、その情報を *WASbasedirectory\logs\server1* ディレクトリーに保管されているログ・ファイルに書き込みます。ここで、*WASbasedirectory* は、WAS 用に選択したディレクトリーです。

Websphere Application Server ロギングの使用可能化

WAS ロギングを使用可能にし、*trace.log* ファイルを作成するには、以下のステップを実行します。

1. コマンド行アプリケーションを開き、ディレクトリーを WAS bin ディレクトリーに変更します。

```
cd WASbasedirectory\bin
```

2. 次のコマンドを発行します。

```
wsadmin -connType NONE -c "$AdminControl setAttribute [$AdminControl  
completeObjectName type=TraceService,process=server1,*]  
traceSpecification ConsoleTrace=all=enabled"
```

正常に使用可能化されたロギング・セッションは、次のような *trace.log* ファイルの項目によって示されます。

```
[5/21/03 14:31:13:874 PDT] 2ff3581b ManagerAdmin I TRAS0018I: The trace  
state has changed. The new trace state is ConsoleTrace=all=enabled
```

Websphere Application Server ロギングの使用不可化

WAS ロギングを使用不可にするには、以下のステップを実行します。

1. コマンド行アプリケーションを開き、ディレクトリーを WAS bin ディレクトリーに変更します。

```
cd WASbasedirectory\bin
```

2. 次のコマンドを発行します。

```
wsadmin -connType NONE -c "$AdminControl setAttribute [$AdminControl  
completeObjectName type=TraceService,process=server1,*]  
traceSpecification  
ConsoleTrace=event=disabled:ConsoleTrace=debug=disabled"
```

正常に使用不可化されたロギング・セッションは、次のような SystemOut.log ファイルの項目によって示されます。

```
[5/21/03 14:38:57:400 PDT] 2ff3581b ManagerAdmin I TRAS0018I: The trace state has changed. The new trace state is *=all=disabled
```

注: グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) のアプリケーションでロギングを使用可能にすると GUI のパフォーマンスに影響を与えます。ロギングを使用不可にするのは、パフォーマンスを考慮しなければならないときに限ってください。

Common Information Model プロバイダー・ロギング

Common Information Model (CIM) は、問題判別に役立つログ・ファイルを作成することができます。

CIM は、データを収集し、ロギング機能が使用可能になったときに、ログ・ファイルを作成することができます。ロギングは、次のレベルで実行されます。

- DEBUG_MIN
- DEBUG_MID
- DEBUG_MAX

最低レベルのロギングに達するには、最高レベルの DEBUG_MAX と一緒に DEBUG_MIN を指定します。

CIM プロバイダー・ロギングの使用可能化

CIM がログ・ファイルを作成できるようにするには、以下のステップを実行します。

1. 次のようにして、CIMOM を停止します。
 - a. マスター・コンソール・システム上の「コントロール パネル」で「管理ツール」 → 「サービス」を選択します。
 - b. 「**IBM CIM Object Manager**」を右クリックし、「**停止**」を選択します。
2. 次のようにして、logger.properties ファイルを編集します。
 - a. C:\Program Files\IBM\svconconsole\cimom ディレクトリーに進んで、テキスト・エディター内で logger.properties ファイルをオープンします。
 - b. 以下の項目を必要なレベルに編集します。
 - message.logger.level=
 - service.logger.level=
 - security.logger.level=
 - trace.logger.level=
3. 次のようにして、CIMOM を開始します。
 - a. 「コントロール パネル」で「管理ツール」 → 「サービス」に進みます。
 - b. 「**IBM CIM Object Manager**」を右クリックし、「**開始**」を選択します。

最新のデバッグおよびトレース出力が providerTrace.log ファイルにあります。このファイルは、C:\Program Files\IBM\svconconsole\cimom ディレクトリー内にありま

す。履歴・トレース・データが providerTrace[x].log に書き込まれます。

CIM プロバイダー・ロギングの使用不可化

CIM ロギングを使用不可にするには、以下のステップを実行します。

1. 次のようにして、CIMOM を停止します。
 - a. 「コントロール パネル」で「管理ツール」 → 「サービス」に進みます。
 - b. 「**IBM CIM Object Manager**」を右クリックし、「**停止**」を選択します。
2. 次のようにして、logger.properties ファイルを編集します。
 - a. C:\Program Files\IBM\svconSOLE\cimom ディレクトリーに進んで、テキスト・エディター内で logger.properties ファイルをオープンします。
 - b. 以下のデバッグ・レベルをミラーリングするように各項目を編集します。
 - message.logger.level=DEBUG_MIN
 - service.logger.level=DEBUG_MIN
 - security.logger.level=DEBUG_MIN
 - trace.logger.level=DEBUG_MIN
3. 次のようにして、CIMOM を開始します。
 - a. 「コントロール パネル」で「管理ツール」 → 「サービス」に進みます。
 - b. 「**IBM CIM Object Manager**」を右クリックし、「**開始**」を選択します。

注: CIM Provider でロギングを使用可能にすると、GUI のパフォーマンスに影響を与えます。ロギングを使用不可にするのは、パフォーマンスを考慮しなければならないときに限ってください。

付録 C. サービス・コントローラー ATA ケーブルの取り付け

ケーブルの損傷を防ぐために、SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2に ATA (先進テクノロジー接続) ケーブルを取り付ける時は、正しく配置する必要があります。

ATA ケーブルは、サービス・コントローラーを SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2のシステム・ボードに接続します。取り付ける時に、ATA ケーブルを正しく配置しないと、ディスク・ドライブ・ファンが ATA ケーブルに接触して、ケーブルに損傷をきたします (図 230 を参照)。

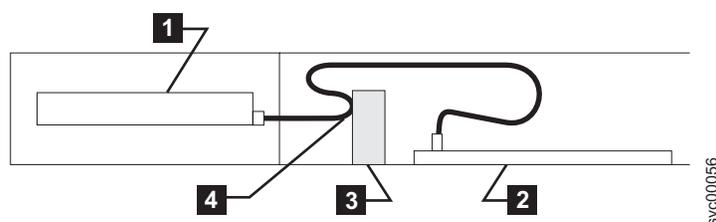


図 230. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2での ATA ケーブルの誤った配置

- 1 サービス・コントローラー
- 2 システム・ボード
- 3 ディスク・ファン
- 4 ディスク・ファンに押された ATA ケーブル

ATA ケーブルの損傷を避けるために、サービス・コントローラーの下にループ状にルートが取られているか確認します (図 231 を参照)。これによって、サービス・コントローラーを所定の位置に押し込んだ時、余分なケーブルを正しく配置できます。

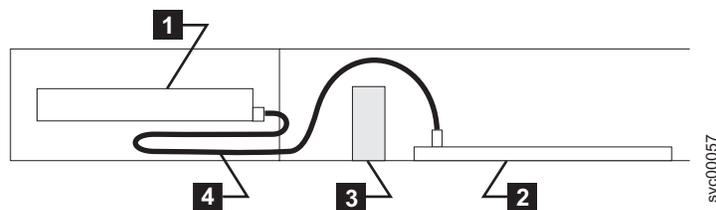


図 231. SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2での ATA ケーブルの正しい配置

- 1 サービス・コントローラー
- 2 システム・ボード
- 3 ディスク・ファン
- 4 正しく配置された ATA ケーブル

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。

機能

SAN ボリューム・コントローラー・コンソール に備わっている主なアクセシビリティ機能は、次のとおりです。

- スクリーン・リーダー・ソフトウェアとデジタル音声シンセサイザーを使用して、画面の表示内容を音声で聞くことができる。スクリーン・リーダー（読み上げソフトウェア）のうちでテスト済みのものは、JAWS v4.5 および IBM ホームページ・リーダー v3.0 です。
- マウスの代わりにキーボードを使用して、すべての機能を操作することができます。

キーボードによるナビゲート

キーやキーの組み合わせを使用して、マウス・アクションでも実行できる操作を実行したり、多数のメニュー・アクションを開始したりできます。以下に示すようなキー組み合わせを使用して、SAN ボリューム・コントローラー・コンソールをナビゲートしたり、キーボードからシステムを支援したりできます。

- 次のリンク、ボタン、またはトピックに進むには、フレーム（ページ）内で Tab を押す。
- ツリー・ノードを展開または縮小するには、それぞれ → または ← を押す。
- 次のトピック・ノードに移動するには、V または Tab を押す。
- 前のトピック・ノードに移動するには、^ または Shift+Tab を押す。
- 一番上または一番下までスクロールするには、それぞれ Home または End を押す。
- 戻るには、Alt+← を押す。
- 先に進むには、Alt+→ を押す。
- 次のフレームに進むには、Ctrl+Tab を押す。
- 前のフレームに戻るには、Shift+Ctrl+Tab を押す。
- 現行ページまたはアクティブ・フレームを印刷するには、Ctrl+P を押す。
- 選択するには、Enter を押す。

資料へのアクセス

Adobe Acrobat Reader を使用して、PDF の SAN ボリューム・コントローラーの資料を表示することができます。PDF は、以下の Web サイトにあります。

<http://www.ibm.com/storage/support/2145>

関連資料

xv ページの『SAN ボリューム・コントローラーのライブラリーおよび関連資料』
この製品に関連する他の資料のリストが、参照用に提供されています。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711

東京都港区六本木 3-2-12

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Corporation
Almaden Research
650 Harry Road
Bldg 80, D3-304, Department 277
San Jose, CA 95120-6099
U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

- AIX
- BladeCenter
- Enterprise Storage Server

- FlashCopy
- IBM
- IBM eServer
- IBM TotalStorage
- IBM System Storage
- System p5
- System z9
- System Storage
- TotalStorage
- xSeries

Intel および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

電波障害自主規制特記事項

この製品には、以下の電波障害自主規制に関する表示が適用されます。この製品とともに使用することを目的とする他の製品用の表示は、それぞれに付随する文書に含まれています。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Ensure that you are familiar with the Federal Communications Commission (FCC) statement.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, might cause interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Neither the provider nor the manufacturer is responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and

connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device might not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada compliance statement

This Class A digital apparatus complies with IECS-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

New Zealand compliance statement

Ensure that you are familiar with the New Zealand compliance statement.

This is a Class A product. In a domestic environment this product might cause radio interference, in which event the user might be required to take adequate measures.

European Union (EU) statement

Ensure that you are familiar with the European Union (EU) statement.

This product is in conformity with the protection requirements of EU council directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Neither the provider nor the manufacturer can accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of option cards not supplied by the manufacturer.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

重要: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Ensure that you use properly shielded and grounded cables and connectors in order to reduce interference to radio and TV communications and to other electrical or electronic equipment. Such cables and connectors are available from IBM authorized dealers. IBM cannot accept responsibility for any interference caused by using other than recommended cables and connectors.

Radio protection for Germany

Zulassungsbescheinigung laut Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) vom 30, August 1995.

Dieses Gerät ist berechtigt in Übereinstimmung mit dem deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen zu führen.

Der Aussteller der Konformitätserklärung ist die IBM Deutschland.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraph 3 Abs. (2):

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 50082-1 und EN 55022 Klasse A.
--

EN55022 Klasse A Geräte bedürfen folgender Hinweise:

Nach dem EMVG: "Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministeriums für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind." (Auszug aus dem EMVG, Para.3, Abs.4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Nach der EN 55022: "Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Massnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen."

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern angegeben zu installieren und zu betreiben.

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

vcci

People's Republic of China Class A Electronic Emission Statement

中华人民共和国“A类”警告声明

声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

International Electrotechnical Commission (IEC) statement

This product has been designed and built to comply with (IEC) Standard 950.

United Kingdom telecommunications requirements

This apparatus is manufactured to the International Safety Standard EN60950 and as such is approved in the U.K. under approval number NS/G/1234/J/100003 for indirect connection to public telecommunications systems in the United Kingdom.

Korea Class A Electronic Emission Statement

이 기기는 업무용으로 전자파 적합등록을 받은 기기 이오니, 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

European Contact Information

This topic contains the product service contact information for Taiwan.

European Community contact:
IBM Technical Regulations
Pascalstr. 100, Stuttgart, Germany 70569
Tele: 0049 (0)711 785 1176
Fax: 0049 (0)711 785 1283
e-mail: mailto:tjahn@de.ibm.com

Taiwan Contact Information

This topic contains the product service contact information for Taiwan.

IBM Taiwan Product Service Contact Information:
IBM Taiwan Corporation
3F, No 7, Song Ren Rd., Taipei Taiwan
Tel: 0800-016-888

台灣IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路7號3樓
電話：0800-016-888

f2c00790

用語集

この用語集には、IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラーに関する用語が収めてあります。

この用語集には、Dictionary of Storage Networking Terminology (<http://www.snia.org/education/dictionary>) から抜粋した用語と定義が含まれています (copyrighted 2001 by the Storage Networking Industry Association, 2570 West El Camino Real, Suite 304, Mountain View, California 94040-1313)。この資料から引用された定義には、定義の後ろに記号 (S) が付けてあります。

この用語集では、以下のような相互参照が使用されています。

を参照。

2 種類の関連情報のどちらかを読者に示します。

- 省略語または頭字語の拡張形。この拡張形に、用語の完全な定義が入っています。
- 同義語または、より優先される用語

も参照。

1 つ以上の用語を読者に参照させます。

と対比。

意味が反対または実質的に意味が異なる用語を読者に参照させます。

ア

アイドリング (idling)

- 1 対の仮想ディスク (VDisks) に対してコピー関係が定義されていて、その関係を対象としたコピー・アクティビティがまだ開始されていない状態。
- メトロまたはグローバル・ミラー関係において、マスター仮想ディスク (VDisk) と補助 VDisk が 1 次役割で作動していることを示す状態。したがって、両方の VDisk は、書き込み入出力操作にアクセス可能である。

アイドリング切断済み(idling-disconnected)

グローバル・ミラー関係において、整合性グループのこの半分に入っているすべての仮想ディスク (VDisk) が 1 次役割で作動していて、読み取り入出力操作または書き込み入出力操作を受け入れることができる状態。

アイドル (idle)

FlashCopy マッピングにおいて、ソースおよびターゲットの仮想ディスク (VDisks) 間にマッピングが存在している場合でも、両仮想ディスクが独立の VDisk として機能しているときに発生する状態。読み取り/書き込みキャッシングが、ソースとターゲットの両方に対して使用可能になる。

アクセス・モード (access mode)

ディスク・コントローラー・システムの論理装置 (LU) を作動できる 3 種

類のモードの 1 つ。イメージ・モード (*image mode*)、管理対象スペース・モード (*managed space mode*)、および構成解除モード (*unconfigured mode*) も参照。

アプリケーション・サーバー (application server)

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) に接続されて、アプリケーションを実行するホスト。

イニシエーター (initiator)

入出力バスまたはネットワークを介して入出力コマンドを発信するシステム・コンポーネント。入出力アダプター、ネットワーク・インターフェース・カード、およびインテリジェント・コントローラー装置入出力バス制御 ASIC は、典型的なイニシエーターである。(S) 論理装置番号 (*logical unit number*) も参照。

イメージ VDisk (image VDisk)

管理対象ディスク (MDisk) から仮想ディスク (VDisk) へのブロックごとの直接変換を行う VDisk。

イメージ・モード

仮想ディスク (VDisk) 内のエクステントに対して、管理対象ディスク (MDisk) 内のエクステントの 1 対 1 マッピングを確立するアクセス・モード。管理対象スペース・モード (*managed space mode*)、および構成解除モード (*unconfigured mode*) も参照。

インスタンス (instance)

あるクラスのメンバーである個々のオブジェクト。オブジェクト指向プログラミングでは、クラスをインスタンス化することにより作成されるオブジェクト。

インターネット・プロトコル (Internet Protocol (IP))

インターネット・プロトコル・スイートの中で、1 つのネットワークまたは複数の相互接続ネットワークを経由してデータをルーティングし、上位のプロトコル層と物理ネットワークとの間で仲介の役割を果たすコネクションレス・プロトコル。

エージェント・コード (agent code)

クライアント・アプリケーションと装置との間で転送する Common Information Model (CIM) 要求と応答を解釈するオープン・システム標準。

エクステント (extent)

管理対象ディスクと仮想ディスクの間でデータのマッピングを管理するデータ単位。

エラー・コード (error code)

エラー条件を識別する値。

オーバー・サブスクリプション (oversubscription)

複数の ISL がこれらのスイッチ間で並列に接続されている場合の、イニシエーター N-node 接続上のトラフィック合計と、最も負荷の多い Inter-Switch Link (ISL) 上のトラフィックとの比率。この定義は、対称ネットワークと、すべてのイニシエーターから均等に適用され、すべてのターゲットに均等に設定される特定のワークロードを前提にしている。対称ネットワーク (*symmetrical network*) も参照。

オブジェクト (object)

オブジェクト指向の設計またはプログラミングにおいて、データとそのデータに関連付けられる操作から構成されるクラスの具体的な実現。

オブジェクト・パス (object path)

ネーム・スペース・パスとモデル・パスから構成されるオブジェクト。ネーム・スペース・パスは、CIM エージェントによって管理される Common Information Model (CIM) インプリメンテーションへのアクセスを可能にし、モデル・パスは、そのインプリメンテーション内でのナビゲーションを可能にする。

オブジェクト・モデル (object model)

特定のシステムにおけるオブジェクトについての表現 (ダイアグラムなど)。オブジェクト・モデルは、標準のフローチャート・シンボルに似たシンボルを使用して、そのオブジェクトが属すクラス、それらの互いの関連、それらを固有にする属性、および、オブジェクトが実行できる操作とオブジェクトに実行できる操作を記述する。

オブジェクト名 (object name)

ネーム・スペース・パスとモデル・パスから構成されるオブジェクト。ネーム・スペース・パスは、CIM エージェントによって管理される Common Information Model (CIM) インプリメンテーションへのアクセスを可能にし、モデル・パスは、そのインプリメンテーション内でのナビゲーションを可能にする。

オフライン (offline)

システムまたはホストの継続的な制御下でない機能単位または装置の操作を指す。

オペレーティング・セット (operating set)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、ストレージ・サービスを提供するために一緒に作動するノードのセット。

オンライン (online)

システムまたはホストの継続的な制御下にある機能単位または装置の操作を指す。

力**カスケード (cascading)**

複数のファイバー・チャンネル・ハブまたはスイッチを互いに接続してポート数を増やしたり、距離を延ばしたりすること。

仮想化ストレージ (virtualized storage)

仮想化エンジンによる仮想化技法が適用された物理ストレージ。

仮想ストレージ・エリア・ネットワーク (virtual storage area network (VSAN))

SAN 内のファブリック。

仮想ディスク (VDisk) (virtualdisk (VDisk))

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) に接続されたホスト・システムが SCSI ディスクとして認識する装置。

可用性 個々のコンポーネントに障害が起こった後も、システムの稼働を継続できる (パフォーマンスは低下する可能性がある) こと。

空の (empty)

グローバル・ミラー関係において、整合性グループに関係が含まれていないときに存在する状況条件。

関係 メトロまたはグローバル・ミラーにおける、マスター仮想ディスク (VDisk) と補助 VDisk との関連。これらの VDisk には、1 次または 2 次 VDisk の属性もある。補助仮想ディスク (*auxiliary virtual disk*)、マスター仮想ディスク (*master virtual disk*)、1 次仮想ディスク (*primary virtual disk*)、2 次仮想ディスク (*secondary virtual disk*) も参照。

管理情報ベース (Management Information Base (MIB))

システムの 1 つの局面、例えば、システム名、ハードウェア番号、通信構成などを具体的に記述する管理対象情報の Simple Network Management Protocol (SNMP) 単位。関連する MIB オブジェクトの集合は MIB として定義される。

管理対象スペース・モード (managed space mode)

バーチャリゼーション機能の実行を可能にするアクセス・モード。イメージ・モード (*image mode*)、および構成解除モード (*unconfigured mode*) も参照。

管理対象ディスク (managed disk (MDisk))

新磁気ディスク制御機構 (RAID) コントローラーが提供し、クラスターが管理する SCSI 論理装置。MDisk は、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 上のホスト・システムには見えない。

管理対象ディスク・グループ (managed disk group)

指定された仮想ディスク (VDisk) のセットに関するすべてのデータを 1 つの単位として含む管理対象ディスク (MDisk) の収集。

関連 参照される 2 つのオブジェクト間の関係を定義する 2 つの参照を含むクラス。

ギガバイト (gigabyte (GB))

10 進表記の 1 073 741 824 バイト。

ギガビット・インターフェース・コンバーター (GBIC) (gigabit interface converter (GBIC))

ファイバー・チャンネル・ケーブルからの光のストリームを、ネットワーク・インターフェース・カードに使用するための電子信号に変換するインターフェース・モジュール。

技術変更 (engineeringchange (EC))

製品に適用された、ハードウェアまたはソフトウェアの不良の修正。

起動 (trigger)

コピー関係にある 1 対の仮想ディスク (VDisk) 間でのコピー操作を開始または再開すること。

キャッシュ (cache)

低速のメモリーや装置に対するデータの読み書きに必要な実効時間を短縮するために使用される、高速のメモリーまたはストレージ・デバイス。読み取りキャッシュは、クライアントから要求されることが予想されるデータを保

持する。書き込みキャッシュは、ディスクやテープなどの永続ストレージ・メディアにデータを安全に保管できるようになるまで、クライアントによって書き込まれたデータを保持する。

キュー項目数 (queue depth)

装置上で並行して実行できる入出力操作の数。

休止 (paused)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、キャッシュ・コンポーネントが、キャッシュ・レイヤーの下で実行されているすべての I/O アクティビティを静止するプロセス。

協力関係 (partnership)

メトロまたはグローバル・ミラーにおける 2 つのクラスター間の関係。クラスター協力関係では、一方のクラスターがローカル・クラスターとして定義され、他方のクラスターがリモート・クラスターとして定義される。

クォーラム・ディスク (quorum disk)

クォーラム・データを含む管理対象ディスク (MDisk) で、クラスターがタイを切断したり、クォーラムに達するために使用する。

クォーラム索引 (quorum index)

タイを解決するために使用する順序を示すポインター。ノードは、1 つ目のクォーラム・ディスク (索引 0) のロックを試行し、続いて次のディスク (索引 1)、最後に最終ディスク (索引 2) のロックを試行する。最初にタイをロックしたノードによって解決されるタイ。

区画 (partition)

- IBM 定義: ハード・ディスク上のストレージの論理分割。
- HP 定義: ホストに対して論理装置として表されるコンテナの論理分割。

クライアント

他のコンピューター・システムのサービス、または、通常、サーバーと呼ばれるプロセスを要求するコンピューター・システムまたはプロセス。複数のクライアントが、共通サーバーへのアクセスを共用できる。

クライアント・アプリケーション (client application)

Common Information Model (CIM) 要求を、装置の CIM エージェントに対して開始するストレージ管理プログラム。

クラス (class)

特定の階層内のオブジェクトの定義。クラスは、プロパティとメソッドを持つことができるほか、関連のターゲットとして機能することができる。

クラスター

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、単一の構成とサービス・インターフェースを備えた 1 対のノード。

グレイン (grain)

FlashCopy ビットマップにおいて、単一のビットによって表されるデータの単位。

グローバル・ミラー (Global Mirror)

関係によって指定されたターゲット仮想ディスク (VDisk) に特定のソース仮想ディスク (VDisk) のホスト・データをコピーできる非同期コピー・サービス。

ゲートウェイ

リンク・レイヤーの上部で作動し、必要な場合、あるネットワークで使用されるインターフェースとプロトコルを別のネットワークで使用されるインターフェースとプロトコルに変換するエンティティ。

現場交換可能ユニット (field replaceable unit)

コンポーネントの 1 つに障害が起こったときにその全体が交換されるアセンブリー。場合によっては、現場交換可能ユニットが他の現場交換可能ユニットを含んでいることもある。

コール・ホーム機能 (Call Home)

マシンとサービス・プロバイダーをリンクする通信サービス。サービスが必要な場合、マシンは、このリンクを使用して IBM または他のサービス・プロバイダーに電話をすることができる。マシンにアクセスすれば、保守担当員は エラー・ログや問題ログの表示、トレースおよびダンプ検索の開始などの保守作業を実行することができる。

構成ノード (configuration node)

構成コマンドのフォーカル・ポイントとして機能し、クラスターの構成を記述するデータを管理するノード。

高密度波長分割多重方式 (DWDM) (dense wavelength division multiplexing (DWDM))

少しずつ異なる光周波数を使用して、多数の光信号を 1 つの単一モード・ファイバー上で伝送するテクノロジー。DWDM を使用すると、多数のデータ・ストリームを並列に転送できる。

コピー・サービス (Copy Services)

仮想ディスク (VDisk) をコピーできるようにするサービス : FlashCopy、メトロ、およびグローバル・ミラー。

コピー済み (copied)

FlashCopy マッピングにおいて、コピー関係の作成後にコピーが開始されたことを示す状態。コピー処理は完了しており、ソース・ディスクに対するターゲット・ディスクの従属関係は既に解消されている。

コピー中 (copying)

コピー関係にある 1 対の仮想ディスク (VDisk) の状態を記述する状況条件。コピー処理は開始されたが、2 つの仮想ディスクはまだ同期していない。

コマンド行インターフェース (command line-interface (CLI))

コンピューター・インターフェースのタイプの 1 つで、入力コマンドはテキスト文字のストリングになる。

コンテナ (container)

- IBM 定義: オブジェクトを保持しているビジュアル・ユーザー・インターフェース・コンポーネント。
- HP 定義:

1. データを保管できるエンティティで、それが物理装置であるか、物理装置のグループであるかを問わない。
2. ストレージセットとしてリンクされている単一のディスク・ドライブまたはディスク・ドライブのグループのいずれかを表す仮想内部コントローラー構造。コントローラーが装置を作成するために使用するストレージセット・コンテナの例としては、ストライプセットやミラーセットがある。

サ

サーバー

ネットワークにおいて、他のステーションに機能を提供するハードウェアまたはソフトウェア。例えば、ファイル・サーバー、プリンター・サーバー、メール・サーバー。サーバーに要求を出すステーションは、通常、クライアントと呼ばれる。

最低使用頻度 (least recently used (LRU))

最近の使用頻度が最も低いデータが入っているキャッシュ・スペースを識別し、使用可能にするために使用されるアルゴリズム。

作成

グローバル・ミラー関係において、ソース仮想ディスク (VDisk) の変更済み書き込みデータがキャッシュからフラッシュされたときに発生する状態。ターゲット VDisk の読み取りまたは書き込みデータは、すべてキャッシュから廃棄される。

参照 (reference)

関連内のオブジェクトの役割と有効範囲を定義する別のインスタンスを指すポインター。

時刻指定コピー (point-in-time copy)

FlashCopy サービスがソース仮想ディスク (VDisk) から作成する瞬間的なコピー。文脈によっては、このコピーは T_0 コピーと呼ばれる。

指示

イベントのオブジェクト表現。

システム (system)

1 つ以上のコンピューターおよび関連ソフトウェアからなる機能単位。プログラムのすべてまたは一部に共通ストレージを使用するほか、プログラムの実行に必要なデータのすべてまたは一部にも共通ストレージを使用する。コンピューター・システムは、独立型装置にすることもできるし、複数の接続装置で構成することもできる。

指定保守手順 (directed maintenance procedures)

クラスターに対して実行できる一連の保守手順。これらの手順は SAN ボリューム・コントローラー 内から実行され、サービス・ガイドに文書化されている。

修飾子 (qualifier)

クラス、関連、指示、メソッド、メソッド・パラメーター、インスタンス、プロパティ、または参照に関する追加情報を提供する値。

従属書き込み操作 (dependent write operations)

ボリューム間整合性を維持するために、正しい順序で適用する必要がある一連の書き込み操作。

順次 VDisk (sequential VDisk)

単一の管理対象ディスクからのエクステントを使用する仮想ディスク。

準備済み (prepared)

グローバル・ミラー関係において、マッピングが開始可能になっているときに発生する状態。この状態になっているときは、ターゲット仮想ディスク (VDisk) はオフラインである。

冗長 SAN (redundant SAN)

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 構成の 1 つ。どれか 1 つのコンポーネントが失敗しても、SAN 内における各装置間の接続性が維持される。ただし、パフォーマンスの低下が見られることがある。この構成は、通常、SAN を 2 つの独立した同等 SAN に分割する。同等 SAN (*counterpart SAN*) も参照。

除外 (exclude)

特定のエラー条件により、管理対象ディスク (MDisk) をクラスターから除去すること。

除外済み (excluded)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、反復アクセス・エラーの後に、クラスターが使用から除外した管理対象ディスクの状況。

初期マイクロコード・ロード (initial microcode load (IML))

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、実行時コードとノードのデータをメモリーにロードし、初期化する処理。

シリアル ATA (Serial ATA)

Serial Advanced Technology Attachment を参照。

新磁気ディスク制御機構 (redundant array of independent disks)

システムに対しては単一のディスク・ドライブのイメージを提示する、複数のディスク・ドライブの集合。単一の装置に障害が起こった場合は、アレイ内の他のディスク・ドライブからデータを読み取ったり、再生成したりすることができる。

信頼性 (reliability)

コンポーネントに障害が起こってもシステムが引き続きデータを戻す能力。

スーパーユーザー権限 (Superuser authority)

ユーザーを追加するために必要なアクセスのレベル。

スイッチ (switch)

複数のノードを接続するネットワーク・インフラストラクチャー・コンポーネント。ハブと異なり、スイッチは、通常、リンク帯域幅の複数倍の内部帯域幅を持つほか、ノード接続を次々と迅速に切り替えることができる。標準スイッチは、異なるノード・ペア間でいくつかの同時フル・リンク帯域幅送信を行うことができる。(S) ハブ (*hub*) と対比。

水平冗長検査 (LRC) (longitudinal redundancy check (LRC))

パリティの検査を含む、データ転送中のエラー検査方式。

スキーマ (schema)

単一ネーム・スペースに定義され、適用可能であるオブジェクト・クラスのグループ。CIM エージェント内では、サポートされるスキーマは、管理オブジェクト・フォーマット (MOF) によってロードされる。

ストライプ

管理対象ディスク (MDisk) グループに含まれる複数の管理対象ディスク (MDisk) から作成される仮想ディスク (VDisk) に関連する用語。エクステンションが、指定された順序で MDisk 上に割り振られる。

ストライプセット (stripeset)

RAID 0 を参照。

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN)

コンピューター・システムとストレージ・エレメントの間、およびストレージ・エレメント相互間でのデータ転送を主な目的としたネットワーク。

SAN は、物理接続を提供する通信インフラストラクチャー、接続を整理する管理層、ストレージ・エレメント、およびコンピューター・システムで構成されるので、データ転送は安全かつ堅固である。(S)

整合コピー (consistent copy)

メトロまたはグローバル・ミラー関係において、I/O アクティビティの進行中に電源障害が発生した場合でも、ホスト・システムの観点からは、1 次 VDisk と同じであるような 2 次 仮想ディスク (VDisk) のコピー。

整合性 (integrity)

システムが正しいデータのみを戻すか、そうでなければ正しいデータを戻すことができないと応答する能力。

整合性グループ (consistency group)

単一のエンティティとして管理される仮想ディスク間のコピー関係のグループ。

整合停止済み (consistent-stopped)

グローバル・ミラー関係において、2 次仮想ディスク (VDisk) に整合イメージが含まれてはいるが、そのイメージが、1 次 VDisk に対しては無効になっているような場合に発生する状態。この状態は、エラーが発生して整合性グループを強制的にフリーズしたときに、関係が整合同期化済みになっていた場合に生じることがある。この状態は、作成整合フラグを TRUE に設定して関係が作成された場合にも生じることがある。

整合同期化済み (consistent-synchronized)

グローバル・ミラー関係において、1 次仮想ディスク (VDisk) が読み取り/書き込み入出力操作にアクセス可能なときに発生する状況条件。2 次 VDisk は、読み取り専用入出力操作にアクセス可能である。1 次仮想ディスク (primary virtual disk) および 2 次仮想ディスク (secondary virtual disk) も参照。

セキュア・シェル (Secure Shell)

ネットワークを介して別のコンピューターにログインし、リモート・マシンでコマンドを実行して、あるマシンから別のマシンへファイルを移動するためのプログラム。

接続 (connected)

グローバル・ミラー関係において、2 つのクラスターが通信可能なときに生じる状況条件を指す。

切断 (disconnected)

メトロまたはグローバル・ミラー関係において、2 つのクラスターが通信できないことを指す。

ゾーニング

ファイバー・チャネル環境において、仮想の専用ストレージ・ネットワークを形成するために複数のポートをグループ化したもの。あるゾーンのメンバーである各ポートは、互いに通信できるが、他のゾーンのポートから分離される。

装置

- CIM エージェントにおいて、クライアント・アプリケーションの要求を処理し、ホスティングするストレージ・サーバー。
- IBM 定義: コンピューターで使用される機器の部分。通常はシステムと直接対話することはないが、コントローラーによって制御される。
- HP 定義: その物理フォームにおいて、SCSI バスに接続できる磁気ディスク。この用語は、コントローラー構成の一部になった物理装置、つまり、コントローラーに認識されている物理装置を表すためにも使用される。装置 (仮想ディスク) は、装置をコントローラーに認識させた後、その装置から作成することができる。

装置プロバイダー

Common Information Model (CIM) のプラグインとして働く装置固有のハンドラー。つまり、CIM オブジェクト・マネージャー (CIMOM) は、このハンドラーを使用して装置と対話する。

タ

帯域幅 (bandwidth)

電子システムが送信または受信できる周波数の範囲。システムの帯域幅が大きくなると、システムが一定時間に送信できる情報量が増える。

対称ネットワーク (symmetrical network)

すべてのイニシエーターが同じレベルで接続され、すべてのコントローラーが同じレベルで接続されているネットワーク。

対称バーチャリゼーション

仮想化技法の 1 つで、新磁気ディスク制御機構 (RAID) 形式の物理ストレージが、エクステント と呼ばれるより小さなストレージのチャンクに分割される。これらのエクステントは、次に、さまざまなポリシーを使用して連結されて、仮想ディスク (VDisk) を形成する。非対称バーチャリゼーション (*asymmetric virtualization*) も参照。

ダイナミック・ランダム・アクセス・メモリー (dynamic random access memory (DRAM))

保管データを保存するために、セルによる制御信号の反復適用を必要とするストレージ。

正しくない構成 (illegal configuration)

作動せず、問題の原因を示すエラー・コードを生成する構成。

単位 ID (unit identifiers (UID))

単位 ID は、以下のいずれかである。

1. 整数式。その値はゼロまたは正でなければならない。
2. * (アスタリスク)。入力の場合は単位 5 に対応し、出力の場合は単位 6 に対応する。
3. 内部ファイルの文字配列、文字配列エレメント、または文字サブストリングの名前。

中断 (suspended)

問題が起きたため、1 対の仮想ディスクのコピー関係を一時的に分断した状況。

データ・マイグレーション (data migration)

入出力操作を中断せずに 2 つの物理ロケーション間でデータを移動すること。

停止 (stop)

整合性グループ内のコピー関係すべてに対するアクティビティを停止するために使用される構成コマンド。

停止済み (stopped)

問題が起きたため、ユーザーが 1 対の仮想ディスクのコピー関係を一時的に分断した状況。

ディスクバリアー

ネットワーク・トポロジー変更 (例えば、新規または削除されたノードまたはリンク) の自動検出。

ディスク・コントローラー (disk controller)

1 つ以上のディスク・ドライブ操作を調整および制御し、ドライブ操作をシステム全体の操作と同期化する装置。ディスク・コントローラーは、クラスターが管理対象ディスク (MDisk) として検出するストレージを提供する。

ディスク・ゾーン (disk zone)

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) ファブリックに定義されたゾーンで、SAN ボリューム・コントローラーは、ディスク・コントローラーが入っている論理装置を検出したりアドレス指定したりできる。

ディスク・ドライブ

ディスク・タイプの不揮発性のストレージ・メディア。

デステージ (destage)

データをディスク装置に書き出すためにキャッシュが開始する書き込みコマンド。

テラバイト (terabyte)

10 進表記の 1 099 511 628 000 バイト。

同期 (synchronized)

メトロまたはグローバル・ミラーにおいて、コピー関係にある 1 対の仮想ディスク (VDisks) が両方とも同じデータを含んでいるときに生じる状況条件。

同期ダイナミック RAM (SDRAM) (Synchronous Dynamic Random Access Memory (SDRAM))

より迅速化する機能を持つダイナミック RAM (DRAM) のタイプ。

同等 SAN (counterpart SAN)

冗長ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) の非冗長部分。同等 SAN は、冗長 SAN の接続性をすべて提供するが、冗長性はない。それぞれの同等 SAN は、それぞれの SAN 接続装置に代替パスを提供する。冗長 SAN (redundant SAN) も参照。

独立型関係 (stand-alone relationship)

FlashCopy、メトロ・ミラー、およびグローバル・ミラーにおいて、整合性グループに属さず、ヌルの整合性グループ属性を持っている関係。

トポロジー (topology)

コンピューター・システムまたはネットワークのコンポーネントとその相互接続を論理的にレイアウトしたもの。トポロジーは、通信可能性の観点から、どのコンポーネントを他のコンポーネントに直接接続するかという質問を処理する。トポロジーは、コンポーネントまたは相互接続ケーブルの物理ロケーションに関する質問は処理しない。(S)

ドメイン・ネーム・サーバー (domain name server)

インターネットのプロトコル・スイートにおいて、ドメイン・ネームを IP アドレスにマップすることによって名前をアドレスに変換するサーバー・プログラム。

ナ

入出力 (input/output (I/O))

入力処理、出力処理、またはその両方 (並行または非並行) に関係する機能単位または通信パス、およびこれらの処理に関するデータを指す。

入出力グループ (I/O group)

ホスト・システムに対する共通インターフェースを表す、仮想ディスク (VDisks) とノードの関係の集まり。

ネーム・スペース (namespace)

Common Information Model (CIM) スキーマが適用される有効範囲。

ノード 1 台の SAN ボリューム・コントローラー。それぞれのノードは、仮想化、キャッシュ、およびコピー・サービスをストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) に提供する。

ノード・ポート (node port (N_port))

ノードをファブリックまたは別のノードに接続するポート。N_port は、ファブリック・ポート (F_port) または他のノードの他の N_port に接続する。N_port は、メッセージ単位の作成、検出、および接続されたシステムとの間でのやり取りをハンドルする。N_port は、2 地点間リンクのエンドポイントである。

ノード・レスキュー (node rescue)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、有効なソフトウェアがノードのハード・ディスクにインストールされていない場合に、同じファイバー・チャンネル・ファブリックに接続している別のノードからそのノードにソフトウェアをコピーできるようにする処理。

ノード名 (node name)

ノードに関連付けられた名前 ID。(SNIA)

ハ

バーチャリゼーション

ストレージ業界における概念の 1 つ。バーチャリゼーションでは、複数のディスク・サブシステムを含むストレージ・プールを作成する。これらのサブシステムはさまざまなベンダー製のものを使用できる。プールは、仮想ディスクを使用するホスト・システムから認識される、複数の仮想ディスクに分割できる。

ハードコーディング (hardcoded)

静的にエンコードされていて、変更を意図されていないソフトウェア命令に関する語。

パートナー・ノード (partner node)

このノードが属している入出力グループに含まれている他方のノード。

配列 (array)

論理ボリュームまたは論理装置を定義するために使用される物理ストレージの順序付けられた集合、またはグループ。

ハブ (hub)

分岐接続バスまたはループ上のノードが物理的に接続されたコミュニケーション・インフラストラクチャー装置。通常、物理ケーブルの管理容易性を改善するためにイーサネットおよびファイバー・チャンネル・ネットワークで使用される。ハブは、自分が属しているネットワークの論理ループ・トポロジーを維持しながら、「ハブとスポーク」物理スター型レイアウトを作成する。スイッチと異なり、ハブは帯域幅を集合しない。通常、ハブは、作動中のバスへのノードの追加や、バスからのノードの除去をサポートする。(S) スイッチ (switch) と対比。

ハブ (hub)

物理スター型トポロジーを使用してノードを論理ループに接続するファイバー・チャンネル装置。ハブは、自動的にアクティブ・ノードを認識してそのノードをループに挿入する。失敗したノードまたは電源オフのノードは、自動的にループから除去される。

パワーオン自己診断テスト (power-on self-test)

サーバーまたはコンピューターがオンになっているときにそれらが実行する診断テスト。

非 RAID (non-RAID)

新磁気ディスク制御機構 (RAID) に入っていないディスク。HP 定義: JBOD を参照。

非管理 (unmanaged)

クラスターが使用していない管理対象ディスク (MDisk) に関連するアクセス・モード。

非対称バーチャリゼーション (asymmetric virtualization)

仮想化技法の 1 つで、仮想化エンジンがデータ・パスの外部にあり、メタデータ・スタイルのサービスを実行する。メタデータ・サーバーにはすべてのマッピング・テーブルとロック・テーブルが格納されるが、ストレージ・デバイスにはデータのみが格納される。対称バーチャリゼーション (symmetric virtualization) も参照。

ブール (Boolean)

ジョージ・ブール氏によって公式化された代数で使用されるプロセス。

ファイバー・チャネル

最高 4 Gbps のデータ速度でコンピューター装置間でデータを伝送する技術。特に、コンピューター・サーバーを共用ストレージ・デバイスに接続する場合や、ストレージ・コントローラーとドライブを相互接続する場合に適している。

ファイバー・チャネル・エクステンダー (fibre-channel extender)

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) ファブリック・コンポーネントを相互接続する長距離通信装置。

ファブリック (fabric)

ファイバー・チャネル・テクノロジーにおいて、アドレス指定された情報を受け取り、それを該当する宛先に経路指定するルーティング構造。例えば、スイッチ。ファブリックは、複数のスイッチからなっていることがある。複数のファイバー・チャネル・スイッチが相互接続されているときは、それらのスイッチはカスケードと呼ばれる。カスケード (*cascading*) も参照。

ファブリック・ポート (fabric port (F_port))

ファイバー・チャネル・ファブリックの一部であるポート。ファイバー・チャネル・ファブリック上の F_port は、ノード上のノード・ポート (N_port) に接続される。

フェイルオーバー (failover)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、システムの一方の冗長部分が、障害を起こしたシステムの他方の部分のワークロードを引き受けるときに実行される機能。

不整合 (inconsistent)

メトロまたはグローバル・ミラー関係において、1 次仮想ディスク (VDisk) との同期が行われている 2 次 VDisk に関連する用語。

不整合コピー中 (inconsistent-copying)

グローバル・ミラー関係において、1 次仮想ディスク (VDisk) が読み取り入出力操作と書き込み入出力操作にアクセス可能であるが、2 次 VDisk がどちらの入出力操作にもアクセス可能でないときに発生する状態。この状態は、不整合停止済み状態になっている整合性グループに対して **start** コマンドを発行した後で発生する。この状態は、アイドル状態または整合停止済み状態になっている整合性グループに対して、強制オプションを指定した **start** コマンドを発行したときにも発生する。

不整合切断済み (inconsistent-disconnected)

グローバル・ミラー関係において、2 次役割で作動している整合性グループのこの半分に入っている仮想ディスク (VDisk) が、読み取り入出力操作と書き込み入出力操作のどちらにもアクセス可能でないときに発生する状態。

不整合停止済み (inconsistent-stopped)

グローバル・ミラー関係において、1 次仮想ディスク (VDisk) が読み取り入出力操作と書き込み入出力操作にアクセス可能であるが、2 次 VDisk が読み取り入出力操作と書き込み入出力操作のどちらにもアクセス可能でないときに発生する状態。

ブレード (blade)

システムの中の 1 つのコンポーネントで、いくつかのコンポーネント (ブレード) を受け入れるように設計されている。ブレードには、マルチプロセッシング・システムに接続される個別のサーバーと、スイッチとの接続性を追加するポート・カードがある。ブレードは、通常、ホット・スワップ可能なハードウェア装置である。

ブロック (block)

ディスク・ドライブ上のデータ・ストレージの単位。

ブロック・バーチャリゼーション (block virtualization)

集合した、高水準の、より豊富でより単純な、またはセキュアな新規のブロック・サービスをクライアントに提供するために、仮想化を 1 つ以上のブロック・ベース (ストレージ) のサービスに適用すること。ブロック・バーチャリゼーション機能はネストに入れることができる。ディスク・ドライブ、RAID システム、またはボリューム・マネージャーはすべて、何らかの形式のブロック・アドレス間マッピングまたは集約を実行する。仮想化 (*virtualization*) も参照。

プロパティ (property)

Common Information Model (CIM) において、クラスのインスタンスを特徴付けるために使用される属性。

並行保守

装置が作動しているときにその装置で保守を行うこと。

ペタバイト (petabyte (PB))

10 進表記の 1 125 899 906 842 624 バイト。

ポート (port)

ホスト、SAN ボリューム・コントローラー、またはディスク・コントローラー・システム内の物理的なエンティティーで、ファイバー・チャンネルを介してデータ通信 (送信と受信) を行う。

ポート ID (port ID)

ポートに関連付けられた ID。

補助仮想ディスク (auxiliary virtual disk)

データのバックアップ・コピーを格納し、災害時回復シナリオに使用される仮想ディスク。マスター仮想ディスク (*master virtual disk*) も参照。

ホスト (host)

ファイバー・チャンネル・インターフェースを介して SAN ボリューム・コントローラーに接続されるオープン・システム・コンピューター。

ホスト ID (host ID)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、論理装置番号 (LUN) マッピングの目的でホスト・ファイバー・チャンネル・ポートのグループに割り当てられる数値 ID。それぞれのホスト ID ごとに、仮想ディスク (VDisk) への SCSI ID の別個のマッピングがある。

ホスト・ゾーン (hostzone)

ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) ファブリック内で定義されるゾーン。このゾーン内で、ホストは SAN ボリューム・コントローラーのアドレスを指定できる。

ホスト・バス・アダプター (HBA) (hostbus adapter (HBA))

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、PCI (Peripheral Component Interconnect) バスなどのホスト・バスをストレージ・エリア・ネットワークに接続するインターフェース・カード。

ボリューム間整合性 (cross-volume consistency)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、アプリケーションが複数の仮想ディスクにわたる従属書き込み操作を実行したときに、仮想ディスク間の整合性を保証する整合性グループのプロパティ。

保留 (pend)

イベントが発生するまで待機させること。

マ

マイグレーション

データ・マイグレーション (*data migration*) を参照。

マスター仮想ディスク (master virtual disk)

アプリケーションがアクセスするデータの実動コピーが含まれている仮想ディスク (VDisk)。補助仮想ディスク (*auxiliary virtual disk*) も参照。

マッピング

FlashCopy マッピング (*FlashCopy mapping*) を参照。

未構成モード (unconfigured mode)

入出力操作を実行できないモード。イメージ・モード (*image mode*) および管理対象スペース・モード (*managed space mode*) も参照。

ミラーセット (mirrorset)

- IBM 定義: RAID-1 を参照。
- HP 定義: 仮想ディスクのデータの完全な独立コピーを維持する複数の物理ディスクの RAID ストレージセット。このタイプのストレージセットは、信頼性が高く、装置障害に大きな耐性があるという利点を持っている。RAID レベル 1 ストレージセットはミラーセットと呼ばれる。

無停電電源装置 (uninterruptible power supply(UPS))

コンピューターと給電部の間に接続される装置で、停電、電圧低下、および電源サージからコンピューターを保護する。無停電電源装置は、電源を監視する電源センサーと、システムの正常シャットダウンを実行できるようになるまで電源を供給するバッテリーを備えている。

メガバイト (megabyte (MB))

10 進表記の 1 048 576 バイト。

メソッド (method)

クラスで関数をインプリメントする方法。

メッシュ構成 (mesh configuration)

より大規模な交換網を作成するように構成された多数の小型 SAN スイッチを含むネットワーク。この構成では、4 つあるいはそれ以上のスイッチがループで接続され、一部のパスがループを短絡する。この構成の一例としては、4 つのスイッチをループで接続し、対角線の 1 つに ISL を使用する構成がある。

メトロ・ミラー

関係によって指定されたターゲット仮想ディスク (VDisk) に特定のソース仮想ディスク (VDisk) のホスト・データをコピーできる同期コピー・サービス。

ヤ

役割 (roles)

許可は、インストール先で管理者役割とサービス役割にマップする役割を基にしている。スイッチは、SAN ポリウム・コントローラーのノードに接続するときに、これらの役割を SAN ポリウム・コントローラー管理者 ID とサービス利用者 ID に変換する。

有効構成 (valid configuration)

サポートされている構成。

ラ

ライン・カード (line card)

ブレード (*blade*) を参照。

ラック (rack)

装置とカード・エンクロージャーを保持する自立式フレームワーク。

リジェクト (rejected)

クラスター内のノードの作業セットからクラスター・ソフトウェアが除去したノードを示す状況条件。

リモート・ファブリック (remote fabric)

グローバル・ミラーにおいて、リモート・クラスターのコンポーネント (ノード、ホスト、およびスイッチ) を接続するストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) コンポーネント (スイッチおよびケーブル)。

劣化 (degraded)

障害の影響を受けているが、許可される構成として継続してサポートされる有効構成を指す。通常は、劣化構成に対して修復処置を行うことにより、有効構成に復元できる。

ローカル/リモート・ファブリック相互接続 (local/remote fabric interconnect)

ローカル・ファブリックとリモート・ファブリックの接続に使用されるストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) コンポーネント。

ローカル・ファブリック (local fabric)

SAN ポリウム・コントローラーにおいて、ローカル・クラスターのコンポーネント (ノード、ホスト、スイッチ) を接続するストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) コンポーネント (スイッチやケーブルなど)。

論理装置 (logical unit (LU))

SCSI コマンドがアドレス指定されるエンティティ。例えば、仮想ディスク (VDisk)、管理対象ディスク (MDisk)、など。

論理装置番号 (logical unit number (LUN))

ターゲット内での論理装置の SCSI ID。 (S)

論理ブロック・アドレス (logical block address (LBA))

ディスク上のブロック番号。

数字

1 次仮想ディスク (primary virtual disk)

メトロまたはグローバル・ミラー関係において、ホスト・アプリケーションから出される書き込み操作のターゲット。

2 次仮想ディスク (secondary virtual disk)

メトロまたはグローバル・ミラーにおいて、ホスト・アプリケーションによって 1 次仮想ディスク (VDisk) に書き込まれたデータのコピーを含む関係内にある VDisk。

C

CIM *Common Information Model* を参照。

CIM オブジェクト・マネージャー (CIM object manager (CIMOM))

クライアント・アプリケーションからの CIM 要求を受け取り、検証し、認証する、データ管理用の共通の概念的なフレームワーク。これは、要求を適切なコンポーネントまたはサービス・プロバイダーに送る。

CIMOM

CIM オブジェクト・マネージャー (CIM object manager) を参照。

Cisco コマンド行インターフェース (Cisco command-line interface)

保守パネル上に提供される機能を実行するために使用されるインターフェース。

CLI コマンド行インターフェース (*command line interface*) を参照。

Common Information Model (CIM)

Distributed Management Task Force (DMTF) が開発した 1 組の規格。CIM は、ストレージ管理のための概念的なフレームワークと、ストレージ・システム、アプリケーション、データベース、ネットワークおよび装置の設計とインプリメンテーションに関するオープン・アプローチを提供する。

D

Distributed Management Task Force (DMTF)

分散システムの管理に関する標準を定義する組織。 *Common Information Model* も参照。

DMP 指定保守手順 (*directed maintenance procedures*) を参照。

DMTF *Distributed Management Task Force* を参照。

DRAM

ダイナミック・ランダム・アクセス・メモリー (*dynamic random access memory*) を参照。

DWDM

高密度波長分割多重方式 (*Dense Wavelength Division Multiplexing*) を参照。

E

EC 技術変更 (*engineering change*) を参照。

Enterprise Storage Server® (ESS)

エンタープライズ全体にわたってインテリジェント・ディスク・ストレージ・サブシステムを提供する IBM 製品。

ESS IBM TotalStorage® Enterprise Storage Server を参照。

F

FC ファイバー・チャネル (*fibre channel*) を参照。

FlashCopy 関係 (FlashCopy relationship)

FlashCopy マッピング (*FlashCopy mapping*) を参照。

FlashCopy サービス (FlashCopy service)

SAN ボリューム・コントローラーにおいて、ソース仮想ディスク (VDisk) の内容をターゲット VDisk に複写するコピー・サービス。この処理中に、ターゲット VDisk の元の内容は失われる。時刻指定コピー (*point-in-time copy*) も参照。

FlashCopy マッピング (FlashCopy mapping)

2 つの仮想ディスク間の関係。

FRU 現場交換可能ユニット (*field replaceable unit*) を参照。

F_port ファブリック・ポート (*fabric port*) を参照。

G

GB ギガバイト (*gigabyte*) を参照。

GBIC ギガビット・インターフェース・コンバーター (*gigabit interface converter*) を参照。

H

HBA ホスト・バス・アダプター (*host bus adapter*) を参照。

HLUN 仮想ディスク (*virtual disk*) を参照。

I

I/O 入出力 (*input/output*) を参照。

I/O スロットル速度 (I/O throttling rate)

この仮想ディスク (VDisk) で受け入れられる I/O トランザクションの最大速度。

ID *ID (identifier)* を参照。

ID (identifier)

あるユーザー、プログラム装置、またはシステムを別のユーザー、プログラム装置、またはシステムに対して識別するビットまたは文字のシーケンス。

IML 初期マイクロコード・ロード (*initial microcode load*) を参照。

Inter-Switch Link (ISL)

ストレージ・エリア・ネットワーク内で複数のルーターとスイッチを相互接続するためのプロトコル。

IP インターネット・プロトコル (*Internet Protocol*) を参照。

IP アドレス (IP address)

インターネット上の各装置またはワークステーションのロケーションを指定する固有の 32 ビット・アドレス。例えば、9.67.97.103 は IP アドレスである。

ISL *Inter-Switch Link* を参照。

ISL ホップ (ISL hop)

あるファブリック内のすべての対のノード・ポート (N-port) を考慮に入れ、そのファブリック内の *Inter-Switch Link (ISL)* のみの距離を測定した場合に、そのファブリック内で最も離れているノードのペア間を最短経路でトラバースする *ISL* ホップの数。

J

JBOD (just a bunch of disks)

- IBM 定義: 非 *RAID (non-RAID)* を参照。
- HP 定義: 他のどのコンテナ・タイプにも構成されていない単一デバイス論理装置のグループ。

L

LBA *論理ブロック・アドレス (logical block address)* を参照。

LRC *水平冗長検査 (longitudinal redundancy check)* を参照。

LRU *最低使用頻度 (least recently used)* を参照。

LU *論理装置 (logical unit)* を参照。

LUN *論理装置番号 (logical unit number)* を参照。

LUN マスキング

ホスト・バス・アダプター (HBA) 装置またはオペレーティング・システム・デバイス・ドライバを介したディスク・ドライブに対する *I/O* を許可したり、禁止したりするプロセス。

M

MB *メガバイト (megabyte)* を参照。

MDisk *管理対象ディスク (managed disk)* を参照。

MIB *管理情報ベース (Management Information Base)* を参照。

N

NWWN

worldwide ノード名 (*worldwide node name*) を参照。

N_port

ノード・ポート (*node port*) を参照。

P

PLUN *管理対象ディスク (managed disk)* を参照。

PuTTY

ご使用のコンピューターで、特定のネットワーク・プロトコル (*SSH*、*Telnet*、*Rlogin* など) を用いてリモート・セッションを実行できるようにするクライアント・プログラム。

PWWN

worldwide ポート名 (*worldwide port name*) を参照。

R

RAID 新磁気ディスク制御機構 (*redundant array of independent disks*) を参照。

RAID 0

- IBM 定義: RAID 0 により、多くのディスク・ドライブを結合して、1 つの大容量ディスクとして提示することができる。RAID 0 はデータの冗長性を提供しない。1 つのドライブが失敗すると、すべてのデータがなくなる。
- HP 定義: データをディスク・ドライブの配列にストライプする RAID ストレージセット。単一の論理ディスクは複数の物理ディスクにスパンするので、並列データ処理による I/O パフォーマンスの向上が可能になる。RAID レベル 0 のパフォーマンス特性が優れている場合、この RAID レベルは冗長を提供しない唯一のレベルになる。RAID レベル 0 のストレージセットはストライプセットと呼ばれる。

RAID 1

- SNIA 辞書定義: データの複数の同一コピーが別々のメディアで維持されるストレージ配列の形式。
- IBM 定義: データの複数の同一コピーが別々のメディアで維持されるストレージ配列の形式。ミラーセットとも呼ばれる。
- HP 定義: ミラーセット (*mirrorset*) を参照。

RAID 10

RAID のタイプの 1 つ。複数のディスク・ドライブ間でボリューム・データのストライピングを行い、ディスク・ドライブの最初のセットを同一セットにミラーリングすることによって、高パフォーマンスを最適化すると同時に、2 台までのディスク・ドライブの障害に対するフォールト・トレランスを維持する。

RAID 5

- SNIA 定義: パリティ RAID の形式の 1 つ。各ディスクは独立に作動し、データ・ストリップ・サイズはエクスポートしたブロック・サイズを下回らず、パリティ検査データは配列のディスクに分散される。(S)
- IBM 定義: 上記参照。
- HP 定義: 特別に開発された RAID ストレージセットで、データとパリティをディスク配列内の 3 つ以上のメンバーにストライプする。RAIDset は、RAID レベル 3 と RAID レベル 5 の最良の特性を結合する。RAIDset は、アプリケーションが書き込み集約でない限り、中小規模の入出力要求を持つ大部分のアプリケーションに最適のものである。RAIDset はパリティ RAID と呼ばれることもある。RAID レベル 3/5 ストレージセットは RAIDset と呼ばれる。

S

SAN ストレージ・エリア・ネットワーク (*storage area network*) を参照。

SAN ボリューム・コントローラーのファイバー・チャネル・ポート・ファン・インいずれか 1 つの SAN ボリューム・コントローラーのポートを認識できるホストの数。

SATA *Serial Advanced Technology Attachment* を参照。

SCSI *Small Computer Systems Interface* を参照。

SCSI バックエンド・レイヤー (SCSI back-end layer)

SCSI ネットワーク内のレイヤーで、クラスターによって管理される個々のディスク・コントローラー・システムへのアクセスを制御する機能、仮想化レイヤーからの要求を受け取り、それらの要求を処理し、それらを管理対象ディスクに送信する機能、SCSI-3 コマンドをストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 上のディスク・コントローラー・システムにアドレス指定する機能を実行する。

SCSI フロントエンド・レイヤー (SCSI front-end layer)

SCSI ネットワーク内のレイヤーで、ホストから送信された I/O コマンドを受け取り、SCSI-3 インターフェースをホストに提供する。またこのレイヤー内では、SCSI 論理装置番号 (LUN) が仮想ディスク (VDisk) にマップされている。したがって、このレイヤーは、LUN を指定して出された SCSI の読み取りおよび書き込みコマンドを、特定の VDisk にあてたコマンドに変換する。

SDD サブシステム・デバイス・ドライバー (SDD)を参照。

SDRAM

同期ダイナミック RAM (*Synchronous Dynamic Random Access Memory*) を参照。

Serial Advanced Technology Attachment (SATA)

ATA インターフェースがパラレル・バスからシリアル接続方式に進化したもの。(S)

Service Location Protocol (SLP)

インターネットの Protokol・スイートにおいて、特定のネットワーク・ホスト名を指定する必要なしにネットワーク・ホストを識別し、使用する Protokol。

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)

インターネットのユーザー間でメールを転送するためのインターネット・アプリケーション・Protokol。SMTP は、メール交換順序およびメッセージ・フォーマットを指定する。SMTP では、Transmission Control Protocol (TCP) を基礎となる Protokol と想定している。

Simple Network Management Protocol (SNMP)

インターネットの Protokol・スイートにおいて、ルーターや接続ネットワークをモニターするために使用されるネットワーク管理 Protokol。
SNMP はアプリケーション・レイヤー・Protokol である。管理対象装置に関する情報が定義され、アプリケーションの管理情報ベース (MIB) に保管される。

SLP *Service Location Protocol* を参照。

Small Computer System Interface (SCSI)

さまざまな周辺装置の相互通信を可能にする標準ハードウェア・インターフェース。

SMI-S *Storage Management Initiative Specification* を参照。

SMTP *Simple Mail Transfer Protocol* を参照。

SNIA *Storage Networking Industry Association* を参照。

SNMP *Simple Network Management Protocol* を参照。

SSH セキュア・シェル (*Secure Shell*) を参照。

Storage Management Initiative Specification (SMI-S)

セキュアで信頼のおけるインターフェースを指定する Storage Networking Industry Association (SNIA) が開発した設計仕様。このインターフェースによって、ストレージ管理システムは、ストレージ・エリア・ネットワーク内の物理的および論理的リソースを識別し、分類し、モニターし、制御できる。このインターフェースが目的とするソリューションは、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 内で管理されるさまざまな装置と、それらの装置を管理するために使用するツールを統合する。

Storage Networking Industry Association (SNIA)

ストレージ・ネットワーキング製品の生産者と消費者の協会で、その目的は、ストレージ・ネットワーキングのテクノロジーとアプリケーションを推進することにある。 www.snia.org を参照。

U

UPS 無停電電源装置 (*uninterruptible power supply*) を参照。

V

VDisk 仮想ディスク (*virtual disk*) を参照。

vital product data (VPD)

処理システムのシステム、ハードウェア、ソフトウェア、およびマイクロコードの要素を一意的に定義する情報。

VLUN 管理対象ディスク (*managed disk*) を参照。

VSAN 仮想ストレージ・エリア・ネットワーク (*virtual storage area network*) を参照。

W

WBEM

Web ベース・エンタープライズ管理 (*Web-Based Enterprise Management (WBEM)*) を参照。

Web ベース・エンタープライズ管理 (Web-Based Enterprise Management (WBEM))

Distributed Management Task Force (DMTF) によって開発された層式エンタープライズ管理アーキテクチャ。このアーキテクチャは、装置、装置プロバイダー、オブジェクト・マネージャー、およびクライアント・アプリケーションとオブジェクト・マネージャー間のメッセージング・プロトコルから構成される管理設計フレームワークを提供する。

worldwide ノード名 (worldwide node name (WWNN))

グローバルに固有であるオブジェクトの ID。WWNN は、ファイバー・チャネルや他の標準によって使用される。

worldwide ポート名 (worldwide port name (WWPN))

ファイバー・チャネル・アダプター・ポートに関連付けられた固有の 64 ビット ID。WWPN は、インプリメンテーションとプロトコルから独立して割り当てられる。

WWNN

worldwide ノード名 (*worldwide node name*) を参照。

WWPN

worldwide ポート名 (*worldwide port name*) を参照。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アース、検査
無停電電源装置 xxxi
SAN ボリューム・コントローラー xxxi
アクセシビリティ
キーボード 589
ショートカット・キー 589
アクセス
マスター・コンソールからのコマンド
行インターフェース 19
アダプター・アセンブリ
取り外し 460
アップグレード
ソフトウェア 89
安全
危険 xxix
危険の注記 xx
警告の注記 xx
検査 xxix, xxxiii
外部マシン・チェック xxxi
内部マシン・チェック xxxi
ラベル検査 xxxiv, xxxvi, xxxviii, xlili
注記 xx
ラベル、検査 xxxiv, xxxvi, xxxviii, xlili
安全と環境に関する注記 xx
イーサネット 341
イーサネット活動 42
イーサネット・ポートの状態 112
イーサネット・リンク 42
イベント・データ 120
インストール
ソフトウェア 89
SAN ボリューム・コントローラー・ソフトウェア 87
インディケーター、背面パネルの
LED 39
SAN ボリューム・コントローラー 39
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2
下部イーサネット接続 LED 45
システム・ボード障害 LED 45

インディケーター、背面パネルの (続き)
SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 (続き)
システム・ボード電源 LED 45
上部イーサネット接続 LED 45
モニター LED 45
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2
イーサネット接続 LED 43
電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED 43
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4
AC LED と DC LED 43
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED 43
ファイバー・チャンネル LED 41
AC LED と DC LED 43
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 43
イーサネット活動 LED 42
イーサネット・リンク LED 42
ファイバー・チャンネル LED 41
AC LED と DC LED 43
インディケーター、フロント・パネルの
SAN ボリューム・コントローラー システム・エラー LED 37
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2
情報エラー LED 38
ハード・ディスク・アクティビティ LED 38
ロケーション LED 38
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
ハード・ディスク・アクティビティ LED 38
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4
ハード・ディスク・アクティビティ LED 38
インディケーターとコントロール、フロント・パネルの
状況標識 101
2145 無停電電源装置
汎用アラーム・インディケーター 83

インディケーターとコントロール、フロント・ペインのI
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2
オペレーター・パネル表示装置 35
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
オペレーター・パネル表示装置 35
SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4
オペレーター・パネル表示装置 35
インベントリ 127
エラー
修正済みとしてのマーク付け 14
レポート作成 126
ログ
イベント・データ 120
エラー・データ 120
管理 120
表示 120
フィールドの説明 123
理解 120
エラー・コード 130
エラー・データ 120
エラー・ログの分析 6
エンクロージャー 29

[カ行]

外部マシン安全検査 xxxi
解放ラッチ 36
概要
重要製品データ 95
保守モード 71
回路ブレーカー
2145 無停電電源装置 84
2145 無停電電源装置 1U 79
仮想ディスク (VDisk)
状況 11
カタログ 563
環境に関する注記 xx
製品の廃棄 xlviii
製品のリサイクル xlvi
管理
エラー・ログ 120
管理対象ディスク (MDisk)
組み込み 27
状況 12
管理対象ディスク (MDisk) グループ
状況 28
関連情報 xv

キーボード 589
 キーボード・ショートカット 589
 危険
 機械 xxix, xxxiii
 電気 xxix, xxxiii
 爆発 xxix, xxxiii
 危険の注記 xx
 電源機構 447, 452
 緊急パワーオフ (EPO) イベント xxxiv
 国別電源ケーブル 577, 581
 組み込み
 MDisks 27
 クラスタ
 削除 117
 削除、ノードの 23
 識別番号 71
 シャットダウン 68
 追加、ノードの 24
 ファイバー・チャネル・ポート速度の
 変更 70
 保守 7
 クラスタ作成エラー・コード 288
 クラスタの作成
 ナビゲーション 116
 クラスタの作成? 108
 クラスタのディスクバリエーション 27
 コマンド 27
 説明 27
 クラスタ・エラー・コード 288
 クラスタ・リカバリー・コード 289
 ゲートウェイのメニュー・オプション
 107
 ケーブル保持ブラケット
 ハードウェア 48, 79
 警告の注記 xx
 バッテリーの交換 550, 554
 バッテリーの廃棄 xlviii
 ラック安定板 515, 537, 550, 554
 言語メニュー選択オプション 113
 検査
 ノードの状況 22
 ノード・ポートの状況 22
 検査、安全 xxix, xxxiii
 外部マシン・チェック xxxi
 内部マシン・チェック xxxi
 現場交換可能ユニット
 冗長 AC 電源 136
 冗長 AC 電源スイッチ
 説明 136
 説明 131
 無停電電源装置
 説明 136
 電源機構 136
 電子部品 136
 バッテリー 136
 フレーム・アセンブリー 136

現場交換可能ユニット (続き)
 SAN ボリューム・コントローラー
 131
 イーサネット・ケーブル 131
 サービス・コントローラー 131
 システム・ボード 131
 ディスク・ドライブ・アセンブリー
 131
 ディスク・ドライブ・ケーブル
 131
 電源機構アセンブリー 131
 電源ケーブル・アセンブリー 131
 ファイバー・チャネル・アダプタ
 ー・アセンブリー 131
 ファイバー・チャネル・ケーブル
 131
 ファン・アセンブリー 131
 フレーム・アセンブリー 131
 フロント・パネル 131
 CMOS バッテリー 131
 コール・ホーム機能 (Call Home) 127
 交換
 サービス・コントローラー 406, 408,
 413
 システム・ボード 508
 システム・ボード・バッテリー 443
 ディスク・ドライブ・ケーブル 433
 ディスク・ドライブ・ファン 434
 電源機構
 2145 無停電電源装置 539
 2145 無停電電源装置 IU 519
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-4F2 452
 ハード・ディスク 413
 部品
 概要 371
 準備 371
 メモリー・モジュール 420
 2145 無停電電源装置 IU バッテリー
 533
 2145 無停電電源装置の電子部品 548
 2145 無停電電源装置バッテリー 554
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-4F2 443
 アダプター 468
 サービス・コントローラー 410
 ディスク・ドライブ 423, 430
 フロント・パネル 504
 マイクロプロセッサ・ファン
 489
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F2
 アダプター・アセンブリー 467
 サービス・コントローラー 408
 ディスク・ドライブ 430
 フロント・パネル 504
 マイクロプロセッサ・ファン
 489
 電源調節モジュール 498

交換 (続き)
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F2 (続き)
 電源機構 450
 電源バックプレーン 457
 ヒートシンク 498
 ファン 488
 ファン・バックプレーン 491
 ファン・ホルダー 491
 フレーム・アセンブリー 457
 マイクロプロセッサ 498
 CMOS バッテリー 442
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F4
 アダプター・アセンブリー 467
 サービス・コントローラー 408
 ディスク・ドライブ 430
 電圧調節モジュール 498
 電源機構 450
 電源バックプレーン 457
 ヒートシンク 498
 ファン 488
 ファン・バックプレーン 491
 フレーム・アセンブリー 457
 マイクロプロセッサ 498
 CMOS バッテリー 442
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8G4
 サービス・コントローラー 406
 ディスク・ドライブ 429
 電源バックプレーン 456
 フレーム・アセンブリー 457
 CMOS バッテリー 440
 コネクター
 2145 無停電電源装置 84
 2145 無停電電源装置 IU 79
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-4F2 57
 コマンド
 svcinfo ls2145dumps 87
 svcinfo lsconfigdumps 87
 svcinfo lserrlogdumps 87
 svcinfo lsfeaturedumps 87
 svcinfo lsiostatsdumps 87
 svcinfo lsiotracedumps 87
 コマンド行インターフェース (CLI) 19
 コンソール
 削除
 マスター・コンソールでの SAN ボ
 リューム・コントローラー・アプ
 リケーションを使用したノードの
 10
 SAN ボリューム・コントローラー
 の使用 10
 コントロールとインディケーター、フロン
 ト・パネルの 32

コントロールとインディケータ、フロン
ト・パネルの (続き)
状況標識 101
2145 無停電電源装置
汎用アラーム・インディケータ
83

[サ行]

サービス

コントローラー

交換 413

取り外し、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-4F2 からの
403

取り外し、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-8F2 からの
400

取り外し、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-8F4 からの
400

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 からの取り外し 398

サービス・コントローラー

交換

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 408, 410

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4 408

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 406

交換、SAN ボリューム・コントロー
ラー 2145-4F2 410

取り外し、SAN ボリューム・コント
ローラー 2145-4F2 からの 402

サイト要件

環境 83

再取り付け

冗長 AC 電源スイッチ

再取り付け 512

冗長 AC 電源スイッチ 512

マイクロプロセッサ 512

上部カバー

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 からの 396

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4 からの 396

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 から 395

上部カバー、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-4F2 の 397

上部カバー、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-8F2 の 396

上部カバー、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-8F4 の 396

再取り付け (続き)

上部カバー、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-8G4 の 395

PCI Express ライザー・カード・ア
センブリ 469

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2

オペレーター・パネル表示装置
481

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4

オペレーター・パネル表示装置
481

上部カバー 396

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 396

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4

アダプター・アセンブリ 466
オペレーター・パネル表示装置

477

上部カバー 395

電圧調節モジュール 496

ヒートシンク 496

ファイバー・チャンネル・アダプ
ター・アセンブリ 466

ファン 487

マイクロプロセッサ 496

PCI Express ライザー・カード・ア
センブリ 469

SATA バック・プレート 432

SAN ボリューム・コントローラー、ラ
ックへの 377

削除

クラスター 117

ノード

クラスターからの 23

SAN ボリューム・コントローラー
の使用 10

作成が失敗 117

サポート

Web サイト xix

サポート・レール

取り外し 381

取り付け 384, 386

SAN ボリューム・コントローラーの取
り外し 381

識別番号

クラスター 71

指示された保守手順 62

システム・ボード

交換 508

除去 505

システム・ボード・バッテリー

交換 443

取り外し 439

システム・ボード・バッテリー (続き)

SAN ボリューム・コントローラー
2145-4F2 443

実行

クラスター保守手順 7

シャットダウン

クラスター 68

充電中 102

修復検査 MAP 351

重要製品データ (VPD)

概要 95

クラスターのフィールドの理解 99

ノードのフィールドの理解 96

表示 95

ノード 12

重要製品データの表示 95

ショートカット・キー 589

仕様

冗長 AC 電源スイッチ 74

使用

エラー・コード・テーブル 131

指示された保守手順 62

本書 xiii

SAN ボリューム・コントローラーのフ
ロント・パネル 101

SAN ボリューム・コントローラー・コ
ンソール・アプリケーション 4

状況

管理対象ディスク・グループ 28

ディスク・コントローラー 28

ノードの 22

ノード・ポートの 22

状況 (status) 108

冗長 AC 電源

アセンブリ 575

環境準備 74

仕様 74

MAP 326, 327

冗長 AC 電源スイッチ 73

現場交換可能ユニット 136

冗長 AC 電源スイッチに対する FRU の
定義 136

商標 592

上部カバー

再取り付け、SAN ボリューム・コン
トローラー 2145-4F2 397

取り外し

SAN ボリューム・コントローラー
2145-4F2 からの 393

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 からの 392

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4 からの 392

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 から 391

除去
 システム・ボード 505
 ソフトウェアのバージョン 92
 メモリー・モジュール 416
 シリアル番号 34
 資料
 注文 xix
 資料の注文 xix
 診断、問題の
 エラー・コードによる 119
 エラー・ログによる 119
 介して、ライト・パス診断 119
 マスター・コンソールで 119
 無停電電源装置に関する 119
 SAN ボリューム・コントローラーで 119
 静電気に弱い装置 1
 接続
 2145 無停電電源装置 1U、SAN ボリューム・コントローラーへの 75
 2145 無停電電源装置、SAN ボリューム・コントローラー 75
 速度
 ファイバー・チャネル・ネットワーク 69
 ソフトウェア
 アップグレード 89
 インストール 89
 インストール障害からのリカバリー 91
 バージョンの除去 92
 バージョンの判別 90
 パッケージ 88

[夕行]

注意
 法規 591
 注記 xx
 安全 xx
 環境上の xx
 環境に関する注記 xlvii, xlviii
 追加
 ノード、クラスターへの 11, 24
 通知
 送信 127
 定義 131
 定義、UPS の FRU の 136
 ディスク障害 292
 ディスク・コントローラー
 障害の判別 29
 状況 28
 ディスク・ドライブ
 交換 413, 423, 430
 取り外し 423, 430
 ファンの交換 434

ディスク・ドライブ・ケーブル 427, 433
 手順
 指定された保守 62
 保守分析 295
 電源
 緊急パワーオフ・イベント xxxiv
 コントロール 61
 SAN ボリューム・コントローラー要件 58
 電源 MAP 2145-4F2 310
 電源 MAP 2145-8F2、2145-8F4、および 2145-8G4 304
 電源オフ 103
 即時 34
 SAN ボリューム・コントローラー 329, 374
 電源機構
 交換 452
 取り外し 447
 電源ケーブル
 国別 577, 581
 地域別 577, 581
 電源バックプレーン
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4
 交換 456
 電波障害自主規制特記事項 593
 英国 596
 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 595
 ニュージーランド 594
 European Union (EU) 594
 Federal Communications Commission (FCC) 593
 French Canadian 594
 German 595
 Industry Canada 594
 International Electrotechnical Commission (IEC) 596
 Taiwan 596
 読者、本書の xiii
 トラブルシューティング 290
 エラー・ログの使用 105
 マスター・コンソール 291, 292
 Microsoft Windows のブート問題 291, 292
 SAN ボリューム・コントローラー・コンソール 291
 取り外し
 アダプター 464
 サービス・コントローラー
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からの 402
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からのケーブル 403

取り外し (続き)
 サービス・コントローラー (続き)
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 からの 400
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 からの 400
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から 398
 サポート・レール
 2145 無停電電源装置 558
 2145 無停電電源装置 1U 524
 SAN ボリューム・コントローラー 381
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 381
 シグナル・ケーブル 413
 システム・ボード・バッテリー 439
 冗長 AC 電源スイッチ
 冗長 AC 電源スイッチ 511
 取り外し 511
 マイクロプロセッサ 511
 上部カバー
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2 からの 393
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2 からの 392
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4 からの 392
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 から 391
 ディスク・ドライブ・ケーブル 427
 電源機構 447
 電源ケーブル
 2145 無停電電源装置 545
 2145 無停電電源装置 1U 528
 電源ケーブル・アセンブリー 413
 部品
 概要 371
 準備 371
 フロント・パネル 502
 ラックからの SAN ボリューム・コントローラー 372
 2145 無停電電源装置 537
 2145 無停電電源装置 1U 515
 2145 無停電電源装置 1U バッテリー 530
 2145 無停電電源装置の電子部品 546
 2145 無停電電源装置バッテリー 550
 PCI Express ライザー・カード・アセンブリー 469
 SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2
 アダプター 464
 システム・ボード・バッテリー 439
 ディスク・ドライブ 423, 430

取り外し (続き)

SAN ボリューム・コントローラー
2145-4F2 (続き)

マイクロプロセッサ・ファン
486

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2

アダプター・アセンブリー 461
オペレーター・パネル表示装置
475

サービス・コントローラー 400
ディスク・ドライブ 422

電圧調節モジュール 494, 501
電源機構 446

電源バックプレーン 455
ヒートシンク 494

ファン 484
ファン・バックプレーン 490

ファン・ホルダー 490
マイクロプロセッサ 494

CMOS バッテリー 438

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4 400

アダプター・アセンブリー 461
オペレーター・パネル表示装置
475

ディスク・ドライブ 422

電圧調節モジュール 494, 501
電源機構 446

電源バックプレーン 455
ヒートシンク 494

ファン 484
ファン・バックプレーン 490

ファン・ホルダー 490
マイクロプロセッサ 494

CMOS バッテリー 438

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 398

アダプター・アセンブリー 460
オペレーター・パネル表示装置
470

サービス・コントローラー 398
ディスク・ドライブ 421

電圧調節モジュール 493
電源機構 445, 449

電源バックプレーン 454
ヒートシンク 493

ファイバー・チャンネル・アダプタ
ー・アセンブリー 460

ファン 483

マイクロプロセッサ 493

CMOS バッテリー 436

PCI Express ライザー・カード・ア
センブリー 469

SATA バック・プレート 426

取り外し (続き)

SAN ボリューム・コントローラー・ア
ダプター・アセンブリー 460

取り付け

サポート・レール

2145 無停電電源装置 559

2145 無停電電源装置 1U 526

SAN ボリューム・コントローラー
383

SAN ボリューム・コントローラー
2145-4F2 386

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F2 386

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8F4 386

SAN ボリューム・コントローラー
2145-8G4 384

[ナ行]

内部マシン安全検査 xxxi

ナビゲーション

クラスタの作成メニュー 116

クラスタのリカバリ 114

日本語

電子放出に関する注意 595

ネットワークの速度

ファイバー・チャンネル 69

ノード

削除

クラスタからの 23

SAN ボリューム・コントローラー
の使用 10

識別ラベル 33

状況 22

追加、クラスタへの 11, 24

表示

一般詳細 8

重要製品データ 12

レスキュー 266

「ノード」オプション 107

クラスタの作成? 108

状況 (status) 108

ノード・エラー・コード

理解 274

ノード・レスキュー・コード

理解 268

[ハ行]

ハードウェア 45

SAN ボリューム・コントローラー 45

ハードウェア・ブート 102

MAP 363

ハードウェア・ブート障害 240

ハードウェア・ブート障害の判別 240
廃棄

製品 xlvi

バッテリー xlvi

パスワード 117

パッケージ

ソフトウェア 88

バッテリー

サービス・インディケータ 83

廃棄 xlvi

モード・インディケータ 83

判別

障害のあるエンクロージャー 29

ソフトウェアのバージョン 90

ディスク・エンクロージャー 29

ファイバー・チャンネル・ポート速度
69

SAN の問題 289

表記規則 xv

表示

エラー・ログ 120

仮想ディスクの状況 11

管理対象ディスクの状況 12

ブート失敗 101

ブート進行インディケータ 101

ブート・コード

理解 240

ファイバー・チャンネル

クラスタ内のないノードのポート速
度の変更 70

クラスタ内のノードのポート速度の
変更 70

ネットワークの速度 69

ポート速度 69

ポートのメニュー・オプション 112

MAP 345

ファイバー・チャンネル・ファブリック

接続 15

ファイバー・チャンネル・ポート番号 8

ファン

交換 486

取り外し 482

フィールド

エラー・ログ 123

クラスタ 99

システム・ボード 96

説明、クラスタの重要製品データの
99

説明、ノードの重要製品データの 96
装置 96

ソフトウェア 96

ファイバー・アダプター・カード 96

プロセッサ 96

プロセッサ・キャッシュ 96

フロント・パネル 96

無停電電源装置 96

フィールド (続き)	フロント・パネルのインディケータとコントロール (続き)	フロント・パネルのコントロールとインディケータ (続き)
メモリー・モジュール 96	2145 無停電電源装置 1U (続き)	オン/オフ・ボタン 77
物理的特性	サービス・インディケータ 78	オン・バッテリー・インディケータ 78
無停電電源装置 85	電源オン・インディケータ 77	過負荷インディケータ 77
部品	ロード・セグメント 1 インディケータ 78	サービス・インディケータ 78
交換	ロード・セグメント 2 インディケータ 78	電源オン・インディケータ 77
概要 371	SAN ボリューム・コントローラ	ロード・セグメント 2 インディケータ 78
準備 371	解放ラッチ 36	SAN ボリューム・コントローラ
取り外し	選択ボタン 33	解放ラッチ 36
概要 371	電源 LED 39	選択ボタン 33
準備 371	SAN ボリューム・コントローラ	電源 LED 39
部品カタログ 563	2145-4F2 34	SAN ボリューム・コントローラ
部品番号	SAN ボリューム・コントローラ	2145-4F2
SAN ボリューム・コントローラ	2145-8F2	電源ボタン 34
2145-8G4 563	エラー LED 34	SAN ボリューム・コントローラ
フレーム・アセンブリ	キャッシュ LED 32	2145-8F2
交換 457	電源制御ボタン 38	エラー LED 34
フロント・パネル	ナビゲーション・ボタン 33	オペレーター・パネル表示装置 35
交換、SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 での 504	SAN ボリューム・コントローラ	キャッシュ LED 32
取り外し、SAN ボリューム・コントローラ 2145-4F2 からの 502	2145-8F4	電源制御ボタン 38
メニュー・オプション 105, 107	電源制御ボタン 38	ナビゲーション・ボタン 33
2145 無停電電源装置 81	SAN ボリューム・コントローラ	SAN ボリューム・コントローラ
2145 無停電電源装置 1U 76	2145-8G4	2145-8F4
SAN ボリューム・コントローラ 101	電源制御ボタン 38	オペレーター・パネル表示装置 35
フロント・パネルのインディケータとコントロール 30	UPS テストおよびアラーム・リセット・ボタン 77	電源制御ボタン 38
解放ラッチ 36	フロント・パネルのコントロールおよびインディケータ	UPS テストおよびアラーム・リセット・ボタン 77
検査 LED 35	2145 無停電電源装置 1U	フロント・パネルの表示
状況標識	ロード・セグメント 1 インディケータ 78	状況標識
シャットダウン 104	フロント・パネルのコントロールとインディケータ 30	エラー・コード 105
充電中 102	状況標識	再始動 104
電源障害 103	シャットダウン 104	シャットダウン 104
ノード・レスキュー要求 102	充電中 102	充電中 102
ハードウェア・ブート 102	電源障害 103	電源オフ 103
パワーオフ 103	ノード・レスキュー要求 102	電源障害 103
ブート失敗 101	ハードウェア・ブート 102	ノード・レスキュー要求 102
ブート進行 101	パワーオフ 103	ハードウェア・ブート 102
リカバリー 104	ブート失敗 101	ブート失敗 101
電源ボタン 34	ブート進行 101	ブート進行 101
2145 無停電電源装置 81	リカバリー 104	リカバリー 104
オフ・ボタン 82	2145 無停電電源装置 81	分析手順 (MAP) 295
オン・ボタン 82	オフ・ボタン 82	並行保守 371
バッテリー・サービス・インディケータ 83	オン・ボタン 82	変更
バッテリー・モード・インディケータ 83	バッテリー・サービス・インディケータ 83	ファイバー・チャネル・ポート速度 70
負荷レベル・インディケータ 83	バッテリー・モード・インディケータ 83	変更の要約 xiii
モード・インディケータ 82	負荷レベル・インディケータ 83	ポート
2145 無停電電源装置 1U 76	モード・インディケータ 82	使用されない 47, 50
オン/オフ・ボタン 77	2145 無停電電源装置 1U 76	2145 無停電電源装置 1U 79
オン・バッテリー・インディケータ 78	過負荷インディケータ 77	SAN ボリューム・コントローラ 2145-8F4 50
		SAN ボリューム・コントローラ 2145-8G4 47

ポート速度
 クラスター内がないノードの 70
 クラスター内のノード 70
 判別 69
保管
 ダンプ・データ 87
保持ブラケット
 2145 無停電電源装置 1U 79
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F4 48
保守
 SAN ボリューム・コントローラー・ソ
 フトウェア 87
保守手順
 クラスター 7
保守分析手順 (MAP)
 イーサネット 341
 開始 296
 概要 295
 修復検査 351
電源
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-4F2 310
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F2 304
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8F4 304
 SAN ボリューム・コントローラー
 2145-8G4 304
 ハードウェア・ブート 363
 ファイバー・チャンネル 345
 フロント・パネル 337
 ライト・パス 354
 2145 UPS 318
 2145 UPS-1U 314
保守モード 71
本書について xiii
本書の対象読者 xiii
本文の強調 xv

[マ行]

マーク付け、エラーを修正済みとして 14
マイクロプロセッサ・ファン
 交換 489
マスター・コンソール
 ディスク障害 292
 トラブルシューティング 290, 291,
 292
未使用ポート
 2145 無停電電源装置 1U 79
無停電電源装置
 アースの検査 xxxi
 概要 75
 環境 85

無停電電源装置 (続き)
現場交換可能ユニット
 電源機構 136
 電子部品 136
 バッテリー 136
テストおよびアラーム・リセット・ボ
 タン 77
電源の除去 413
部品の説明 79, 84
フロント・パネル MAP 337
要件 xxxiv
メニュー・オプション 107
イーサネット 112
クラスター 106
 サブネット・マスク 107
 状況 106
 状況 (status) 108
作成、クラスターの 108
 ノード 108
 「ノード」オプション 107
SAN ボリューム・コントローラー
 アクティブ (active) 106
 クラスターの作成? 108
 ゲートウェイ 107
 サブネット・マスク 107
 非アクティブ (inactive) 106
 劣化 (degraded) 106
メモリー・モジュール
 交換 420
 除去 416
モード・インディケータ
 2145 無停電電源装置 82

[ヤ行]

要件
 電気 58
 電源 58
 無停電電源装置 xxxiv
 AC 電圧 58

[ラ行]

ライト・パス MAP 354
理解
 エラー・コード 130
 エラー・ログ 120
 クラスター作成エラー・コード 288
 クラスター・リカバリー・コード 289
 ノード・エラー・コード 274
 ノード・レスキュー・コード 268
 フィールド、クラスターの重要製品デ
 ータの 99
 フィールド、ノードの重要製品デー
 タの 96

リカバリー 104
 クラスターの、ナビゲーション 114
 ソフトウェア・インストール障害 91
リカバリーのナビゲーション、クラスター
 の
 説明 114
 パスワードのリセット 114
 保守モードの設定 114
 保守用 IP アドレス 114
リサイクル、製品 xlvi
リスト作成
 管理対象ディスク 25
 ダンプ・データ 87
 ダンプ・ファイル 13
 ログ・ファイル 13
レスキュー・コード
 理解 268
レポート作成
 エラー 126
ロギング
 CIM エージェント 583
 Websphere 583

[ワ行]

ワールドワイド・ポート名 8

[数字]

2145 無停電電源装置
 アセンブリー 579
 オフ・ボタン 82
 オン・ボタン 82
 回路ブレーカー 84
 交換 539
 コネクタ 84
 サポート・レールの取り付け 559
 接続 75
 電子部品
 交換 548
 取り外し 546
 取り外し 537
 サポート・レール 558
 電源ケーブル 545
 電子部品 546
 バッテリー 550
 バッテリー
 交換 554
 取り外し 550
 バッテリー・サービス・インディケ
 ーター 83
 バッテリー・モード・インディケータ
 ー 83
 汎用アラーム・インディケータ 83
 負荷レベル・インディケータ 83

2145 無停電電源装置 (続き)
モード・インディケータ 82
2145 UPS 537

MAP

修復検査 324
2145 UPS 318

2145 無停電電源装置 1U
アセンブリー 576
回路ブレーカー 79
ケーブル保持ブラケット 79
交換 519
コネクタ 79
サポート・レール
取り外し 524
取り付け 526
サポート・レールの取り付け 526
接続、SAN ボリューム・コントローラ
ーへの 75
ディップ・スイッチ 79
電源ケーブルの取り外し 528
取り外し 515
バッテリー
交換 533
取り外し 530
ポート、使用されない 79
未使用ポート 79

MAP

修復検査 323
5150: 2145 UPS-1U 314

C

Canadian electronic emission notice 594
CMOS バッテリー
SAN ボリューム・コントローラ
2145-8G4
交換 440
取り外し 436
common information model (CIM) ログイン
グ 584
contact information
European 596
Taiwan 597

E

E メール 127
electronic emission statement
Korea 596
People's Republic of China 595
EMC statement, People's Republic of
China 595
EPO (緊急パワーオフ) イベント xxxiv
European contact information 596

European Union electronic emission
notice 594

F

FCC (Federal Communications Commission)
electronic emission notice 593
Federal Communications Commission (FCC)
electronic emission notice 593
French Canadian electronic emission
notice 594

G

German
radio protection notice 595

I

IBM 以外の変更フォーム xxxi
IEC (International Electrotechnical
Commission) electronic emission
notice 596
Information Center xv
International Electrotechnical Commission
(IEC) electronic emission notice 596
IP アドレス 107

K

Korea, electronic emission statement 596

L

LED 42
下部イーサネット接続 45
システム・エラー 37
「上部イーサネット接続 45
電源、ロケーション、およびシステ
ム・エラー 43
背面パネルのインディケータ 39
ファイバー・チャネル 41
AC と DC 43

M

MAP
冗長 AC 電源 326, 327
5000: 開始 296
5050: 電源 2145-8F2、2145-8F4、およ
び 2145-8G4 304
5100: 電源 2145-4F2 310
5150: 2145 UPS-1U 314
5200: 2145 UPS 318

MAP (続き)

5250: 2145 UPS-1U 修復検査 323
5300: 2145 UPS 324
5400: フロント・パネル 337
5500: イーサネット 341
5600: ファイバー・チャネル 345
5700: 修復検証 351
5800: ライト・パス 354
5900: ハードウェア・ブート 363
SAN ボリューム・コントローラ・ノ
ードの電源オフ 329

MAP 開始 296

MAP (保守分析手順)

イーサネット 341

開始 296

概要 295

修復検査 351

使用 295

冗長 AC 電源 326, 327

電源

SAN ボリューム・コントローラ

2145-4F2 310

SAN ボリューム・コントローラ

2145-8F2 304

SAN ボリューム・コントローラ

2145-8F4 304

SAN ボリューム・コントローラ

2145-8G4 304

電源オフ 329

ハードウェア・ブート 363

ファイバー・チャネル 345

フロント・パネル 337

ライト・パス 354

2145 UPS 318

2145 UPS 修復検査 324

2145 UPS-1U 314

2145 UPS-1U の修復検査 323

MDisk (管理対象ディスク)

リスト作成 25

Microsoft Windows、トラブルシューティ
ング 291, 292

N

New Zealand electronic emission
statement 594

P

PCI Express ライザー・カード・アセンブ
リー

再取り付け 469

取り外し 469

People's Republic of China, electronic
emission statement 595

S

SAN (ストレージ・エリア・ネットワーク)
問題判別 289

SAN ボリューム・コントローラー xxxiii
アースの検査 xxxi
安全上の注意 xx
インストール、ソフトウェアの 87
概要 1
気温 58
クラスターのシャットダウン 68
現場交換可能ユニット
イーサネット・ケーブル 131
オペレーター・パネル表示装置 131
サービス・コントローラー 131
システム・ボード 131
ディスク・ドライブ・アセンブリー 131
ディスク・ドライブ・ケーブル 131
電圧調節モジュール 131
電源機構アセンブリー 131
電源バックプレーン 131
ファイバー・チャンネル HBA 131
ファイバー・チャンネル・アダプター・アセンブリー 131
ファイバー・チャンネル・ケーブル 131
ファン電源ケーブル 131
ファン・アセンブリー 131
フレーム・アセンブリー 131
フロント・パネル 131
マイクロプロセッサ 131
メモリー・モジュール 131
ライザー・カード、PCI 131
ライザー・カード、PCI Express 131
4ポート・ファイバー・チャンネル・アダプター 131
40x40x28 ファン 131
40x40x56 ファン 131
CMOS バッテリー 131
再取り付け、ラックへの 377
サポート・レール
取り外し 381
取り付け 383
湿度 58
重量と寸法 58
仕様 58
寸法と重量 58
製品特性 58
接続、2145 無停電電源装置 1U 75
接続、2145 無停電電源装置への 75
電源オン自己診断テスト 67

SAN ボリューム・コントローラー (続き)
電源制御 61
取り外し、ラックからの 372
ノードの削除 10
ハードウェア 45
背面パネルのインディケーター 39
発熱量 58
パワーオフ 374
フロント・パネルの使用 101
保守、ソフトウェアの 87
メニュー・オプション
アクティブ (active) 106
クラスターの作成? 108
サブネット・マスク 107
非アクティブ (inactive) 106
劣化 (degraded) 106

SAN ボリューム・コントローラー 2145-4F2
交換、アダプター 468
コネクタ 57
ハードウェア 55
マイクロプロセッサ・ファン 486

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F2
アセンブリー 569, 572
オペレーター・パネル表示装置
再取り付け 481
取り外し 475
ハードウェア 52

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8F4
アセンブリー 566
オペレーター・パネル表示装置
再取り付け 481
取り外し 475
ケーブル保持ブラケット 48
コネクタ 50
サービス・ポート 50
ハードウェア 48
ポート、使用されない 50

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 45
アセンブリー 563
オペレーター・パネル表示装置
再取り付け 477
取り外し 470
コネクタ 47
サービス・ポート 47
サポート・レール
取り外し 381
取り付け 384
電源、ロケーション、およびシステム・エラー LED 43
電源機構
取り外し 445, 449
ハードウェア 45

SAN ボリューム・コントローラー 2145-8G4 (続き)
ファン 487
ポート、使用されない 47
SATA バック・プレート
再取り付け 432
取り外し 426

SAN ボリューム・コントローラー・コンソール
クラスターへのノードの追加 11
トラブルシューティング 291

SNMP 127

T

Taiwan contact information 597
Taiwan electronic emission notice 596

U

United Kingdom electronic emission notice 596

W

Web サイト xix
Websphere Application Server
ログイン 583
WWPN 8



部品番号: 31P0798

Printed in Japan

GC88-4129-01



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

(1P) P/N: 31P0798



Spine information:



IBM System Storage
SAN ポリユーム・コントロー
ラー

IBM System Storage
SAN ポリユーム・コントロー
ラー

SAN ポリユーム・コントローラー サービス・
ガイド

バージョン 4.2.0